CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection

eBook

N03-04nN0002

犍度

通妙譯

財團法人 佛教電子佛典基金會

目次

- 編輯說明
- 章節目次
  - 大品
    - 第一　大犍度
      - 誦品一（一～六）
        - 一　菩提樹下因緣
          - （一）
          - （二）
          - （三）
          - （四）
          - （五）
          - （六）
          - （七）
        - 二　阿闍波羅榕樹下因緣
          - （一）
          - （二）
          - （三）
        - 三　日支鄰陀樹下因緣
          - （一）
          - （二）
          - （三）
          - （四）
        - 四　羅闍耶他那樹下因緣
          - （一）
          - （二）
          - （三）
          - （四）
          - （五）
        - 五　梵天勸請因緣
          - （一）
          - （二）
          - （三）
          - （四）
          - （五）

- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）
- （一一）
- （一二）
- （一三）

- 六　〔初轉法輪〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
  - （一四）
  - （一五）
  - （一六）
  - （一七）
  - （一八）
  - （一九）
  - （二〇）
  - （二一）
  - （二二）
  - （二三）
  - （二四）
  - （二五）
  - （二六）
  - （二七）
  - （二八）
  - （二九）

- （三〇）
- （三一）
- （三二）
- （三三）
- （三四）
- （三五）
- （三六）
- （三七）
- （三八）
- （三九）
- （四〇）
- （四一）
- （四二）
- （四三）
- （四四）
- （四五）
- （四六）
- （四七）

- 誦品二（七～一四）
  - 七　耶舍出家因緣
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
    - （九）
    - （一〇）
    - （一一）
    - （一二）
    - （一三）
    - （一四）
    - （一五）
  - 八　〔耶舍母與其原妻歸佛〕
    - （一）
    - （二）

- （三）
- （四）
- 九　四在家出家因緣
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 一〇　〔五十人出家〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 一一　魔緣
  - （一）
  - （二）
- 一二　三歸依、具足戒因緣
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 一三　〔魔緣〕
  - （一）
  - （二）
- 一四　賢眾友事
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 誦品三　優螺頻螺神變（一五～二一）
  - 一五　初神變
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）

- 一六　第二神變
  - （一）
  - （二）
- 一七　第三神變
  - （一）
  - （二）
- 一八　第四神變
  - （一）
  - （二）
- 一九　第五神變
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 二〇　〔其他諸神變及三迦葉歸佛〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
  - （一四）
  - （一五）
  - （一六）
  - （一七）
  - （一八）
  - （一九）
  - （二〇）
  - （二一）
  - （二二）
  - （二三）

- （二四）
- 二一　熾燃品
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 誦品四（二二～二四）
- 二二　〔摩竭國洗尼瓶沙王歸佛〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
  - （一四）
  - （一五）
  - （一六）
  - （一七）
  - （一八）
- 二三　舍利弗、目犍連出家因緣
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
- 二四　舍利弗、目犍連出家因緣

- （一）
- （二）
- （三）
- （四）
- （五）
- （六）
- （七）

- 誦品五　奉事和尚（二五～三〇）
  - 二五　奉事和尚品
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
    - （九）
    - （一〇）
    - （一一）
    - （一二）
    - （一三）
    - （一四）
    - （一五）
    - （一六）
    - （一七）
    - （一八）
    - （一九）
    - （二〇）
    - （二一）
    - （二二）
    - （二三）
    - （二四）
  - 二六　承事同修品
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）

- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）
- （一一）
- 二七　〔弟子規則〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
- 二八　〔依白四羯磨授戒〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
- 二九　〔依白四羯磨授戒〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 三〇　〔出家四依〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 誦品六（三一～三三）
  - 三一　〔法臘十歲及其他〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）

- （四）
- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- 三二　奉事阿闍梨品
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 三三　承事侍者
  - （一）
- 誦品七（三四～三八）
- 三四　〔侍者之規則〕
  - （一）
- 三五　〔愚癡暗昧之阿闍梨〕
  - （一）
  - （二）
- 三六　授具足戒之五分十六事品
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
  - （一四）
  - （一五）
  - （一六）
  - （一七）
- 三七　授具足戒之六分十六事品
  - （一）
- 三八　舊外道因緣

- （一）
- （二）
- （三）
- （四）
- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）
- （一一）

- 誦品八　無畏（三九～五三）
  - 三九　〔不得令出家者〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
  - 四〇　〔不得令出家者〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
  - 四一　〔不得令出家者〕
    - （一）
  - 四二　〔不得令出家者〕
    - （一）
    - （二）
  - 四三　〔不得令出家者〕
    - （一）
  - 四四　〔不得令出家者〕
    - （一）
  - 四五　〔不得令出家者〕
    - （一）
  - 四六　〔不得令出家者〕
    - （一）

- 四七　〔不得令出家者〕
  - （一）
- 四八　〔不得令出家者〕
  - （一）
  - （二）
- 四九　〔不得令出家者〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
- 五〇　〔不得令出家者〕
  - （一）
- 五一　〔前項之例外〕
  - （一）
- 五二　〔不得蓄二沙彌〕
  - （一）
- 五三　〔須依止比丘及不須依止比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
- 誦品九　〔餘財〕（五四～七一）
  - 五四　〔餘財〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）

- （五）
- （六）
- 五五　〔五一之例外〕
  - （一）
- 五六　〔沙彌十戒〕
  - （一）
- 五七　罰〔沙彌〕事
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 五八　罰〔沙彌〕事
  - （一）
- 五九　〔不得帶走所餘會眾〕
  - （一）
- 六〇　〔擯滅沙彌〕
  - （一）
- 六一　〔不得授戒者〕
  - （一）
  - （二）
- 六二　〔不得授戒者〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 六三　〔不得授戒者〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 六四　〔不得授戒者〕
  - （一）
  - （二）
- 六五　〔不得授戒者〕
  - （一）
- 六六　〔不得授戒者〕
  - （一）
  - （二）
- 六七　〔不得授戒者〕

- （一）
- 六八　〔不得授戒者〕
  - （一）
- 六九　〔不得授戒者〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 七〇　〔不得授戒者〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
- 七一　不得令出家之三十二種人品
  - （一）
  - （二）
- 誦品一〇（七二～七九）
  - 七二　〔無恥者〕
    - （一）
    - （二）
  - 七三　〔無依止而住〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
  - 七四　〔授戒與二、三人〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 七五　〔從入胎至二十歲受具足戒〕
    - （一）
  - 七六　具足戒羯磨
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）

- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）
- （一一）
- （一二）
- 七七　四依品
  - （一）
- 七八　四非事品
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 七九　〔被舉而還俗者〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 攝頌

- 第二　布薩犍度
  - 誦品一　外道（一～一六）
    - 一　〔布薩起源〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
    - 二　〔布薩說法〕
      - （一）
    - 三　〔布薩羯磨〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）

- （七）
- （八）
- 四　〔布薩曰〕
  - （一）
  - （二）
- 五　〔布薩界〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
- 六　〔布薩界之選定〕
  - （一）
  - （二）
- 七　〔布薩界之選定〕
  - （一）
  - （二）
- 八　〔布薩堂〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 九　〔布薩場〕
  - （一）
  - （二）
- 一〇　〔長老比丘及新參比丘〕
  - （一）
- 一一　〔布薩之住處〕
  - （一）
- 一二　〔不離衣〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）

- 一三　〔二布薩界〕
  - （一）
  - （二）
- 一四　〔布薩種類〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 一五　〔讀誦波羅提木叉〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
- 一六　〔讀誦波羅提木叉〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）

- 誦品二　周多那瓦睹（一七～二七）
  - 一七　〔續讀誦波羅提木叉〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
  - 一八　〔日數與比丘數〕

- （一）
- （二）
- （三）
- （四）
- 一九　布薩之告示
  - （一）
- 二〇　〔莊嚴布薩堂〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
- 二一　〔愚癡暗昧比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 二二　〔與清淨〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 二三　〔與清淨欲〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 二四　〔布薩日被捕比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 二五　〔狂比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 二六　〔四乃至一比丘〕
  - （一）

- （二）
- （三）
- （四）
- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）

- 二七　〔罪〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
  - （一四）
  - （一五）

- 誦品三（二八～三六）
  - 二八　無罪十五事
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
  - 二九　以別眾為別眾十五事
    - （一）
    - （二）
    - （三）

- 三〇　疑惑十五事
  - （一）
  - （二）
- 三一　惡作性十五事
  - （一）
  - （二）
- 三二　願不和十五事
  - （一）
  - （二）
- 三三　〔上項詳說〕
  - （一）
- 三四　〔舊比丘與客比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
- 三五　〔布薩日遷居〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 三六　〔不得讀誦波羅提木叉事〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 攝頌

- 第三　入雨安居犍度

- 誦品一　雨安居誦品（一～八）
  - 一　〔雨安居起源〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 二　〔入雨安居時期〕
    - （一）
    - （二）
  - 三　〔安居中不得遊行〕
    - （一）
    - （二）
  - 四　〔不得不入安居〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 五　〔三例外〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
    - （九）
    - （一〇）
    - （一一）
    - （一二）
    - （一三）
  - 六　〔三例外〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）

- （九）
- （一〇）
- （一一）
- （一二）
- （一三）
- （一四）
- （一五）
- （一六）
- （一七）
- （一八）
- （一九）
- （二〇）
- （二一）
- （二二）
- （二三）
- （二四）
- （二五）
- （二六）
- （二七）
- （二八）
- （二九）

- 七　〔三例外〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
- 八　〔三例外〕
  - （一）

- 誦品二（九～一四）
- 九　〔續三例外〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）

- 一〇　〔續三例外〕
  - （一）
- 一一　〔續三例外〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
- 一二　〔安居之處〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
- 一三　〔安居中出家〕
  - （一）
  - （二）
- 一四　〔安居之約〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）

- （九）
- （一〇）
- （一一）
- 攝頌

- 第四　自恣犍度
  - 誦品一（一～六）
    - 一　〔自恣起源〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
      - （一〇）
      - （一一）
      - （一二）
      - （一三）
      - （一四）
    - 二　〔自恣時應蹲踞〕
      - （一）
      - （二）
    - 三　〔自恣日〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
    - 四　〔自恣被捕之比丘〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
    - 五　〔五乃至一比丘〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）

- （四）
- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- 六　〔罪〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 誦品二（七～一八）
  - 七　無罪十五事
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
  - 八～一三　以別眾為別眾十五事、疑惑十五事、惡作性十一事、願不和十五事、〔上項詳說〕、〔舊比丘與客比丘〕
  - 一四　〔不得行自恣〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
  - 一五　〔自恣危害〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
  - 一六　〔禁自恣事〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）

- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）
- （一一）
- （一二）
- （一三）
- （一四）
- （一五）
- （一六）
- （一七）
- （一八）
- （一九）
- （二〇）
- （二一）
- （二二）
- （二三）
- （二四）
- （二五）
- （二六）

- 一七　〔諍訟比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
- 一八　〔和合比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）

- （五）
- （六）
- 攝頌
- 第五　皮革犍度
  - 誦品（一～一三）
    - 一　〔首樓那二十億之出家及許履〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
      - （一〇）
      - （一一）
      - （一二）
      - （一三）
      - （一四）
      - （一五）
      - （一六）
      - （一七）
      - （一八）
      - （一九）
      - （二〇）
      - （二一）
      - （二二）
      - （二三）
      - （二四）
      - （二五）
      - （二六）
      - （二七）
      - （二八）
      - （二九）
      - （三〇）
    - 二　〔禁種種履〕
      - （一）

- （二）
- （三）
- （四）
- 三　〔許舊履〕
  - （一）
  - （二）
- 四　〔禁履〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 五　〔傷足比丘〕
  - （一）
  - （二）
- 六　〔禁木履〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 七　〔禁種種履〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 八　〔禁種種履〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 九　〔禁戲牛、車〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 一〇　〔乘車及獸皮牀具〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）

- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）
- 一一　〔皮革之使用〕
  - （一）
- 一二　〔著履入村〕
  - （一）
- 一三　〔首樓那億耳〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
- 攝頌

- 第六　藥犍度
  - 誦品一　藥法（一～一五）
    - 一　〔五種藥〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
    - 二　〔種種藥〕
      - （一）
      - （二）
    - 三　〔種種藥〕
      - （一）
      - （二）
    - 四　〔種種藥〕

- （一）
- 五　〔種種藥〕
  - （一）
- 六　〔種種藥〕
  - （一）
- 七　〔種種藥〕
  - （一）
- 八　〔種種藥〕
  - （一）
- 九　〔藥粉〕
  - （一）
  - （二）
- 一〇　〔藥粉及生肉生血〕
  - （一）
  - （二）
- 一一　〔塗藥香料〕
  - （一）
  - （二）
- 一二　〔塗藥筐〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 一三　〔畢鄰陀婆蹉〕
  - （一）
  - （二）
- 一四　〔畢鄰陀婆蹉〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
- 一五　〔畢鄰陀婆蹉〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）

- （四）
- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）

- 誦品二　隸車人（一六～三〇）
  - 一六　〔疑離越〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 一七　〔藏於屋內等〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
    - （九）
  - 一八　〔新胡麻蜜〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
  - 一九　〔跋難陀〕
    - （一）
    - （二）
  - 二〇　〔蓮根〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
  - 二一　〔果實〕
    - （一）
  - 二二　〔刀法〕

- （一）
- （二）
- （三）
- （四）
- 二三　〔蘇卑供養及肉食〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
  - （一四）
  - （一五）
- 二四　〔粥與蜜丸〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
- 二五　〔粥食〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
- 二六　〔毘羅吒迦旃供養砂糖〕
  - （一）

- （二）
- （三）
- （四）
- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）

- 二七　〔砂糖〕
  - （一）
- 二八　〔巴連弗邑居士及摩竭國之二大臣〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
- 二九　〔拘利村〕
  - （一）
  - （二）
- 三〇　〔淫女菴婆婆梨與隸車人〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）

- 誦品三　二十四事（三一～三三）
  - 三一　〔私呵將軍〕
    - （一）
    - （二）

- （三）
- （四）
- （五）
- （六）
- （七）
- （八）
- （九）
- （一〇）
- （一一）
- （一二）
- （一三）
- （一四）

- 三二　〔廢止一七～二〇〕
  - （一）
  - （二）
- 三三　〔相應地〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）

- 誦品四（三四～四〇）
- 三四　〔旻荼居士〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
  - （一四）
  - （一五）

- （一六）
- （一七）
- （一八）
- （一九）
- （二〇）
- （二一）

- 三五　〔翅〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
- 三六　〔盧夷〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
- 三七　〔老出家〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 三八　〔果實〕
  - （一）
- 三九　〔種子〕
  - （一）
- 四〇　〔許不許及時分藥等〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）

- 攝頌
- 第七　迦絺那衣犍度
  - 誦品一　所持（一～七）
    - 一　〔波利邑比丘與迦絺衣之制定〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
    - 二　持七事
      - （一）
      - （二）
    - 三　受持七事
      - （一）
      - （二）
    - 四　持六事
      - （一）
    - 五　受持六事
      - （一）
    - 六　〔捨迦絺那衣〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
    - 七　〔捨迦絺那衣〕
      - （一）
  - 誦品二（八～一三）
    - 八　非望十二事
      - （一）
      - （二）
      - （三）
    - 九　望十二事
      - （一）
      - （二）
      - （三）
    - 一〇　有事十二事

- （一）
- （二）
- （三）
- 一一　儲藏九事
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 一二　安樂住處五事
  - （一）
- 一三　〔造絺那衣之執受〕
  - （一）
  - （二）
- 攝頌

- 第八　衣犍度
  - 誦品一（一）
    - 一　〔受衣〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
      - （一〇）
      - （一一）
      - （一二）
      - （一三）
      - （一四）
      - （一五）
      - （一六）
      - （一七）
      - （一八）
      - （一九）
      - （二〇）
      - （二一）
      - （二二）

- （二三）
- （二四）
- （二五）
- （二六）
- （二七）
- （二八）
- （二九）
- （三〇）
- （三一）
- （三二）
- （三三）
- （三四）
- （三五）
- （三六）

- 誦品二　毗舍佉（二～一五）
  - 二　〔受衣〕
    - （一）
  - 三　〔受衣〕
    - （一）
    - （二）
  - 四　〔糞掃衣〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
  - 五　〔衣之受納人〕
    - （一）
    - （二）
  - 六　〔衣之收藏人〕
    - （一）
    - （二）
  - 七　〔衣庫〕
    - （一）
    - （二）
  - 八　〔守庫人〕
    - （一）
    - （二）

- 九　〔衣之分配〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 一〇　〔染料〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 一一　〔染法〕
  - （一）
  - （二）
- 一二　〔三衣製法〕
  - （一）
  - （二）
- 一三　〔三衣制定〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
- 一四　〔補綴〕
  - （一）
  - （二）
- 一五　〔毘舍佉鹿母之供養〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）

- （一一）
- （一二）
- （一三）
- （一四）
- （一五）

- 誦品三（一六～三二）
  - 一六　〔夢〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
  - 一七　〔覆瘡布〕
    - （一）
  - 一八　〔擦面巾〕
    - （一）
  - 一九　〔委託〕
    - （一）
  - 二〇　〔個人所有與僧伽所有〕
    - （一）
    - （二）
  - 二一　〔說三衣製法〕
    - （一）
    - （二）
  - 二二　〔與父母〕
    - （一）
  - 二三　〔說脫三衣〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 二四　〔施僧伽〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
  - 二五　〔跋難陀〕
    - （一）

- （二）
- （三）
- （四）
- 二六　〔病比丘與看病比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
- 二七　〔圓寂比丘之衣鉢〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 二八　〔裸形及種種衣〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 二九　〔種種衣〕
  - （一）
- 三〇　〔說衣之分配〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
- 三一　〔親厚意〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 三二　〔與衣〕
  - （一）
- 攝頌

- 第九　瞻波犍度
  - 誦品一　婆娑婆村（一～四）
    - 一　〔迦葉姓比丘〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
    - 二　〔非法別眾等羯磨〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
    - 三　〔非法別眾等羯磨〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
    - 四　〔五種僧伽羯磨〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
      - （一〇）

- （一一）
- 誦品二　優波離所問（五～六）
  - 五　〔不見罪等羯磨〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
    - （九）
  - 六　〔優波離所問〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
    - （九）
- 誦品三（七）
  - 七　〔非法別眾等羯磨之種種情形〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
    - （九）
    - （一〇）
    - （一一）
    - （一二）
    - （一三）
    - （一四）

- （一五）
- （一六）
- （一七）
- （一八）
- （一九）
- （二〇）
- 攝頌

- 第十　憍賞彌犍度
  - 誦品一　長生王子（一～二）
    - 一　〔憍賞彌比丘之分裂〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
      - （一〇）
    - 二　〔憍賞彌比丘之分裂〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
      - （一〇）
      - （一一）
      - （一二）
      - （一三）
      - （一四）
      - （一五）
      - （一六）
      - （一七）

        - （一八）
        - （一九）
        - （二〇）
    - 誦品二（三～六）
        - 三　〔佛偈〕
            - （一）
        - 四　〔婆咎等〕
            - （一）
            - （二）
            - （三）
            - （四）
            - （五）
            - （六）
            - （七）
        - 五　〔憍賞比丘之和合〕
            - （一）
            - （二）
            - （三）
            - （四）
            - （五）
            - （六）
            - （七）
            - （八）
            - （九）
            - （一〇）
            - （一一）
            - （一二）
            - （一三）
            - （一四）
        - 六　〔優波離所問〕
            - （一）
            - （二）
            - （三）
    - 攝頌
- 小品
    - 第一　羯磨犍度
        - 誦品一　呵責羯磨（一～八）
            - 一　〔因緣〕

- （一）
- （二）
- （三）
- （四）
- 二　非法羯磨十二事
  - （一）
- 三　如法羯磨十二事
  - （一）
- 四　「若欲者」六事
  - （一）
  - （二）
- 五　呵責羯磨十八事
  - （一）
- 六　不得解十八事
  - （一）
  - （二）
- 七　可解十八事
  - （一）
- 八　〔解除〕
  - （一）
- 誦品二　依止羯磨（九～一二）
  - 九　〔因緣〕
    - （一）
    - （二）
  - 一〇　依止羯磨十八事
    - （一）
  - 一一　可解十八事
    - （一）
    - （二）
  - 一二　〔解除〕
    - （一）
    - （二）
- 誦品三　驅出羯磨（一三～一七）
  - 一三　〔因緣〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）

- （五）
- （六）
- （七）
- 一四　〔非法羯磨乃至若欲者〕
  - （一）
  - （二）
- 一五　驅出羯磨十八事
  - （一）
- 一六　不得解十八事
  - （一）
  - （二）
- 一七　〔解除〕
  - （一）
  - （二）

- 誦品四　下意羯磨（一八～二四）
  - 一八　〔因緣〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
  - 一九　〔非法羯磨乃至若欲者〕
    - （一）
  - 二〇　若欲者二十事
    - （一）
  - 二一　下章羯磨十八事
    - （一）
  - 二二　〔同伴比丘〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 二三　可解十八事
    - （一）
    - （二）
  - 二四　〔解除〕
    - （一）
- 誦品五　依不見罪之舉罪羯磨（二五～三〇）

- 二五　〔因緣〕
  - （一）
  - （二）
- 二六　「非法羯磨乃至若欲者」六事
  - （一）
- 二七　舉罪羯磨四十三事
  - （一）
- 二八　不得解四十三事
  - （一）
  - （二）
- 二九　可解四十三事
  - （一）
- 三〇　〔解除〕
  - （一）
- 誦品六　依不懺悔罪之舉罪羯磨（三一）
  - 三一
    - （一）
- 誦品七　依不捨惡見之舉罪羯磨（三二～三五）
  - 三二　〔因緣〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
  - 三三　十八事
    - （一）
  - 三四　可解十八事
    - （一）
    - （二）
  - 三五　〔解除〕
    - （一）
- 攝頌

- 第二　別住犍度
  - 誦品（一～九）
    - 一　別住行法
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）

- 二　別住行法
  - （一）
- 三　別住行法
  - （一）
  - （二）
- 四　〔應受本日治比丘之行法〕
  - （一）
- 五　〔當受摩那埵比丘之行法〕
  - （一）
- 六　〔受摩那埵比丘之行法〕
  - （一）
- 七　〔受摩那埵比丘之行法〕
  - （一）
- 八　〔受摩那埵比丘之行法〕
  - （一）
- 九　〔當受出罪比丘之行法〕
  - （一）
- 攝頌

第三　集犍度

- 誦品（一～五六）
  - 一　〔摩那埵〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 二　〔出罪〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 三　〔別住〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 四　〔摩那埵〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 五　〔出罪〕
    - （一）

- （二）
- （三）
- 六　〔別住〕
  - （一）
- 七　〔本日治〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 八　〔本日治〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 九　〔摩那埵〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 一〇　〔本日治和摩那埵〕
  - （一）
- 一一　〔本日治和摩那埵〕
  - （一）
- 一二　〔出罪〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 一三　〔覆藏半月〕
  - （一）
- 一四　〔本日治和合一別住〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 一五　〔本日治和合一別住〕
  - （一）
- 一六　〔摩那埵〕
  - （一）
- 一七　〔本日治、合一別住和摩那埵〕
  - （一）
- 一八　〔本日治、合一別住和摩那埵〕
  - （一）

- 一九　〔出罪〕
  - （一）
- 二〇　〔合一別住〕
  - （一）
  - （二）
- 二一　〔合一別住〕
  - （一）
- 二二　〔二月別住〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 二三　〔二月別住〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
- 二四　〔第二月別住〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 二五　〔第二月別住〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 二六　〔清淨邊別住〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 二七　四十事
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）

- 二八　三十六事
  - （一）
  - （二）
- 二九　摩那埵百事
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 三〇　摩那埵百事
  - （一）
- 三一　〔中途還俗等〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 三二　〔中途還俗等〕
  - （一）
- 三三　〔中途還俗等〕
  - （一）
- 三四　〔二比丘〕
  - （一）
  - （二）
- 三五　根本未清淨九事
  - （一）
  - （二）
- 三六　〔未清淨和清淨〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 攝頌

- 第四　滅諍犍度
  - 誦品（一～一四）
    - 一　〔六群比丘之非法羯磨〕
      - （一）
    - 二　黑分九事
      - （一）
    - 三　白分九事

- （一）
- 四　〔憶念毘尼〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
- 五　〔不癡毘尼〕
  - （一）
  - （二）
- 六　〔不癡毘尼〕
  - （一）
  - （二）
- 七　〔自言〕
  - （一）
- 八　〔自言〕
  - （一）
  - （二）
- 九　〔多覓毘尼〕
  - （一）
- 一〇　〔行籌之非法與如法〕
  - （一）
  - （二）
- 一一　〔覓罪相羯磨〕
  - （一）
  - （二）
- 一二　〔覓罪相羯磨〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）

- 一三　〔如草覆地法〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 一四　〔諍事之種種情況〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
  - （一二）
  - （一三）
  - （一四）
  - （一五）
  - （一六）
  - （一七）
  - （一八）
  - （一九）
  - （二〇）
  - （二一）
  - （二二）
  - （二三）
  - （二四）
  - （二五）
  - （二六）
  - （二七）
  - （二八）
  - （二九）
  - （三〇）
  - （三一）
  - （三二）

- （三三）
- （三四）

- 第五　小事犍度
  - 誦品一及誦品二（一～二一）
    - 一　〔沐浴之資具〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
    - 二　〔裝飾身〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
    - 三　〔讀誦〕
      - （一）
      - （二）
    - 四　〔毛衣〕
      - （一）
    - 五　〔菴婆果〕
      - （一）
      - （二）
    - 六　〔對蛇之護咒〕
      - （一）
    - 七　〔斷男根〕
      - （一）
    - 八　〔栴檀木鉢〕
      - （一）
      - （二）
    - 九　〔鉢〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）

- 一〇　〔瓠壺〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 一一　〔衣〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
- 一二　〔袋〕
  - （一）
- 一三　〔濾水囊及其他〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 一四　〔經行及溫浴〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 一五　〔裸形〕
  - （一）
- 一六　〔浴用暖房〕
  - （一）
  - （二）
- 一七　〔沐浴〕
  - （一）
  - （二）
- 一八　〔六群比丘〕
  - （一）
- 一九　〔氈布、枕及其他〕
  - （一）
  - （二）
- 二〇　〔覆鉢〕

        - （一）
        - （二）
        - （三）
        - （四）
        - （五）
        - （六）
        - （七）
    - 二一　〔踏布〕
        - （一）
        - （二）
        - （三）
        - （四）
- 誦品三（二二～三七）
    - 二二　〔毘舍佉鹿母〕
        - （一）
        - （二）
    - 二三　〔蚊拂及其他〕
        - （一）
        - （二）
        - （三）
    - 二四　〔杖與網袋〕
        - （一）
        - （二）
        - （三）
    - 二五　〔反芻〕
        - （一）
    - 二六　〔落食〕
        - （一）
    - 二七　〔爪、髮及其他〕
        - （一）
        - （二）
        - （三）
        - （四）
        - （五）
        - （六）
    - 二八　〔金屬器及其他〕
        - （一）
        - （二）

- 二九　〔腰帶〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
- 三〇　〔天秤棒〕
  - （一）
- 三一　〔楊枝〕
  - （一）
  - （二）
- 三二　〔草木〕
  - （一）
  - （二）
- 三三　〔雅語及其他〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 三四　〔蒜〕
  - （一）
  - （二）
- 三五　〔大、小便所〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
- 三六　〔非行〕
  - （一）
- 三七　〔器物〕
  - （一）
- 攝頌

- 第六　臥坐具犍度
  - 誦品一（一～三）
    - 一　〔建立精舍之因緣〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）

- （五）
- 二　〔精舍之家具〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
- 三　〔壁、牀及其他〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）
  - （七）
  - （八）
  - （九）
  - （一〇）
  - （一一）
- 誦品二（四～一一）
  - 四　〔給孤獨居士之歸依〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
    - （九）
    - （一〇）
  - 五　〔營事〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 六　〔第一座、第一水及第一食〕

- （一）
- （二）
- （三）
- （四）
- （五）
- 七　〔為僧伽所調之廷堂〕
  - （一）
- 八　〔高牀大牀〕
  - （一）
- 九　〔祇樹林〕
  - （一）
  - （二）
- 一〇　〔僧次食之座〕
  - （一）
  - （二）
- 一一　〔分臥坐具人〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）

- 誦品三（一二～二一）
  - 一二　〔一人取二臥坐具〕
    - （一）
  - 一三　〔優波離持徑〕
    - （一）
    - （二）
  - 一四　〔殿樓與不相應物〕
    - （一）
  - 一五　〔不可捨物〕
    - （一）
    - （二）
  - 一六　〔不可分物〕
    - （一）
    - （二）
  - 一七　〔與營事〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）

- 一八　〔移臥坐具〕
  - （一）
- 一九　〔臥坐具之資具〕
  - （一）
- 二〇　〔踏臥坐具〕
  - （一）
  - （二）
- 二一　〔食事及其他之差配〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）

- 攝頌

- 第七　破僧犍度
  - 誦品一（一～二）
    - 一　〔釋種諸童子出家〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
    - 二　〔提婆達多與阿闍世王〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
  - 誦品二（三）
    - 三　〔提婆達多之暴戾〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）

- （一〇）
- （一一）
- （一二）
- （一三）
- （一四）
- （一五）
- （一六）
- （一七）

- 誦品三（四～五）
  - 四　〔提婆達多之破僧〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
  - 五　〔優波離所聞〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
  - 攝頌

- 第八　儀法犍度
  - 誦品一（一～四）
    - 一　〔客比丘〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
    - 二　〔舊比丘〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）

- 三　〔遠行比丘〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
- 四　〔食堂〕
  - （一）
  - （二）
  - （三）
  - （四）
  - （五）
  - （六）

- 誦品二（五～一二）
  - 五　〔乞食比丘〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 六　〔阿蘭若比丘〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 七　〔臥坐具〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
  - 八　〔浴用暖房〕
    - （一）
    - （二）
  - 九　〔洗淨〕
    - （一）
  - 一〇　〔大、小便〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 一一　〔弟子〕
    - （一）
    - （二）
  - 一二　〔和尚〕

- （一）
- （二）
- 誦品三（一三～一四）
  - 一三　〔侍者〕
    - （一）
  - 一四　〔阿闍梨〕
    - （一）
  - 攝頌
- 第九　遮說戒犍度
  - 誦品一（一～三）
    - 二
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
    - 二
      - （一）
    - 三
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
  - 誦品二（四～五）
    - 四
      - （一）
    - 五
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）

- 攝頌
- 第十　比丘尼犍度
  - 誦品一（一～八）
    - 一　比丘尼八敬法
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
    - 二　〔諸釋女之出家〕
      - （一）
      - （二）
    - 三　〔對女人敬禮等〕
      - （一）
    - 四　〔比丘尼之學處〕
      - （一）
    - 五　〔摩訶波闍波提瞿曇彌所問〕
      - （一）
    - 六　〔說戒及其他〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
    - 七　〔滅諍〕
      - （一）
    - 八　〔蓮華色比丘尼〕
      - （一）
  - 誦品二（九～一六）
    - 九　〔比丘與比丘尼〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
    - 一〇　〔裝飾身〕
      - （一）
      - （二）
      - （三）

- （四）
- （五）
- 一一　〔資具〕
  - （一）
- 一二　〔摩羅女〕
  - （一）
- 一三　〔鉢中之胎兒〕
  - （一）
  - （二）
- 一四　〔男根〕
  - （一）
- 一五　〔飲食〕
  - （一）
  - （二）
- 一六　〔臥坐具〕
  - （一）
  - （二）

- 誦品三（一七～二七）
  - 一七　〔二十四障法〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
    - （四）
    - （五）
    - （六）
    - （七）
    - （八）
  - 一八　〔座之次序〕
    - （一）
  - 一九　〔自恣〕
    - （一）
    - （二）
    - （三）
  - 二〇　〔比丘與比丘尼〕
    - （一）
  - 二一　〔車乘〕
    - （一）
  - 二二　〔受使比丘尼〕

        - （一）
        - （二）
        - （三）
      - 二三　〔阿蘭若〕
        - （一）
      - 二四　〔小屋及其他〕
        - （一）
      - 二五　〔隨伴比丘尼〕
        - （一）
        - （二）
        - （三）
      - 二六　〔還俗及其他〕
        - （一）
        - （二）
      - 二七　〔雜法〕
        - （一）
        - （二）
        - （三）
        - （四）
    - 攝頌
- 第十一　五百〔結集〕犍度
  - 誦品（一）
    - 一
      - （一）
      - （二）
      - （三）
      - （四）
      - （五）
      - （六）
      - （七）
      - （八）
      - （九）
      - （一〇）
      - （一一）
      - （一二）
      - （一三）
      - （一四）
      - （一五）

        - （一六）
    - 攝頌
- 第十二　七百〔結集〕犍度
    - 誦品一（一）
        - 一
            - （一）
            - （二）
            - （三）
            - （四）
            - （五）
            - （六）
            - （七）
            - （八）
            - （九）
            - （一〇）
    - 誦品二（二）
        - 二
            - （一）
            - （二）
            - （三）
            - （四）
            - （五）
            - （六）
            - （七）
            - （八）
            - （九）
    - 攝頌
- 卷目次
- 贊助資訊

編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2025.R3」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 3.0 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示（黑白色系版本則無顏色差別）。
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

歸命彼世尊　應供等正覺

第一　大犍度

一

（一）

爾時佛世尊初成現等覺，止優樓頻螺〔村〕，尼連禪河邊菩提樹下。時世尊于菩提樹下，一度結跏趺坐，坐受七日解脫樂。

（二）

時，世尊是夜初分，于緣起順逆作意。〔謂：〕無明緣行，行緣識，識緣名色，名色緣六處，六處緣觸，觸緣受，受緣愛，愛緣取，取緣有，有緣生，生緣老、死、愁、憂悲、苦、惱。如是集起一切苦蘊。又無明滅盡，則行滅，行滅則識滅，識滅則名色滅，名色滅則六處滅，六處滅則觸滅，觸滅則受滅，受滅則愛滅，愛滅則取滅，取滅則有滅，有滅則生滅，生滅則老、死、愁、憂悲、苦、惱滅。如是滅盡一切苦蘊。

（三）

時，世尊了知此義，即于此時自唱頌曰：

力行靜慮婆羅門
若是顯現諸法者
了知有因諸法故
滅彼一切疑惑盡

（四）

時，世尊其夜中分，于緣起順逆作意。〔謂：〕無明緣行，行緣識，識緣名色……乃至……如是集起一切苦蘊……乃至滅盡……。

（五）

時，世尊了知此義，即于此時自唱頌曰：

力行靜慮婆羅門
若是顯現諸法者
了知滅盡諸緣故
滅彼一切疑惑盡

（六）

時，世尊其夜後分，于緣起順逆作意。〔謂：〕無明緣行，行緣識……乃至……如是集起一切苦蘊。……乃至滅盡……。

（七）

時，世尊了知此義，即于此時自唱頌曰：

力行靜慮婆羅門
若是顯現諸法者
則彼端立破魔軍
猶如照虛空日輪

———菩提〔樹下〕因緣終———

二

（一）

時，世尊過七日後，從三昧起，離菩提樹下，往阿闍波羅榕樹處。往已，于阿闍波羅榕樹下，一度結跏趺坐，坐受七日解脫樂。

（二）

時，有一傲慢婆羅門，詣世尊住處。詣已，與世尊交談慶慰、歡喜、感銘之言，而立一面。于一面立已，彼婆羅門白世尊曰：「汝瞿曇！依何為婆羅門？以何成為婆羅門法耶？」

（三）

時，世尊了知此義，即于此時自唱頌曰：

婆羅門若除惡法
無慢無濁但自制
通達吠陀成梵行
是得自稱婆羅門
如彼世間無多人

———阿闍波羅〔榕樹下〕因緣終———

三

（一）

時，世尊過七日後，從三昧起，離阿闍波羅榕樹下，往目支鄰陀樹處。往已，于目支鄰陀樹下，一度結跏趺坐，坐受七日解脫樂。

（二）

此際，不時起大雲，連續降雨七日，天陰風起，空氣流寒。時，目支鄰陀龍王，從己棲處出，局蜷七匝，繞世尊身，舉巨首覆〔世尊〕頭而立，〔心中念言：〕「毋寒世尊，毋熱世尊，虻、蚊、風、熱、蛇毋觸世尊。」

（三）

時，目支鄰陀龍王，過七日後，見雨止而空中清明，從世尊身解去局蜷，捨去本形，化孺童相，合掌立世尊前，歸依世尊。

（四）

時，世尊了知此義，即于此時自唱頌曰：

樂知足聞法　並見法遠離
樂于世無瞋　于有情制御
樂于世離貪　並超越諸欲
調伏我慢者　此為最上樂

———目支鄰陀
〔樹下〕因緣終
———

四

（一）

時，世尊過七日後，從三昧起，離目支鄰陀樹下，往羅閦耶他那樹處。往已，于羅閦耶他那樹下，一度結跏趺坐，坐受七日解脫樂。

（二）

爾時，多富沙與婆梨迦二商人從鬱迦羅〔村〕，來至此地路上。時，多富沙與婆梨迦二商人〔有于前生〕具親族血緣一鬼神，告多富沙、婆梨迦二商人曰：「諸兄！世尊于此初成現等覺，在羅閦耶他那樹下。汝等應以麨子、蜜丸往供彼世尊。將于長夜得其利益、安樂。」

（三）

時，多富沙、婆梨迦二商人即持麨子、蜜丸，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，于一面立。一面立已，多富沙、婆梨迦二商人白世尊言：「願世尊受我等麨子及蜜丸，使我等于長夜得其利益、安樂。」

（四）

時，世尊心生思念：「諸如來不以手受，我當以何〔器〕受麨子、蜜丸耶？」時，有四大天王，以心知世尊念處，分從四方來獻世尊四石鉢〔曰〕：「世尊！請以此〔器〕受麨子、蜜丸。」世尊受此新石鉢，受麨子、蜜丸而食。

（五）

時，多富沙、婆梨迦二商人見世尊洗鉢及手已，以頭面禮世尊足，白世尊曰：「我等于此歸依世尊與法，願世尊容我等從今日起至命終止為優婆塞。」彼等于世間，初唱二歸依為優婆塞。

———羅閦耶他那〔樹下〕因緣終———

五

（一）

時，世尊過七日後，從三昧起，離羅闍耶他那樹下，往阿闍波羅榕樹處。往已，于此，世尊住阿闍波羅榕樹下。

（二）

時，世尊于靜居宴默，心生思念：「我證得此法，甚深、難見、難解、寂靜、美妙，超尋思境而至微，唯智者所能知焉。然此眾生樂阿賴耶、欣阿賴耶、喜阿賴耶。而樂阿賴耶、欣阿賴耶、喜阿賴耶眾生，難見此緣依性、緣起處也。亦甚難見一切諸行寂止，一切緣依斷捨，渴愛滅盡，離、滅、涅槃處。我若說法，彼不了解我時，我唯疲勞、困憊而已。」

（三）

然而未曾聞稀有偈句，于世尊〔心中〕顯現：

我困苦所證　今為何應說
貪瞋所惱者　不易悟此法
導引逆世流　深微而難見
欲著癡闇覆　是人不得見

（四）

世尊如是思擇，心念默然，不欲說法。時，有索訶主梵天，心知世尊之所思念而念：「啊！世間敗壞！啊！世間敗壞！如來、應供、等正覺心念默然，不欲說法。」

（五）

時，索訶主梵天如力士屈伸臂，伸屈臂，〔迅〕沒梵界而現世尊前。

（六）

此時，索訶主梵天偏袒上衣一肩，右膝著地，合掌面世尊而白世尊曰：「願世尊說法！願善逝說法！有情有少塵垢者，若不聞法，即退墮；若〔聞〕法，即得悟也。」

（七）

索訶主梵天如此說，如此言已，且更說曰：

曾于摩竭國現前
垢穢所思不淨法
願欲弘開甘露門
令聞無垢所覺法
恰如壁立山頂峰
普見低處諸眾生
汝乃勝慧普眼者
昇登法所就高樓
自超憂苦望鑑臨
沈憂生老惱眾生
躍起雄者・戰勝者
商主債無遊世間
願請世尊為說法
能悟入者應有人

（八）

如是說時，世尊告索訶主梵天曰：「梵天！我心生思念：『我所證得此法，甚深、難見、難解……困憊而已。』然而，梵天！未曾聞稀有偈句，現于我〔心〕：『……覆〔不得見〕。』梵天！我如是思惟，心念默然，不欲說法！」

（九）

索訶主梵天重白世尊：「世尊！願為說法……應得了知！」世尊重告索訶主梵天曰：「我心生思念：『我所證得此法，甚深、難見、難解……困憊而已。』然而，梵天！未曾聞稀有偈句，現于我〔心〕：『……覆者〔不得見〕。』梵天！我如是思惟，心思默然，不欲說法！」

（一〇）

索訶主梵天三白世尊曰：「世尊！願為說法，……應得了知！」時，世尊因知梵天勸請，並哀愍有情，乃以佛眼觀察世間。世尊以佛眼觀察世間時，見有情有塵垢少者、塵垢多者、利根者、鈍根者、善行相者、惡行相者、易教導者、難教導者，有知他世與罪過之怖畏而住者。

（一一）

譬如于青蓮池、赤蓮池、白蓮池；或如青蓮、赤蓮、白蓮有生于水中，長于水中，不出水面，沈于水中而繁茂者；或如青蓮、赤蓮、白蓮有生于水中，長于水中，住于水面者；或如青蓮、赤蓮、白蓮有生于水中，長于水中，出住水面，不為水所染者。

（一二）

如是世尊以佛眼觀察世間，見有情有塵垢少者、塵垢多者、利根者、鈍根者、善行相者，惡行相者、易教導者、難教導者，有知他世與罪過之怖畏而住者。見已，以偈〔告〕索訶主梵天曰：

有耳得聞甘露門
聞時棄捨昔所信
思欲嬈惑惱害者
不為演說妙法音

（一三）

時，索訶主梵天已知「世尊許為說法」，敬禮世尊，右繞而沒其處。

———梵天勸請
因緣終———

六

（一）

時，世尊心生思念：「我應為誰先說法耶？誰〔能〕速悟此法耶？」時，世尊心生思念：「彼阿羅邏迦羅摩賢明、聰敏、伶俐，長夜甚少塵垢，我宜先為阿羅邏迦羅摩說法，彼將速悟此法。」

（二）

時，有天不顯身，白世尊：「阿羅邏迦羅摩，已命終七日矣。」世尊亦自知「阿羅邏迦羅摩已命終七日。」時，世尊心生思念：「阿羅邏迦羅摩是大損失，彼若聞此法，當速悟也。」

（三）

時，世尊心生思念：「我應先為誰說法耶？誰能速悟此法耶？」時，世尊心生思念：「鬱陀迦羅摩子賢明、聰敏、伶俐，長夜甚少塵垢也，我宜先為鬱陀迦羅摩子說法，彼將速悟此法。」

（四）

時，有天不顯身，白世尊：「鬱陀迦羅摩子于昨夜命終矣。」世尊亦自知「鬱陀迦羅摩子于昨夜命終。」時，世尊心生思念：「鬱陀迦羅摩子是大損失，彼若聞此法，當速悟也。」

（五）

時，世尊心生思念：「我應先為誰說法耶？誰能速悟此法耶？」時，世尊心生思念：「五比丘為我多所饒益，于我專心精進時，承事于我，我宜先為五比丘說法。」

（六）

時，世尊心生思念：「五比丘今在何處耶？」世尊以清淨超人天眼，見五比丘在波羅榇國仙人墮處之鹿野苑。時，世尊于隨意間住優樓頻螺後，向波羅榇遊行。

（七）

有邪命外道優波迦，見世尊在迦耶與菩提樹途中。見已，白世尊：「汝諸根清淨，汝膚色清淨皎潔，汝依誰出家耶？以誰為汝師？愛樂誰之法耶？」

（八）

彼如是言時，世尊以偈告優波迦曰：

一切勝者一切知
我不污染一切法
渴愛解脫離一切
自證知須法誰人
于我無有師　無有等我者
人天等世間　無與我比倫
此世間應供　我為無上師
我獨等正覺　而清涼寂靜
乃為轉法輪　赴迦尸都城
于盲闇世間　擊彼甘露鼓

（九）

〔優波迦言：〕「如汝自稱，汝適為無邊勝者。」〔世尊以偈曰〕：

若得諸漏悉滅盡
即與我同為勝者
勝諸惡法．優波迦
是故我乃為勝者

如是說時，邪命外道優波迦言：「或然。」搖頭取別路離去。

（一〇）

時，世尊次第遊行至波羅榇國仙人墮處鹿野苑，近五比丘住處。五比丘從遠方見世尊來，見而相約言：「從彼處來者是沙門瞿曇，彼奢侈而棄精進，墮于奢侈。勿禮彼，勿起迎，勿取彼衣鉢，但為設座，彼若欲時得就坐。」

（一一）

世尊漸臨近五比丘，五比丘即不守己約，起迎世尊。或取世尊衣鉢，或與設座，或持來洗足水、足臺、足布。世尊坐于所設座上，就坐已，世尊洗足，而〔五比丘〕以「卿」稱呼世尊。

（一二）

彼等如是稱呼時，世尊即告五比丘曰：「諸比丘！汝等切勿以名、以『卿』稱呼如來。諸比丘！如來是應供等正覺。諸比丘！諦聽！證得不死已，我應教誨，我應說法。隨所教而行者，不久必能于現法自證、現證，具足究竟無上梵行而住。此乃善男子離家、出家之本懷也。」

（一三）

如是說時，五比丘白世尊言：「瞿曇！汝以彼行、彼道、彼難行，尚未證得上人法、至尊殊勝之智見。今汝奢侈棄精進，墮奢侈，如何能證得上人法、至尊殊勝智見耶？」

（一四）

如是說時，世尊告五比丘曰：「諸比丘！如來非奢侈而棄精進，非墮奢侈。諸比丘！如來乃應供等正覺也。諸比丘！諦聽！證得不死已，我應教誨，我應說法。隨所教而行者，不久必能于現法自證、現證，具足究竟無上梵行而住。此乃善男子離家、出家之本懷也。」

（一五）

五比丘重白世尊：「……乃至……」世尊重告五比丘曰：「……乃至……」五比丘三白世尊：「瞿曇！汝于彼行、彼道……〔何能證得〕至尊殊勝之智見耶？」

（一六）

如是言時，世尊告五比丘曰：「諸比丘！汝等于今以前知我有如是說否？」「否。」「諸比丘！如來乃應供等正覺也。〔諸比丘！〕諦聽……出家之本懷也。」世尊已說服五比丘。時，五比丘傾聽、善聽如來故，發了知心。

（一七）

時，世尊告五比丘曰：「諸比丘！于世有二邊，出家者不得親近。何為二耶？〔一〕于諸欲欣愛、貪著為事，乃下劣、卑賤凡夫所行，而非聖賢，無義相應也。〔二〕自以煩苦為事，乃苦而非賢聖，無義相應也。諸比丘！如來捨此二邊，以現等覺中道，為資眼生、智生、寂靜生、證智、等覺、涅槃者也。

（一八）

諸比丘！何為如來所現等覺，資眼生、智生、寂靜生、證智、等覺、涅槃中道耶？此即八聖道也！謂：正見、正思、正語、正業、正命、正精進、正念、正定。諸比丘！以此為如來所現等覺，資眼生、智生、寂靜生、證智、等覺、涅槃之中道也。

（一九）

諸比丘！苦聖諦者，如此：生苦、老苦、病苦、死苦、怨憎會苦、愛別離苦、求不得苦；略說之，五取蘊苦也。

（二〇）

諸比丘！苦集聖諦者，如此：持生後有，喜、貪俱行，隨處歡喜之渴愛。謂：欲愛、有愛、無有愛也。

（二一）

諸比丘！苦滅聖諦者，如此：無餘離滅、捨棄、定棄，解脫此渴愛而無執著也。

（二二）

諸比丘！苦滅道聖諦者，如此：即八聖道。謂：正見……正定也。

（二三）

諸比丘！『苦聖諦者如此』，于先未聞之法，于我眼生、智生、慧生、明生、光明生。諸比丘！應遍知此苦聖諦者……乃至……已遍知，于先未聞之法，于我眼生、智生、慧生、明生、光明生。

（二四）

諸比丘！『苦集聖諦者如此』……光明生。諸比丘！應斷此苦集聖諦……乃至……已斷……時……光明生。

（二五）

諸比丘！『苦滅聖諦者如此』時……光明生。諸比丘！應現證此苦滅聖諦，……乃至……已現證……光明生。

（二六）

諸比丘！『苦滅道聖諦者如此』……光明生。諸比丘！應修習此苦滅道聖諦……乃至……已修習……光明生。

（二七）

諸比丘！我于此四聖諦，以如此三轉十二行相，如實智見尚未為完全清淨期間，諸比丘！我于天、魔、梵天世界，沙門、婆羅門、人、天眾生界，不稱現等覺無上等正覺。

（二八）

諸比丘！然我于此四聖諦，以如此三轉十二行相，如實智見已完全清淨故，諸比丘！我于天、魔、梵天世界，沙門、婆羅門、人、天眾生界，稱現等覺無上等正覺。

（二九）

又于我智生、見我心解脫不動。此我最後生，不更受後有。」世尊如是說已，五比丘歡喜、信受世尊所說。又，〔世尊〕說此教時，具壽憍陳如生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（三〇）

世尊轉法輪時，地居諸天，發聲言曰：「如此世尊于波羅榇國仙人墮處鹿野苑，所轉無上法輪，是乃或沙門、或婆羅門、或天、或魔、或梵天、或世間任何人所不能復者。」聞地居諸天聲已，四天王諸天發聲言曰：……乃至……聞四天王諸天聲已，忉利諸天……乃至……焰摩諸天……乃至……兜率諸天……乃至……化樂諸天……乃至……他化自在諸天……乃至……梵身諸天發聲言曰：「如此世尊于波羅榇國仙人墮處鹿野苑，所轉無上法輪，是乃或沙門、或婆羅門、或天、或魔、或世間任何人所不能復者。」

（三一）

如是于彼剎那、須臾間，其聲乃至達彼梵天，劇烈動搖、震、撼此十千世界，無量廣大輝煌，超越諸天榮耀光明現于世間。時，世尊讚歎曰：「憍陳如悟矣！憍陳如悟矣。」由此，名具壽憍陳如曰阿若憍陳如！

（三二）

時，具壽阿若憍陳如已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「我唯願于世尊前，出家得具足戒。」世尊曰：「來！比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此，彼具壽具足戒也。

（三三）

時世尊說法、教導、教誡其餘比丘。于世尊說法、教導、教誡時，具壽婆頗及具壽跋提生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（三四）

彼等已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「我等唯願于世尊前，出家得具足戒。」世尊曰：「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此，彼諸具壽具足戒也。

（三五）

時，世尊食用彼等持來施物，並說法、教導、教誡其餘比丘曰：「三人比丘行乞食，以其所得供養六人。」

（三六）

時，世尊說法、教導、教誡時，具壽摩訶男與具壽阿說示生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（三七）

彼等已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「我等唯願于世尊前，出家得具足戒。」世尊曰：「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此，彼具壽等具足戒也。

（三八）

時，世尊告五比丘曰：「諸比丘！色無我。諸比丘！若色有我者，此色應不致病，于色應得謂：『我用此色，不用彼色。』諸比丘！然色無我故，色乃致病，于色不得謂：『我用此色，不用彼色。』

（三九）

受無我。諸比丘！若受有我者，此受應不致病，于受應得謂：『我用此受，不用彼受。』諸比丘！然受無我故，受乃致病，于受不得謂：『我用此受，不用彼受。』

（四〇）

想無我……乃至……行無我。諸比丘！若行有我者，此行應不致病，于行應得謂：『我用此行，不用彼行。』諸比丘！然行無我故，行乃致病，于行不得謂：『我用此行，不用彼行。』

（四一）

識無我。諸比丘！若此識有我者，此識應不致病，于識應得謂：『我用此識，不用彼識。』諸比丘！然識無我故，于識不得謂：『我用此識，不用彼識。』

（四二）

諸比丘！汝等于意云何，色常耶？無常耶？」「世尊！無常也！」「無常者，苦耶？樂耶？」「世尊！苦也！」「觀無常、苦、有變壞之法為『此是我所，此是我，此是本我自身。』然耶？」「世尊！不然！」

（四三）

「受……乃至……想……乃至……行……乃至……識常耶？無常耶？」「世尊！無常也！」「無常者，苦耶？樂耶？」「世尊！苦也！」「觀無常、苦、有變壞性之法為『此是我所，此是我，此是本我自身。』然耶？」「世尊！不然！」

（四四）

「是故，諸比丘！過去、未來、現在一切色，或內、或外、或粗、或細、或劣、或勝、或遠、或近，一切色，應以正慧如實如此觀察：此非我所，此非我，此非本我自身。

（四五）

過去、未來、現在一切受……乃至……想……乃至……行……乃至……識，或內、或外、或粗、或細、或劣、或勝、或遠、或近，一切識，應以正慧如實如此觀察：此非我所，此非我，此非本我自身。

（四六）

諸比丘！多聞聖聲聞，若如此觀察，則厭患色、厭患受、厭患想、厭患行、厭患識。若厭患，則離貪；若離貪，則解脫；解脫者，則『我已解脫』智生，知『我生已盡，梵行已立，所作已辦，不受後有。』」

（四七）

世尊如是說已，五比丘歡喜、信受世尊所說。又，〔世尊〕說此教時，五比丘無取，而由諸漏得心解脫。其時世間有六阿羅漢矣。

———誦品一

〔終〕———

七

（一）

爾時，波羅棕國有名耶舍者，為族姓子、長者子，富貴受寵溺。彼有三時殿，為：一冬、一夏、一雨季。彼于雨季堂殿，為不攙雜男子妓人圍繞侍奉。入雨季歷四月間，不下殿堂。時族姓子耶舍，被侍女圍繞備足沉迷五妙欲樂，彼先睡眠，而後侍女等亦睡，終夜燃燈。

（二）

時，族姓子耶舍先醒，見已睡眠中諸侍女，或置琵琶腋下、或置小鼓項畔、或置鼓于胸、或亂髮、或流涎，或寐語，如現丘塚。見已，彼生過患，其心決定住于厭離。時，族姓子耶舍，嘆而言：「厄哉！禍哉！」

（三）

時，族姓子耶舍，著黃金履趣向家門。諸非人開門言：「任何人皆勿妨害族姓子耶舍離家出家。」時，族姓子耶舍趣向城門，諸非人開門言：「任何人皆勿妨害族姓之子耶舍離家出家。」時，族姓子耶舍，乃向仙人墮處鹿野苑而去。

（四）

爾時，世尊早晨起而于露處經行。世尊見族姓子耶舍從遠處來。見即自經行處降，敷座而坐。時族姓子耶舍趨近世尊嘆曰：「厄哉！禍哉！」時，世尊告族姓子耶舍曰：「耶舍！此處無厄，此處無禍。耶舍！來！坐！我為汝說法。」

（五）

時，族姓子耶舍〔聞：〕「此處無厄，此處無禍。」歡喜踴躍，脫黃金履，詣世尊處。詣已，敬禮世尊，于一面坐。族姓子耶

舍于一面坐已，世尊為之次第說示，謂：施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染、出離功德。

（六）

知族姓子耶舍生堪任心、柔軟心、離障心、歡喜心、明淨心，世尊乃為開闡諸佛本真說法，〔謂：〕苦、集、滅、道。譬如清淨無有緇斑原布領受正色，如此族姓子耶舍，亦于其座，生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（七）

時，族姓子耶舍之母，上彼堂殿，不見族姓子耶舍，即至長者居士處。至已白長者居士曰：「居士！不見汝子耶舍。」時，長者居士即令使者乘馬遣往四方。自己趣向仙人墮處鹿野苑。長者居士見黃金履跡，見而追其踪跡。

（八）

世尊見長者居士由遠處來。見已世尊生如是思念：「我應現神通變化，使長者居士雖于此坐，但不見坐于此處之族姓子耶舍。」時，世尊即如是現神通變化。

（九）

時，長者居士詣世尊住處。詣已，白世尊曰：「世尊見族姓子耶舍否？」「啊！居士！請坐此處。若坐此處，汝或見族姓子耶舍坐此處。」時，長者居士〔念：〕「若坐此處，我即見族姓子耶舍坐于此處。」而歡喜踴躍，敬禮世尊，坐于一面。

（一〇）

長者居士，坐于一面時，世尊為之次第說示，謂：施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染、出離功德。知長者居士生堪任心、柔軟心、離障心、歡喜心、明淨心，世尊乃為開闡諸佛本真說法，〔謂：〕苦、集、滅、道。譬如清淨無有緇斑原布領受正色，如此長者居士亦于其座，生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。時，長者居士已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「妙哉！妙哉！譬如扶起倒者，如揭露覆者，如教迷者道，如暗中提舉燈火，令有眼者見色。如是，世尊亦以種種方便，顯示教法。我于此處歸依世尊、法及比丘眾，請世尊容我從今日起至命終止歸依為優婆塞。」彼乃世間始唱三歸依之優婆塞。

（一一）

時，為其父說法時，族姓子耶舍，隨觀、隨知，以觀察地，其心無取，由諸漏得解脫。時，世尊心生思念：「為其父說法時，族姓子耶舍隨觀、隨知，以觀察地，其心無取，由諸漏得心解脫。族姓子耶舍不能還俗，如前在家時享受諸欲樂。我應止神通變化。」時，世尊即止神通變化。

（一二）

長者居士見族姓子耶舍已坐所座，見已，告族姓子耶舍曰：「汝耶舍！汝母充滿悲憂，勿使母死。」

（一三）

時，族姓子耶舍瞻視世尊。時，世尊告長者居士曰：「居士！汝意云何？耶舍以有學智、以有學見，觀法猶如汝也。彼隨觀、隨知以觀察地，其心無取，由諸漏得心解脫。居士！耶舍應得還俗，享受如前在家時諸欲樂否？」「否！」「居士！族姓子耶舍，以有

學智、以有學見，觀法猶如汝也。彼隨觀、隨知以觀察地，其心無取，由諸漏得心解脫。居士！族姓子耶舍不能還俗而享受如前在家時之諸欲樂。」

（一四）

「族姓子耶舍其心無取，由諸漏得心解脫，族姓子耶舍之利也，族姓子耶舍之妙利也。世尊！願受我請，今日與我進食，令族姓子耶舍隨從沙門。」世尊默然受請。時，長者居士知世尊受請，即從坐起，敬禮世尊，右繞而去。

（一五）

時，長者居士離去未久，族姓子耶舍白世尊曰：「我唯願于世尊前出家，得具足戒。」世尊曰：「來！比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行！」此，彼具壽具足戒也。其時，世間有七阿羅漢。

———耶舍出家
〔因緣〕終
———

八

（一）

時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，以具壽耶舍為隨從沙門，往長者居士住處。往已，坐所設座。時，具壽耶舍母與原妻，詣世尊處。詣已敬禮世尊，坐于一面。

（二）

世尊乃為彼等次第說示，謂：施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染、出離功德。世尊知彼等生起堪任心、柔軟心、離障心、歡喜心，開闡諸佛本真說法，〔謂：〕苦、集、滅、道。譬如清淨無有緇斑原布領受正色，彼等如是亦于其座，生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（三）

彼等已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「妙哉！妙哉！……乃至……我等于此處歸依世尊、法及比丘眾。願世尊容我等，從今日起以至命終，歸依為優婆夷。」彼等乃世間始唱三歸依優婆夷。

（四）

時，具壽耶舍之母、父及原妻，親手供奉世尊與具壽耶舍噉食、嚼食，令充足飽滿。〔知〕世尊食訖，洗鉢及手已，坐于一面。時，世尊說法、教示、勸導、獎勵，使具壽耶舍之母、父及原妻慶喜，從座起去。

九

（一）

時，具壽耶舍有四在家友，乃波羅榇國長者、隨長者族姓子，〔名〕離垢、善臂、滿勝、牛主，聞：「族姓子耶舍剃除鬚髮，著袈裟衣，離家而出家。」聞已，彼等心生思念：「此非下劣法、律，此非下劣出家。何以故？族姓子耶舍于此剃除鬚髮，著袈裟衣，離家而出家故。」

（二）

彼等四人至具壽耶舍處。至已，敬禮具壽耶舍，立于一面。時，具壽耶舍與彼等四在家友，俱詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，具壽耶舍白世尊曰：「此等四人我在家友，波羅榇國長者、隨長者族姓子，〔名〕離垢、善臂、滿勝、牛主，請世尊教導、教誡此等四人。」

（三）

世尊為彼等順序說示，謂：施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染、出離功德。世尊知彼等生堪任心、柔軟心、離障心、歡喜心，開闡諸佛本真說法，〔謂：〕苦、集、滅、道。譬如清淨無有緇斑原布領受正色，彼等如是亦于其座，生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（四）

彼等已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「我等唯願于世尊前出家，得具足戒。」世尊曰：「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此，彼等具壽具足戒也。時，世尊說法、教導、教誡諸比丘。世尊說法、教導、教誡時，彼等之心無取，由諸漏得心解脫。其時，世間有十一阿羅漢矣。

———四在家出家〔因緣〕終———

一〇

（一）

具壽耶舍有五十在家友，故里之舊家、隨舊家族姓子。〔彼等聞：〕「族姓子耶舍剃除鬚髮，著袈裟衣，離家而出家矣。」聞已，彼等心生思念：「此非下劣法、律，此非下劣出家。何以故？族姓子耶舍于此剃除鬚髮，著袈裟衣，離家而出家故。」

（二）

彼等至具壽耶舍處。至已，敬禮具壽耶舍，立于一面。時，具壽耶舍與彼等五十在家友俱，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，坐于一面。于一面坐已，〔具壽耶舍〕白世尊曰：「此五十人我在家友，故里之舊家、隨舊家族姓子也。請世尊教導、教誡我等。」

（三）

世尊為彼等次第說示，謂：施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染、出離功德。……乃至……苦、集、滅、道。譬如清淨無有緇斑原布領受正色，彼等于其座，亦如此生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（四）

彼等已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「我等唯願于世尊處出家，得具足戒。」「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此，彼等具壽具足戒也。時，世尊說法、教導、教誡彼等比丘。世尊說法、教導、教誡之時，彼等皆心無取，由諸漏得心解脫。其時，世間有六十一阿羅漢矣。

一一

（一）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！我解脫天、人一切羅網。諸比丘！汝等亦解脫天、人一切羅網。諸比丘！去遊行！此乃為眾生利益、眾生安樂、哀愍世間、人天之義利、利益、安樂，切勿二人同行。諸比丘！教說初善、中善、後善，且具足義理、文句之法，顯示皆悉圓滿清淨梵行。有情有少塵垢者，若不聞法者退墮，〔聞〕法者即得悟也。諸比丘！我將至優樓頻螺軍村說法。」

（二）

時，魔波旬詣世尊住處。詣已，以偈白世尊：

汝縛于天人
等一切羅網
汝縛于大縛
汝無解脫我
天人等一切
羅網我解脫
我已脫大縛
死魔汝壞落
此有意羅網
往來翔虛空
以此我縛汝
汝無解脫我
色聲及香味
所觸成意樂
于此全無欲
死魔汝壞落

時，魔波旬苦惱悲嘆：「世尊已知我！善逝已知我！」即于其處隱沒。

———魔緣終

———

一二

（一）

爾時，諸比丘從諸方、諸國偕來，希望出家、希望〔受〕具足戒者，恭請「世尊使出家，授具足戒。」如是諸比丘既甚疲勞矣。時，世尊于靜居宴默，心生思念：「今諸比丘由諸方、諸國偕來，希望出家、希望〔受〕具足戒者，恭請『世尊使出家，授具足戒。』如是諸比丘疲勞，希望出家、希望〔受〕具足戒者皆疲勞。我當許諸比丘，應言：『諸比丘！汝等應各自于當地、當國使之出家，授其具足戒。』」

（二）

時，世尊于傍晚從宴默起，由此因緣，于此時機，集會比丘眾說法。之後，告諸比丘曰：「諸比丘！我今于靜居宴默，心生思念：『今諸比丘由諸方、諸國偕來，希望出家、希望受具足戒者，恭請世尊使出家、授具足戒。如是諸比丘疲勞，希望出家、希望受具足戒者皆疲勞。我當許諸比丘，應言：「諸比丘！汝等應各自于當地、當國使之出家，授具足戒。」』

（三）

諸比丘！我許汝等，各自于當地、當國使之出家，授具足戒。諸比丘！出家授具足戒者，當如此為之：始令剃除鬚髮，著袈裟衣，令偏袒上衣，令蹲踞，令合掌，令禮比丘足，如此唱曰：

（四）

『我歸依佛、歸依法、歸依僧。我再歸依佛、再歸依法、再歸依僧。我三歸依佛、三歸依法、三歸依僧。諸比丘！許以此三歸依，使之出家授具足戒。』」

一三

（一）

時，世尊于雨季過後，告諸比丘曰：「諸比丘！我如理作意，如理正勤，獲得無上解脫，現證無上解脫。諸比丘！汝等亦如理作意，如理正勤，獲得無上解脫，現證無上解脫。」

（二）

時，魔波旬詣世尊住處。詣已，以偈白世尊：

汝縛于天・人
死魔之羅網
汝縛于大縛
汝無解脫我
天・人與魔之
羅網我解脫
我脫離大縛
死魔汝壞落

時，魔波旬苦惱悲嘆：「世尊已知我！善逝已知我！」即于其處隱沒。

一四

（一）

時，世尊于隨意間住波羅榇後，向優樓頻螺遊行。時，世尊離道路，到一密林處。到已，于其密林，坐一樹下。爾時，有三十賢

眾友輩伴隨夫人遊玩密林。有一無夫人，因此而伴隨妓女。時，彼等放逸遊玩，其妓女取財物而逃。

（二）

時，彼友等為助其友尋找其女，徘徊密林，見世尊坐一樹下。見已，詣世尊處。詣已，白世尊曰：「世尊曾見一女人否？」「諸孺童！汝等與一婦女何為耶？」「今我等三十賢眾友伴隨夫人遊此密林，有一無夫人者，伴隨妓女。時，我等放逸遊玩，其妓女取財物而逃。故我友等助是友尋找其女，徘徊于此密林。」

（三）

「諸孺童！汝等于意云何？汝等以何為勝耶？尋婦女乎？尋自己乎？」「我等以尋自己為勝！」「諸孺童！若爾且坐，我為汝等說法。」「唯！唯！」彼等賢眾友，敬禮世尊，坐于一面。

（四）

世尊為彼等次第說示，謂：施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染、出離功德。世尊知彼等生堪任心、柔軟心、歡喜心、明淨心，乃開闡諸佛本真說法，〔謂：〕苦、集、滅、道。譬如清淨無有緇斑原布領受正色，彼等亦如此于其座，生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（五）

彼等已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊：「我等唯願于世尊前出家，得具足戒。」世尊曰：「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此，為彼等具壽具足戒。

———賢眾友事終———

———誦品二終———

一五

（一）

時，世尊次第遊行至優樓頻螺。其時，優樓頻螺住三人螺髻梵志，〔名〕優樓頻螺迦葉、那提迦葉、伽耶迦葉。其中螺髻梵志優樓頻螺迦葉乃五百人螺髻梵志之導師、遍導師、最尊、上首、最上，螺髻梵志那提迦葉乃三百螺髻梵志之導師、遍導師、最尊、上首、最上，螺髻梵志伽耶迦葉乃二百螺髻梵志之導師、遍導師、最尊、上首、最上。

（二）

時，世尊至螺髻梵志優樓頻螺迦葉庵。至已，言螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！若汝不介意，我欲于火堂過夜。」「大沙門！我不介意，然彼處有具神通猛惡龍王、有猛毒毒蛇，若于汝無害者，可也。」世尊再次言螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！若汝不介意，我欲于火堂過夜。」「大沙門！我不介意，然彼處有具神通猛惡龍王、有猛毒毒蛇，若于汝無害，可也。」世尊三次言螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！若汝不介意，我欲于火堂過夜。」「大沙門！我不介意，然彼處有具神通猛惡龍王、有猛毒毒蛇，若于汝無害，可也。」「無害我事，迦葉！許入火堂。」「大沙門！請隨意而住！」

（三）

時，世尊進入火堂鋪草為敷具而坐，結跏趺坐，正身持念現前而住。時，彼龍見世尊入，見而苦惱悲嘆、吐煙。時，世尊心生思念：「我當以威力滅盡威力，不損此龍皮膚、肉、筋、骨髓。」

（四）

時，世尊即現如此吐煙神通行。時，彼龍不勝忿怒而吐火焰，世尊亦入火界三昧而放火焰。兩者放光明故，火堂熾然如焚，出火焰，放光明。時彼螺髻梵志等圍繞火堂，如此言：「端正大沙門，將為龍所害。」

（五）

時，世尊過是夜後，以威力滅盡威力，不損其龍皮膚、肉、筋、骨、髓，盛于鉢中，示螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！此汝龍也，其威力已以威力滅盡矣。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力。何以故？有神通猛惡龍王、有猛毒毒蛇之威力，已以威力滅盡故也。然猶未若我阿羅漢。」

（六）

時，世尊于尼連禪河邊，言螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！若汝不介意，欲于火堂過此月夜。」「我不介意，欲令汝安穩而停留。彼處有具神通猛惡龍王、有猛毒毒蛇。若于汝無害，可也。」「無能害我，迦葉！許入火堂！」知彼已許可，無所恐懼，超越怖畏而進入焉。見仙人入，蛇龍悲嘆、吐煙。人龍適意無惑，亦于是處吐煙。蛇龍不勝忿怒，猶如燃火而放火焰。善于火界人龍，亦于是處散放火焰。兩者放光明故，螺髻梵志等睹〔熾燃〕火堂而言：「端正大沙門將為龍所害。」

（七）

時，是夜過後，蛇龍火焰消除。具神通〔世尊〕火焰仍有多種彩色，有青、赤、深紅、黃、水晶多種色彩火焰，現于鴦耆羅娑身上。蛇龍盛入鉢中，以示婆羅門〔曰〕：「迦葉！此汝龍也，其威力已以威力滅盡矣。」

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉因世尊如此神通、神變，乃起信心，白世尊：「大沙門！請住此處，我恒常供汝食。」

———初神變

〔終〕———

一六

（一）

時，世尊住一密林，近于螺髻梵志優樓頻螺迦葉庵。時，四大天王于深夜現殊妙色相，遍照密林，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，立于四面，如大火聚。

（二）

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉是夜過後，詣世尊住處。詣已，白世尊曰：「食時至矣。大沙門！何人深夜現殊妙色相，遍照密林，詣汝住處，詣已，禮汝，立于四面，如大火聚耶？」「迦葉！彼四大天王詣我住處，欲聽受法。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力，故四大天王亦詣，彼欲聽受法。然猶未若我阿羅漢。」時，世尊食螺髻梵志優樓頻螺迦葉供食，住彼密林。

———第二神變

〔終〕———

一七

（一）

時，釋提桓因深夜現殊妙色相，遍照密林，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，立于一面，如大火聚，較前色光，更為殊勝美妙。

（二）

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉是夜過後，詣世尊住處。詣已，白世尊曰：「大沙門！食時至矣。大沙門！何人深夜現殊妙色相，遍照密林，詣汝住處，詣已，禮汝，立于一面，如大火聚，而較前色光，更為殊勝美妙耶？」「迦葉！彼釋提桓因詣我住處，欲聽受法。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力，故釋提桓因亦詣，彼欲聽受法。然猶未若我阿羅漢。」時，世尊食螺髻梵志優樓頻螺迦葉供食，住彼密林。

———第三神變

〔終〕———

一八

（一）

時，索訶主梵天深夜現殊妙色相，遍照密林，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，立于一面，如大火聚，而較前色光，更為殊勝美妙。

（二）

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉是夜過後，詣世尊住處。詣已，白世尊曰：「大沙門！食時至矣。大沙門！何人深夜現殊妙色相，遍

照密林，詣汝住處，詣已，禮汝，立于一面，如大火聚，而較前色光，更為殊勝美妙耶？」「迦葉！彼索訶主梵天詣我住處，欲聽受法。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力，故索訶主梵天亦詣，彼欲聽受法。然猶未若我阿羅漢。」時，世尊食螺髻梵志優樓頻螺迦葉供食，住彼密林。

———第四神變

〔終〕———

一九

（一）

爾時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉將舉行大祭典，全鴦伽、摩竭國人，齎來噉食、噉食。時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「我今將舉行大祭典，全鴦伽、摩竭國人，齎來噉食、噉食。若大沙門于眾人中行神通、神變，則增大沙門利養恭敬，衰退我利養恭敬，望明日大沙門不來。」

（二）

時，世尊知螺髻梵志優樓頻螺迦葉心所思念，至鬱單越，由是處取摶食，至阿耨達池而食，于是處行晝間坐。時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉是夜過後，詣世尊住處。詣已，白世尊曰：「大沙門！食時至矣。大沙門！何故昨日不來耶？我等憶念汝，汝何故不來耶？留有汝分之噉食、噉食。」

（三）

「迦葉！汝非心生思念乎？『我將舉行大祭典，全鴦伽、摩竭國人，齎來噉食、噉食。若大沙門于眾人中行神通、神變，則增大沙門利養恭敬，衰退我利養恭敬，望明日大沙門不來。』

（四）

迦葉！我知汝心所思念，至鬱單越，由是處取摶食，至阿耨達池而食，于其處晝間坐。」

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力，故能以心知心。然猶未若我阿羅漢。」時，世尊食螺髻梵志優樓頻螺迦葉供食，住彼密林。

———第五神變
〔終〕———

二〇

（一）

爾時，世尊得糞掃衣。時，世尊心生思念：「我于何處洗糞掃衣？」時，釋提桓因知世尊心所思念，以手掘池而白世尊曰：「世尊！請于此處洗糞掃衣。」時，世尊心生思念：「我于何處揉糞掃衣？」時，釋提桓因知世尊心所思念，即置大石于前言：「世尊！請于此揉糞掃衣。」

（二）

時，世尊心生思念：「我攀何物以出〔水池〕？」時，有住迦休樹天知世尊心所思念，即垂樹枝而言：「世尊！可攀此而出。」時，世尊心生思念：「我于何處曬糞掃衣？」時，釋提桓因知世尊心所思念，即置大石近世尊前曰：「世尊！請于此曬糞掃衣。」

（三）

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉是夜過後，詣世尊住處。詣已，白世尊曰：「大沙門！食時至矣。大沙門！此處本無水池，何以此處今有水池耶？此處本亦無石，何人置此石耶？此迦休樹枝本未垂下，〔何以〕此枝今垂下耶？」

（四）

「迦葉！我于此處得糞掃衣。時，我心生思念：『我于何處洗糞掃衣？』迦葉！時，釋提桓因知我心所思念，以手掘池而白我曰：『世尊！請于此處洗糞掃衣。』此池非人手所掘。迦葉！我生思念：『我于何處揉糞掃衣？』迦葉！時，釋提桓因知我心所思念，置大石于前曰：『世尊！請于此處揉糞掃衣。』此石非人所置。

（五）

迦葉！時，我生思念：『我攀何物以出〔池〕耶？』迦葉！時，有住迦休樹天知我心所思念而垂樹枝曰：『世尊！請攀此出。』此乃迦休樹與其手也。迦葉！我心生思念：『我于何處曬糞掃衣？』迦葉！時，釋提桓因知我心所思念，置大石于前曰：『世尊！請于此處曬糞掃衣。』此石非人所置。」

（六）

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大神變，故釋提桓因欲為供給。然猶未若我阿羅漢。」時，世尊食螺髻梵志優樓頻螺迦葉供食，住彼密林。

（七）

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉是夜過後，詣世尊住處。詣已，白世尊時至曰：「大沙門！食時至矣。」「迦葉！請往！我將隨

往。」螺髻梵志優樓頻螺迦葉遣往後，乃取閻浮提名稱由來之閻浮樹果，先至火堂而坐。

（八）

螺髻梵志優樓頻螺迦葉見世尊坐于火堂。見而白世尊曰：「大沙門！汝由何路而來耶？我先汝出，然汝先到火堂而坐。」

（九）

「迦葉！我于汝去後，取閻浮提名稱由來之閻浮樹果，先至火堂而坐。迦葉！此閻浮果乃具足色、具足香、具足味，若喜請食。」「大沙門！止！汝獨能適此，請汝自食。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力，故先遣我往後，取閻浮提名稱由來之閻浮樹果，先至火堂而坐。然猶未若我阿羅漢。」時，世尊食螺髻梵志優樓頻螺迦葉供食，住彼密林。

（一〇）

時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉是夜過後，詣世尊住處。詣已，白世尊曰：「大沙門！食時已至。」「迦葉！請往！我即隨往。」螺髻梵志優樓頻螺迦葉遣往後，即取閻浮提名稱由來之閻浮樹近處所生菴婆樹……乃至……阿摩勒樹……乃至……阿梨勒樹……乃至……往忉利天取波利質多羅華，先至火堂而坐。螺髻梵志優樓頻螺迦葉見世尊坐于火堂。見而白世尊曰：「大沙門！汝從何道而來耶？我先汝出，汝卻先至火堂而坐。」

（一一）

「迦葉！我送汝後，至忉利天取波利質多羅華，先至火堂而坐。迦葉！此波利質多羅華具足色、具足香，若喜請取。」「大沙門！止！汝獨能適此，請汝自取。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心

生思念：「大沙門有大神通、大威力，故送我後，即至忉利天取波利質多羅華，先至火堂坐。然猶未若我阿羅漢。」

（一二）

時，又彼螺髻梵志等欲供養火而不能折薪。時，彼螺髻梵志等心生思念：「我等所不能折薪者，無疑是大沙門有大神通、大威力也。」時，世尊告螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！應折薪否？」「大沙門！應折薪！」〔時〕五百薪一時俱折。時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、有大威力，故薪折。然猶未若我阿羅漢。」

（一三）

時，又彼螺髻梵志等欲供養火而不能燃火。時，彼螺髻梵志等心生思念：「我等不能燃火，所以者無疑大沙門有神通、威力也。」時，世尊告螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！應燃火否？」「大沙門！應燃火！」五百火皆一時燃。時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力，故火燃。然猶未若我阿羅漢。」

（一四）

時，又彼螺髻梵志等供養火已，不能滅火。時，彼螺髻梵志等心生思念：「我等不能滅火，所以者無疑大沙門之神通、威力也。」時，世尊告螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！應滅火否？」「大沙門！應滅火！」五百火皆一時滅。時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力，故火滅。然猶未若我阿羅漢。」

（一五）

時，又彼螺髻梵志等于寒冷冬夜，八日祭與其次八日祭間降雪時，入尼連禪河，或沈、或浮；或浮、或沈。時，世尊化作五百火爐。彼螺髻梵志等出，即自烘烤。時，彼螺髻梵志等心生思念：「化作此等火爐，所以者無疑大沙門之神通、威力。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力，故化作火爐。然猶未若我阿羅漢。」

（一六）

又，于非時現大雲降雨，起大洪水。世尊住處為水所浸覆。時，世尊心生思念：「我當于四面水退塵土所覆地上經行。」時，世尊于四面水退塵土所覆地上經行。時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉思念：「不得使大沙門被水所漂！」率領諸多螺髻梵志乘船至世尊處。螺髻梵志優樓頻螺迦葉見世尊于四面水退塵土所覆地上經行。見已，白世尊曰：「大沙門！汝在此處耶？」「迦葉！我在此處！」世尊即飛虛空，立于船上。時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉心生思念：「大沙門有大神通、大威力。故不為水漂。然猶未若我阿羅漢。」

（一七）

時，世尊心生思念：「此癡人猶長久心想：『大沙門有大神通、大威力，然猶未若我阿羅漢。』我當使此螺髻梵志感奮。」時，世尊告螺髻梵志優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！汝非阿羅漢，亦非具足阿羅漢道。汝尚未有可為阿羅漢，或具足阿羅漢之道。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉以頭面禮世尊足，白世尊曰：「我願于世尊前出家，得具足戒。」

（一八）

「迦葉！汝乃五百螺髻梵志導師、遍導師、最尊、上首、最上，且告彼等，彼等可隨其所思惟而行。」時，螺髻梵志優樓頻螺迦葉到彼諸螺髻梵志處，告彼諸螺髻梵志曰：「我欲往大沙門處修習梵行，汝等隨所思惟而行。」「我等久已信樂大沙門。若願于大沙門處修習梵行，我等全部即往大沙門處修習梵行。」

（一九）

時，諸螺髻梵志將毛髮、螺髻、擔荷、祭火具皆付流水，詣世尊住處。詣已，以頭面禮世尊足，白世尊曰：「我等唯願于世尊前出家，得具足戒。」世尊曰：「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此乃彼等具壽之具足戒。

（二〇）

螺髻梵志那提迦葉見水漂流毛髮、螺髻、擔荷、祭火具。見而心生思念：「願我兄等無災禍！」言：「往訪我諸兄。」已，即遣諸螺髻梵志又自率三百螺髻梵志至具壽優樓頻螺迦葉住處。至已，言具壽優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！以如此為最勝耶？」「然！以如此為最勝也。」

（二一）

時，彼諸螺髻梵志將毛髮、螺髻、擔荷、祭火具皆付流水，詣世尊住處。詣已，頭面禮世尊足而白世尊曰：「我等願于世尊處出家，得具足戒。」世尊曰：「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此，彼諸具壽之具足戒也。

（二二）

螺髻梵志伽耶迦葉見毛髮、螺髻、擔荷、祭火具漂流于水。見而心生思念：「願我諸兄無有災禍！」言：「往訪我諸兄。」已，

即遣諸螺髻梵志，又自率二百螺髻梵志至具壽優樓頻螺迦葉住處。至已，言具壽優樓頻螺迦葉曰：「迦葉！以如此為最勝否？」「然！以如此為最勝也。」

（二三）

時，彼諸螺髻梵志將毛髮、螺髻、擔荷、祭火具皆付流水，詣世尊住處。詣已，頭面禮世尊足，白世尊曰：「我等唯願于世尊前出家，得具足戒。」世尊曰：「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此，彼等之具足戒也。

（二四）

依世尊加持故，五百薪或劈或不劈，火或燃或不燃，或滅或不滅，並化作五百火爐。依此理趣，生三千五百神變。

二一

（一）

時，世尊于隨意間住優樓頻螺後，率千大比丘眾向伽耶國象頭山遊行，此皆故舊螺髻梵志也。于是與比丘千人俱住伽耶國象頭山。

（二）

于是處，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！一切熾燃。諸比丘！如何一切熾燃耶？諸比丘！眼熾燃，色熾燃，眼識熾燃，眼觸熾燃，緣眼觸生受，或樂、或苦、或不苦不樂，亦熾燃也。以何為熾燃耶？我說以貪火、瞋火、癡火為熾燃，以生、老、病、死、愁、悲、苦、憂、惱為熾燃。

（三）

耳熾燃，聲熾燃，……乃至……鼻熾燃，香熾燃，……乃至……舌熾燃，味熾燃，……乃至……身熾燃，觸熾燃，……乃至……意熾燃，法熾燃，意識熾燃，意觸熾燃。緣意觸生受，或樂、或苦、或不苦不樂亦熾燃。以何為熾燃耶？我說以貪火、瞋火、癡火為熾燃，以生、老、病、死、愁、悲、苦、憂、惱為熾燃也。

（四）

諸比丘！多聞聖聲聞如是觀察，即厭患眼，厭患色，厭患眼識，厭患眼觸，厭患緣眼觸生受，或樂、或苦、或不苦不樂也。厭患耳，厭患聲，……乃至……厭患鼻，厭患香，……乃至……厭患舌，厭患味，……乃至……厭患身，厭患所觸，……乃至……厭患意，厭患法，厭患意識，厭患意觸，厭患緣意觸所生受，或樂、或苦、或不苦不樂。若厭患即離貪，離貪即解脫，解脫則所謂『我已解脫』智生，知『我生已盡，梵行已立，所作已辦，不受後有。』」

〔世尊〕說此法時，彼千比丘無有取著，心自諸漏解脫。

———熾燃品終———

———誦品三優樓頻螺神變終———

二二

（一）

時，世尊于隨意間住象頭山後，與大比丘眾千人向王舍城遊行，此皆舊時螺髻梵志。時，世尊順次遊行至王舍城。于是，世尊住杖林園善住靈廟。

（二）

摩竭國洗尼瓶沙王聞：「從釋種出家沙門瞿曇釋子，到王舍城住杖林園之善住靈廟。彼世尊瞿曇受如此善名稱揚，〔謂：〕彼世尊是阿羅漢、等正覺、明行足、善逝、世間解、無上士、調御丈夫、天人師、佛、世尊。彼說自證知法，現證天、魔、梵界、沙門、婆羅門、人天眾。彼說初善、中善、後善；具足義理文句之法，顯示一切圓滿悉皆清淨梵行。善哉！見如此阿羅漢。」

（三）

時，摩竭國洗尼瓶沙王為摩竭國婆羅門、居士十二那由多所圍繞，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，坐于一面。彼摩竭國婆羅門、居士十二那由多亦或敬禮世尊坐于一面；或與世尊交談慶慰、歡喜、感銘之言，坐于一面；或向世尊住處合掌，坐于一面；或世尊前稱言姓名，坐于一面；或唯默然，坐于一面。

（四）

時，彼摩竭國婆羅門、居士十二那由多心生思念：「大沙門從優樓頻螺迦葉修梵行耶？又或優樓頻螺迦葉從大沙門修梵行耶？」時，世尊心知彼摩竭國婆羅門、居士十二那由多心所思念，以偈告具壽優樓頻螺迦葉曰：

「優樓頻螺居住人
瘦削軀體人見稱
汝何所見捨火天
汝何故捨事火法

我以此事相問詢
祠祀色・聲・味・欲・女
知如此者執垢穢
是故我不樂祠祀」

（五）

世尊乃言曰：「迦葉！

若于此處汝心意
不愛樂著色・聲・味
人・天・世間有何處
汝心不愛樂著耶
迦葉就此覆語予
我見寂靜道無著
無所有・不執欲有
不變異・難令變異
是故我不樂祠祀」

（六）

時，具壽優樓頻螺迦葉即從座起，偏袒上衣，頭面禮世尊足，白世尊曰：「世尊是增益我師，我是聲聞！世尊是增益我師，我是聲聞！」時彼摩竭國婆羅門、居士十二那由多心生思念：「優樓頻螺迦葉依大沙門而修梵行。」

（七）

時，世尊心知彼摩竭國婆羅門、居士十二那由多心所思念，順次說示，謂：施論、戒論、生天論、諸欲過患、雜染、出離功德。知彼等生堪任心、柔軟心、離障心、歡喜心、明淨心，世尊開闡諸佛本真說法。〔謂：〕苦、集、滅、道。

（八）

猶如清淨無有緇斑原布領受正色，以此瓶沙王為上首，摩竭國婆羅門、居士十二那由多亦如此于其座，生遠塵離垢法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。一那由多諸人言願為優婆塞。

（九）

時，摩竭國洗尼瓶沙王已見法、得法、知法、悟入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「我前為太子時懷有五願，我今成就此等。我前為太子時心生思念：『我願受灌頂為王。』此，我第一願，我今成就此矣。『願應供、等正覺降臨我土。』此，我第二願，我今成就此矣。

（一〇）

『我願得承事彼世尊。』此，我第三願，我今成就此矣。『願世尊為我說法。』此，我第四願，我今成就此矣。『願我證悟世尊法。』此，我第五願，我今成就此矣。我前為太子時，有此五所願，我今成就此等矣。

（一一）

妙哉！妙哉！譬如扶起倒者，揭露覆者，教迷者道路，暗中提舉燈火，令有眼者見色。世尊如此以種種方便顯示教法，我于此處歸依世尊、法及比丘眾。世尊！容我從今起至命終止歸依為優婆塞，願世尊與比丘眾俱于明日受我供食。」世尊默然受請。

（一二）

時，摩竭國洗尼瓶沙王知世尊受請，即從座起，敬禮世尊，右繞而去。

時，摩竭國洗尼瓶沙王是夜過後，令調殊妙噉食、噉食，白世尊時至曰：「食時至矣！」時，世尊于早晨時，著下裳，持鉢、衣，率大比丘眾千人入王舍城。此皆舊時螺髻梵志也。

（一三）

爾時，釋提桓因化現孺童色相，立于佛為上首大比丘眾前而說偈曰：

己已調御解脫人
率領螺髻梵志群
己已調御解脫者
一同進入王舍城
此如金鐶・金世尊
率舊螺髻梵志等
今已自由・解脫人
解脫者・入王舍城
此如金鐶・金世尊
率舊螺髻梵志等
今已度脫・解脫人
度脫者・入王舍城
此如金鐶・金世尊
住于十居十力盈
了知十法十具足
千人擁入王舍城

（一四）

諸人見釋提桓因曰：「此孺童美麗端正、此孺童甚可愛、此孺童甚殊妙，此孺童隨于何人耶？」如此言時，釋提桓因向彼諸人說偈曰：

勇猛一切調御己
世間無有倫比者
佛陀應供是善逝
我乃隨侍奉事彼

（一五）

時，世尊至摩竭國洗尼瓶沙王住處。至已，與比丘眾俱坐所設之座。時摩竭國洗尼瓶沙王向佛為上首之比丘眾，親手供奉殊妙噉食、噉食，令充足飽滿。〔知〕世尊食訖，洗鉢與手已，而坐一面。

（一六）

坐于一面時，摩竭國洗尼瓶沙王心生思念：「世尊可住止何處耶？宜離都邑不遠、不近，往來便利，所有希求諸人易往，晝少喧鬧、夜少音聲、絕人跡、離人眾、幽靜，而適于宴默之處。」

（一七）

時，摩竭國洗尼瓶沙王心生思念：「我此竹林園離都邑不遠、不近，往來便利，所有希求諸人易往，晝少喧鬧、夜少音聲、絕人跡、離人眾、幽靜、適于宴默。我當施竹林園于佛為上首之比丘眾。」

（一八）

時，摩竭國洗尼瓶沙王取金澡瓶獻世尊曰：「我施竹林園與世尊為上首之比丘眾。」世尊領受此園。時，世尊說法、教示、勸導、獎勵摩竭國洗尼瓶沙王，使之慶喜，即從座起而去。

時，世尊以此因緣說法，告比丘等曰：「諸比丘！許受僧園。」

二三

（一）

爾時，刪若梵志住王舍城，大梵志眾二百五十人俱。爾時舍利弗、目犍連隨梵志刪若修習梵行，約定：「若先得不死者，必告。」

（二）

時，具壽阿說示于早晨時著下裳，持鉢、衣，入王舍城乞食。彼心慶樂，行止若即、若離；若瞻、若顧；若屈、若伸，眼視地上，具足威儀。梵志舍利弗見具壽阿說示于王舍城乞食，彼心慶樂，行止若即、若離；若瞻、若顧；若屈、若伸，具足威儀。見已，對彼心生思念：「若世間有阿羅漢、阿羅道具足者，此人即彼比丘中一人，我應至此比丘處請問：『汝依誰出家耶？以誰為師？愛樂誰教法耶？』」

（三）

時，梵志舍利弗心生思念：「此比丘行入民家乞食故，今非問時。我當隨此比丘後，彼知希求者所需之道。」時，具壽阿說示步行王舍城乞食，取施食而還。時，梵志舍利弗至具壽阿說示處。至已，與具壽阿說示交談慶慰、歡喜、感銘之言，而立一面。立于一面已，梵志舍利弗言具壽阿說示曰：「汝諸根澄清，汝膚色清淨、皎潔。汝依誰出家耶？誰為汝師？愛樂誰教法耶？」

（四）

「有從釋種出、出家大沙門釋子。我乃依此世尊出家，以彼世尊為師，愛樂彼世尊教法。」「具壽尊師教法者何？彼教示者何耶？」「我尚幼稚，出家日淺，新進此法與律。我不能廣延示法，但能略說其義。」時梵志舍利弗言具壽阿說示曰：「唯！多少請說，唯說其義，我所希求，唯義而已，何用有多文句！」

（五）

時，具壽阿說示為梵志舍利弗說此法門：

諸法因緣生
如來說其因
諸法滅亦然
是大沙門說

時，梵志舍利弗聞此法門，得遠塵離垢法眼，〔謂：〕「凡有集法者，皆有此滅法。」〔彼又言曰〕：「若唯有此，亦足為正法。汝等已悟無憂處，其為我等經多那由多劫中所不曾見者。」

（六）

時，梵志舍利弗至梵志目犍連處。梵志目犍連見梵志舍利弗從遠方來，見而言梵志舍利弗曰：「汝諸根澄清，汝膚色清淨、皎潔。汝得不死否？」「然！得不死矣。」「如何得不死耶？」

（七）

「我今見比丘阿說示，步行王舍城乞食。彼心慶樂，若即、若離；若瞻、若顧；若屈、若伸，眼向地上，具足威儀。見而我生思念：『若世間有阿羅漢，或阿羅漢道具足者，此乃其比丘中一人。我應至此比丘處請問：「汝依誰出家耶？以誰為師，愛樂誰教法耶？」』

（八）

時，我生思念：『此比丘行入民家乞食故，今非問時。我當隨此比丘後，彼知希求者所需之道。』時，阿說示于王舍城乞食，取施食而還。時，我至比丘阿說示處。至已，與比丘阿說示交談慶慰、歡喜、感銘之言，立于一面。我立于一面，言比丘阿說示曰：

『汝諸根澄清，汝膚色清淨、皎潔。汝依誰出家耶？以誰為師？愛樂誰教法耶？』

（九）

『有從釋種出、出家之大沙門釋子，我依世尊出家，以彼世尊為師，愛樂彼世尊教法。』『具壽尊師教法者何？彼教示者何耶？』『我尚幼稚，出家日淺，新入此法與律。我不能廣延示法，但能略說其義。』『多少請說，唯說其義，我所希求，唯義而已，何用有多文句！』」

（一〇）

時，比丘阿說示教示此法門：

諸法因緣生
如來說其因
諸法滅亦然
是大沙門說

時，梵志目犍連聞此法門，得遠塵離垢法眼，〔謂：〕「凡有集法者，皆有此滅法。」〔彼又言曰：〕「若唯有此，亦足為正法。汝等已悟無憂處，其為我等經多那由多劫中所不曾見者。」

二四

（一）

時，梵志目犍連言梵志舍利弗曰：「我等往世尊處，以彼世尊為我等師。」「此處有二百五十梵志，依止我等，瞻仰我等而住此處。且告彼等，令隨其所思而行。」時，舍利弗、目犍連至諸梵志處。至已，告諸梵志曰：「我等至世尊處，以彼世尊為我等師。」

「我等依止具壽，瞻仰具壽而住此處。若具壽于大沙門處行梵行者，我等皆于大沙門處行諸梵行。」

（二）

時，舍利弗、目犍連至梵志刪若處。至已，言梵志刪若曰：「我等往世尊處，以彼世尊為我等師。」「止！勿往！我等三人並領此眾。」舍利弗、目犍連再次…乃至…三次言梵志刪若曰：「我等往世尊處，以彼世尊為我等師。」「止！勿往！我等三人並領此眾。」

（三）

時，舍利弗、目犍連率二百五十梵志到竹林。梵志刪若于是處口吐熱血。

世尊見舍利弗、目犍連從遠方來，見已，告諸比丘曰：「彼處來二友，乃拘律陀、優波提舍也。彼等成我聲聞一對上首雙賢也。」二人于甚深智境，滅執得無上解脫，而到竹林。時，師授二人記別：「來此處二友，乃拘律陀、優波提舍也。彼等成我聲聞一對上首雙賢也。」

（四）

時，舍利弗、目犍連詣世尊住處。詣已，以頭面禮世尊足，白世尊曰：「我等唯願于世尊處出家，得具足戒。」世尊曰：「來！諸比丘！所善說者法，為正滅苦盡，故行梵行。」此為彼等具壽具足戒。

（五）

爾時，摩竭國諸有名族姓子于世尊處行梵行。眾人忿怒、非難：「沙門瞿曇來奪〔我〕子，沙門瞿曇來奪〔我〕夫，沙門瞿曇來斷絕〔我〕族姓。今彼令千螺髻梵志出家，令二百五十刪若梵志出家，令摩竭國諸有名族姓子，于沙門瞿曇處修梵行。」又見諸比丘以如此偈句非難：

來此摩竭國義利巴奢大沙門
已誘刪若徒眾矣今復誘何人

（六）

諸比丘聞彼眾人忿怒、非難。時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕

「諸比丘！此聲應不久存，唯存七日而已，七日過後當消滅矣。是故諸比丘，若以偈難汝等曰：

來此摩竭國義利巴奢大沙門
已誘刪若徒眾矣今復何誰人

汝等即以偈反難之：

大雄如來尊
正法誘循循
以法誘智者
何生嫉妒心」

（七）

爾時，眾人見諸比丘以如此偈非難：

來此摩竭國義利巴奢大沙門
已誘刪若徒眾矣今復誘何人

諸比丘即以如此偈反難：

大雄如來尊
正法誘循循
以法誘智者
何生嫉妒心

眾人〔知〕「沙門釋子以法而不以非法誘導。」此〔非難〕聲唯存七日。七日過後則消滅矣。

———舍利弗、目犍連出家〔因緣〕終———

———誦品四終———

二五

（一）

爾時，諸比丘無和尚教導、教誡，上衣、下裳皆不整齊，威儀不具而往乞食。彼等于眾人供食時，于噉食上出鉢，于嚼食上出鉢，于味食上出鉢，于飲料上出鉢，自定汁、飯而求食。于食堂亦出大聲、高聲而住。

（二）

眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子上衣、下裳皆不整齊，威儀不具而往乞食，眾人供食時，于噉食上出鉢，于嚼食上出鉢，于味食上出鉢，于飲料上出鉢，自定汁、飯而求食。于食堂亦大聲、高聲而住，如婆羅門食時之婆羅門耶？」

（三）

諸比丘聞彼眾人忿怒、非難。諸比丘中少欲知足、懷慚知悔而好學者，忿怒、非難：「如何諸比丘上衣、下裳皆不整齊，威儀不具足而往乞食，眾人供食時，于軟食上出鉢，于嚼食上出鉢，于味食上出鉢，于飲料上出鉢，自定汁、飯而求食，于食堂亦出高聲、大聲而住耶？」

（四）

時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊由此因緣，于此時機，令集會比丘眾，問諸比丘曰：「諸比丘！比丘等上衣、下裳俱不整齊，威儀不具而往乞食，眾人供食時，于軟食上出鉢，于嚼食上出鉢，于味食上出鉢，于飲料上出鉢，自定汁、飯而求食，于食堂亦出高聲、大聲而住，真實否？」「世尊！真實也！」

（五）

時，佛世尊呵責曰：「諸比丘！此等愚人所為非也、非隨順、非相應、非沙門之法、非威儀、不應為。諸比丘！如何此等愚人之上衣、下裳俱不整齊，威儀不具而往乞食，眾人供食時，于噉食上出鉢，于嚼食上出鉢，于味食上出鉢，于飲料上出鉢，自定汁、飯而求食，于食堂亦出高聲、大聲而住耶？諸比丘！此非令未信者生信，已信者有所增益，且令未信者不信，若已信者所以離反者也。」

（六）

時，世尊以諸多方便呵責彼等比丘，說示難扶養、難教養、多欲、不知足、參與眾中懈怠之非；以諸多方便，說示易扶養、易教養、少欲、知足、漸損、好頭陀行、行信心、損減障礙、精進。為諸比丘說其相應、隨順法，以告諸比丘曰：「諸比丘！我許有和尚。諸比丘！和尚見弟子時，當思如兒子；弟子視和尚，當思如父

親。若如此互相恭敬、尊敬，和合而住者，則令此法與律增益廣大。

（七）

諸比丘！請和尚當如此行：偏袒上衣，禮足，蹲踞，合掌，如此唱曰：『尊者！請為我和尚！尊者！請為我和尚！尊者！請為我和尚！』若彼曰：『善哉！』『諾！』『唯！』『相應！』『以信心勉之！』或以身報，或以言報，或以身、言報者，則為和尚。若不以身報，不以言報，不以身、言報者，則不為和尚。

（八）

諸比丘！弟子于和尚應正當奉事，正當奉事者如此：晨起後應脫履、偏袒上衣、奉楊枝、奉漱水、設坐具。若有粥，即當洗鉢奉粥。粥已飲時，奉水取鉢，于下方洗，不令毀壞，善洗收藏。和尚起時，應收坐具，若其處有塵垢，應清掃其處。

（九）

若和尚入村時，應奉裙、取副裙、奉衣帶，疊、奉僧伽梨，洗鉢、盛水以獻。若和尚欲隨從沙門，則應遍著下裳，覆三輪，結帶，疊僧伽梨、纏而結紐，洗鉢攜持，作和尚隨從沙門。

（一〇）

和尚言談時，不應中斷其言談。若和尚言似有犯，應行遮止。還時先回以設坐具，取來洗足水、足臺、足布，迎取鉢、衣，奉副裙、取裙。若上衣為汗所濕時，應暫于熱處烘乾，但上衣不應收置熱處。應疊上衣。疊上衣時，由端餘四指寬，以疊上衣，心念：不使中間有所損壞。衣帶應置于〔上衣〕襞間。若有施食而和尚欲食時，應與水而奉施食。

（一一）

應問和尚要水否。若食已當奉水，取鉢于下方洗，不令毀壞，善洗去水，暫于熱處烘乾，但鉢不應放置熱處。應收藏鉢、衣。收藏鉢時，一手取鉢，一手摩觸牀下，或小牀下，收藏鉢盂。鉢不得置于露地。收藏上衣時，一手取上衣，一手拂衣架、或衣繩，端外襞內而藏上衣。和尚離去時，應收坐具，去洗足水，收藏足臺、足布。若其處有塵垢，應清掃。

（一二）

若和尚欲洗浴時，即應設浴。若欲冷〔浴〕，即設冷者。若欲熱〔浴〕，即設熱者。若和尚欲入浴室，應揑細麵濕以粘土。持浴室用椅與隨從和尚，奉浴室用椅，取上衣置于一面，奉細麵，奉粘土。若可能應〔俱〕入浴室。入浴室時，應以粘土塗臉，妥覆前後入于浴室。

（一三）

不得推擠長老比丘而坐，不得拒新參比丘入座，應于浴室奉侍和尚。從浴室出時，持浴室用臺，妥覆前後而出浴室。水中亦應奉侍和尚。欲出時，先出拭己身之水，著下裳、再拭和尚身上水，奉下裳，奉僧伽梨，持浴室用臺，先行以設座，置洗足水、足臺、足布。應問和尚要水否。

（一四）

若欲〔和尚〕受請說教，當請說法。若欲〔和尚〕受問，當問。若和尚所住精舍塵污，能則令淨潔。淨掃精舍時，應先出衣、鉢置于一面，出坐具、敷具置于一面，出褥、枕置于一面。

（一五）

置牀于下，勿撞門、楣，妥善取出，應置于一面。置小牀于下，勿撞門、楣，妥善取出，應置于一面。出牀腳置于一面，出唾壺置于一面，出枕板置于一面。出地敷具，思惟如何敷張而置于一面。若精舍有蛛網者，應觀察而拂之。應清掃窗戶及角隅。若塗紅土色牆壁有塵垢者，應濕絞雜巾而拭之。若作黑色地面有塵垢者，應濕絞雜巾而拭之。若地未經處置者，應澆水而清掃之，思：『為使精舍無塵垢污故。』應集清掃所出，棄于一面。

（一六）

應晒乾、潔淨、抖打地面敷具而搬入內，如昔所敷張而敷之。應晒乾、淨掃牀腳而搬運入內，放置原處。應晒乾、潔淨、打掃用牀，放置于下，勿撞門、楣，妥善搬入，如昔所置設而置之。應晒乾枕、褥，淨、拍而搬入，如昔所置設而置之。應晒乾坐具、敷具，淨、拍而搬入，如昔所鋪陳而陳之。應晒乾唾壺，拭淨搬入，放置原處。應晒乾枕板，掃潔搬入，放置原處。

（一七）

應收藏衣鉢。收藏鉢者，應一手取鉢，一手摩觸牀下，或摩觸小牀下以藏鉢。鉢不得收置于露地。收藏上衣者，應一手取上衣，以一手拂衣架、或衣繩，端外襞內而藏上衣。

（一八）

若由東方風吹塵來時，應閉東窗。若由西方風吹塵來時，應閉西窗。若由北方風吹塵來時，應閉北窗。若由南方風吹塵來時，應閉南窗。若寒冷時，應于晝間開窗夜間閉窗。若暑熱時，即晝間閉窗夜間開窗。

（一九）

若房間有塵垢時，當清掃房間。若庫間有塵垢時，當清掃庫間。若勤行堂有塵垢時，當清掃勤行堂。若火堂有塵垢時，當清掃火堂。若廁房有塵垢時，當清掃廁房。若無飲料時，當備飲料。若無食物時，當備食物。若灑水瓶無水時，當盛水于灑水瓶。

（二〇）

若和尚生不欣喜時，弟子應〔自〕除，或令〔他人〕除之，或為此而說法。若和尚生惡作時，弟子應〔自〕滅，或令〔他人〕滅之，或為此而說法。若和尚生成見時，弟子應〔自〕離，或令〔他人〕離之，或為此而說法。

（二一）

若和尚犯尊法，應受別住時，弟子應使僧伽與和尚別住。若和尚應受本日治時，弟子應使僧伽與和尚本日治。若和尚應受摩那埵時，弟子應使僧伽與和尚摩那埵。若和尚應受出罪時，弟子應使僧伽與和尚出罪。

（二二）

若僧伽欲為和尚行呵責、依止、驅出、下意、舉罪之羯磨時，弟子應使僧伽勿為和尚行羯磨，或使減輕。又或僧伽為和尚行呵責、依止、驅出、下意、舉罪之羯磨時，弟子應使和尚正行、順從、乞求除罪，使僧伽解其羯磨。

（二三）

若應洗和尚上衣時，弟子應〔自〕洗，或使〔他人〕洗和尚上衣。若應作和尚上衣時，弟子應〔自〕作，或使〔他人〕作和尚上衣。若應為和尚調染料時，弟子應〔自〕調，或使〔他人〕為和尚

調染料。若應染和尚上衣時，弟子應〔自〕染，或使〔他人〕染。染上衣時，應妥善反覆返轉而染之，若滴未止時不應離去。

（二四）

未問和尚，不得與鉢于他人，不得受他人之鉢；不得與上衣于他人，不得受他人之上衣；不得與資具于他人，不得受他人之資具；不得剃除他人頭髮，不得使他人剃除頭髮；不得奉事他人，不得使他人奉事；不得侍候他人，不得使他人侍候；不得為他人隨從沙門，不得使人作隨從沙門；不得搬送他人〔所得〕施食，不得使人搬送〔自得〕施食。不問和尚不得入村，不得往塚間，不得赴他鄉。若和尚患病，但有生命時，應近侍以待快癒。」

———奉事和尚

品終———

二六

（一）

「諸比丘！和尚對同修應正當承事。應如此正當承事：諸比丘！和尚應依說示、質問、教導、教誡，以攝護、增益同修。若和尚有鉢同修無鉢時，和尚應與同修鉢或使〔他人〕與同修鉢。若和尚有上衣同修無上衣時，和尚應與同修上衣，或使〔他人〕與同修上衣。若和尚有資具同修無資具時，和尚應與同修資具，或使〔他人〕與同修資具。

（二）

若同修患病時，晨起應與楊枝、與漱水、設坐具。若有粥時，應洗鉢、與粥。飲粥已，應與水，取鉢于下方洗，不令毀壞，妥善洗淨收藏。同修起時應收坐具，若其處有塵垢時，當清掃。

（三）

若同修欲入村時，應與裙、取副裙。與衣帶、疊僧伽梨。洗鉢，應盛水與之。若料彼還時，應設坐具，置洗足水、足臺、足布，出迎而取鉢、衣，與副裙，取裙。若上衣為汗所濕時，應暫于熱處烘乾，但上衣不應收置于熱處。應疊上衣。疊上衣時，由端餘四指寬以疊上衣，不使中間有所損壞。衣帶應入于〔上衣〕襞間。若有施食，同修欲食時，應與水、與施食。

（四）

應問同修要水否。若食已當與水，取鉢于下方洗，不令毀壞，妥善洗淨拭水，暫于熱處烘乾，但鉢不應收置于熱處。應收藏鉢、衣。收藏鉢時，應一手取鉢，一手摩觸牀下，或小牀下，以收藏鉢盂。鉢不得置于露地。收藏上衣時，應一手取上衣，一手拂衣架，或衣綱，端外、襞內而收藏上衣。同修起時，應收坐具，去足水，收足臺、足布。若其處有塵垢時，應清掃之。

（五）

若同修欲洗浴時，應設浴。若欲冷〔浴〕時，應設冷者。若欲熱〔浴〕時，應設熱者。若同修欲入浴室時，應捏細麵濕以粘土。持浴室用臺，與浴室臺。取上衣置于一面，與細麵、與粘土。若可能應〔俱〕入浴室。入浴室時，應以粘土塗臉，妥覆前後入于浴室。

（六）

不得推擠長老比丘而坐，不得拒新參比丘就座，當于浴室承事同修。從浴室出時，持浴室用臺，妥覆前後而出浴室。于水中亦應承事同修。欲出時，先出拭己身之水，著下裳，再拭同修身上水，

與下裳，與僧伽梨，持浴室用臺，先行以設座，置洗足水、足臺、足布。當問同修要水否。

（七）

若同修所住精舍有塵垢，可能時當清掃。清掃精舍時，應先出鉢、衣，置于一面…〔同第一　大犍度二五（一四）～（一九）〕…若灑水瓶無水時，應盛水于灑水瓶。

（八）

同修生不欣喜時，和尚應〔自〕除，或使〔他人〕除之，或為此而說法。若同修生惡作時，和尚應〔自〕滅，或使〔他人〕滅之，或為此而說法。若同修生成見，和尚應〔自〕離，或使〔他人〕離之，或為此而說法。

（九）

若同修犯尊法應受別住時，和尚應使僧伽與同修別住。若同修應受本日治時，和尚應使僧伽與同修本日治。若同修應受摩那埵時，和尚應使僧伽與同修摩那埵。若同修應受出罪時，和尚應使僧伽與同修出罪。

（一〇）

若僧伽欲為同修行呵責、依止、驅出、下意、舉罪之羯磨時，和尚應使僧伽勿為同修行羯磨，或使減輕。若僧伽為〔同修〕行呵責、依止、驅出、下意、舉罪羯磨時，和尚應使之正行、順從、乞求除罪，使僧伽解其羯磨。

（一一）

若同修上衣應洗濯時，和尚當教之曰：『如此洗濯。』或勉力思惟：『同修上衣應如何洗濯。』若同修欲作上衣時，和尚當教之曰：『如此作。』或勉力思惟：『同修上衣應如何製作。』若欲調染料時，和尚當教之曰：『如此調。』或勉力思惟：『同修染料應如何調理。』若同修欲染上衣時，和尚當教之曰：『如此染色。』或勉力思惟：『同修上衣應如何染色。』染上衣時，應妥善反覆返轉而染之，滴未止時，不得離去。若同修患病，但有生命時，應近侍以待快癒。」

———承事同修
品終———

二七

（一）

爾時，諸弟子不正事和尚。少欲諸比丘忿怒、非難：「如何諸弟子不正事和尚耶？」時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸弟子不正事和尚真實否？」「世尊！真實也！」佛世尊呵責曰：「諸比丘！如何諸弟子不正事和尚耶？」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！諸弟子不可不正事和尚，不正事和尚者墮惡作。」

（二）

猶不正事。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不正事者，許擯出。諸比丘！擯出應如此行之：『擯出汝！』『勿還此處！』『持汝衣、鉢去！』『不得近侍我！』或以身示，或以言示，或以身、言示之，以擯出弟子；不以身示，不以言示，不以身、言示者，不得擯出弟子。」

（三）

爾時，弟子被擯出而不悔過。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許悔過。」猶不悔過。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！被擯出者不可不悔過，不悔過者墮惡作。」

（四）

爾時，諸和尚不受悔過，彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許受悔過。」猶不受悔過，諸弟子離去、還俗、入于外道。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不可不受悔過，不受悔過者墮惡作。」

（五）

爾時，諸和尚擯出正事者，不擯出不正事者。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得擯出正事者，擯出者墮惡作。諸比丘！不可不擯出不正事者，不擯出者墮惡作。

（六）

諸比丘！應擯出具足五分之弟子，謂：對和尚無最上愛敬、無最上信心、無最上慚、無最上畏敬、無最上修習也。諸比丘！應擯出具足如此五分之弟子。諸比丘！不得擯出具足如此五分之弟子，謂：對和尚有最上敬愛、有最上信心、有最上慚、有最上畏敬、有最上修習也。諸比丘！不應擯出具足如此五分之弟子。

（七）

諸比丘！具足五分之弟子者宜擯出，謂：對和尚無最上愛敬、……無最上修習也。諸比丘！具足如此五分之弟子宜擯出。諸比

丘！具足五分之弟子不宜擯出，謂：對和尚有最上愛敬……有最上修習也。諸比丘！具足如此五分之弟子不宜擯出。

（八）

諸比丘！不擯出具足五分之弟子，和尚行有違越；若擯出者，則無違越。謂：對和尚無最上愛敬……無最上修習也。諸比丘！不擯出具足如此五分之弟子，和尚行有違越；若擯出者，則無違越。諸比丘！擯出具足五分之弟子，和尚行有違越；若不擯出者，則無違越。謂：對和尚有最上愛敬……有最上修習也。諸比丘！擯出具足如此五分之弟子，和尚行有違越；若不擯出者，則無違越。」

二八

（一）

爾時，有一婆羅門到諸比丘處請求出家，諸比丘等不欲使彼出家。彼于諸比丘處不得出家，而致瘦弱粗醜，漸漸身黃色惡，露出脈結。世尊見是婆羅門瘦弱粗醜，漸漸身黃色惡，露出脈結。見已，告諸比丘曰：「諸比丘！如何婆羅門瘦弱粗醜，漸漸身黃色惡，露出脈結耶？」「世尊！彼婆羅門到比丘等處請求出家，比丘等不欲使彼出家。彼未得于比丘等處出家，以致瘦弱粗醜，漸漸身黃色惡而露脈結也。」

（二）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！何人有憶念彼婆羅門所為耶？」如此言時，具壽舍利弗白世尊曰：「我于彼婆羅門行為有所憶念。」「舍利弗！如何于婆羅門行為有憶念耶？」「我于此處，于王舍城行乞食時，彼婆羅門令一匙施食，我于彼婆羅門如此行為有所憶念。」

（三）

「善哉！善哉！舍利弗！善士知恩知報。舍利弗！故汝宜令彼婆羅門出家，授具足戒！」「我如何使彼婆羅門出家，授與具足戒耶？」時，世尊于此時說法，告諸比丘曰：「諸比丘！我先許以三歸依為具足戒，今日以後棄之。諸比丘！許依白四授具足戒。

（四）

諸比丘！授具足戒時，應如此行之：聰明賢能比丘應告僧伽曰：『諸大德！請聽我言！此處某甲欲從具壽某甲受具足戒，若僧伽機熟者，僧伽當以某甲為和尚，授某甲具足戒。此為表白。

（五）

諸大德！請聽我言！此處某甲欲從具壽某甲受具足戒。僧伽當以某甲為和尚，授某甲具足戒。以某甲為和尚，授某甲具足戒，具壽聽者默然，不聽者請言。我再次說此義，諸大德！請聽我言！此處某甲欲從具壽某甲受具足戒。僧伽當以某甲為和尚，授某甲具足戒。以某甲為和尚，授某甲具足戒，具壽聽者默然，不聽者請言。』

（六）

『我三次說此義，諸大德！請聽我言！此處某甲欲從具壽某甲受具足戒。僧伽當以某甲為和尚，授某甲具足戒。以某甲為和尚，授某甲具足戒，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽已以某甲為和尚，授某甲具足戒。具壽聽故默然，我如此了知。』」

二九

（一）

爾時，有一比丘，受具足戒未久而行非行。諸比丘言曰：「勿如此行！此非威儀。」彼言：「非我請具壽而受具足戒，何以非請而授我具足戒耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不受請不得授具足戒，授具足戒者墮惡作。諸比丘！許受請授具足戒。

（二）

諸比丘！請時應如此行之：願受具足戒者，應到僧伽處，偏袒上衣，禮諸比丘足，蹲踞，合掌，如此唱言：『我向僧伽請具足戒。僧伽！哀愍濟度我。』應二請…乃至…三請…乃至…

（三）

聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！此處某甲欲從具壽某甲受具足戒，某甲請僧伽以某甲為和尚，受具足戒。若僧伽機熟者，僧伽應以某甲為和尚，授具足戒與某甲。此乃表白。

（四）

諸大德！請聽我言！此處某甲欲從具壽某甲受具足戒，某甲請僧伽以某甲為和尚，受具足戒。僧伽應以某甲為和尚，授具足戒與某甲。以某甲為和尚，授具足戒與某甲，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次說此義…乃至…我三次說此義…乃至…僧伽以某甲為和尚，授具足戒與某甲已。具壽聽故默然，我如此了知。』」

三〇

（一）

爾時，于王舍城備行賡續〔供養〕殊勝諸食。時，有婆羅門心生思念：「彼諸沙門釋子戒易、行易、進食美食、臥風不入之臥

具。我應于諸沙門釋子處出家。」時，彼婆羅門到諸比丘處請求出家。諸比丘令彼出家，授與具足戒。

（二）

彼出家後賡續〔供養〕美食停止。諸比丘曰：「來！往乞食。」彼言曰：「我非為乞食而來出家，汝等若施我即食，若不施我即不出家。」「汝為腹而來出家耶？」「然！諸比丘！」

（三）

諸少欲比丘忿怒、非難：「如何于如此善說之法、律，有為腹而來出家之比丘耶？」彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「比丘！汝真為腹而來出家耶？」「世尊！真實也！」佛世尊呵責曰：「愚人！如何汝于如此善說之法、律，為腹而出家耶？愚人！此令未信者不生信，已信者非所增益。」為之呵責、說法，告諸比丘曰：

（四）

「諸比丘！許授具足戒者說四依，〔謂：〕『出家依乞食，于此乃至命終應勤行。餘得者：僧次食、別請食、請食、行籌食、十五日食、布薩食、月初日食也。出家依糞掃衣，于此乃至命終應勤行。餘得者：亞麻衣、綿衣、野蠶衣、褐衣、麻衣、紵衣也。出家依樹下坐，于此乃至命終應勤行。餘得者：精舍、平覆屋、殿樓、樓房、地窟也。出家依陳棄藥，于此乃至命終應勤行。餘得者：熟酥、生酥、油、蜜、糖也。』」

———誦品五奉

事和尚終———

三一

（一）

爾時，有一孺童，至諸比丘處請求出家。諸比丘為彼豫說〔四〕依。彼言曰：「若我已出家後，若說〔四〕依者，應不愛樂。我今不出家，我嫌厭不愛樂此〔四〕依也。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得豫說〔四〕依，說者墮惡作。諸比丘！許于授戒等無間說〔四〕依。」

（二）

爾時，諸比丘以二人或三人僧眾授具足戒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不滿十人僧眾，不得授與具足戒。授具足戒者墮惡作。諸比丘！許以十人或十人以上僧眾授具足戒。」

（三）

爾時，比丘一戒臘者二戒臘者授弟子具足戒。具壽優波斯那崩犍多子亦一臘而授弟子具足戒。彼過安居後屆二臘，率一臘弟子詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，坐于一面。與諸客比丘俱相慶慰，乃佛世尊常法也。

（四）

時，世尊言具壽優波斯那崩犍多子曰：「比丘！忍乎？足乎？從遠道來疲倦乎？」「世尊！忍！世尊！足！我從遠道來不倦。」諸如來知而故問，知而不問。知時而問，知時而不問。諸如來于利志事即問，非利志事不問。諸如來毀非利志事之橋。佛世尊依二相問諸比丘，謂：為說法、為施設聲聞學處。

（五）

時，世尊言具壽優波斯那崩犍多子曰：「比丘！汝幾臘耶？」「世尊！我二臘也。」「此比丘幾臘耶？」「世尊！一臘也。」「比丘是汝何人？」「世尊！是我弟子也。」佛世尊呵責曰：「愚人！非也！非隨順、非相應、非沙門法、非威儀，不應為之。愚人！惟汝自身應受他人教誡、教導，如何教誡、教導他人耶？愚人！汝墮奢侈，如此過速集眾。愚人！此令未信者不生信，已信者非所增益。」呵責而說法，告諸比丘曰：「諸比丘！未滿十臘者不得授具足戒，授具足戒者墮惡作。諸比丘！十、或過十臘者許授具足戒。」

（六）

爾時，諸比丘曰：「我十臘也！」「我十臘也！」愚癡、暗昧而授具足戒。故有和尚愚癡，弟子賢明；有和尚暗昧，弟子聰明；有和尚劣慧，弟子具慧。有一舊外道，于和尚為順次說法時，論難和尚而還舊外道處。

（七）

少欲諸比丘忿怒、非難：「如何諸比丘言：『我十臘也！』『我十臘也！』愚癡、暗昧而授具足戒耶？有和尚愚癡……弟子具慧。」彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘言：『我十臘也！』『我十臘也！』愚癡、暗昧而授具足戒。有和尚愚癡……弟子具慧。事真實否？」「世尊！真實也！」

（八）

佛世尊呵責之曰：「諸比丘！如何諸愚人言：『我十臘也！』『我十臘也！』愚癡、暗昧而授具足戒耶？有和尚愚癡……弟子具慧。諸比丘！此令未信者不信…乃至…」呵責而說法，告諸比丘

曰：「諸比丘！愚癡、暗昧者不得授具足戒。授具足戒者墮惡作。諸比丘！許聰明賢能之比丘十臘或過十臘者授具足戒。」

三二

（一）

爾時，諸比丘于和尚離去、還俗、死亡、歸于外道時，無阿闍梨，無人教導、教誡，上衣、下裳不齊整，威儀不具足而往乞食。彼等于眾人施食時……〔同第一　大犍度二五（一）～（四）〕……「世尊！真實也！」呵責而說法，告諸比丘：「諸比丘！許有阿闍梨。諸比丘！阿闍梨視侍者當如兒子，侍者視阿闍梨當如父親。若如此互相恭敬、尊敬、和合而住，則當增益、廣大此法與律也。諸比丘！若屆十臘前依止而住，屆十臘者許為依止。

（二）

諸比丘！請阿闍梨者，當如是行：應偏袒右肩，禮足，蹲踞，合掌，如此唱言：『為我作阿闍梨！我依止具壽！為我作阿闍梨！我依止具壽！』若彼曰：『善哉！』『諾！』『唯！』『相應！』『以信心勉之！』或以身報，或以言報，或以身、言報者，可作阿闍梨；若不以身報，不以言報，不以身、言報者，不得為阿闍梨。

（三）

諸比丘！侍者于阿闍梨應正奉事，正奉事者當如此：晨起後應脫履、偏袒上衣、奉楊枝、奉漱水、設坐具。若有粥者，應洗鉢奉粥。食粥已時，奉水，取鉢于下方洗，不令毀壞，妥善洗濯而收藏之…〔同第一　大犍度二五（八）～（二四）。『和尚』改為『阿闍梨』，『弟子』改為『侍者』〕…若阿闍梨患病，但有生命時，應近侍以待快癒。」

———奉事阿闍梨品終———

三三

（一）

「諸比丘！阿闍梨于侍者應正行承事，正承事者應如此。諸比丘！阿闍梨應依說示、質問、教導、教誡、攝護、攝受弟子。若阿闍梨有鉢，弟子無鉢時，阿闍梨應以〔自〕鉢與弟子，或令〔他人〕以鉢與弟子。若阿闍梨有上衣…〔同第一　大犍度二六（一）～（一一）。『和尚』改為『阿闍梨』，『弟子』改為『侍者』〕…若侍者患病，但有生命時，應近侍以待快癒。」

———承事侍者終———

———誦品六〔終〕———

三四

（一）

爾時，諸侍者于阿闍梨不正奉事…〔同第一　大犍度二七（一）～（八）。「和尚」改為「阿闍梨」，「弟子」改為「侍者」〕……不擯出者無違越。

三五

（一）

爾時，諸比丘愚癡、暗昧，言：「我十臘也！」「我十臘也！」與人依止。故有阿闍梨愚癡而侍者賢能，有阿闍梨暗昧而侍者聰明，有阿闍梨少聞而侍者多聞，有阿闍梨劣慧而侍者具慧。諸少欲比丘忿怒、非難：「如何諸比丘愚癡、暗昧，言：『我十臘也！』『我十臘也！』與人依止耶？有阿闍梨愚癡……侍者具慧。」

（二）

時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘愚癡、暗昧，言：『我十臘也！』『我十臘也！』與人依止，事真實否？」「世尊！真實也！」佛世尊呵責而說法，告諸比丘曰：「諸比丘！愚癡、暗昧者不得與人依止，與依止者墮惡作。諸比丘！許聰明、賢能比丘，十臘、或過十臘者，許與人依止。」

三六

（一）

爾時，諸比丘于阿闍梨離去、還俗、死亡、歸依外道時，不知是〔否〕喪失和尚依止。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！喪失和尚依止有五：和尚離去、還俗、死亡、歸依外道、與命令。諸比丘！如此五者成喪失和尚依止。諸比丘！失阿闍梨依止有六：阿闍梨離去、還俗、死亡、歸依外道、與命令，此等為五，又或與和尚同住一處。諸比丘！如此六者為失阿闍梨依止。

（二）

諸比丘！具足五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕不具足無學戒蘊，不具足無學定蘊，不具足無學慧

蘊，不具足無學解脫蘊，不具足無學解脫知見蘊。諸比丘！具足如此五分之比丘，不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌。

（三）

諸比丘！具足五分之比丘得授具足戒，得與依止，得蓄沙彌，〔謂：〕具足無學戒蘊……具足無學解脫知見蘊。諸比丘！具足如此五分之比丘得授具足戒，得與依止，得蓄沙彌。

（四）

諸比丘！具足五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕自不具足無學戒蘊，亦使他人不具足無學戒蘊，……自不具足解脫知見蘊，而亦使他人不具足無學解脫知見蘊。諸比丘！具足如此五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌。

（五）

諸比丘！具足五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌，〔謂：〕自具足無學戒蘊，亦使人具足無學戒蘊，……自具足無學解脫知見蘊，而亦使人具足無學解脫知見蘊。諸比丘！具足如此五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌。

（六）

諸比丘！具足五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕不信、無慚、無愧、懈怠、失念。諸比丘！具足如此五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌。

（七）

諸比丘！具足五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌，〔謂：〕有信、有慚、有愧、精進、不失念。諸比丘！具足如此五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌。

（八）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕于增上戒破戒，于增上行破行，于增上見破見、寡聞、劣慧。諸比丘！具足如此五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌。

（九）

諸比丘！具足五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌，〔謂：〕于增上戒不破戒，于增上行不破行，于增上見不破見、多聞、具慧。諸比丘！具足如此五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌。

（一〇）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕侍者或弟子生病，不能〔自〕近侍或使〔他人〕近侍之；生不欣喜，〔不能自〕除或使〔他人〕除之；生惡作，〔不能〕依法〔自〕滅或使〔他人〕滅之；不知犯；不知出罪。諸比丘！具足如此五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌也。

（一一）

諸比丘！具足五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌，〔謂：〕侍者或弟子生病，能〔自〕近侍或使〔他人〕近侍之；生不欣喜，能〔自〕除或使〔他人〕除之；生惡作，能依法〔自〕滅

或使〔他人〕滅之；知犯；知出罪。諸比丘！具足如此五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌。

（一二）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕不能令侍者或弟子學增上行儀之學，不能令于調順初梵行學，不能令于調順增上法，不能令于調順增上律，不能令于依法〔自〕離或令〔他人〕滅離。諸比丘！具足如此五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌。

（一三）

諸比丘！具足五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌，〔謂：〕能使侍者或弟子學增上行儀之學，能令彼等調順初梵行學，能令調順增上法學，能令于調順增上律學，能令依法〔自〕離或令〔他人〕滅離。諸比丘！具足如此五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌。

（一四）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕不知犯，不知不犯，不知輕犯，不知重犯，不善審知兩部波羅提木叉，不善分別，不善轉，不善決擇經文。諸比丘！具足如此五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌。

（一五）

諸比丘！具足五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌，〔謂：〕知犯，知不犯，知輕犯，知重犯，善審知兩部波羅提木

叉，善分別，善轉，善決擇經文。諸比丘！具足如此五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌。

（一六）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕不知犯，不知不犯，不知輕犯，不知重犯，未滿十臘。諸比丘！具足如此五分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌。

（一七）

諸比丘！具足五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌，〔謂：〕知犯，知不犯，知輕犯，知重犯，十臘或過十臘。諸比丘！具足如此五分之比丘得授具足戒、與依止、蓄沙彌。」

———授具足戒
之五分十六事品
終———

三七

（一）

「諸比丘！具足六分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，〔謂：〕不具足無學戒蘊，不具足無學定蘊，不具足無學慧蘊，不具足無學解脫蘊，不具足無學解脫知見蘊，不滿十臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘不得授具足戒，不得與依止，不得蓄沙彌，…〔以下同第一　大犍度三六（二）～（一五），但加『未滿十臘』和『十臘或過十臘』〕…」

———授具足戒
之六分十六事品
終———

三八

（一）

爾時，有舊外道者，和尚為說順法時，以論難和尚而還舊外道處。彼再來諸比丘處請具足戒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！和尚為舊外道說順法時，以論難和尚而還舊外道處者，雖〔再〕來不得授具足戒。諸比丘！若彼舊外道希望依此法與律出家，希望具足戒者，當與四月別住。

（二）

諸比丘！與此〔別住〕時，當如此行之：先剃鬚髮，令著袈裟衣，偏袒右肩，禮諸比丘足，蹲踞，合掌，如此唱言曰：『歸依佛，歸依法，歸依僧。』再次……三次歸依佛，歸依法，歸依僧。

（三）

諸比丘！彼舊外道至僧伽處，偏袒上衣，禮拜諸比丘足，蹲踞，合掌，如此唱言：『我某甲為舊外道，希望于此法與律〔受〕具足戒。我請僧伽與四月別住。』再次請願，三次請願，聰明賢能比丘告僧伽曰：『諸大德！請聽我言！此處舊外道某甲，希望于此法與律〔受〕具足戒，彼請僧伽與四月別住。若僧伽機熟者，僧伽應與舊外道某甲四月別住。此乃表白。

（四）

諸大德！請聽我言！此處舊外道某甲，希望于此法與律〔受〕具足戒，彼請僧伽與四月別住，僧伽應與舊外道某甲四月別住。今與舊外道某甲四月別住，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽與舊外道某甲四月別住已。具壽聽故默然，我如此了知。』

（五）

諸比丘！舊外道適于僧意者如此，不適僧意者如此。諸比丘！如何是舊外道不適僧意耶？諸比丘！此處為外道者，入村落過早，歸來過遲也。諸比丘！如此為舊外道者，不適僧意也。復次，諸比丘！為舊外道者與淫女親近，與寡婦親近，與年華童女親近，與黃門親近，與比丘尼親近也。諸比丘，如此為舊外道者不適僧意也。

（六）

復次，諸比丘！為舊外道者，不堪任梵行弟子之種種當為，不勤勉，不具足其為方便之觀察，不能〔自〕作，不能導他。諸比丘！如此為舊外道者，不適于僧意也。復次，諸比丘！為舊外道者，于質問增上戒、增上心、增上慧之教說，無志欲之願望也。諸比丘！如此為舊外道者，不適于僧意也。

（七）

復次，諸比丘！為舊外道者，聞毀訾前外道處舊師之見、忍、喜欲、執，忿而不樂、不欣。聞毀訾佛、法、僧，則樂而欣、喜。有聞讚歎前外道處舊師之見、忍、所欲、執，樂而欣、喜。聞讚歎佛、法、僧，則忿而不樂、不欣。諸比丘！如此乃決定為舊外道者不適于僧意之所以也。諸比丘！如此乃為舊外道者不適僧意也。諸比丘！如此不適僧意之舊外道來時，亦不得授具足戒。

（八）

諸比丘！如何為舊外道者適于僧意耶？諸比丘！此處為舊外道者，入村落不過早，歸來不過遲。諸比丘！如此為舊外道者，適于僧意也。復次，諸比丘！為舊外道者不與淫女親近，不與寡婦親近，不與年華童女親近，不與黃門親近，不與比丘尼親近。諸比丘！如此為舊外道者，適于僧意也。

（九）

復次，諸比丘！為舊外道者，堪任于梵行弟子種種當為勤勉，具足其為方便之觀察，能〔自〕作，能〔導他〕。諸比丘！如此為舊外道者，適于僧意也。復次，諸比丘！為舊外道者，于質問增上戒、增上心、增上慧之教說，有利志欲也。諸比丘！如此為舊外道者，適于僧意也。

（一〇）

復次，諸比丘！為舊外道者，聞毀訾前外道處舊師之見、忍、所欲、執時，樂而欣、喜，聞毀訾佛、法、僧時，忿而不樂、不欣。聞讚歎前外道處舊師之見、忍、所欲，執時，忿而不樂、不欣，聞讚歎佛、法、僧時，樂而欣、喜。諸比丘！如此乃決定為舊外道者適于僧意之所以也。諸比丘！如此為舊外道者適于僧意。諸比丘！如此適于僧意之舊外道來時應授具足戒。

（一一）

諸比丘！為舊外道者若裸形而來者，乞請衣則依于和尚。若不斷髮而來者，乞僧伽剃髮應許可。諸比丘！若火教徒、螺髻梵志來時，當授具足戒，不得與別住。何以故？諸比丘！彼等讚業，讚所當作故。諸比丘！生于釋迦族而為舊外道者來時，當授具足戒，不得與別住。諸比丘！我與諸親族此不共之特典。」

———舊外道因緣終———

———誦品七終———

三九

（一）

爾時，摩竭國盛患五種病：癩、癰、疹、肺病、癲狂也。眾人患五種病者，到耆婆童子處曰：「師！願治我等〔病〕。」「我甚多當作、甚多當辦。我于摩竭國洗尼瓶沙王及後宮，于佛為上首之比丘眾亦不能不奉事，我不能治〔汝等〕。」「師！一切所有歸于汝，我等將為汝奴僕。師！願治我等。」「我甚多當作、甚多當辦。我于摩竭國洗尼瓶沙王及後宮，于佛為上首之比丘眾亦不能不奉事，我不能治〔汝等〕。」

（二）

時，彼眾人心生思念：「彼諸沙門釋子戒易、行易、食美食、臥風不入之臥具。我等當于諸沙門釋子處出家。若爾，諸比丘應看護〔我等〕，耆婆童子應治〔我等〕矣。」時，彼眾人到諸比丘處請出家，諸比丘令彼等出家授具足戒，諸比丘為之看護，耆婆童子為之治療。

（三）

爾時，諸比丘看護甚多患病比丘，多所乞、多所求曰：「與病者食，與看護病者食，與病者藥物！」而耆婆童子因治此眾多患病比丘故，時捨王事。

（四）

有一人患五種病，到耆婆子處曰：「師！願治我〔病〕。」「我甚多當作、甚多當辦。我于摩竭國洗尼瓶沙王及後宮，于佛為上首之比丘眾亦不能不奉事，我不能治〔汝〕。」「師！一切所有歸于汝，我當為汝奴僕。師！願治我〔病〕。」「我甚多當作、甚多當辦。我于摩竭國洗尼瓶沙王及後宮，于佛為上首之比丘眾亦不能不奉事，我不能治〔汝〕。」

（五）

時，是人心生思念：「彼諸沙門釋子戒易、行易、食美食、臥風不入之臥具。我當到諸沙門釋子處出家。若爾，諸比丘應看護〔我〕，耆婆童子亦應治〔我〕，我至無病則還俗。」時，是人到諸比丘處請出家，諸比丘令彼出家受具足戒，諸比丘為之看護，耆婆童子為之治療。彼病癒還俗，耆婆童子見是人還俗。見已，言是人曰：「汝非至諸比丘處出家耶？」「師！乃爾！」「既爾，何作如此事耶？」時，是人以此事告耆婆童子。

（六）

耆婆童子忿怒、非難：「如何諸尊者令患五種病者出家耶？」時，耆婆童子詣世尊住處。詣已，敬禮世尊坐于一面。于一面坐已，耆婆童子白世尊言：「世尊！願不令患五種病者出家。」

（七）

時，世尊說法、教示、勸導、獎勵耆婆童子令之歡喜。時，耆婆童子歡喜世尊說法、教示、勸導、獎勵，即從座起，敬禮世尊，右繞而去。時，世尊由此因緣，于此時機說法而告諸比丘曰：「諸比丘！患五種病者不得令出家，令出家者墮惡作。」

四〇

（一）

爾時，摩竭國洗尼瓶沙王境內反亂。時，摩竭國洗尼瓶沙王命令將軍、大臣曰：「汝等往鎮國境！」「唯！唯！大王！」將軍、大臣應諾摩竭國洗尼瓶沙王。

（二）

時，著名軍士心生思念：「我等若喜戰而往，則為惡而多積非福。將依何方便以脫惡為善耶？」時，彼諸軍士又生思念：「彼諸沙門釋子行法、行平等、修梵行、說真實、持戒、有善法。若我等往諸沙門釋子處出家，則我等脫惡為善矣。」時，彼諸軍士即至諸比丘處請出家，諸比丘令彼等出家授具足戒。

（三）

將軍、大臣問王臣曰：「如何某甲等軍士不在耶？」「某甲等軍士于諸比丘處出家矣。」將軍、大臣忿怒，非難：「如何諸沙門釋子令王臣出家耶？」將軍、大臣以此事告摩竭國洗尼瓶沙王。時，摩竭國洗尼瓶沙王問司法大臣曰：「以使王臣出家者當于何罪耶？」「大王！應斷和尚頭顱，拔表白師之舌，半折會眾之肋骨。」

（四）

時，摩竭國洗尼瓶沙王詣世尊住處，敬禮世尊，坐于一面。坐一面已，洗尼瓶沙王白世尊曰：「世尊！于諸王中有無信心、無淨心者，以瑣事煩惱諸比丘，願世尊不令王臣出家。」時，世尊說法、教示、勸導、獎勵，使摩竭國洗尼瓶沙王歡喜。時，摩竭國洗尼瓶沙王慶喜世尊說法、教示、勸導、獎勵已，即從座起，敬禮世

尊，右繞而去。時，世尊以此因緣，于此時機說法而告諸比丘曰：「諸比丘！不得令王臣出家，令出家者墮惡作。」

四一

（一）

爾時，盜賊鴦崛摩羅于比丘處出家。眾人見之驚懼而逃、避路、背面、閉門。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子令強盜出家耶？」諸比丘聞彼等忿怒、非難。時，諸比丘以此事白世尊，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！不得令強盜出家，令出家者墮惡作。」

四二

（一）

爾時，摩竭國洗尼瓶沙王下令曰：「于諸沙門釋子處出家者，得不作任何事，但善說法、行梵行、正作苦邊際！」爾時，有一人，為盜被繫于獄舍，破獄舍逃脫，于諸比丘處出家。

（二）

眾人見曰：「此乃彼破獄舍盜賊也！應捕之！」或言：「不得如此說，摩竭國洗尼瓶沙王下令：『于諸沙門釋子處出家者，得不為任何事，但善說法、行梵行、正作苦邊際。』」眾人忿怒、非難：「彼諸沙門釋子得無畏，彼等得不為任何事，如何令破獄盜賊出家耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令破獄盜賊出家，令出家者墮惡作。」

四三

（一）

爾時，有一人為盜而逃至諸比丘處出家。于王後宮張貼告示，謂：「若見應即殺。」眾人見而言曰：「此乃彼告示中盜賊也！應殺之！」或曰：「不得如此言……作苦邊際。」眾人忿怒、非難：「彼諸沙門釋子得無畏，彼等得不為任何事，如何令被告示之盜賊出家耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令被告示之盜賊出家，令出家者墮惡作。」

四四

（一）

爾時，有一受笞刑者于諸比丘處出家。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子令受笞刑者出家耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令受笞刑者出家，令出家者墮惡作。」

四五

（一）

爾時，有一受烙刑者于諸比丘處出家。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子令受烙刑者出家耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令受烙刑者出家，令出家者墮惡作。」

四六

（一）

爾時，有一逃債者于諸比丘處出家。諸債主見曰：「此乃我等債務人！捕之！」或曰：「不得如此說，摩竭國洗尼瓶沙王下令：『到沙門釋子等處出家者，得不為任何事，但善說法、行梵行、正作苦邊際。』」眾人忿怒、非難：「彼沙門釋子等得無畏，彼等得

不為任何事，如何令負債人出家耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令負債人出家，令出家者墮惡作。」

四七

（一）

爾時，有一奴僕逃于諸比丘處出家。諸主人見曰：「此乃我等奴僕！逮捕之！」或曰：「不得如此言……正作苦邊際。」眾人忿怒、非難：「彼沙門釋子等得無畏，彼等得不為任何事，如何令奴僕出家耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令奴僕出家，令出家者墮惡作。」

四八

（一）

爾時，有一禿頭鍛工，與父母爭而往〔僧〕園于諸比丘處出家。時，彼禿頭鍛工之父母，為尋彼禿頭鍛工，到〔僧〕園問諸比丘曰：「見如此童子否？」諸比丘不知而言曰：「我等不知。」未見而言曰：「我等未見。」

（二）

時，彼禿頭鍛工之父母，尋彼禿頭鍛工，見于諸比丘處出家，忿怒、非難曰：「此諸沙門釋子無慚、妄語破戒。知而言不知；見而言未見。此童子已于諸比丘處出家也。」諸比丘聞彼禿頭鍛工之父母忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許應于僧伽求剃髮之許可。」

四九

（一）

爾時，王舍城有一群童子十七人為好友，以優波離童子為其上首。時優波離父母心生思念：「我等死後，優波離依何方便得以安樂生活而無困苦？」時，優波離父母心生思念：「若令優波離善學書，我等死後，優波離可得安樂生活而無困苦。」時，優波離父母心生思念：「若令優波離學書，于指即痛苦。若令優波離學算數，我等死後，優波離可得安樂生活而無困苦。」

（二）

時，優波離父母心生思念：「若令優波離學算數，于胸即痛苦。若令優波離善學畫，我等死後，優波離可得安樂生活而無困苦。」時，優波離父母心生思念：「若令優波離善學畫，于眼即痛苦。彼諸沙門釋子戒易、行易、食美食、臥風不入之臥具。若令優波離于諸沙門釋子處出家，則我等死後，優波離可得安樂生活而無困苦。」

（三）

優波離童子聞父母如此言談。時，優波離童子即至彼諸童子處。至已，言彼諸童子曰：「來！我等于諸沙門釋子處出家。」「若汝出家者，則我等亦出家。」時，彼諸童子至各自父母處言曰：「許我離家而出家。」時，彼諸童子之父母及彼諸童子皆同有善意趣志願，故許焉。彼等到諸比丘處請出家。諸比丘令彼等出家授具足戒。

（四）

彼等于夜未明凌晨早起而喚曰：「與粥！與食！與噉食！」諸比丘曰：「應待至天明，有粥即飲，有食即食，有噉食即食之；若

無粥、食、噉食時，應往乞食而食焉！」諸比丘雖如此說，彼等唯喚：「與粥！與食！與噉食！」〔而〕濡污臥牀。

（五）

世尊于夜未明凌晨時，起而聞童子聲。聞已，告具壽阿難曰：「阿難！何故彼童子聲？」時，具壽阿難以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘知未滿二十歲而授與具足戒事，真實否？」「世尊！真實也！」佛世尊呵責曰：「諸比丘！如何愚人知未滿二十歲而授與具足戒耶？」

（六）

「諸比丘！未滿二十歲者，不堪忍耐寒、熱、飢、渴、蚊、虻、風、熱、蟲、蛇所觸；〔不堪忍耐〕罵詈惡口言語；身不堪忍受苦、猛、粗、利、不悅、不可意而奪命。諸比丘！二十歲者，堪忍耐寒、熱……。諸比丘！如此令未信者不生信，已信者非所增益。」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！知未滿二十歲者，不得授與具足戒；授具足戒者，應依法斷除。」

五〇

（一）

爾時，有一家族，因蛇風病而死，唯遺父子。彼等于比丘處出家，俱往乞食。時，彼童子當受其父施熱粥言曰：「父親！亦與我！父親！亦與我！」眾人忿怒、非難：「彼沙門釋子非梵行者也，此童子乃比丘尼所生也。」諸比丘聞彼眾人忿怒、非難。時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令未滿十五歲童子出家，令出家者墮惡作。」

五一

（一）

爾時，有一歸依阿難家族有信心、有淨心。因蛇風病而死，唯遺二童子。彼等依舊習，見有比丘即趨近前，諸比丘等叱退之。彼等為諸比丘所叱退而仍叫喚。時，具壽阿難心生思念：「世尊規定不得令未滿十五歲童子出家，而此諸童子皆不滿十五歲，依何方便得不喪失此諸童子耶？」時，阿難以此事白世尊，〔世尊曰：〕「阿難！此諸童子能驅烏否？」「世尊！能！」時，世尊依此因緣，于此時機說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許令未滿十五歲童子為驅烏人而出家。」

五二

（一）

爾時，具壽跋難陀釋子有二沙彌，謂騫荼與磨竭也。彼等更相行淫。諸比丘忿怒、非難：「如何沙門行如此非行耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！一人不得蓄二沙彌，蓄者墮惡作。」

五三

（一）

爾時，世尊于王舍城既過雨季，又過夏、冬。眾人忿怒、非難：「有諸沙門釋子，四方無路而盲闇，彼等不知四方。」諸比丘聞彼眾人忿怒、非難。時，諸比丘以此事白世尊。

（二）

時，世尊告阿難曰：「阿難！持鍵往告各房舍諸比丘言：『世尊將遊行南山，欲從者來。』」「唯！唯！」具壽阿難應諾世尊，

即持鍵往各房舍告諸比丘言：「世尊將遊行南山，欲從者來。」

（三）

諸比丘曰：「阿難！世尊規定于十臘間依止而住，過十臘後，可與〔人〕依止。若我等當往彼處而取依止，住短時間復還來時，則不能不再取依止。若我等阿闍梨、和尚往，我等亦往；若我等阿闍梨、和尚不往，我等亦不往。阿難！〔不然〕我等知為輕率也。」

（四）

時，世尊與少數比丘眾俱，遊行南山。時，世尊于隨意間住南山後，復還王舍城。時，世尊告具壽阿難曰：「如何如來遊行南山，唯與少數比丘眾俱耶？」時，具壽阿難以此事白世尊。時世尊依此因緣，于此時機說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許聰明賢能之比丘依止五年，暗昧者乃至命終應依止而住。

（五）

諸比丘！具足五分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕不具足無學戒蘊…〔同第一　大犍度三六（二）〕…諸比丘！具足如此五分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足如此五分之比丘，得無依止而住，〔謂：〕無學之…〔同第一　大犍度三六（三）〕…諸比丘！具足如此五分之比丘，得無依止而住。

（六）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕不信…〔同第一大犍度三六（六）〕…諸比丘！具足如此五分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足五分比丘得無依止而住，〔謂：〕

有信…〔同第一　大犍度三六（七）〕…諸比丘！具足如此五分之比丘得無依止而住。

（七）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕于增上戒學…〔同第一　大犍度三六（八）〕…諸比丘！具足如此五分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足五分之比丘得無依止而住，〔謂：〕于增上戒…〔同第一　大犍度三六（九）〕…諸比丘！具足如此五分之比丘得無依止而住。

（八）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕…犯〔同第一　大犍度三六（一四）〕…諸比丘！具足如此五分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足五分比丘得無依止而住，〔謂：〕…不犯〔同第一　大犍度三六（一五）〕…諸比丘！具足如此五分之比丘得無依止而住。

（九）

諸比丘！又，具足五分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕…犯〔同第一　大犍度三六（一六）〕…未滿五臘也。諸比丘！具足如此五分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足五分之比丘得無依止而住，〔謂：〕…不犯〔同第一　大犍度三六（一七）〕…五臘或過五臘也。諸比丘！具足如此五分之比丘得無依止而住。

（一〇）

諸比丘！具足六分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕…無學之〔同第一大犍度三七（一）〕…未滿五臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足六分之比丘得無依止而

住，〔謂：〕…無學之〔同第一　大犍度三七（二）〕…五臘或過五臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘得無依止而住。

（一一）

諸比丘！又具足六分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕不信…〔同第一大犍度三七（五）〕…未滿五臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足六分之比丘得無依止而住，〔謂：〕有信…〔同第一　大犍度三七（六）〕…五臘或過五臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘得無依止而住。

（一二）

諸比丘！又具足六分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕于增上戒…〔同第一　大犍度三七（七）〕…未滿五臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足六分之比丘得無依止而住，〔謂：〕于增上戒…〔同第一　大犍度三七（八）〕…五臘或過五臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘得無依止而住。

（一三）

諸比丘！又具足六分之比丘不得無依止而住，〔謂：〕…犯〔同第一　大犍度三七（一三）〕…未滿五臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘不得無依止而住。諸比丘！具足六分之比丘得無依止而住，〔謂：〕…不犯〔同第一　大犍度三七（一四）〕…五臘或過五臘也。諸比丘！具足如此六分之比丘得無依止而住。」

———無畏誦品終———

五四

（一）

時，世尊于隨意間住王舍城後，往迦維羅衛城，順次遊行至迦維羅衛城。時，世尊住釋迦國迦維羅衛城尼拘律園。時，世尊于早晨時著下裳，持鉢、衣，至釋氏淨飯王住處。至已，坐于設座。時，羅睺羅之母王妃言羅睺羅王子曰：「羅睺羅！彼汝父也，往求餘財！」

（二）

時，羅睺羅詣世尊住處。詣而立于世尊之前曰：「沙門！歡喜汝之形影。」時，世尊即從座起而去。時，羅睺羅王子隨往世尊之後言曰：「沙門！與我餘財，沙門！與我餘財。」時，世尊告舍利弗曰：「舍利弗！汝令羅睺羅出家！」「我如何令羅睺羅出家耶？」

（三）

時，世尊依此因緣，于此時機說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許以三歸依令出家為沙彌。諸比丘！令出家者，應如此為之：先剃除鬚髮，著袈裟衣，偏袒上衣，禮比丘足，蹲踞，合掌，如此唱曰：『歸依佛，歸依法，歸依僧。二次……三次歸依佛，歸依法，歸依僧。』諸比丘！許以如此三歸依令出家為沙彌。」

（四）

時，具壽舍利弗令羅睺羅出家。時，釋氏淨飯王詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，坐于一面。坐一面已，釋氏淨飯王白世尊曰：「我有一願求世尊。」「瞿曇！諸如來已超所願。」「〔我願〕相應無過也。」「瞿曇！請言！」

（五）

「世尊出家之時，我不少痛苦，難陀之時亦然，及至羅睺羅而極大。想對子之愛由如割皮，割皮而切膚，切膚而割肉，割肉而斷筋，斷筋而粹骨，粹骨而徹體。願不令父母不許之子出家。」

（六）

時，世尊說法、教示、勸導、獎勵，令釋氏淨飯王慶喜。時，釋氏淨飯王于世尊說法、教示、勸導、獎勵已，敬禮世尊，右繞而去。時，世尊由此因緣，于此時機說法而告諸比丘曰：「諸比丘！不得令父母不許之子出家，令出家者墮惡作。」

五五

（一）

時，世尊于隨意間住迦維羅衛城後，向舍衛城遊行，順次遊行至舍衛城。時，世尊住舍衛城祇樹林給孤獨園。爾時，有一家族歸依具壽舍利弗，送具壽舍利弗一童子，請長老令其童子出家。時，具壽舍利弗心生思念：「世尊制定一人不得蓄二沙彌學處。我已有羅睺羅，我如何令〔此童子〕出家。」彼以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許聰明賢能之比丘一人蓄二沙彌，只要能教授、教誡，許蓄〔沙彌〕。」

五六

（一）

時，諸沙彌心生思念：「我等學處有幾何耶？我等應學何耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！沙彌有十學處，許沙彌學此，〔謂：〕不殺生、不偷盜、不行非梵行、不妄語、不飲酒、不非時食、不觀聽歌舞伎樂、不用鬘香塗飾、不睡高廣大牀、不受金銀。諸比丘！沙彌有如此十學處，沙彌應學此。」

五七

（一）

爾時，諸沙彌不尊敬，不恭順，不與諸比丘和合住。諸比丘忿怒、非難：「如何諸沙彌不尊敬，不恭順，不與比丘等和合住耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許罰具足五分之沙彌，〔謂：〕圖謀令諸比丘無所得，圖謀令諸比丘不利，圖謀令諸比丘無住處，誹謗諸比丘，離間比丘與比丘。諸比丘！許罰具足如此五分之沙彌。」

（二）

時，諸比丘心生思念：「應如何行罰耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許禁止。」時，諸比丘皆禁止沙彌〔入〕僧園。諸沙彌不得入園，或離去，或還俗，或歸外道。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得禁止全僧園，禁止者墮惡作。諸比丘！許禁住處或歸處。」

（三）

爾時，諸比丘禁止諸沙彌進食。眾人作粥或僧食，言沙彌曰：「來！請飲粥。來！請進食。」諸沙彌言：「我等不能，比丘禁止矣。」眾人忿怒、非難：「如何諸大德禁止諸沙彌飲食耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得禁食，禁止者墮惡作。」

———罰事終———

五八

（一）

爾時，六群比丘未問和尚而禁止沙彌。諸和尚尋〔思〕曰：「何故我等沙彌不在耶？」諸比丘言曰：「為六群比丘所禁止。」諸和尚忿怒、非難：「如何六群比丘不問我等而禁止我等沙彌耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得不問和尚而為禁止，為者墮惡作。」

五九

（一）

爾時，六群比丘帶走諸長老比丘之沙彌。諸長老自取楊枝、漱水而疲倦。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得帶走他人會眾，帶走者墮惡作。」

六〇

（一）

爾時，具壽跋難陀之沙彌騖荼污染比丘尼康達迦。諸比丘忿怒、非難：「如何沙彌行如此非行儀耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許擯滅具足十分之沙彌，〔謂：〕殺生、偷盜、非梵行、妄語、飲酒、謗佛、謗法、謗僧、邪見、污染比丘尼也。諸比丘！許擯滅具足如此十分之沙彌。」

六一

（一）

爾時，有一黃門，于諸比丘處出家。彼至諸年青比丘處言曰：「來！與我行不淨法。」諸比丘斥退而言：「黃門！滅去。黃門！

喪去。何用汝耶！」被諸比丘所斥退而至諸長大、肥胖沙彌處言曰：「來！與我行不淨法。」沙彌等斥退而言：「黃門！滅去。黃門！喪去。何用汝耶！」被諸沙彌所斥退而到放象人、放馬人處，言：「來！與我行不淨法。」放象人、放馬人與之行不淨法。

（二）

彼等忿怒、非難：「彼諸沙門釋子乃黃門也。彼等之中非黃門者污染黃門，如此，彼等皆非梵行者。」諸比丘聞放象人、放馬人之忿怒及非難。時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！黃門未受具足戒者，不得授具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。」

六二

（一）

爾時，有一舊族姓子，家道衰落而其身柔弱。時，彼家道衰落舊族姓子心生思念：「我身柔弱，不能得未得之富，使已得之富增大。依何方便得安樂生活而無困難耶？」時，彼其家斷滅舊族姓子心生思念：「彼諸沙門釋子戒易、行易、食美食、臥風不入臥具。我當自備鉢、衣，除去鬚髮，著袈裟衣，往〔僧〕園與諸比丘共住。」

（二）

時，彼家道衰落舊族姓子，自備鉢、衣，去鬚髮，著袈裟衣，往〔僧〕園敬禮諸比丘。諸比丘曰：「汝何臘？」「何臘者何？」「汝之和尚為誰耶？」「和尚者何？」諸比丘言具壽優波離曰：「優波離！請尋問此出家者。」

（三）

時，具壽優波離詢問彼家道衰落舊族姓子，彼告以此事。具壽優波離以此事告諸比丘。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！賊住者未受具足戒將不得授具足戒，已授具足戒者當擯滅之。諸比丘！歸外道者未受具足戒時，不得授具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。」

六三

（一）

爾時，有一龍悲嘆、羞恥、嫌惡龍生。時，彼龍心生思念：「依何方便脫離龍生，速得人性耶？」時，彼龍心生思念：「彼諸沙門釋子行法、行平等、修梵行、說真實、持戒有善法。我若到諸沙門釋子處出家時，應脫離龍生，速得人性。」

（二）

時，彼龍現為孺童形，至諸比丘處請求出家。諸比丘令彼出家授具足戒。爾時，彼龍與一比丘俱住邊隅精舍。時，比丘于夜未明凌晨起身于露處經行。時，彼龍于比丘外出安心入睡，現龍身遍滿精舍，局蜷出于窗外。

（三）

時，彼比丘欲開門入精舍，見有龍身遍滿精舍，局蜷出于窗外。見而怖畏舉聲。諸比丘跑來言彼比丘曰：「何以舉聲耶？」「有龍身遍滿精舍，局蜷出于窗外。」時，彼龍為其聲驚醒而坐于座。諸比丘曰：「汝為何耶？」「我乃龍也！」「如何汝現如此形耶？」時，彼龍以此事白諸比丘。諸比丘以此事白世尊。

（四）

時，世尊依此因緣，于此時機，集會諸比丘而告彼龍曰：「汝諸龍于此法與律不增長。龍！離去！應持上半月十四日、十五日、八日之齋戒，如此，汝可脫龍生，速得人性。」時，彼龍〔知〕于此法與律，不增長，苦惱悲嘆、流淚舉聲而去。

（五）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！現龍自相有二因緣，〔謂：〕與同類者交會時及安心入睡時也。諸比丘！現龍自相有如此二因緣。諸比丘！畜生于未受具足戒時，不得授具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。」

六四

（一）

爾時，有一孺童，奪母之命，彼以其惡業故而悲嘆、羞恥、嫌惡。時，彼孺童心生思念：「依何方便出離此惡業耶？」時，彼孺童心生思念：「彼諸沙門釋子行法、行平等、修梵行、說真實、持戒、有善法。我若于諸沙門釋子處出家時，可出離彼惡業。」

（二）

時，彼孺童至諸比丘處請求出家。諸比丘言優波離曰：「優波離！前有龍現孺童形，于諸比丘處出家。優波離！詢問此孺童。」時，具壽優波離詢問彼孺童，彼告其事。優波離以此事告諸比丘，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！殺母者未受具足戒者，不得授具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。」

六五

（一）

爾時，有一孺童，奪父之命。彼以其惡業故…〔同第一　大犍度六四（一）～（二）〕…比丘等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！殺父者未受具足戒者，不得授具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。」

六六

（一）

爾時，有甚多比丘，行于娑竭陀至舍衛城道上。路上諸賊出，強奪一部分比丘，殺戮一部分比丘。王臣由舍衛城來，捕捉一部分盜賊而一部分逃走。諸逃走者于諸比丘處出家。諸被捕者，以受死罪而拘去。

（二）

彼諸出家者，見拘去受死罪諸賊。見而言：「我等善逃，若被捕時，我等亦將如此被殺。」諸比丘曰：「汝等作何事耶？」彼諸出家者以此事白諸比丘。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！彼諸比丘乃阿羅漢也。諸比丘！殺阿羅漢者未受具足戒時，不得授與具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。」

六七

（一）

爾時，有甚多比丘尼，行于娑竭陀往舍衛城道上。路上諸賊出，強奪一部分比丘尼，污染一部分比丘尼。王臣由舍衛城…〔同第一　大犍度六六（一）～（二）〕…諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！污染比丘尼者，未受具足戒時，不得授具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。諸比丘！破和合僧者，未受具足戒時，不得受具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。諸比丘！〔出佛

身〕血者，未受具足戒時，不得授具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。」

六八

（一）

爾時，有一人二根者，于諸比丘處出家。彼自行之亦令他行。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！二根者未受具足戒時，不得授具足戒；已受具足戒者，應擯滅之。」

六九

（一）

爾時，比丘等授不請和尚者具足戒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不請和尚者，不得授具足戒，授具足戒者墮惡作。」

（二）

爾時，諸比丘授以僧伽為和尚者具足戒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！以僧伽為和尚者，不得授具足戒，授具足戒者墮惡作。」

（三）

爾時，諸比丘授以眾人為和尚者具足戒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！以眾人為和尚者不得授具足戒，授具足戒者墮惡作。」

（四）

爾時，諸比丘以黃門為和尚而授具足戒…乃至…以賊住者為和尚……以歸外道者為和尚……以畜生者為和尚……以殺母者為和尚……以殺父者為和尚……以殺阿羅漢者為和尚……以污染比丘尼者為和尚……以破和合僧者為和尚……以〔出佛身〕血者為和尚……授以二根者為和尚者具足戒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得授以黃門為和尚者具足戒，不得授以賊住者為和尚者具足戒……不得授以二根者為和尚者具足戒，授具足戒者墮惡作。」

七〇

（一）

爾時，諸比丘授于未具鉢者具足戒，彼等以手受而往乞食。眾人忿怒、非難：「猶如外道。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得授于未具鉢者具足戒，授具足戒者墮惡作。」

（二）

爾時，諸比丘授于未具衣者具足戒，彼等裸形往乞食。眾人忿怒、非難：「猶如外道。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得授于未具衣者具足戒，授具足戒者墮惡作。」

（三）

爾時，諸比丘授于未具鉢、衣者具足戒，彼等裸形、以手受而往乞食。眾人忿怒、非難：「猶如外道。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得授于未具鉢、衣者具足戒，授具足戒者墮惡作。」

（四）

爾時，諸比丘授于借鉢者具足戒，受具足戒已而還鉢，以手受而往乞食。眾人忿怒、非難：「猶如外道。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得授于借鉢者具足戒，授具足戒者墮惡作。」

（五）

爾時，諸比丘授于借衣者具足戒，受具足戒已而還衣，裸形往乞食。眾人忿怒、非難：「猶如外道。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得授于借衣者具足戒，授具足戒者墮惡作。」

（六）

爾時，諸比丘授于借鉢、衣者具足戒，受具足戒已而還鉢、衣。裸形、以手受而往乞食。眾人忿怒、非難：「猶如外道。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得授于借鉢、衣者具足戒，授具足戒者墮惡作。」

———不得授具足戒二十種人品終———

七一

（一）

爾時，比丘等令手被割截者出家…乃至…足被割截者……手、足被割截者……耳被割截者……鼻被割截者……耳、鼻被割截者……指被割截者……大指被割截者……腱被割截者……手如蛇頭者……佝僂者……侏儒者……癭者……受烙印刑者……受笞刑者……被標記罪狀者……象皮病者……惡疾者……毀辱眾者……瞎

子……瘤手……跛者……半身不遂者……殘廢者……老弱者……盲者……痙者……聾者……盲痙者……盲聾者……聾痙者……盲聾痙者出家。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！不得令手被割截者出家，不得令足被割截者出家……不得令盲聾痙者出家，令出家者墮惡作。」

———不得令出家之三十二種人品終———

———餘財誦品終———

七二

（一）

爾時，六群比丘與無恥者依止。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得與無恥者依止，與者墮惡作。」爾時，諸比丘依止諸無恥者而住，不久，成為無恥惡比丘。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得依止諸無恥者而住，依止而住者墮惡作。」

（二）

時，諸比丘心生思念：「世尊規定不得與無恥者依止，不得依止無恥者而住，我等如何知有恥及無恥耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許待四、五日以知比丘習性。」

七三

（一）

爾時，有一比丘在拘薩羅國遊行旅途中。時，彼比丘心生思念：「世尊規定無依止不得住。我應依止而在旅途中，我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！旅遊途上比丘不得依止時，許無依止而住。」

（二）

爾時，有二比丘在拘薩羅國遊行旅途上。彼等至一住處，而于是處有一比丘生病。時，彼比丘心生思念：「世尊規定無依止不得住。我應覓依止但有病，我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病比丘不得依止時，許無依止而住。」

（三）

時，彼看病比丘心生思念：「世尊規定無依止不得住。我應作依止，但此比丘有病。我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！看病比丘不得依止時，許無依止而住。」

（四）

爾時，有一比丘住森林，于其坐、臥處得安穩。時，彼比丘心生思念：「世尊規定無依止不得住，我應尋得依止，但住森林而于此坐、臥處得安穩，我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于森林安穩住之比丘不得依止時，許無依止而住；但與依止相應者來，應依止而住。」

七四

（一）

爾時，有願從具壽摩訶迦葉受具足戒者。時，具壽摩訶迦葉遣使言具壽阿難曰：「阿難！來為此人誦〔具足戒文〕。」具壽阿難曰：「我不能唱長老名，長老乃我所尊重者故也。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許唯稱姓誦〔具足戒文〕。」

（二）

爾時，有二人願從具壽摩訶迦葉受具足戒。彼等爭言：「我先受具足戒！我先受具足戒！」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許一次誦文而與二人同〔授具足戒〕。」

（三）

爾時，有甚多願從長老受具足戒者。彼等爭言：「我先受具足戒！我先受具足戒！」諸長老言：「我等一次誦文而悉與〔授具足戒〕。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許一次誦文而與二人或三人悉〔授具足戒〕，但應依同一和尚，不得依其他和尚。」

七五

（一）

爾時，具壽鳩摩羅迦葉從入胎算至二十歲受具足戒。時，具壽鳩摩羅迦葉心生思念：「世尊規定未滿二十歲者不得受具足戒，而我從入胎算起滿二十歲。我算受具足戒或不算受具足戒耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于母胎生第一心而現第一識，由此有生。諸比丘！許從入胎算至二十歲授具足戒。」

七六

（一）

爾時，受具足戒者有癩、癰、疹、肺病、癲狂等病。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許授具足戒者詢問障法。諸比丘！詢問時應如此為。謂：汝有癩、癰、疹、肺病、癲狂等病否？汝是人否？是男人否？自在否？非負債者否？非王臣否？父母許否？滿二十歲否？鉢、衣圓滿否？何名耶？和尚之名為何耶？」

（二）

爾時，諸比丘對願受具足戒者未與教誡而問障法。願受具足戒者困惑、羞愧不能答。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許先教誡而後問障法。」

（三）

于其僧伽中行教誡。願受具足戒者困惑、羞愧不能答。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許于一邊教誡之後問障法。諸比丘！教誡者應如此為之：應先令選擇和尚，選和尚後，應示鉢、衣，曰：『此是汝鉢，此是僧伽梨，此是鬱多羅僧，此是安陀會，往立彼處。』」

（四）

有愚癡、暗昧者與教誡，願受具足戒者，受教誡時困惑、羞愧而不能答。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！愚癡、暗昧者不得與教誡，與教誡者墮惡作。諸比丘！許聰明賢能之比丘與教誡。」

（五）

有未當選者與教誡。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！未當選者不得與教誡，與教誡者墮惡作。諸比丘！許當選者與教誡。諸比丘！選時應如此為之：或選自己，或選他人。如何選自己耶？聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！某甲願從具壽某甲受具足戒。若僧伽機熟者，當與我教誡某甲。』如此，選己也。

（六）

如何選他耶？聰明賢能比丘應告僧伽曰：『諸大德！請聽我言！某甲願從具壽某甲受具足戒。若僧伽機熟者，當令某甲與教誡某甲。』如此，選他也。

（七）

當選比丘應至願受具足戒者處言彼曰：『某甲請聽！今汝〔語〕真時，〔語〕實時。于僧伽詢問時，有應言有，無應言無，勿困惑、勿羞愧。當如此問汝：汝有病否？……和尚之名為何耶？』

（八）

〔教誡者及受者〕相偕而來，不得相偕而來。教誡者應先來告僧伽言：『諸大德！請聽我言！某甲願從具壽某甲受具足戒，我與彼教誡已。若僧伽機熟者，令某甲來。』應言：『請來！』即偏袒上衣，禮諸比丘足，蹲踞，合掌，請受具足戒：『我請僧伽授具足戒，僧伽哀愍濟度我。二次……三次……我請僧伽授具足戒，僧伽哀愍濟度我。』

（九）

聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！此處某甲願從具壽某甲受具足戒。若僧伽機熟者，我問某甲障法。某甲！請聽！今乃汝〔語〕真時，〔語〕實時也。我問汝事，有應言有，無應言無。汝有病否？……和尚之名為何耶？』

（一〇）

聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！此處某甲願從具壽受具足戒。無有障法，鉢、衣完備。某甲請僧伽以某甲為和尚授具足戒。若僧伽機熟者，僧伽應以某甲為和尚授某甲具足戒。此乃表白。

（一一）

諸大德！請聽我言！此處某甲願從具壽某甲受具足戒。無有障法，鉢、衣完備。某甲請僧伽以某甲為和尚授具足戒。僧伽應以某甲為和尚授某甲具足戒。以某甲為和尚授某甲具足戒，具壽聽者默然，不聽者請言。

（一二）

我二次說此事……我三次說此事……不聽者請說。僧伽以某甲為和尚授某甲具足戒已。具壽聽故默然，我如是了知。』」

———具足戒羯磨終———

七七

（一）

「其次，應量〔日〕影、告時季、告日分、告法式。應告四依，〔謂：〕出家依乞食，于此乃至命終應勤行。餘得者：僧次食、別請食、請食、行籌食、十五日食、布薩食、月初日食也。出家依糞掃衣，于此乃至命終應勤行。餘得者：亞麻衣、綿衣、野蠶衣、褐衣、麻衣、紵衣也。出家依樹下坐，于此乃至命終應勤行。餘得者：精舍、平覆屋、殿樓、樓房、地窟也。出家依陳棄藥，于此乃至命終應勤行。餘得者：熟酥、生酥、油、蜜、糖也。」

———四依品終
———

七八

（一）

爾時，諸比丘授一比丘具足戒，唯留其一人而去。彼以後獨往而于途中遇其舊妻。彼女言曰：「汝今出家耶？」「然！我出家矣。」「出家者難得淫法，來！行淫法。」彼與彼女乃行淫法，甚久始來。比丘等言曰：「汝為何遲來耶？」

（二）

時，彼比丘以此事告諸比丘。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！授具足戒者，許與同伴而告四非事。受具足戒之比丘，即對畜生亦不得行淫法。比丘以行淫法者，非沙門，非釋子也。猶如有人一經斬首，其身命即絕。如此比丘若行淫法，其沙門釋子〔戒命〕亦絕。此即至命終不得為也。

（三）

受具足戒比丘，不與取即偷盜，乃至盜一草葉亦不得為之。為五錢、或五錢物、或過五錢物不與取偷盜者，乃非沙門、非釋子。

猶如枯葉離枝不〔復〕綠色，如此比丘行五錢、或五錢物、或過五錢物不與取偷盜者，亦非沙門釋子矣。此至命終不得為也。

（四）

受具足戒比丘，不得知而奪去有情乃至螻蟻性命。比丘知而奪命乃至墮胎者，即非沙門、非釋子。猶如巨石破為二分，不得復合，如此比丘知而奪人身命，非沙門、非釋子。此至命終不得為也。

（五）

受具足戒比丘，不得稱上人法乃至言：『我于空屋受快樂。』比丘有惡欲，為惡所迫，稱非真非實之上人法、禪、解脫、三昧、正受、道、果者，乃非沙門、非釋子。猶如多羅樹截去其心者，不能復生，如此比丘有惡欲，為惡所迫，稱非真、非實上人法者，亦非沙門、非釋子。此至命終不得為也。」

———四非事品終———

七九

（一）

爾時，有一比丘，不〔自〕見罪被舉而還俗，彼再還來向諸比丘請求受具足戒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有比丘，不〔自〕見罪被舉而還俗，再還來向諸比丘請求受具足戒。應言彼曰：『汝見彼罪耶？』若言見者可令出家；若言不見，不得令出家。

（二）

令出家後，應言：『汝見彼罪耶？』若言見者可授具足戒；若言不見，不得授具足戒。授具足戒後，應言：『汝見彼罪耶？』若言見者可與解羯磨；若言不見，不得與解羯磨。與解羯磨後，應言：『汝見彼罪耶？』若言見者善；若言不見者，若得僧和合可再舉之；若不得僧和合者，與〔之〕共住共食亦不成罪。

（三）

諸比丘！此處有比丘有罪不懺悔而還俗，再還來向諸比丘請求受具足戒。應言彼曰：『汝懺悔彼罪耶？』若言懺悔者可令之出家；若言不懺悔者不得令出家。令出家後，應言：『汝懺悔彼罪耶？』若言懺悔者可授具足戒；若言不懺悔者不得授具足戒。授具足戒後，應言：『汝懺悔彼罪耶？』若言懺悔者可與解羯磨；若言不懺悔者不得與解羯磨。與解羯磨後，應言：『汝懺悔彼罪？』若言懺悔者善；若言不懺悔者，得僧和合時可再舉之；若不得僧和合者，與之共住共食亦不成罪。

（四）

諸比丘！此處有比丘不捨惡見，被舉而還俗，再來向諸比丘請求受具足戒。應言彼曰：『汝捨彼惡見耶？』若言捨者可令出家；若言不捨者不得令出家。令出家後，應言：『汝捨彼惡見耶？』若言捨者可授具足戒；若言不捨者不得授具足戒。授具足戒後，應言：『汝捨彼惡見耶？』若言捨者可與解羯磨；若言不捨者不得與解羯磨。與解羯磨後，應言：『汝捨彼惡見耶？』若言捨者善；若言不捨者，得僧和合可再舉之；不得僧和合者，與之共住共食亦不成罪。」

———〔誦品一〇終〕———

律乃于大義　齎樂善美者
折伏惡欲人　攝受有恥者
持教者而為　悉知勝者境
無疑善施設　不異境安穩
于犍度附隨　篇並毘尼母
如義而行善　能者如理覺
若人不知牛　不能保牛群
不知戒律者　安護律儀行
經・論縱亡失　律存教常存
是故乃為總攝隨智進
次第攝頌我說請傾聽
事・因・理趣・廣說等皆是
雖難遍盡但可依理知
于菩提樹下　阿闍波羅樹
羅闍耶他那　索訶主梵天
阿羅邏迦羅　鬱陀迦羅摩
比丘・優波迦　憍陳如・婆頗
跋提・摩訶男　乃至阿說示
耶舍及四人　五十人・諸方
由一切羅網　事・魔・三十人
與優樓頻螺　及螺髻梵志
火堂・與大王　帝釋及梵天
祠祭之和合　糞掃衣・池・石
及迦休樹・石　闍浮・菴婆樹
阿摩勒・取波　利質多羅華
迦葉應折薪　迦葉應燃火
迦葉應滅火　沈之・火爐・雲
伽耶・杖林園　以及摩竭國
以優波提舍　乃至拘律陀
為有名・出家　下裳不齊整
乃至以出鉢　瘦醜婆羅門
而以行非行　滿腹・及孺童
二人或三人　眾授具足戒
法臘・而愚癡　授與具足戒
和尚之離去　法臘十・依止
不奉事・驅出　愚癡・失依止
五分之比丘　六分之比丘
其他舊外道　裸形・不斷髮

髻梵志・釋子　摩竭國五病
臣・盜賊鴦崛　摩竭王下令
獄・標記・笞刑　烙印刑・負債
奴僕及禿頭　優波離・蛇病
一家有信心　鬻荼・無路去
迦維羅衛城　童子及受處
不和合而住　如何行罰耶
所有之僧園　食不問和尚
帶走・及鬻荼　黃門賊住者
及歸外道者　蛇・殺母・父者
以殺阿羅漢　污染比丘尼
以破和合僧　出佛身血者
乃至二根者　不請和尚者
僧伽為和尚　以眾為和尚
黃門為和尚　及不具鉢者
借者有三人　手被割截者
足被割截者　手・足割截者
耳被割截者　鼻被割截者
耳・鼻割截者　指被割截者
大指割截者　腱被割截者
手如蛇頭者　佝僂人・侏儒
癭者・笞刑者　受烙印刑者
標記罪狀者　及象皮病者
惡疾・瞎子者　毀辱大眾者
瘤手・及跛者　半身不遂者
斷威儀路者　老・弱・盲・瘂者
盲瘂・盲・聾者　盲聾・瘂・聾者
及盲・瘂・聾者　為無恥依止
不為無恥者　依止・旅途中
請者及希望　來者爭先後
依一人和尚　鳩摩羅迦葉
受具戒者病　不受教誡而
使困惑・教誡　僧伽中教誡
愚癡之教誡　非當選教誡
教誡・受者來　謂請濟度我
之具足戒・依　留一人・三人
此犍度有一　百七十二事

———第一大犍
度攝頌終———

第二　布薩犍度

一

（一）

爾時，佛世尊在王舍城耆闍崛山。其時諸外道梵志于上半月之十四日、十五日、八日集會說法，眾人為聽法至彼等處。眾人于諸外道梵志得愛念、得信心，諸外道梵志即得宗徒。

（二）

時，摩竭國洗尼瓶沙王靜居宴默，心生思念：「今諸外道梵志于上半月之十四日、十五日、八日集會說法，眾人為聽法而至彼等處。眾人于外道梵志得愛念、得信心，諸外道梵志即得宗徒。當令諸尊者于上半月十四日、十五日、八日集會。」

（三）

時，摩竭國洗尼瓶沙王詣世尊住處。詣而敬禮世尊已，坐于一面。于一面坐已，摩竭國洗尼瓶沙王白世尊言：「我于此處靜居宴默而心生思念：『今諸外道梵志……』尊者等亦于上半月之十四日、十五日、八日集會，可乎？」

（四）

時，世尊說法、教示、勸導、獎勵令之慶喜。時，摩竭國洗尼瓶沙王聞世尊說法、教示、勸導、獎勵而慶喜，即從座起，敬禮世尊，右繞而去。時，世尊依此因緣，于此時機說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許于上半月之十四日、十五日、八日集會。」

二

（一）

爾時，世尊已許上半月之十四日、十五日、八日集會。諸比丘集會，默然而坐。眾人等前來彼等處聽法。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子于上半月之十四日、十五日、八日集會，默然而坐，猶如瘂豬耶？集會者應不說法耶？」諸比丘聞眾人忿怒、非難，彼諸比丘乃以此事白世尊。爾時，世尊依此因緣，于此時機說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許于上半月之十四日、十五日、八日集會說法。」

三

（一）

時，世尊靜居宴默，心生思念：「我為諸比丘制定學處，我當許誦此為波羅提木叉，以此為布薩羯磨。」

（二）

時，世尊凌晨之時，從宴默起依此因緣，于此時機說法，告諸比丘曰：「諸比丘！今我靜居宴默，心生思念：『我為諸比丘制定學處，我當許誦此為波羅提木叉，以此為布薩羯磨。』諸比丘！許誦波羅提木叉。

（三）

諸比丘！誦時應如此行之：聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！今日十五日布薩也。若僧伽機熟者，僧伽當行布薩，誦波羅提木叉。何為僧伽最初行事耶？具壽等應告已清淨矣，我應誦波羅提木叉，我等全體一一于此處作意諦聽之。有罪者應發露，無罪者靜默。諸具壽靜默故，我知清淨。正如每一問即有一答，于似此會眾中亦如是唱言三次。唱言三次已，比丘憶念有罪而

不發露者，即故妄語也。故犯妄語者，諸具壽！是世尊所言障法。故已犯罪比丘，憶念而欲清淨者，應發露之。若發露已，即得安穩。』」

（四）

「波羅提木叉」者，是諸善法元，是面，是首，故名「波羅提木叉」。「具壽」者，是愛語，是敬語，是尊重，崇奉增上語，是謂「具壽」。「誦」者，開釋、教誨、施設、建立、表白、分別、顯示是也。「此」者，謂波羅提木叉。「我等全體一一于此處」者，謂所有會眾——長老、新參、中位，是謂「我等全體一一于此處」。「諦聽」者，乃是作意思惟、全心、存念。「作意」者，謂傾聽而一境心、心無散亂、心不紛擾也。

（五）

「有罪者」者，于長老、新參、中位，犯五種罪之某一罪，或于七罪中，犯某罪。「發露」者，于僧伽，或于眾人、或于一人前，告白，說明，開闡，顯示。「無罪者」者，未犯或犯而已出離也。「靜默」者，謂應意可而不得言說也。「我知清淨」者，我知、持之也。

（六）

「正如每一問即有一答」者，乃如有一〔人〕，蒙問〔一事〕而作答言，此亦如是，使會眾知：彼問我矣。「似此會眾」者，謂比丘會眾也。「唱言三次」者，唱言一次、唱言二次、唱言三次也。「憶念」者，謂亦知亦想也。「有罪」者，疑犯或犯而未出離也。「不發露」者，謂于僧伽，或于眾人、或于一人前，不告白，不說明，不開闡，不顯示。

（七）

「故犯妄語者」，何為故犯妄語？是犯惡作也。「世尊所言障法」者，所障者何？初靜慮證得之障，第二靜慮證得之障，第三靜慮證得之障，第四靜慮證得之障。靜慮、解脫、三昧、三鉢底、出、出離、遠離、善法證得之障。「故」者，謂以是故也。「憶念」者，謂亦知亦想念也。「欲清淨者」，謂欲出離、欲清淨者也。

（八）

「有罪」者，疑犯或犯而未出離也。「發露」者，謂于僧伽，或于眾人、或于一人前以發露之。「若發露已，即得安穩」者，且于何時有安穩耶？初靜慮證得之安穩，第二靜慮證得之安穩，第三靜慮證得之安穩，第四靜慮證得之安穩。證得靜慮、解脫、三昧、三鉢底、出、出離、遠離、善法，即得安穩也。

四

（一）

爾時，諸比丘以世尊許誦波羅提木叉，乃日日誦彼波羅提木叉。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得日日誦波羅提木叉，誦者墮惡作。諸比丘！准于布薩日誦波羅提木叉。」

（二）

爾時，諸比丘以世尊許于布薩日誦波羅提木叉，諸比丘于半月即于半月之十四日、十五日、八日，誦波羅提木叉三次。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得于半月中誦波羅提木叉三次，誦者墮惡作。諸比丘！許半月一次，于十四日或十五日誦波羅提木叉。」

五

（一）

爾時，六群比丘于各自會眾前隨從會眾，誦波羅提木叉。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得于各自會眾前隨從會眾誦波羅提木叉，誦者墮惡作。諸比丘！許和合布薩羯磨。」

（二）

時，諸比丘思念：「世尊許和合布薩羯磨，如何始為和合耶？一住處耶？或一切地耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許以一住處為和合。」

（三）

爾時，具壽摩訶劫賓那住王舍城近處曼直鹿園。時，具壽摩訶劫賓那靜居宴默，心生思念：「我往不往布薩？往不往僧伽之羯磨？然我以第一清淨為清淨。」

（四）

時，世尊心知具壽摩訶劫賓那心所思念，如力士伸其屈腕，屈其伸腕，彼亦如是從耆闍崛山隱沒，出現于曼直鹿園具壽摩訶劫賓那之前。世尊坐于所設座席，具壽摩訶劫賓那敬禮世尊而坐一面。

（五）

于一面坐已，世尊告具壽摩訶劫賓那曰：「劫賓那！汝于靜居宴默時，心生：『我往不往布薩？往不往僧伽之羯磨？然我以第一清淨為清淨』之思念否？」「然！」「若汝等婆羅門不恭敬、尊重、尊奉、供養布薩者，誰當恭敬、尊重、尊奉、供養布薩耶？婆

羅門！往布薩，不得勿往。」「唯！唯！世尊！」具壽摩訶劫賓那應諾。

（六）

時，世尊說法、教示、勸導、獎勵具壽摩訶劫賓那，使之慶喜已，如力士屈其伸腕、伸其屈腕，彼亦如是隱沒于曼直鹿園具壽摩訶劫賓那前，出現于耆闍崛山。

六

（一）

時，諸比丘心生思念：「世尊已制定一住處為和合，如何為一住處耶？」彼等以此事白世尊，世尊曰：「諸比丘！許協定境界。諸比丘！應如此協定：應先唱相，〔謂：〕山相、石相、林相、樹相、道相、蟻垤相、河相、水相也。唱相之後，聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！已唱四方相，若僧伽機熟者，僧伽依此等協定為同一住處，同一布薩境界。此表白也。

（二）

諸大德！請聽我言！已唱四方相，僧伽依此等相，定為同一住處，同一布薩境界。依此等相，定為同一住處，同一布薩境界。具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽依此等相，定為同一住處，同一布薩境界。具壽聽故默然，我如此了知。』」

七

（一）

爾時，六群比丘以世尊許定境界而協定過大之境界，有四由旬、五由旬、六由旬。諸比丘往布薩，有正誦波羅提木叉時到達者，有誦已之時到達者，有宿于途中者。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得協定四由旬、五由旬、六由旬之過大境界，〔如此〕協定者墮惡作。諸比丘！許定三由旬為最大境界。」

（二）

爾時，六群比丘協定跨河為境界。諸比丘往布薩，有被水沖去者，有鉢被水沖去者，有衣被水沖去者。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得協定跨河為境界，〔如此〕協定者墮惡作。于常有船或有橋處，許協定跨河為境界。」

八

（一）

爾時，諸比丘不作標示，但于各個之房舍誦波羅提木叉。客比丘等不知或心念：「今日何處行布薩耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不標示時，不得于各個之房舍誦波羅提木叉，誦者墮惡作。諸比丘！許以僧伽所欲精舍、或平覆屋、或殿樓、或樓房、或地窟，協定為布薩堂，以行布薩。諸比丘！應協定如次：

（二）

聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟者，僧伽應以某甲之精舍協定為布薩堂。此乃表白。諸大德！請聽我言！僧伽以某甲之精舍協定為布薩堂。以某甲之精舍為布薩堂之協定，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽已協定以某甲精舍為布薩堂。具壽聽故默然，我如是了知。』」

（三）

爾時，于一住處協定二布薩堂。諸比丘于兩處集會，心念：「此處將布薩。」「此處將布薩。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得于一住處協定二布薩堂，協定者墮惡作。諸比丘！許廢除一處，但于他一處行布薩。

（四）

諸比丘！廢除應如是行：聰明賢能比丘應告僧伽言：『若僧伽機熟者，僧伽廢除某甲之布薩堂。此為表白。諸大德！請聽我言！僧伽廢除某甲之布薩堂。僧伽廢除某甲布薩堂，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽廢除某甲布薩堂。具壽聽故默然，我如是了知。』」

九

（一）

爾時，協定于一極小住處為布薩堂。于布薩日大比丘僧團來集會，諸比丘等坐協定以外地上，聞波羅提木叉。時，彼諸比丘心生思念：「世尊規定于經協定布薩堂行布薩，而我等坐協定以外地上聞布薩。是彼布薩為我等行耶？或未行耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！如人坐地上，不論已協定或未協定者，若能聞波羅提木叉即為彼行布薩矣。

（二）

是故，諸比丘！如一僧伽希求最大布薩堂寬窄若干，即令其協定布薩堂如是寬窄。諸比丘！協定應如此行之：應先唱相，于唱相已，聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！已唱四方相，若僧伽機熟者，僧伽應依此等相，協定布薩堂最大限量。此乃

表白。諸大德！請聽我言！已唱四方相，僧伽應依此等相，協定布薩堂最大限量。依此等相，協定布薩堂最大限量，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽依此等相，協定布薩堂最大限量。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一〇

（一）

爾時，于一住處，在布薩日新參諸比丘首先集會，曰：「長老等未來。」即去，于非時行布薩。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許布薩日長老比丘等率先集會。」

一一

（一）

爾時，于王舍城同一境界有多住處。諸比丘于此爭言：「于我等住處行布薩。」「令于我等住處行布薩。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此同一境界有多住處，諸比丘于此爭言：『于我等住處行布薩。』『于我等住處行布薩。』諸比丘！是比丘等皆應集會一處，施行布薩，或應于有長老比丘住處集會而行布薩。不得于別眾施行布薩，行者墮惡作。」

一二

（一）

爾時，具壽摩訶迦葉從阿那伽賓頭往王舍城行布薩，于途中渡河時，險被水所沖去而衣濺濕。諸比丘言具壽摩訶迦葉曰：「如何汝衣濺濕耶？」「我今從阿那伽賓頭往王舍城布薩，途中渡河時，險被水所沖去，故我衣濺濕也。」彼等以此事白世尊，〔世尊

曰：〕「諸比丘！僧伽協定同一住處、同一布薩之境界已，令彼僧伽協定，彼境界內不離三衣。

（二）

諸比丘！協定應如是行：聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！前僧伽協定同一住處、同一布薩之境界已，若僧伽機熟者，僧伽即應協定于彼境界不離三衣。此乃表白。諸大德！請聽我言！先僧伽協定同一住處、同一布薩之境界已，即彼僧伽協定于此境界不離三衣。協定于此境界不離三衣，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽協定于此境界不離三衣。具壽聽故默然，我如是了知。』」

（三）

爾時，諸比丘以世尊許協定不離三衣，置衣于屋內。彼衣遺失、被焚、被鼠所咬嚙，諸比丘乃服惡衣，其衣壞薄。諸比丘言：「如何汝諸尊者，服惡衣而衣壞薄耶？」「是我等比丘以世尊許協定不離三衣，我等置衣屋內，彼衣遺失、被焚、被鼠所咬嚙。是故我等服粗惡衣，我衣壞薄也。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！前僧伽協定同一住處、同一布薩之境界已，應即令彼僧伽協定境界內不離三衣，但除村里與村里近處。

（四）

諸比丘！協定應如是行：聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！前僧伽協定同一住處、同一布薩之境界已，若僧伽機熟者，僧伽協定于此境界不離三衣，但除村里與村里近處。此乃表白。諸大德！請聽我言！前僧伽協定同一住處、同一布薩之境界已，僧伽協定于此境界不離三衣，但除村里與村里近處。協定于此境界不離三衣，但除村里與村里近處，具壽聽者默然，不聽者請

言。僧伽協定于此境界不離三衣，但除村里與村里近處。具壽聽故默然，我如是了知。』

（五）

諸比丘！協定一境界時，應先協定同一住處境界，後定不離三衣〔處〕。諸比丘！廢除境界時，應先廢除不離三衣〔處〕，然後廢除同一住處境界。諸比丘！廢除不離三衣〔處〕，應如是行：聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！前僧伽協定不離三衣矣，若僧伽機熟者，僧伽可廢除不離三衣〔處〕。此乃表白。諸大德！請聽我言！前僧伽協定不離三衣〔處〕矣，此僧伽廢除不離三衣〔處〕。于廢除不離三衣〔處〕，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽廢除不離三衣〔處〕。具壽聽故默然，我如是了知。』

（六）

諸比丘！廢除境界應如是行；聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！前僧伽協定同一住處、同一布薩之境界已，若僧伽機熟者，僧伽應廢除此境界。此乃表白。諸大德！請聽我言！前僧伽協定同一住處、同一布薩之境界已，僧伽應廢除此境界。于廢除同一住處、同一布薩之此境界，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽廢除同一住處、同一布薩之此境界。具壽聽故默然，我如是了知。』

（七）

諸比丘！當未協定、未建立境界時，住村里、村落者，以其村里之村里境界，以其村落之村落境界，為同一住處、同一布薩〔境界〕。諸比丘！若人于無村落森林，以四面七阿阪陀羅為同一住處、同一布薩〔境界〕。諸比丘！于一切河無境界，于一切海無境界，于一切湖無境界。諸比丘！凡有河、海、湖處，以之為同一住

處，同一布薩〔境界〕者，乃一中等〔身材〕之人四面灑水所及之地也。」

一三

（一）

爾時，六群比丘以一境界合〔前〕一境界。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！彼等既先為之協定境界者，其人所作如法、不動、應理。諸比丘！彼等若後為之協定境界者，其人所作不如法、非不動、非應理。諸比丘，不得以一境界合〔前〕一境界，合者墮惡作。」

（二）

爾時，六群比丘以一境界覆〔前〕一境界。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！彼等既先為之協定境界者，其人所作如法、不動、應理。諸比丘！彼等若後為之協定境界者，其人所作不如法、非不動、非應理。諸比丘！不得以一境界覆〔前〕一境界，覆者墮惡作。諸比丘！許協定境界時，留出兩界中間地帶，以協定一境界。」

一四

（一）

時，諸比丘心生思念：「布薩有幾日耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！有二布薩日，十四日與十五日也。諸比丘！此二為布薩日。」

（二）

時，諸比丘心生思念：「布薩羯磨有幾種耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！有四布薩羯磨：非法別眾布薩羯磨、非法和合布薩羯磨、如法別眾布薩羯磨、如法和合布薩羯磨是也。諸比丘！此中別眾布薩羯磨乃非如法。諸比丘！不得施行如此布薩羯磨，亦不許如此布薩羯磨。

（三）

諸比丘！此中非法和合布薩羯磨，諸比丘！不許如此……。諸比丘！此中如法別眾布薩羯磨，諸比丘！不許如此……。諸比丘！如此中如法和合布薩羯磨，諸比丘！應行如此布薩羯磨，亦許如此布薩羯磨。諸比丘！故當思念：『我行此如法和合布薩羯磨。』諸比丘！于是汝等應修學也。」

一五

（一）

時，諸比丘心生思念：「有幾種誦波羅提木叉耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！有五種誦波羅提木叉。誦序已，餘應唱如常所聞，此第一〔種〕誦波羅提木叉。誦序，誦四波羅夷已，餘應唱如常所聞，此第二〔種〕誦波羅提木叉。誦序，誦四波羅夷，誦十三僧殘已，餘應唱如常所聞，此第三〔種〕誦波羅提木叉。誦序，誦四波羅夷，誦十三僧殘，誦二不定已，餘應唱如常所聞，此第四〔種〕誦波羅提木叉。第五為廣說也。諸比丘！如此有五種誦波羅提木叉。」

（二）

爾時，以世尊許略誦波羅提木叉，諸比丘于一切時略誦波羅提木叉。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得略誦波羅

提木叉，〔略〕誦者墮惡作。」

（三）

爾時，于拘薩羅國一住處，布薩日生蠻族怖畏。諸比丘未得廣說而誦波羅提木叉。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若生危害，許略誦波羅提木叉。」

（四）

爾時，六群比丘未生危害而略誦波羅提木叉。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若不生危害，不得略誦波羅提木叉，〔略〕誦者墮惡作。諸比丘！若生危害，許略誦波羅提木叉。此中危害者：王之危害，賊之危害，火之危害，水之危害，人之危害，非人之危害，猛獸之危害，蛇之危害，危害于命，危害于梵行也。諸比丘！若有如此諸危害者，許略誦波羅提木叉，若無危害者，應廣說。」

（五）

爾時，六群比丘于僧伽中未受請而說法。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于僧伽中未受請者不得說法，說者墮惡作。諸比丘！許長老比丘自行說法或求于他人〔為彼說法〕。」

（六）

爾時，六群比丘于僧伽中未選而問律。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于僧伽中，未選不得問律，問者墮惡作。諸比丘！于僧伽中，許當選者問律。諸比丘！選應如此行：選自己或選他人。

（七）

如何選自己耶？聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟者，我當問某甲律。』如此選自己。如何選他人耶？聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟者，應使某甲問律于某甲。』應如此選他人。」

（八）

爾時，善行諸比丘當選，于僧伽中問律。六群比丘生嫌恨、生忿怒，作惡事以撓之。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于僧伽中當選者，亦應觀察會眾，計其人數後，許以問律。」

（九）

爾時，六群比丘于僧伽中未選而答律。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！未選者不得答律。諸比丘！選應如此行：選自己或選他人。

（一〇）

如何選自己耶？聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟者，我當答某甲問律。』應如此選自己。如何選他人耶？聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟者，應令某甲答某甲問律。』應如此選他人。」

（一一）

爾時，諸善行比丘當選，于僧伽中答律。六群比丘生嫌恨、生忿怒，作惡事以撓之。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于僧伽中當選者，亦應觀察會眾，計其人數後，許應答律。」

一六

（一）

爾時，六群比丘未得許可，責罪比丘。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！未得許可，不應責罪比丘，責者墮惡作。諸比丘！言：『具壽！我欲向汝言，與之許可。』以求許可之後，方能責罪。」

（二）

爾時，諸善行比丘求于六群比丘許可後，責罪之。六群比丘生嫌恨、生忿怒，作惡事以脅之。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！即使得許可，亦應計其人數之後，方能責罪。」

（三）

爾時，六群比丘思念：「諸善行比丘應先向我等求許可。」先向無事、無因、清淨無罪諸比丘求許可。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不可向無事、無因、清淨無罪諸比丘求許可，求者墮惡作。諸比丘！許于計其人數之後，方求許可。」

（四）

爾時，六群比丘于僧伽中行非法羯磨。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于僧伽中不得行非法羯磨，行者墮惡作。」彼等仍行非法羯磨。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許于行非法羯磨時，可非議。」

（五）

爾時，六群比丘行非法羯磨，諸善行比丘非議之。六群比丘生嫌恨、生忿怒，作惡事以脅之。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！亦許說其所見。」于彼〔六群比丘〕現前，言說所見。

六群比丘生嫌恨、生忿怒，作惡事以脅之。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許攝持若四五人非議，若二三人說所見，若一人『我未聽此。』」

（六）

爾時，六群比丘于僧伽中誦波羅提木叉時，故意不聞。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！誦波羅提木叉時不得故意不聞，不聞者墮惡作。」

（七）

爾時，具壽優陀夷為僧伽誦波羅提木叉，有烏之聲音。時，具壽優陀夷心生思念：「世尊規定：誦波羅提木叉者，應令能聽聞。我有烏之聲音，我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許誦波羅提木叉者應盡力聽聞，盡力者無罪。」

（八）

爾時，提婆達多于有在家會眾，誦波羅提木叉。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于有在家會眾，不得誦波羅提木叉，誦者墮惡作。」

（九）

時，六群比丘于僧伽中未受請，誦波羅提木叉。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于僧伽中未受請，不得誦波羅提木叉，誦者墮惡作。諸比丘！許波羅提木叉依長老。」

———外道誦品

終———

一七

（一）

時，世尊于隨意間住王舍城已，向周多那瓦睹遊行，次第遊行至周多那瓦睹。爾時，一住處住甚多比丘，其中有一長老比丘愚癡、暗昧，彼既不知布薩、布薩羯磨、波羅提木叉，亦不知誦波羅提木叉。

（二）

時，彼諸比丘心生思念：「世尊制定波羅提木叉依長老，而我等此長老愚癡、暗昧而不知布薩……或誦波羅提木叉。我等如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許波羅提木叉可請求其中聰明賢能之比丘。」

（三）

爾時，布薩日于一住處住多比丘愚癡、無能。彼等無論布薩、布薩羯磨、波羅提木叉、誦波羅提木叉皆不知也。彼等乞長老曰：「長老！請誦波羅提木叉。」彼言：「非我所能。」乞第二長老曰：「長老！請誦波羅提木叉。」彼亦言：「非我所能。」乞第三長老曰：「長老！請誦波羅提木叉。」彼亦言：「非我所能。」以如此方便，乃至乞諸僧伽新參曰：「具壽！請誦波羅提木叉。」彼亦言：「非我所能。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（四）

「諸比丘！布薩日于此間一住處住多比丘愚癡、暗昧，彼等于布薩……誦波羅提木叉盡皆不知。彼等乞長老曰：『長老！請誦波羅提木叉。』彼言：『非我所能。』乞第二長老曰：『長老！請誦波羅提木叉。』彼亦言：『非我所能。』

（五）

乞第三長老曰：『長老！請誦波羅提木叉。』彼亦言：『非我所能。』以如此方便乃至乞諸僧伽新參曰：『具壽！請誦波羅提木叉。』彼亦言：『非我所能。』諸比丘！彼諸比丘應急遣一比丘詣四方住處曰：『具壽！往！略、或廣修學波羅提木叉，來！』」

（六）

時，諸比丘心生思念：「應遣何人耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許長老比丘可命新參比丘。」長老所命新參比丘等亦不往。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！長老命令時，非病者，不得不往，不往者墮惡作。」

一八

（一）

時，世尊于周多那瓦睹隨意間住已，再還王舍城。爾時，諸比丘往乞食時，眾人問：「〔今〕是半月之何日耶？」諸比丘言：「我等不知。」眾人輕蔑、責難：「此沙門釋子尚不知算半月，如何知他善事耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許學算半月。」

（二）

時，諸比丘心生思念：「何人應學算半月耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許皆學算半月。」

（三）

爾時，諸比丘往乞食，眾人問：「比丘有多少耶？」諸比丘言：「我等不知。」眾人忿怒、非難：「此諸沙門釋子自己等互不相知，如何知他善事耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許算比丘。」

（四）

時，諸比丘心生思念：「應于何時算比丘耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許可于布薩日，聚群或取籌以算。」

一九

（一）

爾時，諸比丘不知「今日乃布薩日」，而往遠方村里乞食。彼等或于正誦波羅提木叉時、或誦畢時返。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等告以『今日布薩。』」時，諸比丘心生思念：「應以何人告之？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等應以長老比丘于當時告。」爾時，一長老于當時忘其憶念。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可于食時告。」彼于食時亦忘其憶念。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等于彼〔長老〕能憶念時宣告。」

二〇

（一）

爾時，一住處布薩堂為塵所污。諸客比丘忿怒、非難：「如何諸比丘不淨掃布薩堂耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等淨掃布薩堂。」

（二）

時，諸比丘心生思念：「應以何人淨掃布薩堂耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等由長老比丘命新參比丘。」長老命已，新參比丘亦不淨掃。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！長老命已，非病者，不得不淨掃，不淨掃者墮惡作。」

（三）

爾時，布薩堂未設座，比丘等坐地上，肢體及衣為灰塵所污。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等于布薩堂設座。」時，諸比丘心生思念：「應以何人于布薩堂設座耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等由長老比丘命新參比丘。」長老比丘命已，新參比丘亦不設座。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！長老命時，非病者，不得不設座，不設者墮惡作。」

（四）

爾時，布薩堂無明燈，諸比丘于闇中，身、衣被踏。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝于布薩堂設明燈。」時，諸比丘心生思念：「應以何人于布薩堂設明燈耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等由長老比丘命新參比丘。」長老命已，新參比丘亦不設明燈。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！長老命時，非病者，不得不設明燈，不設明燈者墮惡作。」

（五）

爾時，于一住處，其住處之諸比丘不備飲水、不備食物。客比丘等忿怒、非難：「如何此住處不備飲水、不備食物耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許汝等備飲水與食物。」

（六）

時，諸比丘心生思念：「應以何人備飲水與食物耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許長老比丘命新參比丘。」長老命已，新參比丘亦不備。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！長老命時，非病者，不得不備，不備者墮惡作。」

二一

（一）

爾時，有甚多比丘愚癡、暗昧，往四方不問阿闍梨、和尚等。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有甚多比丘愚癡、暗昧，往四方不問阿闍梨、和尚等。諸比丘！彼阿闍梨、和尚等應問言：『汝等往何處耶？與何人俱往耶？』諸比丘！若彼諸愚癡、暗昧者，言與其他諸愚癡、暗昧者時，諸比丘！阿闍梨、和尚等不得許之，若許者墮惡作。諸比丘！若彼諸愚癡、暗昧者，未得阿闍梨、和尚等許可而往者，墮惡作。

（二）

諸比丘！此一住處住甚多比丘愚癡、暗昧。彼等無論布薩、布薩羯磨、波羅提木叉、誦波羅提木叉皆不知。此處有一比丘來，多聞而通阿含、持法、持律、持摩夷、賢明、聰敏、具慧、知恥、有悔而欲學。諸比丘！彼諸比丘應攝護、攝受、送迎，而以細麵、粘土、楊枝、漱水承事此比丘；若不攝護、不攝受、不送迎，且不以細麵、粘土、楊枝、漱水承事者，墮惡作。

（三）

諸比丘！此一住處布薩日住甚多比丘愚癡、暗昧。彼等無論布薩……誦波羅提木叉皆不知。諸比丘！彼諸比丘應即遣一比丘往四方住處，曰：『往！略、或廣修學波羅提木叉，來！』若如此，其得者善；若不得者，彼諸比丘應皆往知布薩……誦波羅提木叉〔比丘等〕住處。不往者墮惡作。

（四）

諸比丘！此一住處甚多止住安居比丘愚癡、暗昧。彼等無論布薩……或誦波羅提木叉皆不知。諸比丘！彼諸比丘應即遣一比丘往四方住處，曰：『往！略、或廣修學波羅提木叉，來！』若如此，其得者善；若不得者，應七日間遣一比丘，曰：『往！略、或廣修學波羅提木叉，來！』若如此，其得者善；若不得者，彼諸比丘于其住處不得止住安居，若住者墮惡作。」

二二

（一）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！集會！僧伽行布薩。」如此說時，一比丘白言：「有病比丘不來。」世尊曰：「諸比丘！許與病比丘清淨。諸比丘！與之者應如此行：彼病比丘至一比丘處，偏袒上衣，蹲踞，合掌而言：『與我清淨，我持清淨，我告清淨。』如此，以身告之，以語告之，以身及語告之者，即與清淨；不以身告，不以語告，不以身及語告者，非與清淨。

（二）

若如此，其得者善；若不得者，諸比丘！應用牀或小牀載彼病比丘，來僧伽中行布薩。諸比丘！若看病之諸比丘心生思念：『若

將病者由此處移動，病當更篤以至死亡。』時，諸比丘！不得自彼處移動病者。僧伽應往彼處行布薩，但于別眾不得行布薩，行者墮惡作。

（三）

諸比丘！持清淨者，若受清淨，即離〔僧伽〕者，應以清淨與他人。諸比丘！持清淨者，若受清淨即還俗、死亡、自言為沙彌、自言棄學、自言犯極罪、狂人……亂心者……痛苦者……因見罪被舉……不懺罪被舉……不捨棄惡見被舉……黃門……賊住者……歸于外道者……畜生……殺母者……殺父者……殺阿羅漢者……污染比丘尼者……破和合僧者……出〔佛身〕血者……自言二根者，應與他人清淨。

（四）

諸比丘！持清淨者若受清淨，途中〔由僧伽〕離去者，非持清淨來也。諸比丘！持清淨者若受清淨而途中還俗、死亡……自言二根者，非持清淨來也。諸比丘！持清淨者若受清淨，至僧伽而後離去者，乃持來清淨也。諸比丘！持清淨者若受清淨，至僧伽而後還俗、死亡……自言二根者，乃持來清淨也。諸比丘！持清淨者若受清淨，至僧伽因睡眠不告、放逸不告、入定不告者，乃持來清淨也，持清淨者無罪。諸比丘！持清淨者若受清淨，至僧伽故意不告者，乃持來清淨也，持清淨者，墮惡作。」

二三

（一）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！集會！僧伽行羯磨。」如此說時，一比丘白言：「有病比丘不來。」世尊曰：「諸比丘！與病

比丘清淨欲。諸比丘！與者應如此行：彼病比丘到一比丘處，偏袒上衣，蹲踞，合掌而言：『與我清淨欲，我持清淨欲，我告清淨欲。』如此，以身告之，以語告之，以身與語告之，可與清淨欲。不以身告，不以語告，不以身與語告，非與清淨欲。

（二）

若如此，其得者善；若不得者，諸比丘！以牀或小牀將彼病比丘載來僧伽中行羯磨。諸比丘！若看病之諸比丘心生思念：『若將病者自此處移動，則病更篤，乃至有死亡。』諸比丘！不得將病者自彼處移動。僧伽應往彼處行羯磨，但于別眾不得行羯磨，行者墮惡作。

（三）

諸比丘！持清淨欲者，若受清淨欲即離〔僧伽〕者，清淨欲應與他人。諸比丘！持清淨欲者，若受清淨欲即還俗、死亡……自言二根者，清淨欲應與他人。諸比丘！持清淨欲者，若受清淨欲于途中〔由僧伽〕離去者，非持來清淨欲。諸比丘！持清淨欲者，若……〔參照第二　布薩犍度二二（四）〕……持清淨欲者，墮惡作。諸比丘！許于布薩日與清淨者清淨欲。此乃僧伽之事也。」

二四

（一）

爾時，一比丘于布薩日為親族所拘。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有比丘于布薩日為親族所拘。諸比丘應向彼親族言：『諸具壽！此比丘行布薩間，請讓彼離去須臾。』

（二）

如此，若得者善；若不得者，諸比丘應向彼親族言：『諸具壽！願與此比丘清淨之時，請須臾居于一面。』如此，若得者善；若不得者，諸比丘向彼親族言：『諸具壽！僧伽行布薩時，請將此比丘帶出境界外須臾。』如此，若得者善；若不得者，不得以別眾行布薩，若行者墮惡作。

（三）

諸比丘！此處有比丘于布薩日為王所逮捕……乃至……為盜賊所拘捕……暴惡人所拘捕……為諸怨敵比丘所拘捕。諸比丘應向彼諸怨敵比丘言：『……諸……〔同第二　布薩犍度二四（一）～（二）〕』……不得以別眾行布薩，若行者墮惡作。」

二五

（一）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！集會！僧伽有事。」如此言時，一比丘白言：「有名伽伽之比丘，為狂者，不來。」世尊曰：「諸比丘！狂者有二。有狂比丘于布薩或憶念、或不憶念，于僧伽羯磨或憶念、或不憶念者，有決定而不憶念者；有于布薩或來、或不來，于僧伽羯磨或來、或不來，決定而不來也。

（二）

諸比丘！此中對于狂者，于布薩或憶念、或不憶念，于僧伽羯磨或憶念、或不憶念，于布薩或來、或不來，于僧伽羯磨或來、或不來。諸比丘！許與如此狂者狂羯磨。

（三）

諸比丘！與者應如此行：聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！伽伽比丘為狂者，于布薩或憶念、或不憶念，于僧伽羯磨或憶念、或不憶念；于布薩或來、或不來，于僧伽羯磨或來、或不來。若僧伽機熟者，僧伽應與狂者伽伽比丘狂羯磨。無論伽伽比丘于布薩憶念、不憶念，無論于僧伽羯磨憶念、不憶念，無論于布薩來、不來，無論于僧伽羯磨來、不來，無論伽伽現在在、不在，僧伽應行布薩，行僧伽羯磨。此乃表白。

（四）

諸大德！請聽我言！伽伽比丘為狂者，于布薩……或不來。僧伽與狂者伽伽比丘狂羯磨，無論伽伽比丘于布薩……或不來，無論伽伽現在在、不在，僧伽應行布薩，行僧伽羯磨。與狂者伽伽比丘狂羯磨……行僧伽羯磨，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽與狂者伽伽比丘狂羯磨，……行僧伽羯磨。具壽聽故默然，我如是了知。』」

二六

（一）

爾時布薩日，于一住處住四比丘。時，彼諸比丘心生思念：「世尊規定要行布薩，我等是四人，我等如何行布薩耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！四人許誦波羅提木叉。」

（二）

爾時布薩日，于一住處住三比丘。時，彼諸比丘心生思念：「世尊許四人誦波羅提木叉，我等是三人，我等如何行布薩耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許三人行清淨布薩。

（三）

諸比丘！應如此行：聰明賢能比丘應告彼諸比丘，言：『諸具壽！請聽我言！今十五日布薩也。若諸具壽機熟者，我等互相行清淨布薩。』長老比丘應偏袒上衣，蹲踞，合掌而言諸比丘，曰：『我清淨，知我清淨。我清淨，知我清淨。我清淨，知我清淨。』

（四）

新參比丘應偏袒上衣，蹲踞，合掌而言諸比丘，曰：『我清淨，知我清淨。我清淨，知我清淨。我清淨，知我清淨。』」

（五）

爾時，布薩日于一住處住二比丘。時，彼諸比丘心生思念：「世尊許四人誦波羅提木叉，三人清淨布薩。我等二人，我等如何行布薩耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許二人行清淨布薩。

（六）

諸比丘！應如是行：長老比丘應偏袒上衣，蹲踞，合掌，言新參比丘，曰：『我清淨，知我清淨。我清淨，知我清淨。我清淨，知我清淨。』

（七）

新參比丘應偏袒上衣，蹲踞，合掌，言長老比丘，曰：『我清淨，知我清淨。我清淨，知我清淨。我清淨，知我清淨。』」

（八）

爾時，布薩日于一住處住一比丘。時，彼比丘心生思念：「世尊許四人誦波羅提木叉，三人行清淨布薩，二人行清淨布薩。我只

一人，我如何行布薩耶？」彼以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（九）

「諸比丘！布薩日于一住處住一比丘。諸比丘！彼比丘即于諸比丘回來之勤行堂、廷堂、或樹下，潔淨其處，調備飲水、食物，設座、設明燈而坐。若其他諸比丘來，即俱行布薩。若不來則應心念：『今日是我布薩也。』若不心念者墮惡作。

（一〇）

諸比丘！此中若住四比丘，一人持來清淨，三人不得誦波羅提木叉，若誦者墮惡作。諸比丘！此中若住三比丘，一人持來清淨，二人不得行清淨布薩，若行者墮惡作。諸比丘！此中若住二比丘，一人持來清淨，一人不得心念，若心念者墮惡作。」

二七

（一）

爾時，有一比丘于布薩日犯罪。時，彼比丘心生思念：「世尊規定有罪者不得行布薩，而我犯罪，我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有比丘于布薩日犯罪。諸比丘！彼比丘應到一比丘處，偏袒上衣，蹲踞，合掌而言：『我犯某罪，以此懺悔。』此比丘言：『汝見耶？』『然！我見之矣。』『今後戒之。』

（二）

諸比丘！有比丘于此處，于布薩日疑有罪。諸比丘！彼比丘到一比丘處……言：『我疑有某罪。至無疑時，當懺悔彼罪矣。』如

此言後，行布薩，聞波羅提木叉，但不得以此因緣為布薩之障礙。」

（三）

爾時，六群比丘懺悔同分罪。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得懺悔同分罪，懺悔者墮惡作。」爾時，六群比丘受同分罪〔之懺悔〕。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得受同分罪〔之懺悔〕，受者墮惡作。」

（四）

爾時，有一比丘誦波羅提木叉時，憶念有罪。時，彼比丘心生思念：「世尊制定有罪者，不得行布薩，而我犯罪。我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有比丘誦波羅提木叉時，憶念有罪。諸比丘！彼比丘應向鄰近比丘言：『我犯某罪，從此懺悔彼罪。』如此言後，應行布薩，聞波羅提木叉，但不得以此因緣為布薩之障礙。

（五）

諸比丘！此處有比丘誦波羅提木叉時，疑有罪。諸比丘！彼比丘應言鄰近之比丘曰：『我疑有某罪。至無疑時，當懺悔彼罪。』如此言後，應行布薩，聞波羅提木叉，但不得以此因緣為布薩之障礙。」

（六）

爾時，布薩日于一住處僧伽皆犯同分之罪。時，彼諸比丘心生思念：「世尊規定不得懺悔同分之罪，不得受同分罪〔之懺悔〕，而此僧伽皆犯同分之罪。我等應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！布薩日于一住處僧伽都犯同分之罪。

諸比丘！彼諸比丘應即遣一比丘往鄰近之住處言：『請往！為懺悔彼罪來〔我住處〕，我等于汝前懺悔彼罪。』

（七）

如此，若得者善；若不得者，聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！此僧伽皆犯同分之罪，至見其他比丘清淨無罪時，當于彼前懺悔此罪。』如此言後，當行布薩，誦波羅提木叉，但不得以此因緣為布薩之障礙。

（八）

諸比丘！布薩日于一住處，僧伽都疑有同分之罪。聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！此僧伽皆疑有同分之罪，至無疑時，當懺悔此罪矣。』如此言後，當行布薩，誦波羅提木叉，但不得以此因緣為布薩之障礙。

（九）

諸比丘！于一住處入安居時，僧伽犯同分之罪。諸比丘！彼諸比丘應即遣一比丘……〔同第二　布薩犍度二七（六）～（七）〕……若不得者，七日間應遣一比丘，言：『往！為懺悔彼罪來，我等當于汝前懺悔彼罪。』」

（一〇）

爾時，于一住處，僧伽皆犯同分之罪，皆不知其罪之名、類。爾時，他比丘來，多聞而通阿含、持法、持律、持摩夷、賢明、聰敏、具慧、知恥、有悔而好學。有一比丘往彼比丘處，到而言彼比丘曰：「若行如是如是之事，是犯何罪耶？」

（一一）

彼曰：「行如是如是之事者，犯某罪。汝若犯此罪時，則懺悔其罪。」彼言：「非獨我犯此罪，此僧伽皆犯此罪也。」彼曰：「他人犯與不犯，于汝何干。請出離己罪。」

（一二）

時，彼比丘依此比丘之言，懺悔彼罪後，往諸彼比丘處。至而言彼諸比丘曰：「行如是如是之事者，犯某罪。汝等犯此罪，即懺悔其罪。」時，彼諸比丘不欲依彼比丘之言，懺悔其罪。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（一三）

「諸比丘！爾時，于一住處，僧伽皆犯同分之罪，皆不知其罪之名、類。爾時，他比丘來，多聞……好學。有一比丘往彼比丘處，至而言彼比丘曰：『若行如是如是之事者，是犯何罪耶？』

（一四）

彼曰：『行如是如是之事者，犯某罪。汝犯此罪者，即懺悔其罪。』彼言：『非獨我犯此罪，此僧伽皆犯此罪。』彼曰：『他人犯與不犯，于汝何干。請出離己罪。』

（一五）

諸比丘！若彼比丘依此比丘之言，懺悔彼罪後，往諸彼比丘處。到而言諸彼比丘曰：『行如是如是之事者，犯某罪也。汝等犯此罪，即懺悔其罪。』諸比丘！若諸比丘依彼比丘之言而懺悔其罪者，善；若不欲懺悔者，諸比丘！彼比丘不欲時，則不須與彼諸比丘言。」

———周多那瓦
睹誦品終———

二八

（一）

爾時，布薩日于一住處，其住處多諸比丘集會，四人或過〔四人〕。彼等不知其住處有他諸比丘未來，彼等以為適法、以為適律、以為和合而行布薩，誦波羅提木叉。彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數甚多。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！爾時，于一住處布薩日，其住處多諸比丘集會，四人或過〔四人〕。彼等不知其住處有他諸比丘未來，彼等以為適法、以為適律、以為和合而行布薩，誦波羅提木叉。彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數甚多。諸比丘！彼諸比丘應再誦波羅提木叉，誦者無罪。

（三）

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數相等。已誦部分已善誦，餘分應聞，誦者無罪。

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數甚少。已誦部分已善誦，餘分應聞，誦者無罪。

（四）

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉已，其住處有他諸比丘來，其數甚多。諸比丘！彼比丘等應再誦波羅提木叉，誦者無罪。

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉已，其住處有他諸比丘來，其數相等。已誦部分已善誦，應告彼等清淨，誦者無罪。

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉已，其住處有他諸比丘來，其數甚少。已誦部分已善誦，應告彼等清淨，誦者無罪。

（五）

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉已，而會眾未離座時，其住處有他諸比丘來，其數甚多。諸比丘！彼諸比丘應再誦波羅提木叉，誦者無罪。

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉已，會眾未離座時，其住處有他諸比丘來，其數相等。已誦部分已善誦，應告彼等清淨，誦者無罪。

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉已，會眾未離座時，其住處有他諸比丘來，其數甚少。已誦部分已善誦，應告彼等清淨，誦者無罪。

（六）

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉已，部分會眾已離座時，其住處有他諸比丘來，其數甚多。諸比丘！彼比丘等……其數相等……其數甚少……〔同第二　布薩犍度二八（五）〕。

（七）

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二八（二）〕……彼等正誦波羅提木叉已，一切會眾已離座時，其住處有他諸比丘來，其數甚多……其數相等……其數甚少……〔參照第二　布薩犍度二八（五）〕……」

———無罪十五事終———

二九

（一）

「諸比丘！爾時，于一住處布薩日，其住處多諸比丘集會，四人或過〔四人〕。彼等知其住處有他諸比丘未來，彼等以為適法，以為適律，知為別眾而行布薩，誦波羅提木叉。彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數甚多。諸比丘！彼諸比丘應再誦波羅提木叉，不誦者墮惡作。

（二）

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二九（一）〕……彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數相當。已誦部分已善誦，餘分應聞，不誦者墮惡作。

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二九（一）〕……彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數甚少。已誦部分已善誦，餘分應聞，不誦者墮惡作。

（三）

諸比丘！爾時，于一住處布薩日……〔同第二　布薩犍度二九（一）〕……彼等正誦波羅提木叉已……乃至……會眾未離座時……乃至……部分會眾已離座時……乃至……一切會眾已離座時，其住處有其他諸比丘來，其數甚多……乃至……其數相等……乃至……其數甚少。已誦部分已善誦，應告彼等清淨，不誦者墮惡作。」

———以別眾為別眾十五事終———

三〇

（一）

「諸比丘！爾時，一住處布薩日，其住處多諸比丘集會，四人或過〔四人〕。彼等知其住處有他諸比丘未來，彼等于自行布薩為相應或不相應猶疑而行布薩，誦波羅提木叉。彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數甚多。諸比丘！彼諸比丘應再誦波羅提木叉，不誦者墮惡作。

（二）

諸比丘！爾時，……〔參照第二　布薩犍度二九（二）～（三）〕……不誦者墮惡作。」

———疑惑十五事終———

三一

（一）

「諸比丘！爾時，于一住處布薩日，其住處多諸比丘集會，四人或過〔四人〕。彼等知其住處有他諸比丘未來，彼等自行布薩，以為相應而非不相應。惡作性而行布薩，誦波羅提木叉。彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數甚多。諸比丘！彼諸比丘應再誦波羅提木叉，不誦者墮惡作。

（二）

諸比丘！爾時，……〔參照第二　布薩犍度二九（二）～（三）〕……誦者墮惡作。」

———惡作性十五事終———

三二

（一）

「諸比丘！爾時，于一住處布薩日，其住處多諸比丘集會，四人或過〔四人〕。彼等知其住處有其他諸比丘未來，彼等言：『〔未來者〕將喪亡、將壞滅，彼等于汝何益？』彼等願不和合以行布薩、誦波羅提木叉。彼等正誦波羅提木叉時，其住處有他諸比丘來，其數甚多。諸比丘！彼諸比丘應再誦波羅提木叉，不誦者墮偷蘭遮。

（二）

諸比丘！爾時，……〔參照第二　布薩犍度二九（二）～（三），但將『墮惡作』改為『墮偷蘭遮』〕……墮偷蘭遮。」

———願不和合十五事終———

———七十五事終———

三三

（一）

「諸比丘！爾時，于一住處布薩日，其住處多諸比丘集會，四人或過〔四人〕。彼等知其住處有他諸比丘正入境界內，知其住處有他諸比丘已入境界內。見其住處有他諸比丘正入境界內，見其住處有他諸比丘已入境界內。聞其住處有他諸比丘正入境界內，聞其住處有他諸比丘已入境界內。

其住處〔之比丘〕對其住處〔之比丘〕有一百七十五之三重。其住處〔比丘〕對客〔比丘〕、客〔比丘〕對其住處〔之比丘〕、客〔比丘〕對客〔比丘〕，若廣說有七百之三重。」

三四

（一）

「諸比丘！此處，其住處比丘以十四日、客〔比丘〕以十五日行〔布薩〕。若其住處〔比丘〕數多者，客〔比丘〕應從其住處

〔比丘〕；若數相等者，客〔比丘〕應從其住處〔比丘〕；若客〔比丘〕數多者，其住處〔比丘〕應從客〔比丘〕。

（二）

諸比丘！此處，其住處比丘以十五日、客〔比丘〕以十四日行〔布薩〕。若其住處〔比丘〕數多者，客〔比丘〕應從其住處〔比丘〕；若數相等者，客〔比丘〕應從其住處〔比丘〕；若客〔比丘〕數多者，其住處〔比丘〕應從客〔比丘〕。

（三）

諸比丘！此處，其住處比丘以初日、客〔比丘〕以十五日行〔布薩〕。若其住處〔比丘〕數多者，其住處〔比丘〕若不欲時可不與客〔比丘〕和合，客〔比丘〕應往境界外行布薩。若數相等，其住處〔比丘〕若不欲時可不與客〔比丘〕和合，客〔比丘〕應往境界外行布薩。若客〔比丘〕數多，其住處〔比丘〕應與客〔比丘〕和合，或應往境界外。

（四）

諸比丘！此處，其住處比丘以十五日、客〔比丘〕以初日行〔布薩〕。若其住處〔比丘〕數多，客〔比丘〕應與其住處〔比丘〕和合，或往境界外。若數相等，客〔比丘〕應與其住處〔比丘〕和合，或往境界外。若客〔比丘〕數多，客〔比丘〕不欲時可不與其住處〔比丘〕和合，其住處〔比丘〕應往境界外行布薩。

（五）

諸比丘！此處有客比丘，見其住處比丘居住行相、居住記相、居住因相、居住標誌善標示；並妥備牀、小牀、敷布、枕、飲水、食物，見其房舍甚清淨。見之而疑其住處比丘在耶？或不在耶？

（六）

彼等疑而不尋〔問〕。未曾尋問而行布薩，即墮惡作。彼等疑而尋問，尋問而不見，不見而行布薩，即無罪。彼等疑而尋問，尋問而見，見而俱行布薩，無罪。彼等疑而尋問，尋問而見，見而各別行布薩，墮惡作。彼等疑而尋問，尋問而見，見之念言：『失去！滅去！彼等于汝何益？』願不和合行布薩，即墮偷蘭遮。

（七）

諸比丘！此處有客比丘，見其住處比丘居住行相、居住記相、居住因相、居住標誌；聞經行聲音、讀誦聲、咳嗽聲、噴嚏聲。聞之而疑其住處比丘在耶？或不在耶？彼等……〔同第二　布薩犍度三四（六）〕……墮偷蘭遮。

（八）

諸比丘！此處有住處比丘，見客比丘客行相、客記相、客因相、客標誌、未知之鉢、未知之衣、未知之座、見流洗足水等。見而疑客比丘來耶？或未來耶？彼等……〔同第二　布薩犍度三四（六）〕……墮偷蘭遮。

（九）

諸比丘！此處有住處比丘，見客比丘客行相、客記相、客因相、客標誌；聞來至聲音、掃履聲、咳嗽聲、噴嚏聲。聞之而疑客比丘來耶？或未來耶？彼等……〔同第二　布薩犍度三四（六）〕……墮偷蘭遮。

（一〇）

諸比丘！此處有客比丘，見其住處比丘為異住者，彼等以為同住者。以為同住者而不問，不問而俱行布薩，無罪。彼等問，問而不留意，不留意而俱行布薩，墮惡作。彼等問，問而不留意，不留意而各別行布薩，無罪。

（一一）

諸比丘！此處有客比丘，見其住處比丘為同住者，彼等以為異住者。以為異住者而不問，不問而俱行布薩，墮惡作。彼等問，問而不留意，不留意而各別行布薩，墮惡作。彼等問，問而留意，留意而俱行布薩，無罪。

（一二）

諸比丘！此處有住處比丘，見客比丘為異住者，彼等以為同住者。……〔同第二　布薩犍度三四（一〇）〕……無罪。

（一三）

諸比丘！此處有住處比丘，見客比丘為同住者，彼等以為異住者。……〔同第二　布薩犍度三四（一一）〕……無罪。」

三五

（一）

「諸比丘！布薩日不得從有比丘住處往無比丘住處，但除與僧伽俱，或有障礙。諸比丘！布薩日不得從有比丘住處往無比丘非住處，但除與僧伽俱，或有障礙。諸比丘！布薩之日不得從有比丘住處往無比丘住處或非住處，但除與僧伽俱，或有障礙。

（二）

諸比丘！布薩日不得從有比丘非住處往無比丘住處，但除與僧伽俱，或有障礙。諸比丘！布薩日不得從有比丘非住處往無比丘非住處，但除與僧伽俱，或有障礙。諸比丘！布薩日不得從有比丘非住處往無比丘住處或非住處，但除與僧伽俱，或有障礙。

（三）

諸比丘！布薩日不得從有比丘住處或非住處往無比丘住處，但除與僧伽俱，或有障礙。諸比丘！布薩日不得從有比丘住處或非住處往無比丘非住處，但除與僧伽俱，或有障礙。諸比丘！布薩日不得從有比丘住處或非住處往無比丘住處或非處，但除與僧伽俱，或有障礙。

（四）

諸比丘！布薩日不得從有比丘住處往有異住比丘之有比丘住處，但除與僧伽俱，或有障礙。諸比丘！布薩日不得從有比丘住處往有異住比丘之有比丘非住處，但除與僧伽俱，或有障礙。諸比丘！布薩日不得從有比丘住處往有異住比丘之有比丘住處或非住處……〔參照第二　布薩犍度三五（一）～（三）〕……諸比丘！布薩日不得從有比丘之住處或非住處，往有異住比丘之有比丘住處或非住處，但除與僧伽俱，或有障礙。

（五）

諸比丘！布薩日可從有比丘住處往有同住比丘之有比丘住處，但應知當日必達。諸比丘！布薩日可從有比丘住處往有同住比丘之有比丘非住處，但應知當日必達……諸比丘！布薩日可從有比丘住處或非住處往有同住比丘之有比丘住處或非住處，但應知當日必達。」

三六

（一）

「諸比丘！于有比丘尼眾會不得誦波羅提木叉，誦者墮惡作。諸比丘！于式叉摩那……沙彌……沙彌尼……棄學者……犯極罪者在坐眾會，不得誦波羅提木叉，誦者墮惡作。

（二）

于有不見罪而被舉者在坐之眾會，不得誦波羅提木叉，誦者應依法處分。于有不懺悔罪而被舉……于有不捨棄惡見而被舉者之眾會，不得誦波羅提木叉，誦者應依法處分。

（三）

于有黃門之眾會，不得誦波羅提木叉，誦者墮惡作。于有賊住者……乃至……歸于外道者……畜生……殺母者……殺父者……殺阿羅漢者……污染比丘尼者……破和合僧者……出〔佛身〕血者……二根者之眾會，不得誦波羅提木叉，誦者墮惡作。

（四）

諸比丘！除眾會未起之時，不得依與別住者之清淨而行布薩……。諸比丘！非布薩〔日〕不得行布薩，但除得僧伽和合時。」

———布薩犍度
誦品終———

此犍度有八十六事。攝頌曰：

外道・瓶沙王　集會而默然

說法與獨居　波羅提木叉
日日之讀誦　以半月一次
隨眾會讀誦　一住處和合
和合及曼直　境界之過大
跨河・各房舍　二之布薩堂
極小布薩堂　新參・王舍城
三衣不離境　以先定境界
而後解境界　未定用村里
河・海・湖水境　離境覆境界
幾日布薩日　羯磨及讀誦
波羅提木叉　蠻族・無障礙
法・律・脅・脅律　難罪得許可
非法之非議　四五說所見
不令聞故・勤　有在家眾會
不得求讀誦　周多那瓦睹
不知・不知數　急遣及不往
半月之何日　比丘有多少
遠方・並告知　不憶念・塵污
座・明燈・四方　他多聞比丘
急・安居・布薩　淨羯磨・親族
伽伽・四比丘　三及二比丘
罪・同分・憶念　僧伽皆犯罪
疑有罪不知　多聞之比丘
多數數相等　少數眾未去
部分起離座　皆離座・知・疑
成之相應而　有惡作之性
乃至知・見・聞　舊客之比丘
十四・十五日　初日十五日
于以有記相　二種共住者
別住者布薩　若不得僧伽
和合時在于　布薩外布薩
如此說攝頌　以為解說事

第三　入雨安居犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。爾時，世尊未為諸比丘制定雨時安居。此處彼諸比丘夏時、冬時、雨時盡皆遊行。

（二）

眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子冬時、夏時、雨時盡皆遊行，踐踏青草，以害一根之命，多殺小生命耶？彼諸外道其法惡說，亦顧此以求雨時安居，彼鳥等亦顧此作巢樹頂，求雨時安居。然彼沙門釋子等不論冬時、夏時、雨時，盡皆遊行，踐踏青草，害一根之命，多殺小生命。」

（三）

諸比丘聞彼眾人忿怒、非難。時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許入雨安居。」

二

（一）

時，諸比丘心生思念：「何時應入雨安居耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于雨期許入雨安居。」

（二）

時，諸比丘心生思念：「入雨安居有幾種耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！有二入雨安居，前時與後時也。前時于頞沙荼滿月之翌日入，後時于頞沙荼滿月一月後入。諸比丘！如是，有二時入雨安居。」

三

（一）

爾時，六群比丘入雨安居，雨安居中，亦去遊行。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子冬時、夏時、雨時盡皆遊行，踐踏青草，害一根之命，多殺小生命。彼諸外道其法惡說，亦顧此以求雨時安居，彼諸鳥亦顧此而樹頂作巢，求雨時安居。然彼諸沙門釋子，冬時、夏時、雨時盡皆遊行。踐踏青草，害一根之命，多殺小生命。」

（二）

諸比丘聞彼眾人忿怒、非難。少欲諸比丘忿怒、非難：「如何六群比丘入雨安居，于雨安居中，亦去遊行耶？」彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以此因緣，于此時機說法，告諸比丘曰：「諸比丘！入雨安居未滿三月，或後不住三月者，不得出外遊行，出者墮惡作。」

四

（一）

爾時，六群比丘不欲入雨安居。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不可不入雨安居，不入者墮惡作。」

（二）

爾時，六群比丘于入雨安居日不欲安居，故意出離住處。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于入雨安居日，不欲入安居者，不得故意出離住處，出者墮惡作。」

（三）

爾時，摩竭國洗尼瓶沙王欲令延期入雨安居，遣使者至諸比丘處言：「請于次滿月日入雨安居。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可隨順于王。」

五

（一）

爾時，世尊于隨意間住王舍城後，往舍衛城遊行，次第遊行至舍衛城。其時世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。爾時拘薩羅國有憂陀延優婆塞，為僧伽建立精舍。遣使至彼諸比丘處言：「請蒞臨！我欲行布施、聞法、見比丘。」

（二）

諸比丘曰：「世尊規定未住滿入雨安居三月或後三月者，不得出外遊行。憂陀延優婆塞！于諸比丘住雨安居期間暫待，若出雨安居時則往。若彼急要時，請于彼住處之諸比丘之處，奉獻精舍。」

（三）

憂陀延優婆塞忿怒、非難：「我遣使者去如何不來耶？我乃施者、作者、僧伽近侍者也。」諸比丘聞憂陀延優婆塞忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊。

（四）

時，世尊以此因緣，于此時機說法，告諸比丘曰：「諸比丘！若為七種人所請，但許七日事，即許往；未受使者，不然！〔七種人者：〕比丘、比丘尼、式叉摩那、沙彌、沙彌尼、優婆塞、優婆夷也。諸比丘！為如此七種人所請，許為七日，即許往；未受使者，不然。七日應返。

（五）

諸比丘！此處有優婆塞，為僧伽建立精舍。若彼遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！我欲行布施、聞法、見比丘。』諸比丘！若受請行事七日，即許往；未受請者，不然。七日應返。

（六）

諸比丘！此處有優婆塞，為僧伽建立平覆屋、建立樓房、建立地窟、建立房舍、建立藏庫、建立勤行堂、建立火堂、建立用房、建立廁所、建立經行處、建立經行堂、建築水井、建立井堂、建立浴室、建立浴室堂、建立小池、建立廷堂、建立庭園、建立園地。若彼遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！我欲行布施、聞法、見比丘。』諸比丘！若受請行事七日，即許往；未受請者，不然。七日應返。

（七）

諸比丘！此處有優婆塞，為多數比丘……乃至……為一比丘建立精舍、建立平覆屋、建立殿樓……〔同第三　入雨安居犍度五（六）〕……七日應返。

（八）

諸比丘！此處有優婆塞，為比丘尼僧伽……乃至……為多數比丘尼……乃至……為一比丘尼……乃至……為多數式叉摩那……乃

至……為一式叉摩那……乃至……為多數沙彌……乃至……為一沙彌……乃至……為多數沙彌尼……乃至……為一沙彌尼建立精舍、建立平覆屋、建立殿樓、建立樓房、建立地窟、建立房舍、建立藏庫、建立勤行堂、建立火堂、建立用房、建立廁所、建立經行處、建立經行堂、建築水井、建立井堂、建立小池、建立廷堂、建立庭園、建立園地。若彼遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！我欲行布施、聞法、見比丘。』諸比丘！若受使行事七日間，即許往；未受使者，不然。七日應返。

（九）

諸比丘！此處有優婆塞，為自己建立住屋……乃至……建立臥處、建立小屋、建塔、建立天幕、建立店、建立店屋、建立殿樓、建立樓房、建立地窟、建立房舍、建立藏庫、建立勤行堂、建立火堂、建立廚房、建立廁所、建立經行處、建立經行堂、建築水井、建立井堂、建立浴室、建立浴室堂、建立小池、建立廷堂、建立庭園、建立園地。或為其子婚禮、或為其女婚禮、或病、或讀誦名經，若彼遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！此經未滅前，即學此經。』或有其他所用、所作，或彼遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！我欲行布施、聞法、見比丘。』諸比丘！若受請行事七日，即許往；不受請者，不然。七日應返。

（一〇）

諸比丘！此處有優婆夷，為僧伽建立精舍。若彼女遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！我欲行布施、聞法、見比丘。』諸比丘！若受請行事七日間，即許往；未受請者，不然。七日應返。

（一一）

諸比丘！此處有優婆夷，為僧伽建立平覆屋……〔同第三　入雨安居犍度五（六）〕……建立園地。若彼女遣使者至諸比丘處……〔同第三　入雨安居犍度五（一〇）〕……七日應返。

（一二）

諸比丘！此處有優婆夷，為多數諸比丘……乃至……為一比丘……乃至……為比丘尼僧伽……乃至……為多數之比丘尼……乃至……為一比丘尼……乃至……為多數之式叉摩那……為一式叉摩那、為多數之沙彌、為一沙彌、為多數之沙彌尼、為一沙彌尼……乃至……為自己建立住屋……乃至……建立臥處……〔同第三　入雨安居犍度五（九）〕……或病、或讀誦名經，若彼女遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！此經未滅前，學此經。』或有其他所用、所作，而彼女遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！我欲行布施、聞法、見比丘。』諸比丘！若受請行事七日間，即許往；未受請者，不然。七日應返。

（一三）

諸比丘！此處有比丘為僧伽……有比丘尼為僧伽……有式叉摩那為僧伽……有沙彌為僧伽……有沙彌尼為僧伽……為多數之比丘……為一比丘……為比丘尼僧伽……為多數之比丘尼……為一比丘尼……為多數之式叉摩那……為一式叉摩那……為多數之沙彌……為一沙彌……為多數之沙彌尼……為一沙彌尼……為自己建立精舍……〔同第三　入雨安居犍度五（八）〕……建立園地。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『請蒞臨！我欲行布施、聞法、見比丘。』諸比丘！若受請行事七日間，即許往；未受請者，不然。七日應返。」

六

（一）

爾時，有一比丘患病。彼遣使者至諸比丘處言：「我病！諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！五種人七日間行事，雖不受請亦許往，何況受請！〔五種人者：〕比丘、比丘尼、式叉摩那、沙彌、沙彌尼也。諸比丘！如此五種人七日間行事，雖不受請亦可往，何況受請耶？七日應返。

（二）

諸比丘！此處有比丘病。若彼遣使者至諸比丘處言：『我病！諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！七日間行事，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我須求病者之食、求看病者之食、求病者之醫藥、問候、看護。』七日應返。

（三）

諸比丘！此處有比丘生不欣喜。若彼遣使者至諸比丘處言：『我生不欣喜，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我為之滅不欣喜，令滅〔不欣喜〕而說法。』七日應返。

（四）

諸比丘！此處有比丘生惡作〔悔疑〕。若彼遣使者至諸比丘處言：『我生惡作，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我為之除惡作，令除〔惡作〕而說法。』七日應返。

（五）

諸比丘！此處有比丘生成見。若彼遣使者至諸比丘處言：『我生成見，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我為之離成見，令離〔成見〕而說法。』七日應返。

（六）

諸比丘！此處有比丘，以犯尊法而當別住。若彼遣使者至諸比丘處言：『我以犯尊法而當別住，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令與別住，或唱〔表白〕，或加入會眾以滿僧數。』七日應返。

（七）

諸比丘！此處有比丘當本日治。若彼遣使者至比丘等處言：『我當本日治，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令與本日治，或唱〔表白〕，或加入會眾以成滿數。』七日應返。

（八）

諸比丘！此處有比丘當摩那埵。若彼遣使者至諸比丘處言：『我當摩那埵，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令與摩那埵，或唱〔表白〕，或〔加入〕會眾以成滿數。』七日應返。

（九）

諸比丘！此處有比丘當出罪。若彼遣使者至諸比丘處言：『我當出罪，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七

日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令與出罪，或唱〔表白〕，或〔加入〕會眾以成滿數。』七日應返。

（一〇）

諸比丘！此處有比丘欲僧伽為之行羯磨、呵責、依止、驅出、下意、舉罪。若彼遣使者至諸比丘處言：『欲僧伽為我行羯磨，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『如何使僧伽行羯磨，或令轉而減輕。』七日應返。

（一一）

或僧伽已為彼行羯磨、呵責……舉罪也。若彼遣使者至諸比丘處言：『僧伽為我行羯磨，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『如何使之正行、從順、免罪，使僧伽停止羯磨。』七日應返。

（一二）

諸比丘！此處有比丘尼病。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『我病！諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我求病者之食、求看病者之食、求病者之醫藥、問候、看護。』七日應返。

（一三）

諸比丘！此處有比丘尼，生不欣喜。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『我生不欣喜，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我為之滅不欣喜，令滅〔不欣喜〕而說法。』七日應返。

（一四）

諸比丘！此處有比丘尼生惡作。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『我生惡作，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我為之除惡作，令除〔惡作〕而說法。』七日應返。

（一五）

諸比丘！此處有比丘尼生成見。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『我生成見，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我為之離成見，令離〔成見〕而說法。』七日應返。

（一六）

諸比丘！此處有比丘尼，犯尊法而當摩那埵。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『我犯尊法而當摩那埵，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令與摩那埵。』七日應返。

（一七）

諸比丘！此處有比丘尼當本日治。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『我當本日治，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令與本日治。』七日應返。

（一八）

諸比丘！此處有比丘尼當出罪。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『我當出罪，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事

七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令與出罪。』七日應返。

（一九）

諸比丘！此處有比丘尼，欲僧伽為之行羯磨、呵責、依止、驅出、下意、舉罪。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『欲僧伽為我行羯磨，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『如何使僧伽行羯磨，或令轉而減輕。』七日應返。

（二〇）

或僧伽已為彼尼行羯磨、呵責……舉罪也。若彼尼遣使者至諸比丘處言：『僧伽已為我行羯磨，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『如何使之正行、從順、免罪，使僧伽停止羯磨。』七日應返。

（二一）

諸比丘！此處有式叉摩那病。若彼女遣使者至諸比丘處言：『我病！諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我須求病者之食、求看病者之食、求病者醫藥、問候、看護。』七日應返。

（二二）

諸比丘！此處有式叉摩那生不欣喜……乃至……生惡作……生成見……犯學〔處〕。若彼女遣使者至諸比丘處言：『我犯學〔處〕，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七

日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令〔再〕受學〔處〕。』七日應返。

（二三）

諸比丘！此處有式叉摩那欲受具足戒。若彼女遣使者至諸比丘處言：『我欲受具足戒，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令受具足戒，或唱〔表白〕，或〔加于〕眾會以成滿數。』七日應返。

（二四）

諸比丘！此處有沙彌病。若彼遣使者至諸比丘處言：『我病！諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我須求病者之食、求看病者之食、求病者之醫藥、問候、看護。』七日應返。

（二五）

諸比丘！此處有沙彌生不欣喜……乃至……生惡作……生成見……欲問有幾歲。若彼遣使者至諸比丘處言：『我欲問有幾歲，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我需詢問、解說。』七日應返。

（二六）

諸比丘！此處有沙彌欲受具足戒。若彼遣使者至諸比丘處言：『我欲受具足戒，諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令

受具足戒，或唱〔表白〕，或〔加入〕會眾以成滿數。』七日應返。

（二七）

諸比丘！此處有沙彌尼病。若彼女遣使者至諸比丘處言：『我病！諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我需求病者之食、求看病者之食、求病者之醫藥、問候、看護。』七日應返。

（二八）

諸比丘！此處有沙彌尼生不欣喜……乃至……生惡作……生成見……欲問有幾歲。若彼女遣使者至諸比丘處言：『我欲問有幾歲，諸尊者！請蒞臨！欲尊者等蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我需詢問、解說。』七日應返。

（二九）

諸比丘！此處有沙彌尼欲受學〔處〕。若彼女遣使者至諸比丘處言：『我欲受學〔處〕，諸尊者！請蒞臨！欲諸尊者蒞臨。』諸比丘！若行事七日，雖未受請亦許往，何況受請耶？〔且應念：〕『我力令受學〔處〕。』七日應返。」

七

（一）

爾時，有一比丘之母生病。彼女遣使者至子處言：「我病！我子！回來！欲子回來。」時，彼比丘心生思念：「世尊規定七種人行事七日，受請者許往，未受請者不然。規定五種人行事七日，未

受請亦許往，何況受請耶？我母生病，但非優婆夷，我應如何為之耶？」彼以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！于七種人若行事七日，未受請亦許往，何況受請耶？〔七種人者：〕比丘、比丘尼、式叉摩那、沙彌、沙彌尼、母、父也。諸比丘！如此七種人若行事七日，未受請亦許往，何況受請耶？七日應返。

（三）

諸比丘！此處有比丘，彼母生病。若彼女遣使者至子處言：『我病！我子！回來！欲子回來。』〔同第三　入雨安居犍度五（二）〕……七日應返。

（四）

諸比丘！此處有比丘，彼父生病。若彼遣使者至子處言：『我病！我子！回來！欲子回來。』……〔同第三　入雨安居犍度六（二）〕……七日應返。

（五）

諸比丘！此處有比丘，彼兄弟病。若彼遣使者至兄弟處言：『我病！我兄弟！回來！欲兄弟回來。』諸比丘！若行事七日，受請者許往，未受請者不然。七日應返。

（六）

諸比丘！此處有比丘，彼姊妹生病。若彼女遣使者至兄弟處言：『我病……〔同第三　入雨安居犍度七（五）〕……』七日應

返。

（七）

諸比丘！此處有比丘，彼之親族病。若彼之親族遣使者至比丘處言：『我病！請蒞臨！欲汝蒞臨。』諸比丘！若行事七日，受請者即許往，未受請者不然。七日應返。

（八）

諸比丘！此處有比丘友病。若彼遣使至諸比丘處言：『我病！諸比丘！請蒞臨！欲諸比丘蒞臨。』諸比丘！若行事七日，受請者許往，不受請者不然。七日應返。」

八

（一）

爾時，僧伽精舍朽廢，有一優婆塞于森林斫材，彼遣使者至諸比丘處，言：「若運彼材，我以彼材與之。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！因僧伽事者許往。七日應返。」

———雨安居誦
品終———

九

（一）

爾時，于拘薩羅國之一住處有比丘等入雨安居，為猛獸所惱，或遭捕、或遭殺。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，為猛獸所惱，或遭捕、或遭殺。此為障礙應

離去，無破雨安居罪。諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，為蛇所惱，或遭咬、或遭殺。此無……罪。

（二）

諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，為盜賊所惱，或遭掠奪、或遭毆打。此無……罪。諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，為畢舍遮所惱，或為所憑附、或奪精。此無……罪。

（三）

諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，其村為火所燒，諸比丘為食所困而疲。此無……罪。諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，其臥具牀座為火所燒，諸比丘為臥具牀座所困而疲。此無……罪。

（四）

諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，其村為水所漂，諸比丘為食所困而疲。此無……罪。諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，其臥具牀座為水所漂，諸比丘為臥具牀座所困而疲。此無……罪。」

一〇

（一）

爾時，于一住處有諸比丘入雨安居，其村為避盜賊而遷移。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許往村所遷移處。」村為二分。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許往多數者處。」多數者無信心、無淨心。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許往有信心、有淨心者處。」

一一

（一）

爾時，于拘薩羅國一住處，有諸比丘入雨安居，粗、妙之食皆不得滿足，不應所求。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，粗、妙之食皆不得滿足，不應所求。此為障礙應離去，無破雨安居罪。諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，粗、妙之食皆得滿足，能應所求，但不得足量之食。此無……罪。

（二）

諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，粗、妙之食得滿足，能應所求，得足量之食，但不得所應醫藥。此……無罪。諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，粗、妙之食得滿足，應所求，得足量之食，得所應之醫藥，而不得相稱之侍者。此無……罪。

（三）

諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，女人引誘彼言：『來！與汝黃金、與妙色金、與田、與土地、與牡牛、與牝牛、與奴僕、與女兒為妻，我為汝妻，勿娶他女。』于此，若比丘心生思念：『世尊說心易變，或障礙我梵行。』應離去，無破雨安居罪。

（四）

諸比丘！此處有諸比丘入雨安居，淫女誘彼……乃至……年長童女誘彼……黃門誘彼……親族誘彼……國王誘彼……盜賊誘彼……惡人誘彼言：『來！與汝黃金……與女兒為妻，勿娶他女。』于此，若比丘心生思念……無……罪。諸比丘！此處有比丘入雨安居，發見無主之財。于此，若比丘心生思念……無……罪。

（五）

諸比丘！此處有比丘入雨安居，見多數諸比丘圖破僧。于此，若比丘心生思念：『世尊說破僧乃最重〔罪〕，于我現前不得有破僧者。』應離去，無破雨安居罪。諸比丘！此處有比丘入雨安居，聞多數諸比丘圖破僧。于此無……罪。

（六）

諸比丘！于此處有比丘入雨安居，于某甲住處，聞多數之諸比丘圖破僧。于此，若比丘心生思念：『彼諸比丘是我友，我告彼等言，世尊說破僧乃最重〔罪〕，諸具壽勿悅破僧。彼等不順從我言，不恭敬聽聞。』即應離去。無破安居罪。

（七）

諸比丘！此處有比丘入雨安居，于某甲住處，聞多數諸比丘圖破僧。于此，若比丘心生思念：『彼諸比丘雖非我友，彼等之友是我友也。我告彼友以言彼等，世尊……』……〔同第三　入雨安居犍度一一（六）〕無……罪。

（八）

諸比丘！此處有比丘入雨安居，于某甲住處，聞多數諸比丘行破僧。于此，若比丘心生思念：『彼諸比丘是我友也，我言彼等，世尊……』……〔同第三　入雨安居犍度一一（六）〕無……罪。

（九）

諸比丘！此處有比丘入雨安居，于某甲住處，聞多數諸比丘行破僧。于此若比丘心生思念：『彼諸比丘雖非我友，彼等之友是我友也。我告彼友言彼等，世尊……』……〔同第三　入雨安居犍度一一（六）〕無……罪。

（一〇）

諸比丘！此處有比丘入雨安居，于某甲住處，聞多數諸比丘尼圖破僧。于此，若比丘心生思念：『彼諸比丘尼是我友也，我告彼諸尼言，世尊說破僧乃最重〔罪〕，諸姊妹勿悅破僧。彼女不順從我言，不恭敬聽聞。』即應離去。無破雨安居罪。

（一一）

諸比丘！此處有比丘入雨安居，于某甲住處，聞多數諸比丘尼圖破僧。于此，若比丘心生思念：『彼諸比丘尼雖非我友，彼諸尼之友是我友也。我告彼友言彼尼等，世尊……』……〔同第三　入雨安居犍度一一（一〇）〕無……罪。

（一二）

諸比丘！此處有比丘入雨安居，于某甲住處，聞多數諸比丘尼行破僧。于此，若比丘心生思念：『彼諸比丘尼是我友也，我言彼尼等，世尊……』……〔同第三入雨安居犍度一一（一〇）〕無……罪。

（一三）

諸比丘！此處有比丘入雨安居，于某甲住處，聞多數諸比丘尼行破僧。于此，若比丘心生思念：『彼諸比丘尼雖非我友，彼諸尼之友是我友也。我告彼友言彼尼等，世尊……』……〔同第三　入雨安居犍度一一（一〇）〕無……罪。」

一二

（一）

爾時，有一比丘欲于牛舍入雨安居。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許于牛舍入雨安居。」牛舍遷移矣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許往牛舍處。」

（二）

爾時，有一比丘于近入雨安居時，欲與旅商俱往。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許于旅商中入雨安居。」爾時，有一比丘于近入雨安居時，欲乘船而往。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許于船入雨安居。」

（三）

爾時，諸比丘于樹洞入雨安居。眾人忿怒、非難：「猶如樹神。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得于樹洞入雨安居，入者墮惡作。」

（四）

爾時，諸比丘于樹叉上入雨安居。眾人忿怒、非難：「猶如獵夫。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于樹叉上不得入雨安居，入者墮惡作。」

（五）

爾時，諸比丘于露地入雨安居。天下雨，或跑至樹下、或跑入拈笆（nimb）樹洞。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于露地不得入雨安居，入者墮惡作。」

（六）

爾時，諸比丘無臥具、牀座入雨安居，為寒冷所困而疲、為炎熱所困而疲。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！無臥具、牀座不得入雨安居，入者墮惡作。」

（七）

爾時，諸比丘于納屍堂入雨安居。眾人忿怒、非難：「猶如火葬夫。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于納屍堂不得入雨安居，入者墮惡作。」

（八）

爾時，諸比丘于傘蓋之下入雨安居。眾人忿怒、非難：「猶如放牛人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！傘蓋之下不得入雨安居，入者墮惡作。」

（九）

爾時，諸比丘于土缸中入雨安居。眾人忿怒、非難：「猶如外道。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于土缸中不得入雨安居，入者墮惡作。」

一三

（一）

爾時，舍衛國僧伽相約于雨安居間，不令出家。毘舍佉鹿母之孫到諸比丘處請求出家。諸比丘言：「僧伽相約于雨安居間，不得令出家。且待諸比丘住雨安居，從雨安居出時，即令出家。」時，諸比丘從雨安居出，言毘舍佉鹿母之孫曰：「今可出家！」彼言：「若我已出家，我則欣喜，今我不出家。」

（二）

毘舍佉鹿母忿怒、非難：「如何如此相約于雨安居間，不令出家耶？何時不可行法耶？」諸比丘聞毘舍佉鹿母忿怒、非難時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得如此相約于雨安居間，不令出家，約者墮惡作。」

一四

（一）

爾時，具壽跋難陀釋子與拘薩羅國之波斯匿王相約雨安居前，彼往彼住處，于途中見多衣物之二住處。彼生思念：「我當于此二住處住雨安居。如此者可多得衣物。」彼于其二住處住雨安居。拘薩羅國波斯匿王忿怒、非難：「如何跋難陀釋子違反與我之約。世尊豈非以無數方便，呵責妄語，讚歎離妄語耶？」

（二）

諸比丘聞拘薩羅國波斯匿王忿怒、非難。少欲諸比丘忿怒、非難：「如何具壽跋難陀釋子違反與拘薩羅國波斯匿王之約耶？世尊豈非以無數方便呵責妄語，讚歎離妄語耶？」

（三）

時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以此因緣令比丘眾集會，問具壽跋難陀釋子曰：「跋難陀！汝違反與拘薩羅國波斯匿王之約，真實耶？」「世尊！真實也。」佛世尊呵責：「愚人！如何汝違反與拘薩羅國波斯匿王之約耶？愚人！我豈非以無數方便呵責妄語，讚歎離妄語耶？愚人！此令未信者不信……〔參照第一大犍度二五（五）〕……」呵責、說法，告諸比丘曰：

（四）

「諸比丘！此處有比丘相約雨安居前，彼往彼住處，于途中見多衣物二住處。彼生思念：『我當于此二住處住雨安居，如此者可多得衣物。』彼于彼二住處住雨安居。諸比丘！彼比丘失約于〔雨安居〕前，墮惡作。

（五）

諸比丘！此處有比丘相約雨安居前，彼往彼住處，于外行布薩，半月之次日到精舍，設臥具牀座、調飲食、淨房舍，于是日無事而去。諸比丘！彼比丘失約于〔雨安居〕前，墮惡作。諸比丘！此處有比丘……乃至……于是日有事而離去。諸比丘！彼比丘失約于〔雨安居〕前，墮惡作。

（六）

諸比丘！此處有比丘……住後二、三日無事而去。諸比丘！彼比丘因失約于〔雨安居〕前，墮惡作。諸比丘！此處有比丘……住二、三日後，有事而去。諸比丘！彼比丘因失約于〔雨安居〕前，墮惡作。諸比丘！此處有比丘……住二、三日後，有七日間行事而離去，彼于外面過七日。諸比丘！彼比丘因失約于〔雨安居〕前，墮惡作。諸比丘！此處有比丘……住二、三日後，有七日間行事而離去。彼于七日中返。諸比丘！彼比丘因未失約于〔雨安居〕前，無罪。

（七）

諸比丘！此處有比丘……先行自恣，于七日間行事而離去。諸比丘！彼比丘返或不返其住處。諸比丘！彼比丘因不失約于〔雨安居〕前，無罪。

（八）

諸比丘！此處有比丘相約雨安居前，彼往彼住處行布薩，半月之次日至精舍，設臥具牀座、調飲食、淨房舍，但于是日無行事而離去。諸比丘！彼比丘因失約于〔雨安居〕前，墮惡作。

（九）

諸比丘！此處有比丘……有行事，于其日離去……乃至……住二、三日後，無行事而離去……乃至……住二、三日後，有行事而離去……乃至……住二、三日後，有七日間行事而離去，彼于外面過七日。諸比丘！彼比丘因失約于〔雨安居〕前，墮惡作。

（一〇）

……住二、三日後，有七日間行事而離去，彼于七日內返。諸比丘！彼比丘因不失約于〔雨安居〕前，無罪。……先行自恣，七日間……〔同第三　入雨安居犍度一四（七）〕……無罪。

（一一）

諸比丘！此處有比丘相約雨安居後，彼欲往彼住處。于外面行布薩，半月之次日到精舍，設臥具牀座、調飲食、淨房舍，是日無行事而離去。諸比丘！彼比丘因失約于〔雨安居〕後，墮惡作。諸比丘！此處有比丘……〔參照第三　入雨安居犍度一四（五）～（一〇）。將『雨安居前』改為『雨安居後』，將『先行自恣』改為『迦刺底迦月滿月前』。〕約……，無罪。」

此〔犍度〕攝頌曰：

入于雨安居　何時與幾何
中有遊行者　不欲入・故意
延期・優婆塞　病・母・父・兄弟

姊妹與親族　比丘友・精舍
乃至猛獸・蛇　盜賊・畢舍遮
至火災二種　水漂・村遷移
多數村施者　粗・妙・所應食
醫藥並侍者　女人及淫女
黃門與親族　國王與盜賊
乃至惡人・財　破僧有八種
牛舍與旅商　船・洞・並木叉
露地雨安居　無臥具牀座
納屍堂・傘蓋　土缸入安居
僧伽約・違約　于外作布薩
前雨安居與　雨安居之後
以應理而行　無行事而去
有事但離去　二・三・七行事
先七日去者　返不返無罪
應聽此諸事　攝頌中要道
此之犍度中　有五十二事

第四　自恣犍度

一

（一）

爾時，佛世尊在舍衛城祇樹給孤獨園。爾時，有多數同見相親諸比丘，于拘薩羅國一住處入雨安居。時，彼諸比丘心生思念：「我等以何方便和合、歡喜而無相爭、安樂住雨安居，于食得無困疲耶？」

（二）

時，彼諸比丘心生思念：「我等不共談話、不問訊。先于村里乞食還者，設牀座，調洗足水、足台、足布，調洗殘食、器具，調飲食。

（三）

後于村里乞食還者，若有餘食，欲者食之；不欲者即棄于無青草處，或沈于無蟲類水中。彼除牀座，收洗足水、足台、足布，收洗殘食、器具，掃淨食堂。

（四）

若見水瓶、食瓶、澡盆水空，其人應調備之。若彼不能者，以手招其他〔比丘〕備之；但以姿勢，無須語言。若如此者，我等和合、歡喜、無爭、安樂以住雨安居，于食得無困疲。」

（五）

時，彼諸比丘不共談話，不相問訊。從村里乞食先還者，即設牀座，調洗足水、足台、足布，調洗殘食、器具，調飲食。

（六）

後于村里乞食還者，若有餘食，欲者食之；不欲者即棄于無青草處，或沈于無蟲類水中。彼除牀座，收洗足水、足台、足布，收洗殘食、器具，掃淨食堂。

（七）

若見水瓶、食瓶、澡盆水空，其人即備之。若彼不能者，以手招其他〔比丘〕備之；但以姿勢，無須語言。

（八）

時，出雨安居諸比丘，詣拜世尊乃為常法。時，彼諸比丘三月後出雨安居，收藏臥具牀座，持衣、鉢，往舍衛城。順次詣舍衛城祇樹給孤獨園世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。時，佛世尊與客比丘互相致問乃為常法。

（九）

時，世尊告彼諸比丘曰：「諸比丘！堪忍否？滿足否？和合、歡喜、無爭、安樂以住雨安居，不為食所困疲否？」「世尊！堪忍！世尊！滿足！我等和合、歡喜、無爭、安樂住雨安居，未曾為食所困疲。」

（一〇）

諸如來有知而故問、知而不問，知時而問、知時而不問；諸如來有利而問、無利而不問；諸如來乃毀無利之橋者也。佛世尊依二

相以問諸比丘：或說法、或為聲聞定學處。時，世尊告彼諸比丘曰：「諸比丘！汝等如何和合、歡喜、無爭、安樂住雨安居，不為食所困疲耶？」

（一一）

「此處我等多數同見相親諸比丘，于拘薩羅國一住處入雨安居。時，我等心生思念：『我等依何方便得和合、歡喜、無爭、安樂住雨安居，不為食所困疲？』我等心生思念：『我等……若如此者，我等得和合、歡喜、無爭、安樂住雨安居，不為食所困疲也。』時，我等不共談話，不相問訊。從村里乞食先還者，設牀座、洗足水……無須言語。如此我等和合、歡喜、無爭、安樂住雨安居，不為食所困疲。」

（一二）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！此諸愚人非安樂住而稱安樂住。諸比丘！此諸愚人住畜獸共住而稱安樂住。諸比丘！此諸愚人白羊共住而稱安樂住。諸比丘！此諸愚人住放逸共住而稱安樂住。諸比丘！如何此諸愚人持外道所持啞戒耶？

（一三）

諸比丘！此令未信者不信〔……乃至……〕……。」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得持外道所持啞戒，持者墮惡作。諸比丘！住雨安居，比丘可依三事行自恣，〔三事者：〕見、聞、疑也。依此汝等互相隨順、免罪、尊律。

（一四）

諸比丘！行自恣者應如此行：聰明賢能比丘告僧伽言：『諸大德！請聽我言！今日行自恣，若僧伽機熟者，僧伽應行自恣。』長

老比丘應偏袒上衣，蹲踞，合掌而言：『我以見、聞、疑向僧伽行自恣。諸具壽！以哀愍我而語，若見我〔罪〕者即除之。二次……三次，我于見、聞、疑向僧伽行自恣，諸具壽！哀愍我而語，若見我〔罪〕者即除之。』新參比丘應偏袒上衣，蹲踞，合掌而言：『我以見、聞、疑向僧伽行自恣……二次……三次……若見我〔罪〕者即除之。』」

二

（一）

爾時，六群比丘于諸長老比丘蹲踞以行自恣時，坐于座上。少欲諸比丘忿怒、非難：「如何六群比丘于諸長老比丘蹲踞行自恣時，坐于座上耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘于長老……坐于座上，真實耶？」「世尊！真實也。」佛世尊呵責：「諸比丘！如何彼諸愚人于長老……坐于座上耶？諸比丘！此令未信者不信〔……乃至……〕……」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！長老比丘蹲踞行自恣時，不得坐于座上。坐者墮惡作。諸比丘！許一切人蹲踞行自恣。」

（二）

爾時，有一老羸比丘，于一切人行自恣間，蹲踞而待，絕氣而倒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！行自恣間，蹲踞自恣終時，可坐于座。」

三

（一）

時，諸比丘心生思念：「自恣〔日〕有幾何耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！自恣有二〔日〕，十四日與十五

日也。諸比丘！如此自恣有二〔日〕。」

（二）

時，諸比丘心生思念：「自恣羯磨有幾何耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！有四自恣羯磨：非法別眾自恣羯磨……〔參照第二　布薩犍度一四（二）～（三）〕……應學。」

（三）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！集會！僧伽行自恣。」如此說時，有一比丘白：「有病比丘不來。」世尊曰：「諸比丘！許與病比丘自恣。諸比丘！與自恣者應如此行：彼病比丘應至一比丘處，偏袒上衣，蹲踞，合掌而唱言：『與我自恣，我取自恣，我行自恣。』如此，以身告之，以語告之，以身語告之，即與自恣；不以身告，不以語告，不以身、語告，非與自恣。

（四）

若如此，得者善；若不得者，諸比丘！應將病比丘以牀或小牀，接至僧伽中行自恣。諸比丘！若看護病患諸比丘心生思念……〔參照第二　布薩犍度二二（二）〕……僧伽應往彼處行自恣。但于別眾不得行自恣，若行自恣者墮惡作。

（五）

諸比丘！若持自恣者，受自恣……〔同第二　布薩犍度二二（三）～（四）。但『清淨』換為『自恣』〕……持自恣者墮惡作。諸比丘！于自恣日，若僧伽有事，許與自恣者，與清淨欲，此為僧事。」

四

（一）

爾時，有一比丘，于自恣日為親族所羈留。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有比丘，于自恣日為親族所羈留。諸比丘應言彼親族：『諸具壽！此比丘行自恣間，請須臾免此比丘。』

（二）

若如此，得者善；若不得者……〔同第二　布薩犍度二四（二）。但將『清淨』『布薩』改為『自恣』〕……若行自恣者墮惡作。

（三）

諸比丘！此處有比丘，于自恣日為國王所逮捕……為盜賊所逮捕……為惡人所逮捕……為怨敵比丘所逮捕。諸比丘應向彼怨敵比丘言……于別眾不得行自恣，若行自恣者墮惡作。」

五

（一）

爾時，于一住處自恣之日住五比丘。時，彼諸比丘心生思念：「世尊規定僧伽應行自恣，而我等僅五人，我等如何行自恣耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許五人為僧伽，行自恣。」

（二）

爾時，于一住處自恣之日住四比丘。時，彼諸比丘心生思念：「世尊許五人為僧伽以行自恣，而我等四人。我等如何行自恣

耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許四人互相行自恣。」

（三）

「諸比丘！行自恣者應如此行：聰明賢能比丘應告彼諸比丘曰：『諸具壽！請聽我言！今日自恣。若諸具壽機熟者，我等互相行自恣。』長老比丘偏袒上衣，蹲踞，合掌應言彼諸比丘曰：『我以見、聞、疑向諸具壽行自恣。諸具壽！哀愍我而語，若見我〔罪〕者即除之。二次……三次……除之。』新參比丘偏袒上衣，蹲踞，合掌應言彼諸比丘曰：『我以見、聞、疑向諸具壽行自恣……二次……三次……除之。』」

（四）

爾時，于一住處，自恣之日住三比丘。時，彼諸比丘心生思念：「世尊許五人為僧伽可行自恣，四人者可互相行自恣，而我等僅三人。我等應如何行自恣耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許三人可互相行自恣。諸比丘！行自恣時，應如此為之：聰明……『……〔同第四　自恣犍度五（三）〕……除之。』」

（五）

爾時，于一住處自恣之日住二比丘。時，彼諸比丘心生思念：「世尊許五人為僧伽可行自恣，四人者可互相行自恣，三人者可互相行自恣，而我等二人。我等如何行自恣耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許二人可互相行自恣。

（六）

諸比丘！行自恣時應如此為之：長老比丘應偏袒上衣，蹲踞，合掌，言新參比丘曰：『我以見、聞、疑向具壽行自恣。具壽！哀愍我而語，見我〔罪〕者除之。二次……三次……除之。』新參比丘應……上衣……合掌，言長老比丘曰：『我以見、聞、疑向具壽行自恣……二次……三次……除之。』」

（七）

爾時，于一住處，自恣之日住一比丘。時，彼比丘心生思念：「世尊許五人可為僧伽以行自恣，四人者可互相行自恣，三人者可互相行自恣，二人者可互相行自恣，而我僅一人。我應如何行自恣耶？」彼以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（八）

「諸比丘！于一住處，自恣之日住一比丘。諸比丘！彼比丘應淨諸比丘還來之勤行堂、廷堂、樹下處，備飲食，設牀座，點明燈而坐。若其他諸比丘來時，應俱行自恣；若不來時，應攝持『今日乃我自恣也。』若不攝持，墮惡作。

（九）

諸比丘！于五比丘住處，一人持來自恣，四人不可為僧伽行自恣，若行自恣者墮惡作。諸比丘！于四比丘住處，一人持來自恣，三人不得互相行自恣，行自恣者，墮惡作。諸比丘！于三比丘住處，一人持來自恣，二人不得互相行自恣，行自恣者，墮惡作。諸比丘！于二比丘住處，一人持來自恣，一人不得攝持，攝持者墮惡作。」

六

（一）

爾時，有一比丘于自恣日犯罪。時，彼比丘心生思念：「世尊規定有罪者不得行自恣，而我犯罪。我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于此處……〔參照第二　布薩犍度二七（一）～（二）〕……應言懺悔以行自恣，不得以此作自恣之障礙。」

（二）

爾時，有一比丘正行自恣時，憶念及罪。時，彼比丘心生思念：「世尊規定有罪者不得行自恣，而我犯罪，我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有比丘，正行自恣時憶念及罪。諸比丘！彼比丘應言鄰近比丘曰：『我犯某罪，由此出後，即懺悔彼罪！』如此言而行自恣。由此不得作自恣障礙。

（三）

諸比丘！此處有比丘正行自恣時心疑有罪。諸比丘！彼比丘……〔參照第二　布薩犍度二七（四）～（八）〕……應言懺悔以行自恣。由此不得作自恣障礙。」

———誦品一終———

七

（一）

爾時，于一住處自恣之日，甚多其住處比丘集會，五人或過〔五人〕。彼等不知其住處，有其他比丘未來者。彼等思念是法、思念是律、思念和合別眾而行自恣。彼等正行自恣時，有其住處之其他比丘來者，其數甚多。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！此于一住處自恣之日，甚多其住處比丘集會，五人或過〔五人〕。彼等不知其住處有比丘未來者。彼等思念是法、思念是律、思念和合別眾而行自恣。彼等正行自恣時，有其住處之其他比丘來者，其數甚多。諸比丘！彼諸比丘應再行自恣；已行自恣者，無罪。

（三）

諸比丘！此于一住處自恣之日……彼等正行自恣時，有其住處之其他比丘來者，其數相等。已行自恣者，是善行也。餘者應行自恣，已行自恣者無罪。諸比丘！此于一住處布薩之日……彼等正行自恣時，有其住處之其他比丘來者，其數甚少。已行自恣者是善行也。餘者應行自恣，已行自恣者無罪。

（四）

諸比丘！此于一住處，自恣之日……彼等已行自恣時，有其住處之其他比丘來者，其數甚多。諸比丘！彼諸比丘應再行自恣，已行自恣者無罪。諸比丘！于此……彼等已行自恣之時，有其住處之其他比丘來者，其數相等。已行自恣者是善行也，〔後來者〕應于彼等之前行自恣，已行自恣者無罪。諸比丘！于此……彼等已行自恣之時，有其住處之其他比丘來者，其數甚少。已行自恣者是善行也，〔後來者〕應于彼等之前行自恣，已行自恣者無罪。

（五）

諸比丘！此……彼等已行自恣，眾會未離座時……〔同第四自恣犍度七（四）〕……已行自恣者無罪。諸比丘……于此……彼等已行自恣，部分眾會已離座時……〔同第四　自恣犍度七

（四）〕……已行自恣者無罪。諸比丘！此……彼等已行自恣，一切眾會已離座時……〔同第四　自恣犍度七（四）〕……已行自恣者無罪。」

———無罪十五事品終———

八～一三

〔參照第二　布薩犍度二九～三五〕。

一四

（一）

「諸比丘！于有比丘尼在坐之眾會，不得行自恣，行自恣者墮惡作。諸比丘！于式叉摩那……沙彌……沙彌尼……棄學者……犯極罪者在坐之眾會，不得行自恣，行自恣者墮惡作。

（二）

于不見罪而被舉者在坐之眾會，不得行自恣，行自恣者應依法而斷之。因不懺悔罪而被舉者……因不棄惡見而被舉者在坐之眾會，不得行自恣，行自恣者應依法而斷之。

（三）

于黃門在坐之眾會，不得行自恣，行自恣者墮惡作。賊住者……歸于外道者……畜生……殺母者……殺父者……殺阿羅漢者……污染比丘尼者……破和合僧者……出〔佛身〕血者……二根者在坐之眾會，不得行自恣，行自恣者墮惡作。

（四）

諸比丘！眾會尚未離去時，不得受別住者之自恣而行自恣。諸比丘！若非自恣〔之日〕，不得行自恣，但除僧伽和合時。」

一五

（一）

爾時，于拘薩羅國一住處，自恣之日發生蠻族怖畏，諸比丘無法三語以行自恣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許以再語行自恣。」但蠻族怖畏逾益激烈，比丘無法以再語行自恣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許以一語行自恣。」蠻族怖畏逾益激烈，諸比丘無法以一語行自恣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許住雨安居者齊唱而行自恣。」

（二）

爾時，于一住處，自恣之日眾人供奉布施，至夜更甚。時，彼諸比丘心生思念：「眾人供奉布施，至夜更甚。若僧伽以三語行自恣時，僧伽未自恣已，但夜將已明。我等如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（三）

「諸比丘！于此一住處，自恣之日眾人供奉布施，至夜更甚。若諸比丘于此心生思念：『眾人……夜將明矣。』時，聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！眾人供奉布施，至夜更甚，若僧伽三語行自恣，僧伽自恣未已，但夜將已明。若僧伽機熟者，僧伽應再語、一語，住雨安居者可齊唱以行自恣。』

（四）

諸比丘！于此一住處，自恣之日諸比丘說法。經師結集諸經，持律者決定戒律，宣法者談法，諸比丘爭論，至夜更甚。于此若諸比丘心生思念：『諸比丘爭論，至夜更甚。若僧伽以三語行自恣時，僧伽自恣未已，夜將已明。』聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！諸比丘爭論，至夜更甚，若僧伽以三語行自恣時，僧伽自恣未已，夜將已明。若僧伽機熟者，僧伽應再語、一語，住雨安居者可齊唱行自恣。』」

（五）

爾時，于拘薩羅國一住處，自恣之日大比丘僧團集會，防雨之處少而大雲飛騰。時，彼諸比丘心生思念：「此處大比丘僧團集會，防雨之處少而大雲飛騰。若僧伽以三語行自恣時，僧伽自恣未已，雨將已降。我等應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（六）

「諸比丘！此于一住處，自恣之日大比丘僧團集會，防雨之處少而大雲飛騰。于此若諸比丘心生思念：『此處大比丘僧團……雨將已降。』聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！如此大比丘僧團……雨將已降。若僧伽機熟者，僧伽應再語、一語，住雨安居者可齊唱以行自恣。』

（七）

諸比丘！此于一住處，自恣之日有國王障礙……乃至……盜賊障礙……火障礙……水障礙……人障礙……非人障礙……猛獸障礙……蛇障礙……命障礙……梵行障礙。于此若諸比丘心生思念：『此是梵行之障礙也。若僧伽以三語行自恣時，僧伽自恣未已，梵行障礙將已生。』時，聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽

我言！此是梵行障礙，若僧伽以三語行自恣時，僧伽自恣未已，梵行障礙將已生。若僧伽機熟者，僧伽應再語、一語，住雨安居者可齊唱以行自恣。』」

一六

（一）

爾時，六群比丘有罪而行自恣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！有罪者不得行自恣，行自恣者墮惡作。諸比丘！有罪而行自恣者，得容許〔僧伽〕責難其罪。」

（二）

爾時，六群比丘已蒙乞容許，而不欲與容許。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不欲與容許者，許禁止其自恣。諸比丘！禁止者應如此為之：自恣之日〔即〕十四日或是十五日，彼人現前之時，應于僧伽中言：『諸大德！請聽我言！某甲其人有罪，我禁止其自恣。于彼現前處，不得行自恣。』如此以禁止自恣。」

（三）

爾時，六群比丘念：「善行比丘禁止我等自恣。」先與清淨無罪諸比丘，以無事、無因禁止其自恣，于諸已行自恣者，亦禁止其自恣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！對清淨無罪諸比丘，無事、無因不得禁止其自恣，禁者墮惡作。諸比丘！于諸已行自恣者，亦不得禁止其自恣，禁者墮惡作。

（四）

諸比丘！自恣如此者可禁止，如此者不可禁止。諸比丘！如何不能禁止自恣耶？諸比丘！若以三語說自恣，語盡之時，若禁止自

恣者，自恣不可禁止。諸比丘！若再語……諸比丘！若一語……諸比丘！若住雨安居者以齊唱自恣，語盡之時，若禁止自恣者，自恣不可禁止。諸比丘！如此自恣者，不可禁止也。

（五）

諸比丘！如何自恣可禁止耶？諸比丘！若以三語說自恣，語未盡時，即禁止自恣者，自恣可禁止也。諸比丘！若再語……諸比丘！若一語……諸比丘！若住雨安居者齊唱自恣，語未盡時，即禁止自恣者，自恣可禁止也。諸比丘！如此者，自恣可禁止也。

（六）

諸比丘！此處自恣之日，有比丘禁止〔他〕比丘自恣。若于彼比丘，他比丘等心知：『此具壽身行不淨、語行不淨、命不淨、愚癡、暗昧、受問不能答。』時，即言：『比丘！止！不得訟、諍、爭、論』制止之，僧伽應行自恣。

（七）

諸比丘！于此處自恣之日，有比丘禁止〔他〕比丘自恣。若于彼比丘，其他諸比丘心知：『此具壽身行清淨、語行不淨、命不淨、愚癡、暗昧、受問而不能答。』……應行自恣。

（八）

諸比丘！于此自恣之日，有比丘禁止〔他〕比丘自恣。若于彼比丘，他諸比丘心知：『此具壽身行清淨、語行清淨、命不淨、愚癡、暗昧、受問而不能答。』者……應行自恣。

（九）

諸比丘！于此自恣之日，有比丘禁止〔他〕比丘自恣。若于彼比丘，他諸比丘心知：『此具壽身行清淨、語行清淨、命清淨、愚癡、暗昧、受問而不能答。』時……應行自恣。

（一〇）

諸比丘！于此自恣之日，有比丘禁止〔他〕比丘自恣。若于彼比丘，他諸比丘心知：『此具壽身行清淨、語行清淨、命清淨、賢明、受問即能回答。』時，應言彼曰：『汝禁止此比丘自恣者，是因何而禁之耶？因壞戒而禁止耶？因壞行而禁止耶？因壞見而禁止耶？』

（一一）

若彼言：『我乃因壞戒而禁止之、因壞行而禁止之、因壞見而禁止之。』時，應向彼言：『具壽！汝知壞戒耶？知壞行耶？知壞見耶？』若彼言：『我知壞戒、知壞行、知壞見。』時，應向彼言：『何等為壞戒耶？何等為壞行耶？何等為壞見耶？』

（一二）

若彼言：『四波羅夷與十三僧殘為壞戒，偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作、惡說為壞行，邪見、邊執見為壞見』時，應向彼言：『汝禁止此比丘自恣，是由見而禁止耶？由聞而禁止耶？由疑而禁止耶？』

（一三）

若彼言：『我由見而禁止之、由聞而禁止之、由疑而禁止之。』時，應向彼言：『汝于此比丘，因見而禁止自恣者，汝見者何耶？何為見耶？何時見耶？何處見耶？見犯波羅夷耶？見犯僧殘

耶？見犯偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作、惡說耶？汝在何處耶？此比丘在何處耶？汝為何事耶？此比丘為何事耶？』

（一四）

若彼言：『我于此比丘非因見而禁止其自恣，是因聞而禁止其自恣。』時，應向彼言：『汝于此比丘，由聞而禁止其自恣者，汝聞何耶？何為聞耶？何時聞之耶？何處聞之耶？聞犯波羅夷耶？聞犯僧殘耶？聞犯偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作、惡說耶？由比丘聞耶？由比丘尼聞耶？由式叉摩那聞耶？由沙彌聞耶？由沙彌尼聞耶？由優婆塞聞耶？由優婆夷聞耶？由國王聞耶？由王臣聞耶？由外道聞、由外道之弟子聞耶？』

（一五）

若彼言：『我于此比丘非由聞以禁止其自恣，由疑以禁止其自恣。』時，應向彼言：『汝于此比丘，由疑以禁止自恣者，汝疑何者耶？何為疑耶？何時疑之耶？何處疑之耶？疑犯波羅夷耶？疑犯僧殘耶？疑犯偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作、惡說耶？由比丘聞而疑之耶？……由外道之弟子聞而疑之耶？』

（一六）

若彼言：『我于此比丘，非由疑而禁止其自恣，由何禁止此比丘自恣，我不知也。』諸比丘！若彼詰難比丘，由徵問不適于有智之同梵行者之心者，則言：『被詰難之比丘無過。』應止〔其〕說。

（一七）

諸比丘！若彼詰難比丘，自言以無根波羅夷難之者，于處僧殘後，僧伽應行自恣。諸比丘！若彼詰難比丘，自言以無根之僧殘難

之者，于如法治後，僧伽應行自恣。若彼詰難比丘，自言以無根偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作、惡說難之者，于如法治後，僧伽應行自恣。

（一八）

諸比丘！若彼被詰難之比丘，自言犯波羅夷者，擯滅之後，僧伽應行自恣。諸比丘！若彼被詰難之比丘，自言犯僧殘者，于處僧殘之後，僧伽應行自恣。諸比丘！若彼被詰難之比丘，自言犯偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作、惡說者，于如法治後，僧伽應行自恣。

（一九）

諸比丘！此處有比丘，自恣之日犯偷蘭遮。部分比丘見是偷蘭遮，部分比丘見是僧殘。諸比丘！見為偷蘭遮之諸比丘，伴同彼比丘于一面如法治後，應到僧伽言：『彼比丘之罪，如法除矣。若僧伽機熟者，僧伽應行自恣。』

（二〇）

諸比丘！此處有比丘，自恣之日犯偷蘭遮。部分諸比丘見是偷蘭遮，部分諸比丘見是波逸提；部分諸比丘見是偷蘭遮，部分諸比丘見是波羅提提舍尼；部分諸比丘見是偷蘭遮，部分諸比丘見是惡作；部分諸比丘見是偷蘭遮，部分諸比丘見是惡說。諸比丘！見是偷蘭遮之比丘等，以彼比丘……〔同第四　自恣犍度一六（一九）〕……僧伽應行自恣。

（二一）

諸比丘！此處有比丘，自恣之日犯波逸提……犯波羅提提舍尼……犯惡作……犯惡說；部分諸比丘見是惡說，部分諸比丘見是

僧殘。諸比丘！見是惡說之比丘以彼比丘……〔同第四　自恣犍度一六（一九）〕……僧伽應行自恣。

（二二）

諸比丘！此處有比丘，自恣之日犯惡說。部分諸比丘見是惡說，部分諸比丘見是偷蘭遮；部分諸比丘見是惡說，部分諸比丘見是波逸提；部分諸比丘見是惡說，部分諸比丘見是波羅提提舍尼；部分諸比丘見是惡說，部分諸比丘見是惡作。諸比丘！見是惡說之比丘等，以彼比丘……〔同第四　自恣犍一六（一九）〕……僧伽應行自恣。

（二三）

諸比丘！此處有比丘，自恣之日于僧伽中言：『諸大德！請聽我言！見有如此事，但不見其人。若僧伽機熟者，除事之後，僧伽應行自恣。』應言彼曰：『世尊規定唯清淨者可行自恣，若見事不見人者，立即語此〔事〕。』

（二四）

諸比丘！此處有比丘，自恣之日于僧伽中言：『諸大德！請聽我言！見有如此人，但不見其事。若僧伽機熟者，除人之後，僧伽應行自恣。』應言彼曰：『世尊規定應和合以行自恣，若見人不見事者，立即語此〔人〕。』

（二五）

諸比丘！此處有比丘，自恣之日于僧伽中言：『諸大德！請聽我言！見有如此事與人。若僧伽機熟者，除事與人之後，僧伽應行自恣。』應言彼曰：『世尊規定應清淨和合以行自恣，若知事與人者，立即語此〔事與人〕。』

（二六）

諸比丘！若于自恣之前見事，之後見人而語者善。諸比丘！若自恣之前見人，之後見事而語者善。諸比丘！若自恣之前，見事與人，行自恣之後，若發起之者，發起波逸提也。」

一七

（一）

爾時，有多數同見相親諸比丘，于拘薩羅國一住處入雨安居。于彼等鄰近有其他諸比丘，常訴訟、鬥諍、爭論、談論，于僧伽行諍事，彼等〔亦〕入雨安居，〔思：〕「我等于彼比丘等住雨安居而行自恣時，禁止其自恣。」彼比丘等聞之：「我等鄰近有他諸比丘常訴訟……行諍事，彼等〔亦〕入雨安居，〔思：〕『我等……禁止……。』我等應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！此處有多數同見相親諸比丘，于一住處入雨安居。彼等鄰近有他諸比丘，常訴訟……行諍事，彼等〔亦〕入雨安居，〔思：〕『我等……禁止……。』諸比丘！許彼諸比丘于十四日，行二或三布薩。以是，應于〔他〕諸比丘之前行自恣。諸比丘！若彼常訴訟……行諍事之諸比丘，到其住處者，其住處比丘等應速集會而行自恣，行自恣後，應言：『我等已行自恣，諸具壽隨意行之。』

（三）

諸比丘！若彼常訴訟……行諍事之諸比丘，不意〔忽然〕到彼住處者，諸比丘！其住處比丘等設牀座，備洗足水、足台、足布，

迎取衣、鉢，問〔欲〕水否，應對招呼彼等後，往境界外以行自恣。行自恣後應言：『我等已行自恣，諸具壽可隨意為之。』

（四）

若如此，得者善；若不得者，其住處聰明賢能比丘應告其住處諸比丘曰：『此住處諸具壽！請聽我言！若具壽等機熟者，今行布薩，誦波羅提木叉，于次新月行自恣。』諸比丘！若彼常訴訟……行諍事比丘等，向彼諸比丘言：『善哉！今與我等行自恣』者，彼等應言：『汝等非我等自恣之主，我等尚未行自恣。』

（五）

諸比丘！若彼常訴訟……行諍事之諸比丘共住至新月時，諸比丘！其住處聰明賢能比丘應告其住處諸比丘曰：『此住處諸具壽！請聽我言！……誦……，于次滿月行自恣。』諸比丘！若彼常訴訟……行諍事之諸比丘向彼諸比丘言：『善哉！今與我等行自恣。』時，應告彼等曰：『汝等非我等自恣主，我等尚未行自恣。』

（六）

諸比丘！若彼常訴訟……行諍事之諸比丘共住至其滿月，諸比丘！彼一切比丘雖不欲者，于次滿月，〔即〕于迦剌底迦月之滿月行自恣。

（七）

諸比丘！若彼諸比丘行自恣時，病者禁止無病者自恣，則應言彼曰：『具壽！有病者，世尊說病者不堪受問。且待病癒，病癒之後，若欲者，可詰難之。』若如此說，彼猶詰難者，不恭敬波逸提也。

（八）

諸比丘！若彼諸比丘行自恣時，無病者禁止病者自恣，則應言彼曰：『此比丘乃病者也，世尊說病者不堪受問。且待此比丘病癒，病癒之後，若欲者可詰難之。』若如此說，彼猶詰難者，不恭敬波逸提也。

（九）

諸比丘！若彼諸比丘行自恣時，病者禁止病者自恣，則應言彼等曰：『諸具壽病者也，世尊說病者不堪受問。汝等且待病癒，病癒之後，若欲者可詰難之。』若如此說，彼猶詰難者，不恭敬波逸提也。

（一〇）

諸比丘！若彼諸比丘行自恣時，無病者禁止無病者自恣，僧伽糾問兩者，如法治理後，即應行自恣。」

一八

（一）

爾時，有多數同見相親諸比丘，于拘薩羅國一住處入雨安居。彼等和合、歡喜、無爭，得精舍安樂而住。時，彼諸比丘心生思念：「我等和合……得精舍……。若我等今行自恣，而諸比丘于自恣已，出而遊行，若是則我等將失此安樂精舍。我等應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！此處有多數同見相親諸比丘，于一住處入雨安居。彼等和合……得精舍……。若彼諸比丘于此心生思念：『我等和合……』若失時，諸比丘！許彼諸比丘行自恣攝取。

（三）

諸比丘！行此者，應如此為之：一切人應于一處集會。集會之後，聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！我等和合、歡喜、無爭，得精舍安樂而住。若我等今行自恣，諸比丘于自恣已而出遊行，若是則我等將失此安樂精舍。若僧伽機熟者，僧伽應行自恣攝取。今行布薩，誦波羅提木叉，于次迦剌底迦月之滿月，僧伽應行自恣。此乃表白。

（四）

諸大德！請聽我言！我等和合……將失……。僧伽行自恣攝取。今行布薩，誦波羅提木叉，于次迦剌底迦月之滿月，以行自恣。諸大德！行自恣攝取。今行布薩，誦波羅提木叉，于次迦剌底迦月之滿月，以行自恣。具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽行自恣攝取。今行布薩，誦波羅提木叉，次迦剌底迦月之滿月以行自恣。具壽聽故默然，我如是了知。』

（五）

諸比丘！行自恣攝取時，若有一比丘言：『我欲往外地遊行，我于外地有事』者，應言彼曰：『善！自恣已可往。』諸比丘！若彼比丘行自恣時，禁〔他〕一比丘行自恣者，應言彼曰：『汝非我自恣主，我尚未行自恣。』諸比丘！若彼比丘行自恣時，有一比丘禁止彼比丘自恣者，僧伽應糾問兩人，如法治理。

（六）

諸比丘！若彼比丘外地行事已，于迦刺底迦月之滿月前還彼住處。諸比丘！若諸比丘行自恣時，有一比丘禁止彼比丘自恣者，應言彼曰：『汝非我自恣之主，我已行自恣矣。』諸比丘！若諸比丘行自恣時，彼比丘禁止隨一比丘自恣，僧伽應糾問兩人，如法治理後，僧伽應行自恣。」

此犍度有四十六事。攝頌曰：

于拘薩羅國　入住雨安居
以往見世尊　乃及非安樂
與畜獸共住　行自恣・牀座
自恣日之二　自恣之羯磨
病比丘・親族　王・盜賊・惡人
及怨敵比丘　五人・與四人
三人與二人　一人及犯罪
疑・有罪憶念　一切之僧伽
以疑・多・等・少　其住處比丘
十四日・標識　二種共住者
應往不應往　尼等坐眾會
與欲假・自恣　蠻族・夜更・雲
障礙及自恣　不與・我等先
不可以禁止　比丘依何禁
何者為壞戒　壞行・壞見耶
乃于見聞疑　詰難之比丘
被詰難比丘　偷蘭遮・事・訟
自恣之攝取　非自恣之主

第五　皮革犍度

一

（一）

爾時，世尊在王舍城耆闍崛山。爾時，摩竭國洗尼瓶沙王乃八萬村邑主之王。其時，于瞻波城名首樓那二十億長者子，生來手腳柔軟于足下生毛。時，摩竭國洗尼瓶沙王令集會彼八萬村邑首長時，有一事而遣使至首樓那二十億處曰：「首樓那！令來！我欲首樓那來。」

（二）

時，首樓那二十億父母言首樓那二十億曰：「首樓那！王欲見汝足。首樓那！勿伸足于王在方向，于王之前應結跏趺坐，坐時王可見汝足。」時，彼等令首樓那二十億乘轎而伴隨之。時，首樓那二十億到摩竭國洗尼瓶沙王處，到而敬禮摩竭國洗尼瓶沙王，于王之前結跏趺坐，摩竭國洗尼瓶沙王見首樓那二十億足下生毛。

（三）

時，摩竭國洗尼瓶沙王對彼八萬村邑首長，于現法義教誡後，勸導而言：「我對汝等行現法義教誡矣，汝等往恭敬禮拜世尊！彼世尊將以來世義行教誡。」時，彼八萬村邑首長往耆闍崛山。

（四）

爾時，具壽娑竭陀為世尊侍者。時，彼八萬村邑首長到具壽娑竭陀處，到而言具壽娑竭陀曰：「此等八萬村邑首長為見世尊來到

此處，我等心願得見世尊。」「來！諸具壽！汝等于此處待須臾，我往白世尊。」

（五）

時，具壽娑竭陀于彼八萬村邑首長眼前，沒于踏石之處，現于世尊前，白世尊言：「此等八萬村邑首長為見世尊來到此處，世尊知是時否？」「娑竭陀！然！即設座于精舍之後。」

（六）

「唯！唯！」具壽娑竭陀應諾世尊，乃持小牀，沒于世尊之前，現于彼八萬村邑首長眼前踏石處，設座于精舍之後。時，世尊從精舍出，坐于精舍後所設座上。

（七）

時，彼八萬村邑首長詣世尊住處，詣而敬禮世尊，坐于一面。時，彼八萬村邑首長唯尊崇具壽娑竭陀而不如此尊崇世尊。時，世尊心知彼八萬村邑首長心所思量，而告具壽娑竭陀曰：「娑竭陀！顯種種上人法神通、神變。」「唯！唯！」具壽娑竭陀應諾世尊，騰于空中，于虛空或經行、或止、或坐、或臥、或出烟、出焰或隱沒。

（八）

時，具壽娑竭陀于虛空顯示種種上人法神通、神變後，以頭面禮世尊足，白世尊言：「世尊是我師，我是聲聞。世尊是我師，我是聲聞。」時，彼八萬村邑首長〔心生思念：〕「希有哉！未曾有哉！聲聞尚且有如此大神通、大威力，何況師耶？」彼等唯尊崇世尊，不如此尊崇具壽娑竭陀。

（九）

時，世尊心知彼八萬村邑首長心所思量，次第說教，〔謂：〕施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、出離雜染功德。世尊知彼等生堪任心、柔軟心、離障心、歡喜心、明淨心，說諸佛本真教法〔謂：〕苦、集、滅、道。譬如清淨無緇斑衣正受染色，如此彼八萬村邑首長，亦于其座遠塵離垢得法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

（一〇）

彼等已見法、得法、知法、入于法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊言：「妙哉！妙哉！譬如扶起倒者，如揭露覆者，為迷者說道，于暗中揭舉燈明，有眼者見色！如此，世尊亦以種種方便說法。我等歸依世尊與法及比丘眾。世尊！容我等從今日起至命終止，歸依為優婆塞。」

（一一）

時，首樓那二十億心生思念：「我知世尊所說之法，在家而行一向圓滿、一向清淨、純白之梵行不易也。我當由家而出，出家剃除鬚髮，著袈裟衣。」時彼八萬村邑首長，歡喜、隨喜世尊所說，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。

（一二）

時，首樓那二十億于彼八萬村邑首長離去未久，詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。于一面坐，首樓那二十億白世尊言：「知世尊所說之法……行……梵行不易也。我欲由家而出，出家剃除鬚髮，著袈裟衣。世尊許我出家！」首樓那二十億得于世尊之處出家，得具足戒。受具足戒未久，具壽首樓那住于尸陀林。

（一三）

彼精進勉力過甚，經行而足傷，血塗經行處，猶如屠牛場。時，具壽首樓那靜居宴默，心生思念：「世尊有聲聞，力行精進而住者，我乃其中一人，而我未離執著，無出諸漏心解脫。我家有財寶，我可娛樂財寶而享福。我當還俗，娛樂財寶，而得享福。」

（一四）

時，世尊心知具壽首樓那心所思惟。譬如力士伸其屈腕、屈其伸腕，彼亦如此〔迅〕沒于耆闍崛山，現于尸陀林。時，世尊與眾多諸比丘，俱巡迴臥處、座處，到具壽首樓那經行處。世尊見具壽首樓那經行處塗血，見而告諸比丘曰：「諸比丘！此誰之經行處耶？塗血猶如屠牛場。」「具壽首樓那精進過于勤勉，經行而足傷。故彼經行處塗血，猶如屠牛場。」

（一五）

時，世尊到具壽首樓那精舍，到而坐于所設座上。具壽首樓那敬禮世尊，坐于一面。時，世尊向一面坐之具壽首樓那曰：「首樓那！汝靜居宴默時，心生思念：『為世尊聲聞……可以作福。』」「然！」「首樓那！汝于意如何？汝在家時，善調琴絃否？」「然！」「首樓那！汝于意如何？若汝調琴絃過急者，汝之琴聲其時善堪任否？」「否！」

（一六）

「首樓那！汝于意如何？若汝琴絃過于緩者，汝之琴聲其時善堪任否？」「否！」「首樓那！汝于意如何？若汝之琴絃不過急，不過緩，平均之時，汝之琴聲其時善堪任否？」「堪！」「首樓那！如此精進，過于勤勉者，即至掉舉；精進過少者，即至懈怠。

（一七）

首樓那！故汝精進攝持平等，諸根平等通達，請于是處取相。」「唯！唯！」具壽首樓那應諾世尊。時，世尊以此教誡具壽首樓那，教誡之後，譬如力士伸其屈腕、屈其伸腕，亦復如此〔迅〕沒于尸陀林具壽首樓那之前，而現于耆闍崛山。

（一八）

時，具壽首樓那自後于精進攝持平等，諸根平等通達，于是處取相。時，彼具壽首樓那獨住遠離，不放逸、力行，而心住精進，不久彼于現法究竟無上梵行自證知、現證、具足而住，證知「此生已盡、梵行已立、所作已辦、不受後有。」具壽首樓那成為阿羅漢之一。此，諸善男子正行自家出家之本懷也。

（一九）

時，具壽首樓那得阿羅漢，如此心生思念：「我當于世尊處，作自記別。」時，具壽首樓那詣世尊住處。詣已敬禮世尊，坐于一面。于一面坐，具壽首樓那白世尊言：

（二〇）

「比丘若成阿羅漢，諸漏〔已〕盡，〔梵行〕已立，所作已辦，捨棄重擔，逮得己利，斷除有結，正知解脫者，即信解六處，〔謂：〕信解出離，信解寂靜，信解不瞋恚，信解取〔蘊〕盡，信解渴愛盡，信解無癡。

（二一）

或有具壽心生思念：『此具壽依唯信，而信解出離。』不應作如是觀。漏盡比丘，〔梵行〕已立、所作已辦，凡己所作，已作聚

集盡皆不見。依滅盡以離貪故信解出離，依滅盡以離瞋故信解出離，依滅盡以離癡故信解出離。

（二二）

或有具壽心生思念：『此具壽欲以利養、恭敬、名聞而信解寂靜。』不應作如是觀……依滅盡以離貪故信解寂靜，依滅盡以離瞋故信解寂靜，依滅盡以離癡故信解寂靜。

（二三）

世尊！或有具壽心生思念：『此具壽實為戒禁取，歸此而信解不瞋恚。』不應作如是觀……依滅盡以離貪故信解不瞋恚，依滅盡以離瞋故信解不瞋恚，依滅盡以離癡故信解不瞋恚。

（二四）

依滅盡離貪故信解取〔蘊〕盡，依滅盡離瞋故信解取〔蘊〕盡，依滅盡離癡故信解取〔蘊〕盡。依滅盡離貪故信解渴愛盡，依滅盡離瞋故信解渴愛盡，依滅盡離癡故信解渴愛盡。依滅盡離貪故信解無癡，依滅盡離瞋故信解無癡，依滅盡離癡故信解無癡。

（二五）

如此正心解脫比丘，若眾多眼所識色，顯現于眼，其心亦不攝取，其心不雜而得安住不動，以觀滅盡。若眾多耳所識聲，鼻所識香，舌所識味，身所識觸，意所識法，顯現于〔耳乃至于〕意，其心亦不攝取，其心不雜而得安住不動，以觀滅盡。

（二六）

譬如石山不穿、無孔，成為一團。若從東方大風雨來亦不震不動不搖，從西方……乃至……北方……乃至……南方……不搖。如此于正心解脫比丘，若眾多眼所識色……意所識法，現于〔眼乃至于〕意，其心亦……不動，以觀滅盡。」

（二七）

信解心出離　乃至心寂靜
信解不瞋恚　取蘊之滅盡
信解心無癡　渴愛之滅盡
雖見處生起　但心正解脫
已得正解脫　心寂靜比丘
無已作聚集　亦無有所作
譬如一石山　不為風所動
聲・香・味與觸　如此一切色
不搖如是人　可愛非可愛
以觀其滅盡　心安立解脫

（二八）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！善男子如此作自記別，說義而不顯自我。于此但有一類愚人，嬉戲作自記別，彼等日後將受損壞。」

（二九）

時，世尊告具壽首樓那曰：「首樓那！汝乃柔軟。首樓那！許汝一重履。」「我捨棄八十車量金錠與七象扈從，由家出家。有言我者：『首樓那二十億捨棄八十車量金錠與七象扈從，由家出家，彼今竟貪一重履。』

（三〇）

若世尊許比丘眾，則我亦用；若世尊不許比丘眾，我亦不用。」時，世尊依此因緣而說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許一重履。諸比丘！不得著二重履、不得著三重履、不得著數重履，著者墮惡作。」

二

（一）

爾時，六群比丘著全青履……乃至……著全黃履……著全赤履……著全茜履……著全黑履……著全紅藍色履……著全落葉色履。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著全青履，不得著全黃履……不得著全落葉色履，著者墮惡作。」

（二）

爾時，六群比丘著青緣履……著黃緣履……著赤緣履……著茜緣履……著黑緣履……著紅藍緣履……著落葉色緣履。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著青緣履……不得著落葉色緣履，著者墮惡作。」

（三）

爾時，六群比丘著覆踵履，著覆腳履，著覆上腳履，著全滿綿履，著沙若雞翼履，著羊角作履，著山羊角作尖履，著蝎尾飾履，著孔雀羽飾履，著彩色履。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著覆踵履……不得著彩色履，著者墮惡作。」

（四）

爾時，六群比丘著獅子皮飾履、著虎皮飾履、著豹皮飾履、著羚羊皮飾履，著獺皮飾履、著貓皮飾履、著栗鼠皮飾履、著梟皮飾履。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著獅子皮飾履……不得著梟皮飾履，著者墮惡作。」

三

（一）

時，世尊于早晨時，著下裳，持衣、鉢，為乞食入王舍城，與為隨從沙門一比丘俱。時，彼比丘跛行隨世尊後。時，有一優婆塞著數重履，見世尊從遠處來。見之脫履，詣世尊處。詣已，敬禮世尊後，至彼比丘處，至而敬禮彼比丘言：

（二）

「如何尊者跛足耶？」「我足受傷。」「請著履！」「止！世尊禁著數重履。」〔世尊曰：〕「比丘！且受其履！」時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許被棄之數重履。諸比丘！不得著新作數重履，著者墮惡作。」

四

（一）

爾時，世尊于露地不著履經行。諸長老比丘知：「師不著履經行。」故亦不著履經行。師不著履經行，長老比丘亦不著履經行，而六群比丘著履經行。少欲諸比丘忿怒、非難：「師不著履經行，長老比丘亦不著履經行，為何六群比丘著履經行耶？」

（二）

時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！師……經行，六群比丘著履經行，真實耶？」「世尊！真實也。」佛世尊呵責：「諸比丘！師……經行，如何彼諸愚人著履經行耶？諸比丘！彼白衣在家人為工巧活命故，尚且尊重、恭敬、和順而住。

（三）

諸比丘！若汝等如此于所善說法、律出家，于阿闍梨、阿闍梨等人；和尚、和尚等人，如不尊重、恭敬、和順而住，此未可也。諸比丘！如此者，使未信者不信……乃至……」……呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！阿闍梨、阿闍梨等人；和尚、和尚等人，不著履經行時，不得著履經行，著經行者墮惡作。諸比丘！于園內不得著履，著者墮惡作。」

五

（一）

爾時，有一比丘患足胼胝病。〔餘諸比丘〕挽扶此比丘往大小便。世尊巡迴臥處、座處時，見彼諸比丘挽扶此比丘往大小便，見而至彼諸比丘住處。至而言彼諸比丘曰：

（二）

「諸比丘！此比丘患何病耶？」「此具壽患足胼胝，我等挽扶彼往大小便。」時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！足痛、足傷，或患足胼胝病者，許著履。」

六

（一）

爾時，諸比丘不洗足而上牀、上小牀，污衣與臥具牀座。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！當汝思念：『我將上牀或小牀』時，即許著履。」

（二）

爾時，諸比丘夜分往布薩堂、集會場，于闇中足踏樹株、荊棘而痛。彼等以此事白世尊，世尊曰：「諸比丘！于園內許著履，持炬火、燈明與杖。」

（三）

爾時，六群比丘夜分凌晨起身，穿木履于露地經行，出高聲、大聲、喧騷聲，說種種野論，〔謂：〕王論、盜賊論、大臣論、軍論、怖畏論、戰爭論、食論、飲論、衣服論、臥具論、華鬘論、香論、親族論、車乘論、村里論、聚落論、都城論、地方論、女人論、勇士論、街路論、池邊論、亡靈論、異論、世間譚、海譚、有、無如是譚論。如此彼等踏殺蟲類，且亂諸比丘禪定。

（四）

少欲諸比丘忿怒、非難：「如何六群比丘夜分凌晨起身，穿木履于露地經行，出高聲……踏殺蟲類，且亂諸比丘禪定耶？」時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘夜分凌晨起身，穿木履于露地經行出高聲……踏殺蟲類，且亂諸比丘禪定，真實否？」「世尊！真實也。」……乃至……呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得著木履，著者墮惡作。」

七

（一）

爾時，世尊于隨意間住王舍城後，向波羅榇遊行，次第遊行到波羅榇。時，世尊住波羅榇仙人墮處鹿野苑。爾時，世尊已禁木履，六群比丘乃折多羅幼樹，著多羅葉履，彼多羅幼樹被折而枯。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子折多羅幼樹，著多羅葉履耶？彼多羅幼樹被折而枯，諸沙門釋子害一根命也。」

（二）

諸比丘聞彼眾人忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘折多羅幼樹，著多羅葉履，彼多羅幼樹被折而枯，真實否？」「世尊！真實也。」佛世尊呵責：「諸比丘！如何彼諸愚人折多羅幼樹，著多羅葉履耶？多羅幼樹被折而枯。諸比丘！眾人思惟樹有生命。諸比丘！如此即令未信者不信……」……呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得著多羅葉履，著者墮惡作。」

（三）

爾時，世尊禁著多羅葉履，六群比丘乃折幼竹，著竹葉履……〔參照第五皮革犍度七（一）～（二）〕……「諸比丘！不得著竹葉履，著者墮惡作。」

八

（一）

爾時，世尊于隨意間住波羅榇後，向跋提遊行，次第遊行到跋提。時，世尊住跋提勝葉林。爾時，跋提諸比丘為莊嚴故，慣用種種履而住，〔謂：〕作草履，令他作；作門叉（munja）草履，令他作；作波羅波草履，令他作；作漢陀羅草履，令他作；作迦摩羅

草履，令他作；作褐履，令他作。捨棄教示、質問、增上戒、增上心、增上慧。

（二）

少欲諸比丘忿怒、非難：「如何跋提諸比丘為莊嚴故，慣用種種履而住，〔謂：〕作草履，令他作……捨棄教示、質問、增上戒、增上心、增上慧耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！跋提諸比丘為莊嚴故，慣用種種履而住，〔謂：〕作草履，令他作……乃至……捨棄教示……增上慧，真實否？」「世尊！真實也。」佛世尊呵責：「諸比丘！如何彼諸比丘為莊嚴故，慣用種種履而住，〔謂：〕作草履，令他作……乃至……捨棄教示、質問、增上戒、增上心、增上慧耶？諸比丘！如此即令未信者不信……。」

（三）

呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得著草履、不得著門叉草履、不得著波羅波草履、不得著漢陀羅草履、不得著迦摩羅草履、不得著毛履、不得著金所成履、不得著銀所成履、不得著摩尼所成履、不得著琉璃所成履、不得著水晶所成履、不得著鍮所成履、不得著鍮石所成履、不得著錫所成履、不得著鉛所成履、不得著銅鐵所成履，著者墮惡作。諸比丘！不得著可互用之履，著者墮惡作。諸比丘！許固定而不可互用三種履，〔謂〕：大便所之履、小便所之履、灑水所之履也。」

九

（一）

爾時，世尊于隨意間住跋提後，向舍衛城遊行，次第遊行至舍衛城。爾時，世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。爾時，六群比丘渡阿夷跋提河，捉牝牛角、捉耳、捉頸、捉垂肉、乘背，以染心而觸生支，沈殺牝犢。

（二）

眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子渡河捉牝牛角……乃至……殺牝犢，猶如享諸欲樂諸在家人耶？」諸比丘聞彼眾人之忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……真實否？」「世尊！真實也。」……

（三）

呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得捉牝牛角、不得捉耳、不得捉頸、不得捉垂肉、不得乘背，乘者墮惡作。諸比丘！不得以染心而觸生支，觸者墮偷蘭遮；不得殺牝犢，殺者應如法治之。」

（四）

爾時，六群比丘乘車而往，或牽牝牛，男子御之；或牽牡牛，女人御之。眾人忿怒、非難：「猶恒河摩企河〔歡戲祭〕然。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得乘車而往，乘往者墮惡作。」

一〇

（一）

爾時，有一比丘于拘薩羅國往舍衛城見世尊，途中生病。時，彼比丘離開道路，于一樹下坐。眾人見彼比丘言：「往何處耶？」

「我往舍衛城拜見世尊。」

（二）

「我等俱往。」「我不能，我生病。」「請乘車乘。」「止！世尊禁乘車。」疑惑而不敢乘車乘。時，彼比丘至舍衛城，以此事告諸比丘。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病者許乘車乘。」

（三）

時，諸比丘心生思念：「牝牛曳〔車〕耶？牡牛曳〔車〕耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許牡牛曳車、手挽車。」爾時，有一比丘因車乘搖動故而苦惱。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許乘輿轎。」

（四）

爾時，六群比丘用高廣大牀，〔謂：〕超大牀、獸像腳台臥椅、長山羊毛覆、文彩覆、白氈覆、繡花覆、滿綿覆、虎師像繡覆、毛面氈覆、毛裏氈覆、寶石綢覆、寶石絹覆、十六舞女舞蹈式覆、象覆、馬覆、車覆、羚羊皮覆、殊勝羚羊皮覆、天蓋、兩頭各具赤枕大牀。眾人巡迴精舍，見而忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（五）

「諸比丘！不得用高廣大牀，〔謂：〕超大牀、獸像腳台臥椅、長山羊毛覆、文彩覆、白氈覆、繡花覆、滿綿覆、虎師像繡覆、毛面氈覆、毛裏氈覆、寶石綢覆、寶石絹覆、十六舞女舞蹈式覆、象覆、馬覆、車覆、羚羊皮覆、殊勝羚羊皮覆、天蓋、兩頭各具赤枕大牀，用者墮惡作。」

（六）

爾時，世尊禁用高廣大牀，六群比丘乃用大獸皮，〔謂：〕獅子皮、虎皮、豹皮也。此等依牀尺度裁製，依小牀尺度裁製，敷于牀內側，敷于牀外側，敷于小牀內側，敷于小牀外側。眾人巡迴精舍，見而忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得用大獸皮，〔謂：〕獅子皮、虎皮、豹皮，用者墮惡作。」

（七）

爾時，世尊禁用大獸皮，六群比丘乃用牛皮，此等依牀尺度裁製……敷小牀外側。有一惡比丘與一惡優婆塞親交。時，彼惡比丘于早晨著下裳，持衣、鉢，至彼惡優婆塞家，至而坐于所設座上。時，彼惡優婆塞至彼惡比丘處，至而敬禮彼惡比丘，坐于一面。

（八）

時，彼惡優婆塞有犢，幼麗、美妙，有彩如豹子。時，彼惡比丘一心凝視其犢。時，彼惡優婆塞言彼惡比丘曰：「如何一心凝視此犢耶？」「我欲此犢皮。」時，彼惡優婆塞殺彼犢，剝皮與彼惡比丘。時，彼惡比丘以僧伽梨衣覆其皮而去。

（九）

時，彼牝牛惜念其犢，隨彼惡比丘後。諸比丘言：「如何此牝牛隨汝後耶？」「我亦不知此牝牛何故隨我後也。」其時，彼惡比丘僧伽梨衣塗血。諸比丘言：「汝如何用此僧伽梨衣耶？」時，彼惡比丘以此事告比丘等。「汝令行殺生耶？」「然！」少欲諸比丘忿怒、非難：「如何比丘令行殺生耶？世尊豈非以無數方便呵責殺生，讚歎不殺生耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。

（一〇）

時，世尊由此因緣，于此時機，令集會比丘眾，問彼惡比丘：「比丘！汝令行殺生，真實否？」「世尊！真實也。」「愚人！如何汝令行殺生耶？愚人！我豈非以無數方便呵責殺生，讚歎不殺生耶？愚人！如此，即令未信者不信……。」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得令行殺生，令行者應如法治之。諸比丘！不得用牛皮，用者墮惡作。諸比丘！不得用任何獸皮，用者墮惡作。」

一一

（一）

爾時，眾人以獸皮覆蓋，以獸皮包卷牀與小牀，比丘等疑惑不敢坐。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！在家人所作者許坐但不得臥。」爾時，精舍以皮結紐，諸比丘疑慮不敢坐。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若唯〔皮〕紐者許坐。」

一二

（一）

爾時，六群比丘著履入村邑。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著履入村邑，入者墮惡作。」爾時，有一比丘生病，彼不著履，不能入村邑。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許病比丘著履入村邑。」

一三

（一）

爾時，具壽摩訶迦旃延在阿槃提國拘留歡喜山曲中。爾時，優婆塞首樓那億耳為具壽摩訶迦旃延侍者。時，優婆塞首樓那億耳至具壽摩訶迦旃延住處，至而敬禮具壽摩訶迦旃延，于一面坐。坐于一面已，優婆塞首樓那億耳言具壽摩訶迦旃延曰：「我知摩訶迦旃延所說之法。住家不易行一向圓滿、一向清淨、純白梵行。我欲由家出家，剃除鬚髮，著袈裟衣。摩訶迦旃延！令我出家！」

（二）

「首樓那！乃至命終行一臥、一食梵行甚難也。首樓那！汝于是處作在家人，但以時節修諸佛所教一臥、一食梵行可耳！」時，優婆塞首樓那億耳出家志願經止滅。但優婆塞首樓那億耳二次……優婆塞首樓那億耳乃至三次至具壽摩訶迦旃延住處……「摩訶迦旃延！令我出家！」時，具壽摩訶迦旃延令優婆塞首樓那億耳出家。爾時，阿槃提與南路比丘甚少。時，具壽摩訶迦旃延經三年艱難辛苦，由諸處令一群十比丘集會，授具壽首樓那具足戒。

（三）

時，具壽首樓那住雨安居已，靜居宴默時心生思念：「我如是如是唯聞世尊，而未至現前拜見。若和尚允許，我願往拜見彼世尊、應供、等正覺。」時，具壽首樓那于傍晚時從宴默起，至具壽摩訶迦旃延住處。至而敬禮具壽摩訶迦旃延，坐于一面。于一面坐已，具壽首樓那言具壽摩訶迦旃延，曰：

（四）

「我于此處靜居宴默，心生思念：『我如是如是唯聞世尊而未至現前拜見。若和尚允許，我願往拜見彼世尊、應供、等正覺。』故若和尚允許，我願往拜見彼世尊、應供、等正覺。」「首樓那！善哉！善哉！首樓那！汝往拜見彼世尊、應供、等正覺。

（五）

首樓那！汝應拜見世尊，彼殊妙歡喜、根寂靜、意寂靜、得最上調伏寂靜，已調、已護、增益制御諸根之龍象。首樓那！汝以我名頭面禮世尊足，言：『我和尚是具壽摩訶迦旃延，頭面禮拜世尊足。』更言：『阿槃提與南路比丘甚少，經三年艱難辛苦由諸處令一群十比丘集會，得具足戒。願世尊許于阿槃提與南路，以少數眾授具足戒。

（六）

于阿槃提與南路，地面因黑牛蹄踐踏而堅硬，願世尊許于阿槃提與南路著數重履。于阿槃提與南路，人人尊重沐浴，以水淨之，願世尊許于阿槃提與南路屢屢沐浴。于阿槃提與南路以獸皮為敷具：羊皮、山羊皮、鹿皮是也。猶于中國伊羅具、摩羅具、摩奢如、氈陀，如此于阿槃提與南路亦以獸皮為敷具，〔即：〕羊皮、山羊皮、鹿皮是也。故願世尊許于阿槃提與南路以獸皮為敷具，〔即：〕羊皮、山羊皮、鹿皮是也。』

（七）

今眾人施衣與已往境界外之諸比丘，言：『此衣與某甲。』彼等還時，言：『某甲與汝衣。』彼等以墮尼薩耆，疑慮而不受。願世尊說衣法。」「唯！唯！」具壽首樓那應諾具壽摩訶迦旃延已，從座而起，敬禮具壽摩訶迦旃延，右繞而去。收納臥具牀座，攜持衣、鉢，向舍衛城而去。

（八）

次第詣舍衛國祇樹給孤獨園世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。時，世尊告具壽阿難曰：「阿難！為此客比丘設臥具牀座！」

時，具壽阿難心知：「世尊命我曰：『阿難！為此客比丘設臥具牀座。』世尊欲與此比丘俱住一精舍，世尊欲與具壽首樓那俱住一精舍。」乃于世尊所住精舍為具壽首樓那設臥具牀座。

（九）

時，世尊于露處過夜之多分後，而入精舍。具壽首樓那亦于露處過夜之多分後，而入精舍。時，世尊夜分凌晨起身，訪具壽首樓那曰：「比丘！應誦法，應辨法！」「唯！唯！」具壽首樓那應諾世尊，唱誦全八部品。時，具壽首樓那唱誦已，世尊甚為歡喜：「比丘！善哉！善哉！比丘！汝善受持八部品、善作意、善思惟。汝音聲具足善美、分明、清亮而能述其義。比丘！汝幾臘耶？」「世尊！我一臘也。」

（一〇）

「比丘！汝如何如此遲緩耶？」「我見諸欲過患已久，但家事繁多，多應作，多事務也。」時，世尊了知此義，即于此時唱此頌曰：

見世間過患
無著了知法
聖者不欣惡
清淨者樂教

（一一）

時，具壽首樓那心知：「世尊悅我，現在乃〔白〕我師所說時機。」從座而起，偏袒上衣，以頭面禮拜世尊足，白世尊言：「我和尚具壽摩訶迦旃延言禮世尊足，曰：『阿槃提與南路……請說衣法。』」時，世尊依此因緣，于此時機說法，告諸比丘曰：「諸比

丘！于阿槃提與南路比丘甚少，諸比丘！許于如此邊地集持律五人眾，以授具足戒。

（一二）

此中邊地如此：東方有名加將伽羅聚落，其外有摩訶沙羅，從此以外為邊地，從此以內為中國。東南有名薩拉瓦提河，從此以外為邊地，從此以內為中國。南方有名世達康名尼加聚落，從此以外為邊地，從此以內為中國。西方有名陀那之婆羅門村，從此以外為邊地，從此以內為中國。北方有名宇尸羅達奢山，從此以外為邊地，從此以內為中國。諸比丘！許于如此邊地集持律五人眾，以授具足戒。

（一三）

諸比丘！于阿槃提與南路地面，為黑色牛蹄所踏而堅硬，諸比丘！許于一切邊地著數重履。諸比丘！于阿槃提與南路，人人尊重沐浴，以水淨之，諸比丘！許于一切邊地屢屢沐浴。諸比丘！于阿槃提與南路以獸皮為敷具〔謂：〕羊皮、山羊皮、鹿皮是也。諸比丘！猶如于中國伊羅具、摩羅具、摩奢如、氈陀，如此于阿槃提與南路亦以獸皮為敷具〔謂：〕羊皮、山羊皮、鹿皮是也。諸比丘！許于阿槃提與南路以獸皮為敷具〔謂：〕羊皮、山羊皮、鹿皮是也。諸比丘！于此處眾人施衣與已往境界外比丘，言：『此衣與某甲。』諸比丘！許受納。尚未入手期間不入〔日〕數也。」

此犍度有六十三事。攝頌曰：

摩竭國之王　以及首樓那
及八萬之主　具壽娑竭陀
于耆闍崛山　多示上人法
出家及精勤　足傷・琴・一重
青・黃・赤・茜・黑　紅藍・落葉色

禁緣・覆踵履　覆腳・覆上腳
以及滿綿履　沙雞翼・乃至
羊角作尖履　山羊角尖履
蝎尾・孔雀履　彩色・獅子皮
虎皮・豹皮履　羚羊皮・獺皮
貓・栗鼠皮履　及梟皮飾履
足傷・履・胼胝　足不洗・樹株
喧騷・多羅・竹　草・乃至們叉
波羅・漢陀羅　迦摩羅・褐・金
銀・摩尼・琉璃　水晶・鍮・鍮石
錫・鉛・銅牡牛　乘車與病者
牡牛牽車・輿　臥牀大獸皮
牛皮・惡比丘　在家人所作
獸皮紐・著履　入村邑・病者
摩訶迦旃延　以及首樓那
讀誦八部品　五人具足戒
乃至數重履　屢屢之沐浴
許獸皮敷具　不入于日數

以上五許乃導師與首樓那長老者。

第六　藥犍度

一

（一）

爾時，佛世尊在舍衛城祇樹給孤獨園。時，諸比丘患秋時病，飲粥吐出，進食物亦吐出，是故彼等枯瘦、粗醜、色惡、漸次形黃、身露脈結。世尊見彼諸比丘枯瘦、粗醜、色惡、漸次形黃、身露脈結。見而言具壽阿難曰：「阿難！如何今諸比丘枯瘦、粗醜……身露脈結耶？」「今諸比丘患秋時病，飲粥吐出，進食物亦吐出，因此彼等枯瘦、粗醜、色惡，漸次形黃，身露脈結。」

（二）

時，世尊靜居宴默，心生思念：「今諸比丘患秋時病……乃至……身露脈結。我許諸比丘用何藥耶？此應為世間共許之藥，可資食但非大量食者也。」時，世尊心生思念：「有五種藥，〔謂：〕熟酥、生酥、油、蜜、糖。此等藥乃世間共許之藥，可資食但非大量食。我當許諸比丘如此五種藥，應于正時攝受，正時服用。」

（三）

時，世尊于傍晚時，由宴默起，依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！我于此處靜居……『……但非大量食者也。』諸比丘！時，我心生思念：『有五種藥……乃至……我當許諸比丘如此五種藥，應于正時攝受，正時服用。』諸比丘！許彼五種藥于正時攝受，正時服用。」

（四）

爾時，諸比丘正時攝受，正時服用彼五種藥。彼等于平常粗食而消化不良 ，況油性物耶？故彼等以患秋時病，與食物消化不良 二因，而日益枯瘦、粗醜、色惡、漸次形黃、身露脈結。世尊見彼諸比丘日益……乃至……身露脈結。見而言具壽阿難曰：「阿難！如何今諸比丘日益枯瘦……乃至……身露脈結耶？」

（五）

「今諸比丘，彼五種藥于正時……二因，而日益枯瘦、粗醜、色惡、漸次形黃、身露脈結。」時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！受彼五種藥，于正時、非時皆許服用。」

二

（一）

爾時，諸病比丘須脂藥。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許服脂藥，〔謂：〕熊脂、魚脂、鱷脂、豬脂、驢脂，以正時受、正時煮、正時混合，與油共服用。

（二）

諸比丘！若非時受、非時煮、非時混合，若以此服用者，墮三事惡作。諸比丘！若正時受、非時煮、非時混合而服用此者墮二事惡作。諸比丘！若正時受、正時煮、非時混合服用者墮惡作。諸比丘！若正時受、正時煮、正時混合，服用之者無罪。」

三

（一）

爾時，諸病比丘須用根藥。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！根藥，〔謂：〕姜黃、生薑、菖蒲、白菖蒲、麥冬、辛胡蓮、嗢尸羅、蘇子或其他根藥，于噉食毋資于噉食，于噉食毋資于噉食。許領受而儲至命終，應時服用，不應時而服用此者，墮惡作。」

（二）

爾時，諸病比丘須用根藥粉末。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用搗臼、磨石。」

四

（一）

爾時，諸病比丘須用澀藥。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！澀藥，〔謂：〕荏婆澀、具達奢澀、婆迦瓦澀、那達摩羅澀，或其他澀藥，于噉食毋資于噉食，于噉食毋資取于噉食。許受而儲至命終，應時服用，不應時服用者，墮惡作。」

五

（一）

爾時，諸病比丘須用葉藥。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！葉藥，〔謂：〕荏婆葉、具達奢葉、拔陀羅葉、蘇羅尸葉、迦婆尸迦葉或其他葉藥，于噉食毋資于噉食，于噉食毋資于噉食……乃至……」

六

（一）

爾時，諸病比丘須用果藥……乃至……「諸比丘！果藥，〔謂：〕伊蘭迦、摩撥、胡椒、柯子、川練、餘甘子、五達婆羅或其他果藥。于噉食毋資于噉食，于噉食毋資于噉食……乃至……」

七

（一）

爾時，諸病比丘須樹脂藥……乃至……「諸比丘！樹脂藥，〔謂：〕濱具、濱具樹脂、濱具尸婆提迦、達迦、達迦婆提、達迦胖離、薩周拉沙或其他樹脂藥。于噉食毋資于噉食……乃至……」

八

（一）

爾時，諸病比丘須用鹽藥……乃至……「諸比丘！鹽藥，〔謂：〕海鹽、黑鹽、岩鹽、廚鹽、赤鹽或其他鹽藥。于噉食毋資于噉食，于噉食毋資于噉食，許受儲至命終，應時服用，不應時服用者，墮惡作。」

九

（一）

爾時，具壽阿難之和尚具壽毘羅吒獅子患疥癬。因黃水固著彼衣、身，諸比丘以水濕此使離之。世尊巡迴臥處、座處，見彼諸比丘以水濕使離彼衣。見而至彼諸比丘住處，言彼諸比丘曰：「諸比丘！此比丘患何病耶？」「此具壽患疥癬，為黃水固著彼衣、身，我等以水濕此使離之。」

（二）

時，世尊由此因緣而說法，告諸比丘曰：「諸比丘！患痒、疔、膿、瘡，于身有惡臭者，許用粉藥，無病者用牛糞、粘土、顏料。諸比丘！許用臼與杵。」

一〇

（一）

爾時，諸病比丘須用過篩粉藥……乃至……「諸比丘！許用篩。」須用細軟……乃至……「諸比丘！許布篩。」

（二）

爾時，一比丘患非人病。阿闍梨、和尚雖看護彼，亦不能癒。彼往屠豬場食生肉、飲生血，彼之非人病癒矣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！患非人病時，許用生肉、生血。」

一一

（一）

爾時，一比丘患眼疾，諸比丘扶彼比丘往大便、小便。世尊巡迴臥處、座處，見彼諸比丘扶彼比丘往大便、小便。見而至彼諸比丘住處，言彼諸比丘曰：「諸比丘！此比丘有何病耶？」

（二）

「此具壽患眼疾，我等扶彼往大便、小便。」時，世尊依此因緣而說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許塗藥，〔謂：〕黑塗藥、礬塗藥、長石塗藥、紅土子、煤烟。」須用塗藥混合香料……乃至……「諸比丘！許用栴檀、零凌香、隨時檀、達子香、蘇子。」

一二

（一）

爾時，諸比丘以小鉢、小皿置細末塗藥，蒙上草粉、細塵……「諸比丘！許用塗藥筐。」爾時，六群比丘用種種塗藥筐，金製、銀製。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得用種種塗藥筐，用者墮惡作。諸比丘！許用骨製、角製、葦製、竹製、木製、樹脂製、果製、銅製、劫貝製者。」

（二）

爾時，塗藥筐無蓋，蒙上草粉、細塵……乃至……「諸比丘！許用蓋。」蓋落。「諸比丘！許用線縛，結于塗藥筐。」塗藥筐倒，蓋開藥落。「諸比丘！許用線縫。」

（三）

爾時，諸比丘以指塗抹。使眼痛……乃至……「諸比丘！許用塗藥篦。」爾時，六群比丘用種種塗藥篦，金製、銀製。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」……乃至……「諸比丘！不得用種種塗藥篦，用者墮惡作。諸比丘！許用骨製……乃至……劫貝所製者。」

（四）

爾時，塗藥篦落地而變粗糙……乃至……「諸比丘！許用篦筐。」爾時，諸比丘手持塗藥筐、塗藥篦……乃至……「諸比丘！許用塗藥筐袋。」無肩紐……乃至……「諸比丘！許用肩紐、纏線。」

一三

（一）

爾時，具壽畢鄰陀婆蹉頭熱……乃至……「諸比丘！許用油〔塗〕頭。」不癒……乃至……「諸比丘！許灌鼻。」由鼻流出……乃至……「諸比丘！許用灌鼻筒。」爾時，六群比丘用種種灌鼻筒，金製、銀製。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」〔……乃至……〕「諸比丘！不得用種種灌鼻筒，用者墮惡作。諸比丘！許用骨製……乃至……劫貝所製者。」

（二）

灌鼻不得平均。「諸比丘！許用一對灌鼻筒。」不癒。「諸比丘！許吸烟。」塗于燈心而吸。喉燒焦……乃至……「諸比丘！許用烟筒。」爾時，六群比丘用種種烟筒……乃至……許用劫貝所製者。爾時，烟筒無蓋。蟲入……乃至……「諸比丘！許用蓋。」爾時，諸比丘手持烟管。「諸比丘！許用袋。」一面磨擦……乃至……「諸比丘！許用一對袋。」無肩紐……乃至……「諸比丘！許用肩紐、纏線。」

一四

（一）

爾時，具壽畢鄰陀婆蹉腹痛。諸醫師言：「應煮油。」「諸比丘！許煮油。」煮油須用酒混之。「諸比丘！煮油許混酒。」爾時，六群比丘煮油混酒過多，飲而醉。「諸比丘！不得飲混過多酒之油，飲者應如法治。諸比丘！若煮油令不知酒之色、香、味者，如此時許飲混酒之油。」

（二）

爾時，諸比丘處有甚多混合過多酒份所煮之油。時，諸比丘心生思念：「混合過多酒份之油，應如何為之耶？」「諸比丘！許用于塗藥。」時，具壽畢鄰陀婆蹉處，煮甚多油，而無盛油容器。「諸比丘！許用三種壺，〔謂：〕銅壺、木壺、果壺。」

（三）

爾時，具壽畢鄰陀婆蹉肢痛。「諸比丘！許用發汗法。」不癒。「諸比丘！許用晻法。」不癒。「諸比丘！許用大發汗法。」不癒。「諸比丘！許用熱湯藥。」不癒。「諸比丘！許用浴室。」

（四）

爾時，具壽畢鄰陀婆蹉關節痛。「諸比丘！許用出血。」不癒。「諸比丘！許用角取壞血。」爾時，具壽畢鄰陀婆蹉足破裂。「諸比丘！許用塗足藥。」不癒。「諸比丘！許用足油。」爾時，有一比丘患瘡。「諸比丘！許用刀。」須用澀水。「諸比丘！許用澀水。」須用胡麻膏。「諸比丘！許用胡麻膏。」

（五）

須用敷著布。「諸比丘！許用敷著布。」須用繃帶。「諸比丘！許用繃帶。」瘡痒。「諸比丘！許用芥子粉撒之。」瘡爛。「諸比丘！許燻。」瘡肉隆起。「諸比丘！許用鹽片斷〔腐〕。」瘡不癒合。「諸比丘！許用瘡油。」油流出，彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用亞麻布治療〔其他〕一切瘡。」

（六）

爾時，有一比丘被蛇咬。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可與四種污物，即：屎、尿、灰、粘土。」時，諸比丘心生思念：「〔此等〕不應受耶？或應受耶？」彼等以此事白世

尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若有施與者，即受之；若無施與者，許自取用之。」爾時，有一比丘飲毒。「諸比丘！許令飲尿。」時，諸比丘心生思念：「〔此〕不應受耶？或應受耶？」「諸比丘！若作者自受時，受已成，不須復受。」

（七）

爾時，有一比丘因毒藥而病。「諸比丘！許令飲〔著犂〕畦土煎汁。」爾時，有一比丘便秘。「諸比丘！許令飲炒〔米〕灰汁。」爾時，有一比丘患黃疸病。「諸比丘！許令飲〔浸〕〔牛〕溲之呵利勒〔汁〕。」爾時，有一比丘患皮膚病。「諸比丘！許塗用香料。」爾時，有一比丘身體液多。「諸比丘！許飲用吐下藥。」須用澄明稀粥。「諸比丘！許用澄明稀粥。」須用天然豆汁。「諸比丘！許用天然豆汁。」須用人工處理與天然〔豆汁〕。「諸比丘！許用人工處理與天然〔豆汁〕。」須用肉汁。「諸比丘！許用肉汁。」

一五

（一）

爾時，具壽畢鄰陀婆蹉欲于王舍城邊清掃山崖作窟室。時，摩竭國洗尼瓶沙王至具壽畢鄰陀婆蹉住處，至而敬禮具壽畢鄰陀婆蹉，坐于一面。坐一面已，摩竭國洗尼瓶沙王言具壽畢鄰陀婆蹉曰：「長老何所為耶？」「大王！清掃山崖，欲作窟室。」「尊者須用守園人耶？」「大王！世尊不許用守園人。」「若爾，白世尊後，報我！」「唯！唯！大王！」具壽畢鄰陀婆蹉答摩竭國洗尼瓶沙王。

（二）

時，具壽畢鄰陀婆蹉說法、教示、勸導、獎勵，使摩竭國洗尼瓶沙王慶喜。時，摩竭國洗尼瓶沙王聞具壽畢鄰陀婆蹉說法、教示、勸導、獎勵、慶喜已，從座而起，敬禮具壽畢鄰陀婆蹉，右繞而去。時，具壽畢鄰陀婆蹉遣使白世尊曰：「摩竭國洗尼瓶沙王欲施與守園人，應如何為之耶？」時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許〔受〕守園人。」

（三）

摩竭國洗尼瓶沙王至具壽畢鄰陀婆蹉住處，至而敬禮具壽畢鄰陀婆蹉，坐于一面。坐一面已，摩竭國洗尼瓶沙王言具壽畢鄰陀婆蹉曰：「世尊許用守園人否？」「許！大王！」「若爾，我施守園人與尊者。」時，摩竭國洗尼瓶沙王雖約定〔施〕守園人于具壽畢鄰陀婆蹉，但忘之矣。久後憶念，告一事務大臣曰：「我約〔施〕守園人于尊者，施與守園人耶？」「大王！未施守園人于尊者。」「是今日前幾日事耶？」

（四）

時，彼大臣將日數告摩竭國洗尼瓶沙王曰：「大王！五百日也。」「若爾！施與尊者五百守園人。」「唯！唯！大王！」彼大臣應諾摩竭國洗尼瓶沙王，施與具壽畢鄰陀婆蹉五百守園人。因此而成一村邑，故此稱守園人村，亦名畢鄰陀村。爾時，具壽畢鄰陀婆蹉依此村而住。時，具壽畢鄰陀婆蹉于早晨著下裳，持衣、鉢，為乞食而入畢鄰陀村。

（五）

爾時，是村行祭禮，諸童女飾身，著華鬘而遊戲。時，具壽畢鄰陀婆蹉順次乞食往畢鄰陀村，到一守園人住處，坐所設座。爾時，彼守園人之妻有女，見他諸童女飾身，著華鬘遊戲，而號泣

言：「與我華鬘！與我華鬘！」時，具壽畢鄰陀婆蹉言彼守園人之妻曰：「何故此童女號泣耶？」「見他諸童女身飾著華鬘遊戲，故此童女號泣而言：『與我華鬘！與我華鬘！』我等貧困者，何處得華鬘？何處得莊嚴？」

（六）

時，具壽畢鄰陀婆蹉取一草輪，言彼守園人之妻曰：「將此草輪置彼童女頭上。」時，彼守園人妻以彼草輪置于彼童女頭上，即成為金華鬘，端麗、可樂、殊妙，如此金華鬘即王之後宮亦未曾有。眾人告摩竭國洗尼瓶沙王曰：「大王！某甲守園人家有金華鬘，端麗、可樂、殊妙，如此金華鬘即大王後宮亦未曾有。彼貧困者從何處而得耶？必由竊盜而得也。」時摩竭國洗尼瓶沙王令縛彼守園人一族。

（七）

復次，具壽畢鄰陀婆蹉于早晨著下裳，持衣、鉢，為乞食入畢鄰陀村。于畢鄰陀村順次乞食而至彼守園人住處，至而問近鄰之人曰：「彼守園人一族往何處耶？」「彼因金華鬘故為王所縛矣！」時，具壽畢鄰陀婆蹉至摩竭國洗尼瓶沙王住處，至已，于設座而坐。時，摩竭國洗尼瓶沙王至具壽畢鄰陀婆蹉坐處，至而敬禮具壽畢鄰陀婆蹉，坐于一面。坐于一面已，具壽畢鄰陀婆蹉言摩竭國洗尼瓶沙王曰：

（八）

「大王！何故令縛守園人之一族耶？」「彼守園人家有金華鬘，端麗、可樂、殊妙，如此金華鬘即我後宮亦未曾有。彼貧困者從何處得耶？必竊盜而得也。」時，具壽畢鄰陀婆蹉觀想將摩竭國洗尼瓶沙王宮殿變成金色時，此一切皆成金製。「大王！汝有如此

多金，從何處得耶？」「我了知矣！此尊者神通威力也。」如是令釋彼守園人。

（九）

尊者畢鄰陀婆蹉于王與其眾會，示現神通、神變上人法，眾人歡喜信仰，持來五種藥與具壽畢鄰陀婆蹉，〔謂：〕熟酥、生酥、油、蜜、糖。而具壽畢鄰陀婆蹉本得五種藥，乃隨而與其徒眾。彼徒眾驕奢，隨得藏滿甕、瓶，盛滿漉水器、囊而懸掛于門窗，但此等物互相粘著，被鼠散亂于精舍。眾人巡迴精舍時，見而忿怒、非難：「諸沙門釋子內藏財物，猶如摩竭國洗尼瓶沙王。」

（一〇）

諸比丘聞彼眾人忿怒、非難。少欲諸比丘忿怒、非難：「如何諸比丘欲如此驕奢！」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘欲如此驕奢真實耶？」「世尊！真實也。」呵責、說法，告諸比丘曰：「病比丘應服藥物，〔謂：〕熟酥、生酥、油、蜜、糖等限儲七日，必須受用。過此者，應如法治之。」

———藥法誦品
〔終〕———

一六

（一）

爾時，世尊于隨意間住舍衛城後，向王舍城遊行。具壽疑離越于途中至製糖廠，見粉或炭投于糖中。見而〔念：〕「混合食物沙糖不相應，非時食糖亦不相應。」而懷疑懼，與其徒眾俱不食糖。又聽從彼等之人亦不食糖。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！為何將粉或炭加于糖中耶？」「世尊！為使之堅硬。」「諸

比丘！若為使之堅硬，以粉或炭加于糖中而屬于糖者，諸比丘！則許隨所好而食糖。」

（二）

具壽疑離越于途中，見糞堆上長豆。見而〔念：〕「豆不相應，豆熟生長故。」而懷疑懼，與其徒眾俱不食豆。又聽從彼等者亦不食豆。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！豆熟而生長，諸比丘！但許隨所好而食豆。」

（三）

爾時，有一比丘腹痛，彼飲鹽酸粥而其腹痛止。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于病者以鹽酸粥，無病者以之混合水為飲料，皆許飲用。」

一七

（一）

時，世尊順次遊行到王舍城，于此，世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。爾時，世尊腹痛。時，具壽阿難以前世尊腹痛時，曾用三辛粥而治癒，而自調胡麻、米、豆，藏于屋內煮之，奉世尊曰：「世尊！請飲三辛粥。」

（二）

如來或知而問，或知而不問；知時而問，或知時不問；如來有義而問，無義不問；如來即毀無義之橋也。佛世尊依二相問諸比丘，〔謂：〕說法與為聲聞定學處。時，世尊問具壽阿難：「阿難！此粥從何處得耶？」時，具壽阿難以彼義白世尊。

（三）

佛世尊呵責：「阿難！不相合、不隨順、不相稱、非沙門之法、不相應、非事也。阿難！汝如何欲如此驕奢耶？阿難！藏于屋內者不相應也，煮于屋內亦不相應，自煮亦不相應。阿難！如此者令未信者不信〔……乃至……〕」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！藏于屋內，煮于屋外，自煮者不得食，食者墮惡作。

（四）

諸比丘！若藏于屋內，煮于屋內，自煮而食之者，墮三事惡作。諸比丘！若藏于屋內，煮于屋內，他人煮而食者，墮二事惡作。諸比丘！若藏于屋內，煮于屋外，自煮而食者，墮二事惡作。

（五）

諸比丘！若藏于屋外，煮于屋內，自煮而食者，墮二事惡作。諸比丘！若藏于屋內，煮于屋外，他人煮而食之者，墮惡作。諸比丘！若藏于屋外，煮于屋內，他人煮而食之者，墮惡作。諸比丘！若藏于屋外，煮于屋外，自煮而食之者，墮惡作。諸比丘！若藏于屋外，煮于屋外，他人煮而食之者，無罪。」

（六）

爾時，以世尊禁止自煮，諸比丘于更煮疑懼。彼等以此事白世尊，世尊曰：「諸比丘！許更煮。」

（七）

爾時，王舍城飢饉，眾人將鹽、油、米、噉食持來〔僧〕園。諸比丘將此等物藏于屋外，或為害蟲、害獸所食，或為盜賊取去。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許藏屋內。」藏于屋

內，煮于屋外，殘食行者圍繞，諸比丘于不安中進食。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許于屋內煮。」飢饉時，施者取多，與諸比丘者少。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許自煮。諸比丘！許藏于屋內，煮于屋內，自煮。」

（八）

爾時，有多數比丘于迦尸國住雨安居後，往王舍城拜見世尊，于途中不得滿足所需粗、妙食，有甚多嚼食即是果實，而無施與者。時，彼諸比丘呈疲勞相，詣王舍城竹林迦蘭陀迦園世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。佛世尊與諸客比丘俱相致候，乃是常法。時，世尊言彼諸比丘曰：「諸比丘！堪忍否？滿足否？來途中不極疲耶？諸比丘！汝等從何處來耶？」

（九）

「世尊！滿足。我等于迦尸國住雨安居後，來王舍城拜見世尊，于途中不得滿足，極需粗、妙食，有甚多嚼食即是果實，而無施與者，故我等呈疲勞相，行路而來。」時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！于有嚼食之果實而無施與者處，許人自取持。于見施者，許受置地上果實而食。諸比丘！許受所拾〔果實〕。」

一八

（一）

爾時，有一婆羅門得新胡麻、新蜜。時，彼婆羅門心生思念：「我當將此新胡麻、新蜜，施與佛為上首諸比丘等。」時，彼婆羅門詣世尊住處。詣而與世尊俱相致候，交談歡慶、感銘之言，而立

于一面。立于一面已，彼婆羅門白世尊言：「瞿曇！明日與比丘眾俱受我食。」世尊默然而許。時，彼婆羅門知世尊許諾而離去。

（二）

時，彼婆羅門是夜過後，調殊妙嚼食、噉食，而白世尊食時言：「瞿曇！時至也，食已備。」時，世尊于早晨時著下裳，持衣、鉢，到彼婆羅門住處，到而與比丘眾坐于所設座上。時，彼婆羅門手捧殊妙嚼食、噉食，以奉佛為上首比丘眾，皆令飽滿，以至示謝。見世尊食已，洗鉢與手而坐于一面。坐于一面時，世尊說法、教示、勸導、獎勵彼婆羅門，使之慶喜，離座而去。

（三）

時，世尊離去未久，彼婆羅門心生思念：「我請佛為上首比丘眾為施新胡麻及新蜜，但我忘失施與此等。我當盛新胡麻、新蜜，于甕、于瓶，運至〔僧〕園。」時，彼婆羅門令盛胡麻、新蜜于甕與瓶而運至〔僧〕園，詣世尊住處。詣而立于一面。立于一面已，彼婆羅門白世尊言：

（四）

「瞿曇！我請佛為上首比丘眾，為施新胡麻及新蜜也，但我忘失施此等。瞿曇！受我供奉新胡麻及新蜜。」「婆羅門！若爾，即施與諸比丘。」其時飢饉，供奉微小，而諸比丘體諒謝絕。〔今〕一切僧伽皆受供奉，諸比丘疑懼而未受。「諸比丘！受之，食之。諸比丘！許于食已、謝已，受用彼自〔施食者〕處齎來，而非殘食者。」

一九

（一）

爾時，有歸依具壽跋難陀釋子一家族，為僧伽送嚼食，言：「應示跋難陀後，施與僧伽。」爾時，具壽跋難陀釋子為乞食而入村里。時，彼諸人往〔僧〕園，問諸比丘曰：「跋難陀在何處耶？」「具壽跋難陀釋子為乞食而入村里矣。」「此嚼食應示跋難陀後，施與僧伽。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，受而置之以待跋難陀歸來！」

（二）

時，具壽跋難陀釋子食前訪問諸家，是日日中歸來。然以爾時飢饉，供奉微小，而諸比丘體諒謝絕。〔今〕一切僧伽皆受供奉，諸比丘疑懼而不受。〔世尊曰：〕「諸比丘！受之，食之。諸比丘！許于食已、謝已，受用食時以前所受，而非殘食者。」

二〇

（一）

爾時，世尊于隨意間住王舍城後，向舍衛城遊行，順次遊行至舍衛城。時，世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。爾時，具壽舍利弗患熱病。時，具壽摩訶目犍連至具壽舍利弗住處，至而言具壽舍利弗，曰：「舍利弗！汝前患熱病時，依何而治耶？」「依蓮藕、蓮根也。」時，具壽摩訶目犍連譬如力士伸其屈腕、屈其伸腕然，乃亦如此〔迅〕沒于祇樹林，現于曼陀祇尼蓮池岸。

（二）

有象見具壽摩訶目犍連由遠處來。見而言具壽摩訶目犍連，曰：「摩訶目犍連！來！摩訶目犍連！善來！何所需耶？我應以何施與之耶？」「蓮藕、蓮根也。」時，彼象命一象言：「施與尊者

所需之蓮藕、蓮根。」時，彼象潛入曼陀祇尼蓮池，以長鼻拔蓮藕、蓮根，淨洗而束之，至具壽摩訶目犍連住處。

（三）

時，具壽摩訶目犍連譬如力士伸其屈腕、屈其伸腕，乃亦如此〔迅〕沒于曼陀祇尼蓮池岸，現于祇樹林。彼象亦沒于曼陀祇尼蓮池岸，現于祇樹林。時，彼以蓮藕、蓮根呈送具壽摩訶目犍連，而沒于祇樹林，現于曼陀祇尼蓮池岸。時，具壽摩訶目犍連以蓮藕、蓮根，與具壽舍利弗。時，具壽舍利弗食蓮藕、蓮根，熱病乃癒。而尚多蓮藕、蓮根餘存焉。

（四）

然以爾時飢饉，供奉微小，而諸比丘體諒謝絕。〔今〕僧伽皆受供奉，諸比丘疑懼而不受〔彼蓮藕、蓮根〕。「諸比丘！受之，食之。諸比丘！許食已、謝已，受用林中所生，池中所生，而非殘食者。」

二一

（一）

爾時，舍衛城嚼食果實充足，但無施者，諸比丘疑懼而不食果實。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！無種子或已去種子果實，雖無施者亦許受用。」

二二

（一）

爾時，世尊于隨意間住舍衛城後，向王舍城遊行，順次遊行到王舍城。于此，世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。爾時，有一比丘患痔病，醫師阿迦沙噶嗒施刀。時，世尊巡迴臥處、座處，到彼比丘精舍。

（二）

醫師阿迦沙噶嗒見世尊從遠方來，見而白世尊言：「瞿曇！來！觀此比丘大便道，如大蜥蜴口然。」時，世尊心念：「此愚人愚弄我。」默然而還，依此因緣集會比丘眾，問諸比丘曰：「諸比丘！此精舍有病比丘否？」「世尊！此處有。」「諸比丘！彼比丘患何病耶？」「彼具壽患痔病，醫師阿迦沙噶嗒曾施刀。」

（三）

佛世尊呵責曰：「諸比丘！彼愚人之〔所為〕不相合、不隨順、不相稱、非沙門法、不相應、非事。諸比丘！如何彼愚人于密處施刀耶？諸比丘！密處皮膚柔軟，傷既難治，刀亦難施。諸比丘！如此令未信者不信……。」乃呵責、說法，告比丘等曰：「諸比丘！于密處不得用刀，用者墮偷蘭遮。」

（四）

爾時，六群比丘心念：「世尊禁止刀法。」而行灌腸。少欲諸比丘忿怒、非難：「如何六群比丘行灌腸耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘行灌腸，真實否？」「世尊！真實也。」乃呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！密處周圍二指處，不得行刀法或灌腸，行者墮偷蘭遮。」

二三

（一）

時，世尊于隨意間住王舍城後，向波羅榇國遊行，順次遊行到波羅榇國。于此世尊住波羅榇國仙人墮處鹿野苑。其時波羅榇國有優婆塞蘇卑與優婆夷蘇卑，皆有信心，而為施者、侍者，歸依僧伽。時，優婆夷蘇卑往諸〔僧〕園，由精舍到精舍，由房舍到房舍，問諸比丘：「誰患病耶？應為誰持何物來耶？」

（二）

爾時，有一比丘服吐下藥。時，彼比丘言優婆夷蘇卑曰：「我服吐下藥，我須肉味。」答言：「善！當持來。」而往家命侍者言：「往視有存肉否？」「唯！唯！」彼人應諾優婆夷蘇卑，巡遊波羅榇到處不見存肉。時，彼人到優婆夷蘇卑住處。到而言優婆夷蘇卑曰：「已無存肉，今日不殺也。」

（三）

時，優婆夷蘇卑心生思念：「若彼病比丘不得肉味則或加病或喪命也。我已應諾，若不持往，不相應也。」如是持利刀割髀肉與婢言：「調理此肉，施與某精舍病比丘。彼若問我時，答曰有病。」如是以上衣裹髀入後室而臥于牀。

（四）

時，優婆塞蘇卑歸家問婢曰：「蘇卑在何處耶？」「彼女臥于後室。」時，優婆塞蘇卑到優婆夷蘇卑住處，到而言優婆夷蘇卑曰：「何故而臥耶？」「我有病。」「汝有何病耶？」時，優婆夷蘇卑以彼事告優婆塞蘇卑。時，優婆塞蘇卑言：「希有哉！未曾有哉！此蘇卑有信心、有淨心，乃至棄捨己肉。此女又有何他物不能施耶？」歡喜踴躍，詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。

（五）

坐于一面已，優婆塞蘇卑白世尊言：「世尊！明日請比丘眾俱受我食。」世尊默然而許之。時，優婆塞蘇卑知世尊已許，即從座起，敬禮世尊，右繞而去。時，優婆塞蘇卑于是夜過後，調殊妙噉食、嗽食，白世尊曰：「時到，已調食。」時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，到優婆塞蘇卑住處。到而與諸比丘俱坐于所設座上。

（六）

時，優婆塞蘇卑詣世尊在處，詣而敬禮世尊，立于一面。立于一面時，世尊言優婆塞蘇卑曰：「蘇卑在何處耶？」「世尊！有病。」「若爾！令前來！」「世尊！不能。」「若爾！抱來。」時，優婆塞蘇卑抱優婆夷蘇卑來。彼女見世尊時，大傷即癒，皮膚長成，身毛已生。

（七）

時，優婆塞蘇卑、優婆夷蘇卑言：「希有哉！未曾有哉！如來有大神變、有大威力。一見世尊，大傷即癒，皮膚長成，身毛已生。」歡喜踴躍，手捧殊妙噉食、嗽食奉以佛為上首比丘眾令飽滿至示謝。見世尊食已，洗鉢與手已，乃坐于一面。時，世尊說法、教示、勸導、獎勵優婆塞蘇卑、優婆夷蘇卑，令彼慶喜，即從座起離去。

（八）

時，世尊依此因緣，于此時機，令集會比丘眾，問諸比丘：「諸比丘！誰向優婆夷蘇卑乞肉耶？」如此說時，彼比丘白世尊言：「我向優婆夷蘇卑乞肉。」「比丘！持來耶？」「世尊！持來！」「比丘！汝食耶？」「世尊！我食矣！」「比丘！汝觀察否？」「世尊！我未觀察。」

（九）

佛世尊呵責曰：「愚人！汝如何不觀察而食肉耶？愚人！汝食人肉也。愚人！如此令未信者不信〔……乃至……〕。」呵責而說法，告諸比丘曰：「諸比丘！有具信心、具淨心之人，彼等捨棄己肉。諸比丘！不得食人肉，食者墮偷蘭遮。諸比丘！不觀察不得食肉，食者墮惡作。」

（一〇）

爾時，王之象死。時當飢饉，眾人食象肉，以象肉與往乞食之諸比丘，諸比丘食象肉。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子食象肉耶？象乃王〔兵〕眾，若王了知，應不悅彼等。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得食象肉，食者墮惡作。」

（一一）

爾時，王之馬死。時當飢饉，眾人食馬肉，以馬肉與往乞食之諸比丘，諸比丘食馬肉。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子食馬肉耶？馬乃王之〔兵〕眾，若王了知，應不悅彼等。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得食馬肉，食者墮惡作。」

（一二）

爾時，正當飢饉，眾人食狗肉，以狗肉與往乞食之諸比丘，諸比丘食狗肉。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子食狗肉耶？狗乃可惡嫌厭者也。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得食狗肉，食者墮惡作。」

（一三）

爾時，正當飢饉，眾人食蛇肉，以蛇肉與往乞食之諸比丘，諸比丘食蛇肉。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子食蛇肉耶？蛇乃可惡嫌厭者也。」又蘇拔沙龍王詣世尊住處，詣而敬禮世尊，立于一面。立于一面已，蘇拔沙龍王白世尊言：「龍有無信心、無淨心者，彼等以傷害諸比丘。善哉！不得令諸尊者食蛇肉。」時，世尊說法、教示蘇拔沙龍王……乃至……右繞離去。時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得食蛇肉，食者墮惡作。」

（一四）

爾時，諸獵夫殺獅子而食其肉，以獅子肉與往乞食之諸比丘。諸比丘食獅子肉，住于林中，獅子循獅子肉香而襲諸比丘。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得食獅子肉，食者墮惡作。」

（一五）

爾時，諸獵夫殺虎〔……乃至……〕殺豹〔……乃至……〕殺熊〔……乃至……〕殺鬣狗，而食其肉，以虎〔……乃至〕鬣狗肉與乞食之諸比丘。諸比丘食虎〔……乃至〕鬣狗肉，住于林中，虎〔……乃至〕鬣狗循虎〔……乃至〕鬣狗肉香而襲諸比丘。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得食虎〔……乃至〕鬣狗肉，食者墮惡作。」

二四

（一）

時，世尊于隨意間住波羅榇國後，向阿那伽賓頭國遊行，與大比丘眾一千二百五十人俱。爾時，地方眾人多以車載鹽、油、米、

噉食，隨佛為上首比丘眾後，曰：「若當班者，即應設食。」又有五百食殘食者。時，世尊順次遊行到阿那伽賓頭國。

（二）

時，有一未曾當班婆羅門，心生思念：「〔謂：〕『若當班者，即應設食。』隨佛為上首比丘眾以來，已過二月而未輪班。我乃單身，棄多家事。我當觀察食堂，調理食堂所無者。」時，彼婆羅門觀察食堂，無有二種，〔謂〕：粥與蜜丸也。

（三）

時，彼婆羅門到具壽阿難住處，到而言具壽阿難：「阿難！今，我未輪班，心生思念〔謂：〕『若當班者，即應設食。隨佛為上首比丘眾以來，已過二月而未輪班。我乃單身，棄多家事。我當觀察食堂，調理食堂所無者。』阿難！我觀察食堂，無有二種，〔謂：〕粥與蜜丸也。阿難！我若調粥與蜜丸時，瞿曇能受否？」「婆羅門！若爾，我往問世尊。」

（四）

時，具壽阿難以此事白世尊，〔世尊曰：〕「阿難！若爾令調。」〔阿難言彼婆羅門曰：〕「婆羅門！若爾調之。」時，彼婆羅門于是夜過後，乃調甚多粥與蜜丸供奉世尊曰：「瞿曇！請受我粥與蜜丸。」「婆羅門！若爾，施與諸比丘。」諸比丘疑懼不敢受。〔世尊曰：〕「諸比丘！受之，食之。」時，彼婆羅門以手捧甚多粥與蜜丸，奉佛為上首比丘眾，令飽滿至示謝，〔見〕世尊食已，洗鉢與手，于一面坐。

（五）

坐于一面已，世尊言彼婆羅門曰：「婆羅門！粥有十種功德。何者為十耶？施粥者施壽、施色、施樂、施力、施辯，飲粥者滅飢、除渴、順氣、淨腹、助化。婆羅門！粥有如此十種功德。」

（六）

食他施食人　善能調御己
應時起恭敬　以粥施與者
賦與此十處　謂壽・色・樂・力
由此生辯才　滅飢・渴・順氣
腹淨助消化　善逝讚此食
故人若願樂　欲享天上樂
樂人界幸福　應常行施粥

（七）

時，世尊以如此偈，向彼婆羅門隨喜，從座起而離去。時，世尊以此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許用粥與蜜丸。」

二五

（一）

眾人聞知：「世尊許用粥與蜜丸。」彼等早晨調軟粥與蜜丸。諸比丘于早晨飽食軟粥、蜜丸，不好食堂食物。爾時，有一大臣得新信心，明日請佛為上首比丘眾。時，彼新得信心大臣心生思念：「我當為一千二百五十比丘，調一千二百五十鉢肉，應于一一比丘奉一一鉢肉。」

（二）

時，彼新得信心大臣于是夜過後，調殊妙噉食、噉食及一千二百五十鉢肉，以是時白世尊言：「食時到，已調食。」時，世尊于

早晨著下裳，持衣、鉢，到彼新得信心大臣家，到而與比丘眾俱坐于所設座上。

（三）

時，彼新得信心大臣于食堂供養諸比丘，諸比丘言：「少與！少與！」此新得信心大臣言：「勿少受！我調甚多嚼食、噉食及一千二百五十鉢肉，而奉一一比丘一一鉢肉。受所欲！」「我等非以是故少受，我等早晨飽食軟粥、蜜丸，故此少受。」

（四）

時，彼新得信心大臣忿怒、非難：「如何諸尊師受我所招請而亦食他人軟粥耶？我非無能施與所欲。」如是忿怒不悅、非難，盛滿諸比丘之鉢，繼而言：「請食肉，不然持去。」時，彼新得信心大臣手奉嚼食、噉食于佛為上首比丘眾，令飽滿至示謝。見世尊食已，洗鉢與手，坐于一面。坐于一面時，世尊說法、教示、勸導、獎勵新得信心大臣，使之慶喜，即從座起離去。

（五）

時，世尊離去未久，彼新得信心大臣心生悔疑、生追悔，〔念：〕「我有失、我無得；我有惡得、我無善得；我忿懣不悅、非難而盛滿諸比丘之鉢，繼而言：『食之，不然持去。』我多行善耶？行不善耶？」時，彼新得信心大臣詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，彼新得信心大臣白世尊言：「于此，世尊離去未久，我生悔疑、生追悔，〔念：〕『我有失、我無得；我有惡得、我無善得；我忿懣不悅、非難而盛滿諸比丘之鉢，繼而言：「食之，不然持去。」我多行善耶？行不善耶？』我多行善耶？行不善耶？」

（六）

「汝招請佛為上首比丘眾時，汝別日多為善。一一比丘從汝受一一摶食時，汝乃多為善，汝生天。」時，彼新得信心大臣言：「我有得、我有善得、我多為善、我生天。」歡喜踊躍，即從座起，敬禮世尊，右繞而去。

（七）

時，世尊由此因緣，于此時機，令集會諸比丘，問諸比丘曰：「諸比丘！諸比丘受一人招請而食餘人軟粥，真實耶？」「世尊！真實也。」佛世尊呵責曰：「諸比丘！如何諸愚人受一人招請而食餘人軟粥耶？諸比丘！如此令未信者不信〔……乃至……〕。」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！受一人招請則不得食餘人軟粥，食者應如法治之。」

二六

（一）

時，世尊于隨意間住阿那伽賓頭國後，向王舍城遊行，與大比丘眾一千二百五十人俱。其時毘羅吒迦旃從王舍城往阿那伽賓頭途上，率五百車，皆載滿砂糖壺。時，世尊見毘羅吒迦旃從遠方來，見而離開道路，于一樹下坐。

（二）

時，毘羅吒迦旃詣世尊處。詣而敬禮世尊，立于一面。立于一面已，毘羅吒迦旃白世尊：「我欲于一一比丘施與一一砂糖壺。」「迦旃！若爾持一砂糖壺來。」「唯！唯！」毘羅吒迦旃應諾世尊，持一砂糖壺詣世尊處。詣而白世尊：「持來砂糖壺矣！我應如何為之耶？」「迦旃！若爾，施砂糖與諸比丘。」

（三）

「唯！唯！」毘羅吒迦旃應諾世尊，施砂糖與諸比丘後，白世尊：「施砂糖與諸比丘，于此處殘留甚多砂糖，我應如何為之？」「迦旃！若爾，依諸比丘所欲施與砂糖。」「唯！唯！」毘羅吒迦旃應諾世尊，施與諸比丘所欲砂糖後，白世尊：「依諸比丘所欲施與砂糖矣。然此處尚餘甚多砂糖，我應如何為之耶？」「迦旃！若爾，以砂糖施令諸比丘飽滿。」「唯！唯！」毘羅吒迦旃應諾世尊，以砂糖令諸比丘飽滿。少數諸比丘既滿鉢，漉水器及囊亦飽滿。

（四）

時，毘羅吒迦旃以砂糖飽滿比丘等後，白世尊：「以砂糖令諸比丘充實飽滿矣，然此處尚餘甚多砂糖，我應如何為之耶？」「迦旃！若爾，以砂糖施與諸食殘食者。」「唯！唯！」毘羅吒迦旃應諾世尊，以砂糖施與諸食殘食者後，白世尊：「以砂糖施與諸食殘食者矣，然此處尚餘甚多砂糖，我應如何為之耶？」「迦旃！若爾，依諸食殘食者所欲，施與砂糖。」

（五）

「唯！唯！」毘羅吒迦旃應諾世尊，施與諸食殘食者所欲砂糖後，白世尊：「雖施與諸食殘食者所欲砂糖，然此處尚餘甚多砂糖，我應如何為之耶？」「迦旃！若爾，以砂糖飽滿諸食殘食者。」少數諸食殘食者甕、瓶既滿，籠、襜亦滿。

（六）

時，毘羅吒迦旃以砂糖飽滿諸食殘食者後，白世尊：「以砂糖飽滿諸食殘食者矣，但此處尚餘甚多砂糖，我應如何為之耶？」

「迦旃！我不見天、魔、梵天、世間、沙門、婆羅門、天、人群生中，有食此砂糖，正得消化者，但除如來與如來聲聞。迦旃！若爾，汝將此砂糖棄于無草地上，或沈于無蟲水中。」「唯！唯！」毘羅吒迦旃應諾世尊，將彼砂糖沈于無蟲水中。

（七）

時，彼砂糖投于水中矣，沸騰出火焰，譬如終日燒熱鐵板投水中時沸騰出火焰，彼砂糖投水中亦如此沸騰出火焰。時，毘羅吒迦旃恐懼，身毛豎立，詣世尊處，詣而敬禮世尊，坐于一面。

（八）

坐于一面時，世尊與毘羅吒迦旃依次說示，〔謂：〕施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染及出離功德。世尊知毘羅吒迦旃生堪任心、柔軟心、離障心、歡喜心、明淨心，說諸佛本真教法……〔同第一　大犍度七（六）〕……如此毘羅吒迦旃即于其座生遠塵離垢法眼，謂：「凡有集法者，皆有此滅法。」

（九）

時，毘羅吒迦旃已見法、得法、知法、入法、超諸疑惑、棄除猶豫而得無畏，以行師教不依他緣，白世尊：「奇哉！奇哉！譬如覆者起……〔同第一　大犍度七（一〇）〕……如此世尊以種種方便說法。我歸依世尊、法及比丘眾。世尊容我從今日起至命終，歸依為優婆塞。」

二七

（一）

時，世尊次第遊行到王舍城。于是，世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。爾時，王舍城甚多砂糖。諸比丘疑懼〔念：〕「世尊許病者用砂糖，無病者不然。」而不敢食砂糖。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許病者用砂糖，無病者用砂糖水。」

二八

（一）

時，世尊于隨意間住王舍城後，向巴連弗邑遊行，與大比丘眾一千二百五十人俱。時，世尊次第地遊行至巴連弗邑。巴連弗邑優婆塞聞：「世尊至巴連弗邑。」時，巴連弗邑諸優婆塞詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面時，世尊對巴連弗邑優婆塞說法、教示、勸導、獎勵，令之慶喜。

（二）

時，巴連弗邑諸優婆塞慶喜世尊說法、教示、勸導、獎勵時，白世尊：「世尊與比丘眾俱請至休息堂。」世尊默然許之。時，巴連弗邑諸優婆塞知世尊默許，即從座起，敬禮世尊，右繞而去。去休息堂。至休息堂已，遍敷臥具、設座、置水瓶、挑油燈，詣世尊住處。詣而敬禮世尊，立于一面。

（三）

立于一面已，巴連弗邑諸優婆塞白世尊：「于休息堂遍敷臥具、設座、置水瓶、挑油燈，世尊！請知是時。」時，世尊于早晨著下裳，持衣、鉢，與比丘眾俱到休息堂。到而洗足，入休息堂，近中柱東面而坐。巴連弗邑諸優婆塞洗足，入休息堂，近東壁，面向世尊而坐。

（四）

時，世尊告巴連弗邑諸優婆塞曰：「諸居士！破戒、壞戒有五過患。何者為五耶？諸居士！于此處破戒、壞戒者將因放逸而大失財，此，破戒、壞戒第一過患也。諸居士！其次破戒、壞戒者起惡名聲，此，破戒、壞戒第二過患也。諸居士！其次破戒、壞戒者，到隨一眾會，或剎帝利眾會、或婆羅門眾會、或居士眾會、或到沙門眾會，皆至畏懼羞愧，此，破戒、壞戒第三過患也。諸居士！其次破戒、壞戒者迷亂而死，此，破戒、壞戒第四過患也。諸居士！其次破戒、壞戒者身壞死後，生惡處、惡趣、墮處、地獄，此，破戒、壞戒第五過患也。諸居士！如此破戒、壞戒有五過患。

（五）

諸居士！持戒、成戒者有五功德。何者為五耶？諸居士！此處持戒、成戒者不放逸而得大財蘊，此，持戒、成戒第一功德也。諸居士！其次持戒、成戒者起善名聲，此，持戒、成戒第二功德也。諸居士！其次持戒、成戒者到隨一眾會，或剎帝利眾會、或婆羅門眾會、或居士眾會、或沙門眾會，皆無畏無羞，此，持戒、成戒第三功德也。諸居士！其次持戒、成戒者不迷亂而死，此，持戒、成戒第四功德也。諸居士！其次持戒、成戒者身壞死後，生善趣、天界，此，持戒、成戒第五功德也。」

（六）

時，世尊至夜更說法、教示、勸導、獎勵巴連弗邑諸優婆塞，令之慶喜：「居士等！夜深矣！知是時。」「唯！唯！」巴連弗邑諸優婆塞即從座起，敬禮世尊，右繞而去。

（七）

時，巴連弗邑諸優婆塞離去未久，世尊入于空屋。爾時，摩竭國大臣須尼陀與禹舍，為防跋祇族而于巴連弗邑築城。世尊深夜凌

晨早起，以清淨超人天眼，見多數諸天，圍封宅地。有大勢力諸天傾心與有大勢力王者與王大臣，于封宅地處建築住宅；中位諸天傾心與有中位王者與王臣，于封宅地處建築住宅；下劣諸天傾心與下劣王者與王臣，于封宅地處建築住宅。

（八）

時，世尊告具壽阿難曰：「阿難！誰在築巴連弗邑城耶？」「摩竭國大臣須尼陀與禹舍，為防跋祇族于巴連弗邑築城也。」「阿難！譬如與三十三天商量，阿難！如此摩竭國大臣須尼陀與禹舍，為防跋祇族亦于巴連弗邑築城。阿難！我于此處深夜凌晨早起，以清淨超人天眼見多數諸天……乃至……下劣王與王臣傾心……于……建築住宅。阿難！但言聖民住處，但言商賈市集，巴連弗邑都城應是最勝都城。阿難！巴連弗邑有三障難！依火、依水、自內生不和也。」

（九）

時，摩竭國大臣須尼陀與禹舍詣世尊住處。詣而與世尊互相致候，交談慶喜、感銘之言，而立于一面。立于一面已，摩竭國大臣須尼陀與禹舍白世尊：「瞿曇！今日與比丘眾俱請受我等食。」世尊默然許之。時，摩竭國大臣須尼陀與禹舍知世尊默許而去。

（一〇）

時，摩竭國大臣須尼陀與禹舍調殊妙嚼食、噉食，奉告世尊是時：「瞿曇！食時到。」時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，至摩竭國大臣須尼陀與禹舍住處，至而與諸比丘俱坐所設座上。時，摩竭國大臣須尼陀與禹舍親手供養殊妙嚼食、噉食于佛為上首僧伽，令飽滿至示謝。見世尊食已，洗鉢與手。摩竭國大臣須尼陀與禹舍

坐于一面。坐于一面時，于摩竭國大臣須尼陀與禹舍，世尊以偈隨喜：

（一一）

若有賢者于一處　建築住居立門庭
首先供養于是處　有戒・自制・梵行人
是處居住有諸天　供物將來且供奉
供養其人受供養　尊重其人受尊重
若爾諸天愍其人　猶如慈母于兒身
若受諸天垂哀愍　其人常見善福臨

時，世尊對摩竭國大臣須尼陀與禹舍，以此偈隨喜已，即從座起而去。

（一二）

爾時，摩竭國大臣須尼陀與禹舍隨世尊後，〔心生思念：〕「今日瞿曇所出之門當名瞿曇門，恆河渡頭當名瞿曇津。」時，世尊所出之門名瞿曇門。時，世尊到達恆河。爾時，恆河水滿及岸，〔岸〕鴉得飲。眾人或求船、或求筏、或結桴，欲從此岸渡彼岸。

（一三）

世尊見眾人或求船、或求筏、或結桴，欲從此岸渡往彼岸。見而譬如力士伸其屈腕、屈其伸腕，乃亦如此〔迅速〕與諸比丘俱沒于恆河此岸，而現于彼岸。時，世尊了知此義，乃于此時，自唱偈曰：

賢者捨泥沼
作橋渡海河
眾人結桴間
剎那已渡過

二九

（一）

時，世尊到拘利村，世尊住此拘利村。于此，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！不了悟、不通達四聖諦，如此我與汝等亦久流轉輪迴也。以何為四？諸比丘！因不了悟、不通達苦聖諦，如此我及汝等亦久流轉輪迴；因不了悟、不通達苦集聖諦〔……乃至……〕苦滅聖諦〔……乃至……〕苦滅道聖諦，如此我及汝等亦久流轉輪迴。

（二）

諸比丘！今了悟、通達苦聖諦，了悟、通達苦集聖諦，了悟、通達苦滅聖諦，了悟、通達順苦滅道聖諦，斷有愛、盡有索、更不受後有。

因為不如實　淨觀四聖諦
永久處處生　常流轉輪迴
觀此諸聖諦　得滅有紐索
亦斷苦根本　更不受後有」

三〇

（一）

淫女菴婆婆梨聞：「世尊到拘利村。」時，淫女菴婆婆梨駕善美車、乘善美車，隨善美車出毘舍離，拜見世尊。凡車可通處，乘車而往，然後下車步行，詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。

（二）

坐于一面時，世尊為淫女菴婆婆梨說法、教示、勸導、獎勵，使之慶喜。時，淫女菴婆婆梨〔聞〕世尊說法教示、勸導、獎勵，慶喜時，白世尊：「世尊！明日與比丘眾俱請受食。」世尊默然許之。時，淫女菴婆婆梨知世尊默許，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。

（三）

毘舍離諸隸車人聞：「世尊至拘利村。」時，毘舍離諸隸車人駕善美車、乘善美車，隨善美車出毘舍離，拜見世尊。部分諸隸車人以青作青色，著青衣，帶青莊嚴；部分諸隸車人以黃作黃色，著黃衣，帶黃莊嚴；部分諸隸車人以赤作赤色，著赤衣，帶赤莊嚴；部分諸隸車人以白作白色，著白衣，帶白莊嚴。時，淫女菴婆婆梨與隸車青年以轅對轅、軛對軛、輪對輪、軸對軸相衝突。

（四）

時，彼諸隸車人言淫女菴婆婆梨曰：「菴婆婆梨！汝何故與隸車諸青年以轅對轅、軛對軛、輪對輪、軸對軸相衝突耶？」「我明日宴請佛為上首諸比丘。」「菴婆婆梨！〔與汝〕百千金，此食〔供養〕讓于我等。」「假令以毘舍離及其周邊與我，亦決不讓此食〔供養〕。」時，彼諸隸車人彈指而言：「我等敗于少婦，我等輸于少婦。」

（五）

時，彼諸隸車人詣世尊住處。時，世尊見彼諸隸車人從遠方來，見而告諸比丘曰：「諸比丘！比丘若未見三十三天者，諸比丘！觀隸車人眾！諸比丘！觀此隸車人眾！諸比丘！依隸車人眾，了知三十三天眾。」時，彼諸隸車人凡車可通，即乘車前往，然後下車步行，詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面時，

世尊為彼諸隸車人說法、教示、勸導、獎勵、令之慶喜。時，彼諸隸車人聞世尊說法、教示、勸導、獎勵，慶喜時，白世尊：「世尊！明日與比丘眾俱請受食。」「諸隸車人！我已有約明日受淫女菴婆婆梨食。」時，彼諸隸車人彈指而言：「我等敗于少婦，我等輸于少婦。」時，彼諸隸車人歡喜、隨喜世尊所說，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。

（六）

時，世尊于隨意間住拘利村後，到那陀村。于是，世尊住那陀村犍椎處。時，淫女菴婆婆梨是夜過後，于自己園中，調殊妙嚼食、噉食，白世尊是時，言：「食時到。」時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，到淫女菴婆婆梨住處。到已，與比丘眾俱坐所設座上。時，菴婆婆梨于佛為上首比丘眾，以手供養殊妙嚼食、噉食，令飽滿至示謝。見世尊食已，洗鉢與手，坐于一面。坐于一面時，淫女菴婆婆梨白世尊：「我以此菴婆婆梨園，施與佛為上首諸比丘。」世尊受此園。時，世尊為淫女菴婆婆梨說法、教示……使之慶喜，即從座起，而往大林。于是，世尊住毘舍離城大林重閣堂。

———隸車人誦
品終———

三一

（一）

爾時，諸著名隸車人集會于斷事堂，以無數方便讚歎佛、讚歎法、讚歎僧伽。爾時有私呵將軍，是尼犍弟子，坐于眾會中。時，私呵將軍心生思念：「彼必然是世尊、應供、等正覺，故此著名諸隸車人集會于斷事堂，以無數方便讚歎佛、讚歎法、讚歎僧伽。我當往見彼世尊、應供、等正覺。」

（二）

時，私呵將軍至尼犍子（Nā taputta）住處，至而白尼犍子言：「我欲往見沙門瞿曇。」「私呵！汝是作業論者，何故往見非作業論者沙門瞿曇耶？私呵！沙門瞿曇是非作業論者，以非作業說法，以教諸弟子。」時，私呵將軍，欲往見世尊之心乃止。

（三）

復次，諸著名隸車人集會于斷事堂，以無數方便讚歎佛、讚歎法、讚歎僧伽。私呵將軍再次心生思念：「彼必……應往見等正覺。」私呵將軍再次至尼犍子住處……教……。再次私呵將軍……乃止。三次著名……讚歎僧伽。私呵將軍三次心生思念：「彼必然……讚歎僧伽。于尼犍子徒求不許可，于我又如何耶？我當不求尼犍子之許可，往見彼世尊、應供、等正覺。」

（四）

時，私呵將軍于日中隨五百車，從毘舍離出發，往見世尊。凡車可通處，乘車前往，然後下車步行，詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，私呵將軍白世尊：「我聞如此：『沙門瞿曇乃非作業論者，說非作業法，以教諸弟子。』如此『沙門瞿曇乃非作業論者，說非作業法，以教諸弟子。』眾人所云，世尊真說者耶？非以非實誹謗世尊耶？如法說法耶？于法論議不受呵責耶？我等不欲誹謗世尊故也。」

（五）

「私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇乃非作業論者，說非作業法，以教諸弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇乃作業論者，說作業……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙

門瞿曇乃斷滅論者，說斷滅……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是厭嫌者，說厭嫌……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是調伏者，說調伏……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是苦行者，說苦行……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是離胎者，說離胎……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是已蘇息者，說蘇息……教弟子也。』

（六）

私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是非作業論者，說非作業法，以教諸弟子』者，如何？私呵！我說身惡行、語惡行、意惡行非作，說種種惡不善法非作也。私呵！依此方便于我正語：『沙門瞿曇乃非作業論者，說非作業……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是作業論者，說作業……教弟子』者，如何？私呵！我說身善行、語善行、意善行作業，說種種善法作業。私呵！依此方便，于我正語：『沙門瞿曇是作業論者，說作業……教弟子也。』

（七）

私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是斷滅論者，說斷滅……教弟子』者，如何？私呵！我說貪、瞋、癡斷滅，說種種惡不善法斷滅。私呵！依此方便于我正語：『沙門瞿曇是斷滅論者，說斷滅……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是厭嫌者！說厭嫌……教弟子』者，如何？私呵！我厭嫌身惡行、語惡行、意惡行，說種種成就惡不善法之厭嫌法。私呵！依此方便于我正語：『沙門瞿曇是厭嫌者，說厭嫌……教弟子。』

（八）

私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是調伏者，說調伏……教弟子』者，如何？私呵！我說調伏貪、瞋、癡法，說調伏種種惡不善法。私呵！以此方便于我正語：『沙門瞿曇是調伏者，說調伏……教弟子。』私呵！或以方便于我正語：『沙門瞿曇是苦行者，說苦行……教弟子』者，如何？我說應燒盡惡不善法：身惡行、語惡行、意惡行。私呵！若有人斷除應燒盡之惡不善法，折根，如無根之多羅樹，而使歸滅于無，行未來不生之法者，我名如此人為苦行者。私呵！如來斷除應燒盡之惡不善法……不生之法。私呵！依此方便于我正語：『沙門瞿曇是苦行者，說苦行……教弟子。』

（九）

私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是離胎者，說離胎……教弟子』者，如何？私呵！若有人于未來受後有，斷入胎，折根，如無根之多羅樹，而令歸滅于無，行未來不生之法者，我名如此人為離胎者。私呵！如來未來不受後有……行不生之法。私呵！依此方便，于我正語：『沙門瞿曇是離胎者，說離胎……教弟子。』私呵！有以方便于我正語：『沙門瞿曇是已蘇息者，說蘇息……教弟子』者，如何？私呵！我依最勝蘇息，為已蘇息者而說蘇息之法，以教諸弟子。私呵！有以此方便于我正語：『沙門瞿曇為已蘇息者而說蘇息法，以教諸弟子。』」

（一〇）

如此說時，私呵將軍白世尊：「奇哉……〔同第一　大犍度七（一〇）〕……世尊容我從今日起乃至命終，歸依為優婆塞。」「私呵！熟慮！如汝著名人能熟慮者是善事也。」「我依此愈益歡喜、信樂世尊。世尊告我：『私呵！熟慮！如汝著名之人能熟慮者是善事。』故也，若外道得我為弟子時，將持旗巡行全毘舍離，

言：『私呵將軍為我等弟子。』世尊卻對我言：『私呵！熟慮！如汝著名之人能熟慮是善事也。』我再次歸依世尊、法、比丘眾。世尊！容我從今日起至命終，歸依為優婆塞。」

（一一）

「私呵！尼犍子久于汝家〔受供養〕，如〔取〕泉水，故汝應念，若彼等來時，當施與食。」「我依此愈益歡喜、信樂世尊。世尊對我言：『私呵！尼犍子久于汝家〔受供養〕，如〔取〕泉水，故汝應念，若彼等來時，當施與食。』故也，我聞如此，謂沙門瞿曇言：『應布施我，不得布施餘人；應布施我弟子，不得布施餘人弟子。與我者有大果，與餘人者無大果；與我弟子者有大果，與餘人弟子者無大果。』而世尊亦勸布施尼犍子。我等于此了知時宜。我三次歸依世尊、法、比丘眾……歸依……。」

（一二）

時，世尊為私呵將軍順次說法，謂：施論……以師教……，白世尊：「請世尊明日與比丘眾俱受食。」世尊默許。時，私呵將軍知世尊默許，即從座起，敬禮世尊，右繞而去。時，私呵將軍命一人言：「往視有存肉否？」私呵將軍是夜過後，調殊妙嚼食、噉食，白世尊：「食時到，已調食。」時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，至私呵將軍家。至而與諸比丘俱坐所設座上。

（一三）

爾時，有多數尼犍徒，由毘舍離之道路而至各道路、自四衢道至各四衢道，舉手號泣：「今日私呵將軍殺肥獸為沙門瞿曇設食。沙門瞿曇知為己殺，為己造業而食肉。」時，有一人至私呵將軍住處。至而耳語私呵將軍：「知否？于此有多數尼犍子徒眾，從毘舍離之道路至各道路、自四衢道至各四衢道，舉手號泣：『今日……

知為己殺，為己造業而食肉。』請止之。彼諸具壽久欲謗佛、欲謗法、欲謗僧伽，而彼諸具壽以非有、空虛、虛妄、非實，誹謗世尊而無厭。我等為活命，不故意斷滅眾生之命。」

（一四）

時，私呵將軍于佛為上首比丘眾，親手供養殊妙嚼食、噉食，令飽滿至示謝。見世尊食已，洗鉢與手，坐于一面。坐于一面時，世尊為私呵將軍說法、教示……使之慶喜，從座起而離去。時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！知為己殺之肉不得食，食者墮惡作。諸比丘！許三種清淨魚肉，〔謂：〕不見、不聞、不疑〔為己所殺〕。」

三二

（一）

爾時，毘舍離豐饒，穀物充足，而易乞食，依遺穗或施與而容易生活。時，世尊靜居宴默，心生思量：「飢饉穀乏而不易乞食時，我許諸比丘藏于屋內、煮于屋內、自煮，從他取而受〔由供養者家〕持來之物，于食時以前所受之物，林中所生之物，池中所生之物，許〔食用之〕。今諸比丘尚食此等耶？」時，世尊于傍晚，自宴默起，告具壽阿難曰：「阿難！我于諸比丘……食耶？」「世尊！尚食！」

（二）

時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！飢饉穀乏，不易乞食之時，我許諸比丘藏于屋內、煮于屋內、自煮，從他取而受〔由供養者家〕持來之物，食時以前所受之物，林中所生之物，池中所生之物，許〔食用之〕。我今日起，廢棄此等。諸比丘！藏

于屋內、煮于屋內、自煮，從他取而受之物，不得食用，食者墮惡作。諸比丘！〔由供養者家〕持來之物，食時以前所受之物，林中所生之物，池中所生之物，食訖已謝者，雖非餘食，亦不得食，食者應如法治之。」

三三

（一）

爾時，地方眾人以車載甚多鹽、油、米、噉食，于〔僧〕園境外，停為車隊，言：「我等當輪班調食。」說時即大雲騰起。時，彼眾人至具壽阿難住處，至而言具壽阿難：「阿難！車載甚多鹽、油、米、噉食，住此處時，大雲騰起。阿難！應如何為之耶？」時，具壽阿難以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「阿難！若爾，僧伽于精舍近處，協定相應僧伽所欲之地，令住其處，〔即：〕精舍、平覆屋、殿樓、樓房、地窟也。諸比丘！協定應如此為之：聰明賢能比丘應白僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，僧伽當協定某甲精舍為相應地。此乃表白。諸大德！請聽我言！僧伽協定某甲精舍為相應地。協定某甲精舍為相應地，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽協定某甲精舍為相應地，具壽聽故默然，我如此了知。』」

（三）

爾時，眾人于彼協定之相應地煮粥、煮食、調汁、切肉、劈薪。世尊夜分凌晨時起，聞高聲、大聲、如鴉鳴聲。聞而言具壽阿難曰：「阿難！彼高聲、大聲、如鴉鳴聲為何耶？」

（四）

「今眾人于彼協定相應之地煮粥、煮食、調汁、切肉、劈薪。世尊！此彼高聲、大聲、如鴉鳴聲也。」時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！協定相應之地不得使用，用者墮惡作。諸比丘！許三種相應之地：依宣告者、備偶然使用者及在家人贈與者。」

（五）

爾時，具壽耶蘇奢病，為彼持藥來，諸比丘置屋外，為鼠所咬，為盜賊持去。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用協定相應之地。諸比丘！許四種相應之地：依宣告者、備偶然使用者、在家人贈與者及協定者是也。」

———二十四事誦品終———

三四

（一）

爾時，于跋提城住居士旻荼。彼有如此神通威力，即：洗頭、掃除穀倉已，坐于戶外，使穀從虛空流下，盛滿穀倉。其妻亦有如此神通威力，即：坐于一升鍋與汁器之傍，供奴僕食用，彼女不離座時，是〔食〕無盡。其兒亦有如此神通威力，即：取盛一千金囊，與奴僕六月薪資，在彼手中時，〔金囊〕無盡。

（二）

其兒婦亦有如此神通威力，即：坐于四斗籠傍與奴僕六月之食，彼女不離座時，〔其食〕無盡。其奴亦有如此神通威力，即：一犁耕遍七壟也。

（三）

摩竭國洗尼瓶沙王聞言：「我領土跋提城住居士旻荼，彼有如此神通威力，即：洗頭、掃除穀倉已，若坐于戶外，穀從虛空流下，盛滿穀倉。其妻亦有如此神通威力，即：坐于一升鍋與汁器之傍，供奴僕食用，彼女不離座時，〔食〕無盡。其兒亦有如此神通威力，即：取盛一千金之囊，與奴僕六月薪資，在彼手中時，〔金囊〕無盡。

（四）

其兒婦亦有如此神通威力，即：坐于四斗籠傍與奴僕六月之食，彼女不離座時，〔其食〕無盡。其奴亦有如此神通威力，即：一犁耕遍七壟也。」

（五）

時，摩竭國洗尼瓶沙王告一庶務大臣，言：「我領土跋提住居士旻荼，彼有如此神通威力，即……頭……遍七壟也。往見之，汝見則如我自見。」「唯！唯！大王！」彼大臣應諾摩竭國洗尼瓶沙王，率四部兵前往跋提。

（六）

次第到達跋提居士旻荼住處。至而言居士旻荼，曰：「居士！王命我言：『我領土……如我自見。』居士！我欲見汝之神通威力。」時，居士旻荼洗頭、掃除穀倉，坐于戶外時，穀從虛空流下，盛滿穀倉。「居士！我見汝神通威力已，欲見汝妻神通威力。」

（七）

時，居士旻荼命妻言：「若爾，供食于四部兵！」時，居士旻荼之妻坐于一升鍋與汁器傍，以食供四部兵，彼女不離座時，〔彼食〕無盡。「居士！我見汝妻神通威力已，欲見汝兒神通威力。」

（八）

時，居士旻荼命兒言：「若爾，與四部兵六月薪資！」時，居士旻荼之兒取盛一千金囊，與四部兵六月薪資，在彼手中時，〔金囊〕無盡。「居士！我見汝兒神通威力已，欲見汝兒婦神通威力。」

（九）

時，居士旻荼命兒婦言：「若爾，與四部兵六月之食！」時，居士旻荼兒婦坐于四斗籠傍，與四部兵六月之食，彼女不離座時，〔其食〕無盡。「居士！我見汝兒婦神通威力已，欲見汝奴神通威力。」「我奴神通威力應于田地見之。」「居士！且止！我已見汝奴之神通威力矣！」時，彼大臣率四部兵再還王舍城，至摩竭國洗尼瓶沙王住處。至而以此事白洗尼瓶沙王。

（一〇）

時，世尊于隨意間住毘舍離後，向跋提遊行，與一千二百五十大比丘俱。時，世尊順次遊行到跋提，于此，世尊住跋提勝葉林。

（一一）

居士旻荼聞言：「沙門瞿曇釋子由釋迦族出而出家，已至跋提，住跋提勝葉林。彼世尊瞿曇如此善名播揚，彼世尊、應供、等正覺、明行具足、善逝、世間解、無上、調御丈夫、天人師、佛、世尊也。彼于天、魔、梵之此世間，沙門、婆羅門、人、天之有情

界，說自證知、現證，說初善、中善、後善而具義理、備文句教法，說純一圓滿悉淨梵行。往見如此阿羅漢誠善事也。」

（一二）

時，居士旻荼駕善美車、乘善美車，隨善美車從跋提出，拜見世尊。多數諸外道見居士旻荼從遠方來，見居士旻荼言：「居士！汝往何處耶？」「我往拜見世尊沙門瞿曇也。」「居士！汝是作業論者，如何往見非作業論者沙門瞿曇耶？居士！沙門瞿曇乃非作業論者，說非作業法以教諸弟子者也。」

（一三）

時，居士旻荼心生思念：「彼必是世尊、應供、等正覺者也，所以此諸外道嫉妒也。」凡車可通即乘車往，然後下車步行，詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面時，世尊為居士旻荼順次說法，謂：施論……〔同第一　大犍度七（一〇）〕……以行師教不依他緣，白世尊言：「奇哉！……乃至……世尊！容我從今日起至命終，歸依為優婆塞。世尊！明日與比丘眾俱受我請食。」世尊默許。

（一四）

時，居士旻荼知世尊默許，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。時，居士旻荼是夜過後，調殊妙嚼食、噉食，以白世尊：「時到，已備調食。」時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，至居士旻荼家，至而與比丘眾俱坐于所設座上。

（一五）

時，居士旻荼之妻、兒、兒婦、奴僕詣世尊處。詣而敬禮世尊，坐于一面。世尊為彼等順次說法……乃至……以行師教不依他

緣，白世尊言：「……乃至……于此處，我等歸依世尊及法與比丘眾，世尊！容我等從今日起至命終，歸依為優婆塞。」

（一六）

時，居士旻荼于佛為上首比丘眾，親手供養殊妙噉食、噉食，令飽滿至示謝。〔見〕世尊食已，洗鉢與手，坐于一面。坐于一面已，居士旻荼白世尊言：「世尊住跋提間，我于佛為上首比丘眾，常恆以食供養。」時，世尊說法、教示居士旻荼……使之慶喜，即從座起離去。

（一七）

時，世尊于隨意間住跋提後，未諮居士旻荼，而與大比丘眾一千二百五十人俱，向阿牟多羅國遊行。居士旻荼聞：「世尊與大比丘眾一千二百五十人俱向阿牟多羅國遊行。」時，居士旻荼命奴僕等言：「以車載多量鹽、油、米、噉食來，及率一千二百五十放牛人與一千二百五十牝牛來，〔同〕見世尊，于所見處以鮮乳食供養。」

（一八）

時，居士旻荼于途中曠野見及世尊。時，居士旻荼詣世尊處，詣而敬禮世尊，立于一面。立于一面已，居士旻荼白世尊言：「世尊！明日與比丘眾俱受我請食。」世尊默許。時，居士旻荼知世尊默許，敬禮世尊，右繞而離去。時，居士旻荼是夜過後，調殊妙噉食、噉食，白世尊：「時到，已調食。」

（一九）

時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，到居士旻荼住處。到而與比丘眾俱坐于所設座上。時，居士旻荼令一千二百五十放牛人言：

「牽一一牝牛，奉一一比丘，以鮮乳供養。」時，居士旻荼于佛為上首比丘眾，親手供養殊妙嚼食、噉食及鮮乳，令飽滿至示謝。諸比丘疑懼而不受乳。〔世尊曰：〕「諸比丘！受之，食之！」

（二〇）

時，居士旻荼于佛為上首比丘眾，親手供養殊妙嚼食、噉食及鮮乳，令飽滿至示謝。見世尊食已，洗鉢與手，坐于一面。坐于一面已，居士旻荼白世尊言：「道有曠野，乏水、乏食，無道路糧，不易往。善哉！世尊！許諸比丘道路糧。」時，世尊說法、教示……使之慶喜，即從座起而離去。

（二一）

時，世尊以此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許五種牛乳，即：乳、酪、生酥、熟酥、醍醐也。諸比丘！道路有曠野，乏水、乏食，無道路糧，不易往。諸比丘！許求道路糧，〔求〕需米者米、需菽者菽、需豆者豆、需鹽者鹽、需糖者糖、需油者油、需醍醐者醍醐。諸比丘！有具信心、具淨心眾人，彼等以黃金授與相應者，言：『以此施與相應尊者。』諸比丘！以此若得相應者，許受之。諸比丘！但以任何方便亦不得受金、銀。此我言也。」

三五

（一）

時，世尊順次遊行到阿摩那。螺髻梵志翅迦聞言：「沙門瞿曇釋子由釋迦族出而出家，至阿摩那住于阿摩那。彼世尊瞿曇如此善名遍揚……乃至……見如此阿羅漢，善事也。」時，螺髻梵志翅迦心生思念：「我應為沙門瞿曇持何而往耶？」

（二）

時，螺髻梵志翅迦心生思念：「彼婆羅門中諸古仙是真言作者、真言誦者。今日婆羅門嘗唱誦彼等〔所作〕諸古咒文，且集成今日隨唱隨誦、所說隨說、所言隨言之文句，〔古仙者：〕阿咤摩、婆摩、婆摩提婆、毘沙蜜多、耶婆提伽、鴦耆羅、跋羅睒闍婆悉咤、迦葉、婆咎也。彼等雖止夜食，亦離非時食，然受如此飲料。

（三）

沙門瞿曇亦止夜食，離非時食，沙門瞿曇亦受如此飲料乎？」如是調甚多飲料，裝于擔杆，詣世尊住處。詣而與世尊互相致候，交談歡喜、感銘之言，立于一面。立于一面已，螺髻梵志翅迦白世尊言：「瞿曇！請受我食。」「翅迦！若爾，即施與諸比丘。」諸比丘疑懼不受。「諸比丘！受之，食之。」

（四）

時，螺髻梵志翅迦于佛為上首僧伽，親手供養多量飲料，令飽滿至示謝。見世尊洗手與鉢，坐于一面。坐于一面時，世尊為螺髻梵志翅迦說法、教示……使之慶喜。時，螺髻梵志翅迦〔聞〕世尊說法、教示……使之慶喜時，白世尊言：「瞿曇！明日與比丘眾俱受我請食。」

（五）

「翅迦！有大比丘眾一千二百五十人，且汝信仰婆羅門也。」螺髻梵志翅迦再次白世尊言：「瞿曇！有大比丘眾一千二百五十人，而我信仰婆羅門也。縱然，明日亦與比丘眾俱受我請食。」「翅迦！大比丘眾……信仰……也。」螺髻梵志翅迦三次白世尊言：「瞿曇！有大比丘眾……受我請食。」世尊默許。時，螺髻梵志翅迦知世尊默許，從座起而離去。

（六）

時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許八種飲料，謂：菴婆果漿、閻浮果漿、俱羅果漿、芭蕉漿、蜜漿、蒲桃果漿、舍樓伽漿、波樓果漿也。諸比丘！許一切果汁，但除穀汁。諸比丘！許一切葉汁，但除菜汁。諸比丘！許一切花汁，但除蜜花汁。諸比丘！許甘蔗汁。」

（七）

時，螺髻梵志翅迦是夜過後，于自己庵室，調殊妙噉食、噉食，白世尊：「瞿曇！時到，請食調食。」時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，至螺髻梵志翅迦庵室，至而與比丘眾俱坐于所設座上。時，螺髻梵志翅迦于佛為上首比丘眾，親手供養殊妙噉食、噉食，令飽滿至示謝。見世尊食已，洗手及鉢，坐于一面。

（八）

坐于一面時，世尊以偈隨喜螺髻梵志翅迦曰：

天祠供養火為最　婆羅門書薩鞞帝
于諸人中王為首　諸江河中海第一
諸星宿中月為元　于照明中日絕貴
于願福德諸聖者　僧伽至上無倫比

時，世尊以此等偈，隨喜螺髻梵志翅迦已，即從座起離去。

三六

（一）

時，世尊于隨意間住阿摩那後，與大比丘眾一千二百五十人俱，向拘尸那遊行。拘尸那摩羅子等聞：「世尊與大比丘眾一千二

百五十人俱來拘尸那。」彼等相約而言：「若有不迎世尊者，罰五百金。」爾時，有摩羅子盧夷者，具壽阿難友也。時，世尊順次遊行到拘尸那。

（二）

時，拘尸那摩羅子等迎世尊。時，摩羅子盧夷迎世尊，至具壽阿難住處。至而敬禮具壽阿難，立于一面。立于一面時，具壽阿難言摩羅子盧夷曰：「盧夷！汝迎世尊甚善。」「阿難！我非敬佛、法、僧。諸親族相約：『若有不迎世尊者，罰五百金。』阿難！我唯恐親族受罰，故來迎世尊。」時，具壽阿難不悅：「摩羅子盧夷為何如此言耶？」

（三）

時，具壽阿難詣世尊住處，詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，具壽阿難白世尊言：「此處摩羅子盧夷是卓著有名人也。如此有名人，若于此法與律得信心者，即威力大也。善哉！世尊！佑助摩羅子盧夷于此法與律得生信心！」「阿難！如來佑助摩羅子盧夷于此法與律，得生信心，非難事也。」

（四）

時，世尊令慈心遍滿摩羅子盧夷，乃從座起而入精舍。時，摩羅子盧夷以蒙世尊慈心遍滿，譬如犢于母牛，從精舍至精舍，從房舍至房舍，問諸比丘言：「彼世尊、應供、等正覺今在何處耶？我等欲見彼世尊、應供、等正覺者。」「盧夷！彼處有閉戶精舍，汝須靜往，徐入外廊，謦咳叩門，世尊當為汝開門矣。」

（五）

時，摩羅子盧夷靜詣彼閉戶精舍，徐入外廊，謦咳叩門，世尊即為開門。時，摩羅子盧夷進入精舍，敬禮世尊，坐于一面。坐于一面時，世尊為摩羅子盧夷順次說法，謂：施論……乃至……以行師教不依他緣，白世尊言：「善哉！請唯受我衣服、飲食、臥具、醫藥，拒受他人者。」「盧夷！已有學智、有學見、見法諸人，亦如汝思念：『請唯受我衣服、飲食、臥具、醫藥，他人者拒受。』盧夷！故汝與、他與皆受也。」

（六）

時，拘尸那相續行供養殊妙飲食。時，摩羅子盧夷未值輪班，心生思念：「我當觀察食堂，應調食堂所無者。」時，摩羅子盧夷觀察食堂，無有二種：菜與堅餅。時，摩羅子盧夷至具壽阿難住處。至而言具壽阿難：「阿難！此處未值輪班，心生思念：『我當觀察食堂，應調食堂所無者。』阿難！我觀察食堂，無有二種：菜與堅餅。阿難！我若調菜與堅餅者，世尊受否？」「盧夷！若爾，我請問世尊。」

（七）

時，具壽阿難以此事白世尊，〔世尊曰：〕「阿難！若爾，即調。」〔阿難言：〕「盧夷！若爾，即調。」時，摩羅子盧夷是夜過後，調多量菜與堅餅，供奉世尊而言：「世尊！請受我菜與堅餅。」「盧夷！若爾，施與諸比丘。」諸比丘疑懼不敢受。〔世尊曰：〕「諸比丘！受之，食之。」

（八）

時，摩羅子盧夷以多量菜與堅餅，親手供養佛為上首比丘眾，令飽滿至示謝。見世尊洗手與鉢，坐于一面。坐于一面已，世尊為

摩羅子盧夷說法、教示……使之慶喜，即從座起離去。時，世尊依此因緣說法，告比丘等曰：「諸比丘！許用一切菜及堅餅。」

三七

（一）

時，世尊于隨意間住拘尸那後，與大比丘眾一千二百五十人俱向阿頭遊行。爾時，有一老年出家人住于阿頭，舊為剃頭師。彼有二兒，聲音美妙而有辯才，堪能承師傳己身之剃頭業，悉能善巧。

（二）

彼老年出家人聞言：「世尊與大比丘眾一千二百五十人俱來阿頭。」時，彼老年出家人言彼二兒曰：「世尊與大比丘眾一千二百五十人俱來阿頭。汝等即往，手持剃具，家家巡迴，以瓶集鹽、油、大米、嚼食，世尊若來，我等作粥。」

（三）

「唯！唯！」彼二兒應諾彼老年出家人，即持剃具，家家巡迴以瓶集鹽、油、米、嚼食。眾人見彼二兒聲音美妙而有辯才，不欲行事者亦承起行之，承行並給與甚多。時，彼二兒集得多量鹽、油、米、嚼食矣。

（四）

時，世尊順次遊行到阿頭。于是，世尊住阿頭打穀場。時，彼老年出家人是夜過後，調多量粥，供奉世尊言：「世尊！請受我粥。」如來知而故問……〔同第一　大犍度三一（四）〕……制定聲聞學處。時，世尊言彼老年出家人曰：「比丘！此粥從何處得耶？」時，彼老年比丘以彼事白世尊。

（五）

佛世尊呵責曰：「愚人！非相合、非隨順、非相稱、非沙門法、非相應、非事也。愚人！如何汝出家而受不相應物耶？愚人！如此令未信者不信……。」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！出家不得受不相應物，受者墮惡作。諸比丘！雖是舊剃師亦不得藏剃刀，藏者墮惡作。」

三八

（一）

時，世尊于隨意間住阿頭後，向舍衛城遊行，次第遊行至舍衛城。于是世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。爾時，舍衛城多豐富果實嚼食。時，諸比丘心生思念：「世尊許果實嚼食耶？或不許耶？」以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許一切之果實嚼食。」

三九

（一）

時，以僧伽所有之種子種一在家人地，以一在家人所有之種子種僧伽地。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！以僧伽所有之種子種一在家人地者，應與部分後受用；以一在家人所有之種子種僧伽地者，應與部分後受用。」

四〇

（一）

爾時，于各種事，諸比丘心生疑懼：「世尊許耶？或不許耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！如此，我雖未

禁曰：『不相應。』若順不相應事，違相應事者，此，汝等為不相應也。諸比丘！如此，我雖未禁曰：『不相應。』若隨順相應事，違不相應事者，此，汝等為相應也。諸比丘！如此，我雖未許曰：『相應。』若順不相應事，違相應事者，此，汝等為不相應也。諸比丘！如此，我雖未許曰：『相應。』若順相應事，違不相應事者，此，汝等為相應也。」

（二）

時，諸比丘心生思念：「若以時藥和合于時分藥者，是相應耶？是不相應耶？若以時藥和合于七日藥者，是相應耶？是不相應耶？若以時藥和合于盡形壽藥者，是相應耶？是不相應耶？若以時分藥和合于七日藥者，是相應耶？是不相應耶？若以時分藥和合于盡形壽藥者，是相應耶？是不相應耶？若以七日藥和合于盡形壽藥者，是相應耶？是不相應耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（三）

「諸比丘！以時藥和合時分藥，即日受者，于正時為相應，但于非時，即不相應。諸比丘！以時藥和合七日藥，即日受者，于正時為相應，但于非時，即不相應。諸比丘！以時藥和合于盡形壽藥，即日受者，于正時為相應，但于非時，即不相應。諸比丘！以時分藥和合于七日藥，即日受者，于時分為相應，但過時分者，即不相應。諸比丘！以時分藥和合于盡形壽藥，即日受者，于時分為相應，但過時分者，即不相應。諸比丘！以七日藥和合于盡形壽藥者，于七日為相應，但過七日者，即不相應。」

此犍度有一百另六事。攝頌曰：

秋時病・非時　脂根及粉末
澀・葉・果・樹脂　鹽・牛糞・粉末
篩・肉・及塗藥・　香料・塗藥筐

蓋・篦及篦筐　袋・肩紐・纏絲
頭油・及灌鼻　灌鼻筒・烟・筒
蓋・袋・煮油・酒　混過多・塗藥
壺・發汗・晡法　大發汗・藥湯
浴室・血及角　塗足藥・足油
刀・澀・胡麻膏　敷著布・繃帶
芥子粉・燻・片　瘡油・亞麻布
污物・受及屎　作者・土・灰汁
溲浸呵利勒　香料吐下藥
澄明・自然汁　人工・自然汁
肉汁及山崖　守園人・七日
糖・豆・及酸粥　自煮及更煮
再許與飢饉　果實並胡麻
嚼食・前時食　熱病・無種子
痔・灌腸・蘇卑　人肉・象・馬・狗
蛇・獅子・虎・豹　熊及鬣狗肉
輪班・粥・得新　餘人・須尼陀
糖及休息堂　此菴婆婆梨
隸車人恆河　拘利村・諦論
為己殺之肉　豐饒及再禁
雲及耶蘇奢　旻荼並牛乳
乃至道路糧　翅鳲及菴婆
閻浮與俱羅　芭蕉・蜜・蒲桃
舍樓伽・波樓　乃至菜・堅餅
阿頭剃頭師　舍衛城・果實
種子・各種事　以及時藥等

第七　迦絺那衣犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。爾時，波利邑比丘有三十人，皆住于林中，皆食乞食，皆著糞掃衣，皆唯有三衣。往舍衛城拜見世尊，時近入雨安居，但不及于舍衛城入雨安居，而途中于娑竭陀入雨安居。彼等疲勞而住雨安居，〔念：〕「世尊雖住距此六由旬近處，我等不得見世尊。」時，彼諸比丘經三月住雨安居已，而行自恣，雨水溢滿，泥水流出，衣服皆濕而彼等疲勞，詣舍衛城祇樹給孤獨園世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。

（二）

佛世尊與諸客比丘互相致問是常法也。時，世尊言彼諸比丘曰：「諸比丘！堪忍否？滿足否？和合相喜而無爭，安樂住雨安居否？不困疲于乞食否？」「世尊！堪忍，世尊！滿足，我等和合相喜無爭，住雨安居無困疲于乞食。于此，我等三十人是波利邑比丘，欲來舍衛城拜見世尊，時近入雨安居，但不及于舍衛城入雨安居，乃于途中娑竭陀入雨安居。我等疲勞住雨安居，〔念：〕『世尊雖住距此六由旬近處，我等不得拜見世尊。』時，我等經三月住雨安居已，乃行自恣，雨水溢滿，泥水流出，衣服皆濕，疲勞行路而來。」

（三）

時，世尊以此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！住雨安居比丘，許受迦絺那衣。諸比丘！汝等受迦絺那衣者，有五事相應〔許可〕，謂：〔食前食後〕不囑〔比丘〕而入聚落、離三衣而宿、別

眾食、盡受須要量之衣、受衣者可持〔彼衣〕。諸比丘！汝等受迦絺那衣者，有如此五事相應。諸比丘！受迦絺那衣時，應如此為之：

（四）

聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！僧伽得此迦絺那衣物，若僧伽機熟者，僧伽以此迦絺那衣物與某甲比丘，作迦絺那衣。此乃表白。諸大德！請聽我言！僧伽得此迦絺那衣物，僧伽以此迦絺那衣物，與某甲比丘，作迦絺那衣。以此迦絺那衣物與某甲比丘，作迦絺那衣，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽已以此迦絺那衣物與某甲比丘，作迦絺那衣。具壽聽故默然，我如此了知。』

（五）

諸比丘！如此為成受迦絺那衣者，如此為不成受。諸比丘！如何為不成受迦絺那衣耶？唯作輾治不成受迦絺那衣，唯作浣洗不成受迦絺那衣，唯作衣計量不成受迦絺那衣，唯作裁斷不成受迦絺那衣，唯安緣邊不成受迦絺那衣，唯作假綴不成受迦絺那衣，唯作綴合不成受迦絺那衣，唯作固縫不成受迦絺那衣，唯作重縫不成受迦絺那衣，唯作背縫不成受迦絺那衣，唯作合縫不成受迦絺那衣，唯作一染不成受迦絺那衣，豫待作迦絺那衣決定者不成受迦絺那衣，作〔與迦絺那衣預〕談者不成受迦絺那衣，唯作暫時物者不成受迦絺那衣，若延期者不成受迦絺那衣，〔以過一夜而〕棄捨者不成受迦絺那衣，不相應者不成受迦絺那衣，無僧伽梨衣時不成受迦絺那衣，無鬱多羅僧衣時不成受迦絺那衣，無安陀會衣時不成受迦絺那衣；五條或過五條，不即日裁斷作緣時，為不成受迦絺那衣；異比丘作時，為不成受迦絺那衣；雖正受迦絺那衣，但境界外人隨喜

者，如此為不成受迦絺那衣。諸比丘！如此者即為不成受迦絺那衣。

（六）

諸比丘！如何為成受迦絺那衣耶？以新衣成者為成受迦絺那衣，以等新衣成者為成受迦絺那衣，以故衣成者為成受迦絺那衣，以糞掃衣成者為成受迦絺那衣，以落于市場〔門前成〕者為成受迦絺那衣，不決定豫待作迦絺那衣為成受迦絺那衣，不豫言與迦絺那衣為成受迦絺那衣，非作暫時物為成受迦絺那衣，不延期為成受迦絺那衣，〔過一夜〕不捨棄者為成受迦絺那衣，若相應為成受迦絺那衣，有僧伽梨衣時為成受迦絺那衣，有鬱多羅僧衣時為成受迦絺那衣，有安陀會衣時為成受迦絺那衣；五條或過五條，即日裁斷作緣時，為成受迦絺那衣；其人作時，為成受迦絺那衣；境界內隨喜受迦絺那衣者，如此為成受迦絺那衣。諸比丘！如此者，為成受迦絺那衣。

（七）

諸比丘！如何為捨迦絺那衣耶？諸比丘！捨迦絺那衣有八事，謂：離去、〔衣〕成、決定〔不作〕、失、聞〔僧伽已捨迦絺那衣〕、斷期望、出境界、與〔僧伽〕共捨。

二

（一）

有比丘受迦絺那衣，持已作之衣，念：『不還』而去，此比丘依去而捨迦絺那衣也。有比丘受迦絺那衣，持衣而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成而捨迦絺那衣也。有比丘受迦絺那衣，持衣而去，往詣界外，念：『我不作

衣，亦不還。』此比丘由決定〔不作〕而捨迦絺那衣也。有比丘受迦絺那衣，持衣而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，當作衣時失去衣，此比丘由失而捨迦絺那衣也。

（二）

有比丘受迦絺那衣，持衣，念：『還』而去，往詣界外作衣，作衣已，聞：『于彼住處捨迦絺那衣。』此比丘由聞以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣而念：『還』而去，往詣界外作衣，作衣已，念：『還！還！』但于界外住時已過迦絺那衣期限，此比丘由過期限，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣而念：『還』而去，往界外作衣，作衣已，念：『還！還！』而〔還時〕適迦絺那衣期限至，此比丘與諸比丘共捨迦絺那衣也。

———持〔迦絺那衣〕七事終———

三

（一）

有比丘受迦絺那衣，受持已作之衣，念：『不還』而去，此比丘由去以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，受持衣而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，受持衣而去，往詣界外，念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決定〔不作〕，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，受持衣而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，當作衣時失去衣，此比丘由失以捨迦絺那衣。

（二）

有比丘受迦絺那衣，受持衣已，念：『還』而去，往詣界外作衣，作衣已，聞：『于彼住處捨迦絺那衣。』此比丘由聞以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，受持衣已，念：『還』而去，往詣界外作衣，作衣已，念：『還！還！』于界外已過迦絺那衣期限，此比丘由過期限，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，受持衣已，念：『還』而去，往詣界外作衣，作衣已，念：『還！還！』〔還時〕適迦絺那衣期限至，此比丘與諸比丘共捨迦絺那衣。

———受持〔迦絺那衣〕七事終
———

四

（一）

有比丘受迦絺那衣，持未成衣而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成而捨迦絺那衣……〔同第七　迦絺那衣犍度二。但將『持衣』改為『持未成衣』〕……諸比丘共捨迦絺那衣。

———持〔迦絺那衣〕六事終
———

五

（一）

有比丘受迦絺那衣，受持未成衣而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣……

〔同第七　迦絺那衣犍度三。但將『受持衣』改為『受持未成衣』〕……諸比丘共捨迦絺那衣。

———受持〔迦絺那衣〕六事終———

六

（一）

有比丘受迦絺那衣，持衣料而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料而去，往詣界外，念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決定〔不作〕以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料而去，往詣界外，念：『我于此處作衣不還』而作衣，正作衣時而失去，此比丘由失而捨迦絺那衣。

（二）

有比丘受迦絺那衣，持衣料，念：『不還』而去，往詣界外，念：『我于此處作衣』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料，念：『不還』而去，往詣界外，念：『我不作衣』，此比丘由發心〔不作〕，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料，念：『不還』而去，往詣界外，念：『我于此處作衣』而作衣，當作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。

（三）

有比丘受迦絺那衣，持衣料躊躇于『還』或『不還』，未決定而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由

〔衣〕成，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料躊躇于『還』或『不還』，未決定而去，往詣界外，念：『我不作衣亦不還。』此比丘由決定〔不作〕，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料躊躇于『還』或『不還』，未決定而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，正作時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。

（四）

有比丘受迦絺那衣，持衣料，念：『還』時而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料，念：『還』而去，往詣界外，念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決定〔不作〕，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料，念：『還』時而去，往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，正作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料而念：『還』時而去，往詣界外作衣，作衣已，聞：『于彼住處捨迦絺那衣。』此比丘由聞以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料，念：『還』時而去，往詣界外作衣，作衣已，念：『還！還！』而于界外已過迦絺那衣期限，此比丘由過期限，捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，持衣料，念：『還』時而去，往詣界外作衣，作衣已，念：『還！還！』而〔還時〕適迦絺那衣之期限至，此比丘與他比丘共捨迦絺那衣。

七

（一）

有比丘受迦絺那衣，受持衣料而去……〔同第七　迦絺那衣犍度六（一）～（四）。但『持衣料』改為『受持衣料』〕……有比

丘受迦絺那衣，持未成衣而去……〔同第七　迦絺那衣犍度六（一）～（四）。但『持衣料』改為『持未成衣』〕……有比丘受迦絺那衣，受持未成衣而去……〔同第七　迦絺那衣犍度六（一）～（四）。但『持衣料』改為『受持未成衣』〕……與比丘等共捨迦絺那衣。

———持〔迦絺那衣〕誦品終
———

八

（一）

有比丘受迦絺那衣，期望衣而去，往詣界外而期望衣，不望而得，望而不得，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，期望衣……念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決定〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處作衣，不還』而作衣，正作衣而失去，此比丘由失而捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，期望衣而去，往詣界外，念：『我于此處望衣，不還』而期望衣時，斷衣之望，此比丘由斷衣之期望，而捨迦絺那衣也。

（二）

有比丘受迦絺那衣，期望衣，念：『不還』而去，往詣界外期望衣，不望而得，望而不得，念：『我于此處作衣』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣……念：『我不作衣。』此比丘由決定〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處作衣』而作衣，正作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，期望衣，念：『不還！』往詣界外，念：『我

于此處期待衣』而期望衣，斷衣之望，此比丘由斷衣之期望，以捨迦絺那衣。

（三）

有比丘受迦絺那衣，期望衣，躊躇于『還』或『不還』，未決定而去，往詣界外期望衣，不望而得，望而不得，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。……念：『我不作衣，亦不還！』此比丘由決定〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處作衣，不還』而作衣，當作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，期望衣，躊躇于『還』或『不還』，未決定而去，往詣界外，念：『我于此處期待衣，不還』而期望衣，斷衣之望，此比丘由斷衣之期望而捨迦絺那衣。

———非望十二事終———

九

（一）

有比丘受迦絺那衣而期望衣，念：『還』而去，往詣界外期望衣，望而得，不望不得，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。……念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決定〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處作衣，不還』而作衣，正作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，期望衣，念：『還』時而去，往詣界外，念：『我于此處期待衣，不還』而望衣，斷衣之望，此比丘由斷衣之望，以捨迦絺那衣。

（二）

有比丘受迦絺那衣，期望衣，念：『還』時而去，往詣界外，聞：『于彼住處捨迦絺那衣。』念：『于彼住處捨迦絺那衣故，我于此處期待衣。』而望衣，望而得，不望而不得，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。……念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決定〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處作衣，不還』而作衣，正作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，望衣，念：『還』時而去，往詣界外，聞：『于彼住處捨迦絺那衣。』念：『于彼住處捨迦絺那衣故，我于此處期待衣，不還』而望衣，斷衣之望，此比丘由斷衣之望以捨迦絺那衣。

（三）

有比丘受迦絺那衣，期望衣，念：『還』時而去，往詣界外望衣，望而得，不望而不得，令作衣，作衣已，聞：『于彼住處捨迦絺那衣。』此比丘由聞以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，期望衣，念：『還』時而去，往詣界外，念：『我于此處期待衣，不還』而望衣，斷衣之望，此比丘由斷衣之望以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣而期望衣，念：『還』時而去，往詣界外望衣，望而得，不望而不得，令作衣，作衣已，念：『還！還！』但已過迦絺那衣期限，此比丘由出境界以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，期望衣，念：『還』時而去，往詣界外望衣，望而得，不望而不得，令作衣，作衣已，念：『還！還！』迦絺那衣期限至，此比丘與比丘等共捨迦絺那衣。

———望十二事

終———

一〇

（一）

有比丘受迦絺那衣，有事而去，往詣界外而生望衣念，不望而得，望而不得，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。……念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決心〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處作衣，不還』而作衣，當作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，有事而去，往詣界外，生望衣念，念：『我于此處期待衣，不還』而望衣，斷衣之期望，此比丘由斷衣之望，以捨迦絺那衣。

（二）

有比丘受迦絺那衣，有事，念：『不還』而去，往詣界外，生望衣念，望衣，不望而得，望而不得，念：『我于此處作衣』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。……念：『我不作衣。』此比丘由決心〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處作衣』而作衣，當作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，有事，念：『不還』而去，往詣界外，生望衣念，念：『我于此處期待衣』而望衣，斷衣之期望，此比丘由斷衣之望，以捨迦絺那衣。

（三）

有比丘受迦絺那衣，有事而躊躇于『還』或『不還』，未決定而去，往詣界外，生望衣念，望衣，不望而得，望而不得，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。……念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決心〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處作衣，不還』而作衣，當作衣時

而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，有事而躊躇于『還』或『不還』，未決定而去，往詣界外，生望衣念，念：『我于此處期待衣，不還』而望衣，斷衣之期望，此比丘由斷衣之望，以捨迦絺那衣。

———有事十二事終———

一一

（一）

有比丘受迦絺那衣，藏衣分，行走四方，至餘處，有諸比丘問：『汝于何處住雨安居耶？汝之衣分在何處耶？』彼言：『我于某甲住處住雨安居，我之衣分在彼處。』彼等言：『往持衣來，我等于此處為汝作衣。』彼往彼住處，問諸比丘言：『我衣分在何處耶？』彼等言：『汝之衣分乃此也，汝欲往何處耶？』彼言：『我往某甲住處，彼處諸比丘為我作衣。』彼等言：『且止！勿往！我等于此處為汝作衣。』彼念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣……乃至……此比丘決心〔不作〕，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣……乃至……此比丘由失以捨迦絺那衣。

（二）

有比丘受迦絺那衣，藏衣分而行走四方……『汝之衣分乃此也。』彼持衣往彼住處，途中有諸比丘，問：『汝往何處耶？』彼言：『我往某甲住處，彼處比丘等為我作衣。』彼等言：『且止！勿往！我等于此處為汝作衣。』彼念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。……彼念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決心〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：

『我于此處作衣，不還』而作衣，正作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。

（三）

有比丘受迦絺那衣，藏衣分而行走四方……『汝之衣分乃此也。』彼持衣往彼住處，往彼住處而念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。……彼念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決心〔不作〕，以捨迦絺那衣。……念：『我于此處不作衣，亦不還』而作衣，當作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。

———儲藏九事終———

一二

（一）

有比丘受迦絺那衣，求安樂住處，持衣而去，念：『我往某甲住處，于其處得住安樂；若不得安樂者，則往某甲住處，于其處得住安樂；若不得安樂者，則往某甲住處，于其處得住安樂；若不得安樂者，則還。』往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，此比丘由〔衣〕成，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，求安樂住處……念：『還！』往詣界外，念：『我不作衣，亦不還。』此比丘由決心〔不作〕，以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，求安樂住處……念：『還！』往詣界外，念：『我于此處作衣，不還』而作衣，當作衣時而失去，此比丘由失以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，求安樂住處……念：『還！』往詣界外作衣，作衣已，念：『還！還！』而于界外已過迦絺那衣期限，此比丘由過期限以捨迦絺那衣。有比丘受迦絺那衣，求安樂住處……念：『還！』往

詣界外作衣，作衣已，念：『還！還！』而〔還時〕適迦絺那衣期限至，此比丘與比丘等共捨迦絺那衣。

———安樂住處
五事終———

一三

（一）

諸比丘！迦絺那衣有二執受，有二非執受。諸比丘！何為迦絺那衣執受耶？住處執受與衣執受也。諸比丘！何為住處執受耶？諸比丘！此處有比丘，住其住處，或言『還』時，留戀而〔暫〕去，諸比丘！如此于住處執受也。諸比丘！何為衣執受耶？諸比丘！于此處有比丘，其衣或未作、或未成、或未斷衣之期望，諸比丘！如此衣執受也。諸比丘！如此迦絺那衣執受有二。

（二）

諸比丘！何為迦絺那衣非執受耶？住處非執受與衣非執受也。諸比丘！何為住處非執受耶？諸比丘！于此處有比丘捨棄、厭離、放棄、無待言『不還』而去，諸比丘！如此于住處非執受也。諸比丘！何為衣非執受耶？諸比丘！于此處有比丘，其衣或已作、或已失、或已滅、或已燒、或已斷衣之期望，諸比丘！如此于衣非執受也。諸比丘！如此迦絺那衣非執受有二也。」

此犍度有十二事，有一百十八說門。攝頌曰：

比丘三十波利邑　沙竭陀住疲憊身
住雨安居盡淋濕　往見勝者世間尊
此處迦絺那衣事　五事相應一一明
不囑・離衣・別眾食　但須受衣得則屬
迦絺那者一門足　表白受成受不成

輾治浣洗計量問　裁斷・安緣・假綴合
固縫・重縫・與背縫　合縫・染及決定・談
暫時・延期捨棄焉　不相應與無三時
過五條而不作緣　異比丘正受界外
隨喜時令不成受　迦絺那衣成受者
佛陀如此說是義　新衣・等・故・糞掃衣
市場前布不談之　不決定與非暫時
不捨棄與非延期　相應以及有三衣
五過五裁作緣時　人作界內正隨喜
如上受迦絺那衣　捨・中一一有八事
去・成・發心・失與聞　斷望・出界・共捨之
持已作衣去不還　依去捨迦絺那衣
持衣界外作不還　依成捨迦絺那衣
持衣界外作不還　依發心捨迦絺衣
持衣界外作不還　思惟此迦絺那衣
當正作時即失去　依失捨迦絺那衣
還持往界外作衣　作已聞言說捨之
由聞捨迦絺那衣　還往界外令作衣
作已期過未來歸　此由身出境界外
而捨彼迦絺那衣　還往界外令作衣
作已還來限正著　與他比丘等共捨
迦絺那衣捨磊落　持與受持次七七
去缺未成六次第　持往界外念令作
已成發心・失三事　不還持往界外作
已成・發心・失有三　次無決意有三類
還來持往界外作　作與成捨未決三
發心・失・聞・出境界　與他共生十五類
受持・未成・及受持　此等四重總十五
望・非望所用有三　亦分門類列其間
知此乃依于理趣　三度十二有十二
藏有九種安樂五　執受・非執受兩類
如是如是依理趣　說攝頌已百十八

第八　衣犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。時，毘舍離富庶繁榮，人集民多而豐饒，有七千七百七殿樓、七千七百七重閣、七千七百七遊園、七千七百七蓮池。有淫女菴婆婆梨，端麗、樂見、殊妙、可欣，具足殊勝美貌，善能歌舞音曲，為愛樂眾所好，一夜受五十金，因此毘舍離愈益繁榮也。

（二）

時，王舍城有一住人，有事往毘舍離。王舍城住人見毘舍離富庶繁榮，人集民多而豐饒，有七千七百七殿樓……七千七百七蓮池，又見淫女菴婆婆梨端麗、樂見、殊妙……愈益繁榮。時，王舍城住人彼事完了，還王舍城詣摩竭國洗尼瓶沙王住處。詣而言摩竭國洗尼瓶沙王：「大王！毘舍離富庶繁榮……愈益繁榮。大王！願我等亦安置淫女。」「若爾！覓可安置為淫女之童女來。」

（三）

爾時，王舍城有童女名為娑羅跋提，具足端麗、樂見、殊妙、可欣而殊勝美貌。時，王舍城住人安置童女娑羅跋提為淫女。不久時，淫女娑羅跋提善能歌舞音曲，為愛樂人所好，一夜受百金。時，淫女娑羅跋提不久有娠。時，淫女娑羅跋提心生思念：「妊婦為男子所不好，若人于我言：『淫女娑羅跋提有娠。』時，則減我一切恭敬，我當稱病。」時，淫女娑羅跋提命守門人，言：「守門人！任何人勿令入，若有問我者，則言『病矣』。」「唯！唯！」彼守門人應諾淫女娑羅跋提。

（四）

時，淫女娑羅跋提胎熟而生男兒。時，淫女娑羅跋提命婢言：「將此童嬰盛于故箕持去，棄塵堆中。」「唯！唯！」彼婢應諾淫女娑羅跋提，將彼童嬰盛于故箕持去，棄塵堆中。爾時，有名無畏王子，清晨往奉事王，見群鴉圍彼童嬰，見而問眾人曰：「群鴉圍何耶？」「王子！圍童嬰也。」「尚活耶？」「王子！尚活！」「若爾，將此童嬰抱我後宮，與諸乳母令養育之。」「王子！唯！唯！」彼眾人應諾無畏王子，將彼童嬰送無畏王子後宮，與諸乳母，言：「請予養育！」言彼「尚活」故，取名「耆婆」，王子所養故取名「童子」。

（五）

時，耆婆童子不久得識分別。時，耆婆童子至無畏王子住處，至而言無畏王子：「誰是我母耶？誰是我父耶？」「耆婆！我不知汝母，我汝父也，我令養汝也。」時，耆婆童子心生思念：「若無才技，難住王家，我當學才技。」爾時，得叉尸羅國住名聞四方之醫者。

（六）

時，耆婆童子不告無畏王子，即向得叉尸羅國而去，順次到得叉尸羅國彼醫住處。到而言彼醫：「師！我欲學才技。」「耆婆！若爾，且學。」時，耆婆童子多學、易學、善受持、所學不忘失。時，經七歲矣，耆婆童子心生思念：「我多學、易學、善受持、所學不忘失。已經七歲，尚不見此才技邊際，何時見此技邊際耶？」

（七）

時，耆婆童子到彼醫住處，到而言彼醫：「師！我多學、易學、善受持，而所學不忘失，已經七歲，亦不見此才技邊際。何時見此才技邊際耶？」「耆婆！若爾！持鋤巡迴于得叉尸羅國四面一由旬時，凡有所見而非藥者，持來。」「師！唯！唯！」耆婆童子應諾彼醫，持鋤巡迴于得叉尸羅國四週一由旬，不見非藥。時，耆婆童子至彼醫住處。至而言彼醫：「師！我于得叉尸羅國之四面一由旬巡迴，所見無不是藥。」「耆婆！汝學已成，以此足以立生計矣。」如是，與耆婆童子少分川資。

（八）

時，耆婆童子持彼少分川資，向王舍城去。時，耆婆童子途中至娑竭陀國，彼少分川資罄盡。時，耆婆童子心生思念：「此道曠野，水少食少，無有川資，不易往也，我當覓路用川資。」爾時，有娑竭陀國長者婦，患七年頭痛，甚多名聞四方大醫雖來，皆不能癒，但取多量黃金而去。時，耆婆童子入娑竭陀國，問眾人言：「何人患病耶？我將治其人。」「師！彼長者婦患七年頭痛，師！往治長者婦。」

（九）

時，耆婆童子詣長者居士家。詣而命守門人言：「守門人！往言長者婦：『醫欲來見汝。』」「唯！唯！」彼守門人應諾耆婆童子，至長者婦住處。至而言長者婦：「醫欲來見汝。」「守門人！如何醫者耶？」「年少人。」「守門人！且止，年少醫者于我何為？名聞四方大醫多來，亦不能治癒，但多取黃金去也。」

（一〇）

時，彼守門人至耆婆童子住處。至而言耆婆童子：「師！長者婦言：『守門人！且止……去也。』」「守門人！往言長者婦：

『醫言：「始初勿與一物，若治癒時，與汝所欲。」』」「師！唯！唯！」彼守門人應諾耆婆童子，至長者婦住處。至而言長者婦：「醫言……與汝所欲。」「守門人！若爾，請醫來。」「唯！唯！」彼守門人應諾長者婦，至耆婆童子住處。至而言耆婆童子：「師！長者婦喚汝。」

（一一）

時，耆婆童子至長者婦住處。至而診察長者婦病，言長者婦曰：「須一合酥。」時，長者婦令與耆婆童子一合酥。時，耆婆童子將彼一合酥與種種藥俱煮，令長者婦仰臥牀上，以灌鼻孔。時，灌入鼻孔彼酥從口流出。時，長者婦吐于受器，而命婢言：「以綿拭取此酥。」

（一二）

時，耆婆童子心生思念：「希有哉！此主婦之慳吝也！此應棄之酥，以綿取之故也。我雖多用高價藥矣，彼女亦不與我些許酬報耶？」時，長者婦觀察耆婆童子變異，言耆婆童子曰：「師！如何愁耶？」「此處我心生思念：『希有哉！……耶？』」「師！我等在家人知如此儉約，此酥貴重，既作奴僕塗足藥品又點燃燈。師！勿愁，汝不失酬。」

（一三）

時，耆婆童子將長者婦七年頭痛，唯一次灌鼻而除去。時，長者婦癒矣，與耆婆童子四千金。其子曰：「我母癒矣！」與四千金。其兒婦曰：「我姑癒矣！」與四千金。長者居士曰：「我婦癒矣！」與四千金並奴婢車馬。時，耆婆童子持彼一萬六千金與奴婢車馬，向王舍城而去，順次至王舍城無畏王子住處。至而言無畏王子曰：「王子！此是我首次行醫所得，有一萬六千金與奴婢車馬，

王子！為養育費，敬請受之。」「耆婆！且止，為汝所有以住我後宮。」「王子！唯！唯！」耆婆童子應諾無畏王子，乃住無畏王子後宮。

（一四）

爾時，摩竭國洗尼瓶沙王患痔瘻，衣塗血。諸妃見之戲言：「王亦為經婦，起月華，王不久將生兒矣。」王羞愧。時，摩竭國洗尼瓶沙王言無畏王子：「無畏！我患如此病，衣塗血，諸妃見我而戲言：『……生兒矣。』無畏！覓能治我醫者來。」「大王！此處有醫耆婆，雖然年少，但甚賢能，彼將治大王。」「無畏！若爾，命醫耆婆前來治我。」

（一五）

時，無畏王子命耆婆童子言：「耆婆！前往治王。」「王子！唯！唯！」耆婆童子應諾無畏王子，手中持藥，至摩竭國洗尼瓶沙王住處。至而言摩竭國洗尼瓶沙王：「大王！看病。」時，耆婆童子唯一塗摩竭國洗尼瓶沙王，痔瘻除之。時，摩竭國洗尼瓶沙王癒矣。遂令五百婦女先飾一切莊嚴，次解下而令積集，言耆婆童子曰：「耆婆！此五百婦女一切莊嚴俱以歸汝。」「大王！且止，念我職分。」「耆婆！若爾，則侍我與後宮及佛為上首僧伽！」「唯！唯！大王！」耆婆童子應諾摩竭國洗尼瓶沙王。

（一六）

爾時，王舍城有長者患七年頭痛，甚多名聞四方大醫來，皆不能癒，但多取黃金而去。〔其後〕更且諸醫拒絕。一類醫言：「長者居士于第五日死矣！」一類醫言：「長者居士于第七日死矣！」時，王舍城住人心生思念：「此長者居士于王、于住人有大利益也，然今諸醫拒絕，一類醫言：『長者居士于第五日死矣！』一類

醫言：『長者居士于第七日死矣！』此處王醫耆婆雖然年少，甚是賢能，我當請王醫耆婆，治長者居士。」

（一七）

時，王舍城住人至摩竭國洗尼瓶沙王住處，至而言摩竭國洗尼瓶沙王：「大王！彼長者居士于大王、于住人，皆有大利益也。然今諸醫拒絕……『……死矣！』願大王命醫耆婆治長者居士。」時，摩竭國洗尼瓶沙王命耆婆童子曰：「耆婆！往治長者居士。」「大王！唯！唯！」耆婆童子應諾摩竭國洗尼瓶沙王，至長者居士住處。至而診察長者居士病，言長者居士：「居士！我若治癒汝者，以何酬我耶？」「師！以一切財寶歸汝，我將為汝奴。」

（一八）

「長者！汝能于七月間，于一面脅臥否？」「師！我能于七月間一面脅臥。」「長者！汝能七月間于他面脅臥否？」「師！我能七月間于他面脅臥。」「居士！汝能于七月間仰臥否？」「師！我能于七月間仰臥。」時，耆婆童子令長者居士臥于牀上而繫縛之，剃其頭皮，剃開頭蓋縫線，出二蟲，以示眾人言：「看！此處有二小蟲，一小而一大也。言：『長者居士第五日死』諸師，乃見此大蟲。于第五日長者居士腦漿即盡，依腦漿盡，長者居士乃死，彼諸師善見也。言：『長者居士第七日死』諸師，乃見此小蟲也。于七日長者居士腦漿即盡，依腦漿盡，長者居士乃死，彼諸師善見也。」如是，合頭蓋縫線，而縫頭皮，塗敷藥。

（一九）

時，經七日，長者居士言耆婆童子：「師！我不能于七月間以一面脅臥。」「居士！汝豈非于應諾我：『師！我能于七月間以一面脅臥』耶？」「師！我誠應諾矣，然我即死，我亦不能于七月間

以一面脅臥。」「居士！若爾，于七月間以他面脅臥之。」時，經七日，長者居士言耆婆童子：「師！我不能于七月間以他面脅臥。」「居士！汝豈非于應諾我：『師！我能于七月間以他面脅臥』耶？」「師！我誠應諾矣，然我即死，我亦不能于七月間以他面脅臥。」「居士！若爾，于七月間仰臥之。」時，經七日，長者居士乃言耆婆童子：「師！我不能于七月間仰臥。」「居士！汝豈非于應諾我：『師！我能于七月間仰臥』耶？」「師！我誠應諾矣，然我即死，我亦不能于七月間仰臥也。」

（二〇）

「居士！我若不如此說時，即此期間亦不臥也。我豫知『長者居士三七日痊癒。』長者！起！汝痊癒矣！憶所酬我。」「師！一切財寶以歸汝，我將為汝奴也。」「長者！且止！勿以一切財寶與我，勿為我奴，但與王百千金，與我百千金。」時，長者居士痊癒，與王百千金，與耆婆童子百千金。

（二一）

爾時，波羅柰國有長者子嬉戲于輪上，腸結腹內，因此飲粥全不消化，進食亦全不化，大小便不通也。因此，彼消瘦、醜弱、色惡、漸漸膚黃、身露脈結。時，波羅柰國長者心生思念：「我子患如此病，飲粥全不消化，進食亦全不化，大小便不通。因此彼消瘦、醜弱、色惡、漸漸膚黃、身露脈結。我當往王舍城請王命醫耆婆為我子醫治。」時，波羅柰國長者往王舍城至摩竭國洗尼瓶沙王住處。至而言摩竭國洗尼瓶沙王：「大王！我子患如此之病。粥……身露脈結。大王！願命醫耆婆，以治我子。」

（二二）

時，摩竭國洗尼瓶沙王命耆婆童子言：「耆婆！往治波羅梌長者子。」「大王！唯！唯！」耆婆童子應諾摩竭國洗尼瓶沙王，往波羅梌國，至波羅梌國長者子住處。至而診察波羅梌國長者子病，令眾人退，迴帳、將之繫于柱，令其婦立前，剝割腹皮，出腸結處，以示婦言：「看！此中汝夫病也。因此，飲粥全不消化，進食亦全不化，大小便不通。因此，彼消瘦、醜弱、色惡、漸漸膚黃、身露脈結也。」如是，解腸結處，復還腸于本處，縫腹皮，塗敷藥。時，波羅梌國長者子不久痊癒。時，波羅梌國長者念：「我子痊癒。」而與耆婆童子一萬六千金。時，耆婆童子取彼一萬六千金還王舍城。

（二三）

爾時，波羅殊提王患黃疸病，多聞名四方大醫來，亦不能癒，但多取黃金去。時，波羅殊提王遣使言摩竭國洗尼瓶沙王：「我患如此病。大王！願彼醫耆婆前來治我。」時，摩竭國洗尼瓶沙王命耆婆童子言：「耆婆！往尉禪國治波羅殊提王。」「大王！唯！唯！」耆婆童子應諾摩竭國洗尼瓶沙王，往尉禪國，至波羅殊提王住處。至而診察波羅殊提王疾病，言波羅殊提王：

（二四）

「大王！我將煮酥，大王！飲此耶？」「耆婆！且止！汝若得不用酥而為即為之，我厭嫌酥也。」時，耆婆童子心生思念：「此王有如此病，不用酥不能癒。我當煮有澀色、有澀香、有澀味酥。」時，耆婆童子合煮種種藥，並有澀色、有澀香、有澀味之酥。時，耆婆童子心生思念：「此王飲酥，于消化時將吐之。此王暴戾，必令殺我。」時，耆婆童子至波羅殊提王住處。至而言波羅殊提王：

（二五）

「大王！我等醫者如此須臾間，拔根集藥。大王！願命象、馬舍與諸門言：『令耆婆乘其所欲象、馬而往，令其由所欲門而往，令其于所欲時而出，令其于所欲時而入。』」時，波羅殊提王命車舍與諸門曰：「令耆婆乘其所欲車乘而往，令其由所欲門而往，令其于所欲時而出，令其于所欲時而入。」爾時，波羅殊提王有名跋陀羅婆提牝象，日走五十由旬。時，耆婆童子供酥于波羅殊提王言：「大王！飲澀。」時，耆婆童子令波羅殊提王飲酥已，往象舍，乘牝象跋陀羅婆提而出都城。

（二六）

時，波羅殊提王飲彼酥，消化而吐。時，波羅殊提王言人曰：「惡人耆婆令我飲酥，汝等覓醫耆婆！」「大王！彼乘牝象跋陀羅婆提出都城去也。」爾時，波羅殊提王有奴名烏，日行六十由旬，彼緣非人而受生也。時，波羅殊提王命奴烏言：「烏！往！言：『師！王喚汝。』喚醫耆婆來。烏！彼諸醫有多幻，凡彼給物盡皆勿受。」

（二七）

時，奴烏當耆婆童子于途中憍賞彌作朝食時追及之。時，奴烏言耆婆童子：「師！王喚汝。」「烏！我食間姑待！烏！汝亦食。」「師！且止！王命我言：『烏！彼諸醫有多幻，凡彼給物盡皆勿受。』」爾時，耆婆童子取手中藥，食阿摩勒果、飲水。時，耆婆童子言奴烏：「烏！汝亦食阿摩勒果、飲水。」

（二八）

時，奴烏念：「此醫〔自〕食阿摩勒果、飲水，不應有何惡作。」因此食阿摩勒果之半、飲水。彼食彼阿摩勒果之半已，即下痢。時，奴烏言耆婆童子：「師！我命存否？」言：「烏！勿畏！汝癒矣！王暴戾也，彼王令殺我，故我不還。」遂將牝象跋陀羅婆提載烏，向王舍城去，順次至王舍城摩竭國洗尼瓶沙王住處。至而以彼義白摩竭國洗尼瓶沙王，摩竭國洗尼瓶沙王言：「耆婆，汝不還亦善，彼王暴戾令殺汝也。」

（二九）

時，波羅殊提王病癒，遣使至耆婆童子處言：「耆婆！來！我賜與汝。」「大王！且止！念我職分。」爾時，波羅殊提王得一雙尸毘布、多布、多雙布、多百雙布、多千雙布，多百千雙布中為第一、最上、最首、最勝、最貴也。時，波羅殊提王送彼一雙尸毘布與耆婆童子。時，耆婆童子心生思念：「波羅殊提王送我一雙尸毘布，多布……最貴也。此除彼世尊、應供、等正覺者及摩竭國洗尼瓶沙王，其他人皆不應〔得〕。」

（三〇）

爾時，世尊身適不調。時，世尊告具壽阿難曰：「阿難！如來之身不調，如來欲服下劑。」時，具壽阿難至耆婆童子住處，至而言耆婆童子：「耆婆！如來身不調，如來欲服下劑。」「阿難！若爾，于數日間加冷濕于世尊身。」時，具壽阿難于數日間，加冷濕于世尊身已，至耆婆童子住處。至而言耆婆童子：「耆婆！冷濕如來身矣，請知是時！」

（三一）

時，耆婆童子心生思念：「我不宜奉粗糙下劑于世尊。」于是以三束優鉢花混種種藥，詣世尊住處。詣而奉世尊一束優鉢花言：

「世尊！請嗅此第一束優鉢花，若爾者，世尊乃十次下痢。」奉世尊第二束優鉢花言：「世尊！請嗅此第二束優鉢花，若爾，世尊乃十次下痢。」奉世尊第三束優鉢花言：「世尊！請嗅此第三束優鉢花，若爾，世尊乃十次下痢。如此，世尊總共將有三十次下痢。」時，耆婆童子奉三十次下痢藥，敬禮世尊，右繞而去。

（三二）

時，耆婆童子已出戶外，心生思念：「我奉世尊三十次下痢藥，但如來之身不調，世尊不得下痢三十次，世尊但有二十九次下痢。世尊若下痢後入浴，則世尊浴後將有一次下痢。如此則世尊總共有三十次下痢也。」時，世尊心知耆婆童子心所思念，告具壽阿難曰：「阿難！此處耆婆童子出于戶外，心生思念：『我奉世尊……。』阿難！若爾，調湯。」「唯！唯！」具壽阿難應諾世尊調湯。

（三三）

時，耆婆童子詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，耆婆童子白世尊：「世尊下痢耶？」「耆婆！我下痢矣。」「此處我出戶外，心生思念：『我奉世尊……。』世尊！請入浴，善逝！請入浴。」時，世尊以溫水浴之，世尊浴後再一次下痢。如此，世尊總共有三十次下痢。時，耆婆童子白世尊：「世尊！身癒之間，請止液食。」時，世尊之身不久即癒矣！

（三四）

時，耆婆童子持彼尸毘布一雙，詣世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，耆婆童子白世尊：「世尊！請許我一願。」「耆婆！諸如來已超越諸願。」「相應而無過者也。」「耆婆！且言！」「世尊與比丘眾皆用糞掃衣。我此尸毘布一雙乃波羅

殊提王所送之多布、多雙布、多百雙布、多千雙布、多百千雙布，為第一、最上、最首、最勝、最貴也。世尊！請受我尸毘布一雙，許奉比丘眾居士衣。世尊！請受尸毘布一雙。」時，世尊說法、教示、勸導、獎勵耆婆童子，使之慶喜。時，世尊說法、教示、勸導、獎勵，使之慶喜時，耆婆童子從座而起，敬禮世尊，右繞而去。

（三五）

時，世尊依此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許居士衣。欲者用糞掃衣，欲者受居士衣。諸比丘！無論所衣為何，知足總為我所讚歎。」王舍城眾人聞：「世尊許諸比丘受居士衣。」彼眾人歡喜踊躍念：「今我等應奉布施，行善業，世尊許諸比丘居士衣故也。」王舍城于一日中奉數千衣服。地方眾人聞：「世尊許諸比丘受居士衣也。」彼眾人歡喜踊躍念：「今我等應奉布施，行善業，世尊許奉諸比丘居士衣也。」地方一日中奉數千衣矣。

（三六）

爾時，僧伽得外衣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！我許外衣。」得絹外衣。世尊曰：「諸比丘！許絹外衣。」得氈氈。世尊曰：「諸比丘！許氈氈。」

———誦品一終———

二

（一）

爾時，迦尸國王送耆婆童子半雜迦尸衣之欽婆羅衣，價為迦尸衣之半也。時，耆婆童子持其半雜迦尸衣之欽婆羅衣，詣世尊住

處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，耆婆童子白世尊：「此半雜迦尸衣之欽婆羅衣乃迦尸國王所送，價為迦尸衣之半也。世尊！請受我欽婆羅衣，長夜長我福庇、安樂。」世尊乃受欽婆羅衣。時，世尊說法、教示耆婆童子……右繞而去。時，世尊依此因緣，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許欽婆羅衣。」

三

（一）

爾時，僧伽得種種衣。時，諸比丘心生思念：「世尊許是衣耶？不許耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許六種衣，芻麻、古貝、憍奢耶、欽婆羅、沙尼、麻布也。」

（二）

爾時，彼諸比丘受居士衣，彼等疑慮而不受糞掃衣言：「世尊許一衣，不許二也。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許受居士衣，並受糞掃衣。諸比丘！雖用兩者，但于知足，我所讚歎。」

四

（一）

爾時，有多數比丘在拘薩羅國旅途中，一類諸比丘為得糞掃衣，入于塚間，一類諸比丘不俱往。為得糞掃衣而入塚間諸比丘，得糞掃衣。不俱往諸比丘言：「分與我等！」彼等言：「我等不分與汝等，汝等何故不俱往耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若不欲，許不分與不俱往者。」

（二）

爾時，有多數比丘于拘薩羅國旅途中，一類諸比丘為得糞掃衣，入于塚間，一類諸比丘乃待之。為得糞掃衣而入塚間諸比丘，得糞掃衣。待之諸比丘言：「分與我等！」彼等言：「我等不分與汝等，汝等何故不入耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！縱不欲，但亦許分與待之者。」

（三）

爾時，有多數比丘在拘薩羅國旅途中，一類諸比丘為得糞掃衣，先入塚間，一類諸比丘後入之。為得糞掃衣，先入塚間諸比丘得糞掃衣，後入諸比丘不得。彼等言：「分與我等！」彼等言：「我等不分與汝等，汝等何故後入耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若不欲，許不分與後入者。」

（四）

爾時，有多數比丘在拘薩羅國旅途中，彼等為得糞掃衣，相俱入塚間。一類諸比丘得糞掃衣，一類諸比丘不得。不得諸比丘言：「分與我等！」彼等言：「我等不分與汝等，汝等何故不得耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！縱不欲，但亦許分與相俱入者。」

（五）

爾時，有多數比丘在拘薩羅國旅途中，彼等于相約後，為得糞掃衣而入塚間。一類諸比丘得糞掃衣，一類諸比丘不得。不得諸比丘言：「分與我等！」彼等言：「我等不分與汝等，汝等何故不得耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！縱不欲，但亦許分與相約後之俱入者。」

五

（一）

爾時，眾人持衣來〔僧〕園，但不得受納人，彼等乃持還，〔僧伽〕得衣甚少。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分比丘為衣受納人，〔謂：〕不墮貪欲，不墮瞋恚，不墮愚癡，不墮怖畏，知受與非受。

（二）

諸比丘！選時應如此為之：應先請比丘。請後，聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟者，僧伽應選某甲比丘為衣受納人。此乃表白。諸大德！請聽我言！僧伽選某甲比丘為衣受納人。選某甲比丘為衣受納人，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽選某甲比丘為衣受納人。具壽聽故默然，我如此了知。』」

六

（一）

爾時，受衣諸比丘，受衣已捨置其處而去，衣失。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分比丘為衣收藏人，〔謂：〕不墮貪欲……不墮怖畏，知藏與非藏也。

（二）

諸比丘！選時應如此為之：應先請比丘。請後，聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟者，僧伽應選某甲比丘為衣收藏人。此乃表白。諸大德！請聽我言！僧伽選某甲比丘為衣收藏人。選某甲比丘為衣收藏人，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽選某甲比丘為衣收藏人。具壽聽故默然，我如此了知。』」

七

（一）

爾時，藏衣諸比丘藏衣于廷堂、樹下、荏婆樹空洞中，為鼠、蟻所嚙。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「許諸比丘選僧伽所欲之庫，謂：精舍、平覆屋、殿樓、樓房、地窟也。

（二）

諸比丘！選時應如此為之：聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟者，僧伽選某甲精舍為庫。此乃表白。諸大德！請聽我言！僧伽選某甲精舍為庫。選某甲精舍為庫，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽選某甲精舍為庫。具壽聽故默然，我如此了知。』」

八

（一）

爾時，僧伽無守衣庫者。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分比丘為守庫人。〔謂：〕不墮貪欲、不墮……不墮怖畏，知守與非守。諸比丘！選時應如此為之……乃至……『……僧伽選某甲比丘為守庫人。具壽聽故默然，我如此了知。』」

（二）

爾時，六群比丘出守庫人。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得出守庫人，出者墮惡作。」

九

（一）

爾時，僧伽庫內有多數之衣。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許僧伽集會分配。」爾時，全僧伽分配而成騷擾。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分比丘為分衣人，〔謂：〕不墮貪欲……不墮怖畏、知分與非分也。諸比丘！選時應如此為之……乃至……『……僧伽選某甲比丘為分衣人。具壽聽故默然，我如此了知。』」

（二）

時，分衣諸比丘心生思念：「應如何分衣耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許先揀選、估計、分別良 否、算比丘數，以作諸組，然後分衣。」時，分衣諸比丘心生思念：「應如何分配諸沙彌衣耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許分半量與諸沙彌。」

（三）

爾時，有一比丘，取己配額，欲行越〔河〕。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！欲行越〔河〕者，許與其配額。」爾時，有一比丘取過分之配額，欲行越〔河〕。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若償還者，許與過分之配額。」

（四）

時，分衣諸比丘心生思念：「應如何與衣之配額耶？應依到來次第耶？或應隨老幼耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作草籤滿足所缺。」

一〇

（一）

爾時，諸比丘用牛糞、黃土染衣，衣色醜惡。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許六種染料，謂：樹根染料，樹幹染料，樹皮染料，葉染料，花染料，果染料也。」

（二）

爾時，諸比丘用冷水染衣，衣有惡臭。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！煮染料時許小染釜。」染料溢出。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！于溢出時許置盆受。」爾時，諸比丘不知熟與不熟。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許垂一滴于水中或指甲背，〔以知熟與不熟〕。」

（三）

爾時，諸比丘注染料時，釜覆、釜毀。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許染料匙、柄杓。」爾時，諸比丘無染料器。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘許染料甕、染料瓶。」爾時，諸比丘于器、于鉢浸摩衣物，衣壞。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許染料桶。」

一一

（一）

爾時，諸比丘展衣于地上，衣污。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用草敷具。」蟻嚙草敷具。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用衣架及衣繩。」掛于中間者，染料垂流兩邊。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許繫縛其角。」其角破。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許

用角線。」染料垂流一邊。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許滾轉而染，于未斷點滴時，不得離去。」

（二）

爾時，衣變堅硬。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許浸于水中。」時，衣變粗。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許以手摽之。」爾時，諸比丘著未裁斷之象牙褐色衣。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著未裁斷之衣，著者墮惡作。」

一二

（一）

時，世尊于隨意間住王舍城後，向南山遊行。世尊見摩竭國田地細分成列，劃疇、劃畦，見而告具壽阿難曰：「阿難！汝見摩竭國田地細分……畦否？」「唯！唯！」「阿難！汝善為諸比丘如此作衣否？」「我能。」時，世尊于隨意間住南山後，還王舍城。時，具壽阿難為多數比丘作衣，詣世尊住處。詣而白世尊言：「世尊！請觀我作之衣。」

（二）

時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！阿難聰明有大智慧，何以故？于我略說廣解其義，故作大壇、作小壇、作條、作葉、作中條、作緣、作頸帖、作腳帖、作臂帖、布片粗縫，適用于沙門，敵所不求。諸比丘！許布片作僧伽梨，布片作鬱多羅僧及布片作安陀會。」

一三

（一）

時，世尊于隨意間住王舍城後，向毘舍離城遊行。世尊于王舍城與毘舍離城之間路上，見多數諸比丘擔負重衣，疊衣頭上，束衣肩上，束衣腰間而來。見而世尊心生思念：「此諸愚人過速墮衣奢侈，我當于諸比丘衣作定界，設限制。」

（二）

時，世尊順次遊行到毘舍離城。于此，世尊住毘舍離城瞿曇支提。爾時，世尊于寒冷冬夜，八日祭與次之八日祭間，于雪降頃，唯著一衣，坐于露處，世尊無有冷意。初夜過後，世尊生起冷意，世尊乃纏二衣，世尊無有冷意。中夜過後，世尊生起冷意，世尊乃纏三衣，世尊無有冷意。後夜過去，夜將明時，世尊生起冷意，世尊乃纏四衣，世尊無有冷意。

（三）

時，世尊心生思念：「彼諸族姓子于此法與律，苦于寒氣，以恐寒氣，若有三衣者得耐乎！我當于諸比丘衣作定界，設限制，應許三衣。」時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：

（四）

「諸比丘！我于此處在王舍城與毘舍離城之間途中，見多數諸比丘擔負重衣，頭上疊衣，肩上束衣，腰間束衣而來。見而我生思念：『此愚人等過速墮衣奢侈，我當于諸比丘衣作定界，設限制。』

（五）

諸比丘！我于此時，于寒冷冬夜，八日祭與次之八日祭間，雪降頃，唯著一衣，坐于露處，我無冷意。初夜過後，我生冷意，我纏二衣，我無冷意。中夜過後，我生冷意，我纏三衣，我無冷意。後夜過，日將出夜明時，我生冷意，我纏四衣，我無冷意。諸比丘！我生思念：『彼諸族姓子于此法與律，苦于寒氣，恐怖寒氣。若有三衣得耐乎！我當于諸比丘衣作定界，設限制，應許三衣。』諸比丘！許三衣：兩重僧伽梨，一重鬱多羅僧，一重安陀會也。」

（六）

爾時，世尊許諸比丘持三衣。六群比丘以一襲三衣入村邑，以另襲三衣住〔僧〕園，以別襲三衣往洗浴。少欲諸比丘忿怒、非難：「如何六群比丘蓄長衣耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得蓄長衣，蓄者應如法治之。」

（七）

爾時，具壽阿難得長衣。具壽阿難欲將彼衣與具壽舍利弗，具壽舍利弗住娑竭陀。時，具壽阿難心生思念：「世尊定制不得蓄長衣，我今得長衣，我欲將此衣與具壽舍利弗，但具壽舍利弗住娑竭陀。我應如何為之耶？」時，具壽阿難以此事白世尊，〔世尊曰：〕「阿難！須幾何時舍利弗可還來耶？」「世尊！九日或十日也。」時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不滿十日間許蓄長衣。」

（八）

爾時，諸比丘得長衣。時，諸比丘心生思念：「如何處理長衣耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許分與長衣。」

一四

（一）

時，世尊于隨意間住毘舍離後，向波羅榇國遊行，逐漸遊行到波羅榇國。于是世尊住波羅榇國仙人墮處鹿野苑。爾時，有一比丘，安陀會壞。時，彼比丘心生思念：「世尊許三衣：兩重僧伽梨，一重鬱多羅僧，一重安陀會也。今我安陀會壞，我當補縫周邊為兩重，中央為一重。」

（二）

時，彼比丘補縫，世尊巡迴臥處、座處，見彼比丘補縫。見而到彼比丘在處，到而言彼比丘曰：「比丘！汝何為耶？」「世尊！我補縫也。」「比丘！善哉！善哉！比丘！善哉！汝行補綴。」時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！若新衣或等新衣，許兩重僧伽梨，一重鬱多羅僧，一重安陀會。若久用衣，許四重僧伽梨，兩重鬱多羅僧，兩重安陀會。糞掃衣及市場遺落布，若欲而勤者可得也。諸比丘！許補綴、縫合、條綴、以作固縫。」

一五

（一）

時，世尊于隨意間住波羅榇國後，向舍衛城遊行，順次遊行到舍衛城。于是世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。時，毘舍佉鹿母詣世尊住處，詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面時，世尊說法、教示毘舍佉鹿母……令之慶喜。時，世尊說法、教示……令之慶喜時，毘舍佉鹿母白世尊言：「世尊！明日與比丘眾俱受我請食。」世尊默許。時，毘舍佉鹿母知世尊默許，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。

（二）

爾時，是夜過後，大雲覆四大洲而雨降。時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！如雨降祇樹林，亦如此雨降于四大洲也。諸比丘等！以雨浴身，此最後大雲覆四大洲也。」「唯！唯！」彼諸比丘應諾世尊，脫衣以雨浴身。

（三）

時，毘舍佉鹿母調理殊妙噉食、噉食，命婢言：「往！往〔僧〕園，言：『時到，請食調食。』」「唯！唯！」彼婢應諾毘舍佉鹿母，往〔僧〕園見諸比丘脫衣，以雨浴身，見而思惟：「〔僧〕園無有比丘，有諸邪命外道，以雨浴身也。」至毘舍佉鹿母住處。至而言毘舍佉鹿母：「〔僧〕園無有比丘，有諸邪命外道，以雨浴身也。」時，毘舍佉鹿母賢能、聰明、有智，心生思念：「必是聖眾脫衣以雨浴身，此女愚人心想：『〔僧〕園無有比丘，有諸邪命外道，以雨浴身。』」命婢言：「往！往〔僧〕園，言：『時到，請食調食。』」

（四）

時，彼諸比丘四肢清涼，週身爽快，持衣各各進入精舍。時，彼婢往〔僧〕園不見諸比丘，思惟：「〔僧〕園無有比丘，〔僧〕園空虛。」至毘舍佉鹿母住處。至而言毘舍佉鹿母：「〔僧〕園無有比丘，〔僧〕園空虛也。」時，毘舍佉鹿母賢能、聰明、有智，心生思念：「必是聖眾四肢清涼，週身爽快，持衣各各入精舍也。此女愚人思惟：『〔僧〕園無有比丘，〔僧〕園空虛』也。」命婢言：「往！往〔僧〕園，言：『時到，請食調食。』」

（五）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！取鉢、衣，食時到也。」「唯！唯！」彼諸比丘應諾世尊。時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，譬如力士伸其屈腕、屈其伸腕，如此〔迅〕沒于祇樹林，現于毘舍佉鹿母家。世尊與比丘眾俱坐于所設座上。

（六）

時，毘舍佉鹿母思惟：「希有哉！未曾有哉！如來有大神通、大威力，何以故？水出到膝，水出到腰，無一比丘足、衣〔沾〕濕故也。」歡喜踊躍，于佛為上首比丘眾親手供養噉食、噉食，令飽滿至示謝。〔見〕世尊食已，洗手與鉢，坐于一面。坐于一面已，毘舍佉鹿母白世尊言：「乞世尊與我八願。」「毘舍佉！諸如來超越諸願。」「相應〔願〕無過也。」「毘舍佉！且言。」

（七）

「我至命終欲施僧伽雨浴衣、施客比丘食、施遠行比丘食、施病比丘食、施看病比丘食、施病藥、常施粥、施比丘尼眾水浴衣。」「毘舍佉！汝見何因緣故，請如來與八願耶？」「于此處我命婢言：『往！往〔僧〕園。』言：『時到，請食調食。』時，彼婢往〔僧〕園，見諸比丘脫衣以雨浴身，見而思惟：『〔僧〕園無有比丘，有諸邪命外道，以雨浴身。』至我住處。至而言我：『〔僧〕園無有比丘，有諸邪命外道，以雨浴身。』裸形乃不淨、醜惡也。我見此因緣故，至命終欲施僧伽雨浴衣。

（八）

復次，客比丘不知道路，不知行處，往乞食而困憊。彼若知我奉客比丘食，知道路，知應行處，則乞食不困憊矣。我見此因緣故，欲至命終施僧伽客比丘食。復次，遠行比丘自求食時，或失同伴，或欲往住處而非時至，乃困憊而行路。彼若食我施遠行比丘

食，不失同伴，欲往住處而正時至，不困憊而行路。我見此因緣故，欲至命終，施僧伽遠行比丘食也。

（九）

復次，若病比丘隨〔病〕不得飲食者，病則增劇，或因之致死。彼若食我施病比丘食者，則病不增劇，不因而致死。我見此因緣故，欲至命終，施僧伽病比丘食。復次，看病比丘自求食者，過正午，持來病比丘食，致令斷食。彼若食我施看病比丘食者，正時持來病比丘食，不令斷食。我見此因緣故，欲至命終，施僧伽看病比丘食也。

（一〇）

復次，病比丘不得所需醫藥者，則病增劇，或因之而致死。彼若食我施病藥者，則病不增劇，不因而致死。我見此因緣故，欲至命終施僧伽病藥。復次，世尊于阿那伽賓頭國見十功德，許用粥食。我見彼功德故，欲至命終，于僧伽常施粥也。

（一一）

于此處，有諸比丘尼于阿夷羅跋提河與諸淫女俱，同津裸形而浴。彼諸淫女戲諸比丘尼言：『汝等如何年少行梵行耶？豈非應享諸欲樂耶？至老始行梵行！如此為之者，汝等將得兩邊。』彼諸比丘尼受諸淫女戲虐而羞愧。女人之裸形不淨、醜惡也。我見此因緣故，欲至命終施比丘尼眾水浴衣也。」

（一二）

「毘舍佉！汝見何功德故，請如來與八願耶？」「于此處，諸方有諸比丘住雨安居，為見世尊，來舍衛城。彼等至世尊處而問：『某甲比丘死矣，彼往何趣，受何生耶？』世尊為彼記別，得預流

果、一來果、不還果、阿羅漢果。我至彼等處問：『彼聖者曾來舍衛城耶？』

（一三）

若彼等言：『彼比丘曾來舍衛城』者，則我思惟：『彼聖者必受我雨浴衣、客比丘食、遠行比丘食、病比丘食、看病比丘食、病藥、常粥。』然我憶念彼事而生勝喜。勝喜則生喜悅，喜悅則身輕安，身輕安則受樂，受樂則心定也。然則，我得根修習、力修習、覺分修習。我見此功德故，請如來與八願也。」

（一四）

「毘舍佉！善哉！善哉！毘舍佉！善哉！汝見此功德，請如來與八願。毘舍佉！許汝八願。」時，世尊以如此偈句隨喜毘舍佉鹿母：

極喜心戒具　彼如來弟子
勝慳貪生天　施食得安樂
彼女遠塵道　無著得天壽
永樂福無病　安樂喜天壽

時，世尊以如此偈隨喜毘舍佉鹿母，即從座起而去。

（一五）

時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許雨浴衣、客比丘食、遠行比丘食、病比丘食、看病比丘食、病藥、常粥、比丘尼眾水浴衣。」

———毘舍佉誦
品終———

一六

（一）

爾時，諸比丘食殊妙食，失念不知而眠矣。失念不知而眠，于夢中失不淨，臥具牀座塗不淨。時，世尊以具壽阿難為隨從沙門，巡迴臥處、座處，見臥具、牀座塗不淨。見而告具壽阿難曰：「阿難！如何此臥具、牀座塗此耶？」「今諸比丘食殊妙食，失念不知而眠……失不淨。世尊！故臥具、牀座塗不淨也。」

（二）

「阿難！如此！阿難！如此！阿難！失念不知而眠者，于夢中失不淨。阿難！具念正知而眠者，不失不淨。阿難！于諸欲離貪甚至凡夫，亦不失不淨。阿難！阿羅漢失不淨，無是理亦無是處也。」時，世尊由此因緣說法，告比丘諸曰：「諸比丘！于此處，我以阿難為隨從沙門，巡迴臥處、座處，見臥具、牀座塗不淨，見而告阿難曰：『阿難……失不淨，無是理亦無是處也。』

（三）

諸比丘！失念不知而眠者，有五種過患，謂：眠苦、覺苦、見惡夢、諸天不守護、失不淨也。諸比丘！失念不知而眠者，有如此五種過患也。諸比丘！具念正知而眠者，有五種功德，謂：眠樂、覺樂、不見惡夢、諸天守護、不失不淨。諸比丘！具念正知而眠者，有如此五種功德也。諸比丘！為護身、護衣、護臥具、護牀座，許敷布。」

（四）

爾時，敷布過小，不足總護臥具、牀座。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許隨所欲作大覆布。」

一七

（一）

爾時，具壽阿難之和尚具壽毘羅吒師子患疥癬。黃水著彼衣故，固著于身，諸比丘以水濕離之。世尊巡迴臥處、座處，見諸比丘以水濕而離彼衣。見而至彼諸比丘住處，至而言彼諸比丘曰：「諸比丘！此比丘患何病耶？」「此具壽患疥癬，黃水著彼衣故，固著于身也，我等以水濕而離之。」時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！患痒瘡、膿、疥者，許用覆瘡布。」

一八

（一）

時，毘舍佉鹿母持拭面巾詣世尊在處。詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，毘舍佉鹿母白世尊言：「世尊！請受我拭面巾，長夜裡于我有福庇、安樂。」世尊受拭面巾。時，世尊說法而教示毘舍佉鹿母……令之慶喜。時，世尊說法而教示……令之慶喜時，毘舍佉鹿母從座而起，敬禮世尊，右繞而去。時，世尊由此因緣說法，告諸比丘曰：「諸比丘！許用拭面巾。」

一九

（一）

爾時，摩羅子盧夷為具壽阿難友。摩羅子盧夷以芻摩衣託具壽阿難，具壽阿難須芻摩衣。此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！具足五分者，許受委託，謂：熟識同見、相親、既語、存活、知我取而歡喜。諸比丘！具足如此五分者，許受委託。」

二〇

（一）

爾時，諸比丘三衣圓滿，須濾水布與囊。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許資具巾。」

（二）

爾時，諸比丘心生思念：「世尊許三衣、雨浴衣、敷布、覆布、覆瘡布、拭面巾、資具巾，此等皆應決定〔自己所有〕耶？或應讓與耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許三衣應決定不得讓與，雨浴衣于雨時四月間應決定以後應讓與，敷布應決定不得讓與，覆布應決定不得讓與，覆瘡布于病間應決定以後應讓與，拭面巾應決定不得讓與，資具巾應決定不得讓與。」

二一

（一）

時，諸比丘心生思念：「衣過幾何應讓與耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許依善逝指，過長八指、寬四指衣應讓與。」爾時，具壽摩訶迦葉糞掃衣重。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許粗縫。」邊緣不等。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不等許截之。」線垂下。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許編緣。」爾時，僧伽梨之片葉壞。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許補綴。」

（二）

爾時，有一比丘作三衣，不能皆以斷片作。「諸比丘！許二衣以斷片作，一衣以非斷片作。」不能以斷片作二衣，非斷片作一衣。「諸比丘！許二衣以非斷片作，一衣以斷片作。」不能以非斷

片作二衣，以斷片作一衣。「諸比丘！許半以斷片作。諸比丘！不得皆以非斷片作，作者墮惡作。」

二二

（一）

爾時，有一比丘得多量衣，彼欲將其衣與父母。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！與父母者，我等復何言耶？諸比丘！許與父母。諸比丘！不得捨置信施，捨置者墮惡作。」

二三

（一）

爾時，有一比丘于安陀林脫衣，唯著安陀會與鬱多羅僧為乞食入村邑。有盜賊持去彼衣，彼比丘惡衣粗服。諸比丘言：「汝何故惡衣粗服耶？」「于此處我于安陀林脫衣，著安陀會與鬱多羅僧，為乞食入村邑。有盜賊持去彼衣，故我惡衣粗服也。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！唯著安陀會與鬱多羅僧，不得入村邑，入者墮惡作。」

（二）

爾時，具壽阿難無念而唯著安陀會與鬱多羅僧，為乞食入村邑。諸比丘語具壽阿難：「阿難！世尊豈非定唯著安陀會與鬱多羅僧，不得入村邑耶？」「實爾！世尊定唯著安陀會與鬱多羅僧，不得入村邑，我無念而入也。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（三）

「諸比丘！脫僧伽梨，有五種緣，謂：患病、雨浴、往河彼岸、精舍門閉時、受迦絺那衣也。諸比丘！脫僧伽梨有如此五種緣。諸比丘！脫鬱多羅僧與安陀會有五種緣，謂：患病……受迦絺那衣也。諸比丘！脫鬱多羅僧與安陀會有如此五種緣。諸比丘！脫雨浴衣，有五種緣，謂：患病、往界外、往河彼岸、精舍門閉時、雨浴衣未作或未成也。諸比丘！脫雨浴衣，有如此五種緣。」

二四

（一）

爾時，有一比丘，唯一人住雨安居。爾時，眾人言以衣施與〔僧伽〕。時，彼比丘心生思念：「世尊以四人以上眾定為僧伽，我唯一人。彼眾人言：『以衣施與〔僧伽〕。』我當將此施與僧伽之衣，應持往舍衛城。」時，彼比丘持彼衣，往舍衛城。以此事白世尊，〔世尊曰：〕「比丘！此等衣至迦絺那衣已，為汝所有。

（二）

諸比丘！此處有比丘，唯一人住雨安居。爾時，眾人言：『以衣施與〔僧伽〕。』諸比丘！許此等衣至迦絺那衣已，為彼比丘所有。」

（三）

爾時，有一比丘，平時唯一人住。爾時，眾人言：「以衣施與〔僧伽〕。」時，彼比丘心生思念：「世尊定四人以上眾為僧伽，我唯一人也。彼眾人言：『以衣施與〔僧伽〕。』我當將此施與僧伽之衣，持往舍衛城。」時，彼比丘持彼衣往舍衛城，以此事告諸比丘。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許分與現前僧伽。

（四）

諸比丘！于此處有比丘，平時唯一人住。爾時，眾人言：『以衣施與〔僧伽〕。』諸比丘！彼比丘言：『此衣是我所有。』許決定彼衣〔所有〕。諸比丘！若彼比丘不決定彼衣〔所有〕，他比丘來者，應平分。諸比丘！若彼〔二〕比丘未抽草籤分配，他比丘來時，應平分。諸比丘！若彼〔二〕比丘抽草籤分配已，他比丘來時，若不欲者，可不分配也。」

（五）

爾時，有二兄弟長老，具壽依尸達沙和具壽依尸跋陀也，于舍衛城住雨安居，往一村邑住處。眾人言：「長老久別！」施與衣食。其住處諸比丘問長老言：「此施與僧伽之衣，長老〔來〕故得也，長老受分配耶？」二長老言：「我等如若了知世尊所說之法，至迦絺那衣已，此衣乃汝等所有也。」

（六）

爾時，有三比丘，于王舍城住雨安居。爾時，眾人言：「以衣施與〔僧伽〕。」時，彼諸比丘心生思念：「世尊制定四人以上眾為僧伽，我等乃三人也。彼眾人言：『衣施與〔僧伽〕。』我等應如何為之耶？」爾時，有多數長老，具壽尼拉巴新、具壽沙那巴新、具壽伍婆伽、具壽波具、具壽婆利伽山陀那住巴連弗邑雞園。時，彼諸比丘往巴連弗邑問諸長老。諸長老言：「我等如若了知世尊所說之法，至迦絺那衣已，此衣乃汝等所有也。」

二五

（一）

爾時，具壽釋子跋難陀于舍衛城住雨安居，往一村邑住處。其處諸比丘欲集會分衣，彼等言：「將分配此施與僧伽之衣，汝受分配否？」言：「爾！受。」從其處取分衣而往他住處。其處諸比丘亦欲集會分衣，彼等亦言：「將分配此施與僧伽之衣，汝受分配否？」言：「爾！受。」亦從其處取分衣而往他住處。其處諸比丘亦欲集會分衣，彼等亦言：「將分配此施與僧伽之衣，汝受分配否？」言：「爾！受。」亦從其處取分衣，持衣之大重擔，還舍衛城。

（二）

諸比丘言：「跋難陀！汝福業大也，汝得多衣。」「如何我有福業耶？于此，我于舍衛城住雨安居，往一村邑住處。是處諸比丘欲集會分衣，彼等言我，曰：『將分配此施與僧伽之衣，汝受分配否？』言：『爾！受。』亦從其處取衣分，往他住處。其處諸比丘亦欲集會分衣，彼等亦言我曰：『將分配此施與僧伽之衣，汝受分配否？』言：『爾！受。』亦從其處取衣分，往他住處。其處諸比丘亦欲集會分衣，彼等亦言我曰：『此……受。』亦從是處取分衣，如此我得多衣也。」

（三）

「跋難陀！汝于一住處住雨安居，于餘處受分衣否？」「然！」少欲諸比丘忿怒、非難：「如何具壽釋子跋難陀于一處住雨安居，于餘處受分衣耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「跋難陀！汝于一處住雨安居，于餘處受分衣者，真實否？」「世尊！真實也。」佛世尊呵責：「愚人！如何汝于一處住雨安居，于餘處受分衣耶？愚人！如此令未信者不信，已信者非所增益。」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！于一處住雨安居，不得于餘處受分衣，受者墮惡作。」

（四）

爾時，具壽釋子跋難陀一人于二住處住雨安居。思念：「如此者，我得多衣。」時，彼諸比丘心生思念：「如何分衣應與具壽釋子跋難陀耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！與愚人一人分。諸比丘！于此，有比丘一人，于二住處住雨安居。念：『如此者，我得多衣。』若半住一處，半住他處者，應一處與半分衣，他處與半分衣。若長住一處者，其處應與分衣。」

二六

（一）

爾時，有一比丘患腹病，彼于大小便中臥。時，世尊以阿難為隨從沙門，巡迴到彼比丘精舍臥處、座處。世尊見彼比丘于己之大小便中臥。見已到彼比丘在處，到而言彼比丘曰：「比丘！汝患何病耶？」「世尊！我有腹病。」「比丘！有人看護汝耶？」「世尊！無。」「諸比丘何故不看護汝耶？」「我于諸比丘無所用益，故諸比丘不看護我也。」

（二）

時，世尊告具壽阿難曰：「阿難！去持水來，我等浴此比丘。」「唯！唯！」具壽阿難應諾世尊，而持水來。世尊以水澆之，具壽阿難洗之。世尊抱頭，具壽阿難抱足，使牀上臥。

（三）

時，世尊由此因緣，于此時機，集合比丘眾，問諸比丘曰：「諸比丘！某甲精舍有病比丘耶？」「世尊！有。」「諸比丘！彼比丘患何病耶？」「彼具壽患腹病。」「諸比丘！有人看護彼比丘耶？」「世尊！無。」「諸比丘何故不看護彼耶？」「彼比丘于諸

比丘無所為，故諸比丘不看護彼。」「諸比丘！汝等亦無父亦無母看護汝等。諸比丘！汝等若不互相看護，有誰看護汝等？諸比丘！欲人侍我者，且看護病者。

（四）

若有和尚者，至和尚命終，應看護、侍奉以待痊癒。若有阿闍梨者，至阿闍梨命終，應看護、侍奉以待痊癒。若有弟子者……若有侍者……若有同和尚者……若有同阿闍梨者，至命終，應看護、侍奉以待痊癒。若無和尚、阿闍梨、弟子、侍者、同和尚、同阿闍梨者，僧伽應看護，若不看護者墮惡作。

（五）

諸比丘！具足五分病者難看護，謂：行非隨〔病〕者，〔于病〕不知量，不用藥，有利于欲看病者不如實告知病情：病惡者言惡，良 者言良 ，穩定者言穩定，生起身受之痛苦、猛利、強硬、辣辛、不快、非可意、損命皆不能忍耐。諸比丘！具足如此五分病者，難看護也。

（六）

諸比丘！具足五分病者易看護，謂：行隨宜〔病〕，〔于病〕知量，用藥，有利于欲看病者如實告知病情：病惡者言惡，良 者言良 ，穩定者言穩定，生起身受之痛苦、猛利、強硬、辣辛、不快、非可意、損命皆能忍耐。諸比丘！具足如此五分病者，易看護。

（七）

諸比丘！具足五分之看護者，不適看護病人，謂：不能作藥，不知有效驗或無效驗，與無效驗而不與有效驗，為欲念看病，無慈

心而厭棄除大小便唾吐物，不能時時說法而教示……令病者慶喜。諸比丘！具足如此五分之看病者，不適看護病者。

（八）

諸比丘！具足五分之看病者，適看護病人，謂：能作藥，知有效驗或無效驗，不與無效驗而與有效驗，不為欲念而有慈心看病，不厭棄除大小便唾吐物，能時時說法而教示……令病者慶喜。諸比丘！具足如此五分之看病者，適看護病人。」

二七

（一）

爾時，有二比丘在拘薩羅國途上。彼等至一住處，是處有一比丘患病。時，彼等心生思念：「世尊讚歎看病，我等且看護此比丘。」彼等看護彼，于彼等看護中彼死去。時，彼二比丘持彼比丘之鉢、衣，往舍衛城，以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！比丘若死，其鉢衣主乃僧伽也。然看病者大利益也，諸比丘！許僧伽以三衣及鉢與看病者。諸比丘！與時應如此為之：彼看病比丘應至僧伽言：『某甲比丘死矣，此處有彼之三衣及鉢。』聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！某甲比丘死矣，此處有彼之三衣及鉢。若僧伽機熟者，僧伽以此三衣及鉢與諸看病者。此乃表白。諸大德！請聽我言！某甲比丘死矣，此處有彼三衣及鉢，僧伽以此三衣及鉢與諸看病者。此三衣及鉢與諸看病者，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽以此三衣及鉢與諸看病者。具壽聽故默然，我如此了知。』」

（三）

爾時，一沙彌死。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若沙彌死，其鉢衣主乃僧伽也。然看病者乃大利益也，諸比丘！許僧伽以衣及鉢與看病者。諸比丘！與時應如此為之：彼看病比丘應到僧伽言：『某甲沙彌死，此處有彼衣及鉢。』聰明賢能比丘應告僧伽言：『諸大德！請聽我言！某甲沙彌死，此處有彼衣及鉢。若僧伽機熟者，僧伽以此衣鉢與諸看病者。此乃表白。諸大德！請聽我言！某甲沙彌死，此處有彼衣及鉢，僧伽以此衣及鉢與諸看病者。此衣及鉢與諸看病者，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽以此衣及鉢與諸看病者已。具壽聽故默然，我如此了知。』」

（四）

爾時，有一比丘與一沙彌一同看護病者，于彼等看護中彼死矣。時，看病比丘心生思念：「如何分衣與看病沙彌耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許與看病沙彌等分。」

（五）

爾時，有多器物及多資具之比丘死。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘若死，其鉢衣之主乃僧伽也。然看病者乃大利益也，諸比丘！許僧伽以三衣及鉢與看病者，其中輕器物及輕資具應分于現前僧伽，重器物及重資具屬于已來未來四方僧伽，不得讓與，亦不得分與。」

二八

（一）

爾時，有一比丘裸形詣世尊住處。詣而白世尊言：「世尊以無數之方便讚歎少欲、知足、儉約、頭陀行、喜心、損減、發勤之人。如此裸形依無數方便資于少欲、知足、儉約、頭陀行、喜心、

損減、發勤。世尊！願許諸比丘裸形。」佛世尊呵責：「愚人！不相合，不隨順，不相稱，非沙門法，不相應，非事也。愚人！汝為何如外道行，行裸形耶？愚人！如此非令未信者得信也。」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得如外道行行裸形，行者墮偷蘭遮。」

（二）

爾時，有一比丘著拘賒草衣……乃至……著跋拘草衣〔……乃至……〕著板衣〔……乃至……〕著人髮欽婆羅衣〔……乃至……〕著馬尾欽婆羅衣〔……乃至……〕著角鴞翅衣……乃至……著鹿皮衣，詣世尊住處。詣而白世尊言：「世尊以無數方便讚歎少欲……。如此鹿皮衣依無數方便資于少欲……。世尊！願許諸比丘著鹿皮衣。」佛世尊呵責曰：「……非事也。愚人！汝如何著外道相鹿皮衣耶？愚人！如此非令未信得信者也。」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得著外道相之鹿皮衣，著者墮偷蘭遮。」

（三）

爾時，有一比丘著阿拘草衣……乃至……著樹皮衣，詣世尊住處。詣而白世尊言：「世尊以無數方便讚歎少欲……。如此樹皮衣依無數方便資于少欲……世尊！願許諸比丘著樹皮衣。」佛世尊呵責曰：「……非事也。愚人！汝如何著樹皮衣耶？愚人！如此非令未信者得信也。」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得著樹皮衣，著者墮惡作。」

二九

（一）

爾時，六群比丘著深青衣、著深黃衣、著深紅衣、著深茜色衣、著深黑衣、著深紅藍色衣、著深落葉色衣、著緣不用布片衣、著長緣衣、著緣有華衣、著緣有蛇冠衣、著襯衣、著樹皮衣、著頭巾。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂諸在家人。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著深青衣、不得著深黃衣……不得著襯衣、不得著樹皮、不得著頭巾，著者墮惡作。」

三〇

（一）

爾時，諸比丘住雨安居，未得衣而去，還俗、死、自言為沙彌、自言捨學、自言犯極罪、自言發狂者、自言心散亂、自言受苦、自言不見罪而被舉、自言不懺悔罪而被舉、自言不捨棄惡見而被舉、自言黃門、自言賊住者、自言歸外道、自言畜生、自言殺母者、自言殺父者、自言殺阿羅漢者、自言污比丘尼、自言破和合僧者、自言出〔佛身〕血者、自言二根者，彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！此處有比丘住雨安居，未得衣而去，若有相應〔代〕受者，應與之。諸比丘！此處有比丘住雨安居，未得衣而還俗、死、自言為沙彌、自言捨學、自言犯極罪，〔衣〕主乃為僧伽也。諸比丘！此處有比丘住雨安居，未得衣而自言發狂者……自言不捨棄惡見而被舉，有相應〔代〕受者，應與之。諸比丘！此處有比丘住雨安居，未得衣而自言黃門……自言二根者，〔衣〕主乃為僧伽也。

（三）

諸比丘！此處有比丘住雨安居，已得衣，但未受分配而去，若有相應〔代〕受者，應與之。諸比丘！此處有比丘住雨安居，已得衣但未受分配而還俗……自言犯極罪，〔衣〕主乃僧伽也。諸比丘！此處有比丘住雨安居，已得衣，未受分配，自言發狂者……自言不捨棄惡見而被舉，有相應〔代〕受者，應與之。諸比丘！此處有比丘住雨安居，已得衣，未受分配，自言黃門……自言二根者，〔衣〕主為僧伽也。

（四）

諸比丘！此處有諸比丘，住雨安居，未得衣而和合僧破矣。是處眾人以〔奉施〕水與一黨，以衣與他黨，言：『我等施與僧伽。』此僧伽所有也。諸比丘！此處有諸比丘住雨安居，未得衣而和合僧破矣。是處眾人以〔奉施〕水與一黨，而以衣與彼黨，言：『我等施與僧伽。』此僧伽所有也。

（五）

諸比丘！此處有諸比丘住雨安居，未得衣而和合僧破矣。是處眾人以〔奉施〕水與一黨，以衣與他黨，言：『我等施與黨。』此為〔眾人言〕黨所有。諸比丘！此處有諸比丘住雨安居，未得衣而和合僧破矣。是處眾人以〔奉施〕水與一黨，而以衣與其黨，言：『我等施與黨。』此乃黨所有。

（六）

諸比丘等！此處有諸比丘住雨安居，已得衣，未分配而和合僧破矣。應等分一切人。」

三一

（一）

爾時具壽離越託一比丘，與具壽舍利弗衣，言：「此衣與長老。」時，彼比丘于途中以具壽離越親厚意，乃取彼衣。時，具壽離越遇具壽舍利弗，問言：「我令與衣于長老，彼衣到耶？」「我不見彼衣。」時，具壽離越言彼比丘：「我託具壽與長老衣，彼衣在何處耶？」「我于具壽作親厚意，而取彼衣。」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！此處有比丘，託衣與一比丘，言：『此衣與某甲。』彼于途中于所與人作親厚意而取之者為是善取；于所受人作親厚意而取之者，是為惡取。諸比丘！此處有比丘，託衣與一比丘，言：『此衣與某甲。』彼于途中于所受人作親厚意而取之者是為惡取；于所與人作親厚意而取之者是為善取。諸比丘！此處有比丘……『……與……。』彼于途中聞：『所與人死。』若作彼死者衣受者乃為善受；于所受人作親厚意而取之者乃為惡取。諸比丘！此處有比丘……『……與……。』彼于途中聞：『所受人死。』若作彼死者衣受者，是為惡受；于所與人作親厚意而取之者，乃為善取。諸比丘！此處有比丘……『……與……。』彼于途中聞：『兩人俱死。』若作所與人死者衣受者，是為善受；若作所受人死者衣受者，是為惡受。

（三）

諸比丘！此處有比丘，託一比丘與衣，言：『我以此衣與某甲。』彼于途中于所與人作親厚意而取之者，是為惡取；于所受人作親厚意而取之，是為善取。諸比丘！此處有比丘……『……與……。』彼于途中于所受人作親厚意而取之者，是為善取；于所與人作親厚意而取之者，是為惡取。諸比丘！此處有比丘『……與……。』彼于途中聞：『所與人死矣。』若作彼死者衣受者，是

為惡受；于所受人作親厚意而取之者，是為善取。比丘等！此處有比丘……『……與……。』彼于途中聞：『所受人死矣。』若作彼死者衣受者，是為善受；于所與人作親善厚意而取者，是為惡取。諸比丘！此處有比丘……『……與……。』彼于途中聞：『兩人俱死。』若作所與人死者之衣受者，是為惡受；若作所受人死者之衣受者，是為善受。」

三二

（一）

「諸比丘！有八事得衣，謂：境界施與，有約施與，告示施食而施與，施與僧伽，施與兩僧伽，施與住雨安居僧伽，指定施與，施與于人也。境界施與者，應分配于界內所有比丘。有約施與者，多數住處，均等利得，即與一住處時，亦與一切處。告示施食而施與，言：『我等于常恆食處施與。』施與僧伽者，應分配于現前僧伽。施與兩僧伽者，比丘多而比丘尼縱唯一人亦應二等分，比丘尼多而比丘縱唯一人亦應二等分。若施與住雨安居僧伽者，應分與其住處住雨安居比丘。指定而施與者，〔施與時施與現前者〕粥、食、噉食、衣、臥具、牀座、醫藥。施與人者，〔言：〕『我以此衣施與某甲。』」

此犍度有九十二事。攝頌曰：

見王舍城之商人　毘舍離城之淫女
還王舍城以告王　沙羅跋提・無畏子
活命王子名耆婆　往叉尸羅學大醫
七年長病灌鼻治　王之痔瘻塗藥癒
我待後宮及佛僧　王舍長者・腸結病
波羅殊提之大病　不可思議用酥治
任此職・及尸毘衣　身不調・有冷濕疾
三優鉢花三十痢　癒・願請・受尸毘衣
如來准許居士衣　王舍地方多得衣

外衣・絲衣・及氍毹　半迦尸衣・種種衣
知足無論往不往　先後・相俱・約・受納
庫・不守・令起・多量　騷擾・如何分配・與
以自與及過多分　應如何分配・牛糞
冷熱・溢・不知・注入　器・盆・地・蟻・中央・壞
一方・堅・粗・非布片　牟尼考量許三衣
細分・他過多・生・破　四大洲・與雨浴衣
客・遠行・病・看病・藥　常粥・水浴衣・殊妙
過小・瘡・面布・拘摩　圓滿・決定・幾何止
重・緣不等・線垂・壞　不能・半・多安陀林
失念・一人雨安居　平時・二兄弟・舍城
跋難陀・又二・腹病　二種病者看病者
裸拘賒跋拘草衣　板衣・髮欽婆羅衣
馬尾及角鵄翅衣　鹿皮衣阿拘草衣
樹皮衣・青・黃・赤・茜　黑・紅藍色・落葉色
非布片緣・長・及華　蛇頭緣襯・樹皮衣
頭巾・未得而離去　僧破矣・與黨・僧伽
令與離越・作親厚　意取・受・衣之八事

第九　瞻波犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住瞻波國迦迦池邊。爾時，于迦尸國有婆娑婆村，住處有比丘迦葉姓者，為執事，心生思念：「如何能令未來善美比丘來，已來善美比丘令安樂久住，令此處得隆盛、增長、廣大耶？」因而戮力。爾時，有多數比丘，于迦尸國遊行，到婆娑婆村。迦葉姓比丘見彼諸比丘從遠方來，見而設牀座，置洗足水、足台、足布，迎之而取鉢、衣，問要水耶？供洗浴，供粥、噉食、嗽食。時，彼諸客比丘心生思念：「此住處比丘賢能也，供洗浴，亦供粥、噉食、嗽食。我等于此處婆娑婆村居住。」時，彼諸客比丘乃于是處婆娑婆村居住。

（二）

時，迦葉姓比丘心生思念：「此諸客比丘遠來疲倦既息，前不辨往來〔食處〕，今能辨往來。為他人盡壽戮力實難，乞求于眾人之間亦甚不快，我當不再供粥、噉食、嗽食矣。」乃不戮力奉彼粥、噉食、嗽食矣。時，彼諸客比丘心生思念：「前住此處比丘供洗浴，供粥、噉食、嗽食，彼今不再奉粥、噉食、嗽食矣。此住處比丘邪惡，我等舉此住處比丘。」

（三）

時，彼諸客比丘集會，言迦葉姓比丘曰：「前汝供洗浴，供粥、噉食、嗽食。汝今不供粥、噉食、嗽食矣。汝墮罪，汝見此罪耶？」「于我不見罪。」時，彼諸比丘以不見罪，舉迦葉姓比丘。時，迦葉姓比丘心生思念：「我不知此罪耶？非罪耶？我犯耶？不

犯耶？我應被舉耶？不應被舉耶？如法耶？非如法耶？有過耶？無過耶？應理耶？不應理耶？我當往瞻波，以此事請問世尊。」

（四）

時，迦葉姓比丘收藏臥具牀座，持鉢、衣，向瞻波國而去，順次詣瞻波國世尊住處。詣而敬禮世尊，坐于一面。佛世尊與諸客比丘俱相致問是常法也。時，世尊言迦葉姓比丘曰：「比丘！忍耶？足耶？遠路而來不疲倦耶？比丘！汝由何處來耶？」「世尊！忍！世尊！足！我由道路而來，不疲倦。

（五）

于迦尸國有婆娑婆村。世尊！我乃是其住處比丘，為執事，思念：『如何能使未來善美比丘來，已來善美比丘令能安樂住，使此住處得隆盛、增長、廣大耶？』因而戮力。時有多數比丘于迦尸國遊行，至婆娑婆村。我見彼諸比丘從遠方而來……〔乃至〕……時，我生思念：『問……。』世尊！為此故，我來也。」

（六）

「比丘！此非罪也，不成罪。汝非犯也，無犯。不舉汝也，非被舉。舉汝者，非如法也、有過也、不應理也。比丘！汝往彼婆娑婆村居住！」「唯！唯！」迦葉姓比丘應諾世尊，即從座而起，敬禮世尊，右繞向婆娑婆村而去。

（七）

時，彼諸客比丘于後生悔，生追悔：「我等有不利，無得利；我等有惡得，無善得。何以故？我等無事、無因舉清淨無罪比丘故也。我等當往瞻波國，于世尊處以過白過。」時，彼諸客比丘收藏臥具牀座，持鉢、衣，向瞻波國而去，順次詣瞻波國世尊住處。詣

而敬禮世尊，坐于一面。佛世尊與諸客比丘俱相致候是常法也。時，世尊言彼諸比丘曰：「諸比丘！忍耶？足耶？由道路而來，疲倦耶？諸比丘！汝等由何處來耶？」「世尊！忍！世尊！足！我等由道路來，不疲倦。于迦尸國有婆娑婆村，世尊！我等從彼處來也。」

（八）

「諸比丘！汝等舉彼住處比丘耶？」「然！」「諸比丘！依何事、何因耶？」「世尊！無事、無因也。」佛世尊呵責之曰：「諸比丘！不相合、〔不隨順、不相稱、非沙門法、不相應、〕非事也。諸愚人！汝等如何無事、無因舉清淨無罪比丘耶？諸愚人！如此非令未信者得信也。」呵責、說法，告諸比丘曰：「諸比丘！不得無事、無因舉清淨無罪比丘，舉者墮惡作。」

（九）

時，彼諸比丘即從座起，偏袒上衣，以頭面禮世尊足，白世尊言：「我等為過失所侵，猶如愚者、癡者、不善者，所以我等無事、無因舉清淨無罪比丘故也。世尊！若爾，請以我等之過為過而受之，為未來律儀故。」「諸比丘！汝等實為過失所侵，猶如愚者、癡者、不善者，所以汝等無事、無因舉清淨無垢比丘故也。諸比丘！汝等以過為過而見之，如法悔過故我受此。以過為過而見之，如法悔過以資未來律儀者，于聖者律為增長也。」

二

（一）

時，瞻波國諸比丘如此作羯磨，謂：作非法別眾羯磨，作非法和合羯磨，作如法別眾羯磨，作似法別眾羯磨，作似法和合羯磨。

以一人舉一人，以一人舉二人，以一人舉多人，以一人舉僧伽，以二人舉一人，以二人舉二人，以二人舉多人，以二人舉僧伽，以多人舉一人，以多人舉二人，以多人舉多人，以多人舉僧伽，以僧伽舉僧伽。

（二）

少欲諸比丘忿怒、非難：「如何瞻波國諸比丘，如此作羯磨：作非法別眾羯磨……作似法和合羯磨。以一人舉一人……以僧伽舉僧伽耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！瞻波國諸比丘如此作羯磨：作非法別眾羯磨……以僧伽舉僧伽，真實否？」「世尊！真實也。」佛世尊呵責：「諸比丘！彼諸愚人所為不相合、〔不隨順、不相稱、非沙門法、不相應、〕非事也。諸比丘！如何彼諸愚人如此作羯磨：作非法別眾羯磨……以僧伽舉僧伽耶？諸比丘！如此非使未信者得信也。」呵責、說法，告諸比丘曰：

（三）

「諸比丘！非法別眾羯磨不成羯磨，不得作；非法和合羯磨不成羯磨，不得作；似法和合羯磨不成羯磨，不得作。以一人舉一人不成羯磨，不得作……以僧伽舉僧伽不成羯磨，不得作。

（四）

諸比丘！羯磨有四，謂：非法別眾羯磨、非法和合羯磨、如法別眾羯磨、如法和合羯磨也。諸比丘！此中非法別眾羯磨，諸比丘！此非法與別眾，有過、不應理之羯磨也。諸比丘！不得作如此羯磨，而不許如此羯磨。諸比丘！此中非法和合羯磨，諸比丘！此非法故有過，不許……。諸比丘！此中如法別眾羯磨，諸比丘！此別眾故有過，不許……。諸比丘！此中如法和合羯磨，諸比丘！此

如法與和合故無過、應理之羯磨也。諸比丘！應作如此羯磨，而許如此羯磨。諸比丘！因此故，于此處『我等如此作如法和合羯磨。』如此，諸比丘！應當學。」

三

（一）

爾時，六群比丘如此作羯磨，謂：作非法別眾羯磨，作非法和合羯磨，作如法別眾羯磨，作似法別眾羯磨，作似法和合羯磨，作無表白有唱說羯磨，作無唱說有表白羯磨，作無表白無唱說羯磨，作違法羯磨，作違律羯磨，作違師教羯磨，作受呵責羯磨，作非法羯磨，作有過羯磨，作不應理羯磨。少欲諸比丘忿怒、非難：「為何六群比丘作如此羯磨，作非法別眾羯磨……作受呵責、非法、有過、不應理羯磨耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰〕：「諸比丘！六群比丘作如此羯磨，作非法別眾羯磨……作受呵責非法、有過、不應理羯磨，真實耶？」「世尊！真實也。」……乃至……呵責、說法已，告諸比丘曰：

（二）

「諸比丘！非法別眾羯磨不成羯磨，不得作……似法和合羯磨不成羯磨，不得作。諸比丘！無表白有唱說羯磨不成羯磨，不得作。諸比丘！無唱說有表白羯磨不成羯磨，不得作。諸比丘！無表白無唱說羯磨不成羯磨，不得作。諸比丘！違法羯磨不成羯磨，不得作。諸比丘！違律羯磨不成羯磨，不得作。諸比丘！違師教羯磨不成羯磨，不得作。諸比丘！受呵責、非法、有過、不應理之羯磨不成羯磨，不得作。

（三）

諸比丘！羯磨有六，謂：非法羯磨、別眾羯磨、和合羯磨、似法別眾羯磨、似法和合羯磨、如法和合羯磨也。諸比丘！何為非法羯磨耶？諸比丘！白二羯磨以一白而作羯磨，羯磨不唱說，非法羯磨也。諸比丘！白二羯磨以二白作羯磨，羯磨不唱說，非法羯磨也。諸比丘！白二羯磨以一羯磨說而作羯磨，不表白者，非法羯磨也。諸比丘！白二羯磨以二羯磨說而作羯磨，不表白者，非法羯磨也。

（四）

諸比丘！白四羯磨以一白而作羯磨，羯磨不唱說，非法羯磨也。諸比丘！白四羯磨以二表白而作羯磨……以三表白而作羯磨……以四表白而作羯磨，羯磨不唱說，非法羯磨也。諸比丘！白四羯磨以一羯磨說而作羯磨……以二羯磨說而作羯磨……以三羯磨說而作羯磨……以四羯磨說而作羯磨，不表白者，非法羯磨也。諸比丘！如此名為非法羯磨也。

（五）

諸比丘！何為別眾羯磨耶？諸比丘！白二羯磨所需比丘未到，應與清淨欲者未與清淨欲，現前〔比丘〕呵責，此別眾羯磨也。諸比丘！白二羯磨所需比丘已至，應與清淨欲者未與清淨欲，現前〔比丘〕呵責，此別眾羯磨也。諸比丘！白二羯磨所需之比丘已至，應與清淨欲者已與清淨欲，現前〔比丘〕呵責，此別眾羯磨也。諸比丘！白四羯磨……別眾羯磨也。諸比丘！如此名為別眾羯磨也。

（六）

諸比丘！何為和合羯磨耶？諸比丘！白二羯磨所需比丘已至，應與清淨欲者已與清淨欲，現前〔比丘〕不呵責，此和合羯磨也。

諸比丘！白四羯磨……不呵責，此和合羯磨也。諸比丘！如此名為和合羯磨也。

（七）

諸比丘！何為似法別眾羯磨耶？諸比丘！白二羯磨先羯磨唱說後表白，所需比丘未來，應與清淨欲者未與清淨欲，現前〔比丘〕呵責，此似法別眾羯磨也。諸比丘！白二羯磨先羯磨唱說後表白，所需比丘已至，應與清淨欲者未與清淨欲，現前〔比丘〕呵責，此似法別眾羯磨也。諸比丘！白二羯磨先羯磨唱說後表白，所需比丘已至，應與清淨欲者已與清淨欲，現前〔比丘〕呵責，此似法別眾羯磨也。諸比丘！白四羯磨……似法別眾羯磨也。諸比丘！如此名為似法別眾羯磨。

（八）

諸比丘！何為似法和合羯磨耶？諸比丘！白二羯磨先羯磨唱說後表白，所需比丘已至，應與清淨欲者已與清淨欲，現前〔比丘〕不呵責，此似法和合羯磨也。諸比丘！白四……不呵責，此似法和合羯磨也。諸比丘！如此名為似法和合羯磨。

（九）

諸比丘！何為如法和合羯磨耶？諸比丘！白二羯磨先表白後以一羯磨說而作羯磨，所須比丘已至，應與清淨欲者已與清淨欲，現前〔比丘〕不呵責，此如法和合羯磨也。諸比丘！白四羯磨先表白後以三羯磨說而作羯磨，所需比丘已至，應與清淨欲者已與清淨欲，現前〔比丘〕不呵責，此如法和合羯磨也。諸比丘！如此名為如法和合羯磨。

四

（一）

僧伽有五，謂：四比丘僧伽、五比丘僧伽、十比丘僧伽、二十比丘僧伽、過二十比丘僧伽也。諸比丘！此中四比丘僧伽除授戒、自恣、出罪三羯磨，其餘得作一切如法和合羯磨。諸比丘！此中五比丘僧伽于中國除授戒與出罪二羯磨，其餘得作一切如法和合羯磨。諸比丘！此中十比丘僧伽除出罪一羯磨，其餘得作一切如法和合羯磨。諸比丘！此中二十比丘僧伽得作一切如法和合羯磨也。

（二）

諸比丘！四人眾應作羯磨時，以比丘尼為第四人而作羯磨，不成羯磨，不得作。諸比丘！四人眾應作羯磨時，以式叉摩那為第四人……以沙彌為第四人……以沙彌尼為第四人……以棄學者為第四人……以犯極罪者為第四人……以因不見罪而被舉者為第四人……以因不懺悔罪而被舉罪者為第四人……以因不捨棄惡見而被舉者為第四人……以黃門為第四人……以賊住者為第四人……以歸外道者為第四人……以畜生為第四人……以殺母者為第四人……以殺父者為第四人……以殺阿羅漢者為第四人……以污比丘尼者為第四人……以破和合僧者為第四人……以出〔佛身〕血者為第四人……以二根者為第四人……以異住處者為第四人……以異境界者為第四人……以神通在虛空者為第四人……以由僧伽受羯磨者為第四人而作羯磨，不成羯磨，不得作。

———四人眾可作〔終〕———

（三）

諸比丘！五人眾應作羯磨時，以比丘尼為第五人而作羯磨，不成羯磨，不得作……以由僧伽受羯磨者為第五人而作羯磨，不成羯

磨，不得作。

———五人眾可作〔終〕———

（四）

諸比丘！十人眾應作羯磨時，以比丘尼為第十人而作羯磨，不成羯磨，不得作……以由僧伽受羯磨者為第十人而作羯磨，不成羯磨，不得作。

———十人眾可作〔終〕———

（五）

諸比丘！二十人眾應作羯磨時，以比丘尼為第二十人而作羯磨，不成羯磨，不得作……以由僧伽受羯磨者為第二十人而作羯磨，不成羯磨，不得作。

———二十人眾可作〔終〕———

（六）

諸比丘！以別住者為第四人而與別住、作本日治、與摩那埵，以彼為第二十人而作出罪者，不成羯磨，不得作。諸比丘！以應受本日治之者為第四人而與別住、作本日治、與摩那埵，以彼為第二十人而作出罪者，不成羯磨，不得作。諸比丘！以應受摩那埵之人為第四人而與別住、作本日治、與摩那埵，以彼為第二十人而作出罪者，不成羯磨，不得作。諸比丘！以行摩那埵者為第四人而與別

住、作本日治、與摩那埵，以彼為第二十人而作出罪，不成羯磨，不得作。諸比丘！以應受出罪者為第四人而與別住、作本日治、與摩那埵，以彼為第二十人而作出罪者，不成羯磨，不得作。

（七）

諸比丘！于僧伽中一類人之呵責應受，一類人之〔呵責〕不應受。諸比丘！于僧伽中如何之人呵責不應受耶？諸比丘！于僧伽中比丘尼之呵責不應受。諸比丘！于僧伽中，式叉摩那之呵責……沙彌之……沙彌尼之……棄學者之……犯極罪者之……發狂者之……心散亂者之……受苦者之……因不見罪而被舉者之……因不懺悔罪而被舉者之……因不捨棄惡見而被舉者之……黃門之……賊住者之……歸外道者之……畜生之……殺母者之……殺父者之……殺阿羅漢者之……污比丘尼者之……破和合僧者之……出〔佛身〕血者之……二根者之……異住處者之……異境界者之……以神通在虛空者之……由僧伽受羯磨者之呵責不應受。諸比丘！于僧伽中如此人之呵責不應受也。

（八）

諸比丘！于僧伽中如何人之呵責應受耶？諸比丘！有善比丘，在同住處同一界內者，縱然僅語其鄰座比丘，于僧伽中應受其呵責。諸比丘！如此人之呵責應受。

（九）

諸比丘！驅出有二。諸比丘！未犯應受驅出之人，而被僧伽驅出者，于某人為善驅出，于某人為惡驅出。諸比丘！未犯應受驅出之人而被僧伽驅出，其為惡驅出者如何耶？諸比丘！此處有比丘，清淨無罪，僧伽若驅出彼，為惡驅出。諸比丘！如此，未犯應受驅出之人而僧伽若驅出者，謂為惡驅出也。諸比丘！未犯應受驅出之

人而被僧伽驅出，其為善驅出者如何耶？諸比丘！此處有比丘，愚癡、不聰明、多罪、不受教誡、居俗家、與不隨順在家眾俱住，僧伽若驅出彼，為善驅出。諸比丘！如此，未犯應受驅出之人而僧伽若驅出者，謂為善驅出。

（一〇）

諸比丘！解〔羯磨〕有二。諸比丘！未得解之人而僧伽若與解，于某人為善解，于某人為惡解。諸比丘！未得解之人而僧伽若與解，如何為惡解耶？諸比丘！黃門未得解，僧伽若與彼解者，為惡解。諸比丘！賊住者……歸于外道者……畜生……殺母者……殺父者……殺阿羅漢者……污比丘尼者……破和合僧者……出〔佛身〕血者……二根者，未得解，僧伽若與彼解者為惡解。諸比丘！如此，未得解之人而僧伽若與解者，謂為惡解。

（一一）

諸比丘！未得解之人而僧伽若與解，如何為善解耶？諸比丘！截足者……〔參照第一大犍度七一（一）〕……盲聾啞者，未得解，僧伽與解者為善解。諸比丘！如此，未得解之人而僧伽與解者，謂為善解也。」

———婆娑婆村

誦品〔終〕

———

五

（一）

「諸比丘！此處有比丘，無應視為罪者，僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪汝見此罪？』彼言：『我無應視為罪者。』僧伽

依不見罪而舉彼，非法羯磨也。諸比丘！此處有比丘，無應懺悔罪者，僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，且懺悔彼罪！』彼言：『我無應懺悔罪者。』僧伽依不懺悔罪而舉彼，非法羯磨也。諸比丘！此處有比丘，無應棄惡見者，僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝有惡見，棄此惡見！』彼言：『我無應棄惡見者。』僧伽依不棄惡見而舉彼，非法羯磨也。

（二）

諸比丘！此處有比丘，無應見罪者，無應懺悔罪者，僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，汝見此罪耶？且懺悔彼罪！』彼言：『我無應見罪者，無應懺悔罪者。』僧伽依不見〔罪〕，或依不懺悔罪而舉彼，非法羯磨也。

（三）

諸比丘！此處有比丘，無應見罪者，無應棄惡見者，僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，汝見此罪耶？汝有惡見，且棄此惡見！』彼言：『我無應見罪者，我無應棄惡見者。』僧伽依不見〔罪〕，或依不捨棄〔惡見〕而舉彼，非法羯磨也。

（四）

諸比丘！此處有比丘，無應懺悔罪者，無應棄惡見者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，且懺悔此罪；汝有惡見，且棄此惡見！』彼言：『我無應懺悔罪者，我無應棄惡見者。』僧伽依不懺悔〔罪〕、或依不棄〔惡見〕而舉彼，非法羯磨也。

（五）

諸比丘！此處有比丘，無應見罪者，無應懺悔罪者，無應棄惡見者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，汝見此罪耶？且懺

悔此罪；汝有惡見，且棄此惡見！』彼言：『我無應見罪者，我無應懺悔罪者，我無應棄惡見者。』僧伽依不見〔罪〕、或依不懺悔〔罪〕、或不棄〔惡見〕而舉彼，非法羯磨也。

（六）

諸比丘！此處有比丘，有應見罪者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，汝見此罪耶？』彼言：『然！我見。』僧伽依不見罪而舉彼，非法羯磨也。諸比丘！此處有比丘，有應懺悔罪者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，且懺悔彼罪！』彼言：『然！我懺悔。』僧伽依不懺悔罪而舉彼，非法羯磨也。諸比丘！此處有比丘，有應棄惡見者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝有惡見，且棄此惡見！』彼言：『然！我捨棄。』僧伽依不棄惡見而舉彼，非法羯磨也。

（七）

諸比丘！此處有比丘，有應見罪者，有應懺悔罪者……乃至……有應見罪者，有應棄惡見者……有應懺悔罪者，有應棄惡見者……有應見罪者，有應懺悔罪者，有應棄惡見者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，汝見此罪耶？且懺悔彼罪！汝有惡見，棄此惡見！』彼言：『然！我見，然！我懺悔，然！我捨棄。』僧伽依不見、或不懺悔、或依不棄〔惡見〕而舉彼，非法羯磨也。

（八）

諸比丘！此處有比丘，有應見罪者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，汝見此罪耶？』彼言：『我無應見罪者。』僧伽依不見罪而舉彼，如法羯磨也。諸比丘！此處有比丘，有應懺悔罪者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，懺悔彼罪！』彼言：『我無應懺悔罪者。』僧伽依不懺悔〔罪〕而舉彼，如法羯磨也。

諸比丘！此處有比丘，有應棄惡見者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝有惡見，且棄此惡見！』彼言：『我無應棄惡見者。』僧伽依不棄惡見而舉彼，如法羯磨也。

（九）

諸比丘！此處有比丘，有應見罪者，有應懺悔罪者……有應見罪者，有應棄惡見者……有應懺悔罪者，有應棄惡見者……有應見罪者，有應懺悔罪者，有應棄惡見者。僧伽若多人、若一人難彼曰：『汝犯罪，汝見此罪耶？且懺悔彼罪！汝有惡見，且棄此惡見！』彼言：『我無應見罪者，我無應懺悔罪者，我無應棄惡見者。』僧伽依不見〔罪〕、或依不懺悔、或依不棄〔惡見〕而舉彼，如法羯磨也。」

六

（一）

時，具壽優波離詣世尊住處，詣已，敬禮世尊，坐于一面。于一面坐已，具壽優波離白世尊：「和合僧應令〔當事比丘〕現前而作羯磨，若不令現前而作者，此為如法羯磨、毘尼羯磨耶？」「優波離！此非法羯磨也、非毘尼羯磨也。」

（二）

「應問和合僧而作之羯磨，不問而作；應令自言而作羯磨，不令自言而作；應與憶念毘尼者，與不癡毘尼；應與不癡毘尼者，作實覓羯磨；應作實覓羯磨者，作呵責羯磨；應作呵責羯磨者，作依止羯磨；應作依止羯磨者，作驅出羯磨；應作驅出羯磨者，作下意羯磨；應作下意羯磨者，作舉罪羯磨；應作舉罪羯磨者，與別住；應與別住者，與本日治；應與本日治者，與摩那埵；應與摩那埵

者，與出罪；應與出罪者，授具足戒。此為如法羯磨、毘尼羯磨耶？」

（三）

「優波離！此非法羯磨也、非毘尼羯磨也。優波離！和合僧應令現前而作之羯磨，不令現前而作，優波離！如此者，非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此，于僧伽有過。優波離！應問和合僧而作之羯磨，不問而作；應令自言而作……應與出罪者，授具足戒。優波離！如此非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此，于僧伽有過。」

（四）

「和合僧應令現前而作之羯磨，令現前而作者，此為如法羯磨、毘尼羯磨耶？」「優波離！此如法羯磨也、毘尼羯磨也。」「應問和合僧而作之羯磨，問而後作；應令自言而作之羯磨，令自言而作；應與憶念毘尼者，即與憶念毘尼……應與出罪者，與出罪；應授具足戒者，授具足戒。此為如法羯磨、毘尼羯磨耶？」「優波離！此如法羯磨也，毘尼羯磨也。優波離！和合僧應令現前而作之羯磨，令現前而作者，優波離！如此如法羯磨、毘尼羯磨也。如此者，于僧伽無過。優波離！應問而作之羯磨，問而作者……應授具足戒者，授具足戒。優波離！如此者，如法羯磨、毘尼羯磨也。如此者，于僧伽無過也。」

（五）

「和合僧應與憶念毘尼者，與不癡毘尼；應與不癡毘尼者，與憶念毘尼。此為如法羯磨、毘尼羯磨耶？」「優波離！非法羯磨、非毘尼羯磨也。」「和合僧應與不癡毘尼者，作實覓羯磨；應作實覓羯磨者，與不癡毘尼；應作實覓羯磨者，作呵責羯磨；應作呵責羯磨者，作實覓羯磨；應作呵責羯磨者，作依止羯磨；應作依止羯

磨者，作呵責羯磨；應作依止羯磨者，作驅出羯磨；應作驅出羯磨者，作依止羯磨；應作驅出羯磨者，作下意羯磨；應作下意羯磨者，而作驅出羯磨；應作下意羯磨者，作舉罪羯磨；應作舉罪羯磨者，作下意羯磨；應作舉罪羯磨者，與別住；應與別住者，作舉罪羯磨；應與別住者，與本日治；應與本日治者，與別住；應與本日治者，與摩那埵；應與摩那埵者，與本日治；應與摩那埵者，與出罪；應與出罪者，與摩那埵；應與出罪者，授具足戒；應授具足戒者，與出罪。此為如法羯磨、毘尼羯磨耶？」

（六）

「優波離！此非法羯磨也、非毘尼羯磨也。優波離！和合僧應與憶念毘尼者，與不癡毘尼；應與不癡毘尼者，與憶念毘尼。優波離！如此者，非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此者，于僧伽有過。優波離！和合僧應與不癡毘尼者，作實覓羯磨……應授具足戒者，與出罪。優波離！如此者，非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此者，于僧伽有過。」

（七）

「和合僧應與憶念毘尼者，與憶念毘尼；應與不癡毘尼者，與不癡毘尼。此為如法羯磨、毘尼羯磨耶？」「優波離！此如法羯磨、毘尼羯磨也。」「和合僧應與不癡毘尼者，與不癡毘尼；應作實覓羯磨者，作實覓羯磨……應與出罪者，與出罪；應授具足戒者，授具足戒。此為如法羯磨、毘尼羯磨耶？」

（八）

「優波離！此如法羯磨、毘尼羯磨也。優波離！和合僧應與憶念毘尼者，與憶念毘尼；應與不癡毘尼者，與不癡毘尼。優波離！如此者，如法羯磨、毘尼羯磨也。如此者，于僧伽無過。優波離！

和合僧應與不癡毘尼者，與不癡毘尼……應授具足戒者，授具足戒。優波離！如此者，如法羯磨、毘尼羯磨也。如此者，于僧伽無過。」

（九）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！和合僧應與憶念毘尼者，與不癡毘尼。諸比丘！如此者，非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此者，于僧伽有過。諸比丘！和合僧應與憶念毘尼者，作實覓羯磨；應與憶念毘尼者，作呵責羯磨……應與憶念毘尼者，授具足戒。諸比丘！如此者，非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此者，于僧伽有過。諸比丘！和合僧應與不癡毘尼者，作實覓羯磨。諸比丘！如此者，非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此者，于僧伽有過。諸比丘！和合僧應與不癡毘尼者，作呵責羯磨……應與不癡毘尼者，授具足戒；應與不癡毘尼者，與憶念毘尼。諸比丘！如此者，非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此者，于僧伽有過。諸比丘！和合僧應作實覓羯磨者……應授具足戒者，與出罪。諸比丘！如此者，非法羯磨、非毘尼羯磨也。如此者，于僧伽有過。」

———優波離所問誦品終———

七

（一）

「諸比丘！此處有比丘，常訴訟、鬥諍、爭論、喧吵，于僧伽起諍事。此中諸比丘心生思念：『此比丘常訴訟……乃至……于僧伽起諍事，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作非法別眾呵責羯磨。彼從彼住處往他住處，是處諸比丘心生思念：『此比丘由僧伽受非法別眾呵責羯磨，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作非法和

合呵責羯磨。彼從彼住處往他住處，是處諸比丘……『……受非法和合呵責羯磨，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作如法別眾呵責羯磨。彼從彼住處往他……『……受如法別眾呵責羯磨，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作似法別眾呵責羯磨。彼從彼住處往他……『……受似法別眾呵責羯磨，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作似法和合呵責羯磨。

（二）

諸比丘！此處有比丘，常訴訟……于僧伽起諍事。此中諸比丘心生思念：『此比丘常訴訟……于僧伽起諍事，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作非法和合呵責羯磨。彼從彼住處往他住處，是處諸比丘心生思念：『此比丘由僧伽受非法和合呵責羯磨，我等為彼……』……〔作〕如法別眾〔呵責羯磨〕。彼從彼住處……〔作〕似法別眾〔呵責羯磨〕。彼從彼住處……〔作〕似法和合〔呵責羯磨〕。彼從彼住處……〔作〕非法別眾〔呵責羯磨〕。

（三）

諸比丘！此處有比丘，常訴訟……于僧伽起諍事。此中諸比丘心生思念：『此比丘常訴訟……于僧伽起諍事，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作如法別眾呵責羯磨……〔作〕似法別眾……似法和合……非法別眾……非法和合〔呵責羯磨〕。

（四）

諸比丘！此處有比丘，常訴訟……于僧伽起諍事。此中諸比丘心生思念：『此比丘常訴訟……于僧伽起諍事，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作似法別眾呵責羯磨……〔作〕似法和合……非法別眾……非法和合……如法別眾〔呵責羯磨〕。

（五）

諸比丘！此處有比丘，常訴訟……于僧伽起諍事。此中諸比丘心生思念：『此比丘常訴訟……于僧伽起諍事，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作似法和合呵責羯磨……〔作〕非法別眾……非法和合……如法別眾……似法別眾〔呵責羯磨〕。

（六）

諸比丘！此處有比丘，愚癡、暗昧而犯種種罪，不受教誡，與在家人交往，與不隨順在家眾俱住。此中諸比丘心生思念：『此比丘愚癡、暗昧而……俱住，我等為彼作依止羯磨。』彼等為彼作非法別眾依止羯磨。彼從彼住處往他住處，是處諸比丘心生思念：『此比丘由僧伽受非法別眾依止羯磨，我等為彼作依止羯磨。』彼等為彼作非法和合依止羯磨……乃至……〔作〕如法別眾、似法別眾、似法和合〔依止羯磨〕。（如上應作環說）。

（七）

諸比丘！此處有比丘，污他家，行惡行。此中諸比丘心生思念：『此比丘污他家，行惡行，我等為彼作驅出羯磨。』彼等為彼作非法別眾驅出羯磨……〔同第九　瞻波犍度七（六）〕……〔作〕似法和合〔驅出羯磨〕。（亦如上作環說）。

（八）

諸比丘！此處有比丘，以惡口罵詈在家人。此中諸比丘心生思念：『此比丘以惡口罵詈在家人，我等為彼作下意羯磨。』彼等為彼作非法別眾下意羯磨……〔同第九　瞻波犍度七（六）〕……〔作〕似法和合〔下意羯磨〕。（亦如上作環說）。

（九）

諸比丘！此處有比丘，犯罪不欲見罪。此中諸比丘心生思念：『此比丘犯罪，不欲見罪，我等為彼依不見罪作舉罪羯磨。』彼等為彼依不見罪，作非法別眾舉罪羯磨……〔同第九　瞻波犍度七（六）〕……〔作〕似法和合〔舉罪羯磨〕。（亦作環說）。

（一〇）

諸比丘！此處有比丘，犯罪，不欲懺悔罪。此中諸比丘心生思念：『此比丘犯罪，不欲懺悔罪，我等為彼依不懺悔罪，作舉罪羯磨。』彼等為彼依不見懺悔罪，作非法別眾舉罪羯磨……〔同第九　瞻波犍度七（六）〕……〔作〕似法和合〔舉罪羯磨〕。（亦作環說）。

（一一）

諸比丘！此處有比丘，不欲棄惡見。此中諸比丘心生思念：『此比丘不欲棄惡見，我等為彼依不棄惡見，作舉罪羯磨。』彼等為彼依不棄惡見，作非法別眾舉罪羯磨……〔同第九　瞻波犍度七（六）〕……〔作〕似法和合〔舉罪羯磨〕。（亦作環說）。

（一二）

諸比丘！此處有比丘，雖受僧伽呵責羯磨，正行、謹慎而欲出罪，乞解呵責羯磨。此中諸比丘心生思念：『此比丘由僧伽受呵責羯磨，……正行……乞解……，我等為彼解呵責羯磨。』彼等為彼作非法別眾解呵責羯磨。彼從彼住處往他住處，是處諸比丘心生思念：『此比丘由僧伽受非法別眾解呵責羯磨，我等為彼解呵責羯磨。』彼等為彼作非法和合解呵責羯磨……以如法別眾……以似法別眾……以似法和合〔解呵責羯磨〕。

（一三）

諸比丘！此處有比丘，由僧伽受呵責羯磨，正行、謹慎而欲出罪，乞解呵責羯磨。此中諸比丘心生思念：『此比丘……乞解……。我等為彼解呵責羯磨。』彼等為彼作非法和合解呵責羯磨……〔同第九　瞻波犍度二～五〕……作似法別眾〔解呵責羯磨〕。

（一四）

諸比丘！此處有比丘，由僧伽受依止羯磨，正行、謹慎而欲出罪，乞解依止羯磨……〔同第九　瞻波犍度一二～一三〕……諸比丘！此處有比丘，由僧伽受驅出羯磨……已受下意羯磨……依不見罪，已受舉罪羯磨……依不懺悔罪，已受舉罪羯磨……依不捨惡見，已受舉罪羯磨……（應作環說）。

（一五）

諸比丘！此處有比丘，常訴訟……于僧伽起諍事。此中諸比丘心生思念：『此比丘常訴訟……乃至……于僧伽起諍事，我等為彼作呵責羯磨。』彼等為彼作非法別眾呵責羯磨。是處僧伽起諍論而言：『非法別眾羯磨也，非法和合羯磨也，如法別眾羯磨也，似法別眾羯磨也，似法和合羯磨也，未作羯磨，作惡羯磨，應復作羯磨。』諸比丘！此中，說『非法別眾羯磨』之諸比丘與說『未作羯磨、作惡羯磨、應復作羯磨』之諸比丘，為如法說者。

（一六）

諸比丘！此處有比丘，常訴訟……彼等為彼作非法和合呵責羯磨。是處之……諸比丘！此中，說『非法和合羯磨』之諸比丘與說『未作羯磨、作惡羯磨、應復作羯磨』之諸比丘，為如法說者。諸比丘！此處有比丘，常訴訟……如法別眾……似法別眾……似法和合……于此……之諸比丘，為如法說者。

（一七）

諸比丘！此處有比丘，愚癡、暗昧而犯種種罪，不受教誡，與在家人交往，與不隨順在家眾俱住。此中諸比丘心生思念：『此比丘愚癡、暗昧而……俱住，我等為彼作依止羯磨。』彼等為彼作非法別眾依止羯磨……乃至……非法和合……如法別眾……似法別眾……似法和合〔依止羯磨〕。是處僧伽起諍論言……于此……之諸比丘，為如法說者。（如此有五重略說）。

（一八）

諸比丘！此處有比丘，污他家，行惡行。此中……『……作驅出羯磨。』……（如此有五重略說）。諸比丘！此處有比丘，以惡口罵詈在家人。此中……『……作下意羯磨』……（如此有五重略說）。諸比丘！此處有比丘，犯罪不欲見罪。此中……『……依不見罪，作舉罪羯磨。』……（如此有五重略說）。諸比丘！此處有比丘，犯罪不欲懺悔罪。此中……『……依不懺悔罪，作舉罪羯磨。』……（如此有五重略說）。諸比丘！此處有比丘，不欲棄惡見。此中……『……依不棄惡見，作舉罪羯磨。』……（如此有五重略說。）

（一九）

諸比丘！此處有比丘，由僧伽受呵責羯磨，正行、謹慎而欲出罪，乞解呵責羯磨。此中諸比丘心生思念：『此比丘由僧伽受呵責羯磨，正行……乞解……，我等為彼解呵責羯磨。』彼等為彼作非法別眾解呵責羯磨。是處僧伽起諍事而言……于此……之諸比丘，為如法說者。諸比丘！此處有比丘，由僧伽受呵責羯磨，正行而謹慎，彼等為彼作非法和合解呵責羯磨……作如法別眾……作似法別眾……作似法和合……于此……之諸比丘，為如法說者。

（二〇）

諸比丘！此處有比丘，由僧伽受呵責羯磨……已受驅出羯磨……已受下意羯磨……依不見罪受舉罪羯磨……依不懺悔罪，已受舉罪羯磨……依不棄惡見，已受舉罪羯磨……于此……之諸比丘，為如法說者。」

此犍度有三十六事。攝頌曰：

世尊在瞻波　婆娑婆村事
奉事客比丘　知已辦勤癈
不作而被舉　往勝者住處
非法別羯磨　非法合羯磨
如法別羯磨　似法別羯磨
為似法羯磨　一人舉一人
唯一人二人　多人舉僧伽
二人及多人　並全僧伽眾
僧伽舉僧伽　最勝一切智
聞之斥非法　無白有唱說
無唱說有白　如是作羯磨
二缺減違法　違師受呵責
有過不應理　非法與別眾
和合及似二　為如來所許
唯如法和合　四眾與五眾
十眾・二十眾　及過二十眾
是僧伽五種　除授戒・自恣
與出罪羯磨　四眾于餘者
皆得作羯磨　除中國授戒
出罪二羯磨　五眾于餘者
皆得作羯磨　十數比丘眾
但除出罪一　得作餘羯磨
二十眾僧伽　作一切羯磨
尼・式叉摩那　沙彌・沙彌尼
棄戒・極罪者　舉罪・不見罪
不懺罪・惡見　黃門・賊住者
外道・及畜生　殺母・殺父者
殺阿羅漢者　污比丘尼者

破僧・出佛血　以及二根者
異住・異界者　乃至神通者
此等二十四　僧伽作羯磨
全部不算數　佛陀之所斥
今有別住者　以為第四人
別住・本日治　摩那埵・出罪
非羯磨非事　應本日治者
及摩那埵者　與應出罪者
佛說此五人　不得作羯磨
尼・式叉摩那　沙彌・沙彌尼
棄戒・極罪者　狂者・亂心者
受苦・不見罪　不懺罪・惡見
黃門・二根者　異住・異界者
住于虛空者　十八人遭呵
不應受羯磨　受善比丘呵
驅清淨者惡　驅愚者則善
黃門・賊住者　外道・及畜生
殺母・及殺父　及殺阿羅漢
染污比丘尼　破和合僧者
出佛身血者　以及二根者
十一解羯磨　是為不相應
手・足・手足俱　耳・鼻・耳鼻俱
手指或大指　或腱遭截除
有手如蛇頭　佝僂・及侏儒
疹疾・有烙印　表記・象皮病
惡疾眾不快　瞎子及彎足
跛子・痲痺者　威儀不能人
老衰・盲・啞聾　盲啞・及盲聾
聾啞・盲聾啞　三十二類人
得以解羯磨　是乃佛所云
應無罪無懺　無應棄惡見
七種舉非法　于認罪者中
有七種非法　若不認罪者
七羯磨如法　作者之現前
缺・問及自言　憶念與不癡
實覓及呵責　驅出及下意
舉罪・本日治　別住摩那埵
出罪・具足戒　若或異作者

非法十六事　若成正作者
善法十六事　返成異作者
非法十六事　二二為根本
如法十六事　一一為根本
結輪為非法　乃是勝者說
僧伽于訴訟　作呵責羯磨
非法別羯磨　彼往餘住處
是處作非法　之和合呵責
餘處作如法　之別眾呵責
作似法別眾　以及作和合
如法及和合　如法與別眾
似法・及別眾　乃至與和合
如是此等句　一一為根本
知者以結輪　愚癡・暗昧者
為之作依止　于污他家者
為之作驅出　惡口作下意
不見・不懺罪　不棄惡見者
作舉罪羯磨　世尊作是說
依舉罪羯磨　知者知呵責
以隨順・正行　乞解羯磨者
依上說羯磨　之理趣行之
于各各羯磨　現前而諍論
未作・及惡作　復作應行之
于羯磨與解　比丘如法說
羯磨有異解　大牟尼見之
猶如醫師藥　寂靜一如歸

第十　憍賞彌犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住憍賞彌瞿師羅園。時，有一比丘犯罪，彼雖見彼罪為罪，餘諸比丘卻見彼罪不為罪。爾後，彼雖不見彼罪為罪，餘諸比丘卻見彼罪為罪。時，諸比丘言彼比丘：「汝犯罪，汝見此罪耶？」「我無應見之罪。」時，彼諸比丘得和合，依不見罪而舉彼比丘。

（二）

彼比丘多聞而通阿含、持法、持律、持摩夷、賢明、聰敏、有慧、有恥、有悔而好學。時，彼比丘到同見相親諸比丘處言：「此非罪，此不成罪，我無犯，我非有犯，我不受舉，我非被舉。作非法、有過、不應理之羯磨以舉我也。汝等依律、法為我朋黨。」彼比丘得同見相親諸比丘為朋黨，亦遣使至地方同見相親諸比丘處言：「此非罪……舉我也。具壽等！依律與法為我朋黨。」彼比丘亦使地方同見相親諸比丘為朋黨。

（三）

時，隨彼被舉〔比丘〕之諸比丘，至舉罪諸比丘處。至而言作舉罪之諸比丘：「此非罪，此不成罪，此比丘無犯，此比丘非有犯，此比丘不受舉，此比丘非被舉。乃作非法、有過、不應理之羯磨而舉也。」如此說已，作舉罪之諸比丘言：「此成罪，此非無罪，此比丘有犯，此比丘非無犯，此比丘被舉，此比丘非無受舉。乃作如法、無過、應理之羯磨而舉也。諸具壽！勿隨順被舉比

丘。」作舉罪之諸比丘如此說已，隨彼被舉〔比丘〕之諸比丘仍隨順彼被舉比丘。

（四）

時，有一比丘詣世尊住處，詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，彼比丘白世尊：「此處有一比丘犯罪，彼雖見彼罪為罪，餘諸比丘卻不見彼罪為罪。爾後，彼雖不見彼罪為罪，餘諸比丘則見彼罪為罪。時，彼諸比丘……〔同第十　憍賞彌犍度一〕……作舉罪之諸比丘如此說已，隨被舉〔比丘〕之諸比丘仍隨順被舉比丘。」

（五）

時，世尊曰：「比丘眾破矣！比丘眾破矣！」即從座起，至作舉罪之諸比丘處。至已，坐于所設座上。世尊坐已，告作舉罪之諸比丘曰：「諸比丘！汝等勿思：『我等如是思，我等如是思。』而于各各事舉比丘。

（六）

諸比丘！此處有比丘犯罪，彼雖不見彼罪為罪，餘諸比丘則見彼罪為罪。諸比丘！彼諸比丘對彼比丘若知『此具壽多聞、通阿含……好學。我等若依此比丘不見罪而舉者，我等與此比丘不俱作布薩，除此比丘而作布薩。依此，僧伽生起訴訟、鬥諍、爭論、諍論，令破僧伽，令僧伽蒙塵垢，令僧伽別住，令僧伽別異。』諸比丘！重視破僧事之諸比丘，依此比丘不見罪，不得舉。

（七）

諸比丘！此處有比丘犯罪，彼若知……『……舉者，我等與此比丘不俱作自恣，除此比丘而作自恣……我等與此比丘不俱作僧伽

羯磨，除此比丘而作僧伽羯磨……我等與此比丘不俱坐，除此比丘而坐……我等與此比丘不俱坐而飲粥，除此比丘，坐而飲粥……我等與此比丘不俱坐于食堂，除此比丘而坐于食堂……我等與此比丘不俱住同一屋，除此比丘而住同一屋……我等與此比丘不俱隨長幼之序敬禮、迎送、合掌、恭敬，除此比丘而隨長幼之序敬禮……恭敬。依此，僧伽生起訴訟、鬥諍、爭論、諍論，令破僧伽，令僧伽蒙塵垢，令僧伽別住，令僧伽別異。』諸比丘！重視破僧事之諸比丘，依此比丘不見罪，不得舉。」

（八）

時，世尊于作舉罪之諸比丘說此義已，即從座起，至隨被舉〔比丘〕之諸比丘住處，至而坐于所設座上。世尊坐已，告隨被舉〔比丘〕之諸比丘曰：「諸比丘！汝等犯罪後，勿思：『我等不犯。』以為不需懺悔罪。諸比丘！此處有比丘犯罪，彼雖不見彼罪為罪，餘諸比丘則見彼罪為罪。諸比丘！彼比丘對彼諸比丘若知『此諸具壽多聞、通阿含、持法、持律、持摩夷、賢明、聰敏、有慧、有恥、有悔而好學。我或餘人無為貪欲、瞋恚、愚癡、怖畏而墮邪惡事。若彼諸比丘依我不見罪而舉者，彼等與我不俱作布薩，除我而作布薩……與我不俱作自恣，除我而作自恣……除我而隨長幼之序敬禮、迎送、合掌、恭敬。依此，僧伽生起訴訟、鬥諍、爭論、諍論，令破僧伽，令僧伽蒙塵垢，令僧伽別住，令僧伽別異。』諸比丘！重視破僧事之比丘信餘人，應自說罪。」時，世尊為隨被舉〔比丘〕之諸比丘說此義已，即從座起而去。

（九）

爾時，隨被舉〔比丘〕之諸比丘于界內作布薩，作僧伽羯磨。作舉罪之諸比丘出于界外而作布薩，作僧伽羯磨。時，一作舉罪之比丘詣世尊住處，詣已，敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，彼比

丘白世尊：「隨彼被舉〔比丘〕之諸比丘于界內作布薩，作僧伽羯磨；我等作舉罪之諸比丘出于界外而作布薩，作僧伽羯磨。」「比丘！隨彼被舉〔比丘〕之諸比丘于界內作布薩，作僧伽羯磨時，若依如我所定之表白與唱說者，則彼等之羯磨如法、無過、應理。比丘！汝等作舉罪之諸比丘于界內作布薩，作僧伽羯磨時，若依如我所定之表白與唱說者，則汝等之羯磨如法、無過、應理。

（一〇）

比丘！此何故耶？彼諸比丘與汝等不同住也，汝等乃與彼等不同住也。比丘！不同住地有二：自行不同住及僧伽和合而舉彼，作不見、不懺悔、不捨〔羯磨〕。比丘！如此不同住地有二也。比丘！同住處地有二：自行同住處及僧伽和合而先解舉彼，作不見、不懺悔、不捨〔羯磨〕。諸比丘！如此同住處地有二也。」

二

（一）

爾時，諸比丘于食堂、于舍內，生訴訟，生鬥諍，行諍論，作互相不隨順之身業、語業，以手搏撻。眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子于食堂、于舍內，生……以手搏撻耶？」諸比丘聞彼眾人之忿怒、非難。少欲諸比丘亦忿怒、非難：「如何諸比丘于食堂、于舍內，生……以手搏撻耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰〕：「諸比丘……真實否？」「世尊！真實也！」……〔乃至〕……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！破僧伽，行非法而有不和時，應行思念：『我等作互相不隨順之身業、語業，以手搏撻。』而不得坐于座。諸比丘！僧伽破而如法行調和時，可坐。」

（二）

爾時，諸比丘于僧伽中，生起訴訟……行諍論，互相以口傷害而住，彼等不能滅彼諍事。時，有一比丘詣世尊住處，詣已，敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，彼比丘白世尊：「此處諸比丘于僧伽中……不能滅……。願世尊哀愍，至彼諸比丘住處。」世尊默然而許。時，世尊至彼諸比丘住處，至而坐于所設座上。世尊坐已，言彼諸比丘曰：「諸比丘！且止！勿訴訟，勿鬥諍，勿爭論，勿諍論。」如此言已，有一非法說比丘白世尊：「世尊法主！請待時。世尊！請具現法樂住，住于安穩。此訴訟、鬥諍、爭論、諍論乃我等事也。」世尊再次告彼諸比丘，曰：「諸比丘！且止……勿諍論。」彼非法說比丘再次白世尊：「世尊法主！請待時……乃我等事也。」時，世尊告諸比丘曰：

（三）

「諸比丘！乃往過去世波羅榇國有迦尸王名梵施，富而財多、資多、兵多、車多、國土大而庫豐足。有拘薩羅王名長壽，貧而財少、資少、兵少、車少、國土少、庫不豐足。諸比丘！時迦尸王梵施以整四部兵伐拘薩羅王長壽。諸比丘！拘薩羅王長壽聞：『迦尸王梵施整四部兵來伐我。』諸比丘！時，拘薩羅王長壽心生思念：『迦尸王梵施富……庫豐足，我貧而……庫不豐足。我不能與迦尸王梵施一戰，我當先逃出都城。』諸比丘！時，拘薩羅王長壽與第一夫人俱先逃出都城。諸比丘！時，迦尸王梵施侵奪拘薩羅王長壽之兵、車、國土、藏、庫而治之。諸比丘！時，拘薩羅王長壽與第一夫人俱向波羅榇國而去，順次至波羅榇國。諸比丘！此拘薩羅王長壽與第一夫人俱臨波羅榇城，于一處扮為遊行梵志，住于陶師之家。

（四）

諸比丘！時，拘薩羅王長壽之第一夫人不久有娠。彼女心生欲念：『欲見日初出時，四部兵整列，全著武具，立于殊勝之地，欲飲洗刀水。』諸比丘！時，拘薩羅王長壽之第一夫人言拘薩羅王長壽曰：『大王！我有娠矣！我生欲念：欲見日初……飲……。』『妃！我等困窮，如何得四部兵整列著武具立于殊勝之地耶？如何得洗刀水耶？』『大王！我若不得者即死。』

（五）

諸比丘！時，迦尸王梵施之梵志國師乃拘薩羅王長壽之友。諸比丘！時，拘薩羅王長壽至迦尸王梵施之梵志國師住處，至而言迦尸王梵施之梵志國師曰：『〔汝友之妃〕有娠，彼女心生欲念：欲見日初……飲……。』『大王！若爾，我等見妃。』諸比丘！時，拘薩羅王長壽之第一夫人至迦尸王梵施之梵志國師住處。諸比丘！迦尸王梵施之梵志國師見拘薩羅王長壽之第一夫人從遠處而來，見而即從座起，偏袒上衣，合掌以揖拘薩羅王長壽之妃，三稱言曰：『拘薩羅王！有妊，拘薩羅王！有妊。』〔又言：〕『妃！安心！日出時，汝將見四部兵整列，全著武具，立于殊勝之地；汝將飲洗刀之水。』

（六）

諸比丘！時，迦尸王梵施之梵志國師乃至迦尸王梵施住處，至而言迦尸王梵施：『大王！有如此相：明日日初出時，以四部兵整列，全著武具，立于殊勝之地，並令洗刀。』諸比丘！時，迦尸王梵施命眾人言：『如梵志國師之言而行！』諸比丘！拘薩羅王長壽之第一夫人于日出時，得見四部兵整列，全著武具，立于殊勝之地，並得飲洗刀之水。諸比丘！時，拘薩羅王長壽之第一夫人其胎熟而生男兒，名為長生。諸比丘！時，長生王子不久即得分別。

（七）

諸比丘！時，拘薩羅王長壽心生思念：『彼迦尸王梵施作多害于我等，彼奪我等之兵、車、國土、藏、庫。彼若見我等三人將盡殺之，我當使長生王子住于城外。』諸比丘！時，拘薩羅王長壽使長生王子住于城外。諸比丘！時，長生王子住于城外，不久學得一切技藝。

（八）

諸比丘！爾時，有拘薩羅王長壽之〔昔日〕剃髮師，而〔後〕屬迦尸王梵施者。諸比丘！拘薩羅王長壽之〔昔日〕剃髮師見拘薩羅王長壽與第一夫人俱近波羅棕城一處，扮為遊行梵志，住于陶師家。見而至迦尸王梵施住處，至而言迦尸王梵施曰：『大王！拘薩羅王長壽與第一夫人俱于近波羅棕城一處，扮為遊行梵志，住于陶師之家。』

（九）

諸比丘！時，迦尸王梵施命眾人言：『捕拘薩羅王長壽與彼第一夫人來！』『大王！唯！唯！』彼眾人應諾迦尸王梵施，捕拘薩羅王長壽與彼第一夫人。諸比丘！時，迦尸王梵施命人言：『將拘薩羅王長壽與彼第一夫人俱以堅繩縛其手于後，剃其頭髮，打惡聲鼓，由道路至道路，由四衢道至四衢道，巡迴而出南門，于城南方分為四分，而棄〔四〕片于四方。』『大王！唯！唯！』彼眾人應諾迦尸王梵施，將拘薩羅王長壽與彼第一夫人俱以堅繩縛其手于後，剃其頭髮，打惡聲鼓，由道路至道路，由四衢道至四衢道，來往巡迴。

（一〇）

諸比丘！時，長生王子心生思念：『我久不見父母，我當往見父母。』諸比丘！時，長生王子入波羅榇城，見父母俱為堅繩縛其手于後，頭髮剃落，于惡鼓聲中，由道路至道路，由四衢道至四衢道，來往巡迴。見而至父母處。諸比丘！拘薩羅王長壽見長生王子從遠方來，見而言長生王子曰：『長生！勿見長，勿見短。長生！勿以怨息怨，長生！以德息怨也。』

（一一）

諸比丘！如此言時，眾人言拘薩羅王長壽曰：『此拘薩羅王長壽乃發狂而妄語，誰是彼之長生耶？其語向誰言：長生！勿見長，勿見短。長生！勿以怨息怨，以德息怨也。』『我非發狂而妄語，智者了悟。』諸比丘！再次……乃至……諸比丘！三次拘薩羅王長壽言長生王子：『長生……息怨也。』諸比丘！三次眾人言拘薩羅王長壽：『拘薩羅王……』『……悟。』諸比丘！時，眾人乃令拘薩羅王長壽與第一夫人俱，由道路至道路，由四衢道至四衢道，來往巡迴，由南門出，于城南方分為四分，將〔四〕片棄于四方，置兵而去。

（一二）

諸比丘！時，長生王子持酒入波羅榇城，而令兵眾飲之。彼等醉倒之時，集薪作火堆，將父母之骸載于火堆之上而點火，合掌巡迴火堆，右繞三次。諸比丘！其時，迦尸王梵施乃登殊勝樓台上層，諸比丘！迦尸王梵施見長生王子合掌而巡迴火堆，右繞三次。見而心生思念：『此人必是拘薩羅王長壽之親族緣者，無人可告我，我損失也。』

（一三）

諸比丘！時，長生王子往林間，盡情號哭後，拭淚入波羅榇城，往近後宮之象廄，言象師曰：『師！我欲學技藝。』『童子！若爾，且學。』諸比丘！時，長生王子夜分凌晨時起身，于象廄以美妙音聲歌而彈琴。諸比丘！迦尸王梵施于夜分凌晨時聞象廄以美妙音聲歌而彈琴。聞而問人言：『夜分凌晨時起，于象廄以美妙音聲歌而彈琴者，誰耶？』

（一四）

『大王！有某甲象師之弟子童子，夜分凌晨時起，于象廄以美妙音聲歌而彈琴。』『若爾！喚彼童子。』『大王！唯！唯！』彼眾人應諾迦尸王梵施，而喚長生童子至。『童子！汝夜分凌晨時起，于象廄以美妙音聲歌而彈琴耶？』『大王！然！』『童子！若爾，即歌，彈琴！』『大王！唯！唯！』長生王子應諾迦尸王梵施，欲得愛顧而以美妙音聲歌且彈琴。諸比丘！時，迦尸王梵施言長生王子曰：『童子！侍從我！』『大王！唯！唯！』長生王子應諾迦尸王梵施。諸比丘！時，長生王子較迦尸王梵施先起、後睡，應一切命，行適意，語可愛。諸比丘！時，迦尸王梵施不久令長生王子于宮內任職。

（一五）

諸比丘！時，迦尸王梵施言長生王子曰：『童子！駕車，我等出獵。』『大王！唯！唯！』長生王子應諾迦尸王梵施，駕車言迦尸王梵施曰：『大王！將駕車，請知時！』諸比丘！時，迦尸王梵施乘車，長生王子驅車，隨驅兵眾及車乘終于各往異處。諸比丘！時，迦尸王梵施往遠處後，言長生王子：『童子！停車！我甚疲憊，欲睡也。』『大王！唯！唯！』長生王子應諾迦尸王梵施，于地結跏趺坐。諸比丘！時，迦尸王梵施以長生王子之膝為枕而臥，彼甚疲憊，不須臾已眠矣。

（一六）

諸比丘！時，長生王子心生思念：『此迦尸王梵施作多害于我等，彼奪我等之兵、車、國土、藏、庫，彼殺我父母，今乃我報怨之時也。』如是由鞘拔劍。諸比丘！時，長生王子心生思念：『父臨死言我曰：「長生！勿見長，勿見短。長生！勿以怨息怨，長生！以德息怨。」違忤父語不正也。』如是納劍于鞘。諸比丘！再次長生王子心生思念：『此迦尸王……』……拔劍。諸比丘！二次長生王子心生思念：『父……違忤父語不正也。』如是復納劍于鞘。諸比丘！三次，納……。諸比丘！時，迦尸王梵施怖畏、驚愕、恐懼、恐怖而起。諸比丘！時，長生王子言迦尸王梵施曰：『大王！汝如何怖畏……而起耶？』『童子！夢拘薩羅王長壽之兒長生王子以劍襲我，故我怖畏、驚愕、恐懼、恐怖而起。』

（一七）

諸比丘！時，長生王子左手撮迦尸王梵施之頭，右手拔劍言迦尸王梵施曰：『大王！我拘薩羅王長壽之兒長生王子也，汝作多害我等，汝奪我等之兵、車、國土、藏、庫，汝殺我父母，今乃我報怨時也。』諸比丘！時，迦尸王梵施以頭面禮長生王子足，言長生王子曰：『長生！赦我命！長生！赦我命！』『如何得言我赦大王之命耶？唯有大王赦我命也。』『長生！若爾，汝赦我命，我亦赦汝命。』諸比丘！時，迦尸王梵施及長生王子互相赦命誓不作害。諸比丘！時，迦尸王梵施言長生王子曰：『長生！駕車，我等往焉。』『大王！唯！唯！』長生王子應諾迦尸王梵施，駕車而言迦尸王梵施曰：『大王！將駕車，請知時！』諸比丘！時，迦尸王梵施乘車，長生王子驅車，隨驅不久而與兵眾會合。

（一八）

諸比丘！時，迦尸王梵施入波羅棕城，令集會諸大臣、大官曰：『汝等若見拘薩羅王長壽之兒長生王子，將如何為之耶？』或言：『大王！我等截其手。大王！我等截其足。大王！我等截其手、足。大王！我等截其耳。大王！我等截其鼻。大王！我等截其耳、鼻。大王！我等截其頭。』『此乃拘薩羅王長壽之兒長生王子也，于彼一切皆不得作，彼赦我命，我赦彼命也。』

（一九）

諸比丘！時，迦尸王梵施言長生王子曰：『長生！汝父臨死言：「長生！勿見長，勿見短。長生！勿以怨息怨，長生！以德息怨。」汝父以何意趣而言此耶？』『大王！我父臨死言：「勿〔見〕長」，是言「勿長怨」也，大王！我父臨死言此為「勿〔見〕長」也。大王！我父臨死言：「勿〔見〕短」者，是言「勿速與友不和」也，大王！我父臨死言此為「勿〔見〕短」也。大王！我父臨死言：「長生！勿以怨息怨，長生！以德息怨。」大王殺我父母，我若奪大王之命，欲大王得利之眾人將奪我命；欲我得利之眾人將奪彼等之命。如此者，以怨不得息怨也。今大王赦我之命，我赦大王之命，如此，以德息怨也。大王！我父臨死〔諄諄〕言此：「長生！以怨……以德息怨。」』

（二〇）

諸比丘！時，迦尸王梵施言：『希有也！未曾有也！此長生王子乃賢明也。何以故？于父略說，能廣解其義故也。』屬父之兵、車、國土、藏、庫，還之而與〔己〕女。諸比丘！彼于取杖、持刀之王，尚有如此忍辱、慈心。諸比丘！于此處，汝等于如此所善說之法與律出家者，應善持忍辱、慈心。」世尊三次告比丘曰：「諸比丘！且止！勿訴訟，勿鬥諍，勿爭論，勿諍論。」彼非法比丘三次白世尊言：「世尊法主！請待時，世尊！請具現法樂住，請住安

穩，我等行此訴訟、鬥諍、爭論、諍論是我等事。」時，世尊曰：「此等愚人蒙昧，不易教誡。」即從座起而去。

———長生誦品

〔終〕———

三

（一）

時，世尊于早晨著下裳，持鉢、衣，為乞食入憍賞彌城。行乞食，食後由乞食還來，收藏臥具牀座，持鉢、衣，立于僧伽中，說如此偈，曰：

人悉出大聲　不覺自己愚
破壞僧伽時　餘事更不思
以言語為境　論說似賢迷
如何懸口河　就裡不自知
罵・搏・敗掠奪　執念怨不息
罵・搏・敗掠奪　不執怨自息
此處怨報怨　終于怨不息
以德使怨息　是法不容易
我等于此處　自制餘不悟
悟者則爭息　碎骨而斷命
奪牛馬財盡　彼等雖國破
尚且有和合　如何汝等莫
若有智善住　賢明之同行
得以交為友　克一切困難
歡喜與正念　且如是俱行
若無智善住　賢明之同行
不得交為友　則卓爾獨行
如敗棄國王　如森林中象
獨行實殊勝　不應友愚人
獨行勿作惡　如象安穩林

四

（一）

時，世尊立于僧伽中，說如此偈已，往婆羅樓羅村。爾時，具壽婆咎住婆羅樓羅村。具壽婆咎見世尊從遠方來，見而設牀座，置洗足水、足台、足布，迎而取鉢、衣。世尊坐于所設座上，坐而洗足。具壽婆咎敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，世尊言具壽婆咎曰：「比丘！忍否？足否？為乞食不疲倦否？」「世尊！忍！世尊！足！我為乞食不疲倦。」時，世尊說法、教示具壽婆咎……令之慶喜，即從座起，往般那蔓闍寺林而去。

（二）

爾時，具壽阿那律陀、具壽難提、具壽金毘羅住般那蔓闍寺林。守林人見世尊從遠方來，見而白世尊言：「沙門！勿入此林。此處有三族姓子，自愛而住，請勿擾之。」具壽阿那律陀聞守林人語世尊，聞而言守林人曰：「守林人！勿止世尊，我等之師世尊來臨。」具壽阿那律陀至具壽難提、具壽金毘羅住處。至而言具壽難提與具壽金毘羅曰：「諸具壽！諸具壽！來。我等之師世尊來臨矣！」

（三）

時，具壽阿那律陀、具壽難提、具壽金毘羅俱迎世尊，一人取世尊鉢、衣，一人設牀座，一人置洗足水、足台、足布。世尊坐于所設座上，坐而洗足。彼諸具壽敬禮世尊，坐于一面。坐于一面時，世尊告具壽阿那律陀曰：「阿那律陀！忍否？足否？為乞食疲倦否？」「世尊！忍！世尊！足！我等為乞食不疲倦。」「阿那律陀！汝等和合、相喜、無諍，有如水乳，互以愛眼相視而住否？」「我等實和合、相喜、無諍，有如水乳，互以愛眼相視而住。」「阿那律陀！汝等如何和合、相喜……視而住耶？」

（四）

「此處，我生思念：『我與如此同行者俱住，我得利也，我善利也。』如是，我于此諸具壽，于顯，于隱，為慈身行，為慈語行；于顯，于隱，為慈意行。我生思念：『我當棄己之心，應依此諸具壽之心而轉。』如是，我棄己之心，依此諸具壽之心而轉，雖身異而心一也。」具壽難提及具壽金毘羅亦白世尊，言：「我亦生思念……而心一也。如此，我等和合、相喜、無諍，有如水乳，互以愛眼相視而住也。」

（五）

「阿那律陀！汝等不放逸、正勤、專念而住否？」「我等實不放逸、正勤、專念而住。」「阿那律陀！汝等如何不放逸、正勤、專念而住耶？」「此處，我等之中往村乞食，先還者即設牀座，置洗足水、足台、足布……我等因此不用語言。我等每五日俱坐，終夜說法。如此，我等不放逸、正勤、專念而住也。」

（六）

時，世尊說法而教示具壽阿那律陀、具壽難提、具壽金毘羅……令之慶喜，從座而起，向波羅聚落遊行，順次遊行到波羅聚落。于此，世尊住波羅聚落護寺林之賢娑羅樹下。時，世尊靜居宴默，心生如此思念：「我前常為訴訟、鬥諍、諍論、喧吵、于僧伽起諍事之彼憍賞彌諸比丘所惱，安樂無住。今離去常起訴訟……諍事之彼憍賞彌諸比丘，離而無伴，唯有一人而安樂安穩住。」有一大象為諸牡象、幼象、子象所惱而住，〔自〕食缺頂之草，彼折之枝為〔他眾象〕所食，飲濁水，沈于水，渡水時，眾象摩觸身而行。時，彼大象心生思念：「我為諸牡象、牝象、幼象、子象所惱而住，〔自〕食缺頂之草，我所折之枝為〔其他眾象〕所食，飲濁

水，沈于水，渡水時，眾象摩觸身而行。我當離群，應唯一人住。」

（七）

時，彼大象離群，詣波羅聚落護寺林之賢娑羅樹下世尊住處。詣已，以長鼻為世尊供飲食，除草。時，彼大象心生思念：「我前為諸牡象、牝象、幼象、子象所惱，安樂無住，〔自〕食缺頂之草，我所折之枝為〔其他眾象〕所食，飲濁水，沈于水，渡水時，眾象摩觸〔吾〕身而行。今離牡象、牝象、幼象、子象而無伴，唯一人而安樂安穩住。」時，世尊知自遠離，又以心知彼大象之心所思念，此時，自唱頌，曰：

如此之人龍　長鼻之象龍
其心俱相等　獨樂于林中

五

（一）

爾時，世尊于隨意間住波羅聚落後，向舍衛城遊行，次第遊行至舍衛城。于此，世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。時，憍賞彌諸優婆塞言：「此等憍賞彌諸比丘于我等多作不利，世尊為彼等所惱而去。我等對憍賞彌之諸比丘不敬禮，不迎送，不作合掌、恭敬，不尊敬，不尊重，不奉事，不供養。雖來亦不與施食，我等如此不尊敬、不尊重、不奉事、不供養時，彼等不受尊敬而去，或還俗，或與世尊和合。」

（二）

時，憍賞彌諸優婆塞對憍賞彌之諸比丘不敬禮，不迎送，不作合掌、恭敬，不尊敬，不尊重，不奉事，不供養。雖來亦不與施

食。時，憍賞彌諸優婆塞不尊敬……憍賞彌之諸比丘不受尊敬而言：「我等往舍衛城世尊處，令滅此諍事。」時，憍賞彌諸比丘收藏臥座牀具，持鉢、衣，往舍衛城。

（三）

具壽舍利弗聞言：「于僧伽常行訴訟……諍事之彼憍賞彌諸比丘，來舍衛城。」時，具壽舍利弗詣世尊住處，詣已，敬禮世尊，坐一面。坐一面已，具壽舍利弗白世尊，言：「于僧伽常行訴訟……諍事之彼憍賞彌諸比丘來舍衛城，我于諸比丘應如何為之耶？」「舍利弗！汝隨法以處之。」「我如何可知法與非法耶？」

（四）

「舍利弗！依十八事，可知非法說者。舍利弗！此處有比丘，非法說為法，法說為非法，非律說為律，律說為非律，非如來之所說所言說為如來之所說所言，如來之所說所言說為非如來之所說所言，非如來之常所行法說為如來之常所行法，如來之常所行法說為非如來之常所行法，非如來所制說為如來之所制，如來之所制說為非如來之所制，無罪說為罪，罪說為無罪，輕罪說為重罪，重罪說為輕罪，有餘罪說為無餘罪，無餘罪說為有餘罪，粗罪說為非粗罪，非粗罪說為粗罪。舍利弗！如此依十八事，可知非法說者。

（五）

舍利弗！依十八事，可知如法說者。舍利弗！此處有比丘，非法說為非法，法說為法，非律……律……非如來之所說所言……如來之所說所言……非如來之常所行法……如來之常所行法……非如來之所制……如來之所制……無罪……罪……輕罪……重罪……有餘罪……無餘罪……粗罪……非粗罪說為非粗罪。舍利弗！如此依十八事，可知如法說者。」

（六）

具壽摩訶目犍連聞……乃至……具壽摩訶迦葉聞……具壽摩訶迦旃延……具壽摩訶拘絺羅……具壽摩訶劫賓那……具壽摩訶周那……具壽阿那律陀……具壽離越……具壽優波離……具壽阿難……具壽羅睺羅聞……〔同第十　憍賞彌犍度五（三）～（五）〕……「……可知如法說者。」

（七）

時，摩訶波闍波提瞿曇彌聞：「常訴訟……彼憍賞彌諸比丘，來舍衛城。」時，摩訶波闍波提瞿曇彌詣世尊住處，詣而敬禮世尊，立于一面。立于一面已，摩訶波闍波提瞿曇彌白世尊言：「常訴訟……我于彼諸比丘應如何為之耶？」「瞿曇彌！汝由二部聞法！由二部聞法，以其中如法說諸比丘之見、忍、喜、執為所喜，凡比丘尼眾由比丘眾所受者，應受如法說者。」

（八）

給孤獨居士聞：「常訴訟……彼憍賞彌諸比丘，來舍衛城。」時，給孤獨居士詣世尊住處，詣而敬禮世尊，坐于一面。坐一面已，給孤獨居士白世尊言：「常訴訟……我于彼比丘等應如何為之耶？」「居士！汝與二部布施！與二部布施，由二部聞法！由二部聞法，以其中如法諸比丘之見、忍、喜、執為所喜！」

（九）

毘舍佉鹿母聞：「常訴訟……彼憍賞彌諸比丘，來舍衛城。」時，毘舍佉鹿母詣世尊住處，詣而敬禮世尊，坐于一面。坐于一面已，毘舍佉鹿母白世尊言：「常訴訟……我于彼比丘等應如何為之耶？」「毘舍佉！汝與二部布施……為所喜！」

（一〇）

時，憍賞彌諸比丘次第到舍衛城。時，具壽舍利弗詣世尊在處，詣而敬禮世尊，坐于一面。坐一面已，具壽舍利弗白世尊言：「于僧伽常行訴訟……諍事之彼憍賞彌諸比丘，到舍衛城。彼諸比丘之座臥處應如何為之耶？」「舍利弗！應分離與座臥處。」「若無分離者應如何為之耶？」「應部分分離而與之。舍利弗！但無論如何絕不可無上座比丘之座臥處。若無者，墮惡作。」「衣食應如何為之耶？」「舍利弗！衣食一切人應等分之。」

（一一）

時，彼被舉比丘觀察法與律而生思念：「此是罪，此非無罪，我有犯，我非無犯，我被舉，我非不受舉，我依如法、無過、應理之羯磨而被舉。」時，彼被舉比丘至隨被舉〔比丘〕之諸比丘在處，至而言隨被舉〔比丘〕之諸比丘曰：「此是罪，此非無罪……應理之羯磨而被舉。然！與我解羯磨！」

（一二）

時，彼隨被舉〔比丘〕之諸比丘與被舉比丘俱詣世尊住處，詣而敬禮世尊，坐于一面。坐一面已，彼諸比丘白世尊言：「此被舉比丘言：『此是罪，此非無罪……與解羯磨！』應如何為之耶？」「諸比丘！此是罪，此非無罪，此比丘有犯，此比丘非無犯，此比丘被舉，此比丘非不受舉。此比丘依如法、無過、應理之羯磨而受舉。諸比丘！此比丘犯、被舉、見〔罪〕故，諸比丘！應與此比丘羯磨。」

（一三）

時，彼隨被舉〔比丘〕之諸比丘與被舉比丘解羯磨，至作舉罪之諸比丘住處。至而言作舉罪之諸比丘，曰：「依彼事，于僧伽生起訴訟、鬥諍、爭論、諍論，令破僧伽，令僧伽蒙塵垢，令僧伽別住，令僧伽別異。此比丘有犯、被舉，但見〔罪〕，受解羯磨。我等為滅彼事，作僧伽和合。」時，彼作舉罪之諸比丘詣世尊住處，詣已，敬禮世尊，坐于一面。坐一面已，彼諸比丘白世尊言：「彼隨被舉〔比丘〕之諸比丘言：『依彼事……作僧伽和合。』應如何為之耶？」

（一四）

「諸比丘！彼比丘有犯、被舉、見〔罪〕、受解羯磨故，諸比丘！僧伽為滅彼事，應作僧伽和合。諸比丘！應如此作：應集會眾于一處，病者、非病者亦俱也，任何人皆不得與清淨欲。集會已，聰明賢能比丘應告僧伽，言：『諸大德！請聽我言！依彼事，于僧伽生起訴訟、鬥諍、爭論、諍論，令破僧伽，令僧伽蒙塵垢，令僧伽別住，令僧伽別異。此比丘有犯、被舉，但見〔罪〕，受解羯磨已。若僧伽機熟者，僧伽為滅彼事，作僧伽和合。此為表白。諸大德！請聽我言！依彼事……受解羯磨已。為滅彼事，作僧伽和合。具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽為滅彼事，作僧伽和合，滅僧伽之塵垢，滅僧伽之破壞。具壽聽故默然，我如此了知。』應即時作布薩，誦波羅提木叉。」

六

（一）

時，具壽優波離詣世尊住處，詣而敬禮世尊，坐于一面。坐一面已，具壽優波離白世尊言：「若有事，僧伽因訴訟……令僧伽別異時，僧伽不決斷彼事，由無根至根，而作僧伽和合，此，如法僧

伽和合耶？」「優波離！若有事……僧伽不決斷彼事，由無根至根，作僧伽和合者，優波離！此非法僧伽和合也。」「若有事……僧伽決斷彼事，由根至根，作僧伽和合，此，如法僧伽和合耶？」「優波離！若有事……僧伽決斷彼事，由根至根，作僧伽和合者，優波離！此，如法僧伽和合也。」

（二）

「僧伽和合有幾何耶？」「優波離！僧伽和合有二。優波離！有義缺而文備之僧伽和合。優波離！有義備而文備之僧伽和合。優波離！何為義缺而文備之僧伽和合耶？優波離！若有事，僧伽因訴訟……令僧伽別異時，僧伽不決斷彼事，由無根至根，作僧伽和合。優波離！此名為義缺而文備之僧伽和合。優波離！何為義備文備之僧伽和合耶？優波離！若有事，僧伽因訴訟……令僧伽別異時，僧伽決斷彼事，由根至根，作僧伽和合。優波離！此名為義備文備之僧伽和合。優波離！如此僧伽和合有二也。」

（三）

時，具壽優波離即從座起，偏袒上衣，于世尊住處，合掌奉世尊說偈，曰：

于僧伽事議　義生與決斷
大須如何人　如何比丘眾
以護持法耶　第一戒無過
行時有思慮　克制護諸根
怨敵不能呵　如法無難處
住此戒清淨　無畏得能說
在會眾中住　不搖亦不懼
率爾而言說　而無失義者
受問會眾中　不臆亦不惑
應時于記答　賢者說適語
歡喜智眾會　敬上座比丘

以達自師說　知量善當論
巧于破怨敵　怨敵墮負處
眾人乃得智　持自說無害
不止于問答　使命受堪言
如說處僧事　由比丘眾遣
如其語為之　而不念我為
犯事・罪・及滅　比丘・比丘尼
兩毘崩伽通　且知罪及滅
何行不受擯　依何事而擯
處已解羯磨　如是為是知
作毘崩伽師　恭敬上・下座
及中座比丘　利眾成賢者
如此之比丘　能護持正法

此攝頌曰：

最勝之勝者　在于憍賞彌
見罪有異論　應舉且說罪
內界・與彼處　五・一・與具足
並波羅聚落　以及舍衛城
尊者舍利弗　乃至拘律陀
迦葉・迦旃延　絺羅・劫賓那
周那阿那律　離越優波離
阿難・羅睺羅　給孤・瞿曇彌
毘舍佉鹿母　臥座處分離
衣食均等與　集眾消訟事
淨欲不得與　優波離所問
于戒無愧者　勝者教和合

歸命彼世尊　應供等正覺

第一　羯磨犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。時，盤那、盧醯之徒比丘等，自於僧伽中為訴訟、鬥諍、爭議、諍論、諍訟，至其他於僧伽中亦為訴訟、鬥諍、爭議、諍論、諍訟之諸比丘處，作如是言：「諸具壽！汝等勿為彼所敗，以大聲力諍之。汝等較彼賢能、聰明、多聞而有義也。勿畏彼！我等亦為汝等之黨。」於是，未生之訴訟令生，已生之訴訟令增長擴大。

（二）

諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何盤那、盧醯之徒比丘等，自於僧伽中為訴訟……諍訟，至其他僧伽中，為訴訟……諍訟之諸比丘處，作如是言：『諸具壽！……』……令擴大耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問諸比丘：「諸比丘！盤那、盧醯之徒比丘等，自於僧伽中為訴訟……諍訟，至其他……諍訟之諸比丘處，作如是言：『諸具壽！……』……令擴大，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！此等愚人之所為非也、非隨順行、非相應法、非沙門行、非威儀法、非所當為。諸比丘！為何此等愚人，自於僧伽中為訴訟……諍訟，至其他……諸比丘處，作如是言：『諸具壽！……』……令擴大耶？諸比丘！此非令未信者生信，已信者增長者也；此無寧使未信者不生信，已信者離去之因由也。」

（三）

時，佛世尊以種種方便，呵責彼諸比丘已，說難滿、難養、多欲、不知足、聚會、懈怠，乃應訓誨之事；以種種方便，說易滿、易養、少欲、知足、漸損〔諸惡〕、頭陀行、淨信、損減〔諸障〕、精進，應讚歎之事。為諸比丘說相應、隨順之法已，告諸比丘：「諸比丘！然則，僧伽應為盤那、盧醯之徒比丘等行呵責羯磨。」

（四）

「諸比丘！行此，應如是行之：應先非難盤那、盧醯之徒比丘等，非難後，應令憶念，令憶念後，應令自白其罪，令自白其罪後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此等盤那、盧醯之徒比丘等，自於僧伽中為訴訟……諍訟，至其他僧伽中，為訴訟……諍訟之諸比丘處，作如是言……令擴大。若僧伽機熟，則僧伽應為盤那、盧醯之徒比丘等行呵責羯磨。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此等盤那、盧醯之徒比丘等自……令擴大，僧伽為盤那、盧醯之徒比丘等行呵責羯磨。為盤那、盧醯之徒比丘等行呵責羯磨，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……不聽者請言。

僧伽已為盤那、盧醯之徒比丘等行呵責羯磨。具壽聽故默然，我如是了知。』」

二

（一）

「諸比丘！具足三分之呵責羯磨，乃非法羯磨、非律羯磨、非善成就也。〔謂：所呵責之人〕不現前而行、不詰問〔所呵責之人〕而行、不令〔所呵責之人〕自說而行也。諸比丘！具足如此三分之呵責羯磨，乃非法羯磨……非善成就也。諸比丘！又，具足三分之呵責羯磨，乃非法羯磨……非善成就也。〔謂：〕無罪而行、非應悔罪而行、已悔過而行也。諸比丘！具足如此三分之呵責羯磨，乃非法羯磨……非善成就也。諸比丘！又……非善成就也。〔謂：〕不非難而行、不令憶念而行、不令自白其罪而行也。諸比丘！……如此……非善成就也。諸比丘！又……非善成就也。〔謂：所呵責之人〕不現前而行、非法而行、於別眾而行也。諸比丘！……如此……非善成就也。諸比丘！又……非善成就也。〔謂：〕不詰問〔所呵責之人〕而行、非法而行、於別眾而行也。諸比丘！……如此……非善成就也。諸比丘！又……〔謂：〕不令〔所呵責之人〕自說而行、非法而行、於別眾而行也。……〔謂：〕無罪而行、非法而行、於別眾而行也。……〔謂：〕非應悔罪而行、非法而行、於別眾而行也。……〔謂：〕已悔過而行、非法而行、於別眾而行也。……〔謂：〕不非難而行、非法而行、於別眾而行也。……〔謂：〕不令憶念而行、非法而行、於別眾而行也。……諸比丘！又，具足三分之呵責羯磨，乃非法羯磨、非律羯磨、非善成就也。〔謂：〕不令自白其罪而行、非法而行、於別眾而行也。諸比丘！具足如此三分之呵責羯磨，乃非法羯磨……非善成就也。」

———非法羯磨

十二事終———

三

（一）

「諸比丘！具足三分之呵責羯磨，乃如法羯磨、如律羯磨、善成就也。〔謂：所呵責之人〕現前而行、詰問〔所呵責之人〕而行、令〔所呵責之人〕自說而行。諸比丘！……如此……善成就也。諸比丘！又……〔謂：〕有罪而行、應悔罪而行、未悔過而行也。……〔謂：〕非難而行、令憶念而行、令自白其罪而行也。……〔謂：所呵責之人〕現前而行、如法而行、和合而行也。……〔謂：〕詰問而行、如法而行、和合而行也。……〔謂：令所呵責之人〕自說而行、如法而行、和合而行也。……〔謂：〕有罪而行、如法而行、和合而行也。……〔謂：〕應悔罪而行、如法而行、和合而行也。……〔謂：〕未悔過而行、如法而行、和合而行也。……〔謂：〕非難而行、如法而行、和合而行也。……〔謂：〕令憶念而行、如法而行、和合而行也。……諸比丘！又，具足三分之呵責羯磨，乃如法羯磨、如律羯磨、善成就也。〔謂：〕令自白其罪而行、如法而行、和合而行也。諸比丘！具足如此三分之呵責羯磨，乃如法羯磨……善成就也。」

———如法羯磨
十二事終———

四

（一）

「諸比丘！具足三分之比丘，僧伽若欲者，應行呵責羯磨。〔謂：〕於僧伽中為訴訟、鬥諍、爭議、諍論、諍訟，愚癡、暗昧、多罪而不受教誡，住在家，與不隨順在家眾共住也。諸比丘！具足如此三分之比丘，僧伽若欲者，應行呵責羯磨。諸比丘！又，具足三分……應行……。〔謂：〕於增上戒而破戒、於增上行而破行、於增上見而破見也。諸比丘！……如此……應行……。諸比

丘！又……應行……〔謂：〕毀謗佛、毀謗法、毀謗僧也。諸比丘！……如此……應行……。」

（二）

「諸比丘！於三類比丘，僧伽若欲者，應行呵責羯磨。〔謂：〕一類於僧伽中為訴訟……諍訟；一類為愚癡、暗昧、多罪而不受教誡者；一類住在家，與不隨順在家眾共住者。諸比丘！於如此三類比丘，僧伽若欲者，應行呵責羯磨。諸比丘！又，於三類比丘……應行……。〔謂：〕一類於增上戒為破戒者、一類於增上行為破行者、一類於增上見為破見者也。諸比丘！於如此……應行……。諸比丘！又……應行……。〔謂：〕一類為誹謗佛者、一類為誹謗法者、一類為誹謗僧者也。諸比丘！……如此……應行……。」

———若欲者六事終———

五

（一）

「諸比丘！受呵責羯磨之比丘應正行，此中應正行者，〔謂：〕不可授人具足戒，不可為人依止，不可蓄沙彌，不可受選任教誡比丘尼，選任亦不可〔往〕教誡比丘尼，不可犯僧伽已行呵責羯磨之罪，不可犯相似〔之罪〕，不可犯比此更惡之罪，不可罵羯磨，不可罵行羯磨者，不可妨礙清淨比丘布薩，不可妨礙自恣，不可與〔眾〕交談，不可與教誡，不可作許可，不可非難，不可令憶念，不可與諸比丘交往。」

———呵責羯磨
十八事終———

六

（一）

爾時，僧伽為盤那、盧醯之徒比丘等行呵責羯磨。彼等受僧伽呵責羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，至諸比丘處，作如是言：「諸友！我等受僧伽呵責羯磨已，而正行、隨順、願滅罪。我等應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為盤那、盧醯之徒比丘等解呵責羯磨。」

（二）

「諸比丘！具足五分之比丘，呵責羯磨不得解。〔謂：〕授人具足戒，為人依止，蓄沙彌，受選任教誡比丘尼，選任亦〔往〕教誡比丘尼。諸比丘！具足如此五分之比丘，呵責羯磨不得解。諸比丘！又……五分……不得解。〔謂：〕犯已受僧伽呵責羯磨之罪，犯相似〔之罪〕，犯比此更惡之罪，罵羯磨，罵行羯磨者。諸比丘！……如此……不得解。諸比丘！具足八分之比丘，呵責羯磨不得解，〔謂：〕妨礙清淨比丘布薩，妨礙自恣，與〔眾〕交談，與教誡，作許可，非難，令憶念，與諸比丘交往。諸比丘！具足如此八分之比丘，呵責羯磨不得解。」

———不得解十
八事終———

七

（一）

「諸比丘！具足五分之比丘，呵責羯磨可解。〔謂：〕不授人具足戒，不為人依止，不蓄沙彌，不受選任教誡比丘尼，選任亦不〔往〕教誡比丘尼。諸比丘！具足如此五分之比丘，呵責羯磨可解。諸比丘！又，具足五分……可解。〔謂：〕不犯已受僧伽呵責羯磨之罪，不犯相似〔之罪〕，不犯比此更惡之罪，不罵羯磨，不罵行羯磨者。諸比丘！……如此……可解。諸比丘！……八分……可解。〔謂：〕不妨礙清淨比丘布薩，不妨礙自恣，不與〔眾〕交談，不與教誡，不作許可，不非難，不令憶念，不與諸比丘交往。諸比丘！具足如此八分之比丘，呵責羯磨可解。」

———可解十八事終———

八

（一）

「諸比丘！應如是解：諸比丘！彼等盤那、盧醯之徒比丘等，應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，如是唱言：

『諸大德！我等受僧伽呵責羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，請解呵責羯磨。』

應二次乞請，三次乞請。應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此等盤那、盧醯之徒比丘等，受僧伽之呵責羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，彼等請解呵責羯磨。若僧伽機熟，則僧伽應為盤那、盧醯之徒比丘等解呵責羯磨。此為表白。

諸大德！請聽我言！此等盤那、盧醯之徒比丘等，受僧伽呵責羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，彼等請解呵責羯磨。僧伽為

盤那、盧醯之徒比丘等解呵責羯磨。為盤那、盧醯之徒比丘等解呵責羯磨，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事。諸大德……請言。我三次言此事。諸大德……請言。僧伽已為盤那、盧醯之徒比丘等解呵責羯磨。具壽聽故默然，我如是了知。』」

———〔誦品〕

一　呵責羯磨終

———

九

（一）

爾時，有具壽施越者，愚癡、暗昧、多罪、不受教誡、住在家而與不隨順在家眾共住。諸比丘以與別住、與本日治、與摩那埵、與出罪為事。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以具壽施越者，愚癡、暗昧、多罪、不受教誡、住在家而與不隨順在家眾共住。諸比丘以與別住、與本日治、與摩那埵、與出罪為事耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，集會比丘眾，問諸比丘，曰：「諸比丘！施越比丘愚癡……住……與出罪為事，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！此愚人之所為非也、非隨順行、非相應法、非沙門行、非威儀法、非所當為。諸比丘！為何此愚人愚癡……住……與出罪為事耶？諸比丘！此非令未信者生信，已信者增長也……」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽應為施越比丘行依止羯磨，應言：『汝應依止而住。』」

（二）

「諸比丘！應如是行：應先非難施越比丘，非難後，令憶念，令憶念後，令自白其罪，令自白其罪後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此施越比丘愚癡、暗昧……住……與出罪為事。若僧伽機熟，則僧伽應為施越比丘行依止羯磨，言：汝應依止而住。是為表白。

諸大德！請聽我言！此施越比丘愚癡、暗昧……住……與出罪為事。僧伽為施越比丘行依止羯磨，言：汝應依止而住。為施越比丘行依止羯磨，言：汝應依止而住。具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……乃至……我三次言此事。諸大德……請言。

僧伽已為施越比丘行依止羯磨，言：汝應依止而住。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一〇

（一）

「諸比丘！具足三分……〔參照第一　羯磨犍度二（一）～五。『呵責羯磨』改為『依止羯磨』。〕……不得與比丘眾交往。」

———依止羯磨
十八事終———

一一

（一）

爾時，僧伽為施越比丘行依止羯磨，言：「汝應依止而住。」彼受僧伽依止羯磨已，依附、親近、承事於善友，令誦經文，並質問之，故多聞且通阿含，亦持法、持律、持摩夷，成為賢明、聰明、有慧、有恥、有悔、好學者，而正行、隨順、願滅罪。彼至諸比丘處，作如是言：「諸友！我受僧伽依止羯磨已，而正行、隨順、願滅罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應解施越比丘之依止羯磨。」

（二）

「諸比丘！……五分……〔參照第一　羯磨犍度六（二）～七。『呵責羯磨』改為『依止羯磨』。〕……應……解……。」

———可解十八事終———

一二

（一）

「諸比丘！應如是解：諸比丘！彼施越比丘應至僧伽處，褊袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，如是唱言：

『諸大德！我受僧伽之依止羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，請解依止羯磨。』

應二次乞請，三次乞請。

（二）

應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此施越比丘受僧伽之依止羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，彼請解依止羯磨。若僧伽機熟，則僧伽應解施越比丘之依止羯磨。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此施越比丘受僧伽之依止羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，彼請解依止羯磨。僧伽解施越比丘之依止羯磨。解施越比丘之依止羯磨，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事。諸大德……請言。我三次言此事。諸大德……請言。

僧伽已解施越比丘之依止羯磨。具壽聽故默然，我如是了知。』」

——〔誦品〕

二　依止羯磨終

——

一三

（一）

爾時，阿濕婆、富那婆娑之徒住雞咤山，屬無恥之惡比丘。彼等行如此非行。〔謂：〕自植華樹，亦教人植；自灑水，亦教人灑；自摘花，亦教人摘；自結花，亦教人結；自以華莖縛為一華鬘，亦教人作；自以華莖縛為二華鬘，亦教人作；自作如花穗之華鬘，亦教人作；自作華箭，亦教人作；自作耳飾，亦教人作；自作頭飾，亦教人作；自作胸飾，亦教人作。

彼等為良 家婦、良 家女、良 家童女、良 家媳、良 家婢自以華莖作成一華鬘，亦教人作；自以華莖作成二華鬘，亦教人作；自作成如華穗之華鬘，亦教人作；自作花箭，亦教人作；自作耳飾，亦教

人作；自作頭飾，亦教人作；自作胸飾，亦教人作。彼等和良 家婦、良 家女、良 家童女、良 家媳、良 家婢共一器而食，共一器而飲，共一座而坐，共用一牀，共用一敷具，共用一覆具，共用一敷具、覆具，於非時食且飲酒，持用華鬘、香、塗香，同時舞、歌、奏、戲笑，隨舞而舞、歌、奏、戲笑，隨歌而舞……隨奏而舞……隨戲笑而舞……戲笑。

（二）

玩八條盤碁、十條盤碁、無盤碁，玩跳間遊戲、石積遊戲，玩骰子、棒打、手型遊戲，玩球、葉笛、鋤犁遊戲、倒立遊戲、玩具風車，玩棕櫚葉製尺、玩具車、弓箭，玩猜字、猜人意，模倣〔四肢〕不具者，學象術、馬術、車術、弓術、劍術，在象前、馬前、車前跑，以及往還跑，且興奮、拍手、摔角、鬥拳，於舞台上，展敷僧伽梨，言舞女，曰：「妹！於此處舞！」並喝采，〔如此〕行種種非行。

（三）

爾時，有一比丘，於迦尸雨安居已，欲往舍衛城謁見世尊，而至雞咤山。時，彼比丘晨著下裳，持衣、鉢，入雞咤山乞食，進退、顧視、屈伸甚為端莊殊妙，眼向下，威儀具足。諸人見彼比丘，言：「此何人？猶如無力、愚鈍、顰蹙之人耶？此人來，誰為之施食耶？我等尊者～阿濕婆、富那婆娑之徒柔和、親切、易談，微笑而言：『來！善來！』不顰蹙、口齒清晰且必先語。故於彼等應施食。」有一優婆塞，見彼比丘於雞咤山步行乞食，詣彼比丘處。詣已，敬禮彼比丘，言：「尊者！得食耶？」〔彼比丘言：〕「不得食。」「來！住我家！」

（四）

時，彼優婆塞引彼比丘，至其家，供食已，言：「尊者！將往何處耶？」「欲往舍衛城拜見世尊。」「若爾，以我名，頭面禮世尊足，言：『世尊！雞咤山之住處甚污染，有名為阿濕婆、富那婆娑之徒，住雞咤山，屬無恥之惡比丘。彼等行如此之非行，〔謂：〕……行種種非行。以前有信心、淨心之人，今已不信、不淨也；以前於僧伽有布施之道，今已斷絕。善美比丘已去，而惡比丘住。世尊！願世尊遣諸比丘來治雞咤山住處。』」

（五）

「唯！大德！」彼比丘應諾彼優婆塞，從座起，詣舍衛城而去，順次遊行至祇樹給孤獨園世尊住處。詣已，敬禮世尊，坐於一面。世尊與客比丘寒暄致候，乃佛之常法。時，世尊言彼比丘，曰：「比丘！堪忍耶？飲食足耶？行路來不疲倦耶？比丘！汝由何處來耶？」「世尊！堪忍！世尊！足！我行路來不疲倦。今，我於迦尸雨安居已，欲來舍衛城拜見世尊，而至雞咤山。時，我晨著下裳，持衣、鉢，入雞咤山乞食。有一優婆塞，見我於雞咤山行乞食，至我處，敬禮我，言：『得食耶？』『不得食。』『來！住我家！』時，彼優婆塞引我至其家，供食已，言：『尊者！欲往何處耶？』『往舍衛城謁見世尊！』『若爾……治……住處。』世尊！之後我來也。」

（六）

時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問諸比丘，曰：「諸比丘！有名阿濕婆、富那婆娑之徒者，住雞咤山，屬無恥之惡比丘。彼等行如此之非行，〔謂：〕自植華樹……行種種非行。以前有信心、淨心之人……而惡比丘住，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！何以此等愚人，行如此非行，〔謂：〕自植華樹，亦教人植；自灑水，亦教人灑；自摘花，亦教

人摘；自結花，亦教人結……自作，亦教人作……自與，亦教人與……食……飲……持……舞、歌、奏、戲笑……玩……學……跑……往還跑，且興奮、拍手、摔角、鬥拳，於舞台上，展敷僧伽梨，向舞女言：『妹！於此處舞！』並喝采，〔如此〕行種種非行耶？諸比丘！此非令未信者……」呵責、說法已，告舍利弗、目犍連，曰：「往！舍利弗等！往雞咤山，為阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等，行驅出雞咤山之羯磨。令彼等為汝等之弟子也。」「世尊！彼諸比丘兇惡粗暴，我等如何為阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等行驅出雞咤山之羯磨耶？」「舍利弗！若爾，眾多比丘俱往之。」「唯！世尊！」舍利弗、目犍連應諾世尊。

（七）

「諸比丘！應如是行：應先非難阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等，非難後，令憶念，令憶念後，令自白其罪，令自白其罪後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此等阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等，污染俗家而為惡行。彼等惡行，今有所見聞，而彼等所污之俗家，今亦有所見聞。若僧伽機熟，則僧伽應為阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等行驅出雞咤山之羯磨，言：阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等不得住雞咤山。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此……有所見聞。僧伽為阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等行驅出雞咤山之羯磨，言：阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等不得住雞咤山。為阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等行驅出雞咤山之羯磨，言：阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等不得住雞咤山。具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……乃至……我三次言此事。諸大德！……請言。

僧伽為阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等行驅出雞咤山之羯磨，言：阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等不得住雞咤山。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一四

（一）

「諸比丘！……三分……〔參照第一　羯磨犍度二（一）～四（一）。『呵責羯磨』改為『驅出羯磨』。〕……諸比丘！……三分……應行……。諸比丘！又……應行……。〔即：〕具足身之戲樂、具足語之戲樂、具足身語之戲樂也。諸比丘！如此……應行……。諸比丘！又……應行……。〔即：〕具足身之非行、具足語之非行、具足身語之非行也。諸比丘！如此……應行……。諸比丘！又……應行……。〔即：〕具足身之違害、具足語之違害、具足身語之違害也。諸比丘！如此……應行……。諸比丘！又……應行……。〔即：〕具足身之邪命、具足語之邪命、具足身語之邪命也。諸比丘！如此……應行……。」

（二）

「諸比丘！於三類比丘，僧伽若欲者，應行驅出羯磨。〔謂：〕一類……訴訟……〔參照第一　羯磨犍度四（二）。『呵責羯磨』改為『驅出羯磨』。〕……誹謗者也。諸比丘！如此……應行……。諸比丘！又……應行……。〔謂：〕一類具足身之戲樂者、一類具足語之戲樂者……一類具足身語之邪命者也。諸比丘！如此……應行……。」

一五

（一）

「諸比丘！受驅出羯磨之比丘應正行。此中應正行者，〔即：〕……〔參照第一　羯磨犍度五（一）。『呵責羯磨』改為『驅出羯磨』。〕……不可與諸比丘交往。」

———驅出羯磨
十八事終———

一六

（一）

時，舍利弗、目犍連為上首之比丘眾，往雞咤山，為阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等行驅出雞咤山之羯磨，言：「阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等不得住雞咤山。」彼等受僧伽之驅出羯磨已，猶不正行、不隨順、不願滅罪、不向諸比丘悔過，且罵詈、誹謗、隨欲、隨瞋、隨癡、隨怖而誹謗〔僧〕，或離去，或還俗。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等，受僧伽之驅出羯磨已，仍不正行、不隨順、不願滅罪、不向諸比丘悔過，且罵詈、誹謗、隨欲、隨瞋、隨癡、隨怖而誹謗〔僧〕，或離去，或還俗耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問諸比丘，曰：「諸比丘！阿濕婆、富那婆娑之徒比丘等，受僧伽之驅出羯磨已，猶不正行、不隨順、不願滅罪、不向比丘等悔過，且罵詈、誹謗、隨欲、隨瞋、隨癡、隨怖而誹謗〔僧〕，或離去，或還俗，是實耶？」「實然！世尊！」「諸比丘！何以彼等愚人受僧伽之驅出羯磨，猶不正行、不隨順、不願滅罪、不向諸比丘悔過，且罵詈、誹謗、隨欲、隨瞋、隨癡、隨怖而誹謗〔僧〕，或離去，或還俗耶？諸比丘！此非令未信者生信，已信者增長也……」世尊呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，彼等所受僧伽之驅出羯磨不得解。」

（二）

「諸比丘！具足五分之比丘，驅出羯磨不得解。〔謂：〕授人具足戒……〔參照第一　羯磨犍度六（二）～七。『呵責羯磨』改為『驅出羯磨』。〕……不可與諸比丘交往也。諸比丘！如此……可解。」

———驅出羯磨
不得解十八事終
———

一七

（一）

「諸比丘！應如是解：諸比丘！受驅出羯磨之比丘，應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，如是唱言：

『諸大德！我受僧伽之驅出羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，請解驅出羯磨。』

應二次乞請，三次乞請。應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

（二）

『諸大德！請聽我言！此某甲比丘受僧伽之驅出羯磨已，而正行……彼請解……。若僧伽機熟，則僧伽應解某甲比丘之驅出羯磨。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此某甲比丘受僧伽之驅出羯磨已，而正行、隨順、願滅罪，彼請解驅出羯磨。僧伽為某甲比丘解驅出

羯磨。為某甲比丘解驅出羯磨，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事。諸大德！……請言。

僧伽已解某甲比丘之驅出羯磨。具壽聽故默然，我如是了知。』」

———〔誦品〕

三　驅出羯磨終

———

一八

（一）

爾時，具壽善法屬摩叉止陀之質多羅居士住處，職司建造，恆常受食。時，質多羅居士欲迎請僧伽、或別眾、或個人時，若不先語具壽善法，即不迎請僧伽、或別眾、或個人。其時，眾多長老比丘，具壽舍利弗、具壽摩訶目犍連、具壽摩訶迦旃延、具壽摩訶拘絺羅、具壽摩訶劫賓那、具壽摩訶周那、具壽阿那律陀、具壽離越、具壽優波離、具壽阿難、具壽羅睺羅遊行迦尸而至摩叉止陀。質多羅居士聞：「諸長老比丘至摩叉止陀。」時，質多羅居士詣長老比丘處。詣已，敬禮長老比丘已，於一面坐。一面坐時，具壽舍利弗為質多羅居士說法、教示、勸導、獎勵，令歡喜。時，質多羅居士聞具壽舍利弗之說法、教示、勸導、獎勵而歡喜之，言諸長老比丘，曰：「諸長老！明日請受客〔比丘之〕食。」諸長老比丘默然而許。

（二）

時，質多羅居士知諸長老比丘應許，從座起，敬禮諸長老比丘已，右繞後，至具壽善法住處。至已，敬禮具壽善法已，於一面

立。於一面立已，質多羅居士言具壽善法，曰：「善法尊者！明日請與諸長老俱受食。」時，具壽善法〔念〕：「以前此質多羅居士若欲迎請僧伽、或別眾、或個人時，不先語我者，即不迎請之。然而，今不先語我，而請諸長老比丘。今此質多羅居士對我懷惡意、不顧、不悅也。」故言質多羅居士：「居士！止！我不許！」二次……乃至……三次，質多羅居士言具壽善法：「善法尊者！明日請與諸長老俱受食。」「居士！止！我不許！」時，質多羅居士如是〔念〕：「善法尊者許與不許，於我何為？」敬禮具壽善法已，右繞而去。

（三）

時，質多羅居士是夜過後，為諸長老比丘調殊妙嚼食、噉食。時，具壽善法〔心生思念：〕「我當見質多羅居士為諸長老所調者。」晨著下裳，持衣、鉢，至質多羅居士家。至已，坐於已設之座。時，質多羅居士至具壽善法坐處。至已，敬禮具壽善法已，於一面坐。於一面坐時，具壽善法言質多羅居士：「居士！汝於此處調甚多之嚼食、噉食，然而缺一，即胡麻餅。」「尊者！有甚多佛語之寶，何以善法尊者所說者，唯胡麻餅也。尊者！往昔南路諸商人，為商賈而往東國，從其處齎雌雞來。時，彼雌雞與雄烏共住而生雛雞。尊者！彼雛雞欲鳴烏聲而成雞鳴，欲鳴雞聲而成烏鳴。尊者！有如此甚多佛語之寶，何以善法尊者所說者，唯胡麻餅也。」

（四）

「居士！汝罵詈我。居士！汝讒謗我。居士！此是汝住處，我去也！」「善法尊者！我非讒謗、罵詈汝。善法尊者！安婆達迦樹林幽靜宜人，請住摩叉止陀，我當為善法尊者供衣、食、牀、座、病藥、資具。」二次……三次……；具壽善法仍向質多羅居士言：「居士！汝罵詈我……我去也！」「善法尊者！往何處去耶？」

「往舍衛城謁見世尊也。」「若爾，尊者！汝將自所言及我所言，悉白世尊。善法尊者！然汝再歸摩叉止陀，亦非希有。」

（五）

時，具壽善法收其臥具牀座已，持衣、鉢，往舍衛城。順次遊行至祇樹給孤獨園世尊住處。至已，敬禮世尊已，於一面坐。於一面坐已，具壽善法將自所言及質多羅居士所言，悉白世尊。佛世尊呵責：「愚人！非也，非隨順行，非相應法，非沙門行，非威儀法，非所當為。愚人！汝為何輕侮且輕蔑有信心淨心之施者、善業者、僧伽利益者之質多羅居士耶？愚人！此非令未信者生信……。」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽應為善法比丘行下意羯磨，言：『汝應向質多羅居士悔過。』」

（六）

「諸比丘！應如是行：應先非難善法比丘，非難後，令憶念，令憶念後，令自白其罪，令自白其罪後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此善法比丘輕侮且輕蔑有信心淨心之施者、善業者、僧伽利益者之質多羅居士。若僧伽機熟，則僧伽應為善法比丘行下意羯磨，言：汝應向質多羅居士悔過。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此善法比丘輕侮且輕蔑有信心淨心之施者、善業者、僧伽利益者之質多羅居士，僧伽為善法比丘行下意羯磨，言：汝應向質多羅居士悔過。為善法比丘行下意羯磨，言：汝應向質多羅居士悔過。具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事。諸大德！……請言。

僧伽已為善法比丘行下意羯磨，言：汝應向質多羅居士悔過。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一九

（一）

「諸比丘！……三分……〔同第一　羯磨犍度二（一）～三。『呵責羯磨』改為『下意羯磨』。〕……善成就也。」

二〇

（一）

「諸比丘！具足五分之比丘，若僧伽欲者，應行下意羯磨。〔謂：〕圖使在家人無所得，圖使在家人無利，圖使在家人無住處，讒謗、罵詈在家人，離間在家人與在家人。諸比丘！……如此五分……應行……。諸比丘！又……應行……。〔謂：〕向在家人誹謗佛，向在家人誹謗法，向在家人誹謗僧，輕侮、輕蔑在家人，與在家人如法約定而不實行。諸比丘！……如此……應行……。諸比丘！於如此五類之比丘，若僧伽欲者，應行下意羯磨。〔謂：〕一類為圖使在家人無所得者，一類為圖使在家人無利者，一類為圖使在家人無住處者，一類為讒謗、罵詈在家人者，一類為離間在家人與在家人者。諸比丘！……如此……應行……。諸比丘！又……應行……。〔謂：〕一類為向在家人誹謗佛者，一類為向在家人誹謗法者，一類為向在家人誹謗僧者，一類為輕侮、輕蔑在家人者，一類為與在家人如法約定而不實行者。諸比丘！……如此……應行……。」

———若欲者二十事終———

二一

（一）

「諸比丘！受下意羯磨之比丘應正行。……〔參照第一　羯磨犍度五（一）。『呵責羯磨』改為『下意羯磨』。〕……不可……交往。」

———下意羯磨
十八事終———

二二

（一）

時，僧伽為善法比丘行下意羯磨，言：「向質多羅居士悔過。」彼受僧伽下意羯磨已，往摩叉止陀，因羞愧而不能向質多羅居士悔過，再還舍衛城。諸比丘言彼：「汝向質多羅居士悔過耶？」「於此，諸友！我至摩叉止陀，因羞愧而不能向質多羅居士悔過。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（二）

「諸比丘！若爾，僧伽應附善法比丘同伴者，向質多羅居士悔過。諸比丘！應如是附與〔同伴者〕：應先請〔同伴之〕比丘，請後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，則僧伽以某甲比丘為善法比丘之同伴者，令向質多羅居士悔過。是乃表白。

諸大德！請聽我言！僧伽以某甲比丘為善法比丘之同伴者，令向質多羅居士悔過。以某甲比丘為善法比丘之同伴者，令向質

多羅居士悔過，具壽聽者默然，不聽者請言。

僧伽已以某甲比丘為善法比丘之同伴者，令向質多羅居士悔過。具壽聽故默然，我如是了知。』」

（三）

「諸比丘！彼善法比丘與同伴比丘俱往摩叉止陀，向質多羅居士悔過，應言：『居士！請受我悔過！請宥恕！』若如是言，受悔過則善也；若不受，則應由同伴比丘言：『居士！受此比丘之悔過！請宥恕彼！』若如是言，受悔過則善也；若不受，則應由同伴比丘言：『居士！受此比丘之悔過！請宥恕我！』若如是言，受悔過則善也；若不受，則應由同伴比丘言：『居士！依僧伽之名，受此比丘之悔過！』若如是言，受悔過則善也；若不受者，則同伴比丘應令善法比丘不可離質多羅居士之見境，不可離其聞境，偏袒右肩，胡跪，合掌，自說彼罪。」

二三

（一）

時，具壽善法與同伴比丘俱往摩叉止陀，向質多羅居士悔過已，而正行、隨順、願滅罪。彼至諸比丘處，曰：「諸友！我受僧伽之下意羯磨已，而正行、隨順、願滅罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應解善法比丘之下意羯磨。」

（二）

「諸比丘！具足五分之比丘，下意羯磨不得解。〔謂：〕……〔參照第一　羯磨犍度六（二）～七。『呵責羯磨』改為『下意羯

磨』。〕……不與諸比丘交往。諸比丘！……如此八分……可解。」

———下意羯磨
可解十八事終
———

二四

（一）

「諸比丘！應如是解：諸比丘！彼善法比丘應至僧伽處……『……〔參照第一　羯磨犍度一二。「依止羯磨」改為「下意羯磨」。〕……我如是了知。』」

———〔誦品〕
四　下意羯磨終
———

二五

（一）

爾時，佛世尊住憍賞彌瞿師羅園。其時，具壽闡陀犯罪而不欲見罪。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何具壽闡陀犯罪而不見罪耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。是時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問諸比丘，曰：「諸比丘！聞闡陀比丘犯罪而不欲見罪，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！為何此愚人犯罪而不欲見罪耶？諸比丘！此非令未信者生信……」世尊呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽應依闡陀比丘不見罪而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。」

（二）

「諸比丘！應如是行：應先非難闡陀比丘，非難後，令憶念，令憶念後，令自白其罪，自白其罪後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此闡陀比丘犯罪而不欲見罪。若僧伽機熟，則僧伽依闡陀比丘不見罪而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此闡陀比丘犯罪不欲見罪，僧伽依闡陀比丘不見罪而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。依闡陀比丘不見罪而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事。

諸大德！請聽我言！此闡陀比丘犯罪而不欲見罪，僧伽依闡陀比丘不見罪，行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。依闡陀比丘不見罪而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住，具壽聽者默然，不聽者請言。

僧伽已依闡陀比丘不見罪而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。具壽聽故默然，我如是了知。』」

「諸比丘！應由住處至住處宣告曰：『依闡陀比丘不見罪，受舉罪羯磨，已令與僧伽不共住。』」

二六

（一）

「諸比丘！依具足三分不見罪之舉罪羯磨，乃非法……〔同第一　羯磨犍度二（一）～四。『呵責羯磨』改為『依不見罪之舉罪

羯磨』。〕……諸比丘！於如此……應行……。」

———依不見罪〔行〕舉罪羯磨之「若欲者」六事終———

二七

（一）

「諸比丘！依不見罪而受舉罪羯磨之比丘應正行。此中應正行者，〔謂：〕不可授人具足戒，不可為人依止，不可蓄沙彌，不可受選任教誡比丘尼，選任亦不可〔往〕教誡比丘尼，不可犯僧伽已行舉罪羯磨之罪，不可犯相似之罪，不可犯比此更惡之罪，不可罵羯磨，不可罵行羯磨者，不可受清淨比丘之敬禮、起迎、合掌、恭敬、設座具、設臥具，不可收受彼〔所置〕之洗足水、足臺、足布，不可受彼〔因迎接故而〕取鉢衣，洗浴時不可受彼浣背，不可以壞戒、壞行、壞見、壞命而誹謗清淨比丘，不可離間諸比丘與諸比丘，不可持在家人相，不可持外道相，不可親近奉事外道，應親近奉事比丘，應學比丘學處，不可與清淨比丘同處於一屋之住處、同處於一屋之非住處、同處於一屋之住處或非住處，見清淨比丘必起座，不可於〔精舍〕內外接觸清淨比丘，不可妨礙清淨比丘布薩，不可妨礙自恣，不可與〔眾〕交談，不可與教誡，不可作許可，不可非難，不可令憶念，不可與諸比丘交往。」

———依不見罪之舉罪羯磨四十三事終———

二八

（一）

時，僧伽依闡陀比丘不見罪，行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。彼因不見罪，受僧伽舉罪羯磨已，從己住處往他住處。其處諸比丘不敬禮、起迎、合掌、恭敬、尊重、尊敬、奉事、供養。因不為諸比丘所尊敬、尊重、奉事、供養、敬重，彼又從此住處往他住處。其處諸比丘亦不敬禮、起迎……往他住處。其處諸比丘亦不敬禮、起迎……敬重，而再還憍賞彌。彼正行、隨順、願滅罪，至諸比丘處，言：「諸友！我由僧伽依不見罪，行舉罪羯磨已，而正行、隨順、願滅罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應解闡陀比丘依不見罪之舉罪羯磨。」

（二）

「諸比丘！具足五分之比丘，依不見罪之舉罪羯磨不得解。〔謂：〕授人具足戒、為人依止、蓄沙彌、受選任教誡比丘尼、選任亦〔往〕教誡比丘尼也。諸比丘！……如此五分之比丘，依不見罪之舉罪羯磨不得解。諸比丘！又，具足五分之比丘，依不見罪之舉罪羯磨不得解。〔謂：〕犯由僧伽依不見罪受舉罪羯磨之罪，犯相似之罪，犯比此更惡之罪，罵羯磨，罵行羯磨者。諸比丘！具足如此五分之比丘，……不得解。諸比丘！又……五分……不得解。〔謂：〕受清淨比丘敬禮、起迎、合掌、恭敬、設座具。諸比丘！……如此……不得解。諸比丘！又……五分……不得解。〔謂：〕受清淨比丘設臥具，受彼〔所置〕之洗足水、足臺、足布，受彼〔因迎接故而〕取鉢衣，洗浴時受彼浣背。諸比丘！……如此……不得解。諸比丘！又……五分……不得解。〔謂：〕以壞戒、壞行、壞見、壞命難清淨比丘，離間諸比丘與諸比丘。諸比丘！……如此……不得解。諸比丘！又……五分……不得解。〔謂：〕持在家人相，持外道相，承事外道，不承事諸比丘，不學

比丘學處。諸比丘！……如此……不得解。諸比丘！又……五分……不得解。〔謂：〕與清淨比丘住同一屋內之住處、住同一屋內之非住處、住同一屋內之住處或非住處，見清淨比丘不起座，於〔精舍之〕內外接觸清淨比丘。諸比丘！……如此……不得解。諸比丘！……八分……不得解。〔謂：〕妨礙清淨比丘布薩，妨礙自恣，與〔眾〕交談，與教誡，作許可，非難，令憶念，與諸比丘交往。諸比丘！……如此八分……不得解。」

———〔不得解〕四十三事終———

二九

（一）

「諸比丘！具足五分之比丘，依不見罪之舉罪羯磨可解。〔謂：〕不授人具足戒，不為人依止……不與諸比丘交往。諸比丘！……如此八分……可解。」

———〔可解〕四十三事終———

三〇

（一）

「諸比丘！應如是解：諸比丘！彼闡陀比丘應至僧伽處……『……〔參照第一　羯磨犍度一二。「依止羯磨」改為「依不見罪之舉罪羯磨」。〕……我如是了知。』」

———〔誦品〕
五　依不見罪之
舉罪羯磨終
———

三一

（一）

爾時，佛世尊住憍賞彌瞿師羅園。其時，具壽闡陀犯罪，不欲懺悔其罪……「……『……〔參照第一　羯磨犍度二五（一）～三〇。「見罪」改為「懺悔罪」，「依不見罪之舉罪羯磨」改為「依不懺悔罪之舉罪羯磨」。〕……我如是了知。』」

———〔誦品〕
六　依不懺悔罪
之舉罪羯磨終
———

三二

（一）

爾時，佛世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。其時，阿利吒比丘原為馴鷹師，彼起如是惡見：「如我所知世尊之教法，其中所說障道法，行之實不足以障道。」諸比丘聞：「阿利吒比丘原為馴鷹師，彼起如是惡見：『如我所知世尊之教法……行之實不足以障道。』」時，諸比丘至原為馴鷹師之阿利吒比丘處。至已，向馴鷹師阿利吒比丘言：「友！阿利吒！聞汝起如是惡見：『如我所知……實不足以障道。』是實耶？」「實然！如我所知世尊之教法，其中所說障道法，行之實不足以障道。」

（二）

「阿利吒！勿作如是言！勿讒誣世尊！讒誣世尊者，實不善也，世尊未曾作如是說。友！阿利吒！世尊以種種方便，說障道法是障道，行之足以障道。世尊說諸欲美味少，苦多，惱多，於此過患更多。世尊說諸欲如骨鎖，苦多，惱多，於此過患更多。世尊說諸欲如肉塊……諸欲如草炬……諸欲如火坑……諸欲如夢……諸欲如借用物……諸欲如果樹……諸欲如屠殺場……諸欲如鎗矛……諸欲如蛇首，苦多，惱多，於此過患更多。」如此，原為馴鷹師之阿利吒比丘雖蒙諸比丘教示，仍對彼惡見強烈執取、貪著，猶言：「如我所知世尊之教法，其中所說障道法，行之實不足以障道。」

（三）

彼諸比丘因不能令原為馴鷹師之阿利吒比丘離此惡見，故詣世尊住處。詣已，以此事白世尊。時，世尊以是因緣，集會比丘眾，問原為馴鷹師之阿利吒比丘曰：「阿利吒！聞汝起如是惡見：『如我所知世尊……，行之實不足以障道。』是實耶？」「實然！如我所知世尊之教法，其中所說障道法，行之實不足以障道。」「愚人！汝如何了知我所說之法耶？愚人！我豈非以種種方便，說障道法是障道，行之實足以障道耶？我說諸欲美味少，苦多，惱多，於此過患更多。我說諸欲如骨鎖……諸欲如蛇首，苦多，惱多，於此過患更多。愚人！然汝因邪解，讒誣我且害己，多積非福也。愚人！此等非福將予汝長時之苦痛。愚人！此令未信者不生信……」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽應為原為馴鷹師之阿利吒比丘依不捨惡見而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。」

（四）

「諸比丘！應如是行：應先非難阿利吒比丘，非難後，令憶念，令憶念後，令自白其罪，自白其罪後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！原為馴鷹師之阿利吒比丘起如是惡見：「如我所知世尊之教法，其中所說障道法，行之實不足以障道。」彼不捨惡見。若僧伽機熟，則僧伽應依原為馴鷹師之阿利吒比丘不捨惡見而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。是乃表白。

諸大德！請聽我言！原為馴鷹師之阿利吒比丘……不捨惡見。僧伽為原為馴鷹師之阿利吒比丘依不捨惡見而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。為原為馴鷹師之阿利吒比丘依不捨惡見而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事。諸大德！……請言。

僧伽……具壽聽故默然，我如是了知。』」

「諸比丘！應由住處至住處宣告曰：『原為馴鷹師之阿利吒比丘因不捨惡見，受舉罪羯磨，已令與僧伽不共住。』」

三三

（一）

「諸比丘！……三分……〔同第一　羯磨犍度二（一）～五。『呵責羯磨』改為『依不捨惡見之舉罪羯磨』。〕……不得與諸比丘交往。」

———依不捨惡見之舉罪羯磨十八事終———

三四

（一）

爾時，僧伽為原為馴鷹師之阿利吒比丘，依不捨惡見而行舉罪羯磨，令與僧伽不共住。彼由僧伽依不捨惡見受舉罪羯磨而還俗。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以原為馴鷹師之阿利吒比丘，由僧伽依不捨惡見受舉罪羯磨而還俗耶？」其時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問諸比丘曰：「諸比丘！原為馴鷹師之阿利吒比丘，由僧伽依不捨惡見受舉罪羯磨而還俗，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「何以彼愚人由僧伽依不捨惡見，受舉罪羯磨而還俗耶？諸比丘！此令未信者不生信……」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽應解依不捨惡見之舉罪羯磨。」

（二）

「諸比丘！……五分……〔同第一　羯磨犍度六（二）～七。『呵責羯磨』改為『依不捨惡見之舉罪羯磨』。〕……可解。」

———依不捨惡見之舉罪羯磨可解十八事終———

三五

（一）

「諸比丘！應如是解：諸比丘！依彼不捨惡見而受舉罪羯磨之比丘，應至僧伽處……『……〔參照第一　羯磨犍度一二。「依止

羯磨」改為「依不捨惡見之舉罪羯磨」，「施越」改為「某甲」。〕……我如是了知。』」

———〔誦品〕七　依不捨惡見之舉罪羯磨終———

———第一　羯磨犍度終———

此犍度有七事。攝頌曰：

盤那與盧醯之徒　自為訟者諸比丘
趣往相類徒眾處　激勸慫恿生訴訟
未生訴訟使生起　已生訴訟令增長
少欲善德諸比丘　忿怒非難告眾會
佛陀常住於正法　勝者世上第一人
住於舍衛城中時　令應行呵責羯磨
不現前及不詰問　不令自說及無罪
非應悔罪・已悔過　不非難・不令憶念
不令自白其罪過　不現前・非法・別眾
不詰問・非法・別眾　不自說・非法・別眾
無罪・非法與別眾　非悔罪・非法・別眾
已悔過・非法・別眾　不非難・非法・別眾
不憶念・非法・別眾　不自白・非法・別眾
黑分由此知白分　僧伽若欲需要者
應行呵責羯磨　訴訟並愚癡人
與在家者共居　增上戒・增上行
增上見皆破戒　誹謗佛・法・僧者
僧伽若需要者　於此三類比丘
應行呵責羯磨　喜訴訟及愚癡
與在家者共居　增上戒・增上行
增上見皆破戒　誹謗佛・法・僧者
受僧伽呵責者　應如此正行之
不授與具足戒　不依止・蓄沙彌

於教誡比丘尼　不受選・不教之
不犯同一之罪　相似罪・更上罪
不罵彼羯磨事　不罵與羯磨者
清淨僧之布薩　自恣事皆不礙
與眾談・與教誡　作許可・行非難
令憶念皆不犯　不與比丘交往
授人具足戒　依止・蓄沙彌
教誡比丘尼　受選或教之
具足此五分　羯磨不得解
若犯同一罪　相似・更重罪
罵彼羯磨事　罵與羯磨者
具足此五分　羯磨不得解
妨害於自恣　礙比丘布薩
與眾相交談　與教誡・許可
非難・令憶念　與比丘交往
具足此八分　呵責不得解
以上乃黑分　由之知白分
施越行愚癡　罪多交際雜
牟尼正覺者　令依止羯磨
雞咤山比丘　阿濕婆之徒
富那婆娑徒　無知且愚癡
行種種非行　勝者正覺者
住於舍衛城　令驅出羯磨
有一具壽善法者　常住於摩叉止陀
此住處屬質多羅　善法言及彼家系
罵優婆塞質多羅　佛令為下意羯磨
於憍賞彌之比丘　闡陀不欲見其罪
最勝者依不見罪　令為行舉罪羯磨
闡陀不懺悔其罪　大導師依不懺悔
令為行舉罪羯磨　阿利吒執迷不悟
身懷障道之惡見　勝者以不捨惡見
宣之以舉罪羯磨　依止及驅出羯磨
下意・不見罪羯磨　不懺悔舉罪羯磨
不捨見舉罪羯磨　戲樂・邪害行・邪命
此等事亦行驅出　不利毀二十過慢
此等事亦行下意　呵責及依止羯磨
此二羯磨為相似　驅出下意增加語
三種之舉罪羯磨　互為相似難區別

其餘羯磨之分別　當以呵責而知之

第二　別住犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。其時，別住諸比丘受諸清淨比丘之敬禮、起迎、合掌、恭敬、設座具、設臥具，收受彼〔所置〕之洗足水、足臺、足布，受彼〔因迎接故而〕取鉢衣，洗浴時受彼浣背。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以別住諸比丘受清淨諸比丘……浣背耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，集會比丘眾，問諸比丘曰：「諸比丘！別住諸比丘受諸清淨比丘……浣背，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「何以別住諸比丘受清淨諸比丘……浣背耶？諸比丘！此非令未信者……」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！別住比丘不得受清淨諸比丘……浣背，若受者墮惡作。諸比丘！許別住諸比丘隨其年次互相敬禮、起迎……浣背。諸比丘！許別住比丘隨其年次，有五事，〔即：〕布薩、自恣、雨浴衣、布施物、食也。」

（二）

「諸比丘！若爾，我當制立別住諸比丘之行法，令別住諸比丘行之。諸比丘！別住比丘應正行。此中正行者，〔即：〕不得授人具足戒，不得為人依止，不得蓄沙彌，不得受選任教誡比丘尼，選任亦不得教誡比丘尼，由僧伽已受別住不得犯罪，〔不得犯相似〕之罪，〔不得犯〕比此更惡之罪，不得罵羯磨，不得罵行羯磨者，不得妨礙清淨比丘布薩，不得妨礙自恣，不得相交談，不得與教誡，不得作許可，不得非難，不得令憶念，不得與諸比丘交往。諸比丘！別住比丘不得行於清淨比丘前、不得坐於清淨比丘前。應受僧伽與之邊際坐處、邊際臥處、邊際精舍。諸比丘！別住比丘不得

為清淨比丘之先行沙門或隨從沙門而往俗家，不得行林住法、乞食法，因不使〔他人〕知己〔受別住〕，故不得持施食。諸比丘！別住比丘若作客，當告之〔己受別住〕；若客來，當告之；布薩時，當告之；自恣時，當告之；若病時，當由使者告之。」

（三）

「諸比丘！別住比丘不得從有比丘住處往無比丘住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！別住比丘不得從有比丘住處往無比丘非住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！別住比丘不得從有比丘住處往無比丘住處或非住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！……從有比丘非住處往無比丘住處……從有比丘非住處往無比丘非住處……從有比丘非住處往無比丘住處或非住處……從有比丘住處或非住處往無比丘住處……從有比丘住處或非住處往無比丘非住處……從有比丘住處或非住處往無比丘住處或非住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！別住比丘不得從有比丘住處往有異住比丘之有比丘住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！別住比丘不得從有比丘住處往〔有異住比丘之〕有比丘非住處，然……不得從有比丘住處或非住處往有異住比丘之有比丘住處或非住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！別住比丘可從有比丘住處往有同住比丘之有比丘住處，然應知於當日可達。諸比丘！別住比丘可從有比丘住處往〔有同住比丘之〕有比丘非住處……可從有比丘住處或非住處往有同住比丘之有比丘住處或非住處，然應知於當日可達。」

（四）

「諸比丘！別住比丘不得與清淨比丘住同一屋內之住處，不得住同一屋內之非住處，不得住同一屋內之住處或非住處。見清淨比

丘應起座，應請清淨比丘坐，不得與清淨比丘同坐一座處，〔清淨比丘〕坐於低座處時，己不得坐於高座。〔清淨比丘〕坐於地上時，己不得坐於座處。不得於同一經行處經行，〔清淨比丘〕於低經行處經行時，己不得於高經行處經行，〔清淨比丘〕於地上經行時，己不得於經行處經行。諸比丘！別住比丘不得與年長別住比丘……與當受本日治比丘……與當受摩那埵比丘……與已受摩那埵比丘……不得與當受出罪比丘住同一屋內之住處，不得住同一屋內之非住處。……〔當受出罪比丘〕於地上經行時，己不得於經行處經行。諸比丘！若以別住比丘為第四人而與別住、與本日治、與摩那埵；若以彼為第二十人而與出罪，則不成羯磨，不得作。」

———別住〔比丘〕之行法九十四事終———

二

（一）

時，具壽優波離詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐於一面。於一面坐已，具壽優波離白世尊，曰：「別住比丘之夜斷有幾何耶？」「優波離！別住比丘之夜斷有三：同住、獨住、不告也。優波離！如此，別住比丘夜斷有三。」

三

（一）

爾時，大比丘眾於舍衛城集會。別住比丘未能完成別住，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許〔暫〕停別住。諸比丘！當如是〔暫〕停：彼別住比丘應至一比丘處，偏袒右肩，胡

跪，合掌，如是唱言：『我〔暫〕停別住。』即可〔暫〕停別住，〔或言：〕『我〔暫〕停行法。』即可〔暫〕停別住也。」

（二）

爾時，舍衛城之比丘各往他處，別住比丘得以完成別住。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許〔再〕行別住。諸比丘！應如是〔再〕行別住：彼別住比丘應至一比丘處，偏袒右肩，胡跪，合掌，如是唱言：『我〔再〕行別住。』則〔再〕行別住，〔或言：〕『我〔再〕行行法。』則再行別住也。」

———別住行法
終———

四

（一）

爾時，應受本日治之諸比丘受諸清淨比丘……〔參照第二　別住犍度一（一）～（二）。「別住比丘」改為「應受本日治比丘」。〕……「……不使〔他人〕知己〔當受本日治〕故不得〔持施食〕。諸比丘！當受本日治之比丘不得從有比丘住處往無比丘住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外。……無比丘非住處……無比丘住處或非住處……諸比丘！當受本日治之比丘可從有比丘住處往有同住比丘之有比丘住處……可從有比丘住處或非住處往有同住比丘之有比丘住處或非住處，然應知於當日可達。諸比丘！當受本日治之比丘不得與清淨比丘住同一屋內之住處……〔參照第二　別住犍度一（四）〕……〔清淨比丘〕於地上經行時，己不得於經行處經行。諸比丘！當受本日治之比丘……別住比丘……不得與當受本日治之年長比丘……與當受摩那埵之比丘……與已受摩那埵之比丘……不得與當受出罪之比丘住同一屋內之住處……

〔當受出罪之比丘〕於地上經行時，己不得於經行處經行。諸比丘！若以當受本日治之〔比丘〕為第四人而與別住、與本日治、與摩那埵；若以彼為第二十人而作出罪，則不成羯磨，不得作。」

五

（一）

爾時，當受摩那埵之諸比丘受清淨諸比丘〔參照第二　別住犍度一（一）～（二）。「別住比丘」改為「當受摩那埵之比丘」。〕……「……不使〔他人〕知己〔當受摩那埵〕，故不得持施食。諸比丘！當受摩那埵之比丘不得從有比丘住處往無比丘住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外……〔參照第二別住犍度一（三）～（四）〕……於地上經行時，己不得於經行處經行。諸比丘！當受摩那埵之比丘與別住比丘……與當受本日治之比丘……與當受摩那埵之年長比丘……與已受摩那埵之比丘……不得與當受出罪之比丘住同一屋內之住處……不得作。」

六

（一）

爾時，受摩那埵之諸比丘受清淨諸比丘……〔參照第二　別住犍度一（一）～（二）。「別住比丘」改為「受摩那埵比丘」。〕……「……不使〔他人〕知己〔受摩那埵〕，故不得持施食。諸比丘！受摩那埵之比丘若作客，當告之〔己受摩那埵〕；若客來，當告之；布薩時，當告之；自恣時，當告之；當日日告之；若病時，當由使者告之。諸比丘！受摩那埵之比丘不得從有比丘住處往無比丘住處，然與僧伽俱者除外，有障礙者除外……諸比丘！受摩那埵之比丘不得從有比丘住處或非住處往無比丘住處或非住處，然與僧伽俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！受摩那埵之比丘不得從有比

丘住處往〔有異住比丘之〕有比丘住處，然……不得從有比丘住處或非住處往有異住比丘之有比丘住處或非住處，然與僧伽俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！受摩那埵之比丘可從有比丘住處往〔有同住比丘之〕有比丘住處……可從有比丘住處或非住處往有同住比丘之住處或非住處，然應知於當日可達。諸比丘！受摩那埵之比丘不得與清淨比丘住同一屋內之住處……〔參照第二　別住犍度一（四）〕……於地上經行時，己不得於經行處經行。諸比丘！受摩那埵之比丘不得與別住比丘……乃至……與當受本日治之比丘……與當受摩那埵之比丘……與受摩那埵之年長比丘……不得與當受出罪之比丘住同一屋內之住處……不得作。」

七

（一）

時，具壽優波離詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐於一面。於一面坐已，具壽優波離白世尊，曰：「受摩那埵之比丘有幾夜斷耶？」「優波離！受摩那埵之比丘有四夜斷也，〔謂：〕同住、獨住、不告、於少眾中行也。優波離！受摩那埵之比丘有如此四夜斷。」

八

（一）

爾時，大比丘眾於舍衛城集會，受摩那埵之諸比丘未能完成摩那埵……「……〔參照第二　別住犍度三（一）～（二）〕……〔再〕行摩那埵。」

九

（一）

爾時，當受出罪之諸比丘受清淨諸比丘……〔參照第二　別住犍度一（一）～（二）。「別住比丘」改為「當受出罪之比丘」。〕……「……不使〔他人〕知己〔當受出罪〕，故不得持施食。諸比丘！當受出罪之比丘不得從有比丘住處往無比丘住處……不得從有比丘住處或非住處往無比丘住處或非住處，然與清淨〔比丘〕俱者除外，有障礙者除外。諸比丘！當受出罪之比丘可從有比丘住處往〔有同住比丘之〕有比丘住處……可從有比丘住處或非住處往有同住比丘之有比丘住處或非住處，然應知於當日可達。諸比丘！當受出罪之比丘不得與清淨比丘住同一屋內之住處……於地上經行時，己不得於經行處經行。諸比丘！當受出罪之比丘不得與別住比丘……與當受本日治比丘……與當受摩那埵之比丘……與已受摩那埵之比丘……不得與當受出罪之年長比丘住同一屋內之住處……不得作。」

———第二　別住犍度終———

此犍度有五事。攝頌曰：

別住諸比丘　受清淨比丘
敬禮及起迎　合掌與恭敬
設座具・臥具　洗足水・足台
足布・受鉢衣　洗浴時浣背
善比丘怨言　受者墮惡作
相互許五事　謂布薩・自恣
雨衣・施物・食　此中應正行
於清淨比丘　受僧伽邊際
先行或後行　不行林住法
以及乞食法　必告客比丘
布薩・自恣時　告之・使者告
往有比丘處　不可同處於
一屋之處住　當請座處坐
於低經行處　地上經行處

應守於禮儀　對於年長者
有不可為事　於別住應知
有夜斷・暫停　以及於再行
應受本日治　應受摩那埵
正受摩那埵　應出罪比丘
理趣有差別　別住三夜斷
摩那埵者四　告三夜斷同
摩那埵比丘　即以日日加
二羯磨相似　餘之三羯磨
如此之相等

第三　集犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。其時，具壽優陀夷犯故出不淨而不覆藏一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而不覆藏一罪，我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽以優陀夷所犯故出不淨而不覆藏一罪，應與六夜摩那埵。」

（二）

「諸比丘！應如是為：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而不覆藏一罪，故我乞請僧伽為我所犯故出不淨而不覆藏一罪，與六夜摩那埵。諸大德！我犯……不覆藏一罪，我二次乞請僧伽……與六夜摩那埵。諸大德！我犯……不覆藏一罪，我三次乞請僧伽……與六夜摩那埵。』」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故出不淨而不覆藏一罪，彼請僧伽為彼所犯故出不淨而不覆藏一罪，與六夜摩那埵。若僧伽機熟，則僧伽應為比丘優陀夷犯故出不淨而不覆藏一罪，與六夜摩那埵。此乃表白。

諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……與六夜摩那埵。僧伽為優陀夷比丘所犯故出不淨而不覆藏一罪，與六夜摩那埵。為優陀夷比丘所犯故出不淨而不覆藏一罪與六夜摩那埵，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事。』

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……請言。

優陀夷比丘所犯故出不淨而不覆藏一罪，與六夜摩那埵。具壽聽故默然，我如是了知。』」

二

（一）

彼行摩那埵已，告諸比丘曰：「諸友！我犯一罪，〔謂：〕故出不淨而不覆藏，乞請僧伽為我所犯故出不淨而不覆藏一罪，與六夜摩那埵。為我所犯故出不淨而不覆藏一罪，僧伽已與六夜摩那埵，我行摩那埵已。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應與優陀夷比丘出罪。」

（二）

「諸比丘！應如是與出罪：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而不覆藏一罪，乞請僧伽為我所犯故出不淨而不覆藏一罪，與六夜摩那埵。僧伽為我所犯故出不淨而不覆藏一罪，已與六夜摩那埵，我行摩那埵已，乞請僧伽與出罪。諸大德！我犯……一罪……我行摩那埵已，我二次乞請僧伽與出罪。諸大德！我犯……一罪……我行摩那埵已。我三次乞請僧伽與出罪。』」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故出不淨而不覆藏一罪，彼請僧伽為彼所犯故出不淨而不覆藏一罪，與六夜摩那埵。僧伽為優陀夷比丘所犯故出不淨而不覆藏一罪，已與六夜摩那埵，彼行摩那埵已，而請僧伽與出罪。若僧伽機熟，則僧伽應與優陀夷比丘出罪。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……乞請出罪，僧伽與優陀夷比丘出罪。與優陀夷比丘出罪，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事。』

『諸大德！請聽我言……請言。

僧伽已與優陀夷比丘出罪。具壽聽故默然，我如是了知。』」

三

（一）

爾時，具壽優陀夷犯故出不淨而覆藏一日一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏一日一罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘犯故出不淨而覆藏一日一罪，與別住一日。」

（二）

「諸比丘！應如是與：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而覆藏一日一罪，故我請僧伽為我所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與別住一日。』應二次乞請……三次乞請。」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故出不淨而覆藏一日一罪，彼請僧伽……與別住一日。若僧伽機熟，則僧伽應為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與別住一日。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……；僧伽為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與別住一日。為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與別住一日，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……

僧伽為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，已與別住一日。具壽聽故默然，我如是了知。』」

四

（一）

彼行別住已。告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏一日一罪，請僧伽為我所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與別住一日。為我所犯故出不淨而覆藏一日一罪，僧伽已與別住一日，我行別住已。我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與六夜摩那埵。」

（二）

「諸比丘！應如是與：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而覆藏一日一罪，請僧伽為我所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與別住一日。僧伽為我所犯故出不淨而覆藏一日一罪，已與別住一日，我行別住已。請僧伽為我所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與六夜摩那埵。』應二次乞請……三次乞請……。」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故出不淨而覆藏一日一罪，彼請僧伽為彼所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與別住一日。僧伽為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，已與別住一日，彼行別住已。彼請僧伽為彼所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與六夜摩那埵。若僧伽機熟，則僧伽應為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與六夜摩那埵。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故……一罪……與……。僧伽為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與六夜摩那埵。為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與六夜摩那埵，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……

僧伽為優陀夷比丘所犯故出不淨而覆藏一日一罪，已與六夜摩那埵。具壽聽故默然，我如是了知。』」

五

（一）

彼行摩那埵已。告諸比丘曰：「諸友！我犯……一罪……〔同第三　集犍度四（一）〕……我行別住已。請僧伽為我所犯故出不淨而覆藏一日一罪，與六夜摩那埵。僧伽為我所犯故……一罪……已與六夜摩那埵，我行摩那埵已。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應與優陀夷比丘出罪。」

（二）

「諸比丘！應如是與出罪：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯……一罪……我行別住已。乞請僧伽為……與六夜摩那埵。僧伽為我所犯……一罪，與六夜摩那埵。我行摩那埵已，乞請僧伽與出罪。』應二次乞請……三次乞請……。」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故……一罪，與六夜摩那埵。僧伽為優陀夷比丘所犯……一罪，已與六夜摩那埵。彼行摩那埵已，彼請僧伽與出罪。若僧伽機熟，則僧伽應與優陀夷比丘出罪。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……與出罪。僧伽與優陀夷比丘出罪。與優陀夷比丘出罪，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……

僧伽已與優陀夷比丘出罪。具壽聽故默然，我如是了知。』」

六

（一）

爾時，具壽優陀夷犯故出不淨而覆藏二日一罪……覆藏五日一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故……『……一罪……〔參照第三集犍度三。「覆藏一日」、「別住一日」改為「覆藏五日」、「別住五日」。〕……我如是了知。』」

七

（一）

彼於別住中，犯故出不淨而不覆藏一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏五日一罪，請僧伽為我所犯故出不淨而覆藏五日一罪，與別住五日。僧伽……與別住五日。我於別住中，犯故出不淨而不覆藏一罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘此期間所犯故出不淨而不覆藏一罪，應與本日治。」

（二）

「諸比丘！應如是與本日治：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而覆藏五日一罪，請僧伽為我犯故出不淨而覆藏五日一罪，與別住五日。僧伽……已與我別住五日。我於別住中，犯故出不淨而不覆藏一罪，故我請僧伽為我別住期間……不覆藏一罪，與本日治。』應二次乞請……三次乞請……。」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……與別住五日。僧伽為優陀夷比丘……，已與別住五日。彼於別住中，犯故出不淨而不覆藏一罪，彼請僧伽……不覆藏一罪，與本日治。若僧伽機熟，則僧伽應為優陀夷比丘此期間所犯……不覆藏一罪，與本日治。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯……一罪，與本日治。僧伽為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪，與本日治。為優陀夷比丘此期間所犯……不覆藏一罪……與本日治，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……

僧伽為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪，已與本日治。具壽聽故默然，我如是了知。』」

八

（一）

彼行別住已，於當受摩那埵期間，犯故出不淨而不覆藏一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏五日一罪。請僧伽……〔同第三　集犍度七（一）〕……不覆藏一罪。請僧伽為我此期間……不覆藏一罪，與本日治。僧伽為我此期間……不覆藏一罪，已與本日治。我行別住已，於當受摩那埵期間，犯故出不淨而不覆藏一罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘此期間所犯……不覆藏一罪，與本日治。」

（二）

「諸比丘！應如是與本日治：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……白如是：

『諸大德！我犯故出不淨而覆藏五日一罪……我行別住已。於受摩那埵期間，犯故出不淨而不覆藏一罪，故我請僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，與本日治。』應二次乞請……三次乞請……。」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……與本日治。若僧伽機熟，則僧伽應為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪，與本日治。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……與……。僧伽為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪，與本日治。為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪與本日治，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……

僧伽為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪，已與本日治。具壽聽故默然，我如是了知。』」

九

（一）

彼行別住已。告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏五日一罪……我行別住已。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，因三罪故，僧伽應與優陀夷比丘六夜摩那埵。」

（二）

「諸比丘！應如是與：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而覆藏五日一罪……我行別住已，請僧伽因三罪故，與六夜摩那埵。』應二次乞請……三次乞請……。」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故出不淨而覆藏五日一罪……彼行別住已。因三罪故，彼請僧伽與六夜摩那埵。若僧伽機熟，則僧伽應為優陀夷比丘之三罪，與六夜摩那埵。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘……與……。僧伽與三罪之優陀夷比丘六夜摩那埵。與三罪之優陀夷比丘六夜摩那埵，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……

僧伽為優陀夷比丘之三罪，已與六夜摩那埵。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一〇

（一）

彼行摩那埵中，犯故出不淨而不覆藏一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏五日一罪……我於行摩那埵中，犯故出不淨而不覆藏一罪。我應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪，與本日治後，與六夜摩那埵。諸比丘！應如是與本日治……諸比丘！應如是與六夜摩那埵……『……僧伽為優陀夷比丘

此期間……不覆藏一罪，已與六夜摩那埵。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一一

（一）

彼行摩那埵已，於受出罪期間，犯故出不淨而不覆藏一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏五日一罪……我行摩那埵已。於當受出罪期間，犯故出不淨而不覆藏一罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪，與本日治後，與六夜摩那埵。諸比丘！應如是與本日治……諸比丘！應如是與六夜摩那埵……『……僧伽為優陀夷比丘此期間……不覆藏一罪，已與六夜摩那埵。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一二

（一）

彼行摩那埵已。告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏五日一罪……我行摩那埵已。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應與優陀夷比丘出罪。」

（二）

「諸比丘！應如是與出罪：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而覆藏五日一罪，請僧伽為……覆藏五日一罪，與別住五日。僧伽……覆藏五日一罪，已與別住五日。於別住中，犯故出不淨而不覆藏一罪。請僧伽為我此期間所犯……

不覆藏一罪，與本日治。僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，已與本日治，我行別住已。於當受摩那埵期間，犯故出不淨而不覆藏一罪，請僧伽為我此期間……不覆藏一罪，與本日治。僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，已與本日治。我行別住已。因三罪故，請僧伽與六夜摩那埵。因三罪故，僧伽已與我六夜摩那埵。我行摩那埵期間，犯故出不淨而不覆藏一罪，請僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，與本日治。僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，已與我本日治。請僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，與六夜摩那埵。僧伽為我此期間犯……不覆藏一罪，已與六夜摩那埵，我行摩那埵已。於當受出罪期間，犯故出不淨而不覆藏一罪，請僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，與本日治。僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，已與本日治。請僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，與六夜摩那埵。僧伽為我此期間所犯……不覆藏一罪，已與六夜摩那埵，我行摩那埵已，請僧伽與出罪。』應二次乞請……三次乞請……。」

（三）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故出不淨而覆藏五日一罪，彼請僧伽與別住五日。僧伽為優陀夷比丘所犯……覆藏五日一罪，已與別住五日。彼於別住中，犯故出不淨而不覆藏一罪，彼請僧伽為彼此期間所犯……不覆藏一罪，與本日治。僧伽為優陀夷比丘此期間所犯……不覆藏一罪，已與本日治。彼行別住已……行摩那埵已，請僧伽與出罪。若僧伽機熟……我三次言此事……

僧伽已與優陀夷比丘出罪。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一三

（一）

爾時，具壽優陀夷犯故出不淨而覆藏半月一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故……『……一罪……〔參照第三　集犍度三。「覆藏一日」、「別住一日」改為「覆藏半月」、「別住半月」。〕……我如是了知。』」

一四

（一）

彼於別住中，犯故出不淨而覆藏五日一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏半月一罪，請僧伽為……覆藏半月一罪，與別住半月。僧伽為我……覆藏半月一罪，已與別住半月。於別住中，犯故出不淨而覆藏五日一罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘此期間……覆藏五日一罪，與本日治後，前罪故，應與合一別住。」

（二）

「諸比丘！應如是與本日治：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而覆藏半月一罪，請僧伽……覆藏半月一罪，與別住半月。僧伽為我犯……覆藏半月一罪，與別住半月。僧伽為……覆藏半月一罪，已與別住半月。於別住中，犯故出不淨而覆藏五日一罪，請僧伽為我……覆藏五日一罪，與本日治。』應二次乞請……三次乞請……應由一聰明賢能比丘……『……我如是了知。』」

（三）

「諸比丘！前罪故，應如此行與合一之別住：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯……一罪……與本日治。僧伽為我此期間所犯……覆藏五日一罪，已與本日治。我請僧伽為我此期間所犯……覆藏五日一罪，前罪故，行合一別住。』應二次乞請……三次乞請……應由一聰明賢能比丘……我三次言此事……

僧伽為優陀夷比丘此期間所犯……『……覆藏五日一罪，前罪故，已與優陀夷比丘合一別住。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一五

（一）

彼行別住已，於當受摩那埵期間，犯故出不淨而覆藏五日一罪。彼告諸比丘言：「諸友！我犯故出不淨而覆藏半月一罪，請僧伽……覆藏五日……。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘此期間……覆藏五日一罪，與本日治後，前罪故，應與合一別住。諸比丘！應如是與本日治……諸比丘！前罪故，應如是行與合一別住……

僧伽為優陀夷比丘此期間……『……覆藏五日一罪，前罪故，已與優陀夷比丘合一別住。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一六

（一）

彼行別住已。告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏半月一罪……行別住已。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘之三罪，與六

夜摩那埵。諸比丘！應如是與：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽處……『……我三次言此事……僧伽為優陀夷比丘之三罪，已與六夜摩那埵。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一七

（一）

彼於摩那埵中，犯故出不淨而覆藏五日一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏半月一罪……我於摩那埵中，犯故出不淨而覆藏五日一罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘此期間所犯……覆藏五日一罪，與本日治後，前罪故，與合一別住後，應與六夜摩那埵。諸比丘！應如是與本日治……諸比丘！前罪故，應如是行與合一別住……諸比丘！應如是行與六夜摩那埵……僧伽已為優陀夷比丘此期間……『……覆藏五日一罪，與六夜摩那埵。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一八

（一）

彼行摩那埵已，於當受出罪期間，犯故出不淨而覆藏五日一罪。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏半月一罪……行摩那埵已。於當受出罪期間，犯故出不淨而覆藏五日一罪。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為優陀夷比丘此期間所犯……覆藏五日一罪，與本日治，前罪故，與合一別住後，與六夜摩那埵。諸比丘！應如是與本日治……諸比丘！應如是與同前罪合一之別住……諸比丘！應如是行與六夜摩那埵……僧伽為優陀夷比丘此期間……『……覆藏五日一罪，已與六夜摩那埵。具壽聽故默然，我如是了知。』」

一九

（一）

彼行摩那埵已。告諸比丘曰：「諸友！我犯故出不淨而覆藏半月一罪……行摩那埵已。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應與優陀夷比丘出罪。諸比丘！應如是與出罪：諸比丘！彼優陀夷比丘應至僧伽之處……白如是言：

『諸大德！我犯故出不淨而覆藏半月一罪，請僧伽……行摩那埵已，請僧伽與出罪。』應二次乞請……三次乞請。應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此優陀夷比丘犯故出不淨而覆藏半月一罪……我三次言此事……

僧伽已與優陀夷比丘出罪。具壽聽故默然，我如是了知。』」

———出不淨終———

二〇

（一）

爾時，有一比丘犯甚多僧殘罪，一罪乃覆藏一日，一罪乃覆藏二日，一罪乃覆藏三日，一罪乃覆藏四日，一罪乃覆藏五日，一罪乃覆藏六日，一罪乃覆藏七日，一罪乃覆藏八日，一罪乃覆藏九日，一罪乃覆藏十日。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯眾多僧殘罪，一罪乃覆藏一日……一罪乃覆藏十日。我應如何為之耶？」諸比丘

以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應依彼比丘諸罪中覆藏十日之罪，與合一別住。」

（二）

「諸比丘！應如是與：諸比丘！彼比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯眾多僧殘罪，一罪乃覆藏一日……一罪乃覆藏十日，故我請僧伽依諸罪中覆藏十日之罪，與合一別住。』應二次乞請……三次乞請……應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此某甲比丘犯甚多僧殘罪，一罪乃覆藏一日……一罪乃覆藏十日。彼請僧伽依彼諸罪中覆藏十日之罪，與合一別住。若僧伽機熟，則僧伽應依某甲比丘諸罪中覆藏十日之罪，與合一別住。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此某甲比丘……與合一別住。僧伽依彼諸罪中覆藏十日之罪，與合一別住……聽者……我三次言此事……

僧伽依某甲比丘諸罪中覆藏十日之罪，已與合一別住。具壽聽故默然，我如是了知。』」

二一

（一）

爾時，有一比丘犯甚多僧殘罪，有一罪覆藏一日，有二罪覆藏二日，有三罪覆藏三日，有四罪覆藏四日，有五罪覆藏五日，有六罪覆藏六日，有七罪覆藏七日，有八罪覆藏八日，有九罪覆藏九日，有十罪覆藏十日。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯甚多僧殘罪，有一罪覆藏一日……有十罪覆藏十日。我應如何為之耶？」諸比丘

以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應依彼比丘諸罪中覆藏最久之罪，與合一別住。諸比丘！應如是與：諸比丘！彼比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯甚多僧殘罪，有一罪覆藏一日……有十罪覆藏十日，故我請僧伽依我諸罪中覆藏最久之罪，行合一別住。』應二次乞請……三次乞請。應由一聰明賢能比丘……『……我三次言此事……

僧伽依某甲比丘諸罪中覆藏最久之罪，已與合一別住。具壽聽故默然，我如是了知。』」

二二

（一）

爾時，有一比丘犯二僧殘罪而覆藏二月，彼生此念：「我犯二僧殘罪而覆藏二月。我宜請僧伽為其中一覆藏二月之罪，應行二月別住。」彼請僧伽為其中一覆藏二月之罪，行二月別住。僧伽以一罪覆藏二月之故，已與彼二月別住。彼於別住中，心生慚愧：「我犯二僧殘罪而覆藏二月，時，我生此念：『我犯二僧殘罪而覆藏二月，我宜請僧伽以一罪覆藏二月之故，應行二月別住。』我請僧伽以一罪覆藏二月之故，已行二月別住，僧伽以一罪覆藏二月之故，與我二月別住。我於別住中，心生慚愧。我宜請僧伽以第二罪覆藏二月之故，應行二月別住。」

（二）

彼告諸比丘曰：「諸友！我犯二僧殘罪……我於別住中，心生慚愧：『我犯二僧殘罪而覆藏二月，時，我生思念：我犯二僧殘罪而覆藏二月，我宜請僧伽以一罪覆藏二月之故，應行二月別住。我

請僧伽以一罪覆藏二月之故，行二月別住，僧伽以一罪覆藏二月之故，與我二月別住。我於別住中，心生慚愧：我宜請僧伽以第二罪覆藏二月之故，應行二月別住。我應如何為之耶？』」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（三）

「諸比丘！若爾，僧伽以彼比丘第二罪覆藏二月之故，應與二月別住。諸比丘！應如是與：諸比丘！彼比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯二僧殘罪……我宜請僧伽以第二罪覆藏二月之故，應行二月別住。我請僧伽以第二覆藏二月之故，行二月別住。』應二次乞請……三次乞請。」

（四）

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此某甲比丘犯二僧殘罪而覆藏二月，彼生此念……彼請僧伽以第二罪覆藏二月之故，行二月別住。若僧伽機熟，則僧伽應以某甲比丘第二罪覆藏二月之故，與二月別住。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此某甲比丘……我三次言此事……乃至……。

僧伽以某甲比丘第二罪覆藏二月之故，已與二月別住。具壽聽故默然，我如是了知。』諸比丘！彼比丘由此應二月別住。」

二三

（一）

「諸比丘！此處有一比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月，彼生此念：『我犯二僧殘罪而覆藏二月，我宜請僧伽以其中一罪覆藏二月之故，應行二月別住。』彼請僧伽以其中一罪覆藏二月之故，行二月別住。僧伽以其中一罪覆藏二月之故，與彼二月別住。彼於別住時，心生慚愧：『我犯二僧殘罪……〔同第三　集犍度二二（一）〕……以第二罪覆藏二月之故，應行二月別住。』彼請僧伽以第二罪覆藏二月之故，行二月別住。僧伽以第二罪覆藏二月之故，與彼二月別住。諸比丘！彼比丘由此應二月別住。

（二）

諸比丘！此處有比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月，知一罪為罪而不知另一罪為罪。彼請僧伽以彼所知覆藏二月之罪，行二月別住。僧伽以彼所覆藏二月之罪，與二月別住。彼於別住時，知另一罪亦為罪。彼生此念：『我犯二僧殘罪而覆藏二月，知一罪為罪而不知另一罪為罪。我請僧伽以我所知之覆藏二月之罪，行二月別住。僧伽以我所覆藏二月之罪，已與二月別住。我於別住時，知另一罪亦為罪。我宜請僧伽以另一覆藏二月之罪，應行二月別住。』彼請僧伽以另一覆藏二月之罪，行二月別住。僧伽以另一覆藏二月之罪，與彼二月別住。諸比丘！彼比丘由此應二月別住。

（三）

諸比丘！此處有比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月，憶念一罪而一罪不憶念。彼請僧伽……〔同第三　集犍度二三（二）。『知』改為『憶念』。〕……應……別住。

（四）

諸比丘！此處有比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月，不疑一罪為罪而疑一罪是否為罪。彼請僧伽……〔同第三　集犍度二三（二）『知』改為『不疑』，『不知』改為『疑』。〕……應……別住。

（五）

諸比丘！此處有比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月，知一罪為罪而覆藏，不知一罪為罪而覆藏。彼請僧伽以此等覆藏二月之罪，行二月別住。僧伽以此等覆藏二月之罪，與彼二月別住。彼於別住時，有他比丘來，多聞而通達阿含，且持法、持律、持摩夷，為賢能、聰明、有慧、有恥、有悔而好學者。彼如是問：『諸友！此比丘犯何耶？此比丘何故別住耶？』彼等如是答：『友！此比丘犯二僧殘罪而覆藏二月，知一罪為罪而覆藏，不知一罪為罪而覆藏。彼請僧伽以此等覆藏二月之罪，行二月別住。僧伽以此等覆藏二月之罪，已與彼二月別住。友！此比丘犯此等罪，此比丘因此而別住。』彼如是云：『諸友！知罪而覆藏者，與別住則如法也，如法故成就也。諸友！然不知罪而覆藏者，與別住則非法也，非法故非成就也。諸友！此罪故，比丘應受摩那埵。』

（六）

諸比丘！此處有比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月，一罪憶念而覆藏，一罪不憶念而覆藏……一罪無疑而覆藏，一罪有疑而覆藏……『……諸友！此罪故，比丘應受摩那埵。』」

二四

（一）

爾時，有一比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月。彼生此念：「我犯二僧殘罪而覆藏二月，我宜請僧伽以我所覆藏二月之二罪，應行一

月別住。」彼請僧伽以彼所覆藏二月之二罪，行一月別住。僧伽以彼所覆藏二月之二罪，與彼一月別住。彼於別住時，心生慚愧：「我犯二僧殘罪而覆藏二月，時，我生此念：『我犯二僧殘罪而覆藏二月，我宜請僧伽以我所覆藏二月之二罪，應行一月別住。』我請僧伽以我所覆藏二月之二罪，行一月別住，僧伽以我所覆藏二月之二罪，與我一月別住。我於別住中，心生慚愧。我宜請僧伽以我所覆藏二月之二罪，應行第二月別住。」

（二）

彼告諸比丘曰：「諸友！我犯二僧殘罪而覆藏二月，時，我生此念：『我……生慚愧心。我犯二僧殘罪而覆藏二月，時，我生此念：我犯二僧殘罪而覆藏二月，我宜請僧伽以我所覆藏二月之二罪，應一月別住。』我請僧伽以我所覆藏二月之二罪，行一月別住，僧伽以我所覆藏二月之二罪，與我一月別住。我於別住中，生慚愧心。我宜請僧伽以我所覆藏二月之二罪，應行第二月別住。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕

（三）

「諸比丘！若爾，僧伽以彼比丘所覆藏二月之二罪，應與第二月別住。諸比丘！應如是與：諸比丘！彼比丘應至僧伽處……白如是言：

『諸大德！我犯二僧殘罪……我宜請僧伽以我所覆藏二月之二罪，應行第二月別住。我請僧伽以我覆藏二月之二罪，行第二月別住。』應二次乞請……三次乞請。應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此某甲比丘犯二僧殘罪而覆藏二月，彼生此念……應行第二月別住。彼請僧伽以覆藏二月之二罪，行第二

月別住。若僧伽機熟……以覆藏二月之二罪，與第二月別住。以某甲比丘所覆藏二月之二罪，與第二月別住，具壽聽者……我三次言此事……

僧伽以某甲比丘所覆藏二月之二罪，已與第二月別住。具壽聽故默然，我如是了知。』諸比丘！彼比丘由前應二月別住。

二五

（一）

諸比丘！此處有比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月。彼生此念：『我犯二僧殘罪而覆藏二月，我宜請僧伽以我所覆藏二月之二罪，行一月別住。』彼請僧伽以彼所覆藏二月之二罪，行一月別住，僧伽以彼所覆藏二月之二罪，與彼一月別住。彼於別住中，心生慚愧：『我犯二僧殘罪……〔同第三集犍度二四（一）〕……應行第二月別住。』彼請僧伽以覆藏二月之二罪，行第二月別住。僧伽以覆藏二月之二罪，與彼第二月別住。諸比丘！彼比丘由前應二月別住。

（二）

諸比丘！此處有比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月，一月知為罪而一月不知為罪……一月憶念而一月不憶念……一月無疑為罪而一月有疑。彼請僧伽以彼所覆藏二月之二罪，故行無疑月之別住，僧伽以覆藏二月之二罪，與無疑月之別住。彼於別住時，於第二月離疑。彼生此念：『我犯二僧殘罪，一月無疑為罪而一月有疑，我請僧伽以覆藏二月之二罪，行無疑月之別住，僧伽以我所覆藏二月之二罪，行無疑月之別住。我於別住時，於第二月離疑。我宜請僧伽以我所覆藏二月之二罪，應行第二月別住。』彼請僧伽以彼所覆藏

二月之二罪，行第二月別住。僧伽以彼所覆藏二月之二罪，與第二月別住。諸比丘！彼比丘由前應二月別住。

（三）

諸比丘！此處有比丘，犯二僧殘罪而覆藏二月，一月知為罪而覆藏，一月不知為罪而覆藏……一月憶念而覆藏，一月不憶念而覆藏……一月無疑為罪而覆藏，一月有疑而覆藏。彼請僧伽以彼所覆藏二月之二罪，行二月別住。僧伽以覆藏二月之二罪，與彼二月別住。彼於別住時，有他比丘來，多聞而……好學。彼如是問：『諸友！此比丘犯何耶？此比丘何故別住耶？』彼等如是答：『友！此比丘犯二僧殘罪而覆藏二月，一月無疑為罪而覆藏，一月有疑而覆藏。彼請僧伽以彼所覆藏二月之二罪，行二月別住。僧伽以所覆藏二月之二罪，與二月別住。友！此比丘犯此等罪，此比丘因此而別住。』彼如是云：『諸友！無疑而覆藏之月，與別住則如法也，如法故成就也。諸友！然而有疑而覆藏之月，與別住則非法也，非法故不成就也。諸友！此月故，比丘應受摩那埵。』」

二六

（一）

爾時，有比丘，犯甚多僧殘罪，不知罪數、日數，不憶念罪數、日數，有疑罪數、日數。彼告諸比丘曰：「諸友！我犯甚多僧殘罪，不知罪數、日數……有疑……日數。我當如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若爾，僧伽應為彼比丘之此等罪，與清淨邊別住。」

（二）

「諸比丘！應如是與：彼比丘應至僧伽處……乃至……白如是言：

『諸大德！我犯眾多僧殘罪……有疑……日數。我請僧伽為我之此等罪，行清淨邊別住。』應二次乞請……三次乞請。應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此處某甲比丘犯甚多僧殘罪，不知罪數……有疑……日數。彼請僧伽為彼之此等罪，行清淨邊別住。若僧伽機熟，則僧伽應為某甲比丘之此等罪，與清淨邊別住。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此處某甲比丘……僧伽為某甲比丘之此等罪，與清淨邊別住。為某甲比丘之此等罪與清淨邊別住，具壽聽者默然……我三次言此事……

僧伽為某甲比丘之此等罪，已與清淨邊別住。具壽聽故默然，我如是了知。』」

（三）

「諸丘比！應如是與清淨邊別住、如是與別住。

諸比丘！如何應與清淨邊別住耶？不知罪數、日數，不憶念罪數、日數，有疑罪數、日數，應與清淨邊別住。知罪數而不知日數，憶念罪數而不憶念日數，無疑罪數而有疑日數，應與清淨邊別住。知一分罪數而另一分不知，不知日數，憶念一分罪數而另一分不憶念，不憶念日數，一分罪數有疑而另一分無疑，有疑日數，應與清淨邊別住。不知罪數，知一分日數而另一分不知，不憶念罪數，憶念一分日數而另一分不憶念，有疑罪數，有疑一分日數而另一分無疑，應與清淨邊別住。知罪數，知一分日數而另一分不知，

憶念罪數，憶念一分日數而另一分不憶念，無疑罪數，有疑一分日數而另一分無疑，應與清淨邊別住。知一分罪數而另一分不知，知一分日數而另一分不知，憶念一分罪數而另一分不憶念，憶念一分日數而另一分不憶念，有疑一分罪數而另一分無疑，有疑一分日數而另一分無疑，應與清淨邊別住。諸比丘！若如此，應與清淨邊別住。」

（四）

「諸比丘！如何應與別住耶？知罪數、日數，憶念罪數、日數，無疑罪數、日數，應與別住。不知罪數而知日數，不憶念罪數而憶念日數，有疑罪數而無疑日數，應與別住。知一分罪數而另一分不知，知日數，憶念一分罪數而另一分不憶念，憶念日數，有疑一分罪數而另一分無疑，無疑日數，應與別住。諸比丘！若如此，應與別住。」

———別住終

———

二七

（一）

爾時，有比丘，於別住中還俗。彼再還，乞請諸比丘與具足戒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有比丘，於別住中還俗。諸比丘！還俗者未成就別住。彼若再受具足戒，如前與此別住，已與之別住為善已與，已別住之分為善已別住，餘分應別住。諸比丘！此處有比丘，於別住中成為沙彌。諸比丘！沙彌者未成就別住。彼若再受具足戒，如前與此別住，已與之別住為善已與，已別住之分為善已別住，餘分應別住。諸比丘！此處有比丘，於別住中成為狂人。諸比丘！狂人者未成就別住。彼若再成為

非狂人，如前與此別住，已與之別住為善已與，已別住之分為善已別住，餘分應別住。諸比丘！此處有比丘，於別住中成為亂心者。諸比丘！亂心者未成就別住。彼若再成為非亂心者……諸比丘！此處有比丘，於別住中成為痛苦人。諸比丘！痛苦人未成就別住。彼若再成為非痛苦人……諸比丘！此處有比丘，於別住中依不見罪……依不懺悔罪……依不棄惡見而被舉。諸比丘！被舉人未成就別住。彼若再解〔舉〕者，如前與此別住，已與之別住為善已與，已別住之分為善已別住，餘分應別住。」

（二）

「諸比丘！此處有比丘，當受本日治而還俗。諸比丘！還俗者未成就本日治。彼若再受具足戒，如前與此別住，已與之別住為善已與，應與彼比丘本日治。諸比丘！此處有比丘，當受本日治而成為沙彌……成為狂人……依不棄惡見而被舉。諸比丘！被舉人未成就本日治。彼若再解〔舉〕者，如前與此別住，已與之別住為善已與，應與彼比丘本日治。」

（三）

「諸比丘！此處有比丘，當受摩那埵而還俗。諸比丘！還俗者未成就摩那埵。彼若再受具足戒，如前與此別住，已與之別住為善已與，已別住為善已別住，應與彼比丘摩那埵。諸比丘！此處有比丘，當受摩那埵而成為沙彌……依不棄惡見而被舉。諸比丘！被舉人未成就摩那埵。彼若再解〔舉〕者，如前與此別住，已與之別住為善已與，已別住為善已別住，應與彼比丘摩那埵。」

（四）

「諸比丘！此處有比丘，於行摩那埵中還俗……依不棄惡見而被舉。諸比丘！被舉人未成就摩那埵。彼若再解〔舉〕者，如前與

此別住，已與之別住為善已與，已別住為善已別住，已與之摩那埵為善已與，已行之摩那埵分為善已行，餘分應行。」

（五）

「諸比丘！此處有比丘，當受出罪而還俗……依不棄惡見而被舉。諸比丘！被舉人未成就出罪。彼若再解〔舉〕者，如前與此別住，已與之別住為善已與，已別住為善已別住，已與之摩那埵為善已與，已行之摩那埵為善已行，應與彼比丘出罪。」

———四十事終———

二八

（一）

「諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪，有量而不覆藏。應與彼比丘本日治。諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪，有量而覆藏。應與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪故，與合一別住。諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪，有量而或覆藏、或不覆藏。應與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪故，與合一別住。諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪，無量而不覆藏……無量而覆藏……無量而覆藏、或不覆藏……或有量、或無量而不覆藏……或有量、或無量而覆藏……或有量、或無量而或覆藏或不覆藏。應與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪故，與合一別住。」

（二）

「諸比丘！此處有比丘，當受摩那埵而……行摩那埵中……於當受出罪而犯甚多僧殘罪，有量而不覆藏……或有量、或無量而覆

藏或不覆藏。應與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪故，與合一別住。」

——三十六事
終——

二九

（一）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，不覆藏而還俗。彼再受具足戒，仍不覆藏其諸罪。諸比丘！應與彼比丘摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，不覆藏而還俗。彼再受具足戒，覆藏其諸罪。諸比丘！依彼比丘於覆藏最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，覆藏而還俗。彼再受具足戒，不覆藏其諸罪。諸比丘！依彼比丘覆藏最初之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，覆藏而還俗。彼再受具足戒，仍覆藏其諸罪。諸比丘！依彼比丘覆藏最初與最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。」

（二）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪。彼或覆藏、或不覆藏諸罪。彼還俗後，再受具足戒，前覆藏諸罪而後不覆藏，前不覆藏諸罪而後不覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪。彼或覆藏、或不覆藏諸罪。彼還俗後，再受具足戒，前覆藏諸罪而後不覆藏，前不覆藏諸罪而後覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初與最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪。彼或覆藏、或不覆藏諸罪。彼還俗後，再受具足戒，前覆藏諸罪而後亦覆藏，前不覆藏諸罪而後亦不覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初

與最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪。彼或覆藏、或不覆藏諸罪。彼還俗後，再受具足戒，前覆藏諸罪而後亦覆藏，前不覆藏諸罪而後覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初與最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。」

（三）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，知一分罪為罪而另一分罪不知，所知之罪覆藏，不知之罪不覆藏。彼還俗後，再受具足戒，前知而覆藏之諸罪，後知而不覆藏，前不知而不覆藏之諸罪，後知而不覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，知一分罪為罪而另一分罪不知，所知之罪覆藏，不知之罪不覆藏。彼還俗後，再受具足戒，前所知而覆藏之諸罪，後所知而不覆藏，前所不知而不覆藏之諸罪，後所知而覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初與最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多……再受具足戒，前所知而覆藏之諸罪，後所知而覆藏，前所不知而不覆藏之諸罪，後所知而不覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初與最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。諸比丘！此處有比丘，犯甚多……再受具足戒，前所知而覆藏之諸罪，後所知而覆藏，前所不知而不覆藏之諸罪，後所知而覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初與最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。」

（四）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，一分罪憶念……〔同第三　集犍度二九（三）『知』改為『憶念』〕……應與摩那埵。」

（五）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，一分罪無疑為罪而另一分罪有疑……應與摩那埵。」

三〇

（一）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，不覆藏而成為沙彌……成為狂人……成為亂心者……如上應廣說……成為痛苦人。彼或覆藏或不覆藏諸罪，知一分罪為罪而另一分罪不知。憶念一分罪而另一分罪不憶念，一分罪無疑為罪而另一分罪有疑。無疑之罪覆藏而有疑之罪不覆藏。成為痛苦人。彼再成為非痛苦人，前無疑而覆藏之罪，後無疑而不覆藏，前有疑而不覆藏之罪，後無疑而不覆藏。前無疑而覆藏之罪，後無疑而不覆藏，前有疑而不覆藏之罪，後無疑而覆藏。前無疑而覆藏之罪，後無疑而覆藏，前有疑而不覆藏之罪，後無疑而不覆藏。前無疑而覆藏之罪，後無疑而覆藏，前有疑而不覆藏之罪，後無疑而覆藏。諸比丘！依彼比丘覆藏最初與最後之罪蘊，與別住後，應與摩那埵。」

———摩那埵百事〔終〕———

三一

（一）

「諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪，不覆藏而還俗。彼再受具足戒，不覆藏其諸罪。應與彼比丘本日治。諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪，不覆藏而還俗。彼再受具足戒，覆藏其諸罪。與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪，應與合一別住。諸比丘！此處……犯……覆藏而還俗。彼再受具足戒，

不覆藏其諸罪。與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪，應與合一別住。諸比丘！此處……犯……覆藏而還俗。彼再受具足戒，覆藏其諸罪。與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪，應與合一別住。」

（二）

「諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪。彼或覆藏、或不覆藏諸罪。彼還俗後，再受具足戒，前覆藏諸罪而後不覆藏，前不覆藏諸罪而後不覆藏。與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪，應與合一別住。諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪。彼或覆藏、或不覆藏諸罪。彼還俗後，再受具足戒，前覆藏諸罪而後不覆藏，前不覆藏諸罪而後覆藏。與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪，應與合一別住。諸比丘！此處……再受具足戒，前覆藏諸罪而後覆藏，前不覆藏諸罪而後不覆藏。與彼比丘本日治……應與……。諸比丘！此處……再受具足戒，前覆藏諸罪而後覆藏，前不覆藏諸罪而後覆藏。與彼比丘本日治……應與……。」

（三）

「諸比丘！此處有比丘，於別住中犯甚多僧殘罪，知一分罪為罪而一分罪不知……〔同第三　集犍度二九（三）～三〇。處分為：與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪，應與合一別住。〕……。」

三二

（一）

「諸比丘！此處有比丘，當受摩那埵……乃至……行摩那埵中……於當受出罪而犯甚多僧殘罪，不覆藏而還俗……於應受摩那

埵者、行摩那埵者、應受出罪者，如別住應廣說。諸比丘！此處有比丘，於當受出罪而犯甚多僧殘罪，不覆藏而成為沙彌……成為狂人……成為亂心者……成為痛苦人。彼或覆藏、或不覆藏諸罪……〔同第三集犍度三〇〕……罪，後無疑而覆藏。與彼比丘本日治，因覆藏諸罪中最初之罪，應與合一別住。」

三三

（一）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，有量不覆藏而還俗……無量不覆藏而還俗……同名不覆藏而還俗……異名不覆藏而還俗……同分不覆藏而還俗……異分不覆藏而還俗……別立不覆藏而還俗……相雜不覆藏而還俗……。」

三四

（一）

「有二比丘，犯僧殘罪，於僧殘罪見為僧殘罪。一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與此別住後，應與兩者摩那埵。有二比丘，犯僧殘罪，於僧殘罪有疑。一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與此別住後，應與兩者摩那埵。有二比丘，犯僧殘罪，於僧殘罪見為雜罪。一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與此別住後，應與兩者摩那埵。有二比丘，犯雜罪，於雜罪見為僧殘罪。一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與此別住後，應與兩者摩那埵。有二比丘，犯雜罪，於雜罪見為雜罪。一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與此別住後，應與兩者摩那埵。有二比丘，犯少罪，於少罪見為僧殘罪。一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡

作悔過，兩者應依法而斷。有二比丘，犯少罪，於少罪見為少罪。一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡作悔過，兩者依法而斷。」

（二）

「有二比丘，犯僧殘罪，於僧殘罪見為僧殘罪。一人思念：『我告之。』一人思念：『我不告之。』彼於初更覆藏，於二更覆藏，於三更覆藏，至日昇時仍覆藏其罪。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與此別住後，應與兩者摩那埵。有二比丘，犯僧殘罪，於僧殘罪見為僧殘罪。彼等思念：『告之。』而往，途中一人起覆藏心而念：『不告之。』彼於初更覆藏，於二更覆藏，於三更覆藏，至日昇時仍覆藏其罪。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與此別住後，應與兩者摩那埵。有二比丘，犯僧殘罪，於僧殘罪見為僧殘罪。彼等成為狂人，後成為非狂人，一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與別住後，應與兩者摩那埵。有二比丘，犯僧殘罪。於誦波羅提木叉時，如是云：『今已知，此法亦傳於經，攝於經，故每半月誦之。』於僧殘罪見為僧殘罪。一人覆藏而一人不覆藏。令覆藏者惡作悔過，依覆藏，與別住後，應與兩者摩那埵。」

三五

（一）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，或有量，或無量，或同名，或異名，或同分，或異分，或別立，或相雜。彼請僧伽以此等罪故，行合一別住。僧伽以此等罪故，與彼合一別住。彼於別住中犯甚多僧殘罪，有量而不覆藏。彼請僧伽以於〔別住〕中犯罪故，行本日治。僧伽以於〔別住〕中犯罪故，依如法、無過、應理之羯磨，與彼本日治；依非法〔之羯磨〕而與摩那埵；依非法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，未清淨。諸比丘！此

處有比丘，犯眾多僧殘罪，或有量，或無量，或同名，或異名，或同分，或異分，或別立，或相雜。彼請僧伽以此等罪故，行合一別住。僧伽以此等罪故，與彼合一別住。彼於別住中犯甚多僧殘罪，有量而覆藏。彼請僧伽以於〔別住〕中犯罪故，行本日治。僧伽以於〔別住〕中犯罪故，依如法、無過、應理之羯磨，與彼本日治；依如法〔之羯磨〕而與合一別住；依非法〔之羯磨〕而與摩那埵；依非法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，未清淨。諸比丘！此處……或相雜。彼請僧伽以此等罪故，行合一別住。僧伽以此等罪故，與彼合一別住。彼於別住中犯眾多僧殘罪，有量而或覆藏、或不覆藏。彼請僧伽以於〔別住〕中犯罪故，行本日治。僧伽以於〔別住〕中犯罪，依如法、無過、應理之羯磨，與彼本日治；依如法〔之羯磨〕而與合一別住；依非法〔之羯磨〕而與摩那埵；依非法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘以此等罪，未清淨。」

（二）

「諸比丘！此處有比丘……或相雜。彼請僧伽以此等罪故，行合一別住。僧伽以此等罪故，與彼合一別住。彼於別住中犯甚多僧殘罪，無量而不覆藏……無量而覆藏……無量而覆藏或不覆藏。彼請僧伽以於〔別住〕中犯罪故，行本日治。僧伽以於〔別住〕中犯罪故，依如法、無過、應理之羯磨，與彼本日治；依如法〔之羯磨〕而與合一別住；依非法〔之羯磨〕而與摩那埵；依非法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，未清淨。諸比丘！此處……或相雜。彼請僧伽以此等罪故，行合一別住。僧伽以此等罪故，與彼合一別住。彼於別住中犯甚多僧殘罪，或有量或無量而覆藏。彼請僧伽以於〔別住〕中犯罪故，行本日治。僧伽以於〔別住〕中犯罪故，依如法、無過、應理之羯磨，與本日治；依如法

〔之羯磨〕而與合一別住；依非法〔之羯磨〕而與摩那埵；依非法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，未清淨。」

———根本未清
淨九事終———

三六

（一）

「諸比丘！此處有比丘，犯甚多僧殘罪，或有量，或無量……或別立，或相雜。彼請僧伽以此等罪故，行合一別住。僧伽以此等罪故，與彼合一別住。彼於別住中犯眾多僧殘罪，有量而不覆藏。彼請僧伽以期間犯罪故，行本日治。僧伽以期間犯罪故，依非法、有過、不應理之羯磨，與彼本日治；依如法〔之羯磨〕而與摩那埵；依如法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，未清淨。諸比丘！此處……彼於別住中犯甚多僧殘罪，有量而覆藏……有量而或覆藏、或不覆藏。彼請僧伽以期間犯罪故，行本日治。僧伽以期間犯罪故，依非法、有過、不應理之羯磨，與彼本日治；依非法〔之羯磨〕而與合一別住；依如法〔之羯磨〕而與摩那埵；依如法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，未清淨。」

（二）

「諸比丘！此處……彼於別住中犯甚多僧殘罪，有量而覆藏。彼請僧伽以期間犯罪故，行本日治。僧伽以期間犯罪故，依非法、有過、不應理之羯磨，與彼本日治；依非法〔之羯磨〕而與合一別住。彼思念：『我於別住』中犯眾多僧殘罪，有量而覆藏。彼於此地，憶念於前罪中所犯之罪，憶念於後罪中所犯之罪。彼生如是念：『我犯甚多僧殘罪，或有量……或相雜。我請僧伽以此等罪故，行合一別住。僧伽以此等罪故，與我合一別住。我於別住中犯

甚多僧殘罪，有量而覆藏。我請僧伽以期間犯罪故，行本日治。僧伽以期間犯罪故，依非法、有過、不應理之羯磨，與我本日治；依非法〔之羯磨〕而與合一別住。我思念於別住中犯甚多僧殘罪，有量而覆藏。我於此地，憶念於前罪中所犯之罪，憶念於後罪中所犯之罪。我宜請僧伽以於前罪中所犯之罪及於後罪中所犯之罪故，依如法、無過、應理之羯磨，受本日治；依如法〔之羯磨〕而受合一別住；依如法〔之羯磨〕而受摩那埵；依如法〔之羯磨〕而應受出罪。』彼請僧伽以於前罪中所犯之罪及於後罪中所犯之罪故，依如法、無過、應理之羯磨，受本日治；依如法〔之羯磨〕而受合一別住；依如法〔之羯磨〕而受摩那埵；依如法〔之羯磨〕而受出罪。僧伽以於前罪中所犯之罪及於後罪中所犯之罪故，依如法、無過、應理之羯磨與本日治；依如法〔之羯磨〕而與合一別住；依如法〔之羯磨〕而與摩那埵；依如法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，成為清淨。諸比丘！此處有比丘……〔如上文，『覆藏』改為『或覆藏或不覆藏』。〕……由此等罪，已為清淨。」

（三）

「諸比丘！此處……彼於別住中犯甚多僧殘罪，無量而不覆藏……無量而覆藏……或有量、或無量而不覆藏。彼請僧伽以期間犯罪故，行本日治。僧伽以期間犯罪故，依非法、有過、不應理之羯磨，與彼本日治；依如法〔之羯磨〕而與摩那埵；依如法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，未清淨。諸比丘！此處……彼於別住中犯甚多僧殘罪，或有量、或無量而覆藏……或有量、或無量而或覆藏，或不覆藏。彼請僧伽以期間犯罪故，行本日治。僧伽以期間犯罪故，依非法、有過、不應理之羯磨，與彼本日治；依非法〔之羯磨〕而與合一別住；依如法〔之羯磨〕而與摩那

埵；依如法〔之羯磨〕而與出罪。諸比丘！彼比丘由此等罪，未清淨。」

（四）

「諸比丘！此處……〔同第三　集犍度三六（二）。『有量』改為『或有量或無量』。〕……由此等罪，已為清淨。」

攝頌曰：

或是不覆藏　或覆藏一日
二・三・四・五日　半月十日罪
大牟尼佛說　清淨邊別住
以及還俗者　有量等之門
二比丘知之　二比丘疑之
見其為雜罪　見為非少罪
見其為少罪　一人之覆藏
還俗・狂人說　根本・十五淨
彼之銅鍱洲　悉皆清淨之
是分別說部　大精舍所住
之師之所說　為正法久住

第四　滅諍犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住舍衛城祇樹林給孤獨園。其時，六群比丘為不現前之比丘行或呵責、或依止、或驅出、或下意、或舉罪羯磨。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何六群比丘為不現前之比丘行或呵責……或舉罪羯磨耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘為不現前之比丘行或呵責……或舉罪羯磨，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！此等愚人之所為非也，非隨順行……非所應為。諸比丘！為何此等愚人，為不現前之比丘行或呵責……或舉罪羯磨耶？諸比丘！此……」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不可為不現前之比丘行或呵責……或舉罪羯磨，行者墮惡作。」

二

（一）

有非法說之人、非法說之眾人及非法說之僧伽，有如法說之人、如法說之眾人及如法說之僧伽。

非法說之人令如法說之人解、深慮、觀察、思惟、指示、教示而言：「此是法，此是律，此是師教，持此，愛樂此！」若如此而彼諍論滅，則是依非法之似現前毘尼而滅。非法說之人令如法說之眾人解……「……持此，愛樂此！」若如此而彼諍論滅，則是依非法之似現前毘尼而滅。非法說之人令如法說之僧伽解……「……持此，愛樂此！」若如此而彼諍論滅，則是依非法之似現前毘尼而滅。非法說之眾人令如法說之人解……非法說之眾人令如法說之眾

人……非法說之眾人令如法說之僧伽……非法說之僧伽令如法說之人解……非法說之僧伽令如法說之眾人……非法說之僧伽令如法說之僧伽……似現前毘尼而滅。

———黑分九事終———

三

（一）

如法說之人令非法說之人解……若如此而彼諍論滅，則是依如法之現前毘尼而滅。如法說之人令非法說之眾人……如法說之僧伽令非法說之僧伽……依現前毘尼而滅。

———白分九事終———

四

（一）

爾時，佛世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。其時，具壽摩羅子陀驃生年七歲，現證阿羅漢果，凡聲聞所應得之一切皆已得，更無所辦之事，於已辦者亦無增益。時，具壽摩羅子陀驃靜居宴默，生如是念：「我年七歲，現證阿羅漢果，凡聲聞所應得之一切皆已得，更無所辦之事，於已辦者亦無增益。我如何奉事僧伽？」時，具壽摩羅子陀驃生如是念：「我宜為僧伽設置牀座、分配請食。」

（二）

時，具壽摩羅子陀驃夕時從宴默起，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而於一面坐，於一面坐已，具壽摩羅子陀驃白世尊：「此處，我於靜居宴默……『……奉事僧伽？』時，我生是念：『我宜為僧伽設置牀座、分配請食。』我欲為僧伽設置牀座、分配請食。」「善哉！善哉！陀驃！若爾，汝可為僧伽設置牀座、分配請食。」具壽摩羅子陀驃：「唯！唯！」應諾世尊。

（三）

時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘：「諸比丘！若爾，僧伽應選摩羅子陀驃為設置臥坐具人、分配請食人。諸比丘！應如是選：應先請陀驃，請後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，則僧伽應選具壽摩羅子陀驃為設置臥坐具人、分配請食人。是乃表白。

諸大德！請聽我言！僧伽選具壽摩羅子陀驃為設置臥坐具人、分配請食人。選具壽摩羅子陀驃為設置臥坐具人、分配請食人，具壽聽者默然，不聽者請言。

僧伽已選具壽摩羅子陀驃為設置臥坐具人、分配請食人。具壽聽……我如是了知。』」

（四）

受選之具壽摩羅子陀驃，為同分諸比丘設置同一臥坐處；為誦經諸比丘設置同一臥坐處，令彼等互相誦經；為持律諸比丘設置同一臥坐處，令彼等互相抉擇律；為說法諸比丘設置同一臥坐處，令彼等互相對論法；為禪定諸比丘設置同一臥坐處，令不互相妨難；為卑語、身體強壯諸比丘設置同一臥坐處，令此諸具壽適悅住；為

非時而來之諸比丘入火光三昧，依其光明而設置臥坐處。又，有諸比丘蓄意於非時來，心念：「我等想見具壽摩羅子陀驃之神通、神變。」至具壽摩羅子陀驃處，言：「陀驃！為我等設置臥坐處。」具壽摩羅子陀驃告彼等：「諸具壽欲何處耶？我設置於何處？」彼等故意指遠處，言：「陀驃！為我等設置臥坐處於耆闍崛山。」「為我等設置臥坐處於盜賊嶽。」「為我等設置臥坐處於仙人山黑石。」「為我等設置臥坐處於毘婆羅山七葉窟。」「為我等設置臥坐處於尸陀林薩簸恕直迦鉢婆羅。」「為我等設置臥坐處於伍摩達窟。」「為我等設置臥坐處於丁土伽窟。」「為我等設置臥坐處於溫泉窟。」「為我等設置臥坐處於溫泉林。」「為我等設置臥坐處於耆婆菴婆園。」「為我等設置臥坐處於曼直鹿園。」具壽摩羅子陀驃為彼等入火光三昧，以火指〔示〕而行於前，彼等依其光明，行於具壽摩羅子陀驃之後。具壽摩羅子陀驃為彼等如是設置臥坐處而言：「此是牀，此是小牀，此是褥，此是枕，此是大便處，此是小便處，此是飲用水，此是用水，此是杖，此是僧伽規約，應於此時入，應於此時出。」具壽摩羅子陀驃為彼等如此設置臥坐處後，復還竹林園。

（五）

爾時，有慈比丘及地比丘之徒，新參而福德少，彼等由僧伽得粗劣牀座、食物。爾時，王舍城眾人欲施諸長老比丘祈願食，謂：熟酥、油、珍味也。而與慈比丘及地比丘之徒如日常屑米飯添酸粥。彼等食已，由乞食歸，問諸長老比丘，曰：「於食堂汝等得何耶？汝等得何耶？」一類長老曰：「我等得熟酥、油、珍味。」慈比丘及地比丘之徒曰：「我等皆不得，但如日常屑米飯添酸粥而已。」

（六）

時，有善飯居士，為僧伽設常恒食，日日施四比丘。彼於食堂與妻俱侍候供養，或供飯，或供汁，或供油，或供珍味。爾時，善飯居士請食，翌日當給慈比丘及地比丘之徒。時，善飯居士有事而至僧園，詣具壽摩羅子陀驃處，至已，敬禮具壽摩羅子陀驃而坐於一面。於一面坐時，具壽摩羅子陀驃為善飯居士說法、教示……令慶喜。時，善飯居士因具壽摩羅子陀驃之說法、教示……令慶喜之時，言具壽摩羅子陀驃：「明日我家請食，當給何人耶？」「居士！明日汝家之請食當給慈比丘及地比丘之徒。」時，善飯居士不喜，而思惟：「為何諸惡比丘於我家食耶？」歸後，令婢曰：「明日，若受食者來，當設座於門屋，於屑米飯添酸粥而供養。」彼婢應諾善飯居士：「唯！主人！」

（七）

時，慈比丘及地比丘之徒思惟：「昨日善飯居士請食，給我等，明日，善飯居士為我等，當與妻子俱侍侯供養，或供飯，或供汁，或供油，或供珍味。」歡喜故，夜不善安眠。時，慈比丘及地比丘之徒晨著下裳，持衣、鉢，至善飯居士家。彼婢見慈比丘及地比丘之徒由遠方來。見而設座於門屋，言慈比丘及地比丘之徒，曰：「請坐！尊者！」時，慈比丘及地比丘之徒作是念：「令我等坐於門屋者，當必未調食。」時，彼婢奉給屑米飯添酸粥，言：「請食！尊者！」「我等受常恆食者也。」〔彼婢曰〕：「我知！汝等受常恆食者也，然而，昨日居士命我曰：『明日，若受食者來，當設座於門屋，於屑米飯添酸粥而供養。』請食！尊者！」時，慈比丘及地比丘之徒曰：「諸友！昨日，善飯居士往僧園，至摩羅子陀驃處，必是摩羅子陀驃由居士離間我等，憂苦故，不善食。」時，慈比丘及地比丘之徒食已，從施食歸而往僧園，收衣、鉢，於門屋蹲、坐僧伽梨衣上，默然而羞愧，氣餒低頭，沈思而困惑。

（八）

時，慈比丘尼至慈比丘及地比丘之徒處，至已，言慈比丘及地比丘之徒，曰：「我敬禮諸卿。」如是言之，慈比丘及地比丘之徒皆不顧，二次……三次言慈比丘及地比丘之徒：「我敬禮諸卿。」慈比丘及地比丘之徒三次亦不答。〔慈比丘尼曰〕：「我對諸卿有何過犯耶？何故卿等不與我言耶？」「妹！我等如此為摩羅子陀驃所惱，而汝不助我等。」〔慈比丘尼曰〕：「我當何為耶？」「妹！若汝願意，今日請世尊擯滅具壽摩羅子陀驃！」「我當何為耶？我能何為耶？」「妹！汝詣世尊處，詣已，如是白世尊：『世尊！此不如法、不相應，無畏、無害、無惱之處，卻有畏，有害，有惱，無風之處風起，如水熾然，我為摩羅子陀驃所污。』」慈比丘尼：「唯！唯！」應諾慈比丘及地比丘之徒，詣世尊處。詣已，敬禮世尊而於一面立，於一面立已，慈比丘尼白世尊，曰：「此不如法、不相應……所污也。」

（九）

時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問具壽摩羅子陀驃：「陀驃！如此比丘尼所言，汝憶念為之耶？」〔陀驃曰：〕「世尊！如世尊了知我。」世尊二次言具壽摩羅子陀驃：「陀驃！汝憶念耶？」〔陀驃曰〕：「世尊！如世尊了知我。」世尊三次……「如世尊了知我。」〔世尊曰：〕「陀驃！如陀驃者不應如是答，汝若曾為當言『為』，未為當言『未為』。」〔陀驃曰：〕「我生已來，於夢中亦不憶念行淫法，況於覺時耶？」時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，擯滅慈比丘尼，當檢問彼諸比丘。」如是說已，世尊從座起，入精舍。時，彼諸比丘擯滅慈比丘尼。時，慈比丘及地比丘之徒言彼諸比丘：「諸友！勿擯滅慈比丘尼，彼女非有少分之過，我等憤怒不適意而欲擯斥〔陀驃〕而教唆彼女也。」〔彼諸比丘曰〕：「諸友！汝等以無根之壞戒，誹謗具壽摩

羅子陀驃耶？」「實然！諸友！」諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以慈比丘及地比丘之徒以無根之壞戒，誹謗具壽摩羅子陀驃耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！慈比丘及地比丘之徒以無根壞戒，誹謗摩羅子陀驃，是實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：

（一〇）

「諸比丘！若爾，僧伽應與有憶念廣大之摩羅子陀驃憶念毘尼。諸比丘！應如是與：諸比丘！摩羅子陀驃應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，白如是言：

『諸大德！此處，慈比丘及地比丘之徒以無根之壞戒誹謗我，我憶念廣大，於僧伽乞請憶念毘尼。』應二次乞請……三次乞請。

『諸大德！此處，慈比丘及地比丘之徒以無根之壞戒誹謗我，我憶念廣大，於僧伽乞請憶念毘尼。』應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此處，慈比丘及地比丘之徒以無根之壞戒，誹謗具壽摩羅子陀驃。具壽摩羅子陀驃憶念廣大，於僧伽乞請憶念毘尼。若僧伽機熟，則僧伽應與憶念廣大之具壽摩羅子陀驃憶念毘尼。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此處慈比丘及地比丘之徒……請……。僧伽與憶念廣大之摩羅子陀驃憶念毘尼。與憶念廣大之摩羅子陀驃憶念毘尼，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事。諸大德！請聽我言！……不聽者請言。

僧伽已與憶念廣大之摩羅子陀驃憶念毘尼。具壽聽故默然，我如是了知。』」

（一一）

「諸比丘！如法與憶念毘尼有五事。〔謂：〕比丘清淨無罪、受誹謗、乞請、僧伽與彼憶念毘尼、如法和合也。諸比丘！如法與憶念毘尼有如是五事。」

五

（一）

爾時，伽伽比丘發狂、心顛倒。彼發狂、心顛倒，常多行非沙門法，語有散亂。諸比丘！伽伽比丘發狂、心顛倒而常犯罪過，非難言：「具壽！憶念犯如是之罪耶？」彼言：「諸友！我已發狂、心顛倒，我發狂、心顛倒，故常多行非沙門法，語有散亂。我不憶念此，我乃愚癡而行。」彼如是說，彼等非難而言：「具壽！憶念犯如是之罪耶？」諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以諸比丘以伽伽比丘發狂、心顛倒而常犯罪過故，非難言：『具壽！憶念犯……耶？』彼言：『諸友！我……我乃愚癡而行。』彼如是說，彼等非難而言……耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……是實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽應與已不癡之伽伽比丘不癡毘尼。」

（二）

「諸比丘！應如是與：諸比丘！伽伽比丘應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，如是唱言：

『諸大德！我已發狂、心顛倒，我發狂、心顛倒，故常多行非沙門法，語有散亂。諸比丘以發狂、心顛倒而常犯罪故，非難我，言：「具壽！憶念犯如是之罪耶？」我言：「諸友！我已發狂、心顛倒，我發狂、心顛倒，故常多行非沙門法，語有散亂。我不憶念

此，我乃愚癡而行。」我如是說，彼等非難而言：「具壽！憶念犯……耶？」我不癡，於僧伽乞請不癡毘尼。』應二次乞請……三次乞請。

『諸大德！我已發狂……三次於僧伽乞請不癡毘尼。』應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此處，伽伽比丘已發狂、心顛倒。彼發狂、心顛倒，故常多行非沙門法，語有散亂。諸比丘以伽伽比丘發狂、心顛倒，故常犯罪，非難而言：「具壽！憶念犯……耶？」彼言：「諸友！我……我乃愚癡而行。」彼如是說，彼等非難而言：「具壽！憶念犯如是之罪耶？」彼不癡，彼於僧伽乞請不癡毘尼。若僧伽機熟，則僧伽應與不癡之伽伽比丘不癡毘尼。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此處，伽伽比丘……乞請不癡毘尼。僧伽與不癡之伽伽比丘不癡毘尼。與不癡之伽伽比丘不癡毘尼，具壽聽……我三次言此事……僧伽已與不癡之伽伽比丘不癡毘尼。具壽聽故默然，我如是了知。』」

六

（一）

「諸比丘！與不癡毘尼有如此非法三事及如法三事。何等為與不癡毘尼有非法三事耶？諸比丘！此處有比丘，犯罪，若僧伽、眾人、一人，非難彼，言：『具壽！憶念犯如是之罪耶？』彼雖憶念，但言：『諸友！我不憶念犯如是之罪。』若僧伽與彼不癡毘尼者，非法與不癡毘尼。諸比丘！此處有比丘，犯罪……言：『憶念……耶？』彼雖憶念，但言：『諸友！我憶念，但猶如夢中。』若僧伽與不癡毘尼者，非法與不癡毘尼。諸比丘！此處有比丘，犯罪……『憶念……耶？』彼非狂而作狂態，言：『我如此為，汝等

亦如此為，我於此相應，汝等亦於此相應。』若僧伽與不癡毘尼者，非法與不癡毘尼。與不癡毘尼有如此非法三事。」

（二）

「何等為與不癡毘尼有如法三事耶？諸比丘！此處有比丘，發狂，心顛倒，彼發狂、心顛倒，故常多行非沙門法，語有散亂。若僧伽、眾人、一人，非難彼，言：『具壽！憶念犯如是之罪耶？』彼不憶念，言：『諸友！我不憶念犯如是之罪。』若僧伽與彼不癡毘尼者，如法與不癡毘尼。諸比丘！此處有比丘，發狂……言：『憶念……耶？』彼不憶念，言：『諸友！我憶念，但猶如夢中。』若僧伽與彼不癡毘尼者，如法與不癡毘尼。諸比丘！此處有比丘，發狂……言：『憶念……耶？』彼為發狂、狂態，言：『我如此為，汝等亦如此為，我於此相應，汝等亦於此相應。』若僧伽與不癡毘尼者，如法與不癡毘尼。與不癡毘尼有如此如法三事。」

七

（一）

爾時，六群比丘於諸比丘未自言，即行呵責、依止、驅出、下意、舉罪之羯磨。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何六群比丘於諸比丘未自言，即行呵責……舉罪之羯磨耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……是實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！諸比丘尚未自言，不應行呵責……舉罪之羯磨，行者墮惡作。」

八

（一）

「諸比丘！為自言者，如此為非法而如此為如法。諸比丘！如何為非法自言耶？有比丘，犯波羅夷罪，若僧伽、眾人、一人，非難彼，言：『具壽犯波羅夷罪。』彼言：『諸友！我非犯波羅夷罪，乃犯僧殘罪。』若僧伽斷彼犯僧殘罪，則非法自言也。有比丘，犯波羅夷罪……彼言：『諸友！我非犯波羅夷罪，乃犯偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作、惡說。』若僧伽斷彼犯惡說，則非法自言也。有比丘，犯僧殘罪……犯偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作、惡說，若僧伽、眾人、一人，非難彼，言：『具壽犯惡說。』彼言：『諸友！我非犯惡說，乃犯波羅夷罪。』若僧伽斷彼犯波羅夷罪，則非法自言也。有比丘，犯惡說……彼言：『諸友！我非犯惡說，乃犯僧殘……偷蘭遮、波逸提、波羅提提舍尼、惡作。』若僧伽斷彼犯惡作，則非法自言也。諸比丘！如此為非法自言。」

（二）

「諸比丘！如何為如法自言耶？有比丘，犯波羅夷罪，若僧伽、眾人、一人，非難彼，言：『具壽犯波羅夷罪。』彼言：『諸友！然，我犯波羅夷罪。』若僧伽斷彼犯波羅夷罪，則如法自言也。有比丘，犯僧殘罪、偷蘭遮……惡說……彼言：『諸友！然，我犯惡說罪。』若僧伽斷彼犯惡說罪，則如法自言也。諸比丘！如此為如法自言。」

九

（一）

爾時，諸比丘於僧伽中，生起訴訟、鬥諍、諍論，以舌劍〔相〕擊而住，不得滅其諍事。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！如此諍事，許以多覓〔毘尼〕滅之。應選具足五

分之比丘為行籌人。謂：不隨愛、不隨瞋、不隨癡、不隨怖、知行籌及不行籌也。諸比丘！應如是選：應先請比丘，請後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，應選某甲比丘為行籌人。是乃表白。

諸大德！請聽我言！僧伽選某甲比丘為行籌人。選某甲比丘為行籌人，具壽聽者默然，不聽者請言。

僧伽已選某甲比丘為行籌人……了知。』」

一〇

（一）

「諸比丘！行籌，有非法十事及如法十事。何等為行籌之非法十事耶？諍事之小事，不知事之根本，自他俱不憶念，知非法說者多，知欲令非法說者多，知僧伽將受破，知欲破僧伽，非法捉〔籌〕，別眾捉〔籌〕，非如見而捉。如此為行籌之非法十事。」

（二）

「何等為行籌之如法十事耶？非諍事之小事，知事之根本，自他俱憶念，知如法說者多，知欲令如法說者多，知僧伽不受破，知不欲破僧伽，如法而捉〔籌〕，和合而捉，如見而捉。如此為行籌之如法十事。」

一一

（一）

爾時，烏婆瓦羅比丘於僧伽中受檢問罪時，先言不犯而後言犯，先言犯而後言不犯，作異語遁辭，故意妄語。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以烏婆瓦羅比丘於僧伽中受檢問罪時，先言不犯而後言犯，先言犯而後言不犯，作異語遁辭，故意妄語耶？」時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……是實耶？」「實然！世尊！」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽於烏婆瓦羅比丘應行覓罪相羯磨。」

（二）

「諸比丘！應如是行：應先非難烏婆瓦羅比丘，非難後，令憶念，令憶念後，令自白其罪，令自白其罪後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此處，烏婆瓦羅比丘於僧伽中受檢問罪時，先言不犯而後言犯……故意妄語。若僧伽機熟，則僧伽於烏婆瓦羅比丘應行覓罪相羯磨。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此烏婆瓦羅比丘……妄語。僧伽於烏婆瓦羅比丘行覓罪相羯磨。於烏婆瓦羅比丘行覓罪相羯磨，具壽……我三次言此事……。

僧伽於烏婆瓦羅比丘已行覓罪相羯磨。具壽聽……了知。』」

一二

（一）

「諸比丘！如法行覓罪相羯磨有五事，〔謂：〕不淨、無恥、有呵責、僧伽如法行覓罪相羯磨、和合行之也。諸比丘！如法行覓罪相羯磨有如是五事。」

（二）

「諸比丘！具足三分之覓罪相羯磨乃非法羯磨，非律羯磨而羯磨未成就。〔謂：〕不現前而行，不檢問而行，不自言而行……非法而行，別眾而行。諸比丘！具足如此三分之覓罪相羯磨，乃非法羯磨、非律羯磨而羯磨未成就。諸比丘！具足三分之覓罪相羯磨，乃如法羯磨、如律羯磨而羯磨成就。〔謂：〕現前而行，檢問而行，有自言而行……如法而行，和合而行。諸比丘！具足如此三分之覓罪相羯磨，乃如法羯磨、如律羯磨而羯磨成就。」

（三）

「諸比丘！具足三分之比丘，僧伽若欲者，應行覓罪相羯磨。〔謂：〕於僧伽中為訴訟……〔同第一　羯磨犍度四〕諸比丘！具足如此三分之比丘，僧伽若欲者，應行覓罪相羯磨。」

（四）

「受覓罪相羯磨之比丘應正行。此中應正行者，〔謂：〕不可授人具足戒，不可為人依止，不可蓄沙彌，不可受選任教誡比丘尼，選任亦不可教誡比丘尼……不可與諸比丘交往。」

（五）

時，僧伽為烏婆瓦羅比丘行覓罪相羯磨。

一三

（一）

爾時，諸比丘生起訴訟、鬥諍、諍論而住，常多行非沙門法，語有散亂。是時，諸比丘生如是念：「我等生起訴訟……語有散

亂。若我等以此等罪故，而互相斷〔罪〕，此諍事將致粗暴、紛擾、破僧。我等應如何為之耶？」彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處，諸比丘生起訴訟……語有散亂。若諸比丘生如是念：『我等……致……。』諸比丘！如此諍事許以如草覆地法滅之。」

（二）

「諸比丘！應如是滅：眾人當集於一處，集會後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！我等生起訴訟……語有散亂。若我等……致……。若僧伽機熟，僧伽依如草覆地法當滅此諍事，但粗重之過及在家相應之〔罪〕除外。』一方徒眾比丘中，應由一聰明賢能比丘告己徒眾，言：

『諸大德！請聽我言！我等生起訴訟……致……。若諸具壽機熟，我為諸具壽之利益及我之利益，應於僧伽中，以如草覆地法說示諸具壽之罪以及我之罪，但粗重之過及在家相應之〔罪〕除外。』

他方徒眾比丘中，應由一聰明賢能比丘告己徒眾，言：

『諸大德！請聽我言！我等生起訴訟……在家相應之〔罪〕除外。』」

（三）

「一方徒眾比丘中，一聰明賢能比丘應告僧伽言：

『諸大德！請聽我言！我等生起訴訟……致……。若僧伽機熟，我為諸具壽之利益及我之利益，將諸具壽之罪及我罪，應於僧

伽中，依如草覆地法而說示，但粗重之過及在家相應之〔罪〕除外。是乃表白。

諸大德！請聽我言！我等生訴訟……致……。我為諸具壽……依如草覆地法而說示……，但粗重之過及在家相應之〔罪〕除外。於僧伽中，將此等罪依如草覆地法而說示，但粗重之過及在家相應之〔罪〕除外，具壽聽者默然，不聽者請言。於僧伽中，將我等之此罪，依如草覆地法而已說示，但粗重之過及在家相應之〔罪〕除外。具壽聽故默然……了知。』

時，他方徒眾諸比丘中，一聰明賢能比丘應告僧伽言：

『諸大德！請聽我言！我等生訴訟……了知。』」

（四）

「諸比丘！彼諸比丘如此而由彼罪出，但粗重之過與在家相應之〔罪〕除外；顯見、不在其處者除外。」

一四

（一）

爾時，諸比丘與諸比丘尼諍論，諸比丘尼與諸比丘諍論。闡陀比丘與諸比丘尼為伍，與諸比丘諍論，黨於比丘尼。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以闡陀比丘與諸比丘尼為伍，與諸比丘諍論，黨於比丘尼耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……是實耶？」「實然！世尊！」……呵責、說法已，告諸比丘曰：

（二）

「諸比丘！諍事有四，〔謂：〕諍論諍事、教誡諍事、犯罪諍事、事諍事也。此處何為諍論諍事耶？諸比丘！於此，有諸比丘，言：法或非法、律或非律、如來之所言所說、或非如來之所言所說、如來之常法或非如來之常法、如來之所制或非如來之所制、有罪或無罪、輕罪或重罪、有餘罪或無餘罪、粗罪或非粗罪而諍論。此處，此訴訟、鬥諍、諍論、談論、異論、別論、反抗而言說、論議，名為諍論諍事。此處何為教誡諍事耶？諸比丘！此處有諸比丘，以壞戒、壞行、壞見、壞命而教誡比丘。此處，此教誡、非難、詰責、訓責、直言、辯疏、諧謔，名為教誡諍事。此處何為犯罪諍事耶？五種犯罪蘊為犯罪諍事，七種犯罪蘊為犯罪諍事，名此，為犯罪諍事。此處何為事諍事耶？僧伽之所作、所辦、求聽羯磨、單白羯磨、白二羯磨、白四羯磨，名此，為事諍事。」

（三）

「何為諍論諍事之根本耶？六種之諍根為諍論諍事之根本，三種不善根為諍論諍事之根本，三種善根為諍論諍事之根本。」

「何等六種諍根為諍論諍事之根本耶？此處有比丘，有忿，有怨。諸比丘！彼比丘有忿、有怨之時，於師不尊重、不從順而住；於法不尊重、不從順而住；於僧伽不尊重、不從順而住；於戒不圓滿。諸比丘！彼比丘於師不尊重、不從順而住；於法不尊重、不從順而住；於僧伽不尊重、不從順而住；於戒不圓滿時，於僧伽生諍論。諍論致眾人無益、無樂、無利以及人天之無益與苦惱。諸比丘！汝等若如此由內或由外觀察諍根者，諸比丘！汝等當勤斷彼惡諍根。諸比丘！汝等若如此由內或由外觀察諍根者，諸比丘！汝等於此處當勤令未來不生彼惡諍根。如是斷此惡諍根，如是令未來不生此惡諍根。諸比丘！復次，有比丘，有覆，有惱，有嫉，有慳，有誑，有諂，有惡欲，有邪見，妄取現世，起堅固執而難捨棄。諸比丘！彼比丘妄取現世、起堅固執而難捨棄時，於師不尊重、不從

順而住……如是令未來不生此惡諍根。如此六種諍根為諍論諍事之根本。」

（四）

「何等三種不善根為諍論諍事之根本耶？此處有諸比丘，有貪心而諍論，有瞋心而諍論，有癡心而諍論，言：法或非法……或非粗罪。如此三種不善根為諍論諍事之根本。」

「何等三種善根為諍論諍事之根本耶？此處有諸比丘，無貪心而諍論，無瞋心而諍論，無癡心而諍論，言：法或非法……或非粗罪。如此三種善根為諍論諍事之根本。」

（五）

「何為教誡諍事之根本耶？六種教誡根為教誡諍事之根本，三種不善根為教誡諍事之根本，三種善根為教誡諍事之根本，身為教誡諍事之根本，語為教誡諍事之根本。」

「何等六種教誡根為教誡諍事之根本耶？此處有諸比丘，有忿〔同第四　滅諍犍度一四（三）。將『諍論』、『諍根』改為『教誡』、『教誡根』。〕……如此六種教誡根為教誡諍事之根本。」

「何等三種不善根為教誡諍事之根本耶？此處有諸比丘，有貪心而教誡，有瞋心而教誡，有癡心而教誡，對比丘以壞戒、壞行、壞見、壞命而教誡。如此三種不善根為教誡諍事之根本。」

「何等三種善根為教誡諍事之根本耶？此處有諸比丘，無貪心而教誡，無瞋心而教誡，無癡心而教誡，以壞戒……壞命而教誡比丘。如此三種善根為教誡諍事之根本。」

「如何身為教誡諍事之根本耶？此處有一人，惡色、醜惡、矮小、多病、眇目、駝背、半身不遂也，其故，教誡此。如此身為教誡諍事之根本。」

「如何語為教誡諍事之根本耶？此處有一人，為難語、口吃、啞巴者，其故，教誡此。如此語為教誡諍事之根本。」

（六）

「何為犯罪諍事之根本耶？六種犯罪生起為犯罪諍事之根本。有罪生起依身而不依語及心者，有罪生起依語而不依身及心者，有罪生起依身及語而不依心者，有罪生起依身及心而不依語者，有罪生起依語及心而不依身者，有罪生起依身、語、心者。如此六種犯罪生起為犯罪諍事之根本。」

（七）

「何為事諍事之根本耶？事諍事之根本一也，即僧伽也。」

（八）

「諍論諍事者：善、不善、無記。諍論諍事或善、或不善、或無記也。」

「此處何者之諍論諍事為善耶？此處有諸比丘，有善心而諍論，言：法或非法……或非粗罪。此處，此訴訟、鬥諍、諍論、談論、異論、別論、反抗而言說、議論，名為善諍論諍事。」

「此處何者之諍論諍事為不善耶？此處有諸比丘，有不善心而諍論，言：法或……論議，名此，為不善諍論諍事。」

「此處何者之諍論諍事為無記耶？此處有諸比丘，有無記心而諍論，言：法或……論議，名此，為無記諍論諍事。」

（九）

「教誡諍事者：善、不善、無記。教誡諍事或善、或不善、或無記也。」

「此處何者之教誡諍事為善耶？此處有諸比丘，對比丘有善心，教誡時以壞戒、壞行、壞見、壞命。此處，此教誡、非難、詰責、訓責、直言、辯疏、諧謔，名為善教誡諍事。」

「此處何者之教誡諍事為不善耶？此處有諸比丘，對比丘有不善心，教誡時……。」

「此處何者之教誡諍事為無記耶？此處有諸比丘，對比丘有無記心，教誡時……。」

（一〇）

「犯罪諍事者：善、不善、無記。犯罪諍事或善、或不善、或無記也。無有犯罪諍事為善者。」

「此處何者之犯罪諍事為不善耶？知、故意、圖謀、思量而犯，名此，為不善犯罪諍事。」

「此處何者之犯罪諍事為無記耶？不知、非故意、非圖謀、非思量而犯，名此，為無記犯罪諍事。」

（一一）

「事諍事者：善、不善、無記。事諍事或善、或不善、或無記也。」

「此處何者之事諍事為善耶？僧伽有善心而行羯磨，謂：求聽羯磨、單白羯磨、白二羯磨、白四羯磨，名此，為善事諍事。」

「此處何者之事諍事為不善耶？僧伽有不善心而行羯磨……。」

「此處何者之事諍事為無記耶？僧伽有無記心而行羯磨……。」

（一二）

「諍論而為諍論諍事，諍論而非諍事，諍事而非諍論，諍事亦為諍論，或諍論而有諍論諍事，或諍論而有非諍事，或諍事而有非諍論，或諍事亦有諍論。」

「此處何者為諍論而為諍論諍事耶？此處有諸比丘，言：法……非粗罪而諍論。此處，此訴訟……議論，為諍論而諍論諍事也。」

「此處何者為諍論而非諍事耶？母與子諍論，子與母諍論，父與子諍論，子與父諍論，兄弟與兄弟諍論，兄弟與姊妹諍論，姊妹與兄弟諍論，友與友諍論，此，為諍論而非諍事。」

「此處何者為諍事而非諍論耶？教誡諍事、犯罪諍事、事諍事也，此，為諍事而非諍論。」

「此處何者為諍事亦為諍論耶？諍論諍事為諍事亦為諍論。」

（一三）

「教誡而為教誡諍事，教誡而非諍事，諍事而非教誡，諍事亦為教誡。或教誡而有教誡諍事，或教誡而有非諍事，或諍事而有非

教誡，或諍事亦有教誡。」

「此處何者為教誡而為教誡諍事耶？此處有諸比丘，以壞戒……壞命，教誡比丘。此處，此教誡……諧謔，乃教誡而為諍事。」

「此處何者為教誡而非諍事耶？母教誡子……友教誡友，此，為教誡而非諍事。」

「此處何者為諍事而非教誡耶？犯罪諍事、事諍事、諍論諍事也，此，為諍事而非教誡。」

「此處何者為諍事亦為教誡耶？教誡諍事為諍事亦為教誡。」

（一四）

「犯罪而為犯罪諍事，犯罪而非諍事，諍事而非犯罪，諍事亦為犯罪。或犯罪而有犯罪諍事，或犯罪而有非諍事，或諍事而非犯罪，或有諍事亦有犯罪。」

「此處何者為犯罪而為犯罪諍事耶？五種犯罪蘊為犯罪諍事，七種犯罪蘊為犯罪諍事，此，為犯罪而為犯罪諍事。」

「此處何者為犯罪而非諍事耶？預流、等至也，此，為犯罪而非諍事。」

「此處何者為諍事而非犯罪耶？事諍事、諍論諍事、教誡諍事也，此，為諍事而非犯罪。」

「此處何者為諍事亦為犯罪耶？犯罪諍事為諍事亦為犯罪。」

（一五）

「事而為事諍事，事而非諍事，諍事而非事，諍事亦為事。或事而有事諍事，或事而有非諍事，或諍事而有非事，或諍事亦有事。」

「此處何者為事而為事諍事耶？僧伽之所作、所辦、求聽羯磨、單白羯磨、白二羯磨、白四羯磨也，此，乃事而為事諍事。」

「此處何者為事而非諍事耶？對阿闍梨之事、對和尚之事、對同和尚者之事、對同阿闍梨者之事也，此，為事而非諍事。」

「此處何者為諍事而非事耶？諍論諍事、教誡諍事、犯罪諍事也，此，為諍事而非事。」

「此處何者為諍事亦為事耶？事諍事為諍事亦為事。」

（一六）

「諍論諍事以幾種止諍法滅之耶？諍論諍事以兩種止諍法滅之，〔謂：〕現前毘尼及多覓毘尼也。有諍論諍事，不依多覓毘尼之一止諍法，而以現前毘尼之一止諍法可滅耶？當言：『有。』此事如何？此處有諸比丘，言：法……非粗罪而諍論。諸比丘！若彼諸比丘能滅此諍事，諸比丘！名此，為滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼。此現前毘尼有何耶？僧伽現前、法現前、律現前、人現前也。此處何者為僧伽現前耶？羯磨所須之比丘皆已至，應與樂欲者已與樂欲，現前〔比丘〕不呵責。此為此處之僧伽現前。此處何者為法現前、律現前耶？以法，以律，以師教，滅此諍事，此為此處之法現前、律現前。此處何者為人現前耶？諍論者與諍論者自他俱現前，此為此處之人現前。諸比丘！如是滅諍事已，若作者還再發起，再發起者為波逸提；若與樂欲者憤，憤者波逸提。」

（一七）

「諸比丘！若彼諸比丘於其住處不能滅此諍事者，諸比丘！彼諸比丘當往更多比丘住處。諸比丘！若彼諸比丘往他住處，於途中能滅此諍事者，諸比丘！名此，為滅諍事。以何滅之耶？……憤者波逸提。」

（一八）

「諸比丘！若彼諸比丘往他住處，於途中不能滅此諍事者，諸比丘！彼諸比丘當往彼住處，向彼住處諸比丘言：『諸友！此諍事如是生、如是起。諸具壽！願滅此諍事，以法、律、師教而善滅此諍事！』諸比丘！若彼住處諸比丘年長，而客比丘為新參者，諸比丘！彼住處諸比丘對諸客比丘應如是言：『諸具壽！汝等須臾於一面，我等於此時當議論。』諸比丘！若彼住處諸比丘是新參，而諸客比丘為年長者，諸比丘！彼住處諸比丘對客比丘應如是言：『諸具壽！若爾，汝等須臾於此，我等於此時當議論。』諸比丘！若彼住處諸比丘議論時生是念：『我等以法、律、師教而不能滅此諍事。』則不得承當滅此諍事。諸比丘！若彼住處諸比丘議論時生是念：『我等以法、律、師教而能滅此諍事。』諸比丘！彼住處諸比丘應向諸客比丘如是云：『諸具壽！若汝等隨生、隨起，告知我等此諍事，則我等隨以法、律、師教滅此諍事而得滅，我等承當此諍事。諸具壽！若汝等隨生、隨起之諍事不告知我等……不得滅，我等不承當此諍事。』諸比丘！如是善作攝受後，彼住處諸比丘應承當此諍事。諸比丘！彼諸客比丘應向彼住處諸比丘如是言：『我等隨生、隨起，告知諸具壽此諍事。若諸具壽依法、律、師教滅此諍事，得善滅之，我等以此諍事委託諸具壽。若諸具壽……不得善滅此諍事，我等即自主此諍事。』諸比丘！如此善作攝受後，諸客比丘當以此諍事委託彼住處諸比丘。諸比丘！若彼諸比丘能滅此諍事，諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？……憤者波逸提。」

（一九）

「諸比丘！若彼諸比丘決定此諍事，生無邊之言說，難知其所說之義時，諸比丘！許依斷事人，可滅如此諍事。應選具足十分之比丘為斷事人。〔謂：〕戒具足；依波羅木叉之律義，攝身而住；行具足，見微小之罪過而怖畏，執持學處而學；多聞而持所聞，累積所聞；凡初善、中善、後善，義備而文備，讚歎純一圓滿清淨之梵行，如諸法多聞、多持，語熟，意觀，見時善通達；廣解兩部波羅提木叉，於經及相善分別、善通曉、善決定；於律善巧不動；自他兩派堪能令悟、令解、令觀、令見、令靜；善巧於止滅及諍事之生起；知諍事、知諍事之集起、知諍事之滅盡、知順諍事滅盡之道也。諸比丘！許選具足如此十分之比丘為斷事人。」

（二〇）

「諸比丘！當如是選：應先請比丘，請後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！我等決定此諍事，生無邊之言說，難知其所說之義。若僧伽機熟，則僧伽選比丘某甲與某乙，為斷事人，令滅此諍事。是乃表白。

諸大德！請聽我言！我等……難知……。僧伽選某甲比丘與某乙比丘，為斷事人，令滅此諍事。選比丘某甲與某乙為斷事人，令滅此諍事，具壽聽者默然，不聽者請言。

僧伽已選比丘某甲與某乙為斷事人，令滅此諍事。具壽聽故默然，我如是了知。』」

（二一）

「諸比丘！若彼諸比丘能依斷事人而滅此諍事，諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼也。此現前毘尼有何耶？

法現前、律現前、人現前也……諸比丘！如是滅諍事已，若作者還再發起，再發起者波逸提。」

（二二）

「諸比丘！若彼諸比丘決定此諍事時，此處有說法比丘，彼不解經、不解經分別、不辨義、依文句之蔭而擯真義，應由一聰明賢能比丘告彼諸比丘，言：『諸具壽！請聽我言！此處有說法某甲比丘，彼不解經、不解經分別、不辨義、依文句之蔭而擯真義。若諸具壽機熟，則令此某甲比丘起，由餘者滅此諍事。』諸比丘！若諸比丘令彼比丘起後，能滅此諍事，諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼也。此現前毘尼有何耶？法現前、律現前、人現前也……諸比丘！如是滅諍事已，若作者還再發起，再發起者波逸提。」

（二三）

「諸比丘！若彼諸比丘決定此諍事時，此處有說法比丘，彼解經而不解經分別、不辨義、依文句之蔭而擯真義。應由一聰明賢能比丘告彼諸比丘，言：『諸具壽！請聽我言！此處有說法某甲比丘，彼解經而不解經分別、不辨義……發起者波逸提。』」

（二四）

「諸比丘！若彼諸比丘依斷事人，不能滅此諍事，諸比丘！彼諸比丘此諍事當委託僧伽：『諸大德！我等依斷事人，不能滅此諍事，請僧伽滅此諍事！』諸比丘！如此諍事許以多覓〔毘尼〕，可滅之。選具足五分之比丘，為行籌人……『……〔同第四　滅諍犍度九〕……了知。』應由彼行籌比丘行籌，應隨多數如法說比丘之說而滅此諍事。諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼及多覓〔毘尼〕也。此現前毘尼有何耶？僧伽現前、法現前、律

現前、人現前也。此處何者為僧伽現前耶？僧伽所須之……此為此處之人現前。此多覓〔毘尼〕有何耶？行多覓羯磨，乃預備、開始、進行、承認、無呵責也，此為此處之多覓〔毘尼〕。諸比丘！如是滅諍事已，若作者再發起，發起者波逸提；若已與樂欲者憤，憤者波逸提。」

（二五）

爾時，舍衛城之諍事，如是生，如是起。時，彼諸比丘不滿舍衛城僧伽之諍事止滅。彼等聞：「某住處住眾多長老，多聞而通阿含，持法，持律，持摩夷，為賢明、聰明、有慧、有恥、有悔而好學者也。若彼諸長老以法、律、師教而滅此諍事，此諍事如是善滅。」於是，彼諸比丘往彼住處，向諸長老言：「諸大德！此諍事如是生、如是起。願諸長老以法、律、師教滅此諍事，善滅此諍事！」時，彼諸長老如舍衛城之僧伽滅諍事，行善滅，如是滅此諍事。時，彼諸比丘不滿舍衛城僧伽之諍事止滅，不滿眾多長老之諍事止滅。彼等聞：「某住處住三長老……住二長老……住一長老，多聞……而好學者也。若彼長老以法、律、師教而滅此諍事……善滅……」時，彼諸比丘往彼住處，向彼長老言：「大德！此諍事……願長老以法、律、師教而滅此諍事，善滅……！」時，彼長老如舍衛城之僧伽滅諍事、眾多長老滅諍事、三長老滅諍事、二長老滅諍事，行善滅，如是滅此諍事。時，彼諸比丘不滿舍衛城僧伽之諍事止滅，不滿眾多長老之……三長老之……二長老之……一長老之諍事止滅，詣世尊住處。詣已，以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此諍事已決、靜、滅、善滅也。」

（二六）

「諸比丘！為令此等比丘解，許三種行籌，〔謂：〕祕密、竊語、公開也。諸比丘！何者為祕密行籌耶？彼行籌比丘，作有色無

色之籌，至一一比丘處，應言：『此乃如是說者之籌、此乃如是說者之籌也，隨所欲而取之。』若取當言：『勿示任何人！』若知非法說者多，言：『取之不善。』當棄之，若知如法說者多，言：『取之善。』當用之。諸比丘！如此為祕密行籌。諸比丘！何者為竊語行籌耶？彼行籌比丘應向一一比丘耳語，曰：『此乃如是說者之籌、此乃如是說之籌也，隨所欲而取之。』若取當言：『勿告知任何人！』若知非法說者多，言：『取之不善。』當棄之，若知如法說者多，言：『取之善。』當用之。諸比丘！如此為竊語行籌。諸比丘！何者為公開行籌耶？若知如法說者多，應令公開取之。諸比丘！如此為公開行籌。諸比丘！有如是三種行籌。」

（二七）

「教誡諍事以幾種止諍法而滅之耶？教誡諍事以四種止諍法而滅之，〔謂：〕現前毘尼、憶念毘尼、不癡毘尼、覓罪相也。教誡諍事不依不癡毘尼及覓罪相之二止諍法，而以現前毘尼及憶念毘尼之二止諍法而可滅之，有耶？當言：『有。』此事如何？此處有諸比丘，以無根壞戒誹謗比丘。諸比丘！憶念廣大之彼比丘應與憶念毘尼。諸比丘！當如是與：諸比丘！彼比丘應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，如是唱言：

『諸大德！諸比丘以無根壞戒誹謗我。諸大德！我憶念廣大，於僧伽乞請憶念毘尼。』應二次乞請……三次乞請。應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！諸比丘以無根壞戒誹謗某甲比丘。彼憶念廣大，彼於僧伽乞請憶念毘尼……〔同第四　滅諍犍度四（一〇）〕……了知。』」

「諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼及憶念毘尼也。此現前毘尼有何耶？僧伽現前、法現前、律現前、人現前也……此處何者為人現前耶？乃教誡者及被教誡者俱現前。此為此處人現前。此憶念毘尼有何耶？行憶念毘尼羯磨，乃預備、開始、進行、承認、無呵責也，此為此處之憶念毘尼。諸比丘！如此滅諍事已，若作者還再發起，發起者波逸提；若已與樂欲者憤，憤者波逸提。」

（二八）

「教誡諍事不依憶念毘尼及覓罪相之二止諍法，而以現前毘尼及不癡毘尼之二止諍法而可滅之，有耶？當言：『有。』此事如何？此處有比丘，發狂，心顛倒，彼因發狂、心顛倒，故常多行非沙門法，語有散亂。彼比丘因發狂、心顛倒而常犯罪故，諸比丘非難彼，言：『具壽！憶念犯如是之罪耶？』彼言：『諸友！我發狂、心顛倒，我因發狂、心顛倒，故常多行非沙門法，語有散亂。我不憶念此，我乃愚癡而行。』彼如是說，彼等猶非難而言：『具壽！憶念犯如是之罪耶？』諸比丘！於不癡之彼比丘應與不癡毘尼。諸比丘！當如是與：諸比丘！彼比丘應至僧伽處，偏袒右肩……唱言：『我發狂……〔同第四　滅諍犍度五（二）。「伽伽比丘」改為「某甲比丘」〕……了知。』諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼及不癡毘尼也。此現前毘尼有何耶？僧伽現前、法現前、律現前、人現前也……此不癡毘尼有何耶？行不癡毘尼……無呵責，此，此處之不癡毘尼也。諸比丘！如是滅諍事已，若作者還再發起，發起者波逸提；若已與樂欲者憤，憤者波逸提。」

（二九）

「教誡諍事不依憶念毘尼及不癡毘尼之二止諍法，而以現前毘尼及覓罪相之二止諍法而可滅之，有耶？當言：『有。』此事如何？此處有比丘，於僧伽中以重罪非難比丘，言：『具壽！憶念犯如是波羅夷或相似波羅夷之重罪耶？』彼言：『友！我不憶念犯如是波羅夷或相似波羅夷之重罪。』彼如是否認，而更強言：『具壽！願知憶念犯如是波羅夷或相似波羅夷之重罪！』彼言：『友！我不憶念犯如是波羅夷或相似波羅夷之重罪，友！然而，我憶念犯如是之少罪。』彼如是否認，而更強言：『具壽！願知憶念……。』彼言：『友！我犯此少罪，不受問而自言，然而，如何犯如是波羅夷或相似波羅夷之重罪，受問而不自言耶？』彼曰：『友！汝犯此少罪，不受問而不自言，然而，汝犯波羅夷或相似波羅夷之重罪，如何不受問而自言耶？具壽！願知憶念犯如是波羅夷或相似波羅夷之重罪！』彼言：『友！我憶念犯如是波羅夷或相似波羅夷之重罪。我嬉戲、輕率而言：不憶念犯如是波羅夷或相似波羅夷之重罪。』諸比丘！於彼比丘當行覓罪相羯磨。諸比丘！當如是行：應由一聰明賢能比丘……『……〔同第四　滅諍犍度一一（二）。「烏婆瓦羅」改為「某甲」，「罪」改為「重罪」〕……了知。』諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼及覓罪相也。此現前毘尼有何耶？僧伽現前、法現前、律現前、人現前也……此覓罪相有何耶？行覓罪相羯磨，乃預備、開始、進行、承認、無呵責也，此，此處之覓罪相。諸比丘！如此滅諍事已，若作者再發起，發起者波逸提；若已與樂欲者憤，憤者波逸提。」

（三〇）

「犯罪諍事以幾種止諍法而滅之耶？犯罪諍事以三種止諍法而滅之，〔謂：〕現前毘尼、自言治、如草覆地法也。犯罪諍事不依如草覆地法之一止諍法，而以現前毘尼及自言治之二止諍法而可滅之，有耶？當言：『有。』此事如何？此處有比丘，犯輕罪。諸比

丘！彼比丘至一比丘處，偏袒右肩，胡跪，合掌，如是唱言：『友！我犯某罪，為此懺悔。』後，當言：『汝見耶？』『然！我見。』『今後當攝護之！』諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼及自言治也。此現前毘尼有何耶？法現前、律現前、人現前也……此處何者為人現前耶？乃說者及聞者俱現前。此為此處之人現前。此自言治有何耶？行自言治，乃預備、開始、進行、承認、無呵責也。此，此處之自言治。諸比丘！如此滅諍事已，若受者再發起，發起者波逸提。」

（三一）

「若如是而得則善。諸比丘！若不得，則彼比丘應至眾多比丘處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，如是唱言：『我犯某罪，為此懺悔。』應由一聰明賢能比丘告彼諸比丘，言：『諸大德！請聽我言！此處某甲比丘憶念罪，明示，告白而說。若諸具壽機熟，則我將寬恕某甲比丘之罪。』彼應言：『汝見耶？』『然！我見。』『今後當攝護之！』諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼……〔同第四　滅諍犍度一四（三〇）〕……再發起者波逸提。」

（三二）

「若如是而得則善。諸比丘！若不得，則彼比丘應至僧伽處……如是唱言：『諸大德！我犯某罪，為此懺悔。』應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：『諸大德！請聽我言！此處某甲比丘憶念罪，明示，告白而說。若僧伽機熟，我將寬恕某甲比丘之罪。』彼應言：『汝見耶？』『然！我見。』『今後當攝護之！』諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼及自言治也。此現前毘尼有何耶？僧伽現前、法現前、律現前、人現前也……諸比丘！如

是滅諍事已，若受者再發起，發起者波逸提；若已與樂欲者憤，憤者波逸提。」

（三三）

「犯罪諍事不依自言治之一止諍法，而以現前毘尼及如草覆地之二止諍法而可滅之，有耶？當言：『有。』此事如何？此處諸比丘生訴訟……『……〔同第四　滅諍犍度一三（一）～（三）〕……我如是了知。』諸比丘！名此，謂滅諍事。以何滅之耶？以現前毘尼及如草覆地法也。此現前毘尼有何耶？僧伽現前、法現前、律現前、人現前也。此處何者為僧伽現前耶？羯磨所須之比丘悉已到，應與樂欲者已與樂欲，現前〔比丘〕不呵責，此為此處之僧伽現前。此處何者為法現前、律現前耶？以法、律、師教而滅此諍事，此為此處之法現前、律現前。此處何者為人現前耶？乃說者及聞者俱現前，此為此處之人現前。此如草覆地法有何耶？行如草覆地法，乃預備、開始、進行、承認、無呵責也，此，此處之如草覆地法。諸比丘！如是滅諍事已……再發起者為波逸提；若已與樂欲者憤，憤者波逸提。」

（三四）

「事諍事以幾種止諍法而滅之耶？事諍事以一種止諍法而滅之，〔謂：〕現前毘尼也。」

———第四　滅諍犍度終———

第五　小事犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。其時，六群比丘沐浴而以樹木擦身、股、腕、胸、背。眾人忿怒、非難：「何以諸沙門釋子沐浴，以樹木擦身……背，猶如力士彩身者耶？」諸比丘聞彼諸人之忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問諸比丘，曰：「諸比丘！六群比丘……擦背，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！此等愚人之所為非……非所當為。諸比丘！為何諸愚人沐浴，以樹木擦身……背耶？諸比丘！此令未信者……」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！比丘沐浴，不得以樹木擦身，擦者墮惡作。」

（二）

爾時，六群比丘沐浴而於柱擦身……「……〔同第五　小事犍度一（一）。『樹木』改為『柱』。〕……墮惡作。」爾時，六群比丘沐浴而於壁擦身……「……墮惡作。」

（三）

爾時，六群比丘於摩浴處沐浴。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂之諸在家人。」諸比丘聞彼諸人之忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘……是實耶？」「實然！世尊！」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得於摩浴處沐浴，沐浴者墮惡作。」

爾時，六群比丘用乾闥婆掌沐浴……「諸比丘！不得用乾闥婆掌沐浴，沐浴者墮惡作。」

爾時，六群比丘用朱砂紐沐浴……「諸比丘！不得用朱砂紐沐浴，沐浴者墮惡作。」

（四）

爾時，六群比丘入〔水〕後，互相以身擦身……「諸比丘！不得互相以身擦身，擦者墮惡作。」

爾時，六群比丘用搔背具沐浴……「諸比丘！不得用搔背具沐浴，沐浴者墮惡作。」

爾時，有一比丘患疥癬，彼不用搔背具不得安穩。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病者許用未成之搔背具。」

（五）

爾時，有一比丘老弱，於沐浴時，己不能擦身。彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許拭布。」

爾時，諸比丘疑懼而不敢擦背。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許以手擦之。」

二

（一）

爾時，六群比丘持耳環、耳璫、首飾、腰飾、手環、腕飾、手飾、指環。眾人忿怒……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得掛耳環、耳璫、首飾、腰飾、手環、腕飾、手飾、指環，掛者墮惡作。」

（二）

爾時，六群比丘蓄長髮。眾人忿怒、……「諸比丘！不得蓄長髮，蓄者墮惡作。諸比丘！許〔蓄〕二月或二指〔長〕。」

（三）

爾時，六群比丘以櫛梳髮、以蜷局櫛梳髮、以手櫛梳髮、以蠟油梳髮、以水油梳髮。眾人忿怒、非難：「猶如享諸樂欲之諸在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得以櫛梳髮……不得以蠟油梳髮、不得以水油梳髮，梳者墮惡作。」

（四）

爾時，六群比丘以鏡或以水鉢觀臉。眾人忿怒、……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得以鏡或水鉢觀臉，觀者墮惡作。」

爾時，有一比丘，臉上生瘡，彼問諸比丘：「諸友！我瘡如何耶？」諸比丘作如是言：「友！汝之瘡如此。」彼不信。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若病故，許以鏡或水鉢觀臉。」

（五）

爾時，六群比丘塗臉、摩擦臉、粉飾臉，以雄黃彩面、染四肢、染臉、染臉及四肢。眾人……非難……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得塗臉，不得摩擦臉，不得粉飾臉。不得以雄黃彩臉，不得染四肢，不得染臉，不得染臉及四肢，染者墮惡作。」

爾時，有一比丘患眼疾。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病者可以塗臉。」

（六）

爾時，王舍城山頂有祭典，六群比丘為觀祭典而往山頂。眾人忿怒、非難：「為何諸沙門釋子為觀〔聽〕舞蹈、歌曲、音樂而來耶？猶如享諸欲樂之諸在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得往觀〔聽〕舞蹈、歌曲、音樂，往者墮惡作。」

三

（一）

爾時，六群比丘以長調歌音誦法。眾人忿怒、非難：「彼諸沙門釋子以長調歌音誦法，猶如我等之誦也。」諸比丘聞彼諸人之忿怒、非難。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何六群比丘以長調歌音誦法耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘……是實耶？」「實然！世尊！」……說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！以長調歌音誦法者，有五過患：自貪著其音聲，他人亦貪著其音聲，諸居士非難，欣求音調將破壞三昧，使後人墮成見。諸比丘！以長調歌音誦法者，有如是五過患。諸比丘！不應以長調歌音誦法，誦者墮惡作。」

（二）

爾時，諸比丘疑懼不敢讀誦。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許讀誦。」

四

（一）

爾時，六群比丘著外表有毛之衣。眾人……非難……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著外表有毛之衣，著者墮惡作。」

五

（一）

爾時，摩竭國洗尼瓶沙王之園中，菴婆果熟。摩竭國洗尼瓶沙王至此曰：「諸尊者！隨所好食菴婆果！」六群比丘打落未熟之菴婆果而食。摩竭國洗尼瓶沙王欲菴婆果。時，摩竭國洗尼瓶沙王令諸人曰：「往園持菴婆果來！」「唯！大王！」彼諸人應諾摩竭國王洗尼瓶沙王，往園言諸守園人：「大王欲菴婆果，請奉菴婆果。」「無菴婆果，諸比丘打落未熟菴婆果而食也。」時，彼諸人以此事告摩竭國洗尼瓶沙王。「諸尊者食菴婆果固可，然而，世尊讚歎適量。」眾人忿怒、非難：「為何諸沙門釋子不知量而食王之菴婆果耶？」諸比丘聞彼諸人之忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得食菴婆果，食者墮惡作。」

（二）

爾時，有一群人行僧次食，汁混菴婆果皮。諸比丘疑懼而不受。「諸比丘！受而食之！諸比丘！許受菴婆果皮。」

爾時，有一群人行僧次食。彼等不知而不削果皮，〔持〕全菴婆果往食堂來，諸比丘疑懼而不受。「諸比丘！受而食之！許依沙門相應之五事食果實，〔謂：〕火所損、刀所損、爪所損、尚無種子、種子已失等五事。諸比丘！許依沙門相應之五事食果實。」

六

（一）

爾時，有比丘被蛇咬死。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！彼比丘未以慈心遍滿四類蛇王族。諸比丘！若彼比丘以慈心遍滿四類蛇王族者，諸比丘！彼比丘不致被蛇咬死。何等是四類蛇王族耶？毘樓羅阿叉蛇王族、伊羅漫蛇王族、舍婆子蛇王族、瞿曇冥蛇王族也。諸比丘！彼比丘必未以慈心遍滿此四類蛇王族也。諸比丘！彼比丘若以慈心遍滿此四類蛇王族者，彼比丘不致被蛇咬死也。諸比丘！以慈心遍滿四類蛇王族者，為自守、自護而許誦自護咒。諸比丘！行此者，應如是為：

慈愛毘樓羅
慈愛伊羅漫
慈愛舍婆子
慈愛瞿曇冥
慈愛無足者
慈愛二足者
慈愛四足者
慈愛多足者
無足者勿害我
二足者勿害我
四足者勿害我
多足者勿害我
一切有情・生類
一切之生類者
一切皆遇善美
少分惡勿前來

佛無量，法無量，僧無量，匍行者（爬蟲類）：蛇、蠍、百足、蜘蛛、蜥蜴、鼠有量也。我自護，我誦護咒，生者還去！我歸命世尊，歸命七等正覺者。諸比丘！許將血取出。」

七

（一）

爾時，有一比丘，不欣喜所惱而自斷男根。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！彼愚人有應斷者〔不斷〕而斷此。諸比丘！不得自斷男根，斷者墮偷蘭遮。」

八

（一）

爾時，有王舍城長者，得高價栴檀髓之栴檀木。時，王舍城長者心生思念：「我宜以此栴檀木作鉢，我受用碎片，以鉢為布施物而布施。」時，王舍城長者以其栴檀木令作鉢，置於網袋，竹竿連接竹竿，〔網袋〕掛於竹竿之頂上，如是言：「若沙門、婆羅門有具足神通之阿羅漢者，請取此布施之鉢。」時，富樓那迦葉至王舍城長者處，言王舍城長者，曰：「居士！我是阿羅漢神通具足者，鉢與我！」「若具壽具足神通阿羅漢者，請取此布施鉢！」時，摩伽梨俱賒子、阿耆陀翅舍欽婆羅、迦求陀栴延、珊闍耶毘羅荼子、尼犍陀若提子至王舍城長者處……「……請取……。」

爾時，具壽摩訶目犍連及具壽賓頭盧頗羅墮晨著下裳，持衣、鉢，入王舍城乞食。時，具壽賓頭盧頗羅墮言具壽摩訶目犍連，曰：「具壽目犍連是具足神通阿羅漢者，友！目犍連！請往取此鉢！此鉢屬於汝。」「具壽賓頭盧頗羅墮是具足神通阿羅漢者，友！頗羅墮！請往取此鉢！此鉢屬於汝。」時，具壽賓頭盧頗羅墮騰於虛空而取其鉢，繞王舍城三次。爾時，王舍城長者與其妻，立於家，合掌禮拜，曰：「尊者頗羅墮！請降臨我家住處。」時，具壽賓頭盧頗羅墮立於王舍城長者住處。時，王舍城長者由具壽賓頭盧頗羅墮之手取鉢，備滿珍貴噉食，施具壽賓頭盧頗羅墮。時，具壽賓頭盧頗羅墮受彼鉢而往僧園。

（二）

諸人聞：「尊者賓頭盧頗羅墮取王舍城長者之鉢。」彼諸人高聲諠譁而隨於具壽賓頭盧頗羅墮之後。世尊聞高聲諠譁。聞而言具壽阿難：「阿難！彼高聲諠譁為何？」「具壽賓頭盧頗羅墮取王舍城長者之鉢。諸人聞：『尊者……』彼諸人……隨……。世尊！此乃其高聲諠譁也。」時，世尊以是因緣，於此時機，集會諸比丘，問具壽賓頭盧頗羅墮，曰：「頗羅墮！汝取王舍城長者鉢，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「頗羅墮！非也，非隨順行……非所當為。頗羅墮！汝何故為卑微之木鉢，向在家人示現上人法之神通神變耶？頗羅墮！猶如婦女，為卑微之摩沙迦錢，示現圍腰子。頗羅墮！如此汝為卑微之木鉢，向在家人示現上人法之神通神變。頗羅墮！此非令未信者……」佛世尊呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得向在家人示現上人法之神通神變，示現者墮惡作。諸比丘！壞此木鉢為粉末，與諸比丘為眼藥。諸比丘！不得持木鉢，持者墮惡作。」

九

（一）

爾時，六群比丘持種種金製、銀製之鉢。眾人……非難……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持金製、銀製、摩尼製、琉璃製、水晶製、銅製、銅石製、錫製、鉛製、銅鐵製，持者墮惡作。諸比丘！許持兩種鉢：銑鉢及瓦鉢。」

（二）

爾時，磨鉢底。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作鉢臺。」爾時，六群比丘持種種金製、銀製之鉢臺。眾人忿怒、非難……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不

得持種種鉢臺，持者墮惡作。諸比丘！許持兩種鉢臺：錫製、鉛製。」鉢臺厚而不合。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許刻。」有褶。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許刻摩竭魚牙。」爾時，六群比丘持有畫形、有象嵌彩色之鉢臺，示此而徘徊於街道。眾人忿怒、非難……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持有畫形、有象嵌彩色之鉢臺，持者墮惡作。諸比丘！許自然之鉢臺。」

（三）

爾時，諸比丘收藏附有水之鉢，鉢損壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得收藏附有水之鉢，藏者墮惡作。諸比丘！鉢曬乾後，許收藏之。」

爾時，諸比丘將附水鉢曬乾後，鉢生惡臭。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得將附水鉢曬乾，曬乾者墮惡作。諸比丘！鉢水拭乾後，許收藏之。」

爾時，諸比丘將鉢置於熱處，損鉢色。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得將鉢置於熱處，置者墮惡作。諸比丘！許於熱處須臾乾後，許收藏之。」

（四）

爾時，眾多之鉢無依處而置於露地，為旋風所吹，轉而壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許鉢之依處。」

爾時，諸比丘將鉢置於板榻之端，鉢掉落而壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得置鉢於板榻之端，置者墮惡作。」

爾時，諸比丘置鉢於地牀之端，鉢滾落而壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得置鉢於地牀之端，置者墮惡作。」

爾時，諸比丘將鉢伏置於地上，鉢緣磨損。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用草敷具。」

草敷具被蟻所嚙。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用小布。」

小布被蟻所嚙。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用鉢屏。」

鉢屏掉落，鉢壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用鉢籠。」

鉢籠磨損鉢。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用鉢袋。」

無肩紐。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用肩紐、繫線。」

（五）

爾時，諸比丘於壁樁、壁鉤懸鉢，鉢掉落而壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得懸鉢，懸者墮惡作。」

爾時，諸比丘置鉢於牀，坐時失念而鉢壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得置鉢於牀，置者墮惡作。」

爾時，諸比丘將鉢置於座牀，坐時失念而鉢壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得將鉢置於坐牀，置者墮惡

作。」

爾時，諸比丘將鉢置於膝上，失念掉落而鉢壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得將鉢置於膝上，置者墮惡作。」

爾時，諸比丘將鉢置於傘中，傘被旋風吹揚，掉落而鉢壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得將鉢置於傘中，置者墮惡作。」

爾時，諸比丘以持鉢之手開門，門轉而鉢壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得以持鉢之手開門，開者墮惡作。」

一〇

（一）

爾時，諸比丘持瓠壺行乞食。眾人忿怒、非難：「猶如外道。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持瓠壺行乞食，行者墮惡作。」

爾時，諸比丘持瓶壺行乞食。眾人忿怒、非難……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持瓶壺行乞食，行者墮惡作。」

（二）

爾時，有一比丘，為常著糞掃衣者，持髑髏之鉢，有婦女見之，恐怖而叫曰：「恐怖哉！此必是畢舍遮。」眾人忿怒、非難：「如何諸沙門釋子持髑髏之鉢，猶如畢舍遮信徒耶？」諸比丘以此

事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持髑髏之鉢，持者墮惡作。諸比丘！亦不得常著糞掃衣，著者墮惡作。」

（三）

爾時，諸比丘以鉢裝屑片、骨片、污水。眾人忿怒、非難：「此諸沙門釋子，以此食亦以此容如此等物。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得以鉢裝屑片、骨片、污水，裝者墮惡作。諸比丘！許用容器。」

一一

（一）

爾時，諸比丘以手縫破衣，衣不直。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許剪刀及布片。」

爾時，僧伽得有柄之刀。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許有柄之刀。」

爾時，六群比丘持種種金製、銀製刀柄。眾人忿怒、非難……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持種種刀柄，持者墮惡作。諸比丘！許持骨製、牙製、角製、葦製、竹製、木製、樹脂製、果製、銅製、螺貝製。」

（二）

爾時，諸比丘用雞毛、竹皮縫衣，衣不易縫。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用針。」針生銹。「諸比丘！許作針竹筒。」竹筒中亦生銹。「諸比丘！許裝入粉。」粉中亦生銹。「諸比丘！許裝入麥粉。」麥粉中亦生銹。「諸比丘！許裝入

石粉。」石粉中亦生銹。「諸比丘！許加蜜臘。」石粉散亂。「諸比丘！許用粉袋。」

（三）

爾時，諸比丘處處繫椿而縫衣，衣不正。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用迦絺那及迦絺那繩處處結而縫衣。」於不平處展張迦絺那，而迦絺那壞。「諸比丘！不得於不平處展張迦絺那，展張者墮惡作。」於地上展張迦絺那，灰塵污迦絺那。「諸比丘！許用草敷具。」迦絺那之緣損壞。「諸比丘！許編緣。」不適迦絺那。「諸比丘！許有橫木之迦絺那，結串、籌、結繩、結線而縫衣。」線間不平。「諸比丘！許標記。」線歪。「諸比丘！許繃線。」

（四）

爾時，諸比丘未洗足而踏迦絺那，迦絺那污穢。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！未洗足者不得踏迦絺那，踏者墮惡作。」爾時，諸比丘以濕足踏迦絺那，污染迦絺那。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得以濕足踏迦絺那，踏者墮惡作。」爾時，諸比丘穿履踏迦絺那，污染迦絺那。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得穿履踏迦絺那，踏者墮惡作。」

（五）

爾時，諸比丘以指攫力縫衣而指病。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用指韜。」

爾時，六群比丘持種種金製、銀製之指韜。眾人忿怒、非難……諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持種種

之指韜，持者墮惡作。諸比丘！許用骨製……螺貝製。」

爾時，遺失針、刀、指韜。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用針筒。」針筒亂雜。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用指韜袋。」無肩紐。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用肩紐、繫線。」

（六）

爾時，諸比丘於露地縫衣，因寒、熱而極疲。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用迦絺那堂、迦絺那廊。」迦絺那堂地低而積水。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許填高地基。」積土崩。「諸比丘！許用三種積土：瓦積、石積、木積也。」登上時困難。「諸比丘！許用三種階：瓦階、石階、木階也。」登上時跌倒。「諸比丘！許作欄干。」迦絺那堂之草、粉皆散亂。「諸比丘！許於鋪後，內外塗之；許塗白色、黑色、紅土子；許設華鬘、蔓、摩竭魚牙、棚、衣架、衣繩。」

（七）

爾時，諸比丘縫衣後，將迦絺那放置其處而去，被鼠、蟻所嚙。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許將迦絺那疊起。」迦絺那壞。「諸比丘！許用牛皮將迦絺那疊起。」迦絺那解。「諸比丘！許結繩。」

爾時，諸比丘〔搬〕迦絺那，令靠於壁、柱而去，迦絺那倒而壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可懸掛於壁椿、壁鉤。」

一二

（一）

爾時，世尊隨意間住王舍城後，向毘舍離城遊行。其時，諸比丘將針、刀、藥置於鉢內而往。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用藥袋。」無肩紐。「諸比丘！許用肩紐、繫線。」

爾時，有一比丘，結履於腰帶而入村乞食。有一優婆塞，頂禮彼比丘而履打到頭，彼比丘羞愧。時，彼比丘往僧園，彼以此事告諸比丘，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用履袋。」無肩紐。「諸比丘！許用肩紐、繫線。」

一三

（一）

爾時，〔諸比丘〕於途中，水不淨而無濾水囊。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「許用濾水囊。」布不足。「諸比丘！許用三角濾水囊。」布不足。「諸比丘！許用水瓶濾水囊。」

（二）

爾時，有二比丘，於拘薩羅國旅途中，一比丘行非行，另一比丘言彼比丘，曰：「友！勿行此事，此不宜。」彼懷恨此人。時，此比丘為渴所苦，語懷恨彼之比丘曰：「友！與我濾水袋，我欲飲水。」懷恨之比丘不與。此比丘為渴所苦而死。時，彼比丘往僧園，彼以此事告諸比丘。「友！可有向汝求濾水囊而不與耶？」「諸友！然！」諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以比丘求濾水囊而不與耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問彼比丘，曰：「聞有比丘向汝求濾水囊而不與，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「愚人！此非隨順行……非所當為。何以向汝求濾水囊而不與耶？愚人！此非令未信者不生信…」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！旅途

中，有比丘求濾水囊者，不可不與，不與者墮惡作。諸比丘！不持濾水囊者，不得外出旅遊，出者墮惡作。若無濾水囊、水瓶濾水囊，執僧伽梨衣角，心作是念：我以此濾水而飲。」

（三）

時，世尊次第遊行至毘舍離城。於此，世尊住毘舍離城大林重閣講堂。爾時，諸比丘建造，濾水囊不足。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用有框濾水囊。」有框濾水囊不足。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用濾水布。」

爾時，諸比丘為蚊所惱。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用蚊帳。」

一四

（一）

爾時，毘舍離城相續舉行供養殊妙之飲食。諸比丘食殊妙之噉食，身充滿體液而多病。時，耆婆童子因事而往毘舍離。耆婆童子見諸比丘之身充滿體液而多病，見而詣世尊之住處。詣已，敬禮世尊而一面坐，於一面坐之耆婆童子白世尊：「世尊！今諸比丘之身充滿體液而多病，願世尊許諸比丘經行及溫浴。如是，諸比丘將少病。」時，世尊為耆婆童子說法、教示……而令歡喜。時，世尊……說法教示……令歡喜已，耆婆童子從座而起，敬禮世尊，右繞而去。時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許經行及溫浴。」

（二）

爾時，諸比丘於不平處經行而足痛。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許修平。」經行處地低而浸水。「諸比

丘！許填高地基。……〔同第五　小事犍度一一（六）〕……」……「諸比丘！許作欄干。」爾時，諸比丘於經行處經行而跌倒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許〔作〕經行處之欄楯。」

爾時，諸比丘於露地經行，因寒、熱而極疲。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許經行堂。」經行堂草、粉散亂。「諸比丘！許鋪後……〔同第五　小事犍度一一（六）〕……衣繩。」

（三）

〔浴用〕暖房地低而積水。「諸比丘！許填高地基。」……〔同第五　小事犍度一一（六）〕……「諸比丘！許作欄干。」暖房無門。「諸比丘！許作門、楣、門柱、閫、枘、閂、木栓、針、楔、鍵孔、紐孔、紐。」

〔浴用〕暖房之壁腳毀壞。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許重疊壁之基底。」

〔浴用〕暖房無烟管。「諸比丘！許作烟管。」

爾時，諸比丘於小暖房中間作灶而無通路。「諸比丘！許於小〔浴用〕暖房之一邊、大〔浴用暖房〕中間設灶。」

於〔浴用〕暖房臉被火燒。「諸比丘！許臉塗粘土。」

以手弄濕粘土。「諸比丘！許用泥土桶。」

粘土惡臭。「諸比丘！許薰之。」

於〔浴用〕暖房身被火燒。「諸比丘！許持水來。」

以盆、鉢持水。「諸比丘！許給水處及水盆。」

草覆之〔浴用〕暖房不令發汗。「諸比丘！許整頓後，塗內外。」

〔浴用〕暖房多濕。「諸比丘！許用三種鋪具：瓦鋪具、石鋪具、木鋪具也。」

尚多濕。「諸比丘！許擦洗。」

積水不通。「諸比丘！許作排水溝。」

爾時，諸比丘坐於〔浴用〕暖房之地上，四肢發癢。「諸比丘！許作〔浴用〕暖房之用椅。」

爾時，〔浴用〕暖房無圍牆。「諸比丘！許作三種牆圍：瓦牆、石牆、木牆也。」

（四）

無門樓。「諸比丘！許造門樓。」門樓地低而積水。「諸比丘！許填高地基。」……〔同第五　小事犍度一一（六）〕……「諸比丘！許作欄干。」門樓無門。「諸比丘！許作門、楣、門柱、閫、枘、閂、木栓、針、楔、鍵孔、紐孔、紐。」門樓之草、粉散亂。「諸比丘！許整頓後，內外塗之。塗白色、黑色、紅土子，設華鬘、蔓、摩竭魚牙、棚。」

（五）

房多濕泥。「諸比丘！許撒砂礫。」不滿足。「諸比丘！許鋪踏石。」積水不通。「諸比丘！許作排水溝。」

一五

（一）

爾時，諸比丘裸形而敬禮裸形人，裸形而受裸形人之敬禮，裸形而侍候裸形人，裸形而受裸形人之侍候，裸形而施與裸形人，裸形而受，裸形而噉，裸形而嚼，裸形而味，裸形而飲。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！裸形不得敬禮，裸形不得受敬禮，裸形不得侍候，裸形不得受侍候，裸形不得施與，裸形不得受，裸形不得噉，裸形不得嚼，裸形不得味，裸形不得飲，飲者墮惡作。」

一六

（一）

爾時，諸比丘於〔浴用〕暖房之地下置衣，衣染灰塵。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許設衣架與衣繩。」雨下而衣濕。「諸比丘！許設〔浴用〕暖房堂。」地低……「諸比丘！許設欄干。」〔浴用〕暖房堂之草、粉散亂。……「許……衣繩。」

（二）

爾時，諸比丘於〔浴用〕暖房及水中疑懼而〔不敢以他物〕為佐助。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許三種披覆物：〔浴用〕暖房披覆物、水中披覆物、衣披覆物也。」

爾時，〔浴用〕暖房無水。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許設井。」井緣壞。「諸比丘！許作三種堆積：瓦積、石積、木積也。」井地低……「諸比丘！許……設欄干。」

爾時，諸比丘以繩或腰帶汲水。「諸比丘！許用汲水繩。」手痛。「諸比丘！許用橫桿、滑輪和汲水輪。」容器多壞。「諸比丘！許用三種瓶：銅瓶、木瓶、革瓶也。」

爾時，諸比丘於露地汲水，因寒、熱而疲憊。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許井堂。」井堂中草、粉散亂……「許……衣繩。」井無蓋，為草、粉、塵所污。「諸比丘！許用蓋。」缺少水器。「諸比丘！許用水槽、水盆。」

一七

（一）

爾時，諸比丘於僧園處處沐浴，於是僧園〔處處〕泥水。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作水池。」

水池無圍牆，諸比丘慚恥不沐浴。「諸比丘！許作三種牆圍：瓦牆、石牆、木牆也。」

積水不通。「諸比丘！許作排水溝。」

爾時，諸比丘之四肢冷。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用拭布，許用小拭布。」

（二）

爾時，有一優婆塞，為僧伽之利益，欲作蓮池。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作蓮池。」

蓮池之堤破壞。「諸比丘！許作三種堆積：瓦積、石積、木積也。」登上時困難。「諸比丘！許作三種階：瓦階、石階、木階也。」登上時跌倒。「諸比丘！許作欄干。」蓮池水滿。「諸比丘！許作引水管與排水溝。」

爾時，有一比丘，為僧伽之利益，欲作半覆之浴室。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作半覆之浴室。」

一八

（一）

爾時，六群比丘遠離敷具四月。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得遠離敷具四月，遠離者墮惡作。」

爾時，六群比丘撒華於臥牀而臥。諸人巡迴精舍，見而……非難：「……猶如享諸欲樂之諸在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得撒華於臥牀而臥，臥者墮惡作。」

爾時，諸人持香、華鬘而來〔僧〕園，諸比丘疑懼而不受。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許受香，於門五指間塗，許受華鬘置於精舍之一邊。」

一九

（一）

爾時，僧伽得氈布。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許氈布。」時，諸比丘生是念：「應決定氈布〔為己所有〕耶？或該讓與耶？」「諸比丘！氈布非應決定〔為己所有〕，非應讓與。」

爾時，六群比丘於粉飾之枕上而食。眾人忿怒、非難：「……猶如享諸欲樂之諸在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得於粉飾之枕上而食，食者墮惡作。」

爾時，有一比丘病，彼食時手不能持鉢。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用支杖。」

（二）

爾時，六群比丘同一器而食，同一器而飲，同一牀而臥，同一敷具而臥，同一覆具而臥，同一敷具、覆具而臥。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲樂之諸在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得同一器而食，不得同一器而飲，不得同一牀而臥，不得同一敷具而臥，不得同一覆具而臥，臥者墮惡作。」

二〇

（一）

爾時，離車子瓦達〔居士〕與慈比丘、地比丘之徒為友。時，離車子瓦達至慈比丘、地比丘之徒處，言慈比丘、地比丘：「我敬禮卿等。」如是言之，慈比丘、地比丘之徒不語，二次……離車子瓦達三次言慈比丘、地比丘之徒：「我敬禮卿等。」慈比丘、地比丘之徒三不語。「我對卿等有何犯耶？何故卿等不與我語耶？」「友！瓦達！我等如此為摩羅子陀驃所惱，汝不助我等。」「我當何為耶？」「友！瓦達！若汝願意者，即請世尊擯滅具壽摩羅子陀驃！」「我當何為耶？我能何為耶？」「友！瓦達！汝詣世尊住處，詣而如是白世尊：『此不如法、不相應；此無畏、無害、無惱之處，卻有畏、有害、有惱也；無風之處風起，如水熾然，尊者摩羅子陀驃污染我婦。』」

（二）

「諸尊者！唯！唯！」離車子瓦達應諾慈比丘、地比丘之徒，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，於一面坐，於一面坐之離車子瓦達，白世尊：「此不如法……污……」時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問具壽摩羅子陀驃：「陀驃！汝憶念所作，如瓦達之所言耶？」「世尊！如世尊了知我。」世尊二次……世尊三次言具壽摩羅子陀驃，曰：「陀驃！汝憶念……所言耶？」「世尊！

如世尊了知我。」「陀驃！如陀驃者不得如是答。汝若為者當言為，若不為者當言不為。」「我由出生以來，夢中亦不憶念行淫法，何況於覺時耶？」

（三）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽與離車子瓦達行覆鉢，令彼與僧伽不相往來。諸比丘！具足八分之優婆塞，當行覆鉢，〔謂：〕圖使諸比丘無所得，圖使諸比丘不利，圖使諸比丘無住處，誹謗諸比丘，離間比丘與比丘，誹謗佛，誹謗法，誹謗僧。諸比丘！具足如此八分之優婆塞許行覆鉢。」

（四）

「諸比丘！應如是行：應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！離車子瓦達以無根之壞戒，誹謗摩羅子陀驃。若僧伽機熟，則僧伽與離車子瓦達行覆鉢，令彼與僧伽不相往來。是乃表白。

諸大德！請聽我言！離車子……誹謗……僧伽與離車子瓦達行覆鉢，令彼與僧伽不相往來。與離車子瓦達行覆鉢，令彼與僧伽不相往來，具壽聽者默然，不聽者請言。

僧伽與離車子瓦達行覆鉢，已令彼與僧伽不相往來。具壽聽故默然，我如是了知。』」

（五）

時，具壽阿難晨著下裳，持衣、鉢，至離車子瓦達家。至已，語離車子瓦達，曰：「友！瓦達！僧伽為汝行覆鉢，令汝與僧伽不相往來。」時，離車子瓦達言：「僧伽為我行覆鉢，令我與僧伽不

相往來。」即於其處，悶絕倒地。時，離車子瓦達之友、親族言離車子瓦達：「友！瓦達！止！勿憂！勿愁！我等請世尊及比丘眾寬恕。」時，離車子瓦達與妻、友、親族俱，著濕衣，並濕髮，詣世尊處。詣已，以頭面禮世尊足，白世尊：「世尊！我有過，猶如愚者，猶如癡者，猶如不善者，以無根之壞戒，誹謗尊者摩羅子陀驃。世尊！我以過失為過失而請受之，以攝護未來。」「友！瓦達！汝實有過，猶如愚者，猶如癡者，猶如不善者，汝為何以無根之壞戒誹謗摩羅子陀驃耶？友！瓦達！汝見過失為過失，而如法懺悔故，我受此。友！瓦達！於尊者之律有增長，因見過失為過失，而如法懺悔，資於攝護未來。」

（六）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽與離車子瓦達解覆鉢，可令與僧伽相往來。諸比丘！具足八分之優婆塞，當解覆鉢，〔謂：〕不圖使諸比丘無所得，不圖使諸比丘不利，不圖使諸比丘無住處，不誹謗諸比丘，不離間比丘與比丘，不誹謗佛，不誹謗法，不誹謗僧。諸比丘！具足如此八分之優婆塞許解覆鉢。」

（七）

「諸比丘！當如是解：諸比丘！彼離車子瓦達應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，白如是言：

『諸大德！僧伽與我行覆鉢，令我與僧伽不相往來。我正行、隨順、願滅罪，請僧伽解覆鉢。』應二次乞請，三次乞請。應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！僧伽與離車子瓦達行覆鉢，令與僧伽不相往來。彼正行……請……。若僧伽機熟，則僧伽與離車子瓦達解覆鉢，可令與僧伽相往來。是乃表白。

諸大德！請聽我言！僧伽與離車子……請……。僧伽與離車子瓦達解覆鉢，令與僧伽相往來。與離車子解覆鉢，令與僧伽相往來，具壽聽者默然，不聽者請言。

僧伽與離車子瓦達解覆鉢，已令與僧伽相往來。具壽聽故默然，我如是了知。』」

二一

（一）

時，世尊隨意間住毘舍離後，往婆伽國遊行，次第遊行至婆伽國。於此，世尊住婆伽國首摩羅山恐怖林鹿野苑。爾時，菩提王子建立庫加那陀堂未久，沙門、婆羅門、其他任何人皆未曾進入居住。時，菩提王子言薩闍子摩納，曰：「薩闍子！汝詣世尊住處，詣而以我語，頭面禮世尊足，問訊而白：『少病，少惱，起居輕利而樂住耶？』而白：『世尊！菩提王子以頭面禮世尊足，少病……樂住耶？』問訊如是而白：『願世尊與比丘眾，明日受菩提王子之供食。』」「唯！唯！」薩闍子摩納應諾菩提王子後，詣世尊處。詣已，交換慶慰之言語後，交談可歡喜、可感銘之語而坐一面。坐於一面之薩闍子摩納白世尊：「菩提王子以頭面禮世尊足……願世尊與比丘眾，明日受菩提王子之供食。」世尊默然而受請。

（二）

時，薩闍子摩納知世尊已受請，從座而起，至菩提王子處。至已，言菩提王子，曰：「我等以尊者之語，言彼世尊瞿曇：『菩提王子……與比丘眾……供食。』而沙門瞿曇已受請。」時，菩提王子是夜過後，令調殊妙噉食及噉食。於庫加那陀堂最下階，令敷以白布，告薩闍子摩納言：「薩闍子！詣世尊住處，詣已，報知世尊食時已至：『世尊！時至，食物已備。』」「唯！唯！」薩闍子摩

納應諾菩提王子，詣世尊住處。詣已，報知世尊食時已至：「世尊瞿曇！時至，食物已備。」時，世尊晨著下裳，持衣、鉢，至菩提王子家。爾時，菩提王子立於門外迎世尊。菩提王子見世尊從遠方來，見而由彼處前往歡迎、敬禮已，於前引導世尊至庫加那陀堂。時，世尊至最下階而立。時，菩提王子白世尊：「世尊！請世尊踏布！請善逝踏布！此為我長夜之利益安樂。」如此言時，世尊默然，二次……三次菩提王子白世尊，曰：「世尊……安樂。」時，世尊顧視具壽阿難。時，具壽阿難言菩提王子曰：「王子！請收疊此布！世尊不踏布！如來憐愍未來眾生。」

（三）

時，菩提王子令收布，設座於庫加那陀堂。時，世尊登庫加那陀堂已，與比丘眾俱坐於已設之座。時，菩提王子於佛為最上首之比丘眾，親手供奉殊妙嚼食及噉食，令滿足飽食。王子〔知〕世尊食訖，洗手、鉢已，即坐一面。世尊向一面坐之菩提王子說法、教示……令歡喜已，從座起而離去。時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告比丘眾曰：「諸比丘！不得踏布衣，踏者墮惡作。」

（四）

爾時，有一婦女流產，招請諸比丘，設布而言：「請踏布！」諸比丘疑懼而不踏。「為吉祥故，請踏布！」諸比丘疑懼而不敢踏。時，彼婦忿怒、非難：「諸尊者為吉祥故而受請，為何不踏布衣耶？」諸比丘聞彼婦之忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！在家人欲吉祥。諸比丘！在家人為吉祥而請者，許踏布衣。」爾時，諸比丘疑懼而不踏洗足布。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許踏洗足布。」

二二

（一）

時，世尊隨意間住婆伽國後，往舍衛城遊行，次第遊行而至舍衛城。於此，世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。時，毘舍佉鹿母持瓶、摩擦具、掃帚，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。坐於一面之毘舍佉鹿母白世尊，曰：「請世尊受瓶、摩擦具、掃帚，此為我長夜之利益。」世尊受瓶、掃帚，世尊不受摩擦具。時，世尊為毘舍佉鹿母說法、教示……令歡喜。時，毘舍佉鹿母聞世尊之說法教示……歡喜已，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告比丘眾曰：「諸比丘！許用瓶、掃帚。諸比丘！不得享用摩擦具，享用者墮惡作。諸比丘！許三種摩足具：礫、砂、海石也。」

（二）

時，毘舍佉鹿母持扇及多羅葉扇，詣世尊處。詣已，敬禮世尊而坐一面。坐於一面之毘舍佉鹿母白世尊，曰：「世尊！請受扇及多羅葉扇，此為我長夜之利益。」世尊受扇及多羅葉扇。時，世尊為毘舍佉鹿母說法、教示……令歡喜……乃至右繞而去。時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告比丘眾曰：「諸比丘！許用扇及多羅葉扇。」

二三

（一）

爾時，僧伽得蚊拂。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用蚊拂。」

得犛牛尾之蚊拂。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持犛牛尾之蚊拂，持者墮惡作。諸比丘！許用三種蚊拂，謂：樹皮製、憂尸羅製、孔雀尾毛製也。」

（二）

爾時，僧伽得傘蓋。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用傘蓋。」

爾時，六群比丘張傘蓋而徘徊。爾時，有一優婆塞，與眾多邪命外道諸弟子俱往林園。彼邪命外道諸弟子見六群比丘張傘蓋從遠處而來，見而言優婆塞，曰：「此處，汝等之諸大德張傘蓋而來，猶如主財大臣。」「彼等非比丘，乃普行梵志也。」而相賭是比丘、非比丘。時，彼優婆塞待彼等走近時，知是〔比丘〕而忿怒、非難：「為何諸大德張傘蓋而徘徊耶？」諸比丘聞優婆塞之忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘……是實耶？」「實然！世尊！」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得張傘蓋，張者墮惡作。」

（三）

爾時，有一比丘病，彼無傘蓋不得安穩。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病者許張傘蓋。」

爾時，諸比丘念：「世尊許病者張傘蓋，無病者不然。」於僧園或僧園之附近疑懼而不敢張傘蓋。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許病者、無病者於僧園及其附近張傘蓋。」

二四

（一）

爾時，有一比丘，以網袋盛鉢而掛於杖，於非時由村門而出。眾人言：「諸尊者！盜賊行於彼處，彼之劍閃光。」追隨而捕之，知〔是比丘〕而放之。時，彼比丘往僧園，彼以此事告諸比丘。「友！汝持杖與網袋耶？」「友！然！」諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何比丘持杖與網袋耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，世尊……「實然！世尊！」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得持杖與網袋，持者墮惡作。」

（二）

爾時，有一比丘病，無杖不能來回行走。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許與病比丘執杖。諸比丘！與此應如是行：彼病比丘應至僧伽處，偏袒右肩，禮上座比丘足，胡跪，合掌，白如是言：

『諸大德！我病，無杖不能來回行走，請僧伽與執杖認可。』應二次乞請……三次乞請。應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！此某甲比丘病，無杖不能來回行走，彼請僧伽與執杖認可。若僧伽機熟，僧伽與某甲比丘執杖認可。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此……請……。僧伽與某甲比丘執杖認可。與某甲比丘執杖認可，具壽聽者默然，不聽者請言。

僧伽已與某甲比丘執杖認可。具壽聽故默然，我如是了知。』」

（三）

爾時，有一比丘病，無網袋不能攜鉢。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許與病比丘網袋認可。諸比丘！當如是與：彼病比丘……『……〔同第五　小事犍度二四（二）。「執杖」改為「網袋」。〕……了知。』」

爾時，有一比丘病，無杖不能來回行走，無網袋不能攜鉢。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許與病比丘執杖和網袋認可。諸比丘！當如是與：彼病比丘……『……〔同第五　小事犍度二四（二）。「執杖」改為「執杖和網袋」。〕……我如是了知。』」

二五

（一）

爾時，有比丘是反芻〔吐而再嚥〕者，彼再三反芻而嚥。諸比丘忿怒、非難：「此比丘非時而食。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此比丘由牛胎死沒未久，諸比丘！許反芻者吐而再嚥。諸比丘！但出口外者，不得嚥，嚥者應如法治之。」

二六

（一）

爾時，一群人行僧次食，於食堂，撒落許多飯粒。眾人忿怒、非難：「為何供養諸沙門釋子飯，〔彼等〕不一心受之耶？一一之飯粒皆百勞力之所成也。」諸比丘聞彼眾人之忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！所與之〔食〕而掉落者，許自取而食。諸比丘！若已示謝，則施主〔取之〕。」

二七

（一）

爾時，有一比丘，留長爪而行乞食。有一婦女見而言彼比丘，曰：「來！行淫法。」「止！姊！此非相應法。」「若汝不為者，我今以己之爪傷四肢，裝忿怒，言此比丘犯我。」「姊！汝自知。」時，彼婦女以己之爪傷四肢，裝忿怒，言：「此比丘犯我。」諸人跑來，捉彼比丘。彼諸人見彼婦女之爪中有皮及血跡，言：「此唯此婦女所為，非比丘所為也。」放彼比丘。時，彼比丘往僧園，以此事言諸比丘，〔諸比丘曰：〕「友！汝有長爪耶？」「諸友！然！」諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何比丘留長爪耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得留長爪，留者墮惡作。」

（二）

爾時，諸比丘以爪截爪，以口截爪，擦壁而指痛。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用截爪刀。」

截爪流血，指痛。「諸比丘！許截至肉處。」

時，六群比丘令磨二十爪。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令磨二十爪，令磨者墮惡作。諸比丘！唯許除污垢。」

（三）

爾時，諸比丘髮長。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！能互相剃髮否？」「能！世尊！」時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許用剃刀、砥石、刀囊、布片及一切刀具。」

（四）

爾時，六群比丘令理鬚，蓄長鬚，令作如牛毛鬚，令作四角鬚，令垂胸，令垂腹，留髯，令剃密處毛。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令理鬚，不得蓄長鬚，不得令作如牛毛鬚，不得令作四角鬚，不得令垂胸，不得令垂腹，不得留髯，不得令剃密處毛，剃者墮惡作。」

爾時，有一比丘，密處有瘡，藥不著。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病之因緣，許剃密處毛。」

（五）

爾時，六群比丘以剪刀剪髮。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得以剪刀剪髮，剪者墮惡作。」

爾時，有一比丘，頭有瘡，不能以剃刀剃髮。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病者許用剪刀剪髮。」

爾時，諸比丘鼻長毛。眾人忿怒、非難：「猶如畢舍遮之信徒。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得留長鼻毛，留者墮惡作。」

爾時，諸比丘以礫、蜜蠟取鼻毛而鼻痛。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「比丘！許用鑷子。」

爾時，六群比丘令取掉白髮。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令取掉白髮，令取者墮惡作。」

（六）

爾時，有一比丘為耳垢所塞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用挑耳篦。」

爾時，六群比丘持種種金製、銀製之挑耳篦。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持種種挑耳篦，持者墮惡作。諸比丘！許用骨製、牙製、角製、葦製、竹製、木製、樹脂製、果製、銅製、螺貝製。」

二八

（一）

爾時，六群比丘多蓄藏銅物、鍮物。眾人巡迴精舍，見而忿怒、非難：「為何諸釋子沙門多蓄藏銅物、鍮物耶？猶如鍮商人也。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得蓄藏銅物、鍮物，蓄藏者墮惡作。」

（二）

爾時，諸比丘疑懼而不敢用塗藥箱、塗藥篦、挑耳篦、柄。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用塗藥箱、塗藥篦、挑耳篦、柄。」

爾時，六群比丘背靠僧伽梨而坐，僧伽梨衣之緣壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得背靠僧伽梨而坐，坐者墮惡作。」

爾時，有一比丘病，彼無繫紐不得安穩。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用繫紐。」時，諸比丘生是念：「應如何作繫紐耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用織機、梭、緒、籌及一切織具。」

二九

（一）

爾時，有一比丘，不著腰帶而入村邑乞食。彼於道路失落安陀會，諸人叫喚，彼比丘羞愧。時，彼比丘往僧園，以此事告諸比丘。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不著腰帶不得入村邑，入者墮惡作。諸比丘！許著腰帶。」

（二）

爾時，六群比丘持種種腰帶：有細織者，有形如水蛇頭者，有形如小鼓者，有形如耳環者。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持種種腰帶：細織物者，形如水蛇頭者，形如小鼓者，形如耳環者也，持者墮惡作。諸比丘！許用兩種腰帶：細縷帶及編帶也。」

帶緣損。「諸比丘！許用形如小鼓者、形如耳環者。」

帶端損。「諸比丘！許帶端裝飾及重疊。」

帶之縫目損。「諸比丘！許用紐扣。」

爾時，六群比丘持種種金製、銀製之紐扣。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持種種紐扣，持者墮惡作。諸比丘！許持骨製……螺貝製、線製。」

（三）

爾時，具壽阿難著輕僧伽梨衣，入村邑乞食。為旋風吹揚僧伽梨衣。時，具壽阿難至僧園，彼以此事告諸比丘。諸比丘以此事白

世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用紐、鉤。」

爾時，六群比丘持種種金製、銀製之紐。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持種種紐，持者墮惡作。諸比丘！許持骨製、牙製、角製、葦製、竹製、木製、樹脂製、果製、銅製、螺貝製、線製。」

爾時，諸比丘用紐、鉤而衣損。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用紐、鉤板。」

用紐板、鉤板，縫於衣端而角開。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許紐板縫於衣端，鉤板縫於內側，入七指或八指處。」

（四）

爾時，六群比丘穿在家人之象鼻衣、魚網衣、四角衣、多羅莖衣、百蔓衣。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得穿在家人之象鼻衣……百蔓衣，穿者墮惡作。」

爾時，六群比丘纏在家人之纏衣。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得纏在家人之纏衣，纏者墮惡作。」

（五）

爾時，六群比丘著下帶。眾人忿怒、非難：「猶如國王之擔夫。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得著下帶，著者墮惡作。」

三〇

（一）

爾時，六群比丘荷天秤棒。眾人忿怒、非難：「猶如……國王之擔夫。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得荷天秤棒，荷者墮惡作。諸比丘！許一面擔棒、二人棒、頭荷、肩荷、腰荷、提荷。」

三一

（一）

爾時，諸比丘不嚼楊枝，口中有臭氣。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不嚼楊枝者，有如是五種過患：眼不明，口中臭，味覺處不清淨，覆痰，痰[病-丙+(今/云)]覆食，食無味。諸比丘！不嚼楊枝者，有如是五事之過患。諸比丘！嚼楊枝者，有如是五事之功德：眼明，口中不臭，味覺處清淨，不覆痰，痰[病-丙+(今/云)]不覆食，食有味。諸比丘！嚼楊枝者，有如是五種之功德。諸比丘！許用楊枝。」

（二）

爾時，六群比丘嚼長楊枝，以此打諸沙彌。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得嚼長楊枝，嚼者墮惡作。諸比丘！最長可用至八指之楊枝。不得以此打沙彌，打者墮惡作。」

爾時，有一比丘，嚼過短之楊枝而刺喉。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得嚼過短之楊枝，嚼者墮惡作。諸比丘！許用最短四指之楊枝。」

三二

（一）

爾時，六群比丘燒草木。眾人忿怒、非難：「猶如燒炭夫。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得燒草木，燒者墮惡作。」

爾時，精舍為草所覆，以野火燃燒而燒精舍，諸比丘疑懼而不逆燒、不防護。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！野火燃燒時，許逆燒、防護。」

（二）

爾時，六群比丘爬樹，由樹至〔彼〕樹。眾人忿怒、非難：「猶如猿猴。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得爬樹，爬者墮惡作。」

爾時，有一比丘，於拘薩羅國往舍衛城之途中，為象所追。彼比丘跑於樹下，疑懼而不敢爬樹。彼象往餘處。時，彼比丘往舍衛城，以此事告諸比丘。「諸比丘！有事時許爬人高之樹，有災害時許爬〔必要高度之樹〕。」

三三

（一）

爾時，有名為夜婆、瞿婆之二比丘，乃是兄弟，生於婆羅門，言語善美，音聲善美。諸比丘詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。坐於一面之諸比丘白世尊，曰：「世尊！今諸比丘名異、姓異、生異、族異而出家，諸比丘以各自之言詞污佛語。世尊！願我等將佛語轉為雅語。」佛世尊呵責：「諸愚人！汝等為何言願我等將佛語轉為雅語耶？諸愚人！此令未信者……。」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得將佛語轉為雅語，轉者墮惡作。諸比丘！許以各自言詞學習佛語。」

（二）

爾時，六群比丘學習順世〔外道〕。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘聞彼眾人之忿怒、非難。時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！視順世〔外道〕為精要者，於此法、律，能增長至廣大、方廣否？」「此事不然！」「視此法、律為精要者，應學習順世〔外道〕耶？」「此事不然！」「諸比丘！不得學習順世〔外道〕，習者墮惡作。」

爾時，六群比丘教順世〔外道〕。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得教順世〔外道〕，教者墮惡作。」

爾時，六群比丘學習畜生咒。眾人忿怒、非難：「猶如……在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得學習畜生咒，習者墮惡作。」

爾時，六群比丘教畜生咒，眾人忿怒、非難：「猶如……如在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得教畜生咒，教者墮惡作。」

（三）

爾時，世尊為大會眾所圍繞，說法時，打噴嚏，諸比丘高聲大聲而言：「世尊長壽！善逝長壽！」因其聲而中斷說法。時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！打噴嚏時，言：『長壽！』緣此，有生死耶？」「此事不然！」「諸比丘！打噴嚏時，不得言：『長壽！』言者墮惡作。」

爾時，諸比丘打噴嚏時，眾人言：「大德長壽！諸比丘疑懼而不語。眾人忿怒、非難：『何以沙門釋子打噴嚏時，〔眾人〕言：

「長壽！」時，不言耶？』」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！在家人欲吉祥者，諸比丘！若在家人言『長壽』許言『長壽』。」

三四

（一）

爾時，世尊為大會眾所圍繞，坐而說法，有一比丘食蒜，彼不欲困攪諸比丘而坐一面。世尊見彼比丘坐於一面，見而告諸比丘曰：「諸比丘！彼比丘為何坐於一面？」「彼比丘食蒜，不欲困攪諸比丘而於一面坐。」「諸比丘！若噉此〔物〕，當遠離如此說法，則當食此〔物〕否？」「此事不然！」「諸比丘！不得食蒜，食者墮惡作。」

（二）

爾時，具壽舍利弗患腹痛。時，具壽摩訶目犍連至具壽舍利弗處。至已，語具壽舍利弗曰：「友！舍利弗！汝以前腹痛依何而得安穩耶？」「友！蒜也。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病之故，許食蒜。」

三五

（一）

爾時，諸比丘於僧園到處小便，污僧園。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許於一邊小便。」

僧園污臭。「諸比丘！許用尿甕。」

坐而小便困難。「諸比丘！許安腳處。」

安腳處無圍，諸比丘恥而不敢小便。「諸比丘！許圍三種牆，謂：瓦牆、石牆、木牆也。」

尿甕無蓋而臭。「諸比丘！許用蓋。」

（二）

爾時，諸比丘於僧園到處大便，污僧園。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許於一邊大便。」

僧園惡臭。「諸比丘！許用糞坑。」

糞坑側面損壞。「諸比丘！許作三種積土，謂：瓦積、石積、木積也。」糞坑低而水浸。「諸比丘！許填高地基。」積土倒。「諸比丘！許作三種積土，謂：瓦積、石積、木積也。」上時困難。「諸比丘！許作三種階：瓦階、石階、木階也。」上時跌倒。「諸比丘！許用欄干。」端坐而大便時跌倒。「諸比丘！許張牀，於中作洞而大便。」坐而大便困難。「諸比丘！許作安腳處。」

（三）

於外小便。「諸比丘！許用尿壺。」

無屎篦。「諸比丘！許用屎篦。」無屎篦拭布。「諸比丘！許用屎篦拭布。」

糞坑無蓋而臭。「諸比丘！許用蓋。」

於露天大便，因寒、熱而疲倦。「諸比丘！許作廁房。」廁房無門。「諸比丘！許作門、楣、門柱、閾、枘、閂、木栓、針、楔、鍵孔、紐孔、紐。」廁房草、粉散亂。「諸比丘！於貼後，內

外塗之。塗白色、黑色、紅土子，許設華鬘、蔓、摩竭魚牙、棚、衣架、衣繩。」

爾時，有一老羸比丘，大便起時倒下。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作欄干。」

廁所無圍。「諸比丘！許以三種圍牆：瓦牆、石牆、木牆也。」

（四）

無門樓。「諸比丘！許作門樓。」門樓無門。「諸比丘！許作門……紐。」門屋草、粉散亂。「諸比丘！許於貼後，內外塗之……設……棚……。」

房多濕。「許撒砂礫。」不滿足。「諸比丘！許鋪踏石。」水積。「諸比丘！許作排水溝。」無洗淨瓶。「諸比丘！許用洗淨瓶。」無灑盆。「諸比丘！許用灑盆。」坐洗困難。「諸比丘！許作安腳處。」安腳處無圍，諸比丘恥而不洗。「諸比丘！許作三種圍牆，謂：瓦牆、石牆、木牆也。」洗瓶無蓋，為草、粉、塵所污。「諸比丘！許用蓋。」

三六

（一）

爾時，六群比丘行如此之非行，謂：自種華樹……〔同第一羯磨犍度一三（一）～（二）〕……種種之非行。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕……「諸比丘！不得行種種非行，行者當如法治之。」

三七

（一）

爾時，優樓頻螺迦葉出家。時，僧伽多得銅物、木物、土物。時，諸比丘生是念：「世尊許得或不許得銅物耶？許得或不許得木物耶？許得或不許得土物耶？」諸比丘以此事白世尊，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！除兵器外之一切銅物，除高牀、長椅子、木鉢、木履外之一切木物，除摩擦具、陶物外之一切土物，皆許之。」

攝頌曰：

樹木・柱・壁・摩浴處　用乾闥婆掌及紐
搔背具・互相擦身　疥癬・老羸・以手擦
不持耳環・瑙・首飾　手環・腕環・腰・手飾
長髮・櫛・與蜷局櫛　以及手・蠟油・水油
用鏡・水面・以至瘡　塗面・摩擦・及粉飾
彩染面・四肢・眼疾　山頂祭以及長調
菴婆果・果皮一切　外有毛皮之毛衣
蛇・斷男根與栴檀　種種鉢・台・金・厚・褶
彩色・損之及惡臭　熱處・破壞及板榻
地牀・以及草敷具　小布・屏・籠・作鉢袋
肩紐・繫線・壁樁・牀　座牀・大膝・傘・開門
瓠壺・瓶壺並髑髏　屑片乃至於容入
以手撕破・杖與金　鉢・果皮以及竹筒
粉・麥粉・石粉・蜜蠟　粉袋・不正・不平衡
結・地上・損・適及標　繃線・不洗・並濕・履
指韜・針筒・袋・纏線　露地・低・積土・困苦
倒・草與粉・塗內外　白・黑以及紅土子
華鬘・蔓・摩竭魚牙　棚乃至衣架・衣繩
此等普導師所許　放置於其處而去
乃至於壞迦絺那　解之以及許靠壁
盛針・藥於鉢而往　袋・纏線・以及結履・
遊行途中二比丘　水不淨・求濾水囊
布及水瓶濾水器　牟尼行至毘舍離
於此處許用有框　濾布之濾水囊・蚊
殊妙食・多病・耆婆　經行・暖房・不平處

地低・三積土・跌倒　階梯・欄干和欄楯
露地・草粉・塗內外　白・黑・紅土子・華鬘
蔓・摩竭魚牙・及棚　衣架・衣繩・地填高
積土・階梯・並欄干　以及門・楣和門柱
閫・衲・閂・以及木栓　針・楔・鍵孔・紐孔・紐
基底・烟管・及中部　面之粘土・惡臭・燒
給水處・乃至水盆　不使發汗又多濕
擦洗・並作排水溝　設置座牀及門樓
砂礫・踏石・排水溝　裸形・地上乃至雨
被覆物以及井・壞　三種蔓・腰帶・槓杆
滑輪以及汲水輪　容器多壞・銅・木・革
堂・草・蓋・以及水槽　水盆・牆・濕・排水溝
冷・蓮池・水滿・半覆　四月・臥・乃至刀柄
不決定及粉飾枕　支杖・食不臥・瓦達
菩提・往・瓶・摩擦具　掃帚以及摩足具
唯用礫・砂和海石　有多羅葉扇・花瓶
蚊拂・牛尾之拂子　傘蓋・無・僧園・三種
網袋・認可・反芻者　飯粒・截長爪・指痛
出血・量二十之爪　髮長・剃刀與削刀
刀囊・刀柄與刀具　理鬚・長鬚・四角鬚
垂胸・垂腹・並留髯　令剃除密處之毛
病・刀・瘡・及長鼻毛　礫・白髮・耳塞・種種
蓄銅物及靠・繫紐　緒・籌・帶・織・水蛇頭
形如小鼓・耳環者　多羅莖衣・百蔓衣
纏在家人之纏衣　著下帶・荷天秤棒
楊枝・打・刺喉・野火　逆燒樹木・乃至象・
夜婆・學習順世教　以及畜生咒・噴嚏
吉祥・食蒜・及腹痛　污臭・困難・安腳處
羞恥・無蓋・處處臭　惡臭・糞坑・壞・地低
積土・階梯・欄干・端　困難而作安腳處
外・壺・尿篦・尿拭布　無蓋・廁房・門及楣
門柱・閫・衲・閂・木栓　針・楔・鍵孔・紐・紐孔
塗內外・白・黑・華鬘　蔓・摩竭魚牙及棚
衣架・衣繩・老羸・牆　門樓・砂礫及踏石
排水溝和洗淨瓶　盆・困難・恥・蓋・非行
許除兵器之銅物　方椅・長椅・鉢・履外
一切木之所成物　敬請大牟尼允許
除摩擦具・陶物外　敬請如來哀愍者

許用一切之土物　事之教說盡如前
知略說攝頌理趣　如此律小事犍度
共有一百十件事　如是住之於正法
而以攝受善美者　善學持此律聖者
有利益心而善來　以揭燈明而堅固
多聞者當受供養

第六　臥坐具犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。其時，尚未為諸比丘制立坐臥處。此處彼諸比丘住阿蘭若、樹下、山中、洞窟、山洞、塚間、山林、露地、藁堆之諸處，晨從阿蘭若、樹下、山中、洞窟、山洞、塚間、山林、露地、藁堆諸處出來，行走、觀察、屈伸殊妙而眼向地，威儀具足。

（二）

爾時，王舍城有長者，晨往遊園。王舍城長者見彼諸比丘，晨從阿蘭若……威儀具足，見而心明淨。時，王舍城長者至彼諸比丘處。至已，語彼諸比丘曰：「若我造精舍，可住我精舍耶？」「居士！世尊尚未許精舍。」「若爾，請問世尊後，告知我！」「居士！唯！唯！」彼諸比丘應諾王舍城長者，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而一面坐。坐於一面之彼諸比丘白世尊：「世尊！王舍城長者欲造精舍，應如何為之耶？」時，世尊以是因緣，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許五種房舍：精舍、平蓋屋、殿樓、樓房、地窟也。」

（三）

時，彼諸比丘至王舍城長者處。至已，語王舍城長者曰：「居士！世尊許造精舍，知是時也！」

時，王舍城長者於一日令建六十精舍。時，王舍城長者成就彼六十精舍，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。坐於一面之王

舍城長者白世尊：「世尊！請世尊明日與比丘眾俱，受我供食。」世尊默然而許。時，王舍城長者知世尊已許，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。

（四）

時，王舍城長者是夜過後，調製殊妙噉食、噉食，於適時，令白世尊：「世尊！時至，食物已備。」時，世尊晨著下裳，持衣、鉢，至王舍城長者家。至已，與比丘眾俱，坐於所設之座。時，王舍城長者向佛陀為上首之比丘眾，親手供養殊妙噉食、噉食，令滿足飽食。〔長者見〕世尊食已，洗手、鉢，即坐於一面。於一面坐之王舍城長者白世尊：「世尊！我願福業、願生天故，此處，令造六十精舍。我於此等精舍當如何為之耶？」「居士！若爾，以此六十精舍，供奉已來、當來四方僧伽！」「唯！唯！世尊！」王舍城長者應諾世尊，以彼六十精舍供奉已來、當來四方僧伽。

（五）

時，世尊以偈隨喜王舍城長者：

由於防禦寒・暑　惡獸・蛇・蚊・冷雨
已禦生暴風熱　為護靜慮正觀
且為起居安樂　以精舍施僧伽
佛讚歎是最上　故觀己利賢人
喜悅而造精舍　以安住多聞者
當以施・明淨心　正直諸人飲食
衣服及臥坐具　比丘為彼演說
除一切苦之法　悟無漏般涅槃

時，世尊以此等偈隨喜王舍城長者，起座而離去。

二

（一）

眾人聞：「世尊許〔施〕精舍。」恭敬而造精舍。彼精舍無門，而蛇、蠍、蜈蚣進入。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作門。」鑿壁，以蔓及網繩縛門，為鼠蟻所嚙，門所縛處被嚙而倒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作楣、門柱、閾、枘。」門不合。「諸比丘！許作紐孔、紐。」門不能關。「諸比丘！許作閂、木栓、針、楔。」

爾時，諸比丘不能開門。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作鍵孔及銅鍵、木鍵、角鍵之三種鍵。」

各人開楔而入，精舍不能護。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許鑰與針。」

（二）

爾時，精舍以草疊蓋，冷時甚冷，熱時甚熱。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許於搭造後，內外塗之。」

爾時，精舍無窗戶，眼不見且臭。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作欄干窗、網窗、柵窗之三種窗。」燕、蝙蝠由窗而入。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作窗蓋。」燕、蝙蝠從窗間進入。「諸比丘！許作窗門、窗袋。」

（三）

爾時，諸比丘臥於地上，塵污塗肢體、衣服。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用草鋪。」所敷之草為鼠蟻所嚙。「諸比丘！許用緣臺。」因緣台而肢痛。「諸比丘！許用竹榻。」

爾時，僧伽得如棺架之波摩遮羅伽牀。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用波摩遮羅伽牀。」得波摩遮羅伽小

牀。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用波摩遮羅伽小牀。」

爾時，僧伽得如棺架之文蹄牀。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用文蹄牀。」得文蹄小牀。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用文蹄小牀。」

爾時，僧伽得如棺架之句利羅腳牀。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用句利羅腳牀。」得句利羅腳小牀。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用句利羅腳小牀。」

爾時，僧伽得如棺架之阿遏遮腳牀。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用阿遏遮腳牀。」得阿遏遮腳小牀。「諸比丘！許用阿遏遮腳小牀。」

（四）

爾時，僧伽得方椅。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用方椅。」得高方椅。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用高方椅。」得靠椅。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用靠椅。」得高靠椅。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用高靠椅。」得籐椅……椅子……如山羊腳之小牀……阿摩勒莖小牀……板椅……草椅……藁椅。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用藁椅。」

（五）

爾時，六群比丘睡臥高牀。諸人巡迴精舍，見而忿怒、非難：「猶如享諸欲樂之諸在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得睡臥高牀，臥者墮惡作。」

爾時，有一比丘，睡臥低牀而被蛇咬。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用腳牀。」

爾時，六群比丘持用高牀腳，與牀腳俱搖。「諸比丘！不得持用高牀腳，持者墮惡作。諸比丘！許牀腳最高八指。」

（六）

爾時，僧伽得線。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許織牀。」四邊多耗線絲。「諸比丘！許以穿邊、補綴。」得小布。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作褥。」得厚褥子。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許拆開後，作木綿、蔓綿、草綿三種綿枕。」

爾時，六群比丘持用半身大之枕。諸人巡迴精舍，見而忿怒、非難：「猶如享諸欲樂之諸在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得持用半身大之枕，持者墮惡作。諸比丘！許作如頭大之枕。」

（七）

爾時，王舍城有山頂祭，諸人為大臣作褥，羊毛褥、布褥、樹皮褥、草褥、葉褥也。祭後，彼等脫外被而持去。諸比丘見祭處散亂甚多羊毛、布、樹皮、草、葉。見而以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用五種褥，羊毛褥、布褥、樹皮褥、草褥、葉褥也。」

爾時，僧伽得臥具、坐具之布。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許被枕、褥。」

爾時，諸比丘疊牀之褥置於小牀，疊小牀之褥置於牀，褥壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「許覆牀、覆小牀。」

不作下敷而重疊，由下漏。「諸比丘！許作下敷，敷而被枕、褥。」

〔眾人〕拆外被而持去。「諸比丘！許著斑點。」

猶持去。「諸比丘！許補綴。」

猶持去。「諸比丘！許掌大之補綴。」

三

（一）

爾時，諸外道之臥具為白色，地為黑色，壁塗紅土子。甚多人欲見此臥處而往。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許精舍塗白色、黑色、紅土子。」

爾時，壁粗糙塗不著白色。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用稃團，以鏝抹平而塗白色。」塗不著白色。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用粘土，以鏝抹平而塗白色。」塗不著白色。「諸比丘！許用粘泥、粉糊。」

爾時，壁粗糙塗不著紅土子。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用稃團，以鏝抹平而塗紅土子。」塗不著紅土子。「諸比丘！許用紅粉，以鏝抹平而塗紅土子。」塗不著紅土子。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用芥子粉、蜜蠟油。」

生粒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許布拭去之。」

爾時，地粗糙塗不著黑色。「諸比丘！許用稃團，以鏝抹平而塗黑色。」塗不著黑色。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用蚯蚓之糞土，以鏝抹平而塗黑色。」塗不著黑色。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用粘泥、澀。」

（二）

爾時，六群比丘於精舍令作男女相之戲畫。諸人巡迴精舍，見而忿怒、非難：「猶如享諸欲樂之諸在家人。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不可令作男女相之戲畫，令作者墮惡作。諸比丘！許用華鬘、蔓、摩竭魚牙、柵。」

（三）

爾時，精舍地低而積水。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許填高地基。」積土倒。「諸比丘！許作三種積土，謂：瓦積、石積、木積也。」上時身疲。「諸比丘！許作三種階，謂：瓦階、石階、木階也。」上時跌倒。「諸比丘！許用欄干。」

爾時，眾人密集於精舍，諸比丘慚恥而不臥。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作圍帳。」〔眾人〕揭圍帳而看。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許造半壁。」〔眾人〕從半壁上窺看。「諸比丘！許三種房，方房、長房、樓房也。」

爾時，諸比丘於小精舍中央造房而無通路。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許於小精舍之一面、於大精舍之中央造房。」

（四）

爾時，精舍牆壁支柱損。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用木支柱。」

精舍雨漏。「諸比丘！許用牛糞、灰、土而防護。」

爾時，有一比丘，因蛇從草屋頂落於肩上，彼怖畏而出大聲。諸比丘跑來而言彼比丘：「友！汝為何出大聲耶？」時，彼比丘以此事告諸比丘。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作天蓋。」

（五）

爾時，諸比丘之袋掛於牀腳、小牀腳，為鼠、蟻所嚙。諸比丘以此事白世尊〔世尊曰：〕「諸比丘！許〔掛〕於壁樁、釘。」

爾時，諸比丘之衣放於牀、小牀而衣壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用衣架、衣繩。」

爾時，精舍無外椽，故無掩護。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許用外椽、防壁、內椽、檐。」外椽無圍，諸比丘慚恥而不臥。「諸比丘！許用引帳、揭帳。」

（六）

爾時，諸比丘於露地分配食，因寒、熱而疲倦。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許勤行堂。」勤行堂地低而積水。「諸比丘！許填高地基。」積土倒。「諸比丘！許作三種積土，謂：瓦積、石積、木積也。」上時疲倦。「諸比丘！許作三種階，謂：瓦階、石階、木階也。」上時跌倒。「諸比丘！許作欄干。」勤行堂草、粉散亂。「諸比丘！許張蓋後，內外塗之，塗以白色、黑色、紅土子，設華鬘、蔓、摩竭魚牙、棚、衣架、衣

繩。」爾時，諸比丘於露天展衣而衣染灰塵。「諸比丘！許於露天用衣架、衣繩。」

（七）

水乾。「諸比丘！許作水堂、水廷堂。」水堂地低……「許設……衣繩。」無水器。「諸比丘！許用水貝、水杯。」

（八）

爾時，精舍無牆。「諸比丘！許圍三種牆，〔謂：〕瓦牆、石牆、木牆也。」

無門樓。「諸比丘！許作門樓。」門樓地低而積水。「諸比丘！許填高地基。」門樓無門。「諸比丘！許作門、楣、門柱、閾、枘、閂、木栓、針、楔、鍵孔、紐孔、紐。」門樓草、粉散亂。「諸比丘！許……設……棚。」

爾時，房濕多。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許撒砂礫。」不滿足。「諸比丘！許鋪踏石。」積水。「諸比丘！許作排水溝。」

（九）

爾時，諸比丘於房內各處作火爐，房污損。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許於一面作火堂。」火堂地低……「諸比丘！許作欄干。」火堂無門。「諸比丘！許作門、楣、門柱……紐。」火堂草、粉散亂。「諸比丘！許……設……衣繩。」

（一〇）

僧園無牆，苗木為山羊、畜獸所害。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許圍三種柵，竹柵、棘柵、濠溝也。」無門，如此苗木亦為山羊、畜獸所害。「諸比丘！許設門，棘門、阿羅迦門、樓門、閂門也。」門草、粉散亂。「諸比丘！許……柵。」

僧園濕多……「諸比丘！許作排水溝。」

（一一）

爾時，摩竭國洗尼瓶沙王欲為僧伽作塗石灰土之殿樓。時，諸比丘生如是念：「世尊許作屋蓋耶？或不許作耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作五種屋蓋，〔謂：〕瓦屋、石屋、石灰屋、草屋、葉屋也。」

———誦品一終———

四

（一）

爾時，有給孤獨居士，為王舍城長者之妹婿。時，給孤獨居士有事往王舍城。爾時，王舍城長者明日招請以佛陀為上首之僧伽。時，王舍城長者命奴僕而言：「若爾，晨起，煮粥，煮食，作羹，調珍味。」時，給孤獨居士生如是念：「昔，我來時，此居士放擲一切事，唯與我俱相慶慰。彼今有散亂之相，而命奴僕：『若爾……調珍味。』此居士有嫁、娶耶？或欲設大祠祭耶？或明日招請摩竭國洗尼瓶沙王及軍眾耶？」

（二）

時，王舍城長者命奴僕後，至給孤獨居士處。至已，與給孤獨長者俱相慶慰而坐一面。給孤獨居士言一面坐之王舍城長者，曰：「居士！昔，我來時，汝放擲一切事，唯與我俱相慶慰。汝今有散亂之相，而命奴僕：『若爾……調珍味。』居士！汝有嫁、娶耶？或欲設大祠祭耶？或明日招請摩竭國洗尼瓶沙王和軍眾耶？」「居士！我非有嫁、娶，亦非明日招請摩竭國洗尼瓶沙王及軍眾，乃設大祠祭，明日請佛陀為上首之僧伽。」「居士！汝言佛陀？」「居士！我言佛陀。」「居士！汝言佛陀？」「居士！我言佛陀。」「居士！汝言佛陀？」「居士！我言佛陀。」「居士！佛陀，謂佛陀者，於世間名稱甚難得也。居士！此時為見彼世尊、應供、等正覺者，可往詣耶？」「居士！此時往詣見彼世尊、應供、等正覺者，非時也。汝明晨可詣見彼世尊、應供、等正覺者。」

時，給孤獨居士欲於翌晨詣見彼世尊、應供、等正覺者，而思念佛陀，三次以為破曉而起。

（三）

時，給孤獨居士至寒林之門，有非人開門。時，給孤獨居士從都城而出，光明滅而闇現，怖畏、驚愕、身毛豎立，即將欲還。

時，尸呵夜叉不現身而出聲：

「設有百象百馬百騾之車雖有著摩尼耳環之百千童女但不及前進一步之十六分之一居士！前進！居士！前進！前進者有利益，勿退！」

時，給孤獨居士之前闇滅而光明現。於先前生起之怖畏、驚愕、身毛豎立即息止。二次……三次給孤獨居士之前光明滅……三次尸呵夜叉……「……勿退！」三次給孤獨居士之前闇……即息止。

（四）

時，給孤獨居士至寒林。爾時，世尊晨起，於露地經行。世尊見給孤獨居士從遠處來。見而從經行處下，敷座而坐。坐已，世尊言給孤獨居士，曰：「善來！須達多！」時，給孤獨居士知世尊呼我名而語，歡喜踴躍而詣世尊處。詣已，以頭面禮世尊足，白世尊曰：「世尊！安樂而臥否？」

不染諸欲者　清涼無所依
涅槃婆羅門　隨處臥安樂
斷一切執著　調伏心苦惱
得心之止寂　寂靜臥安樂

（五）

時，世尊為給孤獨居士次第說法，謂：說施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染、出離功德。知給孤獨居士生起堪任心、柔軟心、離障心、歡喜心、明淨心，而開示諸佛本真說法，〔謂：〕苦、集、滅、道也。如清淨而無緇斑之原布，能受正色，如是，給孤獨居士即於其座，生遠塵離垢之法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。時，給孤獨居士已見法、得法、知法、悟入於法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「妙哉！妙哉！如令倒者起，如令覆者現，如教迷者道路，如闇中揭舉燈火，令具眼者見色，如是，世尊以種種方便顯示法。我於此處歸依世尊、法及比丘眾，願世尊容受我，自今以後乃至命終歸依為優婆塞。世尊！明日與比丘眾俱，受我請食。」世尊默然而受請。時，給孤獨居士知世尊受請，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。

（六）

王舍城長者聞給孤獨居士明日請佛陀為上首之僧伽。時，王舍城長者言給孤獨居士，曰：「居士！聞汝明日請佛陀為上首之僧伽。汝亦為客人，居士！我給汝資金，汝依此作食，請佛陀為上首之僧伽。」「居士！止！我有資金，我依此作食，請佛陀為上首之僧伽。」

王舍城有一住民，聞給孤獨居士明日請佛陀為上首之僧伽。時，王舍城住民言給孤獨居士，曰：「居士！汝明日請佛陀為上首之僧伽。汝亦為客人，居士！我給汝資金，汝依此作食，請佛陀為上首之僧伽。」「賢者！止！……作……。」摩竭國洗尼瓶沙王聞……。「大王！止！……作……。」

（七）

時，給孤獨居士是夜過後，於王舍城長者家，調殊妙噉食、噉食。於適時，白世尊：「時至！食物已備。」時，世尊晨著下裳，持衣、鉢，至王舍城長者家。至已，與比丘眾俱，坐於所設之座。時，給孤獨居士親手供養佛陀為上首之比丘眾殊妙噉食、噉食，令飽食滿足。〔見〕世尊食已，洗手、鉢，坐於一面。於一面坐之給孤獨居士，白世尊曰：「世尊！請與比丘眾俱於舍衛城受我雨安居。」「居士！如來於空屋享受快樂。」「世尊！我知，善逝！我知。」時，世尊說法，教示給孤獨居士，勸導，獎勵，令之慶喜，起座而離去。

（八）

爾時，給孤獨居士親戚多、朋友多，言而有信。時，給孤獨居士於王舍城事畢，向舍衛城出發。時，給孤獨居士於途中命諸人，曰：「造僧園，建精舍，設布施！佛陀已出於世間，彼世尊受我所

請，將由此道而來。時，彼眾人受給孤獨居士之教示而造僧園、建精舍、設布施。」

時，給孤獨居士往舍衛城，觀察舍衛城四周。「世尊應住於何處耶？不宜遠離都邑或過近，往來應便利，企求眾人易往、晝少喧鬧、夜少音聲、絕人跡、離人而靜、適於靜默之處。」

（九）

給孤獨居士見祇陀王子之園，距都邑不太遠亦不太近……適於靜默之處。見已，往祇陀王子處。至已，言祇陀王子，曰：「王子！與我園！欲造僧園。」「居士！即使金錢布滿亦不與園。」「王子！買而作僧園。」「造僧園不賣。」言：「要買！」「不賣！」而問斷事諸大臣。「王子！汝已定價故，賣而造僧園。」時，給孤獨居士令以車運金，鋪祇陀林。

（一〇）

首次運金不足〔鋪〕門屋周圍之小空地。時，給孤獨居士命眾人，曰：「往而持金來，我鋪此空地。」時，祇陀王子生如是念：「此非尋常！此居士捨如此多之金。」而言給孤獨居士，曰：「居士！止！此地勿鋪！此空地與我！我欲布施。」時，給孤獨居士思念：「此祇陀王子是著名、眾所皆知之人，如此高譽之人，於法與律生起淨信，有大勢力。」而將彼空地讓與祇陀王子。

時，祇陀王子於彼空地，令興建門樓。時，給孤獨居士於祇陀林令建精舍、造房、作門樓、作勤行堂、作火堂、作倉庫、作廁所、作經行處、作經行堂、作井、作井堂、作暖房、作暖房堂、作小池、作廷堂。

五

（一）

時，世尊隨意間住王舍城後，往毘舍離遊行，次第遊行至毘舍離。於此，世尊住毘舍離大林重閣堂。爾時，眾人努力建造，對參與建造之諸比丘亦奉事衣服、摶食、坐具、臥具、病藥、資具。

時，有一貧窮之裁縫匠，生如是念：「此非尋常之事，此等諸人如此努力建造。我亦應參與建造。」時，彼貧窮之裁縫匠自捏泥、積瓦、築壁。彼因無技巧故，所積之牆壁歪倒。二次……三次彼貧窮之裁縫匠自捏泥……牆壁歪倒。

（二）

時，彼貧窮之裁縫匠忿怒、非難：「諸人對此諸沙門釋子施衣服、摶食、坐具、臥具、病藥、資具，並教授教誡建造營事，而我因貧窮，無人教授教誡建造營事。」諸比丘聞彼貧窮裁縫匠之忿怒、非難。時，諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許與營事。諸比丘！參與營事比丘當勤作，令精舍速成就，當修繕破損。」

（三）

「諸比丘！當如是與：應先請比丘，請後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，某甲居士之精舍應與某甲比丘營事。是乃表白。

諸大德！請聽我言！僧伽將某甲居士……。將某甲居士之精舍與某甲比丘營事，具壽聽者默然，不聽者請言。……具壽聽故默然，我如是了知。』」

六

（一）

時，世尊隨意間住毘舍離後，往舍衛城遊行。爾時，六群比丘之隨從諸比丘於佛陀為上首之僧伽先往，取精舍，取臥處，言：「此屬我等之和尚者，此屬我等之阿闍梨者，此屬我等者。」時，具壽舍利弗於佛陀為上首之僧伽後往，精舍已被取，臥處已被取，不得臥處而於一樹下坐。時，世尊晨起而謦咳，具壽舍利弗亦謦咳。「誰在彼處耶？」「世尊！是我，舍利弗。」「舍利弗！汝何故於此處坐耶？」時，具壽舍利弗以此事白世尊。

（二）

時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問諸比丘曰：「諸比丘！六群比丘之隨從諸比丘，……『……此屬我等者。』是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責曰：「諸比丘！為何彼愚人等於佛為上首之僧伽先……取……『……此屬我等者。』耶？諸比丘！此非令未信者……。」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！誰應受第一座、第一水、第一食耶？」部分諸比丘曰：「世尊！由剎帝利種出家者，應受第一座、第一水、第一食。」部分諸比丘曰：「世尊！由婆羅門種出家者……由居士種出家者……經師……持律者……說法者……得初禪者……得第二禪者……得第三禪者……得第四禪者……預流者……一來者……不還者……阿羅漢者……三明者……六神通者應受第一座、第一水、第一食。」

（三）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！於過去世，在雪山麓中有大尼拘律樹，有三親友，依此而住，〔謂：〕鷓、獼猴及象也。彼等互相不尊重、不畏敬、不和合而住。諸比丘！時，彼諸親友生如是

念：『我等應知我等中之年長者，我等應恭敬、尊重、尊敬、供養彼，依彼之教誡而住。』諸比丘！時，鷄及獼猴問象，曰：『友！汝憶念過去之何事耶？』『我如此憶念過去之事：我小時，腿跨過此尼拘律樹，頂芽觸我腹。』諸比丘！時，鷄及象問獼猴，曰：『汝憶念過去之何事耶？』『我如是憶念過去之事：我小時，坐於地上，噉此尼拘律樹之頂芽。』諸比丘！時，獼猴及象問鷄，曰：『汝憶念過去之何事耶？』『彼空地有大尼拘律樹，我啄其一果，於此空地大便，此尼拘律樹依此而生，若爾，我乃年長者也。』諸比丘！時，獼猴及象對鷄曰：『汝是我等中之年長者，我等恭敬、尊重、尊敬、供養汝，我等依汝之教誡而住。』諸比丘！時，鷄授與獼猴及象五戒，己亦持五戒而住。彼等互相尊重、畏敬、和合而住，身壞命終而生於善趣、天上。諸比丘！此名為鷄之梵行也。」

恭敬年長者　是人通曉法
現法受稱讚　後世得善趣

（四）

「諸比丘！然而畜生類甚至互相尊重、敬畏、和合而住。諸比丘！此處，汝等若於如是善說之法與律處出家者，互相尊重、畏敬、和合而住者為善。諸比丘！此令未信者……」……說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！許隨長幼，可受敬禮、迎送、合掌、恭敬、第一座、第一水、第一食。諸比丘！僧伽之物隨長幼，不得遮止，遮止者墮惡作。」

（五）

「諸比丘！不得禮者有十：先受具足戒者，不得禮後受具足戒者，不得禮未受具足戒者，不得禮異住而非法說之年長者，不得禮女人，不得禮黃門，不得禮別住者，不得禮應受本日治者，不得禮應受摩那埵者，不得禮行摩那埵者，不得禮應受出罪者。諸比丘！

不得禮如此之十種人。諸比丘！應禮者有三：後受具足戒者，應禮先受具足戒者，應禮異住而如法說之年長者，諸比丘！天、魔、梵、此世間，於沙門、婆羅門、人、天之有情界，應禮如來、應供、等正覺者。諸比丘！應禮如此三種人。」

七

（一）

爾時，眾人為僧伽調廷堂、敷具、空地。六群比丘之隨從諸比丘言：「世尊雖許僧伽之物隨年長，所作之物則不然。」而於佛陀為上首之僧伽先往，取廷堂、敷具、空地。「此屬我等之和尚者，此屬我等之阿闍梨者，此屬我等者。」時，具壽舍利弗於佛陀為上首之僧伽後往，廷堂已被取，敷具已被取，空地已被取，不得空地而於一樹下坐。時，世尊晨起而謦咳，具壽舍利弗亦謦咳。「誰在彼處耶？」「世尊！是我，舍利弗。」「舍利弗！汝何故於此處坐耶？」時，具壽舍利弗以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問諸比丘曰：「諸比丘！六群比丘……」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！所作物亦隨長幼，不得遮止，遮止者墮惡作。」

八

（一）

爾時，眾人於屋內、食堂設種種高牀、大牀，即：過大之牀、以獸像為腳臺之椅子、長山羊毛之敷物、有文彩之敷物、白氈之敷物、繡花之敷物、入滿綿之敷物、有虎及獅子像之敷物、兩邊有緣之敷物、一邊有椽之敷物、鏤寶石之敷物、絹敷物、足十六舞女立舞之大敷物、象敷物、馬敷物、車敷物、羚羊皮敷物、殊勝羚羊毛敷物、傘蓋、兩邊有赤枕牀也。諸比丘疑懼而不坐。諸比丘以此事

白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！除過大之牀、以獸像為腳臺之椅子、入綿敷物三種外，在家人作者許坐，但不得臥。」

爾時，眾人於屋內、食堂設入綿之小牀及牀，諸比丘疑懼而不坐，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！在家人作者許坐，但不得臥。」

九

（一）

時，世尊次第遊行至舍衛城。於此，世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。時，給孤獨居士詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，於一面坐。一面坐之給孤獨居士白世尊曰：「世尊！明日與比丘眾俱，受我請食。」世尊默然而許。時，給孤獨居士知世尊默許，從座而起，敬禮世尊，右繞而去。

時，給孤獨居士是夜過後，令調殊妙噉食、噉食，於時至，白世尊曰：「時至，食物已備。」時，世尊晨著下裳，持衣、鉢，至給孤獨居士家。至已，與比丘眾俱，坐於所設之座。時，給孤獨居士於佛陀為上首之比丘眾，親手供養殊妙噉食、噉食，令飽食滿足。〔見〕世尊食已，洗鉢、手，於一面坐。於一面坐之給孤獨居士白世尊曰：「於祇樹林，我當如何為之耶？」「居士！若爾，以祇樹林奉已來、當來四方之僧伽！」「唯！世尊！」給孤獨長者應諾世尊，以祇樹林奉已來、當來四方之僧伽。

（二）

時，世尊以偈隨喜給孤獨居士：

由於防禦寒・暑　惡獸・蛇・蚊・冷雨
已禦生暴風熱　為護靜慮正觀

且為起居安樂　以精舍施僧伽
佛讚歎是最上　故觀己利賢人
喜悅而造精舍　以安住多聞者
若施以明淨心　正直諸人飲食
衣服及坐臥具　比丘為彼演說
除一切苦之法　悟無漏般涅槃

時，世尊以此偈隨喜給孤獨居士，起座而去。

一〇

（一）

爾時，有一邪命外道聲聞之大臣，設僧次食。具壽跋難陀釋子遲來，令未食完次座之比丘起，食堂生喧擾。時，彼大臣忿怒、非難：「為何諸沙門釋子遲來，令未食完諸比丘起，食堂生喧擾。坐於餘處，豈非得所欲而食耶？」諸比丘聞彼大臣之忿怒、非難。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以具壽跋難陀釋子遲來，令未食完次座之比丘起，食堂生喧擾耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「跋難陀！汝遲來，令未食完次座之比丘起，食堂生喧擾，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「愚人！何以汝遲來，令次座之比丘起耶？使食堂生喧擾。愚人！此非令未信者……」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！未食完時，不得令比丘起，令起者墮惡作。若令起，已謝食時，應言：『往而持水！』若如此得則善，若不得，則嚥下所嚼食物，讓座與年長者。諸比丘！無論如何不得遮止年長比丘座，遮止者墮惡作。」

（二）

爾時，六群比丘令諸病比丘起。諸病〔比丘〕曰：「友！我等不能起，我等有病。」言：「我等令諸具壽起。」即捉之，令起而

放手。諸病〔比丘〕因此而倒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得令病〔比丘〕起，令起者墮惡作。」

爾時，六群比丘曰：「我等病不得起。」而留最勝臥具。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許與病比丘適當臥具。」

爾時，六群比丘依某事而保留臥具、坐具。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得依某事而保留臥具、坐具，保留者墮惡作。」

一一

（一）

爾時，十七群比丘修葺一最邊隅之大精舍，念：「我等將於此處住雨安居。」六群比丘見十七群比丘修葺精舍而言：「諸友！十七群比丘於此修葺精舍，我等令諸比丘出去。」有部分人曰：「諸友！當待其修繕已，令離去。」時，六群比丘言十七群比丘，曰：「諸友！離去！精舍屬我等。」「諸友！豈非應於事前言耶？我等可修葺他〔精舍〕。」「諸友！精舍非僧伽之物耶？」「諸友！然！精舍為僧伽之物。」「諸友！離去！精舍屬我等。」「諸友！精舍頗大，汝等可住！我等亦住。」「諸友！離去！精舍屬我等。」忿而不悅，捉頸而拖出。彼等被拖出而哭泣。諸比丘曰：「諸友！汝等為何哭泣耶？」「諸友！此處，六群比丘忿而不悅，將我等自僧伽精舍拖出。」諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何六群比丘忿而不悅，將諸比丘拖出僧伽之精舍耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘忿而不悅，將諸比丘拖出僧伽之精舍，是實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，

告諸比丘曰：「諸比丘！不得忿而不悅，將諸比丘拖出僧伽之精舍。拖出者，當如法治之。諸比丘！許平分臥具坐具。」

（二）

時，諸比丘生是念：「應由誰分臥具、坐具耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可選具足五分之比丘為分臥坐具人，〔謂：〕不隨愛、不隨瞋、不隨怖、知得與不得者也。諸比丘！應如是選：應先請比丘，請後，應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，僧伽應選某甲比丘為分臥坐具人。是乃表白。

諸大德！請聽我言！僧伽選某甲比丘為分臥坐具人。選某甲比丘為分臥坐具人……言……了知。』」

（三）

時，分臥坐具諸比丘生是念：「應如何分臥具坐具耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許先算諸比丘，算諸比丘後再算臥具，算臥具後，依每個臥具而分配。」依每個臥具分配，臥具有剩餘。「諸比丘！許分每一精舍。」分於每一精舍，精舍有剩餘。「諸比丘！許依每個房分配。」依每房分配，房有剩餘。「諸比丘！許重分之。」重分而其他比丘來。「若不欲者不得與。」

爾時，諸比丘分臥坐具與境界外者。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得分臥具、坐具與境界外者，分者墮惡作。」

爾時，諸比丘取臥具、坐具而保存一切時。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得取臥具、坐具而保存一切時，保存者墮惡作。諸比丘！許保存雨安居之三個月，平時不得保存。」

（四）

時，諸比丘生是念：「分臥具坐具有幾何耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！分臥具坐具者有三，〔謂：〕初、後、中也。頗沙荼之滿月翌日為初分，由頗沙荼之滿月一月後為後分，由自恣之翌日至次雨安居止為中分。諸比丘！如此分臥具坐具者有三。」

———誦品二

〔終〕———

一二

（一）

爾時，具壽跋難陀釋子取臥具、坐具後，往一村邑住處，於其處亦取臥具、坐具。時，彼諸比丘生是念：「諸友！此處，具壽跋難陀釋子以訴訟為事、以鬥諍為事、以爭論為事、以諍論為事，於僧伽中，以諍事為事。若彼於此處入雨安居，我等皆不得安穩而住，當即問彼。」時，彼諸比丘言具壽跋難陀釋子，曰：「友！跋難陀！汝於舍衛城已取臥具、坐具耶？」「諸友！如是。」「友！跋難陀！汝一人保存二〔臥具、坐具〕耶？」「諸友！若爾，我於此處捨而於彼處取。」諸比丘中少欲者……非難：「為何具壽跋難陀釋子一人而保有二耶？」諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，集會比丘眾，問具壽跋難陀釋子，曰：「跋難陀！汝一人保存二，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「愚人！汝為何一人保二耶？愚人！取於彼處而捨於此處，取於此處而

捨於彼處。愚人！汝如此而兩處失也。愚人！此非令未信者……」……說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不可一人而保存二，保存者墮惡作。」

一三

（一）

爾時，世尊為諸比丘設無數方便，論律論，讚歎律，讚歎通達律者，每事讚歎具壽優波離。諸比丘云：「世尊設無數方便，論律論……讚歎優波離。諸友！我等隨具壽優波離而學律。」此處，甚多比丘長老、新參、中位皆隨優波離學律。具壽優波離尊重長老比丘故，立而教之，諸長老比丘遵重法故，立而受教，此處諸長老比丘及具壽優波離皆疲倦。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許教新學比丘時，或等座，或尊重法故，許坐於高座。長老比丘受教時，或等座，或尊重法故，許坐於下座。」

（二）

爾時，甚多比丘於具壽優波離處，立而待讀誦，極疲倦。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許與等座者同坐。」

時，諸比丘生是念：「至幾何可等座耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許至三歲者同坐。」

爾時，有眾多同等座者，坐於牀而牀壞，坐於小牀而小牀壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許三人同〔一〕牀，三人同〔一〕小牀。」

三人同坐而牀壞，同坐小牀而小牀壞。「諸比丘！許二人同牀，二人同小牀。」

爾時，非等座之諸比丘疑懼而不坐於長座。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！除黃門、女人、二根者不可同座，〔餘〕許同坐於長座。」

爾時，諸比丘生是念：「最小幾何為長座耶？」「諸比丘！許容坐三人者為最小之長座。」

一四

（一）

爾時，毘舍佉鹿母欲為僧伽作有外椽、有象首柱頭之殿樓。時，諸比丘生是念：「世尊許或不許受用殿樓耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許受用一切殿堂。」

爾時，拘薩羅國波斯匿王之祖母歿。彼女死，僧伽多得不相應之物，謂：過大之牀、以獸像為腳臺之椅子、長山羊毛敷物、有文彩之敷物、白羊毛敷物、繡花敷物、入綿敷物、有虎及獅子像敷物、兩邊有緣敷物、一邊有緣敷物、鏤寶石敷物、絹敷物、足十六舞女舞於其上大敷物、象敷物、馬敷物、車敷物、羚羊皮敷物、殊勝羚羊毛敷物、天蓋、兩邊有赤枕牀也。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！除去過大牀之腳而受用，除去以獸像為腳臺之椅子毛而受用，塞入綿敷物而作枕，餘許作地上之敷具。」

一五

（一）

爾時，於舍衛城附近一村邑住處，其住處之諸比丘為客比丘設臥坐具而困憊。時，彼諸比丘生是念：「諸友！今我等為客比丘設臥坐具而困憊。諸友！將僧伽之一切臥坐具全與一人，而受用彼之所有。」諸比丘將僧伽之一切臥坐具全與一人。有諸客比丘，向彼

諸比丘言：「諸友！為我等設臥坐具！」「諸友！僧伽無臥坐具，我等已將一切與一人。」「諸友！汝等將僧伽之臥坐具捨與耶？」「然！諸友！」諸比丘中少欲者……非難：「為何諸比丘將僧伽之臥坐具捨與耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘將僧伽之臥坐具捨與，是實耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！為何彼諸愚人將僧伽之臥坐具捨與耶？諸比丘！此……」呵責、說法已，告諸比丘曰：

（二）

「諸比丘！有五種不可捨物，不得捨與僧伽、別眾或人，即捨與非捨與，捨與者墮偷蘭遮。五者何耶？僧園及僧園之地也，此，為第一不可捨物，不得捨與僧伽、別眾或人，即捨與非捨與，捨與者墮偷蘭遮。精舍及精舍之地也，此，為第二……。牀、小牀、褥、枕也，此，為第三……。銅甌、銅壺、銅甕、銅盤、小斧、鉞、鋤、鍬也，此，為第四……。蔓、竹、們叉草、草、土、木具、土具也，此，為第五……。諸比丘！如此有五種不可捨物……墮偷蘭遮。」

一六

（一）

爾時，世尊隨意間住舍衛城後，與大比丘眾五百人及舍利弗、目犍連俱，向雞咤山遊行。阿濕婆、富那婆娑之徒諸比丘聞：「世尊與大比丘眾五百人及舍利弗、目犍俱來雞咤山。」〔彼等言：〕「諸友！我等分與一切僧伽之臥坐具，舍利弗、目犍連邪欲而隨邪欲，我等不為彼等設臥坐具。」

時，世尊次第遊行至雞咤山。時，世尊告眾多比丘，曰：「諸比丘！汝等至阿濕婆、富那婆娑之徒處，言：『諸友！世尊與……

舍利弗、目犍連俱來雞咤山。諸友！為世尊與大比丘眾及舍利弗、目犍連設臥坐具！』」彼諸比丘曰：「唯！唯！」應諾世尊，而至阿濕婆、富那婆娑之徒處。至已，言阿濕婆、富那婆娑之徒諸比丘，曰：「諸友！為世尊……設臥坐具！」「諸友！僧伽無臥坐具，我等已分與一切。諸友！世尊善來。請世尊隨意住精舍，舍利弗、目犍連邪欲而隨邪欲，我等不為彼等設臥坐具。」

（二）

「諸友！汝等分與僧伽之臥坐具耶？」「諸友！然！」諸比丘中少欲者……非難：「為何阿濕婆、富那婆娑之徒諸比丘分與僧伽之臥坐具耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……真實耶？」「實然！世尊！」「諸比丘！為何彼諸愚人分與僧伽之臥坐具耶？諸比丘！此……」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！有五種不可分物，僧伽、別眾或人皆不得分與，即分與非分與，分與者墮偷蘭遮。五者何耶？僧園……〔同第六　臥坐具犍度一五（二）〕……諸比丘！如此有五種不可分物。……墮偷蘭遮。」

一七

（一）

時，世尊隨意間住雞咤山後，向阿羅毘國遊行，次第遊行至阿羅毘國。於此，世尊住阿羅毘國之阿伽羅婆精舍。

爾時，阿羅毘國諸比丘與如是營事。〔謂：〕唯與置土塊營事，唯與塗壁營事，唯與立門營事，唯與作門閂營事，唯與作窗戶營事，唯與作白色營事，唯與作黑色營事，唯與作紅土子營事，唯與作屋頂營事，唯與接合營事，唯與著橫梁營事，唯與修繕破壞營事，唯與作地牀營事，與二十年之營事，與三十年之營事，乃至與

至命終之營事，與精舍之營事盡至荼毘時。諸比丘中少欲者……非難：「何以阿羅毘國諸比丘與如是營事耶？〔謂：〕……與精舍之營事盡至荼毘時耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！是實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得與置土塊營事……不得與精舍之營事盡至荼毘時，與者墮惡作。諸比丘！許與未作或未完成精舍之營事。於小精舍，觀察而許與五或六年之營事，於平蓋屋，觀察而許與七或八年之營事，於大精舍或殿樓，觀察而許與十或二十年之營事。」

（二）

爾時，諸比丘與一切精舍之營事。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得與一切精舍之營事，與者墮惡作。」

爾時，諸比丘與一人二〔營事〕。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘不得與一人二〔營事〕，與者墮惡作。」

爾時，諸比丘受營事而令他人住。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！受營事不得令他人住，令住者墮惡作。」

爾時，諸比丘受營事而保存僧伽物。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！受營事不得保存僧伽物，保存者墮惡作。諸比丘！許保存一最勝臥處。」

爾時，諸比丘與境界外者營事。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得與境界外者營事，與者墮惡作。」

爾時，諸比丘受營事而長時保存。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！受營事不得保存一切時，保存者墮惡作。諸比丘！許保存雨季三個月，平時不得保存。」

（三）

爾時，諸比丘受營事而離去，還俗，死亡，自言為沙彌，自言為捨學者，自言為犯極罪者，自言為發狂者，自言為心亂者，自言為苦受者，自言為不見罪而被舉者，自言為不懺悔罪而被舉者，自言為不棄惡見而被舉者，自言為黃門，自言為賊住者，自言為歸外道者，自言為畜生，自言為殺母者，自言為殺父者，自言為殺阿羅漢者，自言為污染比丘尼者，自言為破和合僧者，自言為出〔佛身〕血者，自言為二根者。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！此處有比丘，受營事而離去。為不使僧伽受損失，〔營事〕可與他者。諸比丘！此處有比丘，受營事而還俗，死亡……自言是二根者，為不使僧伽受損失，可與他者。諸比丘！此處有比丘，受營事，未完成而離去……自言為二根者。為不使僧伽受損失，可與他者。諸比丘！此處有比丘，受營事，完成而離去，此，仍屬彼。諸比丘！此處有比丘，受營事，完成而還俗……自言為犯極罪者，以僧伽為主。諸比丘！此處有比丘，受營事，完成而自言為發狂者……自言為不棄惡見而被舉，此，仍屬彼。諸比丘！……完成而自言為黃門……自言為二根者，以僧伽為主。」

一八

（一）

爾時，諸比丘於一優婆塞之精舍所受用之臥坐具，於餘處受用。時，彼優婆塞忿怒、非難：「如何諸尊者於一處受用之物，於餘處受用耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！於一處受用之物，不得於餘處受用，受用者墮惡作。」

爾時，諸比丘疑懼而不敢將〔臥坐具〕移至布薩堂、集會堂，坐於地上，穢污四肢、衣服。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許暫時移。」

爾時，僧伽之大精舍壞。諸比丘疑懼而不敢移動臥坐具。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若為護持，許移動。」

一九

（一）

爾時，僧伽得高價欽婆羅衣為臥坐具之資具。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！欲增大者，許交換。」

爾時，僧伽得高價衣為臥坐具之資具。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！欲增大者，許交換。」

爾時，僧伽得熊皮。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許作足拭。」得遮伽利衣。「諸比丘！許作足拭。」得布巾。「諸比丘！許作足拭。」

二〇

（一）

爾時，諸比丘不洗足而踏臥坐具，臥坐具受穢污。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不洗足，不得踏臥坐具，踏著墮惡作。」

爾時，諸比丘以濕足踏臥坐具，臥坐具受穢污。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得以濕足踏臥坐具，踏著墮惡作。」

爾時，諸比丘著履而踏臥坐具，臥坐具受穢污，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！著履不得踏臥坐具，踏者墮惡作。」

（二）

爾時，諸比丘吐唾於工作地，穢污之。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得於工作地吐唾，吐唾者墮惡作。諸比丘！許唾壺。」

爾時，牀腳、小牀腳搔壞工作地。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許以小布纏之。」

爾時，諸比丘倚壁而工作，穢污之。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得倚壁而工作，倚靠者墮惡作。諸比丘，許倚靠板。」靠板底搔壞地，損壁。「諸比丘！上下許以小布纏之。」

爾時，疑懼而洗足，不〔敢〕於踏處臥。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許覆而臥。」

二一

（一）

爾時，世尊隨意間住阿羅毘後，向王舍城遊行，次第遊行至王舍城。於此，世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。爾時，王舍城飢饉。眾人不能行僧次食，欲行別請食、請食、行籌食、十五日食、布薩食、月初日食。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許僧次食、別請食、請食、行籌食、十五日食、布薩食、月初日食。」

爾時，六群比丘自取美味珍食，與諸比丘粗惡食。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為差次食人，〔謂：〕不隨愛、不隨瞋、不隨癡、不隨怖、知差及不差者也。諸比丘！應如是選：應先請比丘，請後……『……知。』」

時，差食諸比丘生是念：「應如何差食耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許行籌或以布片記〔名〕集而差之。」

（二）

爾時，僧伽無知臥坐具人。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為知臥坐具人。〔謂：〕不隨愛……知知及不知者也。諸比丘！應如是選……『……知。』」

爾時，僧伽無守庫人。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為守庫人。〔謂：〕不隨愛……知守及不守者也。諸比丘！應如是選……『……知。』」

爾時，僧伽無衣之受納人。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為衣之受納人。〔謂：〕不隨愛……知受及不受者也。諸比丘！應如是選……『……知。』」

爾時，僧伽無分衣人……分粥人……分果人。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為分衣人……分粥人……分果人。〔謂：〕不隨愛……知分及未分者也。諸比丘！應如是選……『……知。』」

爾時，僧伽無分嚼食人，嚼食未分而敗壞。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為分嚼食人……『……知。』」

（三）

爾時，僧伽之庫藏得瑣細資具。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為捨瑣細人。〔謂：〕不隨愛……知捨及不捨者也。諸比丘！應如是選……『……知。』捨瑣

細比丘當一一與針、鋏、覆、帶、肩紐、濾水囊、水甕、大檀、小檀、條、葉、豎緣、橫緣。若僧伽得酥、油、蜜、糖，應與嘗其味一次。若欲再嘗，應再與之，若欲更嘗者，應更與之。」

爾時，僧伽無分浴衣人……分鉢人。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為分浴衣人……分鉢人。〔謂：〕不隨愛……知得與不得者也。諸比丘！應如是選……『……知。』」

爾時，僧伽無使淨人主，淨人等無使主而不作業。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選具足五分之比丘為使淨人主。〔謂：〕不隨愛……知使及不使者也。諸比丘！應如是選……『……知。』」

爾時，僧伽無使沙彌人，沙彌等無使主而不作業……「……『……知。』」

此攝頌曰：

爾時最勝佛　未曾制精舍
勝者聲聞等　由各住處來
長者居士見　而言比丘等
令作可住耶　彼請問導師
許住五房舍　精舍・平蓋屋
殿樓・樓房・窟　長者作精舍
人人作精舍　無門無防護
門・門柱・閫・枘・　紐・孔・及木栓
閂・針・楔・鍵孔　銅鍵及木鍵
角鍵及鑰・針　張蓋塗內外
欄干窗・網窗　窗柵及窗蓋
鋪草及椽台　肢痛許竹榻
許如棺架牀　波摩遮羅伽
許用文蹄牀　句利羅腳牀
阿遏遮腳牀　方椅・高方椅

靠椅及藤椅　乃至小椅子
如羊腳小牀　阿摩勒莖牀
草椅・及藁椅・　高牀與牀腳
八指之牀腳　線・補綴・小布
乃至入綿覆　半身大之枕
山頂祭・枕褥　衣與臥坐具
覆蓋・由下垂　裂覆蓋持去
掌大之補綴　如來之所許
外道之精舍　稃團粘土等
粘泥・鏝・紅粉　芥子・密蠟油
拭去粒・粗糙　蚯蚓糞便土
粘泥與戲畫　低地・積土上・
倒・密集・半壁　三種・小精舍
壁底基・雨漏　聲音・材・衣架
衣繩外椽・帳　欄干・草與粉
以下作理趣　露天・乾・水堂
以下是水器　精舍與門樓
僧房及火堂　僧園與門樓
以下作理趣　石灰給孤獨
信者往寒林　見法而招請
導師與僧伽　途中命諸人
使其作僧園　毘舍離營事
之前往取舍　誰受第一食
鷄不應禮者　往取・屋內・綿
行至舍衛城　建造彼僧園
食堂之喧擾　病人・好臥具
虛構・十七・誰・　如何・分精舍
每房一一分　不欲不分與
境界之外者　以及一切時
臥坐具分三　跋難陀・讚歎
站立・及等座　等座而壞倒
三人與四人　不應等座者
長座與彼二　受用・尊者等
近・分・雞咤山　在阿羅毘國
土塊・壁・門・閂　窗・白色・黑色
紅土子屋頂　接合・橫梁・壞
地牀・二十年　以及三十年
乃至於命終　盡・未作・一切

小舍五・六年　平蓋屋七・八
大舍十・二十　一切之精舍
一人・他人住　僧伽物・境外
一切時・離去　還俗・死・沙彌
捨學・犯極罪　發狂・心散亂
苦受・不見罪　惡見・不懺悔
黃門・賊住者　外道及畜生
殺母與殺父　及殺阿羅漢
污染比丘尼　破和合僧者
出佛之身血　以及二根者
勿使僧伽損　營事可與他
未成者與他　成者屬於彼
離去・還俗・死　自言為沙彌
捨學・犯極罪　若是黃門者
以僧伽為主　發狂・心散亂
苦受・不見罪　惡見・不懺悔
營事屬於彼　黃門・賊住者
外道及畜生　殺母與殺父
及殺阿羅漢　污染比丘尼
破和合僧者　出佛之身血
以及二根者　若是自言者
以僧伽為主　移・他處・疑・壞・
欽婆羅衣・衣　皮・遮伽利衣
布巾・踏・濕足　履踏・唾・搔・靠
靠・搔・及洗・覆　王舍城・不能
粗惡・差食人　如何而以選
知臥坐具人　以及守庫人
受納人・分配　配粥・分果人
分配噉食人　捨瑣細之人
分配浴衣人　以及分鉢人
選使淨人主　及使沙彌人
最勝世間解　慈悲遍導師
靜慮及正觀　救護令安樂

第七　破僧犍度

一

（一）

爾時，世尊住阿奴夷國名為阿奴夷之摩羅種村邑。其時，著名釋種諸童子隨世尊之出家而出家。時，有釋氏摩訶男及釋氏阿那律二兄弟。釋氏阿那律奢侈、柔弱，彼有三〔時〕殿：一為冬、一為夏、一為雨季也。彼於雨季殿四個月，不與男子交往，為樂妓所侍候而不下殿。時，釋氏摩訶男生是念：「今著名釋氏諸童子隨世尊之出家而出家，我等族中尚未有一出家者。如我不爾，阿那律應出家。」時，釋氏摩訶男至釋氏阿那律處。至已，言釋氏阿那律，曰：「今著名釋氏諸童子隨世尊之出家而出家，我等族中尚未有一出家者。汝出家！不然即我出家！」「我柔弱，我不能出家，汝出家！」

（二）

「阿那律！若爾，我為汝說家業。先令耕田，耕田已而令播種，令播種已而令灌溉，令灌溉已而令泄水，令泄水已而令除草，令除草已而令收刈，令收刈已而令收集，令收集已而令堆積，令堆積已而令打之，令打已而令除藁，令除藁已而除稻殼，令除稻殼已而令簸，令簸已而令藏，令藏已，來年亦如是為之，當來之年亦如是為之。」「業不盡，不知業之終。何時業盡，何時知業之終耶？何時我等安易得五妙欲豐足全備而喜樂耶？」「阿那律！業不盡，不知業之終。父、祖父亦皆業未盡而死。」「然，汝知家業，我將離家而出家！」

時，釋氏阿那律至母處。至已，向母言：「母！我欲離家而出家，許我離家而出家。」如是言已，釋氏阿那律之母言阿那律，曰：「阿那律！汝等二人乃我鍾愛悅意之子，〔即使〕汝等死去，我亦不欲離開汝等，何況生而許汝等離家而出家耶？」釋氏阿那律再白母言：「母！我欲離家而出家，請許我離家而出家。」「阿那律！汝等……許……出家耶？」釋氏阿那律三次白母……「……許我離家而出家。」

（三）

爾時，釋氏跋提王統治釋迦族，乃釋氏阿那律之友。時，釋氏阿那律之母念：「此處，釋氏跋提王統治釋迦族，乃釋氏阿那律之友，彼不能離家而出家。」而告釋氏阿那律曰：「阿那律！若釋氏跋提王離家而出家，則汝亦出家！」

時，釋氏阿那律至釋氏跋提王處。至已，言釋氏跋提王：「友！我出家之事為汝所繫。」「友！若汝出家之事為我所繫，則令得無所繫矣！我與汝俱隨意出家！」「我倆俱離家而出家！」「我不能離家而出家。若我能為汝作其餘〔之事〕，當為之。汝出家！」「母告我言：『阿那律！若釋氏跋提王離家而出家，則汝亦出家！』然而汝說此言：『若汝出家之事為我所繫，則令得無所繫矣！我與汝俱隨意出家！』我倆俱離家而出家！」

爾時，人人皆如語而行、如約而行。時，釋氏跋提王言釋氏阿那律曰：「友！待七年，七年過後，我等俱離家而出家！」「七年太久，我不能待七年。」「待六年……乃至……五年……四年……三年……二年……一年。一年過後，我等俱離家而出家！」「一年太久，我不能等一年。」「待七月，七月過後，我等俱離家而出家。」「七月太久，不能待七月。」「待六月……乃至……五月……四月……三月……二月……一月……半月。半月過後……出

家！」「半月太久，不能待半月。」「待七日，其間，王事託付於諸兒及兄弟。」「七日不久，我待之。」

（四）

時，釋氏跋提王、阿那律、阿難、婆咎、金毘羅、提婆達多及剃髮師優波離七人，如往常率領四部兵而出遊園地，如此率領四部兵而出遊。彼等遠行之後，令兵士還歸而出異界，並解下裝身具，包於上衣，言剃髮師優波離：「優波離！歸去！此足資汝之生活。」時，剃髮師優波離將歸而生是念：「諸釋氏若為暴虐，滅諸童子而令殺我。此處，釋氏諸童子將離家而出家，我為何不耶？」彼解行李，掛於樹上，言：「若有見者，則與持去！」往釋氏諸童子處。彼釋氏諸童子見剃髮師優波離從遠處來，見已，言剃髮師優波離曰：「優波離！為何還歸耶？」「諸尊子！我於此處欲歸而生是念：『諸釋氏暴虐……不耶？』諸尊子！我解行李，掛於樹上，言：『若有見者，則與持去！』而還來。」「優波離！汝還來亦善，諸釋氏……令殺汝。」時，彼諸釋氏童子與剃髮師優波離俱詣世尊處。詣已，敬禮世尊而坐一面。諸釋氏童子於一面坐已，言世尊曰：「我等釋氏有驕慢。此處，剃髮師優波離長夜為我等之僕。請世尊先令彼出家，我等向彼敬禮、迎送、合掌、恭敬，如此我等釋氏除釋氏之驕慢。」時，世尊先令剃髮師優波離出家，後令彼諸釋氏童子出家。時，具壽跋提於其雨安居中，現證三明，具壽阿那律生天眼，具壽阿難現證預流果，提婆達多成就異生位之神通。

（五）

爾時，具壽跋提往阿蘭若、樹下、空閑處，常自喜而言：「甚樂哉！甚樂哉！」時，眾多比丘詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。諸比丘於一面坐已，白世尊：「具壽跋提往阿蘭若、樹下、空閑處，常自喜而言：『甚樂哉！甚樂哉！』必是具壽跋提不喜修

梵行，憶念以前王者之安樂，往阿蘭若、樹下、空閑處，常自喜而言：『甚樂哉！甚樂哉！』」

時，世尊告一比丘，曰：「比丘！汝以我語，告跋提比丘，言：『友！跋提！師喚汝。』」「唯！世尊！」彼比丘應諾世尊，至具壽跋提處。至已，言具壽跋提，曰：「友！跋提！師喚汝。」

（六）

「唯！唯！尊者！」具壽跋提應諾彼比丘，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。於一面坐時，世尊言具壽跋提曰：「跋提！汝往阿蘭若、樹下、空閑處，常自喜而言：『甚樂哉！甚樂哉！』是實耶？」「實然！世尊！」「跋提！汝觀何義趣，往阿蘭若、樹下、空閑處，常自喜而言：『甚樂哉！甚樂哉』耶？」「世尊！我以前為王時於後宮中護衛嚴備，於後宮之外亦護衛嚴備，於城內亦護衛嚴備，於城外亦護衛嚴備，於國內亦護衛嚴備。世尊！如此有護衛守護，亦怖畏、厭倦、疑懼、驚惶而住。世尊！今往阿蘭若、樹下、空閑處，無怖畏、厭倦、疑懼、驚惶；無為、安心、安穩而以鹿心而住。世尊！我觀此義趣故，往阿蘭若、樹下、空閑處，常自喜而言：『甚樂哉！甚樂哉！』」時，世尊知此義，於此時，自喜而言：

於內無忿怒　如是越有無
無憂・畏・安樂　諸天不得覩

二

（一）

時，世尊隨意間住阿奴夷國後，向憍賞彌遊行，次第遊行至憍賞彌。於此，世尊住憍賞彌瞿師羅園。時，提婆達多靜居宴默，心生思量：「我能令何人信樂，依其信樂，將多得利養恭敬。」時，

提婆達多生是念：「此處，阿闍世王子幼小，將來有吉祥。我宜使阿闍世王子信樂，依其信樂，將多得利養恭敬。」時，提婆達多收藏臥坐具，持衣、鉢，往王舍城，次第至王舍城。時，提婆達多滅自相，化作童子相，著蛇帶，現於阿闍世王子之膝下。時，阿闍世王子怖畏、厭倦、疑懼、驚愕。時，提婆達多言阿闍世王子，曰：「王子！畏我耶？」「我畏！汝為何人耶？」「我提婆達多也。」「汝若尊者提婆達多，請速現自相！」時，提婆達多滅童子相，持僧伽梨衣及鉢、衣，立於阿闍世王子前。時，阿闍世王子信樂提婆達多之神通神變，朝暮率五百車乘往奉事，並煮五百釜飲食供養之。時，提婆達多為利養、恭敬、名聲所蔽而心亂，生如是欲望：「我將統理比丘眾！」提婆達多生此心時即失彼神通。

（二）

爾時，有名為迦休之拘羅子，為具壽摩訶目犍連之侍者，於近日死亡，生一意所成身，受其身如摩竭國之二、三村田，受其身而無自他之障礙。時，迦休天子至摩訶目犍連處。至已，敬禮具壽摩訶目犍連而立一面。立於一面之迦休天子白具壽摩訶目犍連曰：「尊者！提婆達多為利養、恭敬、名聲所蔽而心亂，生如是欲望：『我將統理比丘眾！』提婆達多生此心時即失彼神通。」迦休天子如是言之。如是言已，敬禮具壽摩訶目犍連，右繞而沒於其處。

時，具壽摩訶目犍連詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐於一面。坐於一面之具壽摩訶目犍連白世尊曰：「世尊！有名為迦休之拘羅子，是我侍者，於近日死亡，生一意所成身，受其身如摩竭國之二、三村田，受其身而無自他之障礙。時，迦休天子至我處，敬禮我而立於一面。立於一面之迦休天子言我曰：『提婆達多……失……。』迦休天子如是言之。如是言已，敬禮我，右繞而沒於其處。」「目犍連！汝以心遍知迦休天子之心，迦休天子所言之一切，知如是而非不如是耶？」「我以心遍知迦休天子之心，迦休天

子所言之一切，知如是而非不如是。」「目犍連！守祕此語！目犍連！守祕此語！今彼愚人自己將現出自己。」

（三）

「目犍連！世間有五種師存在。何者為五耶？目犍連！此處有一師，戒不清淨，自言戒清淨，謂己之戒清淨潔白無染。弟子等如此知：『此尊師戒不清淨，自言戒清淨，謂己之戒清淨潔白無染。若我等以此告諸在家人，彼即不悅，彼所不悅，我等如何語彼，彼以衣服、飲食、臥坐具、病藥資具而受歸向。彼言依其所為而知。』目犍連！如此師之戒防護諸弟子，如此師之戒冀望諸弟子之防護也。」

（四）

「目犍連！此處又有一師，命不清淨，自言命清淨，謂己之命清淨潔白無染。諸弟子如此知：『此尊師命不清淨，自言命清淨，言……無染。若我等以此告諸在家人，彼即不悅……言……知。』目犍連！諸弟子防護如此師之命，如此師之命冀望弟子等之防護也。」

「目犍連！此處又有一師，說法不清淨，自言說法清淨，言己之說法清淨……說法，冀望弟子等之防護也。」

「目犍連！此處又有一師，記說不清淨，自言記說清淨，言己之記說清淨……記說，冀望弟子等之防護也。」

「目犍連！此處又有一師，智見不清淨，自言智見清淨，言己之智見清淨……智見，冀望弟子等之防護也。」

「目犍連！世間有如此五種師存在。」

「目犍連！我戒清淨，自言戒清淨，言我戒清淨潔白無染。諸弟子不防護我戒，我戒不冀望諸弟子之防護。命清淨……說法清淨……記說清淨……智見清淨，自言智見清淨，言我智見清淨潔白無染。諸弟子不防護我智見，我智見不冀望諸弟子之防護。」

（五）

時，世尊隨意間住憍賞彌後，向王舍城遊行，次第遊行至王舍城。於此，世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。時，有眾多比丘，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。坐於一面之諸比丘白世尊曰：「阿闍世王子為提婆達多朝暮率五百車乘往奉事，並煮五百釜飲食供養之。」「諸比丘！勿羨提婆達多之利養、恭敬、名聲。諸比丘！阿闍世王子為提婆達多朝暮率五百車乘往奉事，並煮五百釜飲食供養之。諸比丘！其間提婆達多希求所得，是善法之損減而非增長。諸比丘！猶如欲壞暴惡狗鼻之隆起。諸比丘！若如此，則彼狗之暴惡增大。諸比丘！阿闍世王子如是為提婆達多朝暮率五百車乘往奉事，並煮五百釜飲食之供養，諸比丘！其間提婆達多希求所得，是善法之損減而非增長。諸比丘！提婆達多所得之利養、恭敬、名聲能害己，提婆達多所得之利養、恭敬、名聲能壞己。諸比丘！猶如芭蕉生果而害己，生果而壞己，諸比丘！提婆達多如是所得之利養、恭敬、名聲能害己，提婆達多所得之利養、恭敬、名聲能害己。諸比丘！猶如竹生果而害己，生果而壞己，諸比丘！如此……壞己。諸比丘！猶如蘆生果而害己……壞己。諸比丘！猶如驢受胎而害己，受胎而壞己。諸比丘！如此……壞己。」

芭蕉生果害芭蕉　蘆荀抽芽蘆竹凋
名利貪圖愚損己　驢胎令母日蕭條

———誦品一終
———

三

（一）

爾時，世尊為大會眾所圍繞，坐而說法，王亦參與會眾。時，提婆達多從座而起，偏袒右肩，向世尊處合掌，白世尊曰：「世尊！今世尊衰老、羸弱、老邁、暮年、高齡也。世尊！今，安穩現法樂住，專心住，將比丘眾咐囑我，我統理比丘眾。」「止！提婆達多！勿樂統理比丘眾！」提婆達多二次……提婆達多三次白世尊曰：「今世尊衰老……統理……。」「提婆達多！即舍利弗、目犍連我亦不咐囑比丘眾，何況汝食六年涎唾者耶！」時，提婆達多忿忿不悅而言：「世尊於王參與之集會中，毀訾我為食涎唾者，而讚歎舍利弗、目犍連。」敬禮世尊，右繞而去。此乃提婆達多首次怨恨世尊。

（二）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽於王舍城，為提婆達多行顯示羯磨，言：『提婆達多之本性前與今異，提婆達多身、語之所為，不可視為佛、法、僧，唯可視為提婆達多。』諸比丘！應如是行：應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，則僧伽於王舍城，為提婆達多行顯示羯磨，言：提婆達多之本性……唯可視為提婆達多。是乃表白。

諸大德！請聽我言！僧伽於王舍城，為提婆達多行顯示羯磨，言：提婆達多之本性……唯可視為提婆達多。於王舍城為提婆達多行顯示羯磨，言：提婆達多之本性……唯可視為提婆達多，具壽聽者默然，不聽者請言。……

僧伽已於王舍城為提婆達多行顯示羯磨，言：提婆達多之本性……唯可視為提婆達多。具壽聽故默然，我如是了知。』」

時，世尊告具壽舍利弗曰：「舍利弗！若爾，汝於王舍城，顯示提婆達多！」「前我於王舍城讚歎提婆達多，言：提婆達多有大神通、大威力，我如何於王舍城顯示提婆達多耶？」「舍利弗！汝於王舍城如實讚歎提婆達多，言：提婆達多有大神通、大威力耶？」「真實也。」「舍利弗！如是於王舍城，如實顯示提婆達多！」「唯！世尊！」具壽舍利弗應諾世尊。

（三）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，僧伽選舍利弗，於王舍城顯示提婆達多，言：『提婆達多之本性前與今異……唯可視為提婆達多。』諸比丘！應如是選：應先請舍利弗，請已，應由一聰明賢能之比丘於僧伽中唱言：

『諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，則僧伽選具壽舍利弗，於王舍城顯示提婆達多，言：提婆達多之本性前與今異……唯可視為提婆達多。是乃表白。

諸大德！請聽我言！……具壽聽者……請言。

僧伽已選具壽舍利弗，於王舍城顯示提婆達多，言：提婆達多之本性前與今異……唯可視為提婆達多。具壽聽……知。』」

已被選之具壽舍利弗與眾多比丘俱，入王舍城，於王舍城顯示提婆達多，言：提婆達多之本性前與今異……唯可視為提婆達多。無信、無淨心、劣覺之諸人言：「此諸沙門釋子有嫉妒心，嫉妒提婆達多之利養、恭敬。」有信、有淨心、賢明、有覺之諸人言：「此非小事，世尊於王舍城，令顯示提婆達多也。」

（四）

時，提婆達多至阿闍世王子處。至已，言阿闍世王子曰：「王子！往昔之人長壽而今之人短命，有此預言，汝可能尚為王子時即死矣。王子！若爾，汝殺父而成王，我殺世尊而成佛陀。」

時，阿闍世王子念：「尊者提婆達多有大神通、大威力，尊者提婆達多知〔我所為〕。」晨，腿繫利劍，晨，怖畏、倦厭、疑懼、驚惶而疾入後宮。後宮之侍從大臣等見阿闍世王子，於晨怖畏、倦厭、疑懼、驚惶而疾入後宮，見而捉之。彼等搜尋，見腿繫利劍，言阿闍世王子曰：「王子！汝欲何為耶？」「欲殺父！」「誰教唆汝？」「尊者提婆達多！」一分大臣議論曰：「應殺王子、提婆達多及一切諸比丘。」一分大臣議論曰：「不得殺比丘，諸比丘未犯何等之罪，應殺王子及提婆達多。」一分大臣議論曰：「不得殺王子，亦不得殺提婆達多及諸比丘，應告於王，依王之言行之。」

（五）

時，諸大臣及阿闍世王子俱，至摩竭國洗泥瓶沙王處。至已，諸大臣以此事告摩竭國洗泥瓶沙王。「諸大臣作何議論耶？」「大王！一分大臣議論曰：『應殺王子、提婆達多及一切諸比丘。』一分大臣議論曰：『不得殺諸比丘，諸比丘無犯何等之罪，應殺王子及提婆達多。』一分大臣議論曰：『不得殺王子，亦不得殺提婆達多及諸比丘，應告於王，依王之言行之。』」〔王曰〕：「佛、法、僧以此如何處之？世尊豈非已於王舍城，令顯示提婆達多，言：『提婆達多之本性前與今異……唯可視為提婆達多。』耶？於此，凡議論曰：『應殺王子、提婆達多及一切諸比丘。』之大臣等即免其官，議論曰：『不得殺諸比丘，諸比丘未犯何等之罪，應殺王子及提婆達多。』之大臣等降為下位，議論曰：『不得殺王子，

亦不得殺提婆達多及諸比丘，應告於王，依王之言行之。』之大臣等升為上位。」

時，摩竭國洗泥瓶沙王言阿闍世王子曰：「王子！汝為何欲殺我耶？」「大王！我欲得王位。」「王子！汝若欲得王位，則王位讓與汝。」如是，讓王位與阿闍世王子。

（六）

時，提婆達多至阿闍世王子處。至已，言阿闍世王子曰：「大王！令諸人奪沙門瞿曇之命！」時，阿闍世王子令眾人，曰：「依尊者提婆達多之言行之！」

時，提婆達多令一人，言：「友！往沙門瞿曇住之某處，奪其命，從此道回來！」令二人於其道站立，言：「此道若有一人來，即奪其命，從此道回來！」令四人於其道站立，言：「此道若有二人來，即奪其命，從此道回來！」令八人於其道站立，言：「此道若有四人來，即奪其命，從此道回來！」令十六人於其道站立，言：「此道若有八人來，即奪其命而回來！」

（七）

時，彼一人取劍與楯，裝弓與箙，詣世尊在處，詣已，於世尊之附近而怖畏、倦厭、疑懼、驚惶，身硬直而立。世尊見彼人怖畏、倦厭、疑懼、驚惶，身硬直而立，見而言彼人曰：「友！勿怖畏！」時，彼人置劍、楯於一面，亦捨弓、箙，詣世尊在處。詣已，頭面禮世尊足，白世尊：「我犯過，猶如愚人、癡者、不善者，我有惡心、害心而詣此處。世尊！請受我之過，以攝未來。」「友！實然！汝犯過，猶如愚者、癡者、不善者，汝有惡心、害心而詣此處。然！友！汝見過是過，如法懺悔故，我受此等。友！此，是增長聖者之律，見過是過，如法懺悔，故攝未來也。」

時，世尊為彼人次第而說，〔謂：〕施論、戒論、生天論、諸欲過患、邪害、雜染、出離之功德……苦、集、滅、道也。如清淨而無緇斑之原布受正色，如此彼人亦於其座，生遠塵離垢之法眼，〔謂：〕凡有集法者，皆有此滅法。

時，彼人已見法、得法、知法、悟入法、超越疑惑、棄除猶豫、得無畏，以行師教不依他緣，白世尊曰：「妙哉！妙哉！如令倒者起，令覆者現，為迷者指示道路，亦如於暗中揭舉燈火，令具眼者見色，如此，世尊以種種方便顯示法。我於此處歸依世尊、法及比丘眾。願世尊容我自今日起乃至命終歸依為優婆塞。」

時，世尊告彼人曰：「友！勿從此道往，由此道往！」由其他之道離去。

（八）

時，彼二人言：「為何彼一人遲來耶？」逆行而見世尊坐於樹下，見已，詣世尊在處。詣已，敬禮世尊而坐一面。世尊為彼等次第說法……以行師教不依他緣，白世尊曰：「妙哉……願世尊容我等自今日起至命終歸依為優婆塞。」

時，世尊告彼等曰：「友等！汝等勿從此道往，由此道往！」由其他之道離去。

時，彼四人言：「為何彼二人遲來耶？」……由其他之道離去。

時，彼八人言：「為何彼四人遲來耶？」……由其他之道離去。

時，彼十六人言：「為何彼八人遲來耶？」……「……至命終歸依……。」

（九）

時，彼一人至提婆達多處。至已，言提婆達多曰：「我不能奪彼世尊之命，彼世尊有大神通、大威力。」「友！止！汝不得奪沙門瞿曇之命，我自奪沙門瞿曇之命。」

爾時，世尊於耆闍崛山之背後經行。時，提婆達多登耆闍崛山上，擲下大石，念：「此，奪沙門瞿曇之命。」兩山峯會合，支撐彼石，石片飛落，世尊之足出血。時，世尊仰〔頭〕，告提婆達多曰：「愚人！汝有惡心、害心，出如來之身血，汝多積非福。」時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！於此，提婆達多始得無間業，有惡心、害心，出如來之身血。」

（一〇）

諸比丘聞：「提婆達多將圖害世尊！」於此，彼諸比丘圍繞世尊之精舍，經行，高聲、大聲讀誦，以守護、保護、衛護世尊。世尊聞高聲、大聲之讀誦聲。聞而告具壽阿難曰：「阿難！為何有高聲、大聲之讀誦聲耶？」「諸比丘聞：『提婆達多將圖害世尊！』於此處，彼諸比丘圍繞世尊之精舍……守護、保護、衛護世尊。世尊！是諸比丘高聲、大聲之讀誦聲。」「阿難！若然，以我語告彼諸比丘：『師喚諸具壽！』」「唯！世尊！」具壽阿難應諾世尊，至彼諸比丘處。至已，告彼諸比丘曰：「師喚諸具壽！」「唯！友！」彼諸比丘應諾具壽阿難，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。於一面坐時，世尊告彼諸比丘曰：「諸比丘！無理亦無機，以暴力奪如來之命。諸比丘！如來不因被攻擊而般涅槃。諸比丘！世間有五種師存在……〔參照第七　破僧犍度二（三）～（四）。『目犍連！』改為『諸比丘！』。〕……我不希冀諸弟子之防護。諸比丘！無理亦無機，以暴力奪如來之命。諸比丘！如來不因被攻擊而般涅槃。諸比丘！各往己之精舍，諸比丘！如來非應防護。」

（一一）

爾時，王舍城有名為那羅祇梨象，凶惡能殺人。時，提婆達多入王舍城，往象廄，言諸象師曰：「我等王族將下位者置於上位，能令增大飲食、俸給。若然，沙門瞿曇入此道時，放此那羅祇梨象令入此大道！」「唯！唯！尊者！」彼諸象師應諾提婆達多。

時，世尊晨著下裳，持衣、鉢，與眾多比丘俱，為乞食而入王舍城。時，世尊入彼道路。彼諸象師見世尊入彼道路，見而放那羅祇梨象入彼大道。那羅祇梨象見世尊從遠處而來，見而舉鼻，豎立耳、尾，靠近世尊。彼諸比丘見那羅祇梨象從遠處而來，見而白世尊曰：「世尊！此那羅祇梨象凶惡能殺人，已入此道。世尊！請退！善逝！請退！」「諸比丘！勿畏懼！諸比丘！無理……般涅槃。」彼諸比丘二次……彼諸比丘三次白世尊曰：「世尊！此那羅祇梨象……善逝！請退！」「諸比丘！……般涅槃。」

（一二）

爾時，諸人上殿樓、樓房、屋頂而見。此處，無信、無淨心、劣覺之眾人言：「端嚴大沙門將被象所害。」有信、有淨心、賢明、有覺之眾人言：「久矣！龍象與龍象相會。」時，世尊以慈心遍滿那羅祇梨象。時，那羅祇梨象遍滿世尊之慈心，垂鼻而詣世尊處。詣已，立於世尊前。時，世尊以右手摩那羅祇梨象之面瘤，以偈言那羅祇梨象：

象勿對抗龍象　象抗龍象者苦
象若殺害龍象　後世不得善趣
勿醉狂勿放逸　放逸不得善趣
汝應勿如是作　汝將往於善趣

時，那羅祇梨象以鼻取世尊之足塵，散於頭上，屈膝而退，一直注視世尊。時，那羅祇梨象往象廄，立於己處。如是，那羅祇梨

象變為溫馴。

爾時，諸人唱偈：

人用杖・鉤・鞭而調禦之
大仙不用刀杖而象伏

（一三）

眾人忿怒、非難：「甚哉！此提婆達多乃邪惡不祥者，謀殺如是有大神通、大威力之沙門瞿曇。」因此故，提婆達多之恭敬、利養減少，而世尊之恭敬、利養增多。

爾時，提婆達多因減少恭敬、利養，與眾俱，於家家求食。眾人忿怒、非難：「何以諸沙門釋子家家求食耶？誰不悅善成就？誰不喜美味？」諸比丘聞彼眾人之忿怒、非難。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以提婆達多與眾俱，於家家求食耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「提婆達多！汝實與眾俱於家家求食耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，依三義趣，制立諸比丘於家家三人共食：為折伏無羞恥人，為善行比丘之樂住，為不使有惡欲者依止徒黨而破僧伽，為哀愍俗家。眾人共食者，當如法治之。」

（一四）

時，提婆達多至俱伽梨、迦留羅提舍、乾陀驃、三聞達多之處。至已，言俱伽梨、迦留羅提舍、乾陀驃、三聞達多，曰：「諸友！我等破沙門瞿曇之僧伽、破〔法〕輪。」如是言時，俱伽梨言提婆達多，曰：「友！沙門瞿曇有大神通、大威力，我等如何破沙門瞿曇之僧伽、破〔法〕輪耶？」「諸友！我等至沙門瞿曇處，請求五事，曰：『世尊以無數之方便，讚歎少欲、知足、漸損〔諸惡〕、頭陀、淨信、損減〔諸障〕、精進。此處有五事，以無數之

方便，資益少欲、知足、漸損〔諸惡〕、頭陀、淨信、損減〔諸障〕、精進，即願：諸比丘盡形壽當住林，若入村邑者有罪；盡形壽當乞食，受請食者有罪；盡形壽當著糞掃衣，受居士衣者有罪；盡形壽當坐樹下，至屋內者有罪；盡形壽當不食魚肉，食魚肉者有罪。』沙門瞿曇不許此五事，我等以此五事告眾人。諸友！以此五事得破沙門瞿曇之僧伽、破〔法〕輪。諸友！眾人因信樂樸實。」

（一五）

時，提婆達多與眾俱詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。於一面坐之提婆達多白世尊曰：「世尊以無數方便，讚歎少欲……食魚肉者有罪。」「止！提婆達多！若欲常時住林者住林，若欲住村邑者住村邑，若欲常時乞食者當乞食，若欲受請食者當受請食，若欲常時著糞掃衣者著之，若欲受居士衣者當受之。提婆達多！我許八月坐臥樹下，許不見、不聞、不疑三事之清淨魚肉。」

時，提婆達多〔知〕「世尊不許此五事」，歡喜踊躍，與眾俱起座，敬禮世尊，右繞而去。

時，提婆達多與眾俱入王舍城，以五事告眾人，曰：「諸友！我等至沙門瞿曇處，請求五事，曰：『世尊以無數方便，讚歎少欲……食魚肉者有罪。』沙門瞿曇不許此五事。我等受持此五事。」

（一六）

此處無信、無淨心、劣覺之眾人言：「此諸沙門釋子行頭陀、漸損而住，沙門瞿曇奢侈而念奢侈。」有信、有淨心、賢明、有覺之眾人，忿怒，非難：「何以提婆達多企圖破世尊之僧伽、破〔法〕輪耶？」

時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「提婆達多！汝實企圖破僧伽、破〔法〕輪耶？」「實然！世尊！」「止！提婆達多！勿喜破僧。提婆達多！破僧乃重〔罪〕。提婆達多！若破和合僧者，積一劫之罪過，一劫於地獄受煎煮。提婆達多！能使已破僧伽和合者，積一劫之梵福，享樂於天上。止！提婆達多！勿喜破僧，提婆達多！破僧乃重〔罪〕。」

（一七）

時，具壽阿難晨著下裳，持衣、鉢，為乞食入王舍城。提婆達多見具壽阿難為乞食行於王舍城，見而至具壽阿難處。至已，言具壽阿難曰：「阿難！我從今日起離開世尊、比丘眾，行布薩，行僧伽之羯磨。」時，具壽阿難於王舍城行乞食已，食後從乞食還歸，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。於一面坐之具壽阿難白世尊曰：「我於此處，晨著下裳，持衣、鉢，為乞食而入王舍城，正為乞食行於王舍城時，提婆達多遇見我，見已而至我處言：『阿難！我從今日……行僧伽之羯磨。』提婆達多今日破僧伽。」時，世尊知此事，於此時，自說感興語：

善人為善易
惡人為善難
惡人為惡易
聖者為惡難

———誦品二終———

四

（一）

時，是日行布薩。提婆達多從座而起，令取籌，曰：「諸友！我等至沙門瞿曇處，請求五事，曰：『世尊以無數之方便，讚歎少欲……食魚肉者有罪。』沙門瞿曇不許此五事。我等持此五事而住。具壽忍此五事者請取籌！」

時，毘舍離之跋耆子有比丘五百人，新出家而不明辨事。彼等思此是法、律、師教而取籌。時，提婆達多破僧伽，率五百比丘向象頭山去。

時，舍利弗、目犍連詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。於一面坐之具壽舍利弗白世尊曰：「提婆達多破僧伽，率五百比丘向象頭山去。」「舍利弗等！汝等於新出家之比丘豈無悲心耶？舍利弗等！彼諸比丘尚未墮懊惱時汝等往！」「唯！唯！世尊！」舍利弗、目犍連應諾世尊，從座而起，敬禮世尊，右繞而去，至象頭山。

爾時，有一比丘，於世尊近處，啼泣而立。時，世尊言彼比丘，曰：「比丘！汝為何啼泣耶？」「世尊！舍利弗、目犍連是世尊第一弟子，甚且往提婆達多之處，喜提婆達多之法。」「比丘！舍利弗、目犍連喜提婆達多之法，無理亦無機。彼等乃為說服諸比丘而往之也。」

（二）

爾時，提婆達多被大眾圍繞，坐而說法。提婆達多見舍利弗、目犍連從遠處來，見而告諸比丘曰：「諸比丘！看！我如此之善說法，舍利弗、目犍連是沙門瞿曇之第一弟子，甚且喜我法而來我處。」如是言已，俱伽梨言提婆達多，曰：「提婆達多！勿信賴舍利弗、目犍連！舍利弗、目犍連有惡欲，隨惡欲。」「止！友！彼等善來，是喜我法也。」

時，提婆達多分半座與具壽舍利弗，招請曰：「舍利弗！坐此處。」「止！友！」具壽舍利弗取另一座而坐於一面。具壽目犍連亦取另一座而坐於一面。

時，提婆達多於夜分多為諸比丘說法、教示、勸導、獎勵、令歡喜，勸請具壽舍利弗曰：「舍利弗！比丘眾已離惛沈、睡眠，舍利弗！為諸比丘說法！我背痛，我將休息。」「唯！唯！尊者！」具壽舍利弗應諾提婆達多。時，提婆達多將僧伽梨四疊，右脇而臥。彼極疲倦而妄念不正知，須臾即入睡矣！

（三）

時，具壽舍利弗以記心神變教誡之說法，教誡、教導諸比丘。具壽摩訶目犍連以神通神變教誡之說法，教誡、教導諸比丘。時，諸比丘依具壽舍利弗之記心神變教誡及摩訶目犍連之神通神變教誡，受教誡、教導，得遠塵離垢之法眼，〔謂：〕凡為集法者，皆有此滅法。時，具壽舍利弗告諸比丘曰：「諸友！我等往世尊處，喜世尊之法者來！」時，舍利弗、目犍連同彼五百比丘俱至竹林。

時，俱伽梨喚起提婆達多，曰：「提婆達多！舍利弗、目犍連率彼諸比丘去矣！提婆達多！我豈非與汝言：『提婆達多！勿信賴舍利弗、目犍連，舍利弗、目犍連有惡欲，隨惡欲。』」時，提婆達多即於其處口吐熱血。

（四）

時，舍利弗、目犍連詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。於一面坐已，具壽舍利弗白世尊曰：「世尊！願隨破〔僧〕者之諸比丘更令受具足戒。」「止！舍利弗！勿樂使隨破〔僧〕者之諸比丘更受具足戒。舍利弗！若爾，令隨破〔僧〕者之諸比丘悔過偷蘭遮。舍利弗！提婆達多如何對汝耶？」「世尊！於夜分多為諸比丘

說法、教示、勸導、獎勵、令歡喜，勸請我曰：『舍利弗！比丘眾已離惛沈、睡眠，舍利弗！為諸比丘說法！我背痛，我將休息。』提婆達多如是為也。」

（五）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！過去世於空閑處有大池水。眾象依此而住，彼等入其池水，以鼻拔取蓮根，善洗去泥而嚼食之。彼等因此得光澤、氣力，而不致死，不受致死之苦。諸比丘！有諸小象倣彼等大象，小象入池水，以鼻拔取蓮根，不善洗之，帶泥而嚼食之。彼等因此不得光澤、氣力，致死，受致死之苦。諸比丘！提婆達多如此倣我，困苦而死。」

徹夜水中大龍　搖大地而食藕
若食泥之小象　倣我困苦而死

（六）

「諸比丘！具足八分之比丘適受使命往之。何者為八？諸比丘！此處有比丘，能聞、能說、能學、能持、能解、能令解、善巧於〔知〕善伴及非善伴、不鬥諍。諸比丘！具足如此八分之比丘適受使命往之。諸比丘！具足八分之舍利弗適受使命往之。何者為八？於此，舍利弗能聞、能說……不鬥諍。諸比丘！具足如此八分之舍利弗適受使命往之。」

暴言集會往不懼　經言不失教不覆
說無疑惑問不忿　此比丘適受命赴

（七）

「諸比丘！為八非法蔽覆於心之提婆達多，墮惡趣地獄，住一劫不得救。何者為八？諸比丘！提婆達多為利而蔽覆於心，墮惡趣地獄，住一劫不得救。……衰……稱……譏……敬……不敬……惡

欲……惡友〔等〕蔽覆……不得救。諸比丘！為如此八非法蔽覆……不得救。諸比丘！須應敗已生之利而住，應敗已生之衰、已生之稱、已生之譏、已生之敬、已生之不敬、已生之惡欲、已生之惡友而住。諸比丘！依何義趣故，比丘應敗已生之利而住？應敗已生之衰……已生之惡友而住？諸比丘！不敗已生之利而住者，必生苦惱熱煩諸漏，敗已生之利而住者，如此不生苦惱熱煩諸漏。諸比丘！不敗已生之衰……已生之惡友而住者，必生苦惱熱煩諸漏，敗已生之惡友而住者，如此不生苦惱熱煩諸漏。諸比丘！依此義趣故，比丘應敗已生之利而住，應敗已生之衰……已生之惡友而住。故，諸比丘！如此，應當學習：『我等敗已生之利而住，敗已生之衰……已生之惡友而住。』」

「諸比丘！為三非法蔽覆於心之提婆達多，墮惡趣地獄，住一劫不得救。何者為三？〔謂：〕惡欲，惡友，證得下劣之殊勝故於中途而廢也。諸比丘！如此為三非法蔽覆……不得救。」

（八）

勿令惡欲者　生於此世間
依今所說知　惡欲者所趣
聞提婆達多　稱知為賢者
讚為已修性　而名聲赫赫
彼放逸惡行　彼輕侮如來
墮於恐怖處　無間之地獄
其為有四門　於無污意者
及無惡業者　不能障害之
為邪惡所蔽　惡心無敬者
雖想以毒壺　染污於大海
無以污染之　海大可怖畏
如此佛如來　成就心寂靜
以論損害之　其論不增長
賢者應友之　並伺於此人
若隨此人道　比丘得苦滅

五

（一）

時，具壽優波離詣世尊處。詣已，敬禮世尊而坐一面。於一面坐已，具壽優波離白世尊曰：「名為僧諍，僧諍者，何為僧諍而非破僧耶？何為僧諍亦為破僧耶？」「優波離！於一方有一人，於他方有二人，第四人唱言而令取籌，言：『此是法，此是律，此是師教，取此，信樂此！』優波離！如此者乃僧諍而非破僧。優波離！於一方有二人，於他方有二人，第五人唱言而……優波離！於一方有二人，於他方有三人，第六人唱言而……優波離！於一方有三人，於他方有三人，第七人唱言而……優波離！於一方有三人，於他方有四人，第八人唱言而令取籌，言：『此是法，此是律，此是師教，取此，信樂此！』優波離！如此者乃僧諍而非破僧。優波離！於一方有四人，於他方有四人，第九人唱言而……優波離！如此者乃僧諍亦為破僧。優波離！九人或超過九人乃僧諍亦為破僧。優波離！比丘尼雖圖破〔僧〕但非破僧。式叉摩那……沙彌……沙彌尼……優婆塞……優婆夷雖圖破〔僧〕但非破僧。優波離！同住而同境界之真實比丘，破僧。」

（二）

「破僧，名為破僧者，以何為破僧耶？」「優波離！此處有諸比丘，說非法為法，說法為非法，說非律為律，說律為非律，說非如來所說所言為如來所說所言，說如來所說所言為非如來所說所言，說非如來常所行法為如來常所行法，說如來常所行法為非如來常所行法，說非如來所制為如來所制，說如來所制為非如來所制，說無罪為罪，說罪為無罪，說輕罪為重罪，說重罪為輕罪，說有餘罪為無餘罪，說無餘罪為有餘罪，說粗罪為非粗罪，說非粗罪為粗

罪。彼等以此十八事，誘惑而行不共布薩，行不共自恣，行不共僧伽羯磨。優波離！此為破僧也。」

（三）

「僧和合，名為僧和合者，以何為僧和合耶？」「優波離！此處有諸比丘，說非法為非法，說法為法……說非粗罪為非粗罪。彼等以此十八事，不誘惑，不行不共布薩，不行不共自恣，不行不共僧伽羯磨。優波離！此為僧和合也。」

（四）

「破和合僧者，積何耶？」「優波離！破和合僧者，積一劫住之罪過，一劫於地獄煎煮。」

破僧者惡趣　地獄住一劫
喜部眾非法　不得安穩住
破和合僧者　一劫地獄煎

「若令破僧和合者，積何耶？」「優波離！若令破僧和合者，積梵福，一劫於天上受樂。」

僧伽之和合　攝受者悅樂
和合住法者　不以失安穩
令僧和合者　一劫樂天上

（五）

「有破僧者，往惡趣地獄，住一劫不得救者耶？」「優波離！有破僧者，往惡趣地獄，住一劫不得救者也。」「有破僧者，不往惡趣地獄，不住一劫而得救者耶？」「優波離！有破僧者，不往惡趣地獄，不住一劫而得救者也。」

「如何之破僧者，往惡趣地獄，住一劫而不得救耶？」「優波離！此處有比丘，說非法為法，見此為非法，見破〔僧〕為非法，堅持見，堅持忍，堅持喜，堅持修，唱言而令取籌，言：『此是法，此是律，此是師教，取此，信樂此！』優波離！如此破僧者往惡趣地獄，住一劫，不得救。優波離！又，有比丘，說非法為法，見此為非法，見破〔僧〕為法……不得救。優波離！又，有比丘，說非法為法，見此為法，於破〔僧〕生疑……見此為法，見破〔僧〕為非法……見此為法，於破〔僧〕生疑……於此生疑，見破〔僧〕為非法……於此生疑，見破〔僧〕為法……於此生疑，於破〔僧〕生疑……不得救也。」

（六）

「如何之破僧者不往惡趣地獄，不住一劫而得救耶？」「優波離！此處有比丘，說非法為法，見此為法，見破〔僧〕為法，不堅持見，不堅持忍，不堅持喜，不堅持修，唱言而令取籌，言：『此是法，此是律，此是師教，取此，信樂此！』優波離！如此破僧者不往惡趣地獄，不住一劫而可得救。優波離！又說法為非法……說非粗罪為粗罪，見此為法，見破〔僧〕為法……得救。」

———誦品三終———

———破僧犍度終———

此攝頌曰：

阿奴夷・著名　柔弱不出家
耕・種・灌溉水　排水・及除草
刈・收・堆・打穀　除藁・糠・簸・藏
父至於祖父　未來亦不盡

跋提・阿那律　阿難及婆咎
乃至金毘羅　釋子性驕慢
憍賞彌・失通　迦休・顯示之
父・人・羅祇梨　三人之共食
五事及重罪　破僧・偷蘭遮
至三種八分　三非法僧諍
破僧及有無

第八　儀法犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。爾時，諸客比丘著履入僧園，持傘蓋入僧園，覆〔頭〕入僧園，頭上頂衣入僧園，以飲用水洗足，不敬禮年長舊比丘，不問臥坐處。

有一客比丘，取下無住精舍之楔，開門急速而入，蛇從樑上落其肩，彼恐怖而高聲驚叫。諸比丘奔來，言彼比丘曰：「友！何以高聲驚叫耶？」時，彼比丘以此事告諸比丘。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以客比丘著履入僧園，持傘蓋入僧園……以飲用水洗足，不敬禮年長舊比丘，不問臥坐處耶？」時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸客比丘實著履入僧園，持傘蓋入僧園……不問臥坐處耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！為何諸客比丘著履入僧園……不問臥坐處耶？諸比丘！此令未信者……」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立客比丘之儀法，令客比丘如是行。」

（二）

「諸比丘！客比丘將入僧園時，應脫履放下，叩而持之，收傘蓋，解開頭上〔覆巾〕，置衣於肩，善緩而入僧園。若入僧園，應觀察諸舊比丘退居何處。應往諸舊比丘退居之勤行堂、廷堂、樹下，於一邊置鉢，於一邊置衣，應取適當之座而坐。應問飲用水，問洗用水，言：『何者飲用水耶？何者洗用水耶？』若需飲用水者，即取而飲；若需洗用水者，可取洗用水而洗足。洗足時應一手潑水而一手洗足，不可以潑水之手洗足。應問拭履布而拭履。拭履

時應先以乾布擦，而後以濕布拭之。拭履布洗後，應置於一邊。若為年長舊比丘者應敬禮，若為新參者應令敬禮。應問臥坐處，言：『得何臥坐處耶？』應問有住、無住。應問親近處，應問非親近處。應問學地認定家。應問大便處。應問小便處。應問飲用水。應問洗淨水。應問杖。應問僧伽之集會處，是何時入何時出。」

（三）

「若精舍無住者，應叩其門，待須臾之後，取楔，開門，立於外窺之。若精舍塵污，牀置於牀，小牀置於小牀，臥坐具積於上方，若能者應善淨之。淨精舍時應先取出地上之敷具，置於一邊。應取牀腳置於一邊。應取出褥與枕置於一邊，取出坐具之敷具置於一邊，牀放低，不摩擦門、楣而善取出置於一邊，小牀放低，不摩擦門、楣而善取出置於一邊，取出唾壺置於一邊，取出靠板置於一邊。若精舍有蛛網，應觀察後始拂之。門窗及屋內角落應掃除。若塗紅土子之壁有塵污者，應濕雜布而拭之。若所作地是黑色有塵污者，應濕雜布而拭之。若非工作之地，應灑水而清掃之，不使精舍為塵所污。集塵應棄於一邊。」

（四）

「地上之敷具應曬乾、淨之、拍之，搬入而設置如故。牀腳應曬乾、清洗，搬入而設置如故。牀應曬乾、淨之、拍之，放低而不摩擦門及楣，善巧搬入而設置如故。小牀應曬乾、淨之、拍之，放低而不摩擦門及楣，善巧搬入而設置如故。褥與枕應曬乾、淨之、拍之，搬入而設置如故。坐具之敷具應曬乾、淨之、拍之，搬入而設置如故。唾壺應曬乾、拭之，搬入而設置如故。靠板應曬乾、掃之，搬入而設置如故。」

（五）

「應收藏鉢。收藏鉢時應一手取鉢，他手摩觸牀或小牀後而收藏鉢，鉢不得置於露地。收藏上衣時應一手取上衣，他手拂衣架或衣繩，端外、襞內而收藏之。」

「若由東方吹來有塵之風即閉東窗，若由西方……由北方……由南方吹來有塵之風即閉南窗。若寒時應晝開窗夜關之，若暑時應日閉窗夜開之。」

「若僧房受灰塵所污，應清掃之。若門樓受灰塵所污，應清掃之。若勤行堂受灰塵所污，應清掃之。若火堂受灰塵所污，應清掃之。若廁房受灰塵所污，應清掃之。若無飲用水，應備之。若無洗用水，應備之。若洗淨瓶無水，應注水。」

「諸比丘！此為客比丘之儀法，客比丘當如是行。」

二

（一）

爾時，舊比丘見客比丘時，不設牀座，不置洗足水、足臺、足布，不迎接而取鉢、衣，不問要水否，不敬禮年長客比丘，不設置臥坐處。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何舊比丘見客比丘時，不設牀座……不設置臥坐處耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……實耶？」「世尊！實然！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立舊比丘之儀法，令舊比丘如是行。」

（二）

「諸比丘！舊比丘見年長客比丘時，應設座，應置洗足水、足臺、足布，應迎接而取鉢、衣，問要水否。若能，則應為之拭履。拭履時先以乾布擦而後以濕布拭之。拭履布洗後應置於一邊。應敬

禮客比丘。應設臥坐處而言：『此為汝之臥坐處。』應告有住、無住。應告親近處。應告非親近處。應告學地認定家。應告大便處。應告小便處。應告飲用水。應告洗淨水。應告杖。應告僧伽之集會處，是何時入何時出。」

（三）

「若為新參比丘，則坐而告之：『此處置鉢，此處置上衣，坐於此處。』應告飲用水。應告洗用水。應告拭履布。應令客比丘敬禮。應告臥坐處而言：『此是汝之臥坐處。』應告有住、無住。應告親近處……何時出。」

「諸比丘！此為舊比丘之儀法，舊比丘當如是行。」

三

（一）

爾時，遠行諸比丘不收藏木具、土具，不關門、窗，不託臥坐處而離去。因而損失木具、土具，臥坐處無護。諸比丘中少欲者……非難：「為何遠行諸比丘……離去耶？因而木具、土具損失，臥坐處無護耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立遠行比丘之儀法，令遠行比丘如是行。」

（二）

「諸比丘！遠行比丘應收藏木具、土具，關門、窗，託臥坐處而離去。若無比丘者當託沙彌。若無沙彌者當託守園人。若無比丘、沙彌、守園人，則應將牀置於四石上，以牀疊牀，小牀疊小牀，臥坐具積於上方，收藏木具、土具，關門、窗而離去。」

（三）

「精舍若漏雨者，若能，則應修繕。或盡力令〔人〕修繕精舍。若如此而得者則善，若不得則於雨不漏處，將牀置於四石上，以牀疊牀，小牀疊小牀，臥坐具積於上方，收藏木具、土具，關門、窗而離去。全精舍若〔處處〕漏雨者，若能，則搬臥坐具至村邑，或盡力令〔人〕將臥坐具搬至村邑。若如此而得則善，若不得則於露地，將牀置於四石上，以牀疊牀，小牀疊小牀，臥坐具積於上方，收藏木具、土具，願求可留一分，餘分以草、葉覆而離去。」

「諸比丘！此為遠行比丘之儀法，遠行比丘當如是行。」

四

（一）

爾時，諸比丘於食堂不隨喜〔示謝〕。眾人忿怒、非難：「為何沙門釋子於食堂不隨喜〔示謝〕耶？」諸比丘聞彼眾人之……非難。時，彼諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許於食堂隨喜〔示謝〕。」

時，諸比丘生是念：「何人於食堂應隨喜〔示謝〕耶？」彼等以此事白世尊。時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許長老比丘於食堂隨喜〔示謝〕。」

爾時，一群人行僧次食，具壽舍利弗乃僧伽之長老。諸比丘言：「世尊許長老比丘於食堂隨喜〔示謝〕。」唯留具壽舍利弗一人而離去。時，具壽舍利弗謝彼眾人後而獨往。世尊見具壽舍利弗從遠處而來，見而告具壽舍利弗曰：「舍利弗！食豐富耶？」「食豐富。然而，諸比丘唯留我一人而離去。」時，世尊以是因緣，於

此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許四、五位長老隨長老比丘，於食堂等待。」爾時，有一長老，於食堂待大小便，彼忍大便而昏倒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若有事時，許告知次後比丘而離去。」

（二）

爾時，六群比丘上衣下裳不整齊，威儀不具足而往食堂，並由傍出而行於長老諸比丘之前，推擠長老諸比丘而坐，奪新參諸比丘之座，展僧伽梨而於屋內坐。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以六群比丘上衣下裳……往……坐……奪……坐耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘實上衣下裳……坐耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立諸比丘之食堂儀法，令諸比丘於食堂行之。」

（三）

「若於僧園，告時至之時，則應覆三輪，遍著下裳，結腰帶，疊纏僧伽梨，結紐，洗鉢而持之，善緩而入村邑。不得傍出而行於諸長老比丘之前。善覆身而往屋內，善攝身而往屋內。眼應向地而往屋內，不得偏舉衣而往屋內。不得戲笑而往屋內。不得高聲而往屋內。不得搖身而往屋內。不得搖臂而往屋內。不得搖頭而往屋內。不得叉腰而往屋內。不得覆頭而往屋內。不得蹲行而往屋內。應善覆身坐於屋內。坐於屋內應善攝身。坐於屋內眼應向地。坐於屋內不得偏舉衣，坐於屋內不得戲笑，坐於屋內不得高聲，坐於屋內不得搖身，坐於屋內不得搖臂，坐於屋內不得搖頭，坐於屋內不得叉腰，坐於屋內不得覆頭，坐於屋內不得抱肩，不得推擠諸長老比丘而坐，不得奪新參比丘之座，於屋內坐不得展僧伽梨。」

（四）

「受水時兩手持鉢而受之，將鉢放下，善緩而善洗。若有受水者，將鉢放下，注水於受水器，水不得潑及受水者，水不得潑及周圍諸比丘，水不得潑及僧伽梨。若無受水者，將鉢放下，注水於地上，水不得潑及周圍諸比丘，水不得潑及僧伽梨。受飯時兩手持鉢而受飯。留羹之空位。若有酥、油、加味物，長老應說：『均等供給一切人！』恭敬而受食，想念鉢而受食，應等羹而受食。受不溢鉢之食。一切人未全受飯，長老不得食。」

（五）

「應恭敬而進食。應想念鉢而進食。應順次進食。應食等羹食。不得將食物堆中央而食。不得欲得更多羹、加味物，而以飯覆之。不得為己乞羹、飯而食，然病者除外。不得有嫌心而視他人之鉢。不得作過大飯丸。應作圓形之食。未持近飯丸口不得開。食時手不得全入口中。不得口含飯而說話。不得將食投入口而食。不得弄散飯丸而食，不得脹頰而食。不得搖手而食。不得撒飯粒而食。不得吐舌而食。不得嗄嗄作聲而食。不得作聲而吸食。不得舐手而食。不得舐鉢而食。不得舐唇而食。不得以污手取水瓶。」

（六）

「一切人未食已，長老不得受水。受水時兩手持鉢而受之。將鉢放下，善緩而洗鉢。若有受水者，將鉢放下，注水於受水器，水不得潑及受水者，水不得潑及周圍諸比丘，水不得潑及僧伽梨。若無受水者，將鉢放下，注水於地上，水不得潑及周圍諸比丘，水不得潑及僧伽梨。有飯粒之鉢水，不得棄於屋內。歸還時，新參比丘在前，長老比丘在後。善覆身而往屋內。善攝身……不得蹲行而往屋內。

諸比丘！此為諸比丘之食堂儀法，諸比丘於食堂當如是行。」

———誦品一終
———

五

（一）

爾時，乞食諸比丘上衣下裳不整齊，威儀不具足而往乞食。不視察而入人家，不視察而出，急速而入亦急速而出，立於過遠或立於過近，立之甚久，甚速而還。

有一乞食比丘，不視察而入人家，作門想而入內室。其內室有婦女，裸體仰臥。彼比丘見彼婦裸體而仰臥，見而知此非門而是內室，由內室出。彼婦之夫見彼婦裸體仰臥，見而念：此比丘染污我婦，捉打彼比丘。時，彼婦因聲而醒覺，言彼夫曰：「賢夫！為何打此比丘耶？」「此比丘染污汝。」「賢夫！此比丘未染污我，此比丘無過。」如此，令放彼比丘。時，彼比丘往僧園，以此事告諸比丘。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「為何乞食比丘上衣下裳不整齊……而往乞食，不視察……入……出……立……甚速而還耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立乞食比丘之儀法，令諸乞食比丘如是行。」

（二）

「諸比丘！乞食比丘將入村邑時，應披覆三輪，遍著下裳，結腰帶，疊纏僧伽梨，結紐，將鉢洗淨而持之，善緩而入村邑。應善覆其身而往屋內……〔同第八　儀法犍度四（三）〕……不得蹲行而往屋內。入人家時應視察由此處入而由此處出。不得急速而入。不得急速而出。不得立於過遠。不得立於過近。不得立之甚久。不得甚速而還。立時應觀察願與食或不願與食，若放下業事，從座而

起，摩觸湯匙，摩觸或放置器皿，若似欲與者，則仍站立。受食之時，以左手披僧伽梨，右手出示鉢，兩手持鉢而受食，不得視施食者顏面。應觀察欲與或不欲與羹，若摩觸湯匙，摩觸或放置器皿，若似欲與者，則仍站立。已受食時，應以僧伽梨覆鉢，善緩而還。應善覆身而往屋內……不得蹲行而往屋內。」

（三）

「從村邑乞食先還者，應設牀座，備洗足水、足臺、足布，洗淨盛長食器而調，備飲用水及洗用水。由村邑乞食後還者，如有餘食，若欲食則食，若不欲則棄於無青草處，或沈於無蟲類之水中。彼應處理牀座，納洗足水、足臺、足布，洗淨盛長食器而收藏之，納飲食，掃淨食堂。若見飲用水瓶、洗用水瓶、洗淨瓶空無，其人即備之。若彼不能者，即以手招他〔比丘〕，作手勢令備之，因此不用言說。」

「諸比丘！此為乞食比丘之儀法，乞食比丘當如是行。」

六

（一）

爾時，眾多比丘住於阿蘭若。彼等不備飲用水，不備洗用水，不備火，不備鑽火具，不知星宿亦不知方位。諸賊來其處，言諸比丘曰：「大德！有飲用水否？」「無！友！」「大德！有洗用水否？」「無！友！」「大德！有火否？」「無！友！」「大德！有鑽火具否？」「無！友！」「大德！今日之月與何星宿合耶？」「不知！友！」「大德！此是何方位耶？」「不知！友！」時，彼賊等云：「此等無飲用水、無洗用水、無火、無鑽火具、不知星宿、不知方位，此等是賊而非比丘。」毆打而去。時，彼諸比丘以此事告諸比丘。諸比丘以此事白世尊。時，世尊以是因緣，說法而

告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立阿蘭若諸比丘之儀法，令阿蘭若比丘如是行。」

（二）

「諸比丘！阿蘭若比丘晨起，鉢應放入袋而掛於肩，上衣載於肩，穿履，收藏木具、土具。關門、窗而出臥坐處。將入村邑，脫履放下，拍打，然後放入袋而掛於肩，披覆三輪，遍著下衣，結腰帶……〔同第八　儀法犍度五（二）〕……不急速而還。善覆身而往屋內……不得蹲行而往屋內。」

（三）

「出村，鉢放入袋而掛於肩，上衣疊後載於頭上，應穿履而往。諸比丘！阿蘭若比丘應備飲用水、洗用水、火、鑽火具、杖，或學習部份之星宿，善巧於方位。」

「諸比丘！此為阿蘭若比丘之儀法，阿蘭若比丘當如是行。」

七

（一）

爾時，眾多比丘於露地作衣，六群比丘於庭院逆風處拍打臥坐具，灰塵塗污諸比丘。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以六群比丘於庭院逆風處拍打臥坐具耶？使諸比丘塗污灰塵。」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘於庭院逆風處拍打臥坐具，灰塵實塗污諸比丘耶？」「世尊！實然。」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立比丘臥坐具之儀法，諸比丘！於臥坐具令諸比丘如是行。」

（二）

「若住之精舍受灰塵所污者，若能者應清除。清掃精舍時須先將衣、鉢搬出，置於一面，搬出坐具之敷具，置於一面，搬出褥、枕，放置一面。牀放下，不可摩擦門、楣，善搬出而放置一面，小牀放下，不可摩擦門、楣，善搬出而放置一面。搬出牀腳，放置一面。搬出唾壺，放置一面。搬出靠板，放置一面，觀察地上之敷具如何鋪展後，搬出，放置一面。若精舍有蜘蛛網，應視察後始拂之。應清掃窗及屋角。若塗紅土子之壁有塵污者，即濕雜巾而拭之。若作黑色之地有塵污者，即濕雜巾而拭之。若非工作之地，應灑水而清掃之，不使灰塵污精舍，應集塵而棄一面。不得於比丘周圍拍打臥坐具，不得於精舍周圍拍打臥坐具，不得於飲用水周圍拍打臥坐具，不得於洗用水周圍拍打臥坐具，不得於庭院逆風處拍打臥坐具，應於風下處拍打臥坐具。」

（三）

「地上之敷具應於一面曬乾、淨之、拍之，搬入而設置如故。牀腳應於一面曬乾、清洗之，搬入而設置如故。牀應於一面乾曬、淨之、拍之，放下，不摩擦門及楣，善巧搬入而設置如故。小牀應於一面曬乾、淨之、拍之，放下，不摩擦門及楣，善巧搬入而設置如故。褥與枕應於一面曬乾、淨之、拍之，搬入而設置如故。坐具之敷具應於一面曬乾、淨之、拍打，搬入而設置如故。唾壺應於一面曬乾、拭之，搬入而設置如故。靠板應於一面曬乾、掃之，搬入而設置如故。應收藏鉢衣，收藏鉢衣時應一手取鉢，他手摩觸牀下或小牀下後而收藏鉢，鉢不得置於露地。收藏上衣時應以一手取上衣，他手拂衣架或衣繩，端外、襞內而收藏。」

（四）

「若由東方吹來有灰塵之風即閉東窗，若由西方……由北方……由南方吹來有灰塵之風即閉南窗。若寒時應晝開窗而夜閉

之，若暑時應晝閉窗而夜開之。」

「若僧房受灰塵所污，應清掃之。若門樓受灰塵所污，應清掃之。若勤行堂受灰塵所污，應清掃之。若火堂受塵所污，應清掃之。若廁房受灰塵所污，應清掃之。若無飲用水，應備之。若無洗用水，應備之。若灑瓶無水，應注水。」

「與年長比丘同一精舍而住，若不白年長比丘則不得與說示，不得與質問，不得讀誦，不得說法，不得點燈，不得熄燈，不得開窗，不得閉窗。若與年長比丘同一經行處經行時，應隨年長者而行，但不得〔踏〕彼僧伽梨之角。」

「諸比丘！此為比丘臥坐具之儀法，諸比丘於臥坐具當如是行。」

八

（一）

爾時，六群比丘因於〔浴用〕暖房為諸長老比丘所遮止，因不恭敬，多積柴薪，點火，關門而坐於門之〔入〕口處。諸比丘為熱氣所苦，不得出而昏倒。諸比丘中少欲者……非難：「何以六群比丘因於〔浴用〕暖房為諸長老比丘……坐……昏倒。」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘因於〔浴用〕暖房實為諸長老比丘……坐……昏倒耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得因於〔浴用〕暖房為諸長老比丘所遮止，因不恭敬，多積柴薪而點火，點者墮惡作。諸比丘！不得閉門而坐於門之〔入〕口處，坐者墮惡作。」

（二）

「諸比丘！若爾，制立比丘暖房之儀法，令諸比丘於暖房如是行。」

「先往暖房者，灰塵多時，當棄灰。若暖房受灰塵所污，應清掃。若地牀為灰塵所污，應清掃。若房……若門樓……若暖房堂受灰塵所污，應清掃。應捻捏細麵，濕粘土，注水於水瓶。入暖房時以粘土塗面，前後披覆而入暖房。不得推擠長老比丘而坐，不得拒新參比丘坐。於暖房，若能，應服侍長老比丘。出暖房時取暖房臺，前後披覆而出暖房。於水中，若能，應侍奉長老比丘。不得於諸長老比丘之前及比彼較高〔處〕沐浴。浴已而出者應讓路於入者。凡後出暖房者，暖房若濕者，應洗之。應洗粘土瓶，收藏暖房臺，滅火，關門而出。」

「諸比丘！此為比丘暖房之儀法，諸比丘於暖房當如是行。」

九

（一）

爾時，有一比丘，是婆羅門種，大便而不欲洗淨，言：「誰觸此不潔惡臭者耶？」彼之大便道生蟲。時，彼比丘以此事告諸比丘。「汝大便而不洗淨耶？」「實然！諸友！」諸比丘中少欲者……非難：「何以比丘大便而不洗淨耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊。「比丘！聞汝大便而不洗淨，實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！大便若有水時，不得不洗淨，不洗淨者墮惡作。」

一〇

（一）

爾時，諸比丘於廁房隨長幼而大便。諸新參比丘先來而等待，為大便所催迫，彼等強忍而昏倒。彼等以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！於廁房不應隨長幼而大便，行者墮惡作。諸比丘！許依到來次第而大便。」

（二）

爾時，六群比丘急促入廁房，捲裾而入，呻吟而大便，嚼楊枝而大便，於屎甕外大便，於尿甕外小便，於尿甕吐唾，以粗屎橛擦除〔屎〕，將屎橛投入屎坑，急遽出廁房，捲裾而出，作唼喋聲而洗淨，水留於洗淨盤。諸比丘中少欲者……非難：「何以六群比丘急促入廁房……水留於洗淨盤耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！……實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立諸比丘廁房之儀法，令諸比丘於廁房如是行。」

（三）

「往廁房者，外立時應謦咳，在內者亦應謦咳。衣掛於衣架、衣繩，應善緩而入廁房，不得急遽而入。不得捲裾而入，應立於安腳處捲裾。大便時不得呻吟，大便時不得嚼楊枝。不得於屎甕外大便，不得於尿甕外小便，不得於尿甕吐唾，不得以粗屎橛擦刮，不得投屎橛於屎坑。應立於安腳處覆裾。不得急遽而出。不得捲裾而出，應立於洗淨處之安腳處捲裾。不得作唼喋聲而洗淨，水不得留於洗淨盤。應立於洗淨處之安腳處覆裾。若廁房污穢，應洗。若屎橛箱滿，應棄屎橛。若廁房受灰塵所污，應清掃。若地牀受灰塵所污，應清掃。若房……若門樓受灰塵所污，應清掃。若灑瓶無水，應注水。」

「諸比丘！此為比丘廁房之儀法，諸比丘於廁房當如是行。」

一一

（一）

爾時，諸弟子不正當侍奉諸和尚。諸比丘中少欲者……非難：「何以諸弟子不正當侍奉和尚等耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸弟子實不正當侍奉諸和尚耶？」「實然！世尊！」佛世尊呵責：「諸比丘！何以諸弟子不正當侍奉諸和尚耶？諸比丘！此……」……呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立弟子事和尚之儀法，令弟子事和尚如是行。」

（二）

「諸比丘！弟子對和尚應正當侍奉……〔參照大品第一　大犍度二五（八）～（二四）〕……若和尚有病，應盡形壽侍奉，以待其痊癒。」

「諸比丘！此為弟子事和尚之儀法，弟子事和尚當如是行。」

一二

（一）

爾時，諸和尚待諸弟子不正當承事。諸比丘中少欲者……非難：「何以諸和尚待諸弟子不正當承事耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸和尚待諸弟子實不正當承事耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！若爾，制立和尚待弟子之儀法，令和尚待弟子如是行。」

（二）

「諸比丘！和尚待弟子應正當承事……〔參照大品第一　大犍度二六（一）～（一一）〕……應待其痊癒。」

「諸比丘！此為和尚待弟子之儀法，和尚待弟子當如是行。」

———誦品二
〔終〕———

一三

（一）

爾時，諸侍者不正當侍奉諸阿闍梨……「……〔參照第八　儀法犍度一一。『和尚』、『弟子』改為『阿闍梨』、『侍者』。〕……。」

一四

（一）

爾時，諸阿闍梨待侍者不正當承事……「……〔參照第八　儀法犍度一二。『和尚』、『弟子』改為『阿闍梨』、『侍者』。〕……。」

———誦品三終
———

此犍度有五十五事，儀法有十四事。攝頌曰：

履・傘蓋・覆頭　頭上・飲用水
不敬禮・不問　蛇・善美・忿怒
脫・傘蓋・肩・緩　退居・置衣鉢

適當・問・潑・洗　乾・濕・履・年長
新參・問・住人　親近・學認定
大便・飲用水　水・杖・集會處
乃至時・須臾　污・地上敷具
出・牀腳・枕褥　牀・小牀・唾壺
靠板・窗・屋角　紅土子・黑色
非工作及塵　地上之敷具
牀腳・牀・小牀　枕・坐具・唾壺
靠板・鉢衣・地　將端以向外
乃至襞摺內　東・西及南・北
寒暑及晝夜　僧房與門樓
勤行堂・火堂　廁房之儀法
飲用水・用水　瓶及灑水瓶
此客僧儀法　無比者制之
無座亦無水　乃至不迎接
及無飲用水　不敬禮・不設
善比丘忿怒　年長・座與水
迎接・飲用水　履・一面・敬禮
設・住人・親近　學地認定・處
飲用水・用水　杖及集會處
時・新參則坐　令之敬禮・告
如理趣為上　舊比丘儀法
商主說此等　遠行・木・土具
開・不託及損　以及無防護
善比丘忿怒　收藏・關・託・去
比丘及沙彌　守人・優婆塞
石・積・收及關　可能及盡力
不漏處・全漏　村邑及露地
乃至留一分　遠行僧儀法
不隨喜・長老　以至留・四五
大便迫昏倒　此等諸以上
是隨喜儀法　六群之比丘
衣裳不整齊　無威儀・傍出
推擠諸長老　新參之比丘
以及僧伽梨　善美之忿怒
三輪・下裳・帶　疊・紐・不傍出
覆身及攝身　眼向地・偏舉
戲笑及高聲　三種搖・叉腰

覆頭及蹲行　覆身及攝身
眼向地・偏舉　戲笑及低聲
三種搖・叉腰　覆頭及抱肩
推擠・座及展　水・放低・注入
以及受水者　周圍・僧伽梨
飯・受・羹・加味　一切・不溢出
一心・想念鉢　順次・羹・中央
覆・乞・有嫌心　大・圓・口・全手
含投・散・脹頰　飯粒又吐舌
嗏嗏及吸食　手・鉢・與舐唇
以污之手取　一切未與水
放低和注水　受水者・周圍
僧伽梨・放低　地上・飯粒・還
善覆身・蹲行　法王以制此
食堂之威儀　衣之不齊整
無儀・不視察　急速・遠・近・久
急速・此乞食　應覆身而往
攝身・眼向地　偏舉衣・戲笑
高聲・三種搖　叉腰及覆頭
蹲行並觀察　急速置器・舉
出示及受之　乃至不得視
受羹亦如是　僧僧伽梨覆
覆身而離去　攝身・眼向地
偏舉衣・戲笑　低聲・三種搖
叉腰・覆・蹲行　為先歸還者
座・盛長食器　飲水・洗用水
而後歸還者　欲則食・沈・收
藏・掃淨・空・備　以作手勢・用
乞食者儀法　飲水・洗用水
火・及鑽火具　星宿・方位・賊
無一切而打　鉢・肩・衣・及將
掛肩・與三輪・　遍著・阿蘭若
如乞者儀法　鉢・肩・衣・頭・穿
飲水・洗用水　火・鑽火具・杖
星宿・或部分　善巧於方位
最上師制此　阿蘭若儀法
以於露地・塗　善比丘忿怒
精舍受塵污　先鉢衣・褥・枕

牀・小牀・唾壺　靠板至窗戶
屋角・紅土子　黑色・非作・塵
比丘之周圍　坐臥具・精舍
飲・水洗用水　此等之周圍
逆風庭・風下　敷具・牀腳・牀
小牀・枕・坐具　唾壺並靠板
鉢衣・地・端外　襞摺則向內
東・西及南・北　寒暑並晝夜
僧房及門樓　勤行堂・火堂
廁房・飲用水　乃至灑水瓶
年長・及說示　質問並讀誦
法・燈・熄・不開　以及不得閉
隨長者行之　角而不瞋怒
大雄制此等　臥坐具儀法
遮止・門・昏倒　善比丘忿怒
棄灰及暖房　地牀及僧房
門樓・堂・麵粉　粘土・瓶・面・前
長者及新參　高・道・濕・粘土
用臺・滅而去　比丘於浴室
暖房之儀法　不洗淨・長幼
順次・急促・捲・　呻吟・楊枝・屎
尿・唾・粗・坑等　急速・捲・唼喋
留・內外謦咳　繩・乃應善緩
急遽・捲・呻吟　楊枝・屎・尿・唾
粗・坑・安腳處　急遽又是捲
安腳處唼喋　不留・覆・櫪箱
乃至於廁房　地牀・房・門樓
洗淨瓶之水　此廁房儀法
履・楊枝・漱水　座・粥・水・洗・去
污・村・衣・帶・疊　灌注水入鉢
隨從・及三輪　遍著・結・疊・洗
隨從・不過遠　取・談・犯・先來
座・水・臺・布・迎　衣・曬・等放置
損壞・襞・食・捧　飲用水・水・下
暫時・不放置　鉢衣・地・端外
襞摺則向內　除・藏・污・浴・冷
熱・暖房・細麵　粘土・隨從・臺
衣・細麵・粘土　善・面・前・長老

侍奉・出・前・水　浴已著下衣
和尚・僧伽梨　衣・臺・座・足・臺
布・水・請說教　污則力淨之
如是先衣鉢　坐具之敷具
枕褥・牀・小牀　腳・唾壺・靠板
地上之敷具　蛛網・窗・紅土
黑色・非工作　地上之敷具
腳・牀及小牀　枕褥・坐敷具
壺・靠板・鉢衣　東・西及南・北
寒暑及晝夜　乃至房・門樓
勤行堂・火堂　廁房・飲用水
用水・洗淨瓶　不欣喜・惡作
見・法・本日治　摩那埵・出罪
呵責及依止　驅出並下意
舉罪及若行　洗・作・染料・染
反覆並返轉　鉢・衣・資具・剃
侍奉及承事　隨從・施食・入
塚間及地方　盡形壽侍奉
此弟子儀法　和尚及教導
教誡及說示　質問・至鉢・衣
資具乃至病　不成隨沙門
於阿闍梨亦　如和尚儀法
於侍者亦如　弟子之儀法
乃至客比丘　舊比丘儀法
遠行・隨喜者　食堂・乞食者
阿蘭若儀法　臥坐具儀法
暖房及廁房　和尚及弟子
阿闍梨儀法　侍者・十六章
說此十九事　儀法不圓法
則戒不圓滿　若戒不清淨
以及劣慧者　不得心一境
心亂非一境　則不見正法
不見正法者　則未解脫苦
若儀法圓滿　則於戒圓滿
戒清淨有慧　則得心一境
心不亂一境　則見於正法
以見正法者　則得解脫者
有觀最勝子　善圓滿儀法

最勝佛教誡　由此達涅槃

第九　遮說戒犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住舍衛城東園鹿母堂。其時，布薩日比丘眾圍繞世尊而坐。時，具壽阿難於深夜之初夜分過後，從座而起，偏袒右肩，向世尊之在處合掌，白世尊曰：「世尊！夜已深，初夜分已過，比丘眾已久坐，請世尊為諸比丘說波羅提木叉。」如是表白時，世尊默然。具壽阿難二次於深夜之中夜分過後，從座而起，偏袒右肩，向世尊之在處合掌，白世尊曰：「夜已深，中夜分已過，比丘眾已久坐，請世尊為諸比丘說波羅提木叉。」世尊二次亦默然。具壽阿難三次於深夜之後夜分過後，將黎明時，從座而起，偏袒右肩……「……後夜分已過，將黎明……請世尊為諸比丘說波羅提木叉。」「阿難！會眾不清淨也。」

（二）

時，具壽摩訶目犍連心生是念：「世尊為何人故，言：『阿難！會眾不清淨也。』耶？」時，具壽摩訶目犍連以心觀察一切比丘眾之心而作意。具壽摩訶目犍連見彼人破戒、惡法、不淨而有招疑訝之行，隱覆所作，非沙門而稱沙門，非梵行者而稱梵行者，內心腐爛、漏泄，如塵芥而坐於比丘眾中。見而至彼人處。至已，言彼人：「友！起！世尊見汝，不得與比丘眾共住。」如是言時，彼人默然。具壽摩訶目犍連再次言彼人：「友！起……不得……共住。」彼人再次默然。具壽摩訶目犍連三次言彼人：「友！起……不得……共住。」彼人三次默然。時，具壽摩訶目犍連捉彼人之臂，令出門外後，下門楔，詣世尊處。詣已，白世尊曰：「我令彼

人出，會眾已清淨，請世尊為諸比丘說波羅提木叉。」「目犍連！希有哉！目犍連！未曾有哉！彼愚人乃至被捉臂。」

（三）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！大海有八種希有、未曾有之法。見此，阿修羅於大海而歡喜。何者為八種耶？諸比丘！大海徐徐趣向，徐徐傾向，徐徐臨入，無突然而成嶮峻。諸比丘！大海徐徐趣向，徐徐傾向，徐徐臨入，無突然而成嶮峻者，諸比丘！此乃大海之第一希有、未曾有之法也。見此，阿修羅於大海而歡喜。諸比丘！又，大海有不超越岸之常法。諸比丘！大海有不超越岸之常法者，諸比丘！此乃大海之第二……歡喜。諸比丘！又，大海與死屍不共住，若大海有死屍，即急速運上陸地。諸比丘！大海與死屍不共住，若大海有死屍，……上陸地者，諸比丘！此乃大海之第三……歡喜。諸比丘！又，有大河，即：恒河、夜摩那河、阿夷羅跋提河、舍勞浮河、摩企河也，此等若流至大海，即棄前名號，唯稱大海之名號。諸比丘！有大河……唯稱大海之名號者，諸比丘！此乃大海之第四……歡喜。諸比丘！又，世間之水流入大海及空中降雨，是故大海不知有增減。諸比丘！世間之……不知者……諸比丘！此乃大海之第五……歡喜。諸比丘！又，大海乃是一味鹽味。諸比丘！大海是一味鹽味者，諸比丘！此乃大海之第六……歡喜。諸比丘！又，大海有甚多寶、無量寶，此中之寶，即：真珠、摩尼珠、琉璃、硨磲、璧玉、珊瑚、銀、金、紅玉、瑪瑙也。諸比丘！大海有甚多寶……瑪瑙也，諸比丘！此乃大海之第七……歡喜。諸比丘！又，大海乃大眾生之住處也，此中之眾生，即：提麑魚、提麑耆羅魚、提麑提麑耆羅魚、阿修羅、龍、乾達婆也，大海有百由旬身、二百由旬身、三百由旬身、四百由旬身、五百由旬身。諸比丘！大海為大眾生之住處……身者，諸比丘！此乃大海之第八……

歡喜。諸比丘！大海有如此八種希有、未曾有之法，見此，阿修羅於大海而喜歡。」

（四）

「諸比丘！如是，於此法與律中，有八種希有、未曾有之法。見此，諸比丘於法與律而歡喜。何者為八耶？諸比丘！譬如大海徐徐趣向，徐徐傾向，徐徐臨入，無突然而成嶮峻，如是，諸比丘！於此法與律有漸漸學、漸漸所作、漸漸向道，無突然了知通達。諸比丘！於此法與律有漸漸學……無突然了知通達者，諸比丘！此，乃此法與律之第一希有、未曾有之法，見此，諸比丘於此法與律而歡喜。諸比丘！譬如大海有不超越岸之常法，如是，諸比丘！我為諸聲聞制立之學處，我諸聲聞乃至有失命之因緣，亦不踰越。諸比丘！我為諸聲聞制立之學處，我諸聲聞乃至有失命之因緣，亦不踰越者，諸比丘！此，乃此法與律之第二……歡喜。諸比丘！譬如大海與死屍不共住，若大海有死屍，即急速運上陸地，如是，諸比丘！若人破戒、惡法、不淨而有招疑訝之行，隱覆所作，非沙門而稱沙門，非梵行者而稱梵行者，內心腐爛、漏泄，若有如同塵芥者，則僧伽與此不共住，急速集會而舉此，彼雖坐於僧伽中，彼卻遠離僧伽，僧伽亦遠離彼。諸比丘！若人破戒……僧伽亦遠離彼者，諸比丘！此，乃此法與律之第三……歡喜。諸比丘！譬如有大河，即：恒河、夜摩那河、阿夷羅跋提河、舍勞浮河、摩企河也，此等若流至大海，即棄前名，唯稱大海之名，如是，諸比丘！有剎帝利、婆羅門、吠舍、首陀羅四姓，彼等離家而於如來所說之法與律出家者，棄前之姓名，唯稱沙門釋子之名。諸比丘！有剎帝利……名者，諸比丘！此，乃此法與律之第四……歡喜。諸比丘！譬如世間之水流入大海及空中降雨，是故，大海不知有增減，如是，諸比丘！若甚多諸比丘於無餘涅槃界般涅槃，是故，無餘涅槃界亦不知有增減。諸比丘！若甚多……不知有增減者，諸比丘！

此，乃此法與律之第五……歡喜。諸比丘！譬如大海是一味鹽味，如是，諸比丘！此法與律乃是一味解脫味。諸比丘！此法與律是一味解脫味者，諸比丘！此，乃此法與律之第六……歡喜。諸比丘！譬如大海有甚多寶、無量寶，此中之寶，即：真珠、摩尼珠、琉璃、硨磲、璧玉、珊瑚、銀、金、紅玉、瑪瑙也，如是，諸比丘！此法與律有甚多寶、無量寶，此中之寶，即：四念處、四正勤、四神足、五根、五力、七覺支、八聖道也。諸比丘！此法與律有甚多寶、無量寶……八聖道也。諸比丘！此，乃此法與律之第七……歡喜。諸比丘！譬如大海乃大眾生之住處也，此中之眾生，即：提麑魚、提麑耆羅魚、提麑提麑耆羅魚、阿修羅、龍、乾達婆也，大海如有百由旬身、二百由旬身、三百由旬身、四百由旬身、五百由旬身，如是，諸比丘！此法與律乃大眾生之住處，此中之眾生，即：預流者、向預流果現證者、一來者、向一來果現證者、不還者、向不還果現證者、阿羅漢、向阿羅漢性者也。諸比丘！此法與律乃大眾生之住處……向阿羅漢性者，諸比丘！此，乃此法與律之第八……歡喜。諸比丘！此法與律如此有八種希有、未曾有之法，見此，諸比丘於此法與律而歡喜。」時，世尊知此事，於此時說感興之語：

暴雨降於隱覆者
暴雨不降顯露者
故令隱覆者顯露
如此暴雨不降彼

二

（一）

時，世尊告諸比丘曰：「諸比丘！我從今以後，不行布薩，不誦波羅提木叉。諸比丘！從今以後，汝等自行布薩，自誦波羅提木叉。諸比丘！如來於不清淨之眾會行布薩、誦波羅提木叉者，非處

非機也。諸比丘！有罪者不得聞波羅提木叉，聞者墮惡作。諸比丘！若有罪者聞波羅提木叉，即許遮止其人說戒。諸比丘！應如此遮止：布薩之日，於十四日或十五日，彼人現前時，應告僧伽，言：『諸大德！請聽我言！某人有罪，我遮止彼說戒，彼人現前時，不可誦波羅提木叉。』遮止說戒已。」

三

（一）

爾時，六群比丘生如是念：「任何人皆不知我等。」有罪而聞波羅提木叉。諸長老比丘知他心，告諸比丘曰：「諸友！某甲及某甲之六群比丘生如是念：『任何人皆不知我等。』有罪而聞波羅提木叉。」

六群比丘聞：「諸長老比丘知他心，告諸比丘曰：『諸友！某甲及某甲之六群比丘生如是念：任何人皆不知我等。有罪而聞波羅提木叉。』」彼等念：「良 善比丘必先遮止我等說戒。」即先以無事無因，遮止無罪清淨諸比丘說戒。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以六群比丘以無事無因，遮止無罪清淨諸比丘說戒耶？」時，彼諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！六群比丘……遮止清淨諸比丘說戒，真實耶？」「實然！世尊！」呵責、說法已，告諸比丘曰：「諸比丘！不得無事無因遮止無罪清淨之諸比丘說戒，遮止者墮惡作。」

（二）

「諸比丘！有一非法遮說戒，有一如法者。有二非法遮說戒，有二如法者。有三非法遮說戒，有三如法者。有四……五……六……七……八……九……十非法遮說戒，有十如法者。」

（三）

「何者為一非法遮說戒耶？以無根壞戒之故遮說戒，此為一非法遮說戒。何者為一如法遮說戒耶？以有根壞戒之故遮說戒，此為一如法遮說戒。」

「何者為二非法遮說戒耶？以無根壞戒之故遮說戒，以無根壞行之故遮說戒，此為二……何者為二如法遮說戒耶？以有根壞戒之故遮說戒，以有根壞行之故遮說戒，此為二……。」

「何者為三非法遮說戒耶？以無根壞戒之故遮說戒，以無根壞行之故遮說戒，以無根壞見之故遮說戒，此為三……何者為三如法遮說戒耶？以有根……壞見之故遮說戒，此為三……。」

「何者為四非法遮說戒耶？以無根壞戒之故遮說戒，以無根壞行之故遮說戒，以無根壞見之故遮說戒，以無根壞命之故遮說戒，此為四……何者為四如法遮說戒耶？以有根……壞命之故遮說戒，此為四……。」

「何者為五非法遮說戒耶？以無根波羅夷之故遮說戒，以無根僧殘之故遮說戒，以無根波逸提之故遮說戒，以無根波羅提提舍尼之故遮說戒，以無根惡作之故遮說戒，此為五……何者為五如法遮說戒耶？以有根波羅夷……以有根惡作之故遮說戒，此為五……。」

「何者為六非法遮說戒耶？以無根壞戒不作之故遮說戒，以無根壞戒作之故遮說戒，以無根壞行不作之故遮說戒，以無根壞行作之故遮說戒，以無根壞見不作之故遮說戒，以無根壞見作之故遮說戒，此為六……何者為六如法遮說戒耶？以有根壞戒不作之故遮說戒……以有根壞見作之故遮說戒，此為六……。」

「何者為七非法遮說戒耶？以無根波羅夷之故遮說戒，以無根僧殘……以……偷蘭遮之故……以……波逸提之故……以……波羅提提舍尼之故……以……惡作之故……以無根惡說之故遮說戒，此為七……何者為七如法遮說戒耶？以有根波羅夷之故……以……惡說之故遮說戒，此為七……。」

「何者為八非法遮說戒耶？以無根壞戒不作之故遮說戒，以無根壞戒作之故遮說戒，以無根壞行不作之故遮說戒，以無根壞行作之故遮說戒，以無根壞見不作之故遮說戒，以無根壞見作之故遮說戒，以無根壞命不作之故遮說戒，以無根壞命作之故遮說戒，此為八……何者為八如法遮說戒耶？以有根壞戒不作之故遮說戒……以有根壞命作之故遮說戒，此為八……。」

「何者為九非法遮說戒耶？以無根壞戒不作之故遮說戒，以無根壞戒作之故遮說戒，以無根壞戒作不作之故遮說戒，以無根壞行不作……作……作不作之故遮說戒，以無根壞見不作……作……作不作之故遮說戒，此為九……何者為九如法遮說戒耶？以有根壞戒不作之故遮說戒……以有根壞見作不作之故遮說戒，此為九……。」

「何者為十非法遮說戒耶？犯波羅夷者不坐於眾會，波羅夷說非未了，捨戒者不坐於眾會，捨戒論非未了，隨順如法和合，不違逆如法和合，違逆如法和合說非未了，於壞戒無見、聞、疑，於壞行無見、聞、疑，於壞見無見、聞、疑，此為十……。何者為十如法遮說戒耶？犯波羅夷者坐於眾會，波羅夷說未了，捨戒者坐於眾會，捨戒論未了，不隨順如法和合，違逆如法和合，違逆如法和合說未了，於壞戒有見、聞、疑，於壞行有見、聞、疑，於壞見有見、聞、疑，此為十如法遮說戒。」

（四）

「何者為犯波羅夷者坐於眾會耶？諸比丘！此處有犯波羅夷法之相、表、徵，有比丘，見比丘犯波羅夷法之相、表、徵。或比丘雖未見犯波羅夷法之比丘，但他比丘告比丘，言：『友！某甲比丘犯波羅夷法。』或比丘未見犯波羅夷法之比丘，亦非他比丘告比丘，曰：『友！某甲比丘犯波羅夷法。』彼告比丘曰：『友！我犯波羅夷法。』諸比丘！比丘若欲者，依彼見、聞、疑，於十四日或十五日之布薩日，彼人現前時，於僧伽中應言：『諸大德！請聽我言！某人犯波羅夷法，我遮彼說戒，彼現前時，不得誦波羅提木叉。』如法遮說戒也。遮比丘說戒，若有十障礙之一者，眾會起而散去，〔謂：〕王之障礙、賊之障礙、火之障礙、水之障礙、人之障礙、非人之障礙、猛獸之障礙、蛇之障礙、命之障礙、梵行之障礙也。諸比丘！比丘若欲者，於其住處或於任何住處，彼人現前時，於僧伽中應言：『諸大德！請聽我言！某人之波羅夷說未了，彼事未決定。若僧伽機熟，則僧伽應決定彼事。』如此而得則善，若不得，則於十四日或十五日之布薩日，彼人現前時，於僧伽中應言：『諸大德！請聽我言！某人之波羅夷說未了，彼事未決定，我遮彼說戒，彼現前時，不得誦波羅提木叉。』如法遮說戒也。」

（五）

「何者為捨戒者坐於眾會耶？諸比丘！此處有捨戒之相、表、徵，有比丘，見捨戒比丘之相、表、徵。若比丘雖未見捨戒之比丘，他比丘告比丘，曰：『友！某甲比丘捨戒。』或比丘未見捨戒之比丘，亦非他比丘告比丘，曰：『友！某甲比丘捨戒。』彼告比丘曰：『友！我捨戒。』諸比丘！比丘若欲者，依彼見、聞、疑，於十四日或十五日之布薩日，彼人現前時，於僧伽中應言：『諸大德！請聽我言！某甲捨學，我遮彼說戒，彼現前時，不得誦波羅提木叉。』如法遮說戒也。遮比丘說戒，若有十障礙之一者，眾會起而散去，〔謂：〕王之障礙……梵行之障礙也。諸比丘！比丘若欲

者，於其住處或於任何住處，彼人現前時，於僧伽中應言：『諸大德！請聽我言！某甲之捨戒說未了，彼事未決定。若僧伽機熟，僧伽應決定彼事。』如此得則善，若不得，則於十四日或十五日之布薩日，彼人現前時，於僧伽中應言：『諸大德！請聽我言！某甲之捨戒說未了，彼事未決定，我遮彼說戒，彼現前時，不得誦波羅提木叉。』如法遮說戒也。」

（六）

「何者為不隨順如法和合耶？諸比丘！此處有不隨順如法和合之相、表、徵，有比丘，見有不隨順如法和合比丘之相、表、徵。或比丘雖未見不隨順如法和合之比丘，但他比丘告比丘，曰：『友！某甲比丘不隨順如法和合。』或比丘未見不隨順如法和合之比丘，亦非他比丘告比丘，曰：『友！某甲比丘不隨順如法和合。』彼告比丘曰：『友！我不隨順如法和合。』諸比丘！比丘若欲者，依彼見、聞、疑，於十四日或十五日之布薩日，彼人現前時，於僧伽中應言：『諸大德！請聽我言！某甲不隨順如法和合，我遮彼說戒，彼現前時，不得誦波羅提木叉。』如法遮說戒也。」

（七）

「何者為違逆如法和合耶？諸比丘！此處有違逆如法和合之相、表、徵，有比丘，見有違逆如法和合比丘之相、表、徵。或……〔同上〕告……言：『諸大德！請聽我言！某甲違逆如法和合，我遮彼說戒，彼現前時，不得誦波羅提木叉。』如法遮說戒也。遮比丘說戒時，若有十障礙……〔同第九　遮說戒犍度三（五）。『捨戒說』改為『違逆如法和合』。〕……『……彼現前時，不得誦波羅提木叉。』如法遮說戒也。」

（八）

「何者為於壞戒有見、聞、疑耶？諸比丘！此處有相、表、徵，於壞戒有見、聞、疑，有比丘，見於壞戒有見、聞、疑之比丘，其有相、表、徵。或比丘雖未見於壞戒有見、聞、疑之比丘，他比丘告比丘，曰：『友！某甲比丘於壞戒有見、聞、疑。』或比丘未見於壞戒有見、聞、疑之比丘，亦非他比丘告比丘，曰：『友！某甲比丘於壞戒有見、聞、疑。』彼告比丘曰：『友！我於壞戒有見、聞、疑。』諸比丘！比丘若欲者，依彼見、聞、疑，……應言：『諸大德！請聽我言！某甲於壞戒有見、聞、疑，我遮彼說戒，彼現前時，不得誦波羅提木叉。』如法遮說戒也。」

（九）

「何者為於壞行有見、聞、疑耶？諸比丘！此處……〔同上〕……何者為於壞見有見、聞、疑耶？諸比丘！此處……〔同上〕……如法遮說戒也。

此為十如法遮說戒。」

———誦品一終———

四

（一）

時，具壽優波離詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐於一面。於一面坐已，具壽優波離白世尊：「欲自取事之比丘，具足幾何者，可自取事耶？」

「優波離！欲自取事之比丘，若具足五分者，可自取事。優波離！欲自取事之比丘，應如是觀察：『我欲自取事，此自取事是時？非時否？』優波離！若比丘觀察時，知：『自取事，此乃非

時，非時也。』優波離！不可自取事。優波離！若比丘觀察時，如此知：『自取事，乃是時，而非非時。』優波離！彼比丘更應觀察：『我欲自取事，自取事是時耶？非時耶？』優波離！若比丘觀察時，如此知：『自取事不實而非實。』優波離！不可自取事。優波離！若比丘觀察時，如此知：『自取事實而非不實。』優波離！彼比丘更應觀察：『我欲自取事，自取事有利益耶？無利益耶？』優波離！若比丘觀察時，如此知：『自取事無利益而非有利益。』優波離！不可自取事。優波離！若比丘觀察時，如此知：『自取事有利益，非無利益。』優波離！彼比丘更應觀察：『我自取事，得如法如律同見相親之諸比丘為我朋黨否？』優波離！若比丘觀察時，如此知：『我自取事，不得如法如律同見相親之諸比丘為我朋黨。』優波離！不可自取事。優波離！若比丘觀察時，如此知：『我自取事，得如法如律同見相親之諸比丘為我朋黨。』優波離！彼比丘更應觀察：『我自取事，因此，僧伽生起訴訟、鬥諍、爭論、諍議，破僧伽，僧伽蒙塵垢，令僧伽別住，令僧伽別異耶？』優波離！若比丘觀察時，如此知：『我自取事，因此，僧伽生起訴訟……令僧伽別異。』優波離！不可自取事。優波離！若比丘觀察時，如此知：『我自取事，因此，僧伽不生起訴訟……不令僧伽別異。』優波離！可自取事。

優波離！如此具足五分而自取事者，其後不生追悔。」

五

（一）

「詰難比丘若欲詰難他人，於內觀察幾何之法後可詰難他人耶？」

「優波離！詰難比丘若欲詰難他人，於內觀察五法後可詰難他人。優波離！詰難比丘若欲詰難他人，應如是觀察：『我身行清淨耶？具足清淨、無瑕、無過之身行耶？我有此法否？』優波離！若比丘身行不清淨，不具足清淨、無瑕、無過之身行者，有人將言彼，曰：『具壽！若願，且學身行！』優波離！又，詰難比丘若欲詰難他人，應如是觀察：『我語行清淨耶？具足清淨、無瑕、無過之語行耶？我有此法否？』優波離！若比丘語行不清淨，不具足清淨、無瑕、無過之語行者，有人將言彼，曰：『具壽！若願，且學語行！』優波離！又，詰難比丘若欲詰難他人者，應如是觀察：『我於同梵行者，修無礙之慈心耶？我有此法否？』優波離！若比丘於同梵行者，未修無礙之慈心者，有人將言彼，曰：『具壽！若願，且於同梵行者修慈心！』優波離！又，詰難比丘若欲詰難他人者，應如是觀察：『我多聞、持所聞而積所聞否？於初善、中善、後善，具足義理文句，讚歎純一清淨圓滿梵行，多聞持法，以憶語，以觀意，以見而善通達耶？我有此法否？』優波離！若比丘非多聞而持所聞……非多聞、持，非以憶語，非以觀意，非以見而善通達者，有人將言彼，曰：『具壽！若願，且習阿含！』優波離！又，詰難比丘若欲詰難他人者，應如是觀察：『我善審知、善分別、善轉、善依經文、善決擇兩部波羅提木叉否？我有此法否？』優波離！若比丘非善審知、善分別……善決擇兩部波羅提木叉者，被問：『友！此，世尊說於何處耶？』而不能答者，有人將言彼，曰：『具壽！若願，且習律！』優波離！詰難比丘若欲詰難他人，於內觀察如此五法後可難詰他人。」

（二）

「詰難比丘若欲詰難他人，於內修幾何之法後可詰難他人耶？」

「優波離！詰難比丘若欲難詰他人，於內修五法後可詰難他人。〔謂：〕『我以時說而不以非時，以實說而不以非實，以柔軟說而不以粗暴，以有利益說而不以無利益，有慈心而說，不以瞋心。』優波離！詰難比丘若欲詰難他人，於內修如此五法後可詰難他人。」

（三）

「世尊！於非法詰難比丘，應以幾何之相令追悔耶？」

「優波離！於非法詰難比丘，應以五相令追悔。〔謂：〕『具壽！汝以非時詰難而非以時，應追悔。汝以不實詰難而非以實，應追悔。汝以粗暴詰難而非以柔軟……以無利益詰難而非以有利益……有瞋心詰難而非以慈心，應追悔。』優波離！於非法詰難比丘，應以如此五相令追悔。此故如何？為不令他比丘思惟以不實被詰難。」

（四）

「世尊！於非法被詰難比丘，應以幾何之相令勿追悔耶？」

「優波離！於非法被詰難比丘，以五相令勿追悔。〔謂：〕『具壽！以非時被詰難而非時，勿追悔……有瞋心詰難而非以慈心，勿追悔。』優波離！於非法被詰難比丘，以如此五相當令勿追悔。」

（五）

「世尊！於如法詰難比丘，應以幾何之相令勿追悔耶？」

「優波離！於如法詰難比丘，應以五相令勿追悔。〔謂：〕『具壽！汝以時詰難而非以非時，勿追悔……有慈心詰難而非有瞋

心，勿追悔。』優波離！於如法詰難比丘，以如此五相，當令勿追悔。此故如何？為令他比丘思惟以實而被詰難。」

（六）

「世尊！於如法被詰難比丘，應以幾何之相令追悔耶？」

「優波離！於如法被詰難比丘，應以五相令追悔。〔謂：〕『具壽！被以時詰難而非以非時，應追悔……被有慈心詰難而非有瞋心，應追悔。』優波離！於如法被詰難比丘，應以如此五相令追悔。」

（七）

「詰難比丘若欲詰難他人，於內以幾何之法作意後，可詰難他人耶？」

「優波離！詰難比丘若欲詰難他人，於內以五法作意後，可詰難他人。〔謂：〕有慈悲、尋覓利益、有哀愍、超越罪、尊重律也。優波離！詰難比丘若欲詰難他人，於內以如此五法作意後，可詰難他人。」

「被詰難比丘應住幾何之法耶？」

「優波離！被詰難比丘應住二法，〔謂：〕真實及無忿也。」

———誦品二終

———

此犍度有三十事。攝頌曰：

於布薩之時　惡比丘不去
目犍連遮遣　彈指・聖者教

趨向及漸學　常法・不踰越
僧伽・舉死屍　諸河棄名・河
般涅槃・一味　解脫・多・法律
乃眾生・八輩　海喻誦教德
於布薩說戒　人皆不知我
不先・忿怒之　一・二・三・四・五
六・七・八・九・十　乃至戒・行・見
及命等四分　波羅夷・僧殘
乃至波逸提　波羅提舍尼
惡作等五分　戒・行壞不作
作・六分・隨應　波羅夷・僧殘
蘭遮・波逸提　波羅提舍尼
惡作及惡說　壞戒・壞見命
八作・不作・戒　行・見・不作・作
乃至作不作　此依如實理
以說為九種　波羅夷・未了
捨戒及隨順　違逆・違逆說
壞戒・行壞見　以至見聞疑
十種應知此　比丘觀比丘
觀之告他人　以清淨而說
以遮止說戒　有障礙則散
王・賊・火・水・人　非人・猛獸・蛇
命乃至梵行　十隨一・其處
及其他住處　如法與非法
如是道而知　時・實・得益・有
身・語・慈・多聞　真實・兩戒本
以時・實・柔軟　利益・慈詰難
依非法・追悔　應以如此除
如法詰難者　如法被詰難
免除其追悔　慈悲・利・哀愍
超越及尊重　佛說詰難道
於被詰難人　真實且無恨
應有此法性

第十　比丘尼犍度

一

（一）

爾時，佛世尊住釋迦國迦毘羅衛城尼拘律園。時，摩訶波闍波提瞿曇彌詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，立於一面。於一面立已，摩訶波闍波提瞿曇彌白世尊：「善哉！世尊！願女人得於如來所說之法與律中離家而出家。」「止！瞿曇彌！勿樂女人於如來所說之法與律中離家而出家。」摩訶波闍波提瞿曇彌二次白世尊：「世尊！願……出家。」「止！瞿曇彌！勿樂……出家。」摩訶波闍波提瞿曇彌三次……「止！瞿曇彌！勿樂……出家。」時，摩訶波闍波提瞿曇彌〔知：〕「世尊不許女人於如來所說之法與律中離家而出家。」而苦惱悲嘆，流淚，啼哭，敬禮世尊，右繞而去。

（二）

時，世尊隨意間住迦毘羅衛城後，向毘舍離城遊行，次第遊行至毘舍離城。於此，世尊住毘舍離城大林重閣堂。

時，摩訶波闍波提瞿曇彌落髮，著袈裟衣，與眾多釋迦女子俱，向毘舍離城遊行，次第遊行至毘舍離城大林重閣堂。時，摩訶波闍波提瞿曇彌足腫、身塗砂塵、苦惱悲嘆、流淚、啼哭而立於屋門外。具壽阿難見摩訶波闍波提瞿曇彌之足腫、身塗砂塵、苦惱悲嘆、流淚、啼哭而立於屋門外。見而言摩訶波闍波提瞿曇彌：「瞿曇彌！為何汝足腫……啼哭而立於屋門外耶？」「大德阿難！世尊不許女人於如來所說之法與律中離家而出家。」「然！瞿曇彌！於此處稍待須臾，我詣請世尊令女人於如來所說之法與律中離家而出家。」

（三）

時，具壽阿難詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐於一面。於一面坐已，具壽阿難白世尊：「世尊！摩訶波闍波提瞿曇彌足腫……啼泣而立於屋門外，言：『世尊不許女人於如來所說之法與律中離家而出家。』善哉！世尊！願女人得於如來所說之法與律中離家而出家。」「止！阿難！勿樂女人於如來所說之法與律中離家而出家。」具壽阿難二次白世尊：「善哉！世尊！願……出家。」「止！阿難！勿樂……出家。」具壽阿難三次白世尊：「止！阿難！勿樂……出家。」時，具壽阿難〔知：〕「世尊不許女人於如來所說之法與律中離家而出家。」〔阿難思惟：〕「我宜以其他之方便，請求世尊許女人……出家。」時，具壽阿難白世尊，曰：「女人若於如來所說之法與律中離家而出家者，可得現證預流果、一來果、不還果、阿羅漢果耶？」「阿難！女人若於如來所說之法與律中離家而出家者，可得現證預流果、一來果、不還果、阿羅漢果。」「世尊！女人若於如來所說之法與律中……可得現證……阿羅漢果者，摩訶波闍波提瞿曇彌多施恩於世尊，是世尊之姨母、保母、養母、哺乳母，生母命終以來，與世尊喂乳。願令女人得於如來所說之法與律中離家而出家。」

（四）

「阿難！若摩訶波闍波提瞿曇彌受八敬法，即以此為其具足戒。〔謂：〕比丘尼雖受具足戒百歲，但應敬禮、迎送、合掌、恭敬今日受具足戒之比丘，尊敬、尊重、奉行、讚歎此法，盡形壽不得犯。比丘尼不得住無比丘之住處……此法……不得犯。比丘尼每半月應向比丘眾請二法，問布薩及往教誡也……此法……不得犯。比丘尼若雨安居已，於兩眾，依見、聞、疑三事當行自恣……此法……不得犯。比丘尼若犯尊法，於兩眾，半月應行摩那埵……此法……不得犯。式叉摩那於二年學六法，學已，於兩眾，當請具足

戒，……此法……不得犯。比丘尼不論何事由，不得罵詈、誹謗比丘，……此法……不得犯。從今以後，比丘尼不可訓誡比丘，比丘可訓誡比丘尼，……此法……不得犯。阿難！摩訶波闍波提瞿曇彌若受如此八敬法，即以此為其具足戒。」

（五）

時，具壽阿難於世尊處受八敬法之教，至摩訶波闍波提瞿曇彌處。至已，言摩訶波闍波提瞿曇彌，曰：「瞿曇彌！汝若受八敬法，即以此為汝之具足戒。〔謂：〕比丘尼雖受具足戒百歲，但應敬禮……今日受具足戒之比丘……比丘可訓誡比丘尼……此法……不得犯。瞿曇彌！汝若受如此八敬法，即以此為汝之具足戒。」「尊者阿難！如青年、少年之男女，愛好莊飾者，洗頭，得優鉢羅華鬘、婆師華鬘、阿希物多華鬘，以兩手受而置於頭上，如此，阿難！我受此八敬法，盡形壽不犯。」

（六）

時，具壽阿難詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐於一面。於一面坐已，具壽阿難白世尊，曰：「世尊！摩訶波闍波提瞿曇彌已受八敬法，世尊之姨母已受具足戒。」「阿難！若女人不得於如來所說之法與律中離家而出家者，阿難！梵行久住，正法住一千年！阿難！女人於如來所說之法與律中離家而出家故，阿難！今梵行不久住，阿難！今正法唯住五百年！阿難！譬如女多男少之家，盜賊、夜盜易侵入，如此，阿難！若於法與律中，女人得離家而出家者，此梵行不久住。阿難！譬如成就之稻田，名白黴之疫病生時，彼稻田不久住，如此，阿難！若於法與律中，女人得離家而出家者，此梵行不久住。阿難！譬如成就之甘蔗田，名茜黴之疫病生時，彼甘蔗田不久住，如此，阿難！若……不久住。阿難！譬如人為使大池

之水不氾濫而豫設防堤，阿難！如此，我為諸比丘尼豫制八敬法，盡形壽令不得犯。」

———比丘尼八敬法終———

二

（一）

時，摩訶波闍波提瞿曇彌詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而立於一面。於一面立已，摩訶波闍波提瞿曇彌白世尊，曰：「世尊！我於此諸釋女中，應如何為之耶？」時，世尊說法而教示摩訶波闍波提瞿曇彌……令歡喜。時，摩訶波闍波提瞿曇彌，禮敬世尊，右繞而去。時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許比丘尼隨比丘而受具足戒。」

（二）

時，彼諸比丘尼言摩訶波闍波提瞿曇彌，曰：「尊尼未受具足戒，我等已受具足戒。世尊如此制立：『比丘尼應隨比丘而受具足戒。』」時，摩訶波闍波提瞿曇彌至具壽阿難處。至已，敬禮具壽阿難，立於一面。於一面立已，摩訶波闍波提瞿曇彌言具壽阿難，曰：「大德阿難！彼諸比丘尼如此言：『尊尼未受具足戒，我等已受具足戒。世尊如此制立：比丘尼應隨比丘而受具足戒。』」時，具壽阿難詣世尊處。詣已，敬禮世尊而坐於一面。於一面坐之具壽阿難白世尊，曰：「摩訶波闍波提瞿曇彌言：『大德阿難！彼諸比丘尼……制……。』」「阿難！摩訶波闍波提瞿曇彌已受八敬法，以此為受具足戒。」

三

（一）

時，摩訶波闍波提瞿曇彌至具壽阿難處。至已，敬禮具壽阿難，立於一面。於一面立已，摩訶波闍波提瞿曇彌言阿難：「大德阿難！我向世尊請求一願，願世尊許比丘、比丘尼俱，隨長幼而敬禮、迎送、合掌、恭敬。」時，具壽阿難詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，坐於一面。於一面坐已，具壽阿難白世尊，曰：「世尊！摩訶波闍波提瞿曇彌如此言：『大德阿難！……許……。』」「阿難！如來許於女人敬禮、迎送、合掌、恭敬，乃非處非機。阿難！彼有邪說法之諸外道，於女人不敬禮、迎送、合掌、恭敬，何況如來，豈能許於女人敬禮、迎送、合掌、恭敬乎。」時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！於女人不得敬禮、迎送、合掌、恭敬，行者墮惡作。」

四

（一）

時，摩訶波闍波提瞿曇彌詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，立於一面。於一面立已，摩訶波闍波提瞿曇彌白世尊：「世尊！比丘尼之學處有與比丘共通者，於彼學處，我等如何為之耶？」「瞿曇彌！比丘尼之學處與比丘共通者，應如諸比丘之所學而學其學處！」「比丘尼之學處有與比丘不共通者，於彼學處，我等應如何為之耶？」「瞿曇彌！比丘尼之學處與比丘不共通者，隨所制之學處而學之！」

五

（一）

時，摩訶波闍波提瞿曇彌詣世尊住處。詣已，敬禮世尊，立於一面。於一面立已，摩訶波闍波提瞿曇彌白世尊，曰：「願世尊略說教法，我聞世尊之法已，獨住於寂靜、不放逸、熱心、精進。」「瞿曇彌！若汝所知之法，此法資長貪欲而不資長離貪、資長繫縛而不資長離繫、資長積集而不資長損減、資長多欲而不資長少欲、資長不滿足而不資長滿足、資長聚會而不資長閑寂、資長懈怠而不資長精勤、資長難養而不資長易養者，瞿曇彌！應知此非法、非律、非師教。瞿曇彌！若汝所知之法，此法資長離貪而不資長貪欲、資長離繫而不資長繫縛、資長損減而不資長積集、資長少欲而不資長多欲、資長滿足而不資長不滿足、資長閑寂而不資長聚會、資長精勤而不資長懈怠、資長易養而不資長難養者，瞿曇彌！應知此是法、是律、是師教。」

六

（一）

爾時，無人為諸比丘尼誦波羅提木叉。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許為諸比丘尼誦波羅提木叉。」時，諸比丘尼生是念：「誰應為諸比丘尼誦波羅提木叉耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘為諸比丘尼誦波羅提木叉。」

爾時，諸比丘至諸比丘尼之住房，為諸比丘尼誦波羅提木叉。眾人忿怒、非難：「此乃彼等之婦，此乃彼等之情婦，今彼等與彼女等共娛樂。」諸比丘聞彼眾人之忿怒、非難。時，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘不得為諸比丘尼誦波羅提木叉，誦者墮惡作。諸比丘！許諸比丘尼為諸比丘尼誦波羅提木叉。」諸比丘尼不知誦波羅提木叉。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘教諸比丘尼誦波羅提木叉。」

（二）

爾時，諸比丘尼不懺悔罪。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘尼不可不懺悔罪，不懺悔者墮惡作。」諸比丘尼不知懺悔。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘教諸比丘尼懺悔。」時，諸比丘生是念：「誰應受納諸比丘尼之罪耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘受納諸比丘尼之罪。」

爾時，諸比丘尼於街路、巷路、四衢道見比丘，鉢置於地，偏袒，胡跪，合掌而懺悔罪。眾人忿怒、非難：「此乃諸比丘之婦，此乃諸比丘之情婦，夜等閑而今示謝。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘不得受納諸比丘尼之罪，受納者墮惡作。諸比丘！許諸比丘尼受納諸比丘尼之罪。」諸比丘尼不知受納罪。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘教諸比丘尼受納罪。」

（三）

爾時，無人為諸比丘尼行羯磨。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許為諸比丘尼行羯磨。」

時，諸比丘生是念：「誰應為諸比丘尼行羯磨耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘為諸比丘尼行羯磨。」

爾時，已受羯磨之諸比丘尼於街路、巷路、四衢道見比丘，鉢置於地，偏袒，胡跪，合掌而謝，思：「應如此為。」眾人忿怒、非難：「此乃諸比丘之婦，此乃諸比丘之情婦，夜等閑而今示謝。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘不得為諸比丘尼行羯磨，行者墮惡作。諸比丘！許諸比丘尼為諸比丘尼

行羯磨。」諸比丘尼不知行羯磨。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘教諸比丘尼行羯磨。」

七

（一）

爾時，諸比丘尼於僧伽中生起訴訟、鬥諍、諍論，互相以舌鋒衝突而住，不能滅彼諍事。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘滅諸比丘尼之諍事。」

爾時，諸比丘滅諸比丘尼之諍事，滅彼諍事時，有與羯磨之諸比丘尼及犯罪之諸比丘尼。諸比丘尼言：「尊者！願為諸比丘尼行羯磨，請受納諸比丘尼之罪！世尊制立：『諸比丘應滅諸比丘尼之諍事。』」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘為諸比丘尼定羯磨，委任諸比丘尼，令諸比丘尼行諸比丘尼之羯磨；諸比丘定諸比丘尼之罪，委任諸比丘尼，令諸比丘尼受納諸比丘尼之罪。」

八

（一）

爾時，蓮華色比丘尼之隨從比丘尼隨侍世尊七年，學習律，忘念，隨所受而忘。彼比丘尼聞：「世尊欲往舍衛城。」時，彼比丘尼生是念：「我隨侍世尊七年，學習律，忘念，隨所受而忘，女人難盡形壽隨侍師。我應如何為之耶？」時，彼比丘尼以此事告諸比丘，諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許諸比丘教諸比丘尼律。」

———誦品一終

———

九

（一）

時，世尊隨意間住毘舍離城後，向舍衛城遊行，次第遊行至舍衛城。於此，世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。爾時，六群比丘以污水灑諸比丘尼，欲令愛著己等。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘不得以污水灑諸比丘尼，灑者墮惡作。諸比丘！許行責罰彼諸比丘。」時，諸比丘生是念：「應如何行責罰耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可使彼比丘不得受比丘尼之禮敬。」

爾時，六群比丘露身、露腿、露生支而示諸比丘尼，粗語與諸比丘尼交往，欲令愛著己等。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘不得露身、露腿、露生支而示諸比丘尼，不得以粗語與諸比丘尼交往，交往者墮惡作。諸比丘！許行責罰彼比丘。」時，諸比丘生是念：「應如何行責罰耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可使彼比丘不得受比丘尼之禮敬。」

（二）

爾時，六群比丘尼以污水灑諸比丘，欲令愛著己等。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得以污水灑諸比丘，灑者墮惡作。諸比丘！許行責罰彼比丘尼。」時，諸比丘生是念：「應如何行責罰耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許行禁止。」行禁止而不受。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許遮止教誡。」

爾時，六群比丘尼露身、露乳、露腿、露生支而示諸比丘，以粗語與諸比丘交往，欲令愛著己等。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼等不得露身、露乳、露腿、露生支而示諸

比丘，不得以粗語與諸比丘交往，交往者墮惡作。諸比丘！許行責罰彼比丘尼。」時，諸比丘生是念：「應如何行責罰耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許行禁止。」行禁止而不受。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許遮止教誡。」

（三）

時，諸比丘生是念：「可不可與被遮止教誡之比丘尼俱行布薩耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得與被遮止教誡之比丘尼俱行布薩，乃至滅彼諍事。」

爾時，具壽優陀夷遮止教誡而遊行。諸比丘尼忿怒、非難：「何以具壽優陀夷遮止教誡而遊行耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！遮止教誡而不得遊行，遊行者墮惡作。」

爾時，諸愚癡暗昧者遮止教誡。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！愚癡暗昧者不得遮止教誡，遮止者墮惡作。」

爾時，諸比丘無事無因遮止教誡。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！無事無因不得遮止教誡，遮止者墮惡作。」

爾時，諸比丘遮止教誡而不與決定。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！遮止教誡而不得不與決定，不與者墮惡作。」

（四）

爾時，諸比丘尼不往〔受〕教誡。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得不往〔受〕教誡，不往者應如法治之。」

爾時，比丘尼眾全往〔受〕教誡。眾人忿怒、非難：「此乃彼等之婦，此乃彼等之情婦；今彼等與彼女等俱娛樂。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼眾不得全往〔受〕教誡，往者墮惡作。諸比丘！許四、五位比丘尼往〔受〕教誡。」

爾時，四、五位比丘尼往〔受〕教誡。眾人忿怒、非難：「此……娛樂。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！四、五位比丘尼不得往〔受〕教誡，往者墮惡作。諸比丘！許二、三位比丘尼往〔受〕教誡。」

「至一比丘處，偏袒，禮足，胡跪，合掌，應如是唱言：『尊者！比丘尼眾禮比丘眾足，欲乞受教誡，令比丘尼眾得受教誡！』彼比丘至說戒者處，應如此唱言：『尊者！比丘尼眾禮比丘眾足，欲乞受教誡，令諸比丘尼得受教誡。』說戒者應言：『有選任教誡比丘尼眾之比丘耶？』若有選任教誡比丘尼眾之比丘者，說戒者應言：『某甲比丘被選任為教誡比丘尼，比丘尼眾應往彼處。』若無選任教誡比丘尼眾之比丘者，說戒者應言：『何具壽能教誡諸比丘尼耶？』若有能教誡比丘尼而八分具足者，選任而後應言：『某甲比丘被選任為教誡比丘尼，比丘尼眾應往彼處。』若無能教誡諸比丘尼者，說戒者應言：『無被選任為教誡比丘尼之比丘，比丘尼眾應謹慎而精進。』」

（五）

爾時，諸比丘不行教誡。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得不行教誡，不行者墮惡作。」

爾時，有一比丘，愚癡。諸比丘尼至彼處，言：「尊者！請行教誡！」「姊妹！我愚癡也，如何行教誡耶？」「尊者！請行教

誡，世尊如此制立：『比丘應行教誡比丘尼。』」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！除愚癡者外，許餘者行教誡。」

爾時，有一比丘，害病。諸比丘尼至彼處，言：「尊者！請行教誡！」「姊妹！我病，如何行教誡耶？」「尊者！請行教誡，世尊如此制立：『除愚癡者外，餘者應行教誡。』」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！除愚者及病者外，許餘者行教誡。」

爾時，有一遠行比丘。諸比丘尼至彼處，言：「尊者！請行教誡！」「姊妹！我是遠行者，如何行教誡耶？」「尊者！請行教誡，世尊如此制立：『除愚者及病者外，餘者應行教誡。』」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！除愚者、病者及遠行者外，許餘者行教誡。」

爾時，有一比丘，住林中。諸比丘尼至彼處而言：「尊者！請行教誡！」「姊妹！我住林中，如何行教誡耶？」「尊者！請行教誡，世尊如此制立：『除愚者、病者及遠行者外，餘者應行教誡。』」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許阿蘭若比丘約定於彼處而行教誡。」

爾時，諸比丘行教誡而不說。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得不說教誡，不說者墮惡作。」

爾時，諸比丘行教誡而不盡責任。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得不盡責任教誡，不盡責任者墮惡作。」

爾時，諸比丘與諸比丘尼約而不往。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！不得與比丘尼約而不往，不往者墮惡作。」

一〇

（一）

爾時，諸比丘尼著長帶，依此而撓脇。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲之諸在家女。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得著長帶，著者墮惡作。諸比丘！許比丘尼撓一匝之帶。不得撓脇，撓者墮惡作。」

爾時，諸比丘尼以竹布撓脇，或以皮布撓脇，或以白布撓脇，或以白布條撓脇，或以〔有〕褶白布撓脇，或以朱羅布撓脇，或以朱羅條撓脇，或以〔有〕褶朱羅撓脇，或以絲條撓脇，或以〔有〕褶絲撓脇。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲之諸在家女。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得以竹布撓脇，不得以皮布撓脇，不得以白布撓脇，不得以白布條撓脇，不得以〔有〕褶白布撓脇，不得以朱羅布撓脇，不得以朱羅條撓脇，不得以〔有〕褶朱羅撓脇，不得以絲條撓脇，不得以〔有〕褶絲撓脇，撓者墮惡作。」

（二）

爾時，諸比丘尼以牛脛骨令摩擦背，以牛顎骨令按摩背、手、手背、足、足背、腿、臉、齒齦。眾人忿怒、非難：「猶如享諸欲之諸在家女。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得以牛脛骨令摩擦背，不得以牛顎骨令按摩背、手、手背、足、足背、腿、臉、齒齦，令按摩者墮惡作。」

（三）

爾時，六群比丘尼塗臉、摩擦臉、粉飾臉，以雄黃彩飾臉、染四肢、染臉、染四肢及臉。眾人忿怒、非難：「……在家女。」諸

比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得塗臉、摩擦臉、粉飾臉，不得以雄黃彩飾臉、染四肢、染臉、染四肢及面，染者墮惡作。」

（四）

爾時，六群比丘尼刺青、黭面、窺窗外、伸出半身於門外而立、令演舞蹈、蓄淫女、設酒鋪、設肉肆、營市肆、行金融、行商賈、蓄奴、蓄賤女、蓄僕、蓄婢、蓄畜類、賣蔬菜、持刀欘。眾人忿怒、非難：「……在家女。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得刺青、黭面、窺窗外、伸出半身於門外而立、令演舞蹈、蓄淫女、設酒鋪、設肉肆、營市肆、行金融、行商賈、蓄奴、蓄賤女、蓄僕、蓄婢、蓄畜類、賣蔬菜、持刀欘，持者墮惡作。」

（五）

爾時，六群比丘尼著全青衣、全黃衣、全紅衣、全茜色衣、全黑衣、全紅藍色衣、全落葉色衣、無用斷片緣之衣、有長緣之衣、有華緣之衣、有蛇首緣之衣、襯衣、樹皮衣。眾人忿怒、非難：「……在家女。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得著全青衣、全黃衣……襯衣、樹皮衣，著者墮惡作。」

一一

（一）

爾時，有一比丘尼，將死而言：「我死後，我之資具歸於僧伽。」於此，諸比丘及諸比丘尼相爭，曰：「屬我等！」「屬我等！」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！若比丘尼將死而言：『我死後，我之資具歸於僧伽。』於此，比丘眾非擁有

者，乃屬比丘尼眾。諸比丘！若式叉摩那……沙彌尼將死……於此，比丘眾非擁有者，乃屬比丘尼眾。諸比丘！若比丘將死……於此，比丘尼非擁有者，此，乃屬比丘眾。諸比丘！若沙彌……優婆塞……優婆夷……或餘人將死而言：『我死後，我之資具歸於僧伽。』於此，比丘尼眾非擁有者，乃屬比丘眾。」

一二

（一）

爾時，有一摩羅女，於比丘尼中出家，彼女於街道見弱力之比丘，用肩頭衝撞而令轉。諸比丘忿怒、非難：「何以比丘尼衝撞比丘耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得衝撞比丘，衝撞者墮惡作。諸比丘！許比丘尼見比丘時應遠避而讓路。」

一三

（一）

爾時，有一婦女，丈夫不在時，因情夫而妊娠，彼女墮胎，對常教化之比丘尼言：「請將此胎兒置於鉢中持去！」時，彼比丘尼將彼胎兒置於鉢中，用僧伽梨覆藏而持去。爾時，有一乞食比丘，發願：「我初得之食，不與比丘或比丘尼則不食也。」時，彼比丘見彼比丘尼而言：「姊！請受食！」「尊者！止！」二次……三次彼比丘言彼比丘尼……「尊者！止！」「姊！我發願：『我初得之食，不與比丘或比丘尼則不食也。』姊！請受食！」時，彼比丘尼為彼比丘所迫，而出示鉢，曰：「汝看！鉢中有胎兒，勿告任何人！」時，彼比丘忿怒、非難：「何以比丘尼將胎兒置於鉢中而持去耶？」時，彼比丘以此事告諸比丘。諸比丘中少欲者忿怒、非難：「何以比丘尼將胎兒置於鉢中而持去耶？」諸比丘以此事白世

尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得將胎兒置於鉢中而持去，持者墮惡作。諸比丘！許比丘尼見比丘者，應出示鉢。」

（二）

爾時，六群比丘尼見比丘，覆鉢而示底。諸比丘忿怒、非難：「何以六群比丘尼見比丘，覆鉢而示底耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼見比丘，不得覆鉢而示底，示者墮惡作。諸比丘！許比丘尼見比丘者，應傾鉢而示。若鉢中有飲食物，應以此款待比丘。」

一四

（一）

爾時，有男根棄於舍衛城街道，諸比丘尼一心瞻視。眾人叫喚，彼諸比丘尼羞恥。時，彼諸比丘尼往住房，以此事告諸比丘尼。諸比丘尼中少欲者忿怒、非難：「何以諸比丘尼瞻視男根耶？」時，彼諸比丘尼以此事告諸比丘。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得瞻視男根，瞻視者墮惡作。」

一五

（一）

爾時，眾人以食物與諸比丘，諸比丘與諸比丘尼。眾人忿怒、非難：「諸大德何以將施與己受用者而與他人耶？我等豈不知布施耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！施與己受用者不得與他人，與者墮惡作。」

爾時，諸比丘之食物過多。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許與僧伽。」越來越多。諸比丘以此事白世尊，

〔世尊曰：〕「諸比丘！亦許與個人。」

爾時，諸比丘所蓄藏食物過多。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘所蓄藏許比丘尼及比丘取而受用。」

（二）

爾時，眾人與諸比丘尼食物，諸比丘尼與諸比丘。眾人忿怒、非難：「何以諸比丘尼將施與已受用者而與他人耶？我等豈不知布施耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得將施與已受用者而與他人，與者墮惡作。」

爾時，諸比丘尼食物過多。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許與僧伽。」越來越多。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！亦許與個人。」

爾時，諸比丘尼所蓄藏食物過多。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘尼所蓄藏許比丘及比丘尼取而受用。」

一六

（一）

爾時，諸比丘之臥坐具過多，而諸比丘尼無。諸比丘尼遣使者至諸比丘處，言：「尊者！願暫時將臥坐具與我等！」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可暫時將臥坐具與諸比丘尼。」

（二）

爾時，諸比丘尼有月忌而坐臥於有覆之牀、有覆之小牀，臥坐具塗血。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不

得坐臥於有覆之牀、有覆之小牀，坐臥者墮惡作。諸比丘！許屋內衣。」屋內衣塗血。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許小帶。」小帶落。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許以紐縛之而後縛於腿。」紐斷。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許褌襠及腰紐。」

爾時，六群比丘尼時常持腰紐。眾人忿怒、……「如……諸在家女。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得時常持腰紐，持者墮惡作。諸比丘！有月忌時許腰紐。」

———誦品二終
———

十七

（一）

爾時，受具足戒之女有無相女、少相女、無月水女、常月水女、恆布女、漏水女、長崛女、黃門女、出兩邊〔如男性之〕女、壞根女、二根女。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！授具足戒時，許問二十四障法。諸比丘！應如是問：『汝非無相女耶？非少相女耶？非無月水女耶？非常月水女耶？非恆布女耶？非漏水女耶？非長崛女耶？非黃門女耶？非出兩邊女耶？非壞根女耶？非二根女耶？無癩、癰、白癩、肺病、癲狂之病耶？是人耶？是女耶？自在耶？無負債耶？非王臣耶？父母、夫許可耶？滿二十歲耶？鉢、衣圓滿耶？何名耶？和尚尼何名耶？』」

（二）

爾時，諸比丘問諸比丘尼障法。願受具足戒之諸女困惑羞愧而不能答。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！於比丘尼

眾受一部具足戒，已清淨後，許於比丘眾授具足戒。」

爾時，諸比丘尼對願受具足戒之女，未與教誡而問障法。願受具足戒之女困惑羞愧而不能答。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許先教誡後而問障法。」

於僧伽中教誡。願受具足戒之女困惑羞愧而不能答。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許於一邊教誡後問障法。諸比丘！應如此教誡：應先選和尚，令選和尚後，示鉢、衣而應言：『此是汝鉢，此是僧伽梨，此是鬱多羅僧，此是安陀會，此是覆肩衣，此是水浴衣。往立於彼處。』」

（三）

愚癡暗昧之女與教誡。願受具足戒之女受教誡，困惑羞愧而不能答。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！愚癡暗昧之女不得與教誡，與教誡者墮惡作。諸比丘！許聰明賢能比丘尼與教誡。」

（四）

未當選之女與教誡。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！未當選之女不得與教誡，與教誡者墮惡作。諸比丘！許當選之女與教誡。諸比丘！應如是選：或選己，或選他女。何者為選己？應由一聰明賢能之比丘尼於僧伽中唱言：『諸大姊！請聽我言！某甲女願從某乙大姊受具足戒。若僧伽機熟，我與某甲女教誡。』如此是選己。如何是選他女耶？應由一聰明賢能之比丘尼於僧伽中唱言：『諸大姊！請聽我言！某甲女願從某乙大姊受具足戒。若僧伽機熟，應由某丙女教誡某甲女。』如此為選他女。」

（五）

「彼當選之比丘尼至願受具足戒女之處，應言：『某甲女！請聽我言！今是汝〔語〕真之時、〔語〕實之時也。於僧伽受問時，有即言有，無即言無，勿困惑，勿羞愧。如此問汝：汝非無相女耶？……和尚尼何名耶？』」

〔教誡女與受者〕相伴而來。「不得相伴而來。教誡女應先來告僧伽，言：『諸大姊！請聽我言！某甲女願從某乙大姊受具足戒。我已與彼女教誡。若僧伽機熟，令某甲女前來。』應言：『來！』令偏袒上衣，禮諸比丘尼足，胡跪，合掌而乞請具足戒：『〔諸大姊！〕我向僧伽乞請具足戒，請僧伽哀愍、救度我。二次……三次我向僧伽乞請具足戒，請僧伽哀愍、救度我。』

（六）

應由一聰明賢能之比丘尼於僧伽中唱言：『諸大姊！請聽我言！此處，某甲女願從某乙大姊受具足戒。若僧伽機熟，我問某甲女障法。某甲女！請聽！今汝〔語〕真之時、〔語〕實之時也。我問汝事，有即言有，無即言無。汝非無相女耶？……和尚尼何名耶？』」

（七）

「應由一聰明賢能之比丘尼於僧伽中唱言：『諸大姊！請聽我言！此處，某甲女願從某乙大姊受具足戒。清淨無障法，鉢、衣圓滿。某甲女請僧伽以某乙大姊為和尚尼而受具足戒。若僧伽機熟，僧伽應以某乙大姊為和尚尼，授某甲女具足戒。是乃表白。

諸大姊！請聽我言！此處……以某乙大姊為和尚尼而受具足戒。僧伽以某乙大姊為和尚尼，授某甲女具足戒。以某乙大姊為和尚尼，授某甲女具足戒，諸大姊聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……請言。

僧伽以某乙大姊為和尚尼，已授某甲女具足戒。諸大姊……了知。』」

（八）

「即相伴至比丘眾處，令偏袒上衣，禮諸比丘足，胡跪，合掌而請具足戒：『〔諸大德！〕我某甲願從某乙大姊受具足戒，已於比丘尼眾受一分具足戒，已清淨。向僧伽乞請具足戒，請僧伽哀愍、救度我。我某甲……已清淨。二次……我某甲……已清淨。我三次向僧伽乞請具足戒，請僧伽哀愍、救度我。』」

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：『諸大德！請聽我言！此處，某甲女願從某乙女受具足戒，已於比丘尼眾受一分具足戒，已清淨。某甲女以某乙女為和尚尼，向僧伽乞請具足戒。若僧伽機熟，僧伽應以某乙女為和尚尼，授某甲女具足戒。是乃表白。

諸大德！請聽我言！此處……以某乙女為和尚尼而受具足戒。僧伽以某乙女為和尚尼，授某甲女具足戒。以某乙女為和尚尼，授某甲女具足戒，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……請言。

僧伽以某乙女為和尚，已授某甲女具足戒。具壽聽……了知。』」

「隨即量〔日〕影，告時季、日分、法式，應向諸比丘尼言：『告此女三依及八非事。』」

一八

（一）

爾時，諸比丘尼於食堂，於座有猶豫而過時。諸比丘以此事白世尊，世尊曰：「諸比丘！許八比丘尼隨其長幼，其餘則隨到來〔次序〕。」

爾時，諸比丘尼言：「世尊許八比丘尼隨其長幼，餘者則隨到來〔次序〕。」於一切處，八比丘尼隨其長幼而遮，餘者即隨到來〔次序〕。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！於食堂，八比丘尼隨其長幼，餘者隨到來〔次序〕，於其他之一切處，不得隨其長幼而遮，遮者墮惡作。」

一九

（一）

爾時，諸比丘尼不行自恣。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不可不行自恣，若不行者，應如法治之。」

爾時，諸比丘尼自行自恣，於比丘眾不行自恣。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼自行自恣，於比丘眾不可不行自恣，不行者應如法治之。」

爾時，諸比丘尼與諸比丘同時行自恣，以致喧擾。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得與諸比丘同時行自恣，行者墮惡作。」

爾時，諸比丘尼於食前行自恣而時過。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許於食後行自恣。」食後行自恣，為非時。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許當日〔於比丘尼眾〕行自恣，而翌日於比丘眾行自恣。」

（二）

爾時，比丘尼眾皆行自恣，以致喧擾。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許選一聰明賢能之比丘尼，令為比丘尼眾於比丘眾行自恣。諸比丘！應如此選：應先請比丘尼，請後，應由一聰明賢能之比丘尼於僧伽中唱言：『諸大姊！請聽我言！若僧伽機熟，僧伽選比丘尼，令為比丘尼眾於比丘眾行自恣。是乃表白。

諸大姊！請聽我言！僧伽選某甲比丘尼，令為比丘尼眾於比丘眾行自恣。選某甲比丘尼，令為比丘尼眾於比丘眾行自恣，諸大姊聽者默然，不聽者請言。

僧伽選某甲比丘尼，已令為比丘尼眾於比丘眾行自恣。諸大姊聽……了知。』」

（三）

「由當選之彼比丘尼率比丘尼眾至比丘眾處，偏袒上衣，禮諸比丘足，胡跪，合掌，白如是言：『〔諸大德！〕比丘尼眾依見、聞、疑，向比丘眾行自恣。比丘眾請哀愍比丘尼眾而說，見〔罪〕則當懺悔。二次……三次……比丘尼眾向比丘眾……懺悔。』」

二〇

（一）

爾時，諸比丘尼妨礙諸比丘布薩，妨礙自恣，與〔比丘〕交談，與教誡，得許可，非難，令憶念。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得妨礙比丘布薩，雖妨礙亦不成妨礙，妨礙者墮惡作。不得妨礙自恣，雖妨礙不成妨礙，妨礙者墮惡作。不得與〔比丘〕交談，雖語亦不成語，語者墮惡作。不得與教誡，雖與亦不成與，與者墮惡作。不得得許可，雖得亦不成得，得

者墮惡作。不得非難，雖非難亦不成非難，非難者墮惡作。不得令憶念，雖令憶念亦不成令憶念，令憶念者墮惡作。」

爾時，諸比丘妨礙諸比丘尼布薩……令憶念。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許比丘妨礙比丘尼布薩，妨礙者善妨礙也，妨礙者無罪……許令憶念，令憶念者無罪。」

二一

（一）

爾時，六群比丘尼乘車而往，或牝牛牽而男子御，或牡牛牽而女人御。眾人……非難：「猶如於恆河、摩企河之〔歡喜祭〕。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得乘車而往，往者如法治之。」

爾時，有一比丘尼，病而不能步行。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！病女許車乘。」

時，諸比丘尼生是念：「牝牛牽耶？牡牛牽耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許以手、牝牛、牡牛牽。」

爾時，有一比丘尼，因車乘搖動而苦惱。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許輿、轎。」

二二

（一）

爾時，淫女半迦尸於比丘尼眾中出家，彼女往舍衛城，於世尊處欲受具足戒。諸惡人聞：「淫女半迦尸欲往舍衛城。」阻礙道路。淫女半迦尸聞：「諸惡人阻礙道路。」遣使至世尊處，言：

「我欲受具足戒，我應如何為之耶？」時，世尊以是因緣，於此時機，說法而告諸比丘曰：「諸比丘！許受使而授具足戒。」

（二）

比丘為受使而授具足戒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘不得為受使而授具足戒，授者墮惡作。」

式叉摩那為受使而授具足戒，沙彌為受使而授具足戒，沙彌尼為受使而授具足戒，愚癡暗昧之女為受使而授具足戒。「諸比丘！愚癡暗昧之女不得為受使而授具足戒，授者墮惡作。諸比丘！許聰明賢能之比丘尼為受使而授具足戒。」

（三）

「彼受使比丘尼至僧伽處，偏袒上衣，禮諸比丘足，胡跪，合掌，白如是言：『某甲女願從某乙大姊受具足戒，已於比丘尼眾受一分具足戒，已清淨，彼女有若干障礙而不能來。〔諸大德！〕某甲女向僧伽乞請具足戒，請僧伽哀愍、救度彼女。某甲女……不能來。二次某甲女向僧伽乞請具足戒……請……救度彼女。某甲女……不能來。三次某甲女向僧伽乞請具足戒……請……救度彼女。』」

「應由一聰明賢能比丘於僧伽中唱言：『諸大德！請聽我言！某甲女願從某乙女受具足戒，已於比丘尼眾受一分具足戒，已清淨，彼女有若干障礙不能來。某甲女以某乙女為和尚尼，向僧伽乞請具足戒。若僧伽機熟，僧伽應以某乙女為和尚尼而授某甲女具足戒。是乃表白。

諸大德！請聽我言！某甲女願從某乙女受具足戒……以某乙女為和尚尼，向僧伽乞請具足戒。僧伽以某乙女為和尚尼，授某甲女

具足戒。以某乙女為和尚尼，授某甲女具足戒，具壽聽者默然，不聽者請言。我二次言此事……我三次言此事……請言。

僧伽以某甲女為和尚尼，已授某甲女具足戒。具壽聽……了知。』」

「隨即量〔日〕影，告季節、日分、法式，應向諸比丘尼說：『告此女三依及八非事。』」

二三

（一）

爾時，諸比丘尼住阿蘭若，被諸惡人所污。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得住阿蘭若，住者墮惡作。」

二四

（一）

爾時，有一優婆塞，以小屋施與比丘尼眾。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許小屋。」小屋不足。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘，許住房。」住房不足。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許營造。」營造不足。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許為個人作。」

二五

（一）

爾時，有一婦人，懷胎而於比丘尼眾中出家。彼女出家而產下一兒。時，彼比丘尼生是念：「我於此男兒如何為之耶？」諸比丘

以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許養彼男兒，至能分別。」時，彼比丘尼生是念：「我不得獨住，男兒亦不得與他比丘尼俱住，我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！可選一比丘尼隨伴彼比丘尼。諸比丘！應如此選：應先請比丘尼，請後，應由一聰明賢能比丘尼於僧伽中唱言：『諸大姊！請聽我言！若僧伽機熟，僧伽應選某甲比丘尼，為某乙比丘尼之隨伴。是乃表白。

諸大姊！請聽我言！僧伽選某甲比丘尼為某乙比丘尼之隨伴。選某甲比丘尼為某乙比丘尼之隨伴，大姊聽者默然，不聽者請言。僧伽已選某甲比丘尼為某乙比丘之隨伴。諸大姊聽……了知。』」

（二）

時，彼隨伴比丘尼生是念：「我於此男兒應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許除同屋外，如待其他男子而待此男兒。」

（三）

爾時，有一比丘尼，犯尊法而行摩那埵。時，彼比丘尼生是念：「我不得獨住，餘比丘尼亦不得與我俱住。我應如何為之耶？」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！選一比丘尼隨伴彼比丘尼。諸比丘！應如是選：應先……『……我如是了知。』」

二六

（一）

爾時，有一比丘尼，棄學而還俗。彼女再歸來，向諸比丘尼乞請具足戒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼

不得棄學，若還俗者，即非比丘尼也。」

（二）

爾時，有一比丘尼，著袈裟衣而歸外道。彼女再歸來，向比丘尼乞請具足戒。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼若著袈裟衣而歸外道者，亦不得授具足戒。」

二七

（一）

爾時，諸比丘尼疑懼而不受男子敬禮、剪髮、剪爪、療瘡。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許受之。」

（二）

爾時，諸比丘尼結跏趺坐而受〔足〕跟觸。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得結跏趺坐，坐者墮惡作。」

爾時，有一病比丘尼，彼女不結跏趺坐不得安穩。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！許比丘尼半跏趺坐。」

（三）

爾時，諸比丘尼於廁房大便。六群比丘尼於其處墮胎。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得於廁房大便，行者墮惡作。諸比丘！許比丘尼許於下開、上覆處大便。」

（四）

爾時，諸比丘尼用細麵沐浴。眾人忿怒、非難：「猶……在家女。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得用細麵沐浴，浴者墮惡作。諸比丘！許用糠及粘土。」爾時，諸比丘尼用有香氣之粘土沐浴。眾人忿怒、非難：「猶……在家女。」諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得用有香氣之粘土沐浴，浴者墮惡作。諸比丘！許用原粘土。」爾時，諸比丘尼於暖房沐浴而喧擾。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得於暖房沐浴，浴者墮惡作。」爾時，諸比丘尼逆水而沐浴，受流水之觸。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！諸比丘尼不得逆水而沐浴，浴者墮惡作。」爾時，諸比丘尼於非渡處沐浴，被諸惡人所污。諸比丘以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得於非渡處沐浴，浴者墮惡作。」爾時，諸比丘尼於男人渡處沐浴。眾人忿怒、非難：「猶……在家女。」以此事白世尊，〔世尊曰：〕「諸比丘！比丘尼不得於男人渡處沐浴，浴者墮惡作。諸比丘！許於女人渡處沐浴。」

———誦品三

〔終〕———

此犍度有一百六事。攝頌曰：

瞿曇彌出家　世尊所不許
如來遍導師　從迦毘羅衛
以適毘舍離　塵塗立門屋
則向阿難說　母・養母・理趣
請求可得否　百歲・新出家
無比丘・二法　自恣及敬法
二年・不罵詈　障閉・行八法
行之盡形壽　即受具足戒
千年五百年　譬喻來夜盜
生白黴茜黴　如是正法滅
設堤等譬喻　如此正法住
具足戒・尊者　隨長幼・不為

何況・共・不共　乃至於教誡
波羅提木叉　誰・住房・不知
教・不懺悔者　以及諸比丘
諸比丘受納　諸尼納受・教
羯磨・比丘・忿　諸比丘尼教
訴訟乃制立　蓮華色・舍城
污水・不禮・身　腿・生支・粗語
交・六群・不禮　罪・比丘尼同
遮・教誡・可・去　愚人及無事
完成與教誡　五人僧・二三
不行・並愚人　病人・遠行者
於阿蘭若者　不說・不果・往
長・竹・及皮・白　布・條褶・朱羅
條褶・絲・條褶　牛脛骨・顎骨
手背・足・腿・面　齒齦・塗・摩擦
粉飾・彩・塗肢　塗面以及二
刺青及黡面　窗・門口・舞蹈
淫女與酒鋪　肉肆及市肆
金融與商賈　蓄奴・賤・僕・婢
蓄婢與畜類　蔬菜・持氈布
青・黃・紅・茜色　黑衣・紅藍色
以及落葉色　不用斷片・長
華以及蛇首　襯衣・樹皮衣
著以上之衣　或為比丘尼
或式叉摩那　及沙彌尼死
以讓資具者　比丘尼為主
比丘及沙彌　以至優婆塞
乃至優婆夷　讓其他資具
以比丘為主　摩羅女・胎兒
鉢底・男根・食　過多・越更多
蓄藏之飲食　如同諸比丘
比丘尼亦然　臥坐具・月忌
塗・衣・切・時常　無相・及少相
以及無月水　常月水・恆布
漏水及長崛　黃門女・兩邊
壞根・有二根　無相至二根
由此以下癩　癰・白癩・肺病
癲病及人・女　自在・無負債

非王臣・許可　二十歲・圓滿
何名・和尚尼　問二十四障
後授具足戒　困惑・未教誡
僧伽・選和尚　乃至僧伽梨
與鬱多羅僧　安陀會・肩衣
沐浴衣・後遣　愚癡・不當選
相伴與請求　以至問障法
一分具足戒　比丘眾・時季
影・日分・法式　三依・八非事
時・一切處・八　諸尼不自恣
比丘眾・喧擾　食前・非時・擾
布薩與自恣　互語及教誡
許可・難・憶念　大仙所禁止
比丘・比丘尼　大仙之聽許
乘車及病・牽　車乘之搖動
半迦尸・比丘　叉摩那・沙彌
沙彌尼・愚女　乃至阿蘭若
信士之小屋　住房・營造窄
懷胎・獨・同屋　敬法・棄及歸
禮・髮爪・療瘡　及結跏趺坐
病女・及大便　細麵與香氣
暖房及逆流　非渡處・男人
請求瞿曇彌　阿難如理慮
勝者之所教　出家有四眾
乃至生厭離　為增長正法
敬請佛如來　以示病苦藥
如此知正法　餘之女亦是
所至不滅處　至者則無憂

第十一　五百〔結集〕犍度

一

（一）

時，具壽摩訶迦葉告諸比丘，曰：

「諸友！一時，我與五百大比丘眾俱，於波婆國拘尸那城途中。諸友！時，我離道路於一樹下坐。爾時，有一邪命外道，持曼陀羅華，於波婆國途中。諸友！我見彼邪命外道從遠處而來，見而言彼邪命外道：『友！知我等之師耶？』『友！我知，今日，沙門瞿曇般涅槃已七日，我由彼處得此曼陀羅華。』諸友！於此，未離欲之諸比丘或舉手、投身，輾轉反側而言：『世尊何早般涅槃！世間眼何早滅！』已離欲之諸比丘忍而正念正知：『諸行無常，如何得〔常〕。』諸友！時，我言彼諸比丘：『諸友！止！勿憂！勿愁！世尊豈非豫言：「一切之所愛樂與別離、離散、分離。」諸友！如何得〔常〕。所生、所成、有為、有滅壞法者，不令滅壞，不應有此處。』

諸友！爾時，有老年出家者，名須跋陀羅，坐於眾中。諸友！時，老年出家者須跋陀羅告彼諸比丘，言：『諸友！勿憂！勿愁！我等得脫彼大沙門亦善。此應，此不應，困惱我等，今我等若欲則為，若不欲則不為。』

諸友！於非法興而法衰、非律興而律衰、非法說者強而如法說者弱、非律說者強而如律說者弱之前，我等宜先結集法與律。」

（二）

「若爾，長老大德！請選擇比丘。」時，摩訶迦葉所選五百中乃缺一。諸比丘言具壽摩訶迦葉：「大德！此處有具壽阿難，雖有學，但為貪、瞋、癡、怖而不墮非道，且彼隨世尊學甚多法與律。若爾，長老大德！請亦選擇阿難。」時，具壽摩訶迦葉亦選擇阿難。

（三）

時，諸長老比丘作是念：「我等應於何處結集法與律耶？」時，諸長老比丘作是念：「王舍城飲食豐而臥坐具多。我等宜於王舍城住雨安居而結集法與律，不令餘諸比丘來王舍城雨安居。」

（四）

時，具壽摩訶迦葉告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，僧伽選此五百比丘，於王舍城住雨安居而令結集法與律，不令餘諸比丘於王舍城住雨安居。是乃表白。諸大德！請聽我言！僧伽選此五百比丘，於王舍城住雨安居而令結集法與律，不令餘諸比丘於王舍城住雨安居。選此五百比丘，於王舍城住雨安居而令結集法與律，不令餘諸比丘於王舍城住雨安居，具壽聽者默然，不聽者請言。具壽選此五百比丘，於王舍城住雨安居而令結集法與律，不令餘諸比丘於王舍城住雨安居。具壽聽……了知。」

（五）

時，諸長老比丘為結集法與律，往王舍城。時，諸長老比丘生是念：「諸友！世尊讚歎修理破損。諸友！我等於第一月修理破損，於中月集會，結集法與律。」時，諸長老比丘於第一月修理破損。

（六）

時，具壽阿難念：「明日有集會，我有學而不相應往集會。」夜之多分持身念而過，夜過，清晨欲倚身而臥，頭未至枕，腳已離地，於其間，脫諸漏，心解脫。時，具壽阿難得阿羅漢而往集會。

（七）

時，具壽摩訶迦葉告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，我問律於優波離。」具壽優波離告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，我答具壽摩訶迦葉所問之律。」時，具壽摩訶迦葉言具壽優波離，曰：「友！優波離！於何處制立第一波羅夷耶？」「大德！於毘舍離城。」「因誰耶？」「因須提那迦蘭陀子。」「為何事耶？」「為不淨法也。」時，具壽摩訶迦葉問具壽優波離第一波羅夷之事，問因緣、人、制、隨制、犯、不犯。「友！優波離！於何處制立第二波羅夷耶？」「大德！於王舍城。」「因誰耶？」「因墮尼迦陶師子。」「為何事耶？」「為不與取。」時，具壽摩訶迦葉問具壽優波離第二波羅夷之事，問因緣……不犯。「友！優波離！於何處制立第三波羅夷耶？」「大德！於毘舍離城。」「因誰耶？」「因眾多比丘。」「為何事耶？」「為人身。」時，具壽摩訶迦葉問具壽優波離第三波羅夷之事，問因緣……不犯。「友！優波離！於何處制立第四波羅夷耶？」「大德！於毘舍離城。」「因誰耶？」「因婆裘河邊諸比丘。」「為何事耶？」「為上人法。」時，具壽摩訶迦葉問具壽優波離第四波羅夷之事，問因緣……不犯。由此方便，問兩部律，具壽優波離隨問而答之。

（八）

時，具壽摩訶迦葉告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，我問法於阿難。」具壽阿難告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，我答具壽摩訶迦葉所問之法。」時，具壽摩訶迦

葉言具壽阿難：「友！阿難！於何處說梵網經耶？」「大德！於王舍城與那蘭陀間之王屋菴羅絺。」「因誰耶？」「因普行梵志須卑及孺童梵摩達。」時，具壽摩訶迦葉問具壽阿難梵網經之因緣及人。「友！阿難！於何處說沙門果經耶？」「大德！於王舍城耆婆菴婆園。」「與誰俱耶？」「與阿闍世韋提希子俱。」時，具壽摩訶迦葉問具壽阿難沙門果經之因緣及人。由此方便，問五部經，具壽阿難隨問而答之。

（九）

時，具壽阿難言諸長老比丘：「諸大德！世尊般涅槃時，曾對我言：『阿難！我滅度後，僧伽若欲者，小小戒可捨。』」「友！阿難！何者為小小戒，曾請問世尊否？」「大德！何者為小小戒，我未曾請問世尊。」一分長老等言：「除四波羅夷外，餘為小小戒。」一分長老等言：「除四波羅夷、十三僧殘，餘為小小戒。」一分長老等言：「除四波羅夷、十三僧殘、二不定，餘為小小戒。」一分長老等言：「除四波羅夷、十三僧殘、二不定、三十捨墮，餘為小小戒。」一分長老等言：「除四波羅夷、十三僧殘、二不定、三十捨墮、九十二波逸提，餘為小小戒。」一分長老等言：「除四波羅夷、十三僧殘、二不定、三十捨墮、九十二波逸提、四提舍尼，餘為小小戒。」

時，具壽摩訶迦葉告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！我等之戒，有關在家人，雖是在家人，亦知我等：此是汝等釋子應〔為〕，此是不應〔為〕。若我等捨小小戒，或有人言：『沙門瞿曇為弟子制戒，〔不久〕如煙矣！師在時學戒，今師般涅槃而不學戒。』若僧伽機熟，僧伽未制不得制，已制不得壞，隨所制之戒而持住。是乃表白。諸大德！請聽我言！我等之戒……『……今……不學戒。』僧伽未制不得制，已制不得壞，隨所制之戒而持住。未制不得制，已制不得壞，隨所制之戒而持住，具壽聽者默然，不聽

者請言。僧伽未制不得制，已制不得壞，隨所制之戒而持住。具壽聽……了知。」

（一〇）

時，諸長老比丘言具壽阿難：「友！阿難！汝不問世尊何者為小小戒，是惡作，懺悔此惡作！」「諸大德！我失念，未問世尊何者為小小戒，我不見惡作，然信諸具壽故，懺悔此惡作。」

「友！阿難！汝踏世尊之雨浴衣而縫，是惡作，懺悔此惡作！」「諸大德！我非不尊重故而踏世尊之雨浴衣而縫，我不見惡作，然信諸具壽故，懺悔此惡作。」

「友！阿難！汝令諸女人先禮世尊之舍利，彼女等啼泣，而淚污世尊之舍利，是惡作，懺悔此惡作！」「諸大德！我恐而非時至，故先使女人禮世尊之舍利，我不見惡作，然信具壽等故，懺悔此惡作。」

「友！阿難！世尊示廣大相，示廣大現，汝不乞求世尊，白：『世尊！請住一劫，善逝！請住一劫，為眾生之利益，為眾生之安樂，為世間之哀愍，為人天之義利、利益、安樂。』是惡作也，懺悔此惡作！」「諸大德！我為魔所覆，故未乞求，白：『世尊！請住一劫……為眾生……安樂。』我不見惡作，然信諸具壽故，懺悔此惡作。」

「友！阿難！由汝勉勵，得使女人於如來所說法、律中出家，是惡作也，懺悔此惡作！」「諸大德！彼摩訶波闍波提瞿曇彌是世尊之姨姆、養母、哺乳母，生母命終之後，乳哺世尊，如此思惟，故勉勵使女人得於如來所說法、律中出家，我不見惡作，然信諸具壽故，懺悔此惡作。」

（一一）

爾時，具壽富蘭那與大比丘眾五百人俱，遊行於南山。時，具壽富蘭那於諸長老比丘結集法與律時，隨意間住南山後，至王舍城竹林迦蘭陀迦園諸長老比丘處。至已，與諸長老比丘相俱問訊而坐於一面。於一面坐時，諸長老比丘言具壽富蘭那：「友！富蘭那！諸長老結集法與律，受此結集！」「諸友！結集法與律雖善，然而，我如世尊現前時所聞、所受而受持。」

（一二）

時，具壽阿難言諸長老比丘：「世尊般涅槃時，曾言我：『阿難！若我滅度後，令僧伽以闡陀比丘為梵壇！』」「友！阿難！何者是梵壇，汝曾請問世尊否？」「大德！何者是梵壇，我曾請問世尊。『阿難！闡陀如欲語諸比丘時，諸比丘不得語、不得教導、不得教誡闡陀比丘。』」「友！阿難！若爾，汝自令闡陀比丘為梵壇！」「諸大德！我如何令闡陀比丘為梵壇耶？彼比丘暴戾粗惡也。」「友！阿難！若爾，與多比丘俱往。」「唯！唯！大德！」具壽阿難應諾諸長老比丘，與大比丘眾五百人俱，乘船溯流至憍賞彌國，下〔船〕，於憂陀延那王之園附近一樹下坐。

（一三）

爾時，憂陀延那王與侍女等俱，遊步於園。憂陀延那王之諸侍女聞：「我等之尊師阿難，於園附近一樹下坐。」時，憂陀延那王之諸侍女言憂陀延那王：「大王！我等之尊師阿難於園附近一樹下坐，大王！我等欲見尊師阿難。」「然，汝等見沙門阿難！」時，憂陀延那王之諸侍女至具壽阿難處。至已，敬禮具壽阿難而坐於一面。於一面坐時，具壽阿難為憂陀延那王之諸侍女說法、教示、勸導、讚歎、獎勵，使之慶喜。時，憂陀延那王之諸侍女因具壽阿難

之說法、教示……而慶喜，布施具壽阿難五百鬱多羅僧衣。時，憂陀延那王之諸侍女聞具壽阿難之所說，歡喜踊躍，起坐敬禮已，右繞具壽阿難，還至憂陀延那王處。

（一四）

憂陀延那王見諸侍女由遠處而來，見而言諸侍女：「汝等見沙門阿難否？」「大王！我等已見尊師阿難。」「汝等與沙門阿難若干耶？」「大王！我等與尊師阿難五百鬱多羅僧衣。」憂陀延那王忿怒、非難：「何以沙門阿難受如此多衣耶？沙門阿難欲為衣商？欲開商鋪耶？」時，憂陀延那王至具壽阿難處。至已，與具壽阿難互相會釋，交換可慶喜、可感銘之語已，坐於一面。於一面坐已，憂陀延那王言具壽阿難：「阿難！我諸侍女來此處否？」「大王！汝諸侍女來過此處。」「阿難！與尊者若干耶？」「大王！與我五百鬱多羅僧衣。」「尊者阿難！如此多衣何為耶？」「大王！將分與〔著〕敝衣之諸比丘。」「阿難！汝等之舊敝衣何為耶？」「大王！以作上覆。」「阿難！汝等舊上覆何為耶？」「大王！以作褥覆。」「阿難！汝等舊褥覆何為耶？」「大王！作地上之敷具。」「阿難！汝等舊地上之敷具何為耶？」「大王！作拭足布。」「阿難！汝等舊拭足布何為耶？」「大王！作雜巾。」「阿難！汝等舊雜巾何為耶？」「大王！碎後，與泥漿混合以塗地牀。」時，憂陀延那王〔知〕此諸釋子如理使用一切物而不令散壞，更施具壽阿難五百衣。此乃具壽阿難首次受千衣之布施也。

（一五）

時，具壽阿難至瞿師羅園。至已，坐於已設之座。時，具壽闡陀至具壽阿難處。至已，敬禮具壽阿難而坐於一面。坐於一面時，具壽阿難言具壽闡陀：「友！闡陀！僧伽令汝為梵壇。」「大德阿難！何者為梵壇耶？」「友！闡陀！汝如欲語諸比丘時，諸比丘不

得語汝，不得教導汝，不得教誡汝。」言：「大德阿難！如此非殺我耶？諸比丘不得語、教導、教誡我。」而於其處悶絕而倒地。時，具壽闡陀為梵壇辛苦、慚愧、嫌厭，獨自遠離不放逸，熱心、精進而住，不久，善男子離家出家之本懷，於現法中自證知、現證無上梵行究竟而住。證知〔我〕生已盡，梵行已立，所作已辦，不受後有，具壽闡陀已為阿羅漢之一人。時，得阿羅漢之具壽闡陀，至具壽阿難處。至已，言具壽阿難：「大德阿難！今為我止梵壇！」「友！闡陀！汝得阿羅漢時，已止梵壇。」

（一六）

此律結集時有五百比丘，不多亦不少，故名此律結集為五百〔結集〕。

此犍度有二十三事。攝頌曰：

佛陀涅槃時　長老名迦葉
為護持正法　以告比丘眾
在波婆旅途　須跋陀羅言
於非法興前　先結集正法
五百人缺一　則亦選阿難
洞窟雨安居　結集法與律
律問優波離　經問賢阿難
勝者之弟子　以結集三藏
小小戒異論　隨所制而住
不請問・及踏　行禮・不請求
女人之出家　信故懺惡作
富蘭那・梵壇　有憂陀延那
與彼諸侍女　如此多敝衣
上覆及褥覆　地上之敷具
拭・雜巾・混泥　以名阿難者
始得有千衣　恐懼於梵壇
且得於四諦　五百自在者
名五百結集

第十二　七百〔結集〕犍度

一

（一）

爾時，世尊般涅槃百年，毘舍離之跋耆子諸比丘，於毘舍離城出十事，〔謂：〕器中鹽淨，兩指淨，近聚落淨，住處淨，後聽可淨，常法淨，不攪乳淨，飲閣樓伽酒淨，無縷邊坐具淨，金銀淨。

爾時，有具壽耶舍迦乾陀子，遊行跋耆國，至毘舍離城。於此，具壽耶舍迦乾陀子住毘舍離城大林重閣堂。爾時，毘舍離之跋耆子諸比丘於布薩日，以水注滿銅鉢，置於比丘眾中，言毘舍離之諸優婆塞來者：「諸友！僧伽需要資具，與僧伽一迦利沙槃、半迦利沙槃、四分迦利沙槃、一摩沙迦！」如此言時，具壽耶舍迦乾陀子告毘舍離之諸優婆塞：「諸友！勿與僧伽一迦利沙槃……一摩沙迦，金銀於沙門釋子為不淨，沙門釋子不受金銀，沙門釋子不取金銀，沙門釋子棄摩尼黃金，遠離金銀。」具壽耶舍迦乾陀子如此言時，毘舍離之諸優婆塞仍與僧伽一迦利沙槃……一摩沙迦。

時，是夜過後，毘舍離之跋耆子諸比丘以彼金錢分與諸比丘，一一配分。時，毘舍離之跋耆子諸比丘言具壽耶舍迦乾陀子：「友！耶舍！此是汝所分配之金錢。」「諸友！我無分配金錢，我不受金錢。」

（二）

時，毘舍離之跋耆子諸比丘言：「諸友！此處，耶舍迦乾陀子罵詈、誹謗有信心及淨心之諸優婆塞，使之生不信，我等為彼行下意羯磨。」彼等為彼行下意羯磨。時，具壽耶舍迦乾陀子言毘舍離之跋耆子諸比丘：「諸友！世尊制立，受下意羯磨之比丘應附隨

伴。諸友！與我隨伴比丘！」時，毘舍離之跋耆子諸比丘選一比丘，以隨伴具壽耶舍迦乾陀子。

時，具壽耶舍迦乾陀子與隨伴比丘俱，入毘舍離城，言毘舍離諸優婆塞：「我罵詈、誹謗有信心及淨心之諸優婆塞，使生不信耶？我乃說非法為非法、說法為法、說非律為非律、說律為律也。」

（三）

「諸友！一時，世尊住舍衛城祇樹給孤獨園。諸友！於此，世尊告諸比丘曰：

『諸比丘！日月之翳有四，日月若為翳所覆，則無光、無輝、無照。何者為四耶？諸比丘！雲為日月之翳也，日月若為此翳所覆，則無光、無輝、無照。諸比丘！霧為日月之翳也……。諸比丘！煙塵為日月之翳也……。諸比丘！阿修羅王羅睺為日月之翳也……。諸比丘！日月有如此四翳，日月若為此等翳所覆，則無光、無輝、無照。諸比丘！如此，沙門婆羅門有四翳，一類沙門婆羅門若為此翳所覆，則無光、無輝、無照。何者為四耶？諸比丘！一類沙門婆羅門，飲穀酒，飲果酒，不能離飲酒者，諸比丘！此，沙門婆羅門之第一翳也，一類沙門婆羅門若為此翳所覆，則無光、無輝、無照。諸比丘！一類沙門婆羅門，習不淨法，有不離不淨法者，諸比丘！此，沙門婆羅門之第二翳……。諸比丘！一類沙門婆羅門，受金銀，有不離金銀之執受者，諸比丘！此，沙門婆羅之第三翳……。諸比丘！一類沙門婆羅門，邪命而活，有不離邪命者，諸比丘！此，沙門婆羅門之第四翳……。諸比丘！沙門婆羅門有如此四翳，一類沙門婆羅門若為此等翳所覆，則無光、無輝、無照。』

諸友！此是世尊所說，善逝尊師說此後，更說此〔偈〕：

一類沙門婆羅門
為所纏繞乃貪瞋
人被無明所障礙
愛樂可愛之諸色
好飲果酒與穀酒
熟習不淨諸法陰
彼等無知其實性
且受黃金與白銀
一類沙門婆羅門
依於邪命以為生
日種之佛世尊說
此等皆名為翳雲
一類沙門婆羅門
為此等蔭翳所覆
若成不淨塵垢獸
便無光輝普照明
黑暗冥盲所閉鎖
為愛奴役執著者
增大怖畏之墓處
招受未來滅又生

我如是說，豈罵詈、誹謗有信心及有淨心之諸賢德優婆塞，而使生不信耶？我乃說非法為非法、說法為法、說非律為非律、說律為律也。」

（四）

「諸友！一時，世尊住王舍城竹林迦蘭陀迦園。諸友！爾時，王之眾會集坐於王後宮，有集會眾人，因生如此言談：『於沙門釋子，金銀淨，沙門釋子受金銀，沙門釋子取金銀。』諸友！爾時，有摩尼珠髻聚落主，坐此眾會。諸友！時，摩尼珠髻聚落主言彼會眾：『諸賢！勿如是言！於沙門釋子，金銀不淨，沙門釋子不受金銀，沙門釋子不取金銀，沙門釋子棄摩尼黃金、遠離金銀。』諸

友！摩尼珠髻聚落主能使彼會眾得解。諸友！時，摩尼珠髻聚落主能使彼會眾得解後，詣世尊住處。詣已，敬禮世尊而坐一面。諸友！坐於一面之摩尼珠髻聚落主白世尊，言：『大德！此處，集坐於王後宮之眾會……「……沙門釋子取金銀。」如是言時，我言彼會眾：「諸賢！勿如是言……遠離金銀。」我能使彼會眾得解。我如此說，是世尊之所說耶？非以不實誹謗世尊耶？隨法說法耶？順法順正說而無墮於呵責處耶？』『聚落主！汝如是說者確實，是說我所說也，非以不實誹謗我，是隨法說法，順法順正說，無墮於呵責處。聚落主！於沙門釋子，金銀不淨，沙門釋子不受金銀，沙門釋子不取金銀，沙門釋子棄摩尼黃金、遠離金銀。聚落主！以金銀為淨者以五欲為淨，以五欲為淨者，聚落主！應知一切非有法門之法、非有釋子之法。聚落主！然而，我如是言：需草時索草，需木時索木，需車時索車，需人時索人。聚落主！然而，我言：雖有任何事，亦不得領受，不得索取金銀。』」

「我如是說，豈是罵詈、誹謗有信心及有淨心之諸賢德優婆塞，使生不信耶？我乃說非法為非法……說律為律。」

（五）

「諸友！一時，世尊於王舍城，因具壽跋難陀釋子不禁金銀而制戒。

我如是說，豈是罵詈、誹謗有信心及有淨心之諸賢德優婆塞，使生不信耶？我乃說非法為非法……說律為律。」

（六）

如是言時，毘舍離之諸優婆塞言具壽耶舍迦乾陀子：「大德！唯尊者耶舍迦乾陀子獨是沙門釋子，彼等皆非沙門、非釋子也。大德！尊者耶舍迦乾陀子！請住毘舍離城，我等為尊者耶舍迦乾陀

子，盡力供〔養〕衣服、飲食、臥坐具、病藥資具。」時，具壽耶舍迦乾陀子令毘舍離之諸優婆塞得解，與隨伴比丘俱往僧園。

（七）

時，毘舍離之跋耆子諸比丘問隨伴比丘：「友！耶舍迦乾陀子向毘舍離之諸優婆塞謝〔罪〕耶？」「諸友！於我等不善，獨以耶舍迦乾陀子為沙門釋子，以我等皆為非沙門、非釋子。」

時，毘舍離之跋耆子諸比丘言：「諸友！此處，耶舍迦乾陀子非我等之當選者，而為在家人宣說，我等為彼行舉罪羯磨。」彼等為彼行舉罪羯磨而集會。時，具壽耶舍迦乾陀子騰於虛空，立於憍賞彌。

時，具壽耶舍迦乾陀子遣使至波利邑、阿槃提國、南路之諸比丘處，言：「諸具壽！來！我等於非法興而法衰、非律興而律衰、非法說者強而如法說者弱、非律說者強而如律說者弱之前，受此為諍事。」

（八）

爾時，具壽三浮陀舍那婆斯住於阿吁恆河山。時，具壽耶舍迦乾陀子至阿吁恆河山具壽三浮陀舍那婆斯處，至已，敬禮具壽三浮陀舍那婆斯，坐於一面。於一面坐已，具壽耶舍迦乾陀子言具壽三浮陀舍那婆斯：「大德！毘舍離之跋耆子諸比丘於毘舍離城，出十事，〔謂：〕器中鹽淨……金銀淨。大德！我等於非法興……如律說者弱之前，受此為諍事。」「唯！唯！友！」具壽三浮陀舍那婆斯應諾具壽耶舍迦乾陀子。時，有六十人之波利邑比丘，皆是阿蘭若者、乞食者、糞掃衣者、三衣者、阿羅漢，於阿吁恆河山集會。有八十八人阿槃提國、南路國之比丘，一分為阿蘭若者，一分為乞

食者，一分為糞掃衣者，一分為三衣者，皆是阿羅漢，於阿吁恆河山集會。

（九）

時，諸長老比丘相議，生此念：「此諍事粗而難也。我等得誰為伴者，有力於此諍事耶？」爾時，有具壽離婆多，住於須離，多聞而通阿含，持法，持律，持摩夷，為賢明、聰明、有慧、有恥、有悔而好學者。時，諸長老比丘生此念：「此處，有具壽離婆多，住於須離，多聞……而好學者。我等若得具壽離婆多為伴，如此，有力於此諍事。」

具壽離婆多以清淨超人之耳界清淨通，聞諸長老比丘相議。聞已，彼生是念：「此諍事粗而難也。我不應避如此諍事。然而，今，彼諸比丘若來，伴侶多，不得安穩而往，我宜先往。」時，具壽離婆多從須離往僧伽賒國。時，諸長老比丘往須離，問：「具壽離婆多在何處耶？」彼等言：「具壽離婆多往僧伽賒國矣！」時，具壽離婆多由僧伽賒國往伽那慰闍國。時，諸長老比丘往僧伽賒國，問：「具壽離婆多在何處耶？」彼等言：「具壽離婆多往伽那慰闍國矣！」時，具壽離婆多由伽那慰闍國往優曇婆羅國。時，諸長老比丘往伽那慰闍國，問：「具壽離婆多在何處耶？」彼等言：「具壽離婆多往優曇婆羅國矣！」時，具壽離婆多由優曇婆羅國往阿伽樓羅國。時，諸長老比丘往優曇婆羅國，問：「具壽離婆多在何處耶？」彼等言：「具壽離婆多往阿伽樓羅國矣！」時，具壽離婆多由阿伽樓羅國往薩寒若國。時，諸長老比丘往阿伽樓羅國，問：「具壽離婆多在何處耶？」彼等言：「具壽離婆多往薩寒若國矣！」時，諸長老比丘於薩寒若國會見具壽離婆多。

（一〇）

時，具壽三浮陀舍那婆斯言具壽耶舍迦乾陀子：「友！此處，具壽離婆多多聞而通阿含，持法，持律，持摩夷，為賢明、聰明、有慧、有恥、有悔而好學者。我等若問離婆多一問，具壽離婆多能以唯一問而得〔說〕過終夜。今，具壽離婆多將喚隨從之唱誦比丘，彼比丘若唱誦已，汝至具壽離婆多處，問此十事。」「唯！唯！大德！」具壽耶舍迦乾陀子應諾具壽三浮陀舍那婆斯。

時，具壽離婆多喚隨從之唱誦比丘。時，彼比丘唱誦已，具壽耶舍迦乾陀子至具壽離婆多處。至已，敬禮具壽離婆多，坐於一面。坐於一面已，具壽耶舍迦乾陀子言具壽離婆多：

「大德！器中鹽，淨耶？」「友！何者為器中鹽淨耶？」「大德！蓄鹽於器中，若無鹽時食之，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！兩指，淨耶？」「友！何者為兩指淨耶？」「大德！〔日〕影過兩指，非時食，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！近聚落，淨耶？」「友！何者為近聚落淨耶？」「大德！食已，已示謝，將入聚落而食非殘食，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！住處，淨耶？」「友！何者為住處淨耶？」「大德！同一境界之眾多住處，各別行布薩，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！後聽可，淨耶？」「友！何者為後聽可淨耶？」「大德！別眾行羯磨，若諸比丘來求聽可，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！常法，淨耶？」「友！何者為常法淨耶？」「大德！言：此我和尚之常法，此我阿闍梨之常法而行之，淨耶？」「友！常法一分淨、一分不淨也。」

「大德！不攪乳，淨耶？」「友！何者為不攪乳淨耶？」「大德！食已，已示謝，飲非乳非酪之乳之非殘食，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！飲闍樓伽酒，淨耶？」「友！何者為闍樓伽酒耶？」「飲未榨酒與未成酒，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！無縷邊坐具，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！金銀，淨耶？」「友！不淨也。」

「大德！彼毘舍離之跋耆子諸比丘於毘舍離城，出如此十事。大德！我等先於非法興……如律說者弱之前，受此為諍事。」「唯！唯！友！」具壽離婆多應諾具壽耶舍迦乾陀子。

———誦品一
〔終〕———

二

（一）

毘舍離之跋耆子諸比丘聞：「耶舍迦乾陀子欲受此為諍事，尋求而得〔黨〕伴。」時，毘舍離之跋耆子諸比丘生此思念：「此諍事粗而難也，我等得誰為伴，而有力於此諍事耶？」時，毘舍離之跋耆子諸比丘生此思念：「此處，有具壽離婆多，多聞而通阿含……而好學者。我等若得具壽離婆多為伴，如此，則有力於此諍事。」時，毘舍離之跋耆子諸比丘備甚多沙門資具，〔謂：〕鉢、衣、坐具、針筒、帶、濾水囊、水甕也。時，毘舍離之跋耆子諸比丘持其沙門資具，乘船溯流而往薩寒若國。下船，於一樹下分配食〔物〕。

（二）

時，具壽沙蘭靜居宴默，生如是念：「誰為如法說者耶？是波夷那比丘？或波利比丘？」時，具壽沙蘭觀察法與律，生如是念：「波夷那比丘是非法說者，波利比丘是如法說者。」時，有一淨居天神，以心知具壽沙蘭之心念，即如力士屈其伸腕，伸其屈腕，〔迅〕沒於淨居天，現於具壽沙蘭之前。時，彼天神言具壽沙蘭：「善哉！大德沙蘭！波夷那比丘是非法說者，波利比丘是如法說者。大德沙蘭！若爾，隨法而如是住！」「天神！我以前及現在皆隨法而如是住。然而，我不顯我見，至當選此諍事。」

（三）

時，毘舍離之跋耆子諸比丘，持其沙門之資具，至具壽離婆多處。至已，言具壽離婆多：「大德長老！請受沙門資具，〔謂：〕鉢、衣、坐具、針筒、帶、濾水囊、水甕也。」「諸友！止！我三衣圓滿故，不欲受耳。」

爾時，有名為鬱多羅比丘，二十歲，為具壽離婆多之侍者。時，毘舍離之跋耆子諸比丘至具壽鬱多羅處。至已，言具壽鬱多羅：「具壽鬱多羅！請受沙門資具，〔謂：〕鉢……水甕也。」「諸友！止！我三衣圓滿故，不欲受耳。」「友！鬱多羅！眾人以沙門資具供養世尊，世尊若受即喜悅，世尊若不受，則供養阿難，言：『大德長老！請受沙門資具！如世尊所受。』具壽鬱多羅！請受沙門資具！如長老所受。」時，具壽鬱多羅為毘舍離之跋耆子諸比丘所迫，取一衣而言：「諸友！若爾，請言所需！」「友！具壽鬱多羅！請如此言長老：『請大德長老於僧伽中，如此言：諸佛世尊生於東方國土，波夷那比丘是如法說者，波利比丘是非法說者。』」「唯！唯！諸友！」具壽鬱多羅應諾毘舍離之跋耆子諸比丘，至具壽離婆多處。至已，言具壽離婆多：「請大德長老……波

利比丘是非法說者。」言：「比丘！汝使我墮非法。」長老擯出具壽鬱多羅。時，毘舍離之跋耆子諸比丘言具壽鬱多羅：「友！鬱多羅！長老言何耶？」「諸友！於我等不善也。『比丘！汝使我墮非法。』而擯出我。」「友！汝滿二十歲否？」「然！諸友！」「若爾，依止我等為師。」

（四）

時，僧伽欲決定彼諍事而集會。時，具壽離婆多告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！我等若於此處滅此諍事，或起事諸比丘更發起羯磨。若僧伽機熟，則僧伽應於生此諍事之處，滅此諍事。」時，諸長老比丘欲決定彼諍事而往毘舍離城。

爾時，有名為一切去之地上〔最高齡〕僧伽長老，是阿難之弟子，由受具足戒至今已一百二十年，住於毘舍離城。時，具壽離婆多言具壽三浮陀舍那婆斯：「友！我應往一切去長老所住精舍，汝於晨早至具壽一切去之處，問此十事。」「唯！唯！大德！」具壽三浮陀舍那婆斯應諾具壽離婆多。時，具壽離婆多詣一切去長老所住精舍。具壽一切去之臥坐具敷於房內，具壽離婆多則敷於房前。時，具壽離婆多念：「此長老耄卻不臥。」而不臥。具壽一切去念：「此客比丘甚疲卻不臥。」而不臥。

（五）

時，具壽一切去於夜過明相出現時，言具壽離婆多：「汝今多依何三昧而住耶？」「大德！今多依慈三昧而住。」「汝今多依俗三昧而住，慈乃俗三昧也。」「大德！我以前在家時，習慈，故今多依慈三昧而住。然而，我得阿羅漢已久矣！長老大德今多依何三昧而住耶？」「今多依空三昧而住。」「大德！長老大德今多依大

人三昧而住，大德！空是大人三昧。」「我以前在家時，習空，故今多依空三昧而住。然而，我得阿羅漢已久矣！」

（六）

如此兩長老比丘對談未竟，時，具壽三浮陀舍那婆斯至其處。時，具壽三浮陀舍那婆斯至具壽一切去之處。至已，敬禮具壽一切去而坐於一面。於一面坐之具壽三浮陀舍那婆斯言具壽一切去：「大德！毘舍離之跋耆子諸比丘於毘舍離城出十事，〔謂：〕器中鹽淨也……金銀淨也。長老大德於和尚處多習法與律。長老大德觀察法與律，如何思念耶？以何者為如法說者耶？是波夷那比丘，或波利〔比丘〕耶？」「友！汝亦於和尚處多習法與律。友！汝觀察法與律，如何思念耶？以何者為如法說者耶？是波夷那比丘，或波利〔比丘〕耶？」「大德！我觀察法與律，生如是念：波夷那比丘是非法說者，波利比丘是如法說者。然而，我不顯我見，至我當選理此諍事。」「友！我觀察法與律，亦生如是念：波夷那比丘是非法說者，波利比丘是如法說者。然而，我不顯我見，至當選理此諍事。」

（七）

時，僧伽欲決定此諍事而集會。決定此諍事時，生無邊之所說，不得知一所說之義。時，具壽離婆多告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！我等決定此諍事時，生無邊之所說，不得知一所說之義。若僧伽機熟，僧伽應選斷事人，令滅此諍事。」選波夷那四比丘及波利邑四比丘。波夷那比丘是具壽一切去、具壽沙蘭、具壽不闍宗、具壽婆沙藍。波利邑比丘是具壽離婆多、具壽三浮陀舍那婆斯、具壽耶舍迦乾陀子、具壽修摩那。

時，具壽離婆多告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！我等決定此諍事時，生無邊之所說，不得知一所說之義。若僧伽機熟，僧伽應選波夷那四比丘及波利邑四比丘為斷事人，令滅此諍事。此是表白。諸大德！請聽我言！我等……不得知……。僧伽選波夷那……依斷事人，令滅此諍事。選波夷那四比丘及波利邑四比丘為斷事人，令滅此諍事，具壽聽者默然，不聽者請言。僧伽已選波夷那四比丘及波利邑四比丘為斷事人，令滅此諍事。具壽聽……了知。」

爾時，有名為阿夷頭比丘，十歲而為僧伽之說戒者。時，僧伽選具壽阿夷頭，為諸長老比丘之知臥坐具人。

時，諸長老比丘生是念：「我等應於何處滅此諍事耶？」時，諸長老比丘念：「此婆利迦園可愛而聲音少。我等應宜於婆利迦園滅此諍事。」時，諸長老比丘欲滅彼諍事而往婆利迦園。

（八）

時，具壽離婆多告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，我問律於具壽一切去。」具壽一切去告僧伽，言：「諸大德！請聽我言！若僧伽機熟，我答離婆多所問之律。」

時，具壽離婆多言具壽一切去：

「大德！器中鹽，淨耶？」「友！何者為器中鹽淨耶？」「大德！蓄鹽於器中，若無鹽時食之，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受禁耶？」「於舍衛城。於經分別。」「犯何〔罪〕耶？」「殘宿食之波逸提也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第一事，故此事是邪法邪律而離師教。於此處，下第一籌。」

「大德！兩指，淨耶？」「友！何者為兩指淨耶？」「大德！〔日〕影過兩指，非時食，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受

禁耶？」「於王舍城。於經分別。」「犯何〔罪〕耶？」「非時食之波逸提也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第二事……下第二籌。」

「大德！近聚落，淨耶？」「友！何者為近聚落淨耶？」「大德！食已，已示謝，入聚落而食非殘食，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受禁耶？」「於舍衛城。於經分別。」「犯何〔罪〕耶？」「非殘食之波逸提也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第三事……下第三籌。」

「大德！住處，淨耶？」「友！何者為住處淨耶？」「大德！同一境界之眾多住處，各別行布薩，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受禁耶？」「於王舍城。於布薩相應。」「犯何〔罪〕耶？」「違律之惡作也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第四事……下第四籌。」

「大德！後聽可，淨耶？」「友！何者為後聽可淨耶？」「大德！別眾行羯磨，若諸比丘來求聽可，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受禁耶？」「於瞻波律事。」「犯何〔罪〕耶？」「違律之惡作也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第五事……下第五籌。」

「大德！常法，淨耶？」「友！何者為常法淨耶？」「大德！言：此我和尚之常法，此我阿闍梨之常法而行之，淨耶？」「友！常法一分淨、一分不淨也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此決定第六事……下第六籌。」

「大德！不攪乳，淨耶？」「友！何者為不攪乳淨耶？」「大德！食已，已示謝，飲非乳非酪之乳之非殘食，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受禁耶？」「於舍衛城。出於經分別。」「犯何

〔罪〕耶？」「非殘食之波逸提也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第七事……下第七籌。」

「大德！飲闍樓伽酒，淨耶？」「友！何者為闍樓伽酒耶？」「飲未榨酒與未成酒，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受禁耶？」「於憍賞彌。於經分別。」「犯何〔罪〕耶？」「飲酒之波逸提也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第八事……下第八籌。」

「大德！無縷邊坐具，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受禁耶？」「於舍衛城。於經分別。」「犯何〔罪〕耶？」「切斷之波逸提也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第九事……下第九籌。」

「大德！金銀，淨耶？」「友！不淨也。」「於何處受禁耶？」「於王舍城。於經分別。」「犯何〔罪〕耶？」「受金銀之波逸提也。」「諸大德！請聽我言！僧伽於此處決定第十事……下第十籌。」

「諸大德！請聽我言！僧伽決定此十事故，此事為邪法邪律而離師教。」

〔具壽一切去曰：〕「友！此諍事已除，已靜，已寂靜，已善寂靜。友！然而，汝於僧伽中，更問我此十事，令彼諸比丘〔得〕解。」

時，具壽離婆多於僧伽中，以此十事更問具壽一切去，具壽一切去隨所問而答之。

（九）

此律結集時，有七百比丘，不多亦不少，故名此律結集為七百〔結集〕。

———〔誦品二終〕———

此犍度有二十五事。攝頌曰：

十事・滿・羯磨　隨伴・入・四・金
憍賞彌・波利　須離・僧伽賒
道・伽那慰闍　及優曇婆羅
薩寒若喚請　聞・我等以誰
則以船溯流　……
僧伽・毘舍離　慈・僧・斷事人

聯絡我們

財團法人
佛教電子佛典基金會（CBETA 基金會）
CBETA Comprehensive Buddhist Electronic Text Archive Foundation

service@cbeta.org
(02) 2383-2182 轉分機 12
官網 https://cbeta.org/
CBETA Online https://cbetaonline.dila.edu.tw/
立即贊助 https://cbeta.org/quick-donate/

贊助資訊

CBETA 長年來陸續將歷代重要佛典數位化為「CBETA 電子佛典集成」，不僅收錄了大量的珍貴文獻，更致力於校勘考證用字及增添新式標點，提升佛典的文獻品質及易讀性。「CBETA 電子佛典集成」是大眾廣為運用的公共資源，此成果也獲得國際學界的重視及肯定。

對於一個從事佛法志業的非營利團隊來說，能夠長期埋首理想、踏實耕耘，實屬不易。為了提供更優質的服務，CBETA 基金會擬增聘專業人力，擴大組織規模，懇請大家慷慨解囊、熱情贊助，讓未來有更多更好的電子佛典。

贊助捐款

「水滴雖微，漸盈大器，凡福充滿，從纖纖積。」
—— CBETA 2024.R2, T04, no. 210, p. 565a5-6